Canon

大判プリンター

iPF815

ユーザーズガイド

ver1.00 2010-09-10

JPN

メモ

本書は、プリンタに同梱の「User Manuals CD-ROM」に収録されている HTML 形式の製品マニュアルを、簡単に印刷できるよう PDF 形式にしたものです。そのため、一部 HTML 形式にのみ適用される説明文や、使用できない機能(動画表示機能など)があります。あらかじめご了承ください。

目次

印刷の流れ

印刷の手順

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること

このプリンタでは、ロール紙とカット紙に印刷できます。
ここでは、ロール紙印刷、カット紙印刷の特徴と設定できる主な印刷方法を紹介します。目的に応じて用紙を選択してください。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570
- ここで紹介している印刷方法以外にも、さまざまな印刷方法があります。「目次」から「さまざまな印刷データ」や「さまざまな印刷方法」を参照し、目的に合った印刷を行なってください。

ロール紙印刷

ロール紙とは、ロール状に巻かれている用紙のことです。ロールホルダーにセットし、プリンタに取り付けます。
大判サイズの写真や、通常のカット紙では印刷できないポスターや横断幕などを印刷することができます。

- 長尺印刷
  Microsoft Office などのアプリケーションソフトから、垂れ幕や横断幕を簡単に印刷できます。
  (「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)」参照) →P.109
- フチなし印刷
  ポスターや写真などの周囲に余白(フチ)を入れずに印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.94
  (「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.101
  (「原寸大のフチなしで印刷する」参照) →P.87
- バナー印刷
  複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷できます。
  (「複数ページをつなげて印刷する」参照) →P.130
- 90 度回転印刷
  縦長の原稿を印刷するとき、原稿を 90 度回転し、余白を減らして印刷できます。
  (「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する」参照) →P.157
- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.62
  (「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.68
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.73
- フリーレイアウト機能
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  (「複数の原稿を並べて印刷する」参照) →P.125

カット紙印刷

カット紙とは、一枚ずつ裁断されている用紙です。単票紙ともいいます。
カット紙はプラテンと用紙押さえの間にセットします。

- 拡大/縮小印刷

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
(「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.62
(「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.73

- フリーレイアウト機能
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  (「複数の原稿を並べて印刷する」参照) →P.125

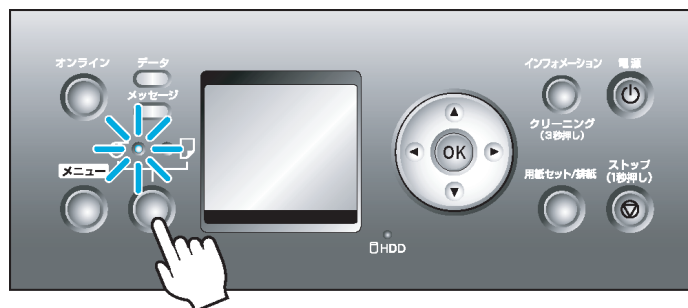
ロール紙をセットして印刷する

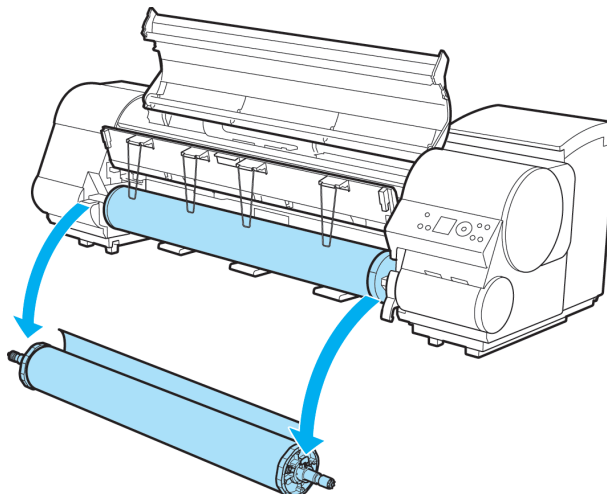
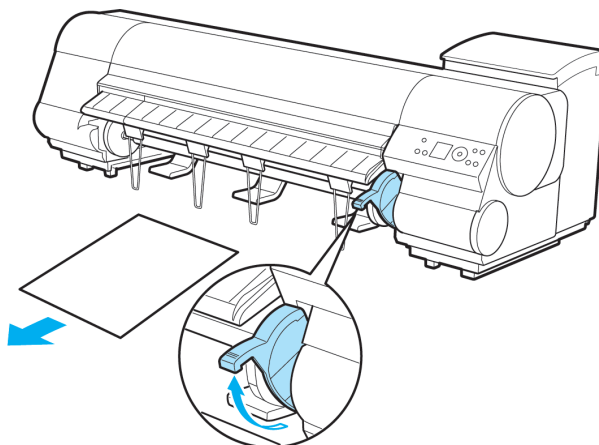
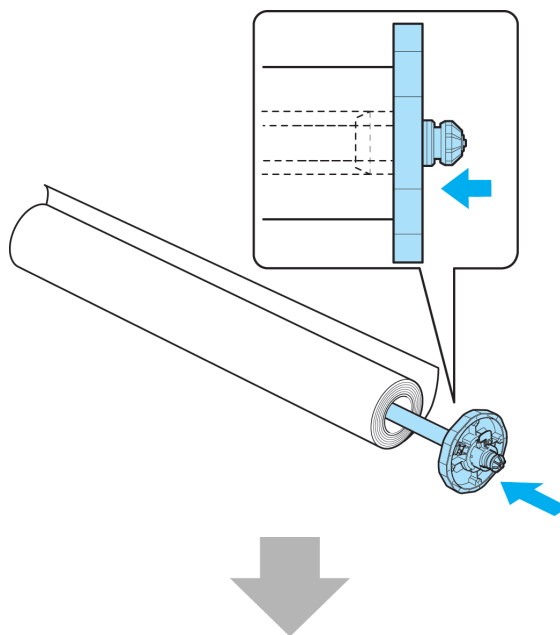
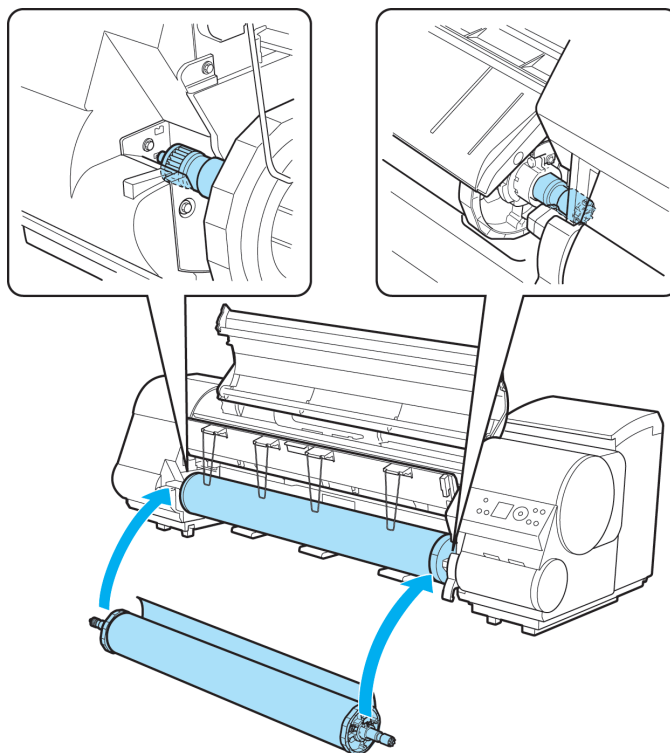
ここでは、ロール紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
ロール紙の種類や幅を変更、または新しいロール紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

- プリンタのメニューの[ロール紙残量管理]の設定とセットしたロール紙のバーコードの有無により、手順が変わります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.590
  - [ロール紙残量管理]が[オン]でロール紙にバーコードが印字されている場合、手順 6、7 は不要です。
  - [ロール紙残量管理]が[オフ]の場合、手順 7 は不要です。
- プリンタのメニューの[用紙幅検知]が[オフ]の場合、手順 6 で用紙の種類を選択した後に、ロール紙の幅を入力する必要があります。(「メインメニューの設定値」参照) →P.669
- セットできるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.573 (「用紙の種類」参照) →P.570
- オプションの巻き取り装置を使用しないで、バナー印刷など長いサイズの印刷を行うときは、床にきれいな布または紙を敷いてください。大きいサイズの印刷を行うと、印刷後の用紙が床に触れて印刷面が汚れる可能性があるため、スタンド固定型バスケットを使用してください。(「スタンド固定型バスケットを使用する」参照) →P.610
- 印刷後にインクの乾燥を待って排紙したい場合などには、ロール紙を自動でカットせずに、手動でカットすることもできます。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.593

1. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

2. 給紙元にロール紙を選択します。(「給紙元を選択する」参照) →P.583

3. 使用しない用紙がセットされている場合は、取り外します。

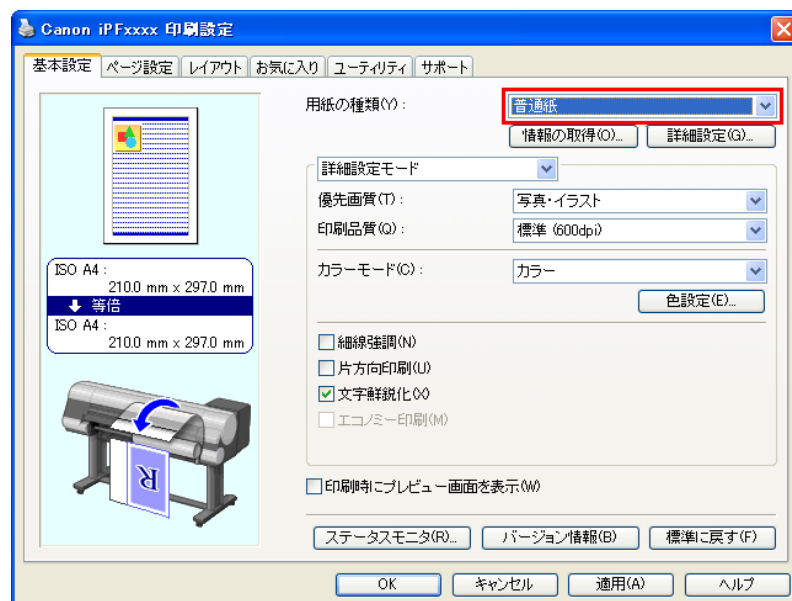
- ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586

- カット紙の場合 (「カット紙を取り外す」参照) →P.607

4. ロール紙にロールホルダーをセットします。(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576

5. ロール紙をプリンタにセットします。(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579

メモ

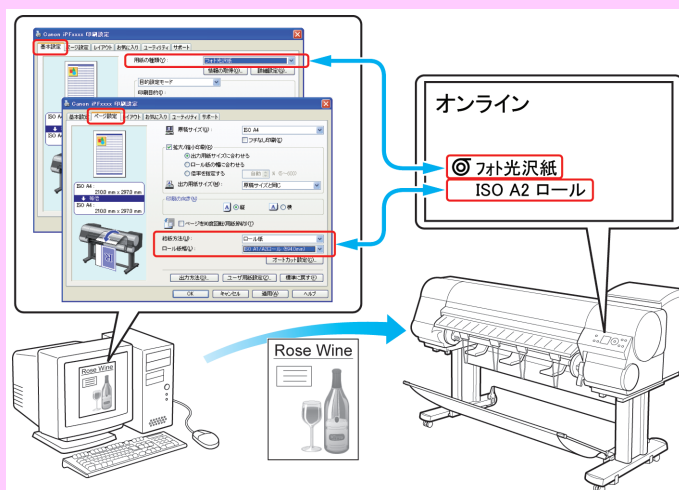
- フチなし印刷をする場合は、プラテン上の青いスイッチが●側に設定されていることを確認してください。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.809

6. 用紙の種類を選択します。(「用紙の種類を選択する(ロール紙)」参照) →P.584

7. 用紙の長さを設定します。(「用紙の長さを設定する(ロール紙)」参照) →P.585

8. プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.190
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.398

重要

- プリンタにセットした用紙を確認して、同じ用紙種類をプリンタドライバで指定してください。
  指定した用紙種類が違うと、エラーメッセージが表示され、印刷品質が低下する場合や印刷できない場合があります。
  - 用紙が小さいです →P.829
  - 用紙種類が違います。→P.828

9. 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.10
- Mac OS X から印刷する →P.11

印刷を開始します。

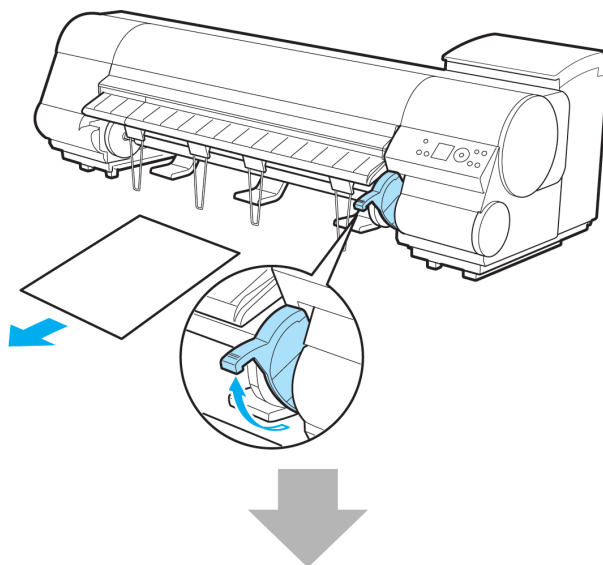
カット紙をセットして印刷する

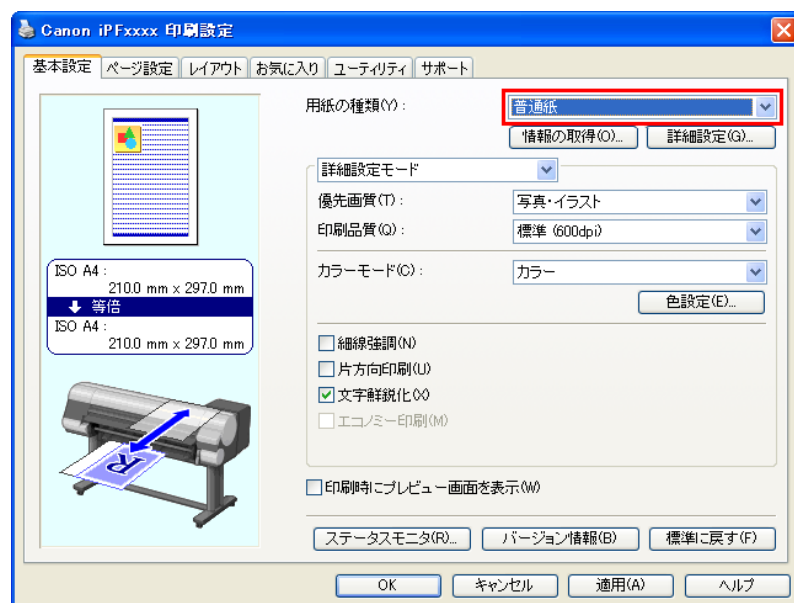
ここでは、カット紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
カット紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

- セットできる用紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.573 (「用紙の種類」参照) →P.570

1. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

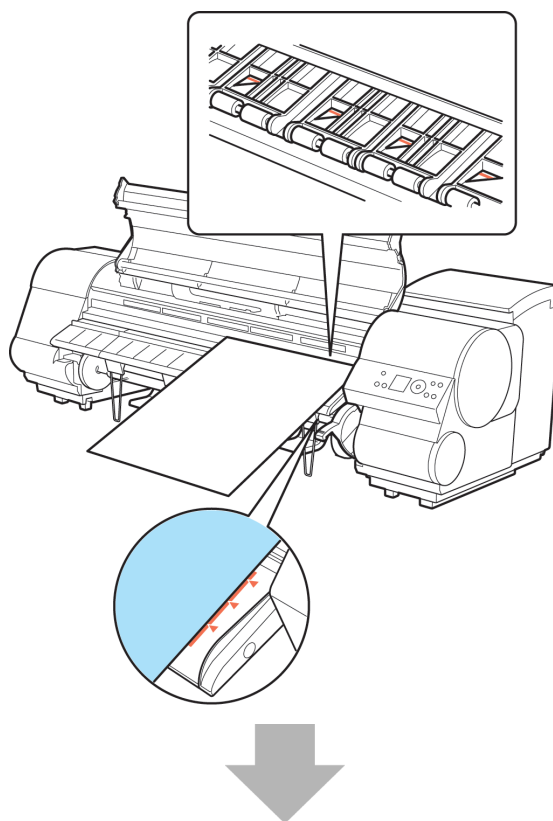
2. 使用しない用紙がセットされている場合は、取り外します。(「カット紙を取り外す」参照) →P.607

3. プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.190
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.398

4. 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.10
- Mac OS X から印刷する →P.11

5. カット紙をセットします。(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602

メモ

- 印刷ジョブの送信前にカット紙をセットする場合は、セット後に操作パネルのディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されますので、用紙の種類を選択してください。
  (「用紙の種類を選択する(カット紙)」参照) →P.601
- 用紙幅検知機能が[オフ]に設定されている種類の用紙を選択した場合、用紙を手動で印刷開始位置まで給紙する必要があります。(「用紙を手動で印刷開始位置にセットする」参照) →P.605

印刷を開始します。

Windows から印刷する

アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

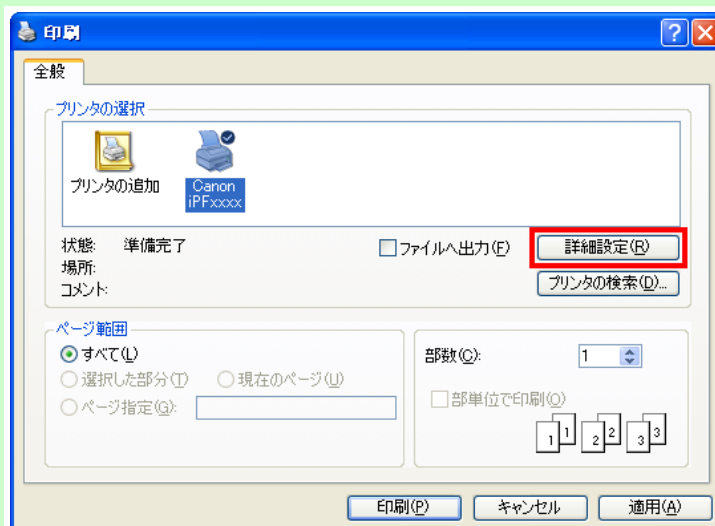
重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2. 表示されるダイアログボックスで、プリンタが選択されていることを確認し、[印刷]や[OK]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 表示されるダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。多くのアプリケーションソフトでは、このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。
  アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

- 他のプリンタが選択されている場合は、[プリンタの選択]の一覧や[プリンタ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択します。

拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、プリンタドライバのダイアログボックスで行います。プリンタドライバのダイアログボックスを開くには、以下の 2 種類の方法があります。

- アプリケーションソフトから開く
  (「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.196
- システムのメニューから開く
  (「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.198

Mac OS X から印刷する

コンピュータでプリンタを登録し、アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

プリンタを登録する

印刷する前に、[imagePROGRAF PrinterSetup.app]でプリンタを登録しておく必要があります。
プリンタを登録する方法については、「プリンタドライバの接続先を設定する」を参照してください。 →P.736

重要

- プリンタを登録するときに、プリンタの電源がオフになっていたり、ケーブルが外れていると、プリンタの一覧にプリンタが表示されません。

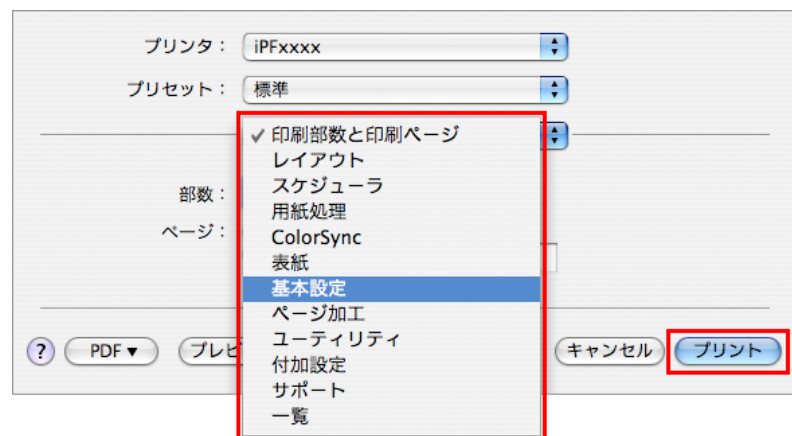
アプリケーションソフトから印刷する

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

2. [プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. [プリント]をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

印刷の中止

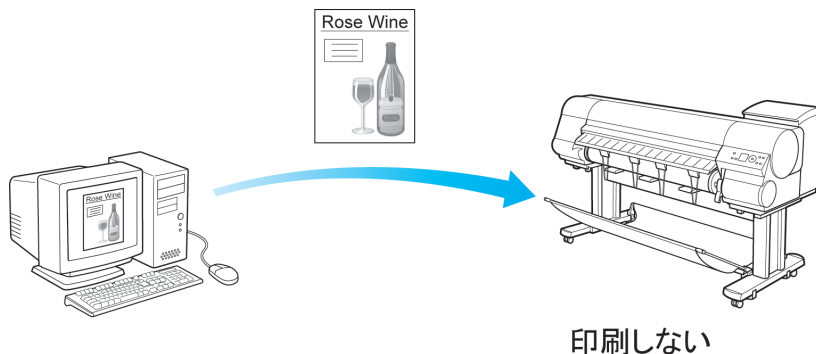
操作パネルから印刷を中止する

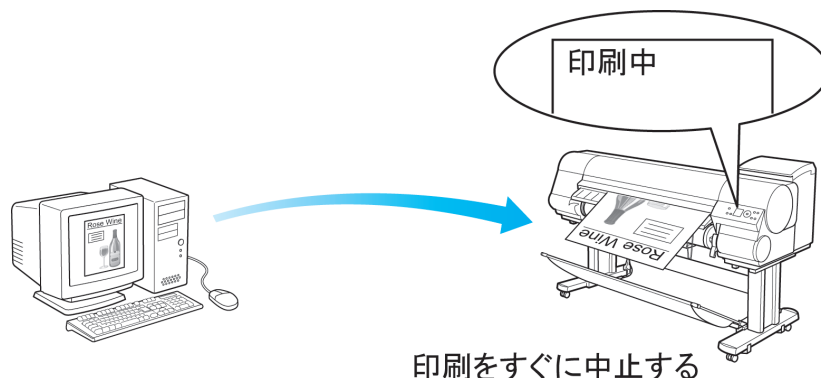
オンラインモード、オフラインモード、またはメニューモードの場合、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けると、印刷中または処理中のジョブやインクの乾燥を中止することができます。

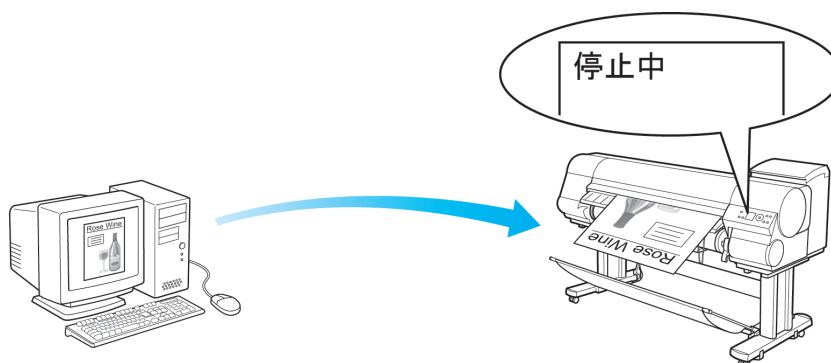
印刷時に[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けた場合、そのときの状況によってプリンタの動作が異なります。

- 印刷が開始される前に［ストップ］キーを押した場合

  印刷の開始前に[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けた場合、印刷ジョブがキャンセルされてオンラインモードになります。

  給紙元がロール紙の場合はオンラインモード、カット紙の場合はオフラインモードになります。

- 印刷中に［ストップ］キーを押した場合

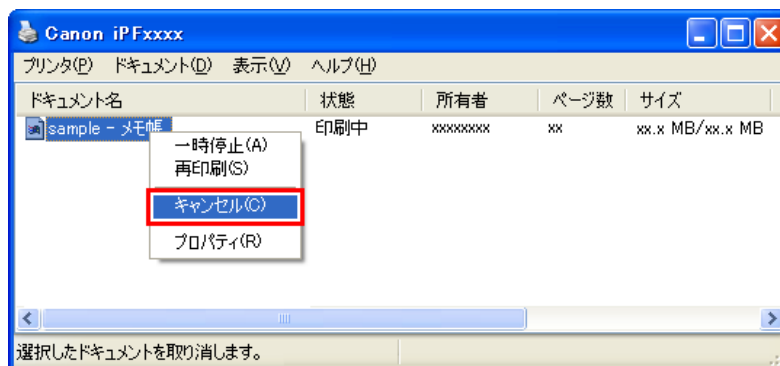
  印刷中に[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けた場合、すぐに印刷が中止されます。

- 印刷の一時停止中に［ストップ］キーを押した場合

 印刷の一時停止中に[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けた場合、停止中のジョブがキャンセルされます。

Windows から印刷を中止する

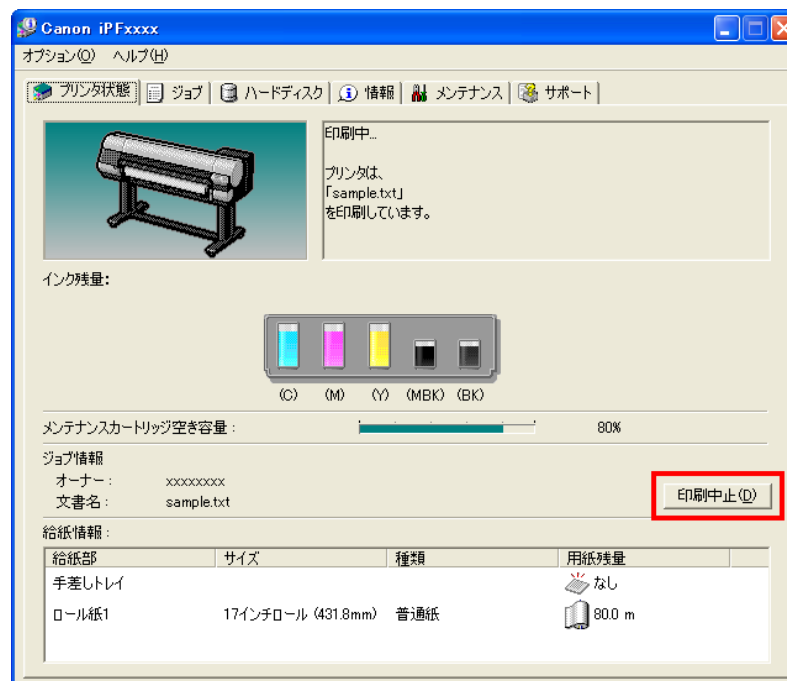
プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Status Monitor から中止できます。

1. タスクバーに表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

メモ
- Windows の[スタート]メニューの[プリンタと FAX](または[プリンタ])から、プリンタのアイコンをダブルクリックして開くこともできます。

2. 中止するドキュメントを選択し、右クリックして表示されるメニューから[キャンセル]を選択します。

3. プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合(プリンタへの印刷データの送信が終了した場合)は、タスクバーのアイコンをダブルクリックし、imagePROGRAF Status Monitor を開きます。

4. [プリンタ状態]シートの[印刷中止]をクリックします。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

Mac OS X から印刷を中止する

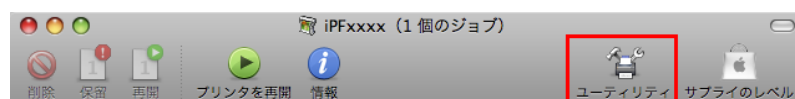
プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Printmonitor から中止できます。

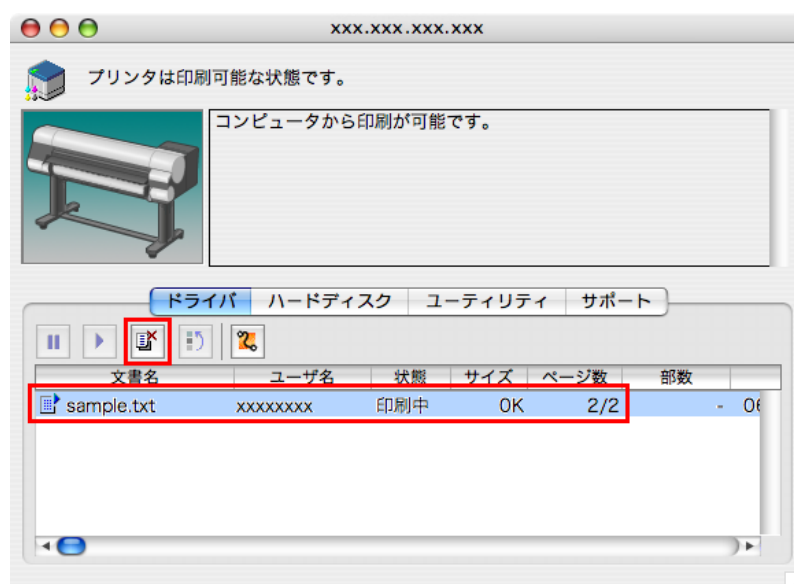
メモ

- プリンタのウィンドウにジョブが表示されるのは、コンピュータからプリンタに印刷データが送信されている間です。プリンタへの印刷データの送信が終了した場合は、印刷中でもジョブは表示されません。
- imagePROGRAF Printmonitor のウィンドウにジョブが表示されるのは、プリンタがコンピュータからの印刷データを受信してから印刷が終了するまでの間です。コンピュータで印刷データを作成中でも、プリンタへの送信が開始されていなければ、ジョブは表示されません。

1. デスクトップの[Dock]に表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

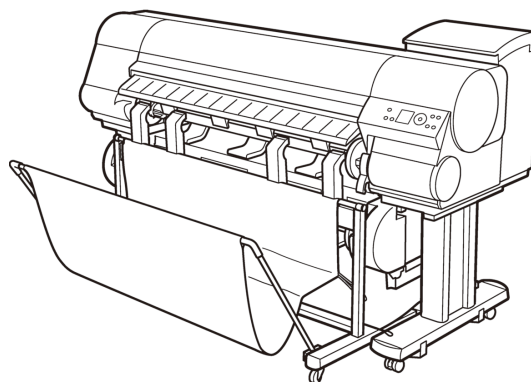
2. [プリンタを一時停止]をクリックし、印刷を停止します。

3. プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合（プリンタへの印刷データの送信が終了した場合）は、[ユーティリティ]をクリックし、imagePROGRAF Printmonitor を開きます。

4. 印刷を中止するジョブを選択して をクリックし、ジョブを削除します。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

プリンタに送信されたジョブが中止されます。

5. imagePROGRAF Printmonitor を閉じ、プリンタのウィンドウで[ジョブを開始]をクリックします。

重要

- imagePROGRAF Printmonitor から印刷を中止した場合は、必ずこの手順を行ってください。ジョブを開始しないと、次のジョブを印刷できません。

さまざまな印刷データ

CAD 図面を印刷する

CAD の図面を印刷する

このプリンタでは、細い線や文字をくっきりと鮮明に印刷することができます。ご使用の CAD アプリケーションソフトから、精度の高い図面を簡単に印刷できます。

メモ

- Windows では、プリンタに付属する AutoCAD/AutoCAD LT 用の imagePROGRAF HDI ドライバを使用し、精度の高い図面を印刷できます。
  HDI ドライバについては、「HDI ドライバ →P.332」を参照してください。

CAD で印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 線画や文字を印刷する（Windows） →P.20
- 線画や文字を印刷する（Mac OS X） →P.22

線画や文字を印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

［目的設定モード］

印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

［印刷目的］

印刷物に適した設定を選択できます。

線画や文字に適した印刷目的

	印刷目的	説明
	［CAD（カラー線画）］	CAD の図面の細い線をくっきりと印刷するのに適した設定です。
	［CAD（モノクロ線画）］	CAD の図面を黒い線でくっきりと印刷するのに適した設定です。

	印刷目的	説明
	[パース･GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷するのに適した設定です。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。([詳細設定モード])
  [詳細設定モード]については、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53」を参照してください。

[印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

線画や文字を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 線画や文字を印刷する(Windows) →P.20
- 線画や文字を印刷する(Mac OS X) →P.22

線画や文字を印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、線画を印刷する手順を説明します。

- 原稿:CAD の図面
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

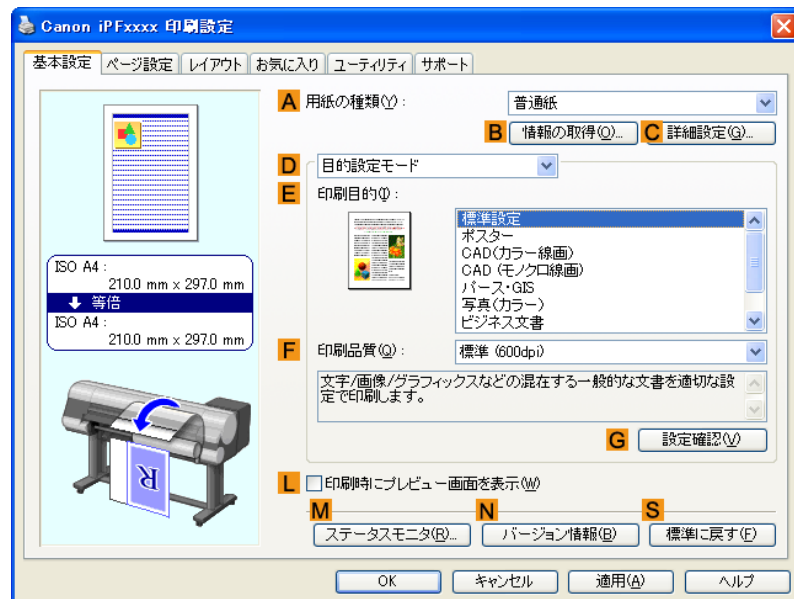
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

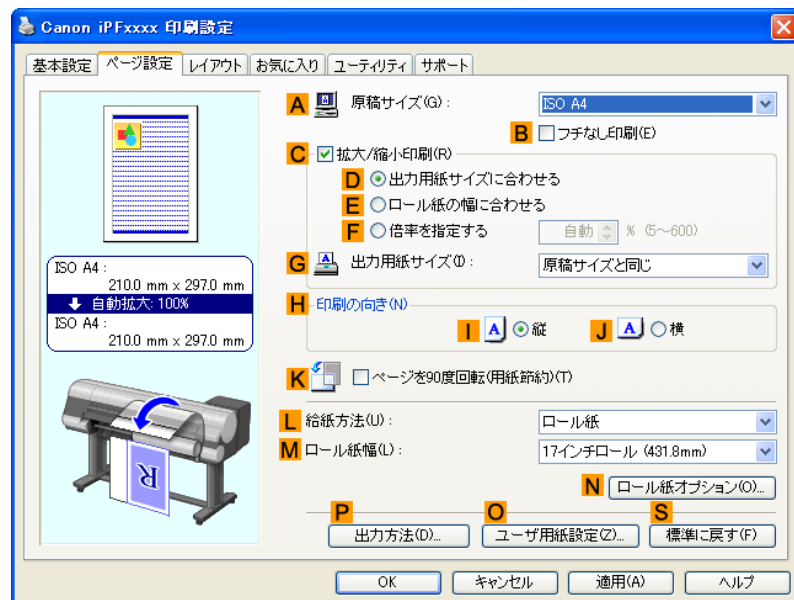
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[CAD(カラー線画)]または[CAD (モノクロ線画)]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M [ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

10. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.188 」を参照してください。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

線画や文字を印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、線画を印刷する手順を説明します。

- 原稿:CAD の図面
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[CAD(カラー線画)]または[CAD (モノクロ線画)]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]が表示されていることを確認します。

13. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.397 」を参照してください。

14. 印刷の設定を確認し、[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400」を参照してください。

CAD 図面の色味を設定して印刷する

[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した時の色味を設定することができます。
印刷の[色の互換性]を選択すると、下の表の通り、色味を変更して印刷することができます。

メモ
- [カラー(CAD)]は[基本設定]シートで[詳細設定モード]を選択し、[優先画質]で[線画・文字]を選択すると表示されます。

[色の互換性]

カラー設定項目

カラー設定	機能説明
[カラー (CAD) 1]	標準的なカラーで印刷します。
[カラー (CAD) 2]	明るめのカラーで印刷します。
[カラー (CAD) 3]	Canon BJ-W3000/W3050 をエミュレートた近似色で印刷します。 BJ-W3000/W3050 の日本国内での販売はされておりません。
[カラー (CAD) 4]	HP Designjet 500/800 をエミュレートた近似色で印刷します。
[カラー (CAD) 5]	HP Designjet 1000 をエミュレートた近似色で印刷します。
[カラー (CAD) 6]	HP Designjet 4000/4500 をエミュレートた近似色で印刷します。

重要
- [カラー (CAD) 3]、[カラー (CAD) 4]、[カラー (CAD) 5]、[カラー (CAD) 6]を選択した場合、指定した機種の色味や画質を完全に一致させるものではありません。

[色の互換性]の設定方法については、以下のトピックを参照してください。

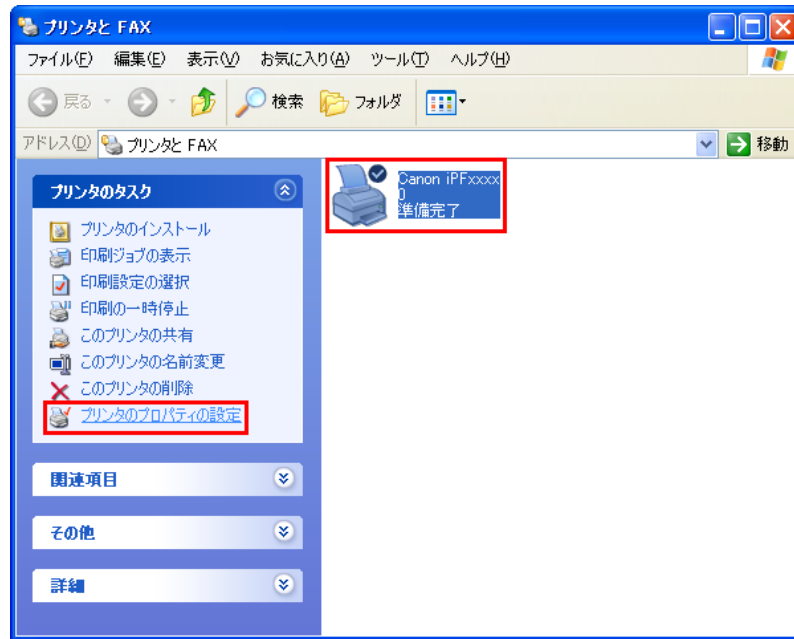
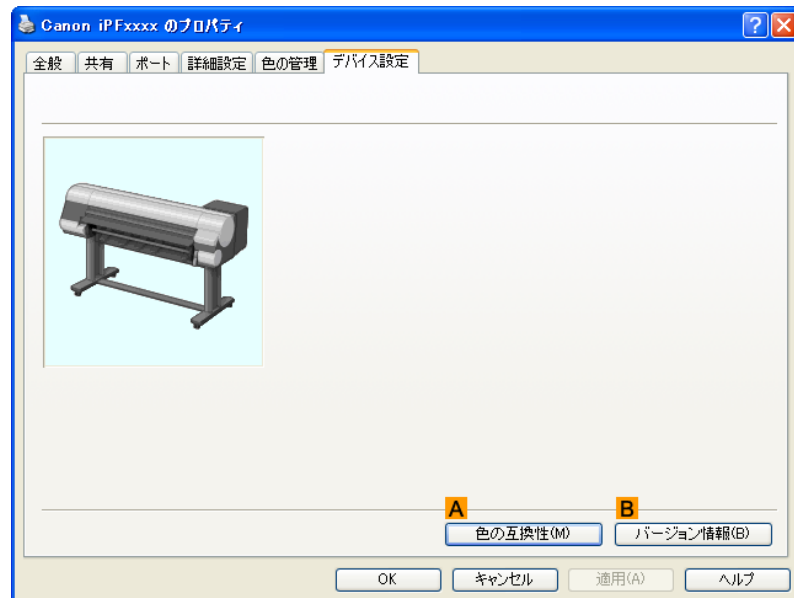
- CAD 図面の色味を設定して印刷する(Windows) →P.26

CAD 図面の色味を設定して印刷する(Windows)

[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した時の色味を設定することができます。

メモ
- [カラー(CAD)]は[基本設定]シートで[詳細設定モード]を選択し、[優先画質]で[線画・文字]を選択すると表示されます。

1. [スタート]メニューから[プリンタと FAX](または[プリンタ])を開きます。

2. プリンタを選択し、プリンタのプロパティのダイアログボックスを開きます。

3. [デバイス設定]タブをクリックし、[デバイス設定]シートを表示します。

4. A[色の互換性]をクリックし、[色の互換性]ダイアログボックスを開きます。

5. A[色の互換性]の一覧から必要なカラー設定を選択します。

メモ

- カラー設定についての詳細は「CAD 図面の色味を設定して印刷する →P.26 」を参照してください。

実際の印刷方法については、以下のトピックを参照してください。

- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Windows） →P.56

HP-GL/2 を使用して印刷する

本プリンタは制御言語としてキヤノン独自の GARO 言語のほか、HP-GL/2、HP RTL（*1 →P.28 ）エミュレーションをサポート（*2 →P.28 ）しています。HP-GL/2 出力をサポートしているアプリケーションソフトから印刷する場合には、アプリケーションソフトのプロッタ出力の設定を HP-GL/2 に指定してください。

メモ

- アプリケーションソフトの設定の方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

本プリンタは、受信した印刷データによって GARO 言語と HP-GL/2、HP RTL とを自動的に切替えて動作します。HP-GL/2 エミュレーションに関するオプション設定は、プリンタの操作パネルで行います。（「メインメニューの設定値」参照） →P.669
本プリンタが HP-GL/2 エミュレーションにおいてエミュレート可能なプリンタは下記の通りです。

エミュレートするプリンタ	
Canon	W3000、W3050（*3 →P.28 ）
HP	Designjet 450c、Designjet750c plus、Designjet 750c

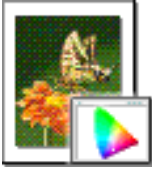
*1:HP-GL/2 ： Hewlett-Packard Graphics Language 2、HP RTL ：Hewlett-Packard Raster Transfer Language

*2:非常に大きなデータを印刷する場合、正しく印刷できないことがあります。

*3:定型配置は対応していません。

写真やイラストを印刷する

写真やイラストを印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

[目的設定モード]

印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

写真やイラストに適した印刷目的

	印刷目的	説明
	[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
	[写真（カラー）]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
	[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。

注意

- [用紙の種類]によっては、選択できない[印刷目的]があります。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。（[詳細設定モード]）
  [詳細設定モード]については、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53」を参照してください。

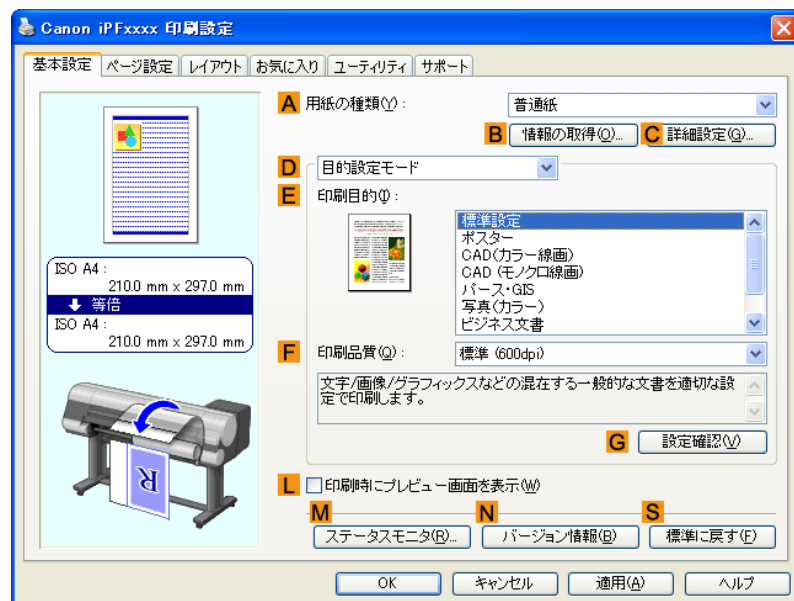
[印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

2

印刷品質	説明
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

写真やイラストを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 写真やイラストを印刷する(Windows) →P.30
- 写真やイラストを印刷する(Mac OS X) →P.32

写真やイラストを印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:プレミアム光沢紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここではプレミアム光沢紙をクリックします。

A[用紙の種類]では、光沢紙やコート紙など、印刷する用紙を選択します。その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

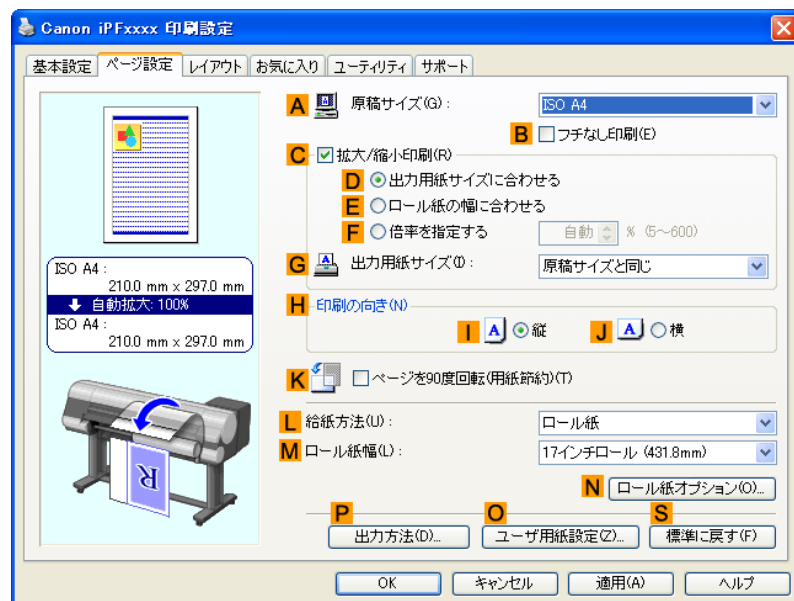
メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.378 を参照してください。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真(カラー)]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M[ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

10. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.188 」を参照してください。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

写真やイラストを印刷する(Mac OS X)

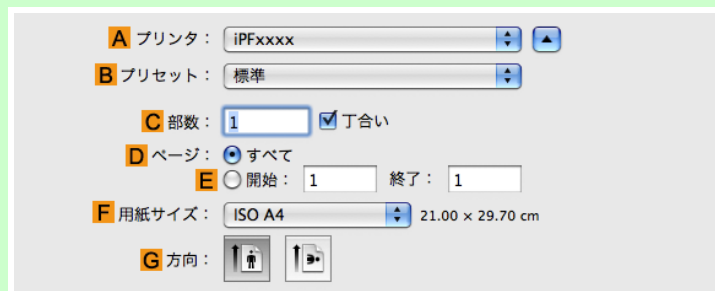
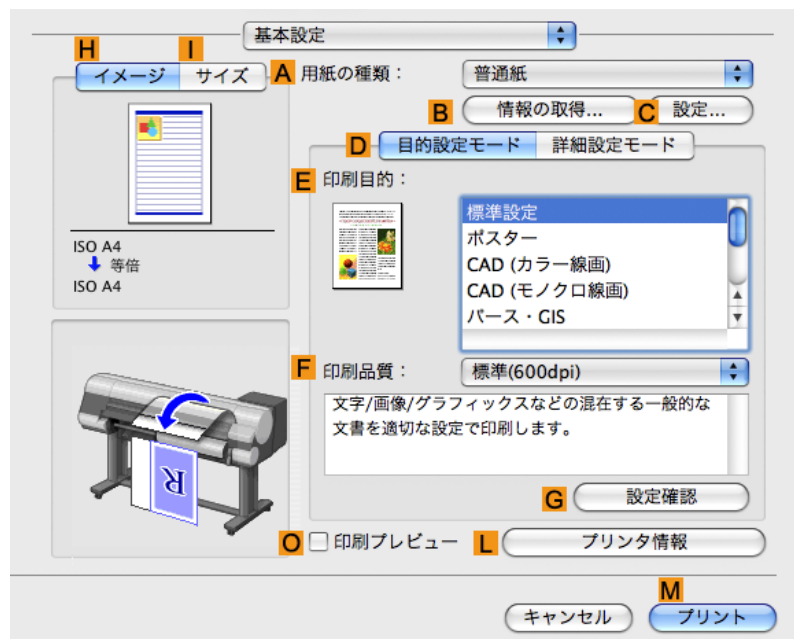
ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:プレミアム光沢紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

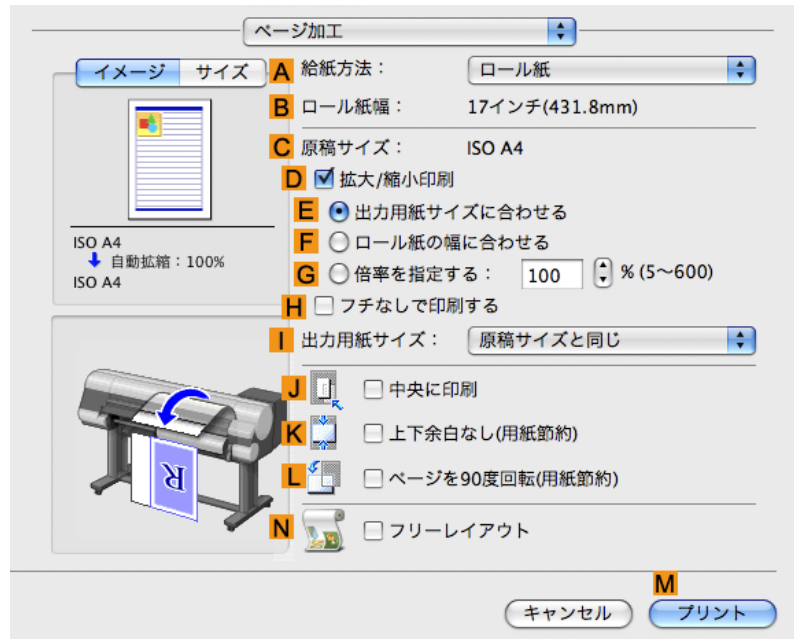
6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここではプレミアム光沢紙をクリックします。
その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.502 を参照してください。

7. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真(カラー)]をクリックします。

メモ

- 写真やイラストに最適な印刷目的については「写真やイラストを印刷する →P.29 」を参照してください。
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

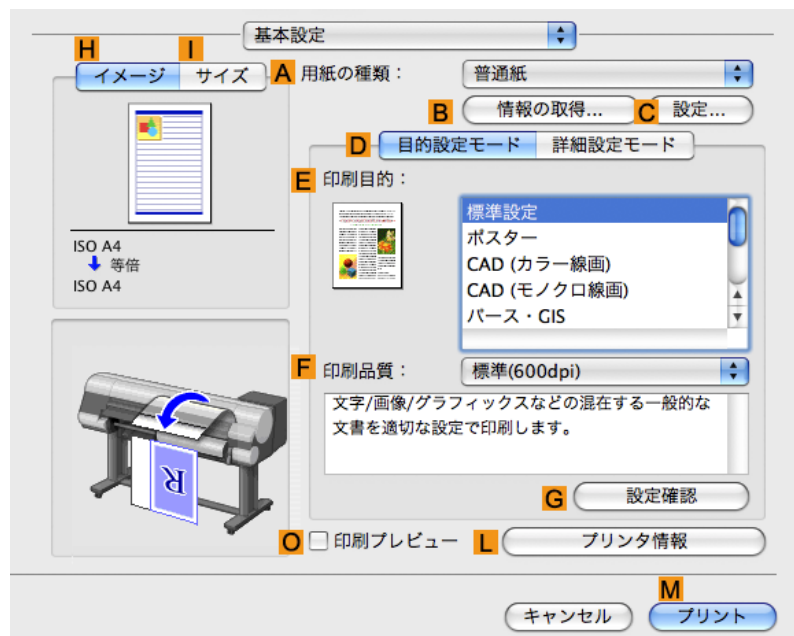
9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

2

12. [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

13. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目（Mac OS X）→P.397」を参照してください。

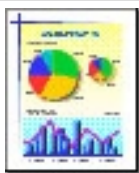
14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

オフィス文書を印刷する

オフィスの文書を印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

［目的設定モード］

印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

［印刷目的］

印刷物に適した設定を選択できます。

オフィスの文書に適した印刷目的

	印刷目的	説明
	ビジネス文書	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷するのに適した設定です。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、［設定確認］で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。（詳細設定モード）
  詳細設定モードについては、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53 」を参照してください。

［印刷品質］

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
［最高］	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
［きれい］	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 ［標準］や［速い］と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
［標準］	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 ［最高］や［きれい］と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
［速い］	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

オフィスの文書を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- オフィスの文書を印刷する（Windows） →P.38
- オフィスの文書を印刷する（Mac OS X） →P.39

オフィスの文書を印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

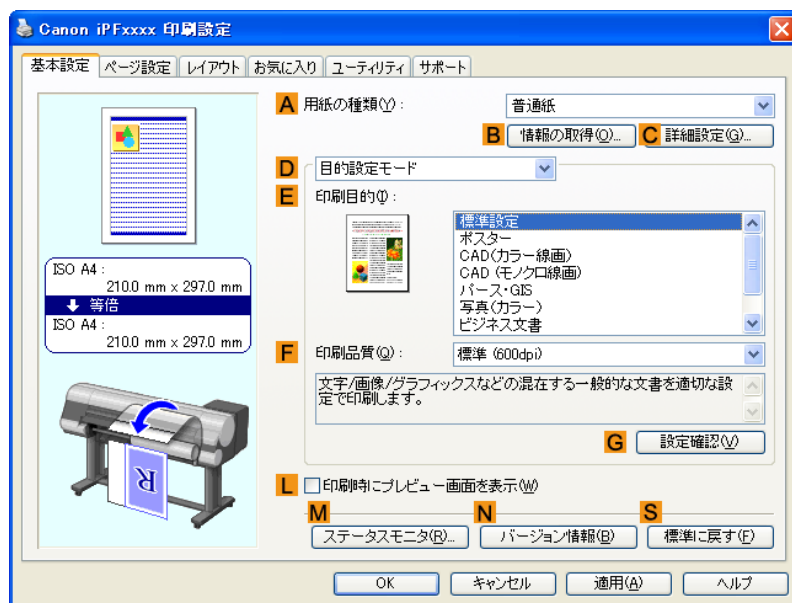
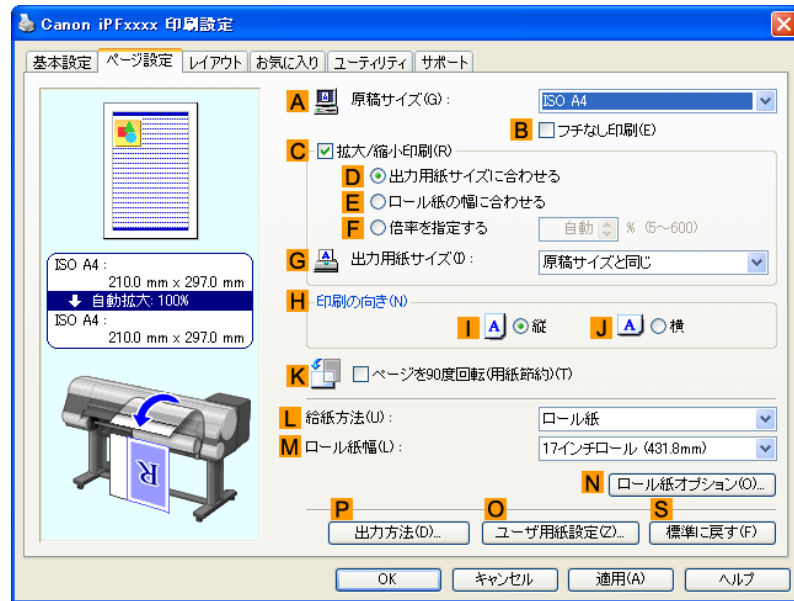
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ビジネス文書]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

9. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.188 」を参照してください。

10. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

オフィスの文書を印刷する(Mac OS X)

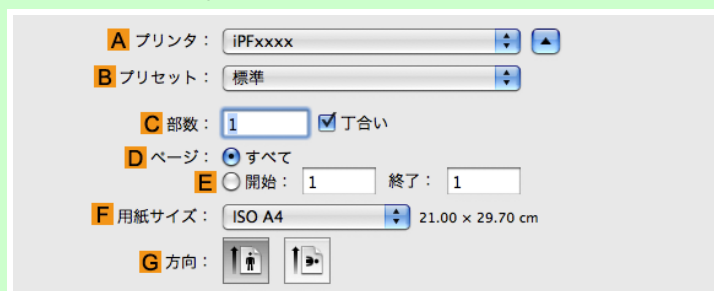
ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

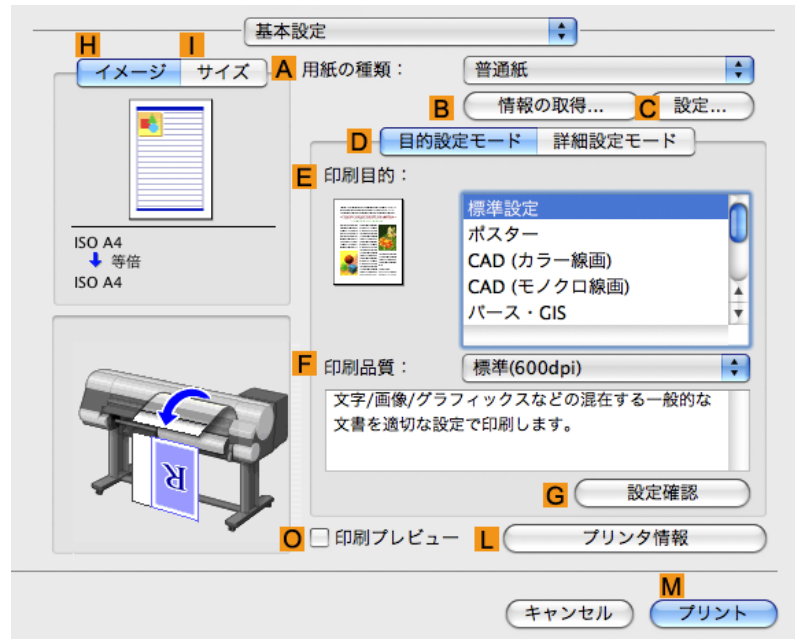
3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

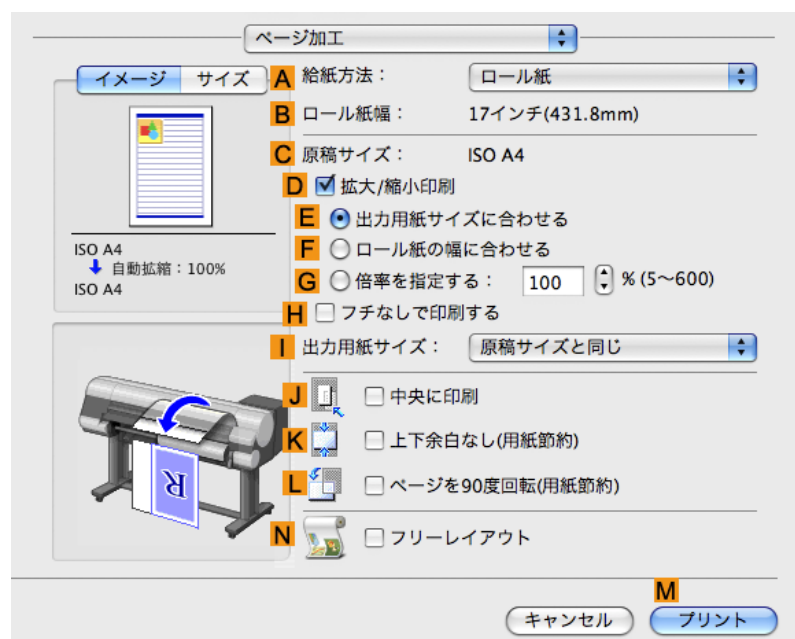
5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ビジネス文書]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

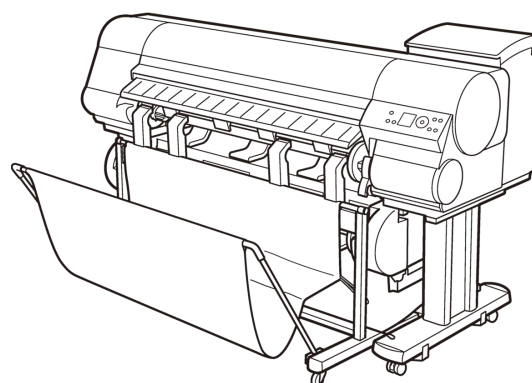
8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

11. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]が表示されていることを確認します。

12. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.397 」を参照してください。

13. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

さまざまな印刷方法

画像を調整する

プリンタドライバで色を調整して印刷する

個々の印刷データに対する印刷時の色は、基本的にアプリケーションソフトの設定が優先されますが、さらに色の調整を行いたい場合は、プリンタドライバで調整します。

[カラーモード]

プリンタドライバが行う色の処理の方法を選択します。
カラーモードの設定によって、調整できることが異なります。

カラーモード	説明	色の調整
[カラー]	カラーで印刷します。	色調の補正、カラーマッチングを行うことができます。
[モノクロ]	グレースケールで印刷します。	色調を補正できます。
[カラー（CAD）]	線画（2D-CAD）に適したカラーモードで、赤や黄色の線を見やすく印刷します。	色調を補正できます。
[モノクロ（黒インク）]	線画用のカラーモードで、黒インクだけで印刷します。	色調を補正できます。
[モノクロ（二階調）]	CAD 用のカラーモードで、カラーインクを使用し、白以外の部分をすべて黒で印刷します。	色の調整はできません。
[色補正なし]（*1）	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。	色調を補正できます。

*1:[色補正なし]を選択した場合、[マッチング]シート/[マッチング]パネルは表示されません。

[色調整]

イメージ、グラフィックス、テキストごとに、色調を補正できます。

補正項目	説明
[シアン]	[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の強弱を調整することで色合いを補正できます。
[マゼンタ]	
[イエロー]	
[グレー色調]	冷黒（青みがかった色合い）から温黒（赤みがかった色合い）まで、グレーの色を表現できます。
[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。

補正項目	説明
[コントラスト]	軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

[マッチング]

カラーマッチングのマッチングモードとマッチング方法を選択できます。
マッチングモードとマッチング方法の設定によって、コンピュータのディスプレイで見た画像の色と印刷結果の色を近づけることができます。

マッチングモード	説明	備考
[ドライバ補正モード]	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。	通常はこのモードを選択してください。
[ICC 補正モード]	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。 入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。	デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
[ドライバ ICM モード]	プリンタドライバの ICM 機能を用いて、プリンタドライバでカラーマッチングを行います。 マッチング方法のみを指定して印刷する場合に選択してください。	Windows で選択できます。
[ホスト ICM モード]	Windows の ICM 機能を用いて、ホストコンピュータでカラーマッチングを行います。 ICM 機能対応のアプリケーションから印刷する場合に選択してください。	
[ColorSync モード]	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。 ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。	Mac OS で選択できます。

マッチング方法	説明	備考
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストごとに最適なカラーマッチングを行います。	マッチングモードの設定やご使用の OS によって、選択できる項目や項目の並び順が異なります。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。	

マッチング方法	説明	備考
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。	マッチングモードの設定やご使用の OS によって、選択できる項目や項目の並び順が異なります。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。	

3

メモ

- 色を調整して印刷する場合は、コンピュータのディスプレイの色を正しく調整してください。ディスプレイの調整が正しくない場合、思いどおりの印刷結果が得られないことがあります。ディスプレイの調整方法については、ディスプレイのマニュアルやご使用の OS のマニュアルを参照してください。

色を調整して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows) →P.46
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X) →P.50

写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows)

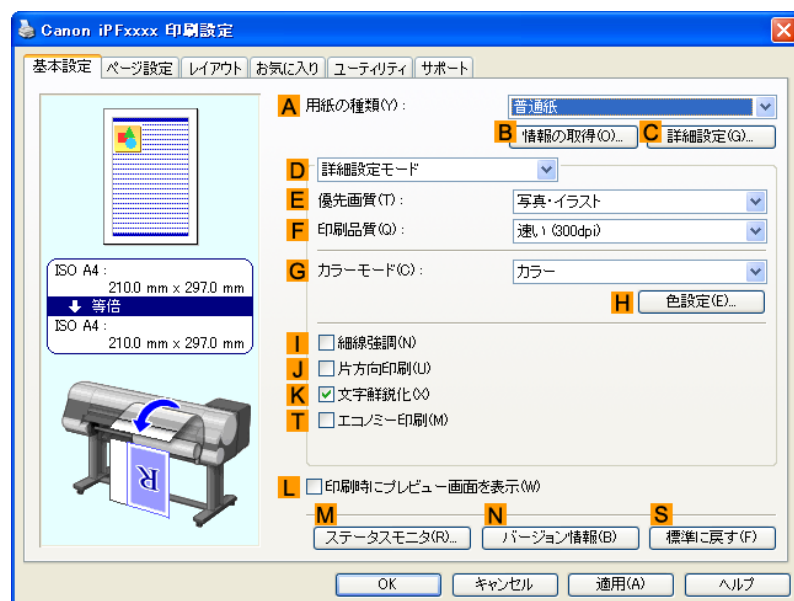
あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

7. H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

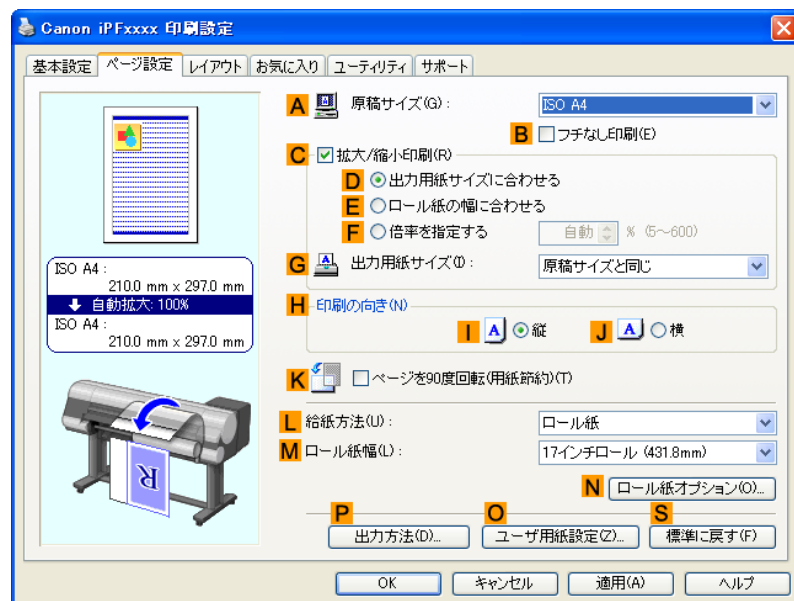
8. [色調整]シートで、色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

9. [色設定]ダイアログボックスを閉じます。

10. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

11. A[原稿サイズ]や L[給紙方法]の設定を確認します。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

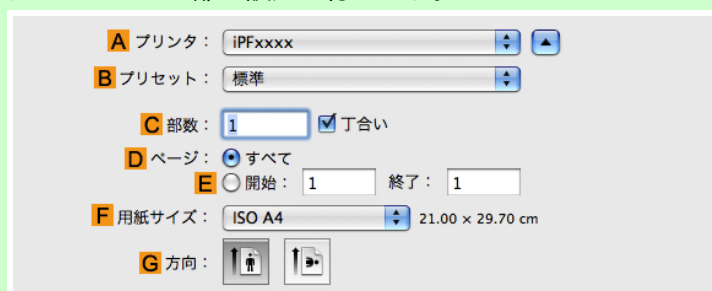
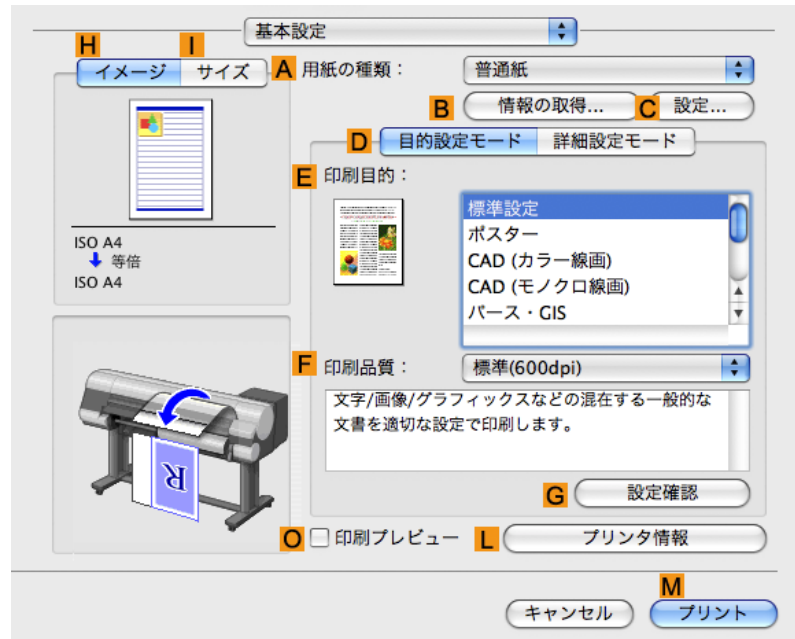
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X)

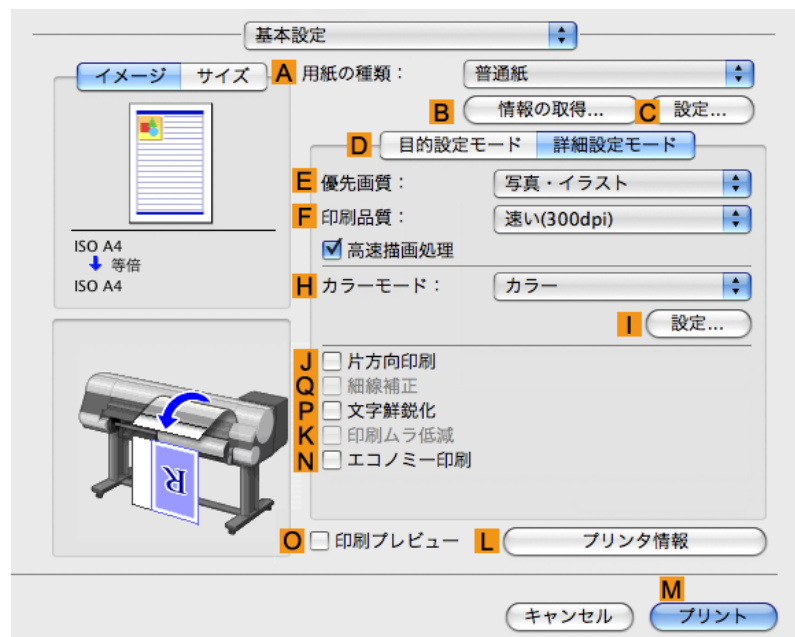
あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

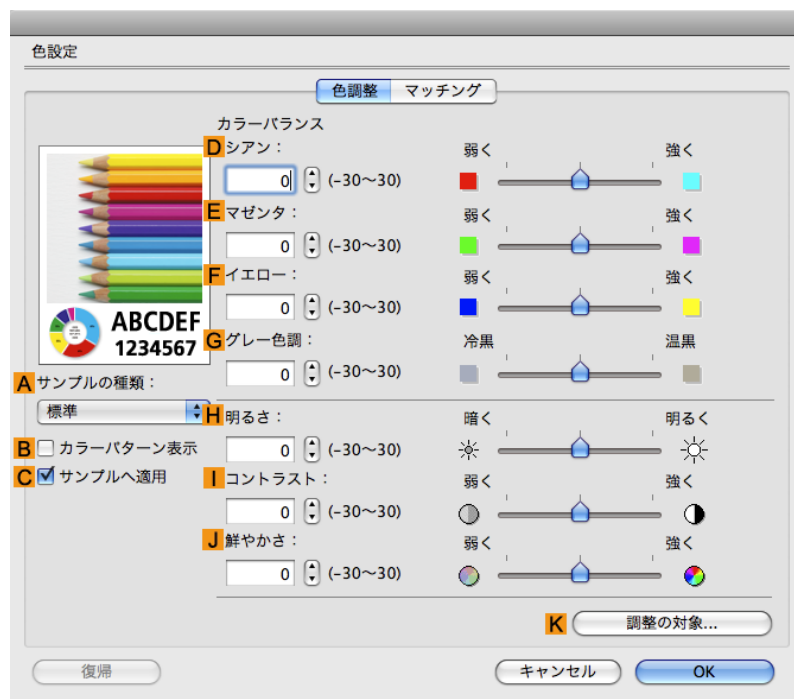
5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

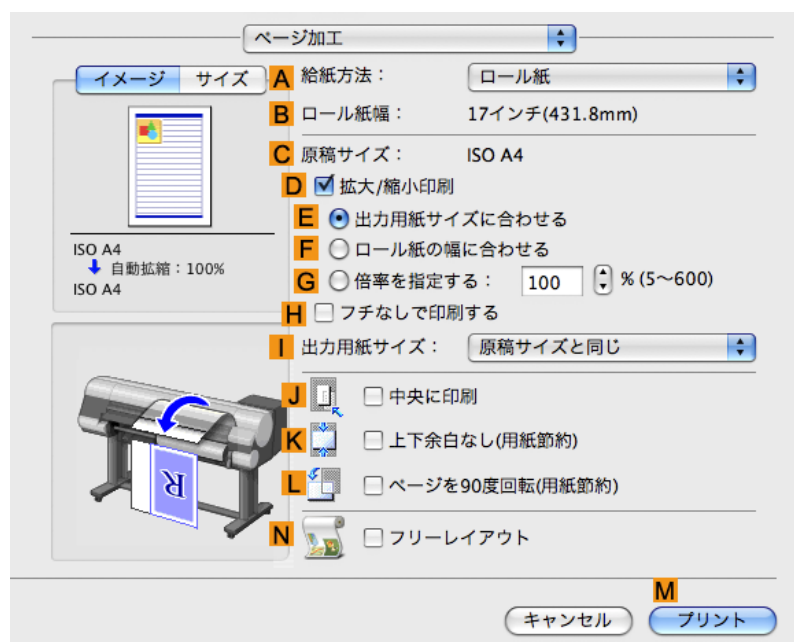
7. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

8. H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

3

9. I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

10. [色調整]パネルで色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

11. [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

12. [ページ加工]パネルを表示します。

13. A[給紙方法]や C[原稿サイズ]の設定を確認します。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する

品質や色などの詳細な印刷設定を行えます。

[詳細設定モード]

印刷する原稿に合わせて、特に重視する要素や色の調整を行うことで、思いどおりの印刷結果を得ることができます。

メモ

- あらかじめ用意されている設定から印刷の目的を選択するだけで最適な設定が行える、[目的設定モード]もあります。
  [目的設定モード]については、以下のトピックを参照してください。
  - 写真やイラストを印刷する →P.29
  - 線画や文字を印刷する →P.19
  - オフィスの文書を印刷する →P.37

[優先画質]

印刷結果において、特に重視する要素を選択します。

優先画質(*1)	説明
[写真・イラスト]	ポスターのように主に写真やイラストで構成される原稿を印刷する場合、または印刷物の写真やイラストの仕上がりを重視する場合の設定です。
[線画・文字]	主に微細な線で構成される CAD 図面などを印刷する場合、または文字を多く含む壁新聞などにおいて細かな文字の仕上がりを重視する場合に選択します。 写真や塗りつぶしの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。その場合は[写真・イラスト]を選択してください。
[オフィス文書]	一般的なアプリーションソフトで作成した書類やプレゼン資料のように、テキストとイラストの混在したドキュメントの読みやすさを重視する場合の設定です。

*1:優先画質の一覧には、選択した用紙の種類によって、その用紙の種類に最適な選択肢が表示されます。

[印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質(*1)	説明	優先画質
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。	[写真・イラスト]
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。	[写真・イラスト] [線画・文字]
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。	[写真・イラスト] [線画・文字] [オフィス文書]
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。	[写真・イラスト] [線画・文字]

*1:印刷品質の一覧には、選択した優先画質によって、その優先画質に最適な選択肢が表示されます。

色の設定

設定項目	選択肢	説明
[カラーモード](*1)	[カラー] [モノクロ] [カラー(CAD)] [モノクロ(黒インク)] [モノクロ(二階調)] [色補正なし]	カラー印刷またはモノクロ印刷を選択します。 (「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 」参照)
[色調整]	[シアン] [マゼンタ] [イエロー] [グレー色調] [明るさ] [コントラスト]	シアン、マゼンタ、イエローの色合いや、明るさ、コントラスト、鮮やかさ、グレーの度合いを調整できます。

設定項目	選択肢	説明
[色調整]	[鮮やかさ]	[カラーモード]で、[モノクロ]または[モノクロ(黒インク)]を選択した場合は、[明るさ]と[コントラスト]だけを調整できます。 [調整の対象]を[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から選択することができます。
カラーマッチングのモード	[ドライバ補正モード] [ICC 補正モード] [ドライバ ICM モード](Windows) [ホスト ICM モード](Windows) [ColorSync モード](Mac OS X)	カラーマッチングのモードを選択できます。
カラーマッチングの方法(*2)	[自動] [写真調] [色差最小] [色差最小(白色点補正なし)] [鮮やかな色に]	カラーマッチングの方法を選択できます。[カラーマッチングのモード]で選択したマッチングモードによって、選択できる項目が異なります。

*1:カラーモードの一覧には、選択した優先画質によって、その優先画質に最適な選択肢が表示されます。
*2:ご使用の OS によって、表示される選択肢の並び順が異なります。

品質の補正

設定項目	説明
[片方向印刷]	罫線のずれやバンド状の色ムラなど印刷品位の低下が発生した場合に、片方向印刷をオンにすると改善される場合があります。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
[細線強調]	CAD など、細い線を見やすくしたい場合に設定します。
[文字鮮鋭化]	細かな文字をくっきりと印刷したい場合に設定します。
[印刷ムラ低減](*1)	印刷ムラを改善したい場合に設定します。
[エコノミー印刷]	オンにすると、通常の印刷よりも印刷品位は下がりますがインクの消費量を抑えて印刷します。 図面を確認のために印刷する場合などにインクを節約したいときにオンにしてください。この機能は、[用紙の種類]、[印刷品質]の設定によっては選択できない場合があります。

*1: Mac OS X の場合に表示されます。

メモ

- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの[印刷品質]で[きれい]または[最高]を選択し、印刷方向を[片方向印刷]に設定して印刷してください。

印刷品質や色を指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

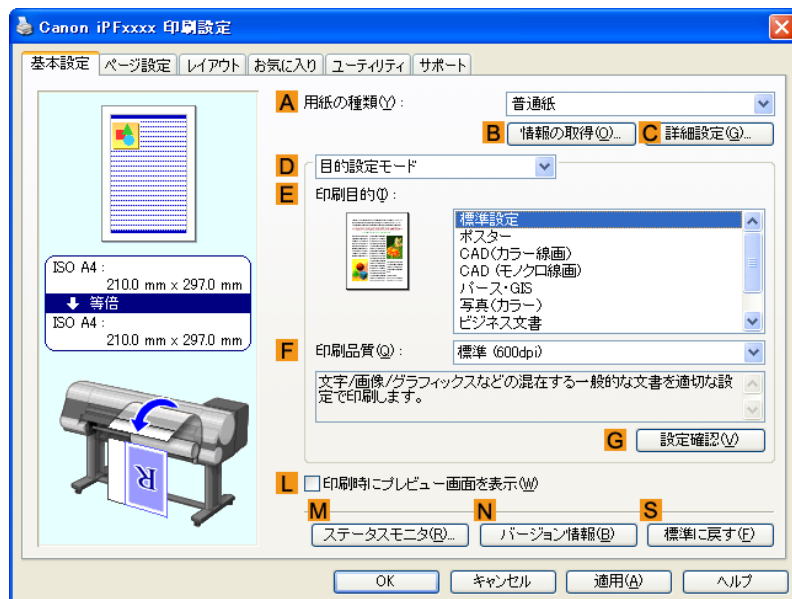
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) →P.56
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X) →P.58

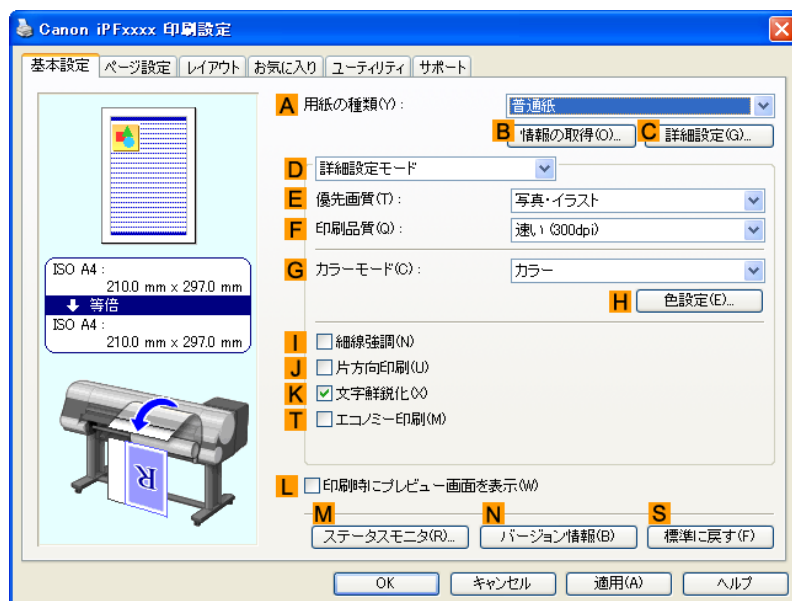
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Windows）

あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、CAD の図面をできる限りきれいな画質で、線や文字をはっきりと印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. E[優先画質]の一覧から[線画・文字]をクリックします。

7. F［印刷品質］の一覧から［きれい（1200dpi）］をクリックします。

メモ

- F［印刷品質］の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

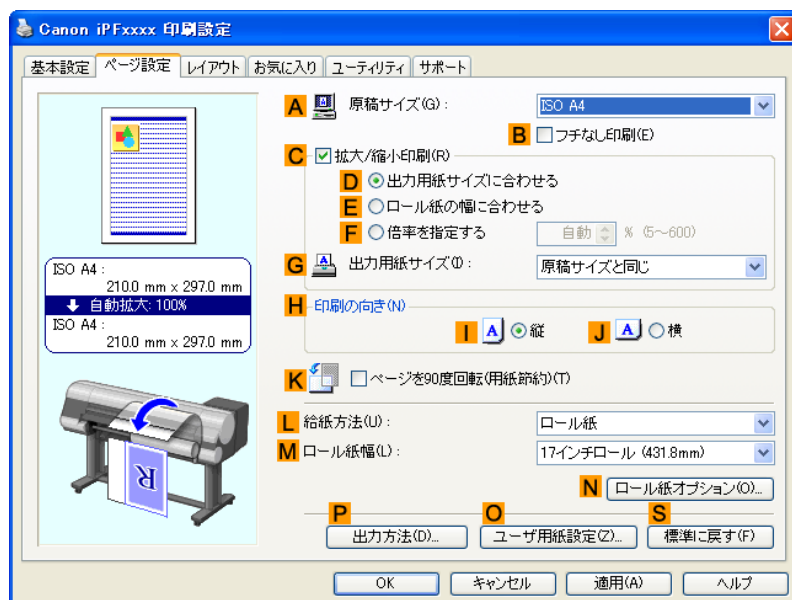
8. G［カラーモード］の一覧から［カラー（CAD）］をクリックします。

9. 色を調整する場合は、H［色設定］をクリックします。

メモ

- 色を調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44」を参照してください。

10. K［文字鮮鋭化］チェックボックスをオンにします。

11. ［ページ設定］タブをクリックし、［ページ設定］シートを表示します。

12. A［原稿サイズ］や L［給紙方法］の設定を確認します。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows）→P.192」を参照してください。

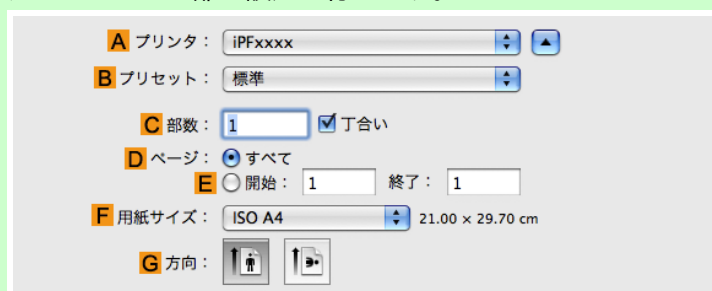
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Mac OS X）

あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、CAD の図面をできる限りきれいな画質で、線や文字をはっきりと印刷する手順を説明します。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

8. E[優先画質]の一覧から[線画･文字]をクリックします。

9. F[印刷品質]の一覧から[きれい(1200dpi)]をクリックします。

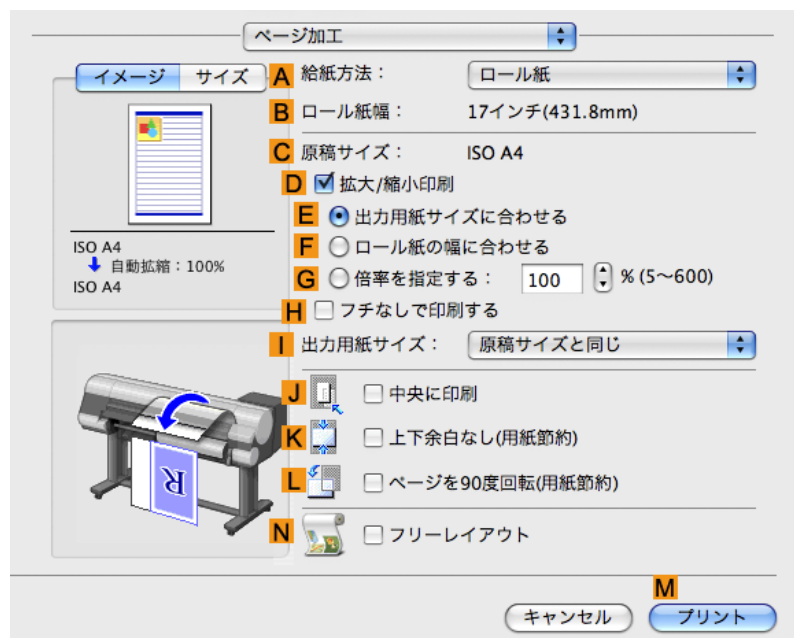
- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

10. H[カラーモード]の一覧から[カラー(CAD)]をクリックします。

11. 色を調整する場合は、**I**[設定]をクリックします。

メモ

- 色を調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44」を参照してください。

12. [ページ加工]パネルを表示します。

13. **A**[給紙方法]や**C**[原稿サイズ]の設定を確認します。

14. 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

用紙を選択する

用紙の種類を選択して印刷する

用途に応じて用紙の種類を選択することで、最適な印刷結果を得ることができます。

[用紙の種類]

プリンタ、プリンタドライバには、用紙の種類の特性に合わせ、それぞれに最適な印刷設定が用意されています。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.570」参照)
- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。Media Configuration Tool については「Media Configuration Tool →P.378 (Windows)」または「Media Configuration Tool →P.502 (Macintosh)」を参照してください。
- プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていない場合、プリンタの操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

用紙の種類が選択できない場合

プリンタにセットした用紙の種類が選択できない場合で、光沢紙、プルーフ系の用紙に印刷する場合はスペシャル 1 から順に 5 まで試してください。黒インクはブラックインクを使用して印刷します。その他の種類の用紙をご使用の場合はスペシャル 6 から順に 10 までを試してください。黒インクはマットブラックインクを使用して印刷します。数字が大きくなるほど発色性は良くなりますが、にじんだりする場合があります。

用紙の種類を選択して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 用紙の種類を選択する(ロール紙) →P.584
- 用紙の種類を選択する(カット紙) →P.601

プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換したときは、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定します。
プリンタドライバでの用紙の設定方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.190
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.398

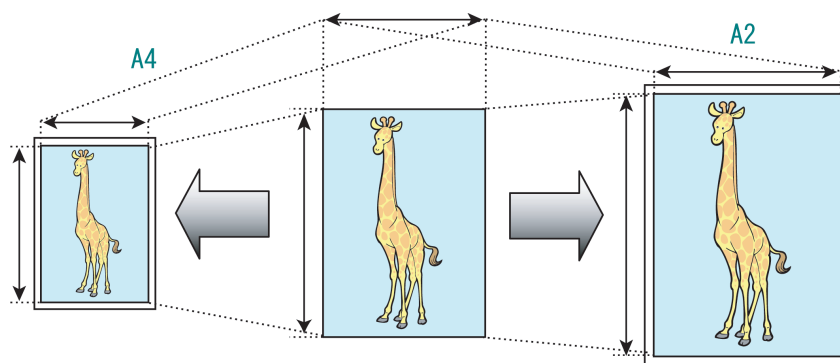
拡大／縮小して印刷する

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

[拡大/縮小印刷]

プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

[出力用紙サイズに合わせる]

用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.62
- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.64

メモ
- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙

- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11. D[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

12. G[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A3]をクリックします。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.192 」を参照してください。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

3

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3（420.0mm）]が表示されていることを確認します。

メモ
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14. E[出力用紙サイズに合わせる]が選択されていることを確認します。

15. I[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A3]をクリックします。

16. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.400 」を参照してください。

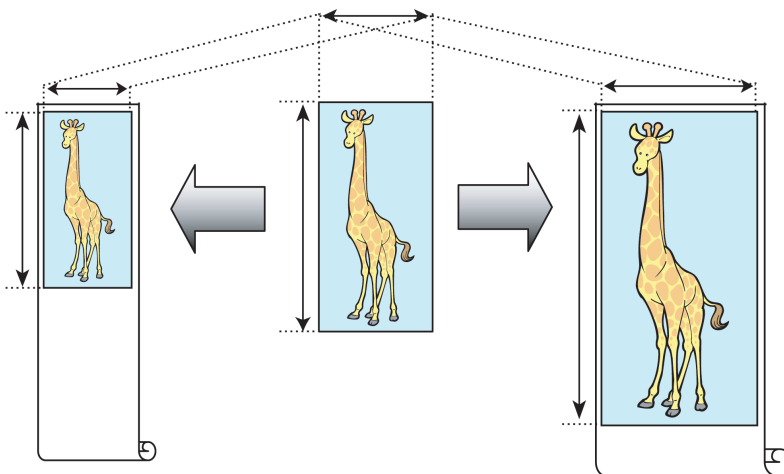
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

[拡大/縮小印刷]

プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

[ロール紙の幅に合わせる]

原稿の幅をロール紙の幅に合わせて、原稿全体を拡大/縮小して印刷します。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.68
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.70

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

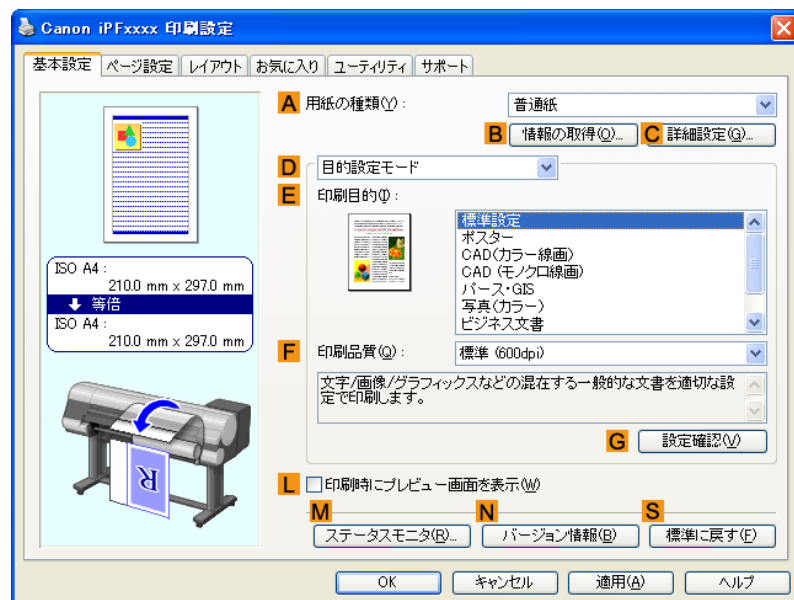
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

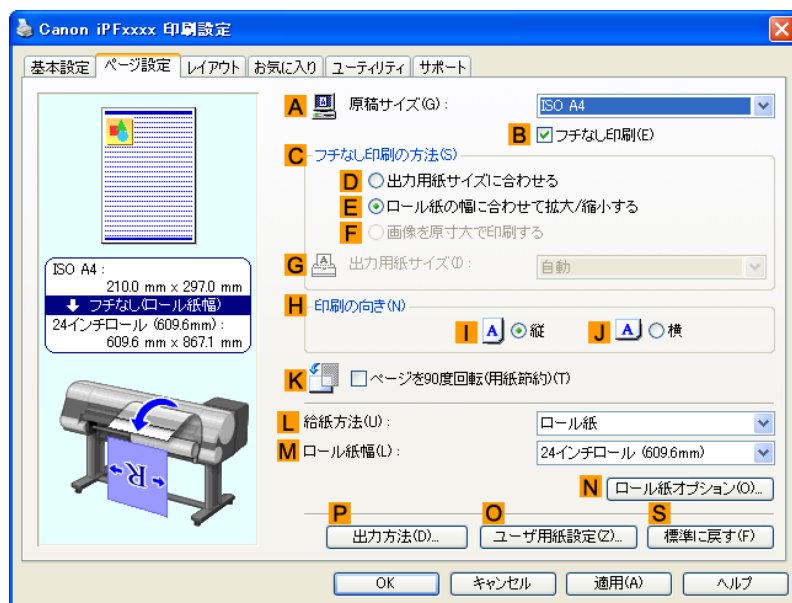
6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートに C[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

10. E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

メモ

- E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックすると、[情報]ダイアログボックスが開きます。[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択し、[OK]をクリックします。
- 設定したロール紙の幅とプリンタにセットしたロール紙の幅が同じであることを確認してください。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

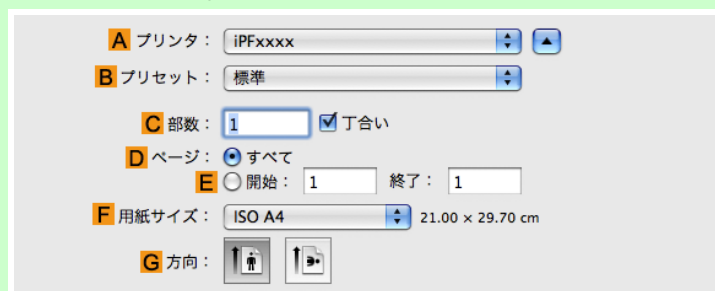
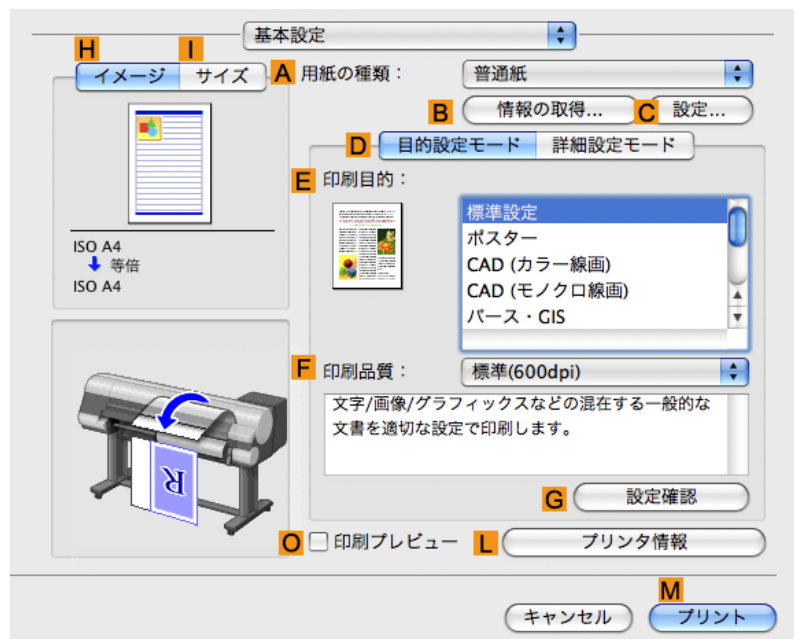
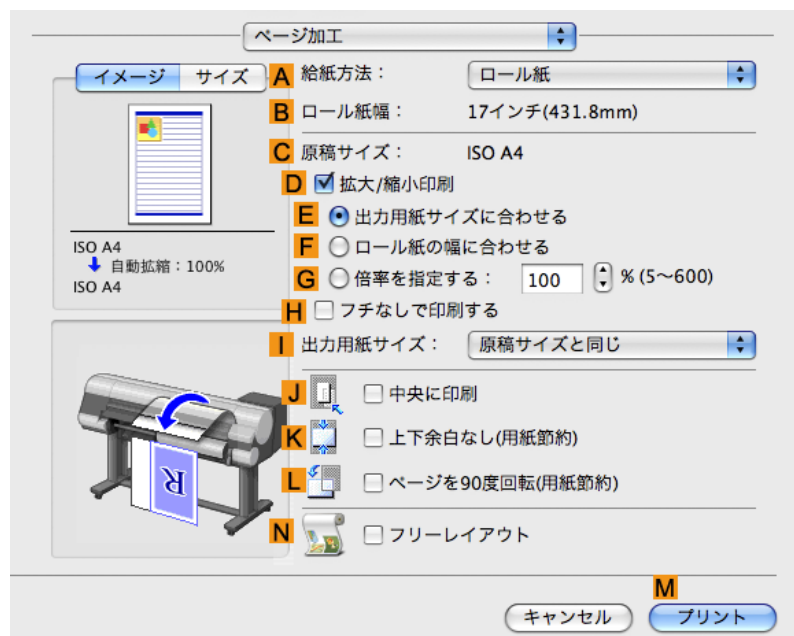
4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14. F[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

15. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

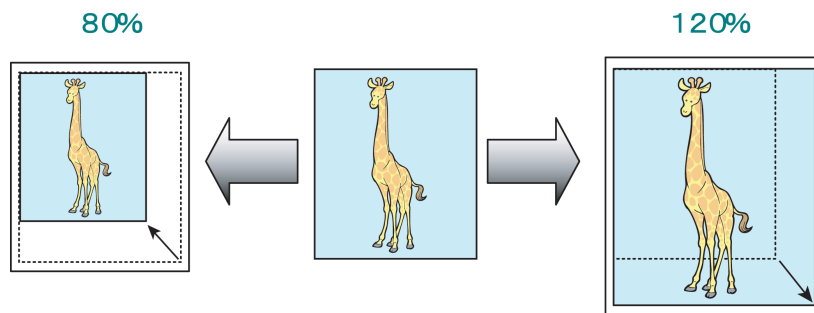
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

[拡大/縮小印刷]

プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

[倍率を指定する]

指定した倍率で原稿を拡大/縮小します。

倍率を指定して拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.74
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.76

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

重要

- フチなしで印刷する場合は、倍率を指定して拡大/縮小して印刷することはできません。

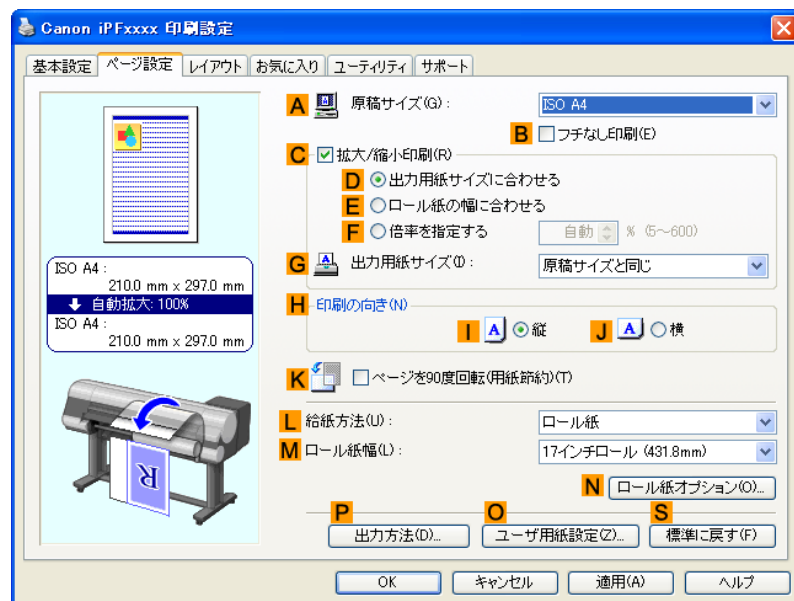
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

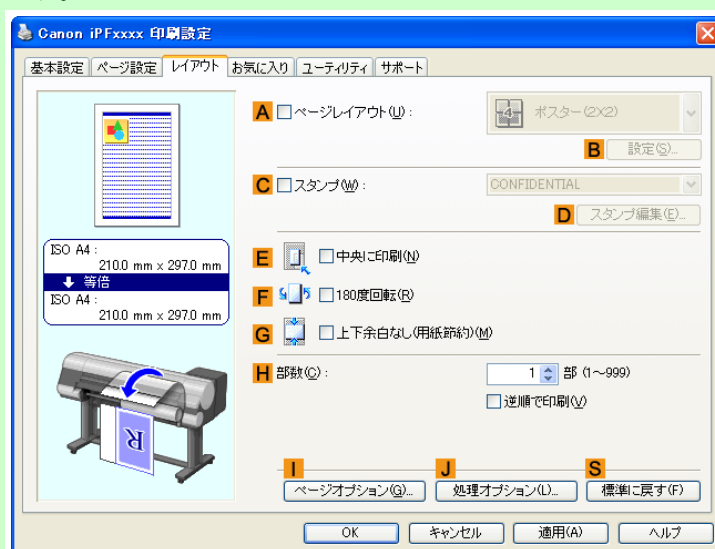
11. G[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A4]をクリックします。

12. F[倍率を指定する]をクリックし、[120]を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、右側と下側の用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、[レイアウト]シートの E[中央に印刷]チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.192 」を参照してください。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14. G[倍率を指定する]をクリックし、[120]を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、J[中央に印刷]チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

15. 印刷の設定を確認し、**M**［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

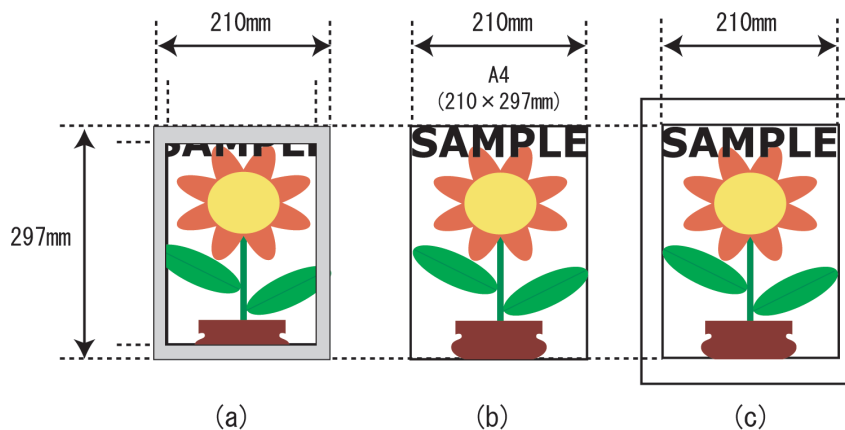
原寸で印刷する

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する

フチなし印刷の場合を除き、プリンタの印刷領域は、選択した用紙のサイズから余白を除いたサイズになります（「印刷領域 →P.713 」参照）。文書や画像を余白なく作成し、そのままのサイズで印刷したい場合は、オーバーサイズの用紙サイズを使用します。
例えば、A4 サイズの原稿を余白なしで A4 サイズに印刷するには、A4 よりも大きなサイズの用紙に印刷し、印刷した後で周囲の余白を切り落とします。

メモ
- 通常の用紙サイズでは、原稿を余白なく作成して印刷した場合、用紙の端の画像が欠けます。

[オーバーサイズ]

通常の用紙サイズの[外側]に、プリンタの動作に必要な余白をとって印刷します。例えば、A4 サイズ（210× 297 mm）の原稿を印刷した場合は、以下のようになります。

- （a） 通常の用紙サイズ:灰色の部分は印刷されません。
- （b） 原稿のサイズ
- （c） オーバーサイズの用紙サイズ:印刷領域が原稿のサイズ（b）と一致します。

重要
- オーバーサイズの用紙サイズに印刷するときは、原稿のサイズに、プリンタの動作に必要な余白を加えたサイズよりも大きな用紙をセットしてください。
  - カット紙の場合:原稿のサイズより、幅 6 mm 以上、高さ 26 mm 以上大きな用紙をセットします。
  - ロール紙の場合:原稿のサイズより、幅 6 mm 以上、長さ 6 mm 以上大きな用紙をセットします。

メモ

- プリンタにセットできる最大の用紙サイズに対しては、オーバーサイズの用紙サイズは使用できません。（「用紙のサイズ →P.573」参照）
- 定形外の用紙に対してオーバーサイズの用紙サイズを設定する場合は、ユーザ定義用紙に用紙サイズを登録してください。[カスタムサイズ]では、オーバーサイズの用紙サイズの設定はできません。（「定形外の用紙に印刷する →P.118」参照）

オーバーサイズで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する（Windows） →P.82
- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する（Mac OS X） →P.83

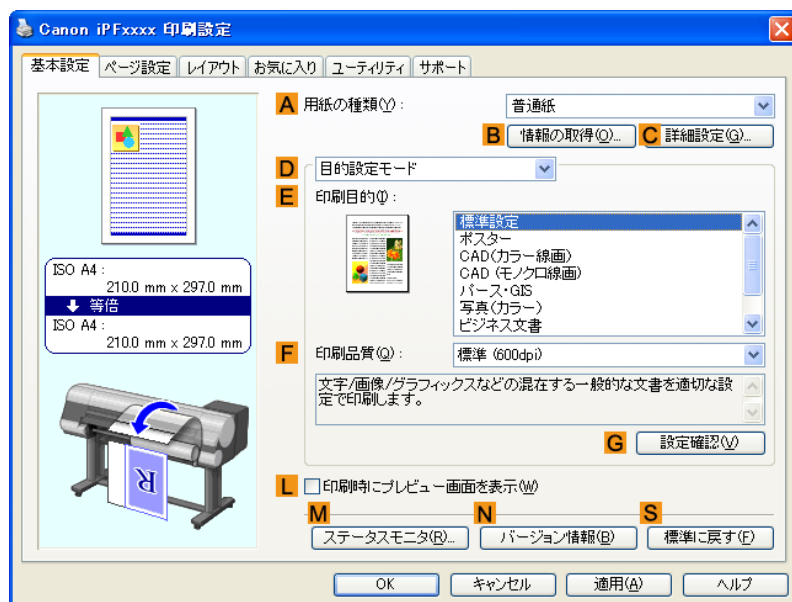
原稿サイズの全面を原寸で印刷する（Windows）

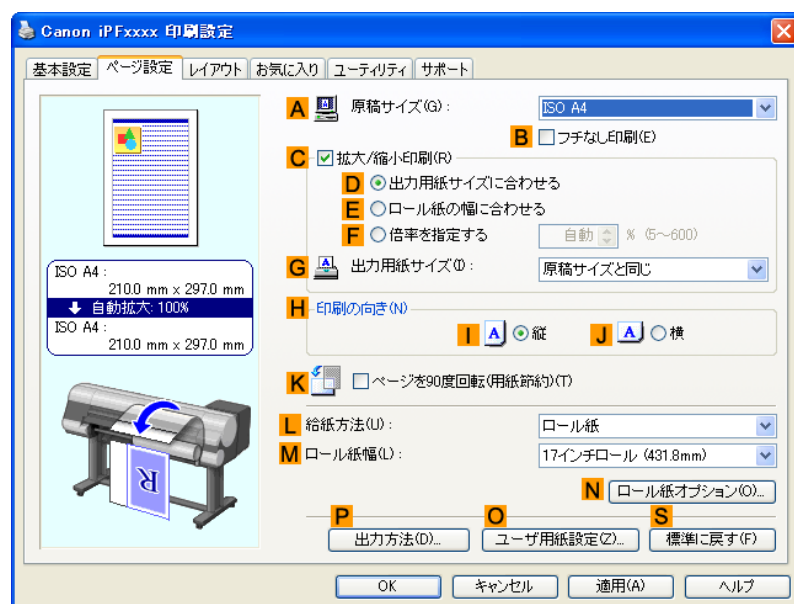
ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。（オーバーサイズ印刷）

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. **O**[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

7. [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで、[サイズ系列]の[オーバーサイズ]チェックボックスをオンにします。

8. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

9. **A**[原稿サイズ]の一覧から[オーバーサイズ - ISO A4]をクリックします。

10. **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. **M**[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X)

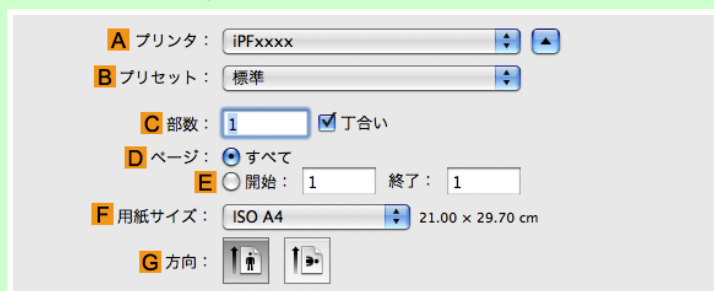
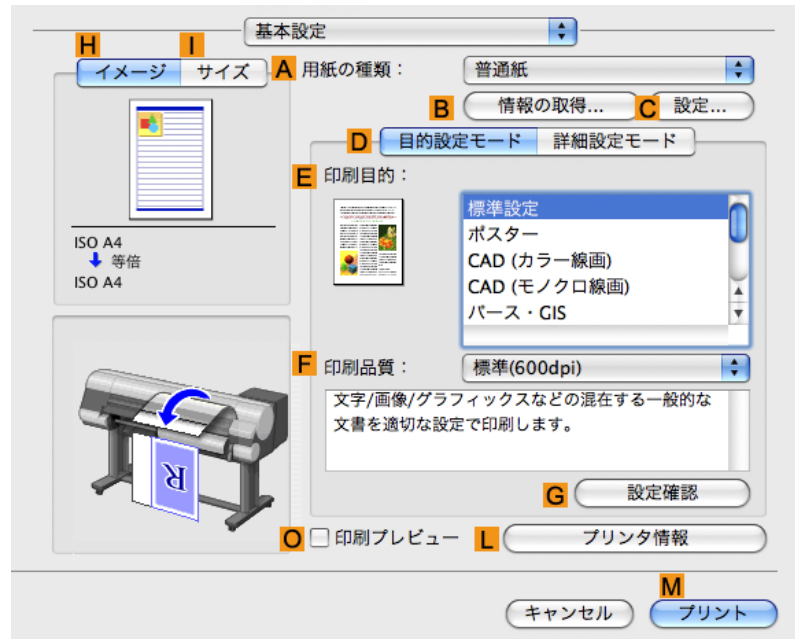
ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。(オーバーサイズ印刷)

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. **B**[対象プリンタ]と **C**[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. **A**[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. **F**[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - オーバーサイズ]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、**F**[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

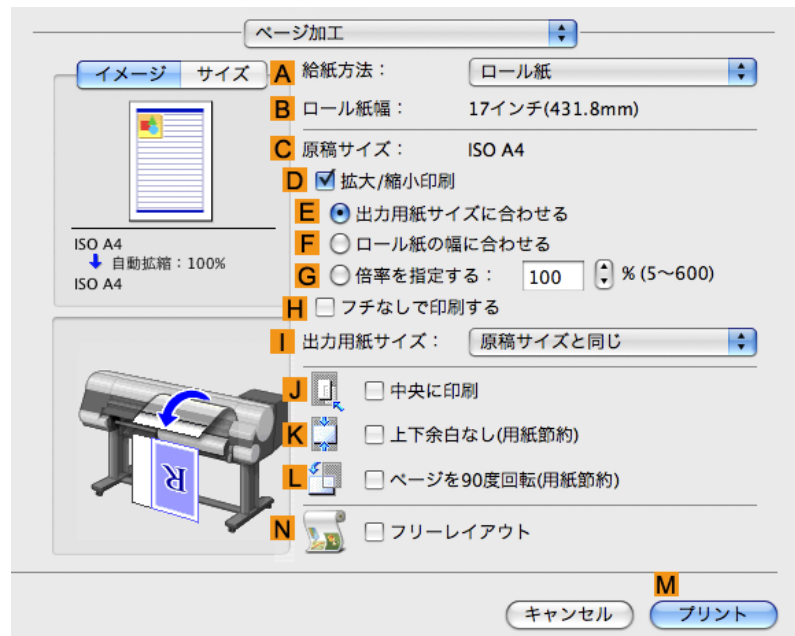
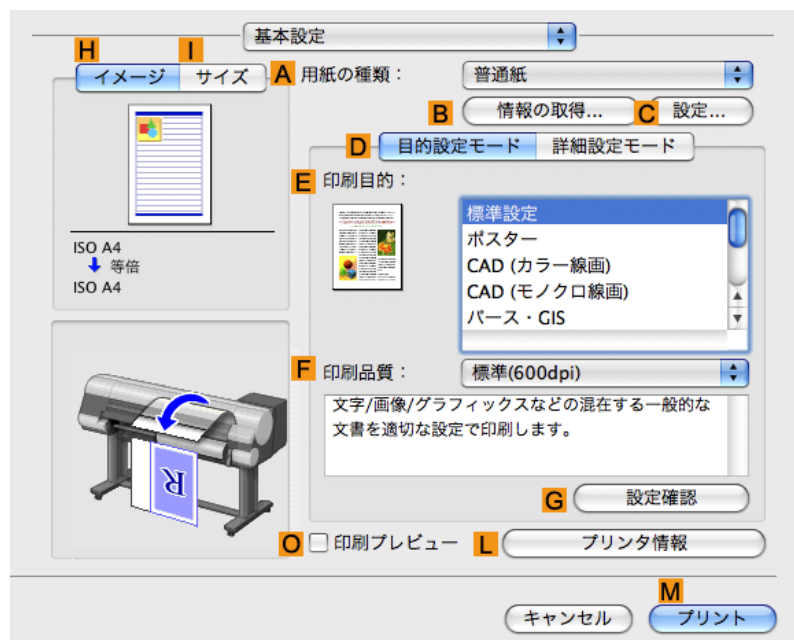
7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - オーバーサイズ]が表示されていることを確認します。

13. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

原寸大のフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白（フチ）のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

[フチなし印刷]

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

重要

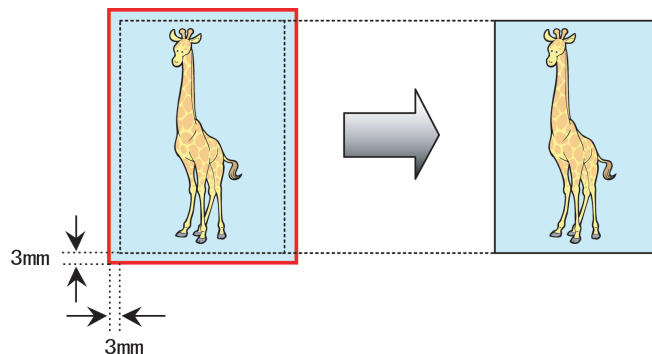
- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙の種類 →P.570」参照）
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する]（Windows のみ）が選択されている場合は[ページを 90 度回転（用紙節約）]を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。

  1. プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[設定]をクリックします。
  2. [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。
- フチなし印刷をする場合は、プラテン上の青いスイッチが●側に設定されていることを確認してください。（「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照）→P.809

[フチなし印刷の方法]

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

[画像を原寸大で印刷する]

原稿の拡大/縮小を行わず、原稿のサイズと同じサイズで印刷します。原稿を用紙のサイズより上下左右に 3 mm ずつ大きく作成する必要があります。

メモ

- 選択できる原稿のサイズには制限があります。
- 用紙サイズに合わせて原稿を作成した場合でも、用紙サイズに合わせたフチなし印刷では、画像が自動的に拡大されます。そのため、わずかに画質が劣化します。画質を重視する場合は、用紙サイズよりも上下左右 3 mm ずつ大きいサイズで原稿を作成し、原寸大のフチなしで印刷してください。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原寸大のフチなしで印刷する（Windows） →P.88
- 原寸大のフチなしで印刷する（Mac OS X） →P.90

原寸大のフチなしで印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1. アプリケーションソフトで、四切（254.0×304.8 mm）よりも上下左右に 3 mm ずつ大きいサイズ（260.0×310.8 mm）で原稿を作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。
- 上下左右の約 3 mm は印刷されません。印刷したい部分が用紙に収まるように原稿を作成してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

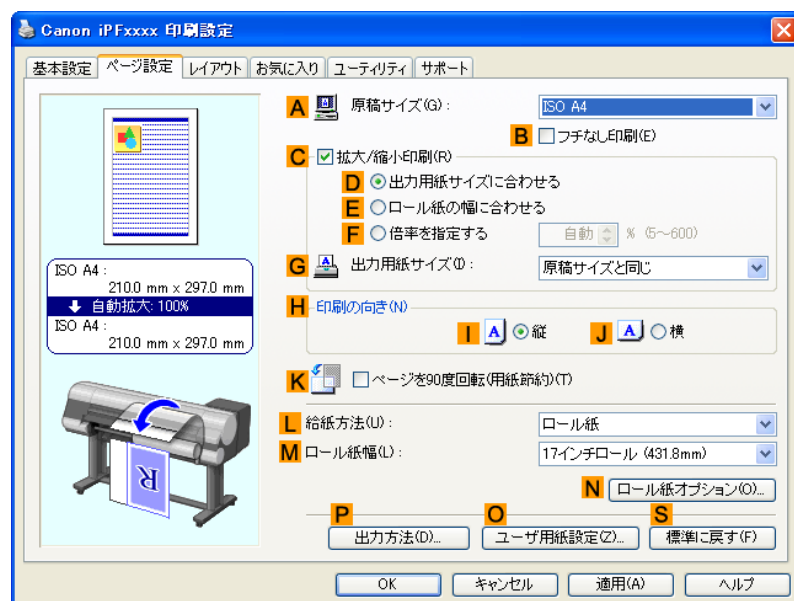
5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6. E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

3

10. B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13. C[フチなし印刷の方法]で、F[画像を原寸大で印刷する]をクリックします。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)- フチなし
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

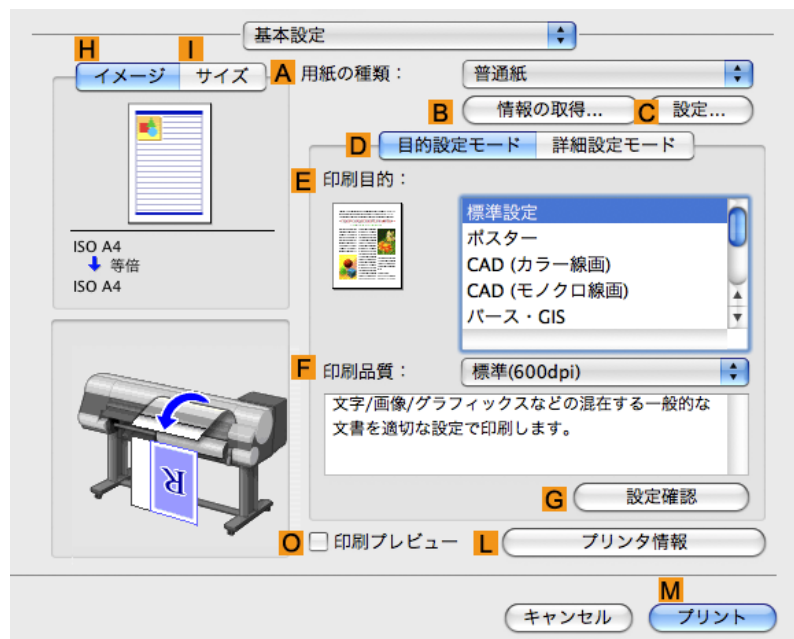
1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

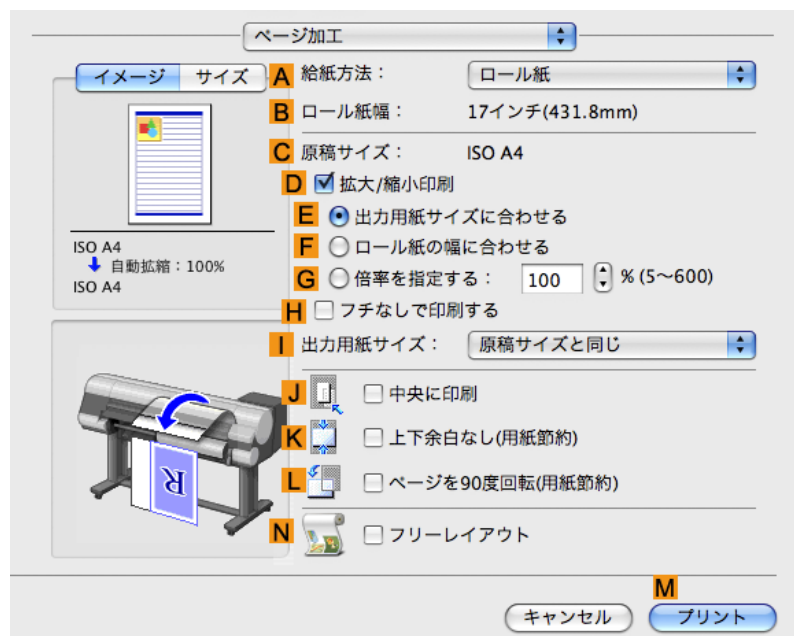
  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここではフチなし印刷が可能な用紙サイズ[四切(10"×12")-フチなし]をクリックします。

メモ

- 原寸大のフチなし印刷が可能な用紙のサイズは、通常のサイズ名の後に[- フチなし]が付いたサイズです。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

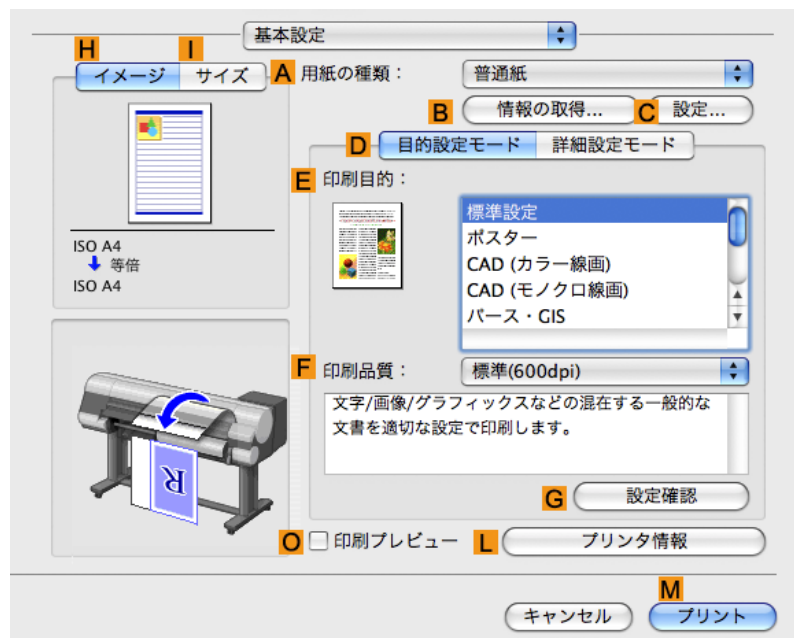
7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. ロール紙幅と原稿サイズが一致していることを確認します。
B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"×12")- フチなし]が表示されていることを確認します。

13. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400」を参照してください。

フチなしで印刷する

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白（フチ）のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

［フチなし印刷］

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

重要

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙の種類 →P.570」参照）
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、［出力用紙サイズに合わせる］または［画像を原寸大で印刷する］（Windows のみ）が選択されている場合は［ページを 90 度回転（用紙節約）］を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの［オートカット設定］で［なし］を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。

  1. プリンタドライバの［基本設定］シートで、［用紙の種類］の［設定］をクリックします。
  2. ［インク乾燥時間］の［ページ間］の一覧からインク乾燥時間を選択します。
- フチなし印刷をする場合は、プラテン上の青いスイッチが●側に設定されていることを確認してください。（「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照） →P.809

［フチなし印刷の方法］

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

[出力用紙サイズに合わせる]

用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

メモ

- 原稿の各辺は、プリンタドライバで用紙サイズに対して上下左右に 3 mm ずつ大きく設定されます。用紙の外にはみ出した 3 mm の部分は印刷されません。

写真やイラストを出力する用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Windows） →P.95
- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Mac OS X） →P.97

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6. E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13. C[フチなし印刷の方法]で、D[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

14. G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

15. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192」を参照してください。

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X)

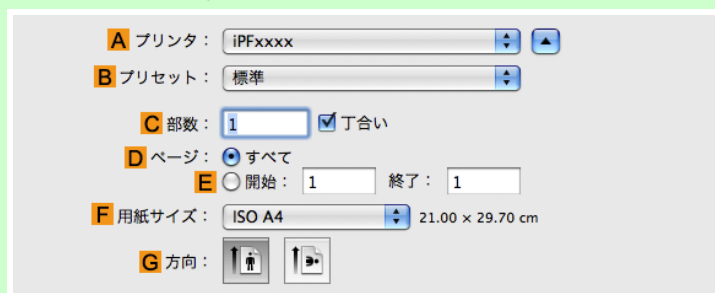
ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

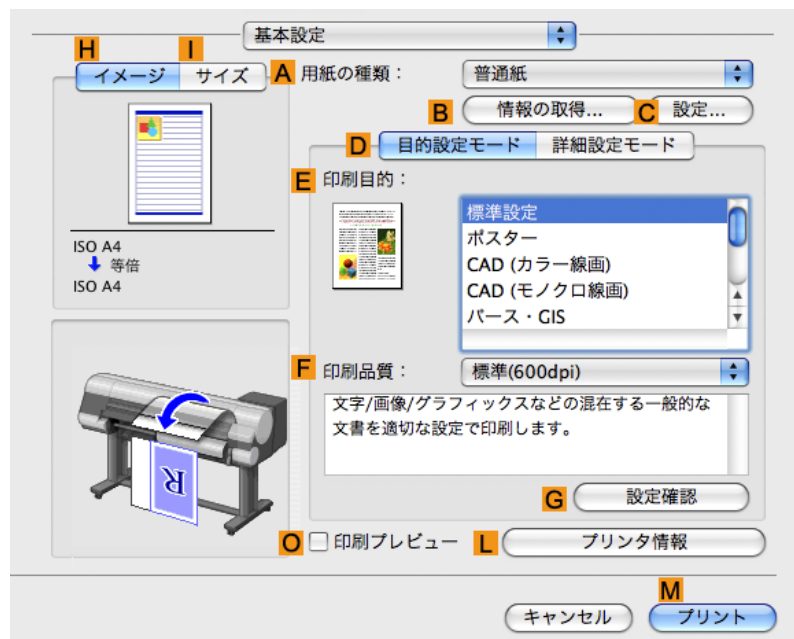
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

メモ

- 用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

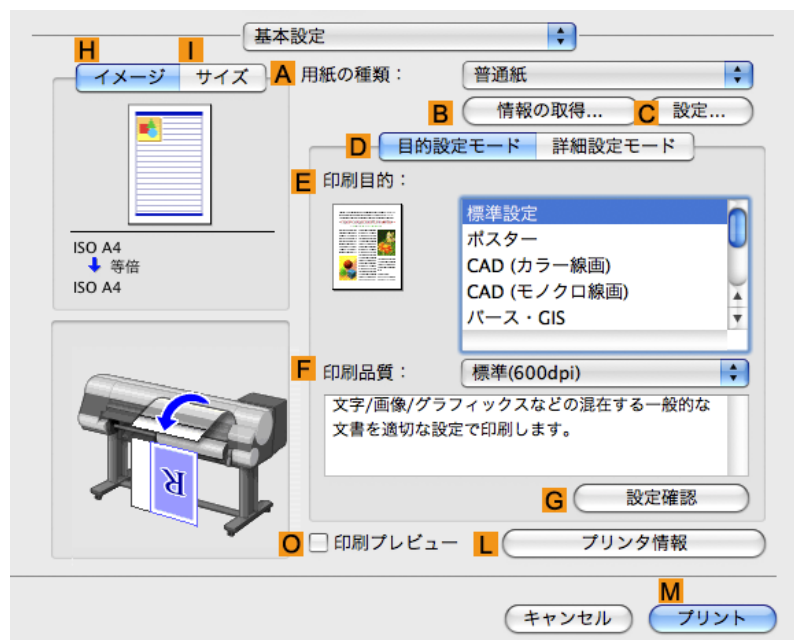
8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

13. [ページ加工]パネルの D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14. H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。

15. D[拡大/縮小印刷]で、E[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

16. I[出力用紙サイズ]の一覧から用紙のサイズ、ここでは[四切(10"×12")- フチなし]をクリックします。

17. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

[フチなし印刷]

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

重要

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.570 」参照)
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。

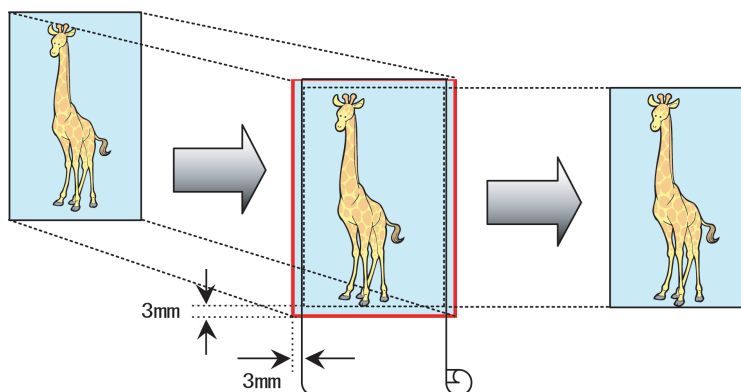
  1. プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[設定]をクリックします。
  2. [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

- フチなし印刷をする場合は、プラテン上の青いスイッチが●側に設定されていることを確認してください。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.809

[フチなし印刷の方法]

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]

原稿の幅をロール紙の幅に合わせて原稿全体を拡大/縮小します。

メモ

- ページを 90 度回転させて印刷する設定と組み合わせて使用すると、原稿の縦の幅とロール紙の幅を合わせて、フチなしで印刷できます。

写真やイラストをロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) →P.102
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.104

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(**Windows**)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

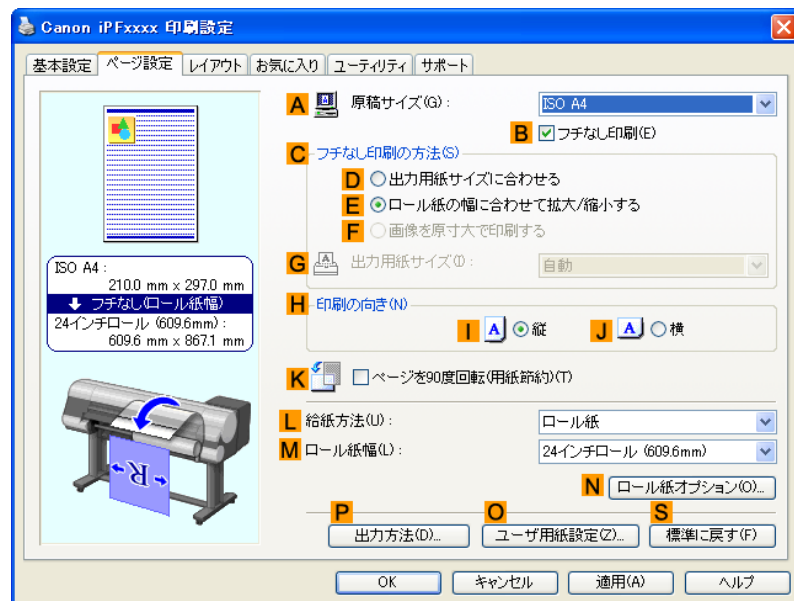
4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6. E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13. C[フチなし印刷の方法]で、E[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]が選択されていることを確認します。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

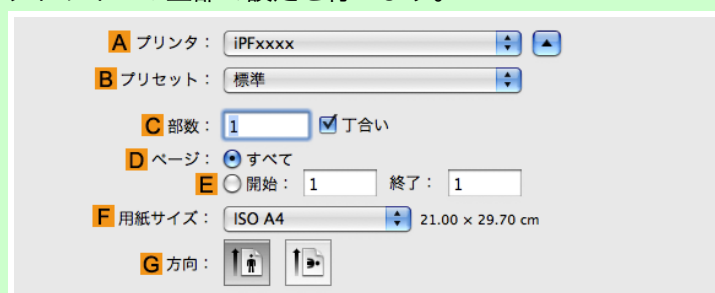
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

メモ

- ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14. H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。
自動的に D[拡大/縮小印刷]で F[ロール紙の幅に合わせる]が選択されます。

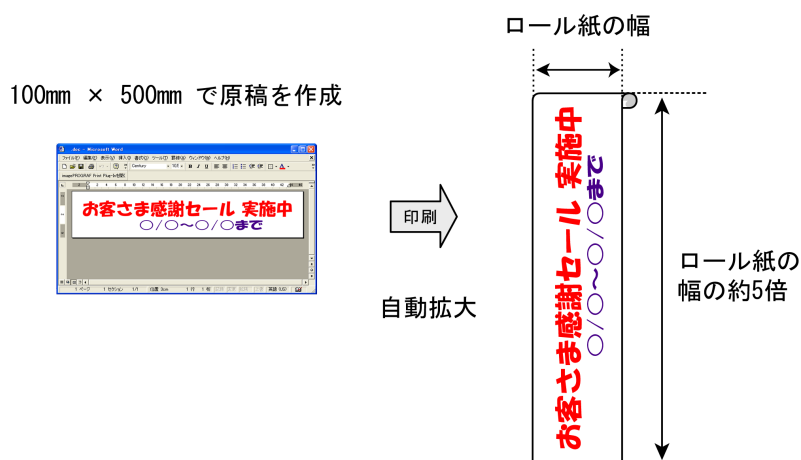
15. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

垂れ幕など定形外の用紙に印刷する

垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）

帯状の原稿をロール紙に印刷し、大きな垂れ幕や横断幕を作成できます。
Microsoft Word などのアプリケーションソフトで任意のサイズで作成した原稿を、プリンタドライバで簡単にロール紙の幅いっぱいに拡大できます。

[ロール紙の幅に合わせる]

自動的に拡大/縮小して印刷する機能を利用して原稿をロール紙の幅いっぱいに拡大すると、簡単に垂れ幕や横断幕を作成できます。

メモ
- このプリンタでは、最大 18.0 m の長さのロール紙に印刷できます。

垂れ幕や横断幕を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Windows） →P.110
- 垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Mac OS X） →P.114

重要
- 印刷を開始する前に、ロール紙の残量を確認してください。プリンタ本体のロール紙の残量検知機能をオンにしている場合は、ロール紙の残量が不足すると、メッセージで表示されます。
- インクの残量が少ない場合は、交換用のインクをご用意ください。
- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの印刷品質を[きれい]または[最高]、印刷方向を[片方向印刷]に設定して印刷してください。

垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Windows）

ここでは、以下を例に、ロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕（バナー）を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:Microsoft Word で作成した横断幕用の原稿
- 原稿サイズ:定形外（100×500 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

垂れ幕や横断幕は以下の手順で印刷できます。

1. ユーザ定義用紙を登録します。
   垂れ幕や横断幕は定形外になる場合が多いので、ユーザ定義用紙を登録します。この例では 100×500 mm の用紙サイズを登録します。
2. アプリケーションソフトで、登録した用紙サイズで原稿を作成します。
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

ユーザ定義用紙を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録する手順を説明します。

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.198 」参照）
2. ［ページ設定］タブをクリックし、［ページ設定］シートを表示します。

3. L［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。
4. O［ユーザ用紙設定］をクリックし、［ユーザ用紙設定］ダイアログボックスを開きます。
5. ［ユーザ定義用紙名］に任意の名前、ここでは［横断幕用］を入力します。
6. ［単位］で、［ミリメートル］をクリックします。

7. [用紙サイズ]の[幅]に[100]、[高さ]に[500]を入力します。

8. [登録]をクリックし、[横断幕用]という名前の用紙サイズを登録します。

9. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

10. プリンタドライバのダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 用紙サイズは、[カスタムサイズ]を使用することもできます。[カスタムサイズ]の設定は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。
  詳細については、「定形外の用紙に印刷する(Windows) →P.118 」を参照してください。

アプリケーションソフトで原稿を作成する

ここでは、登録したユーザ定義用紙を使用し、Microsoft Word で原稿を作成する手順を説明します。

1. Microsoft Word を起動します。

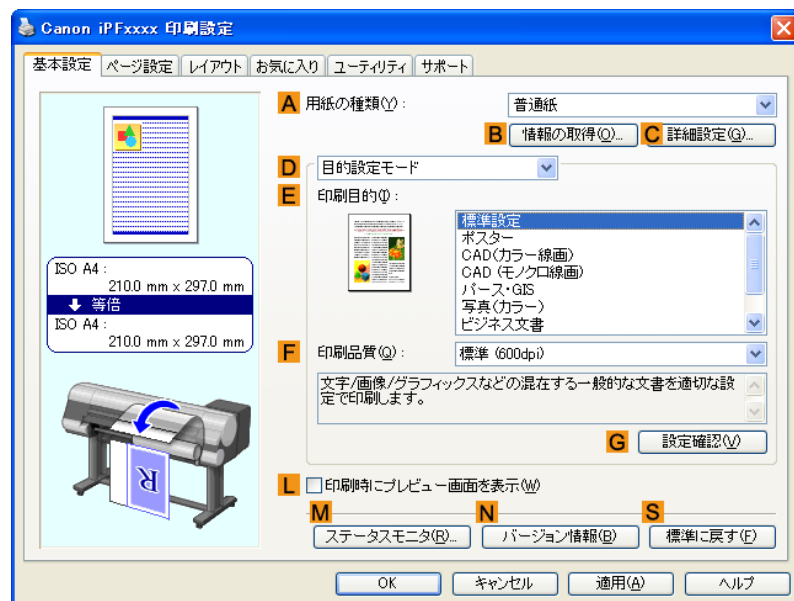
2. [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択し、[ページ設定]ダイアログボックスを開きます。

3. [用紙サイズ]の一覧から、登録したユーザ定義用紙、ここでは[横断幕用]をクリックします。

重要

- [横断幕用]が表示されない場合は、印刷に使用するプリンタとしてこのプリンタが選択されていることを確認してください。
- Microsoft PowerPoint など、登録した用紙サイズを選択できないアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの[ユーザー設定]などで、100×500 mm を指定します。

4. 印刷の向きを横向きに設定します。

5. 原稿を作成します。

印刷する

ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

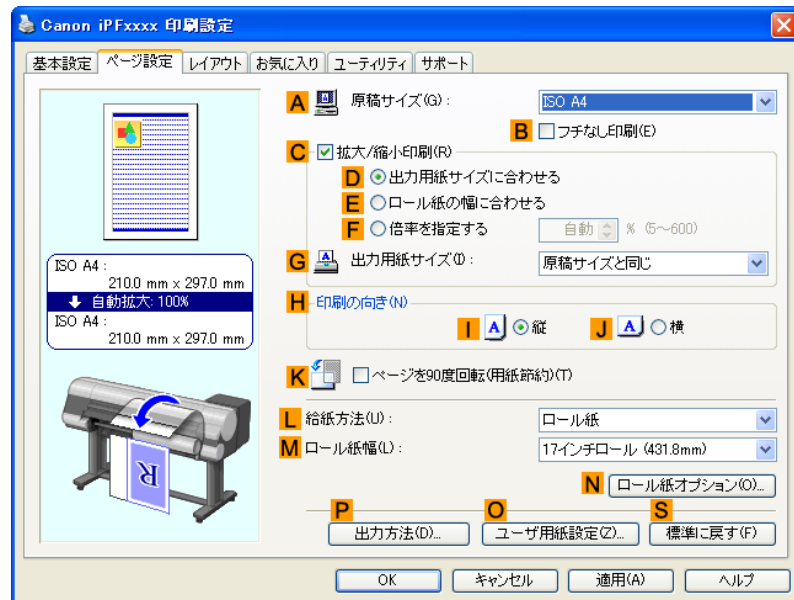
1. Microsoft Word のメニューから[印刷]を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧から、登録した[横断幕用]をクリックします。

8. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートに C[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチロール(406.4mm)]をクリックし、[OK]をクリックします。

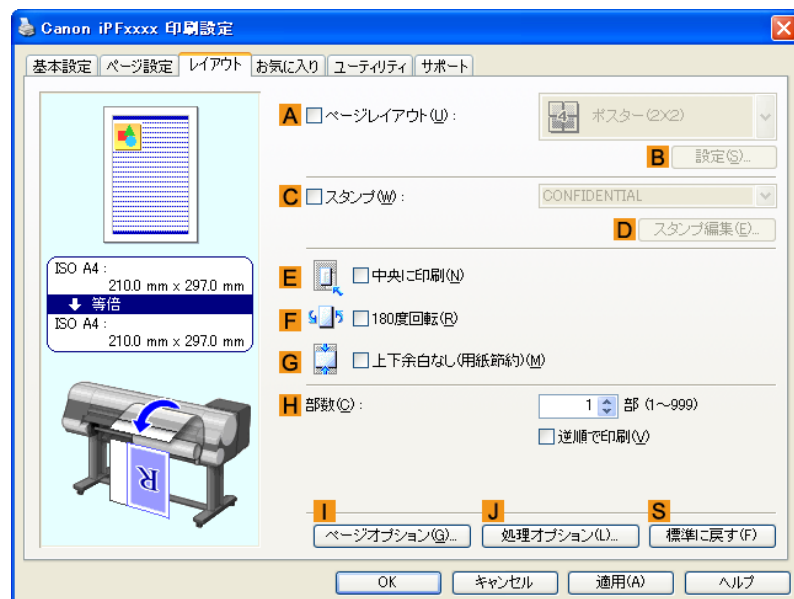
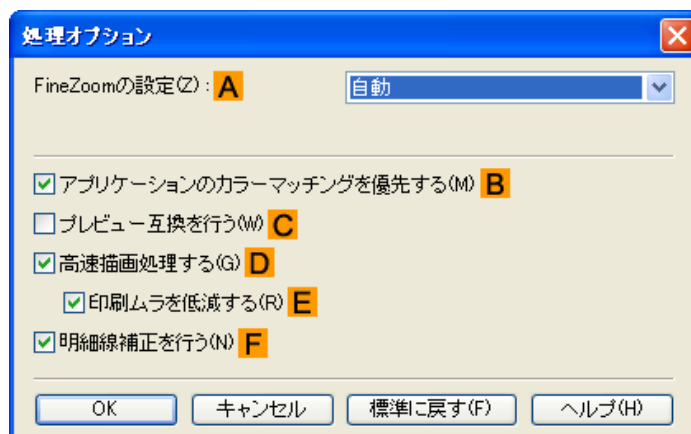
12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

3

印刷が正しく行われない場合、以下の設定を行うと印刷できることがあります。

1. [レイアウト]シートの J[処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスを開きます。

2. [FineZoom の設定]の一覧から[する]をクリックします。

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、ロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕(バナー)を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:横断幕用の原稿
- 原稿サイズ:定形外(100×500 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

垂れ幕や横断幕は以下の手順で印刷できます。

1. アプリケーションソフトで垂れ幕や横断幕用の原稿を作成します。
2. [カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.3.9〜10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6)を登録します。

垂れ幕や横断幕は定形外になる場合が多いので、[ページ設定]で[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.3.9～10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6)を登録します。この例では 100×500 mm の用紙サイズを登録します。

3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

メモ

- 以下の操作手順は Mac OS X 10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

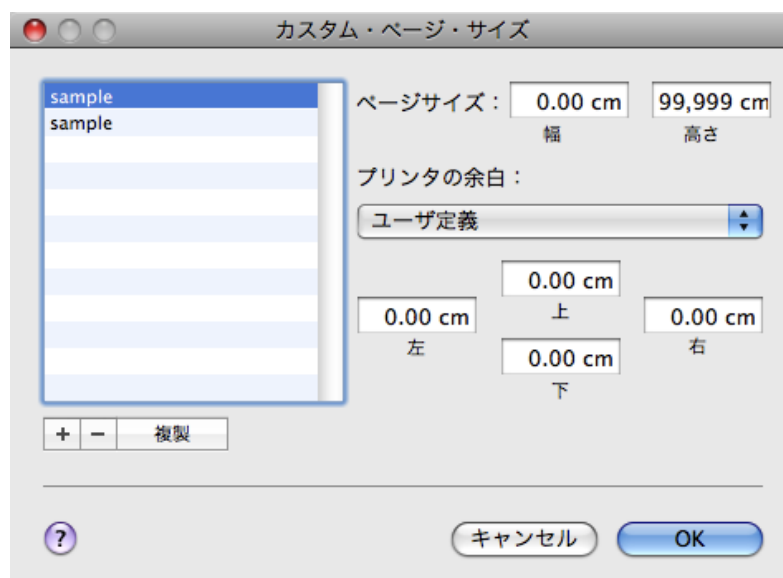
[カスタム・ページ・サイズ]を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録し、登録した用紙サイズで原稿を作成する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

3. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

4. C[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを開きます。

5. 左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、登録するページサイズの名前、ここでは[100*500]を入力します。
左側の一覧に[名称未設定]が表示されない場合は、左側の一覧の下にある[+]をクリックします。

6. [ページサイズ]の[幅]に[10]、[高さ]に[50]を入力します。単位は cm で入力します。

7. [プリンタの余白]で、上下左右の余白に[0.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8. [OK]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

9. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[100*500]をクリックします。

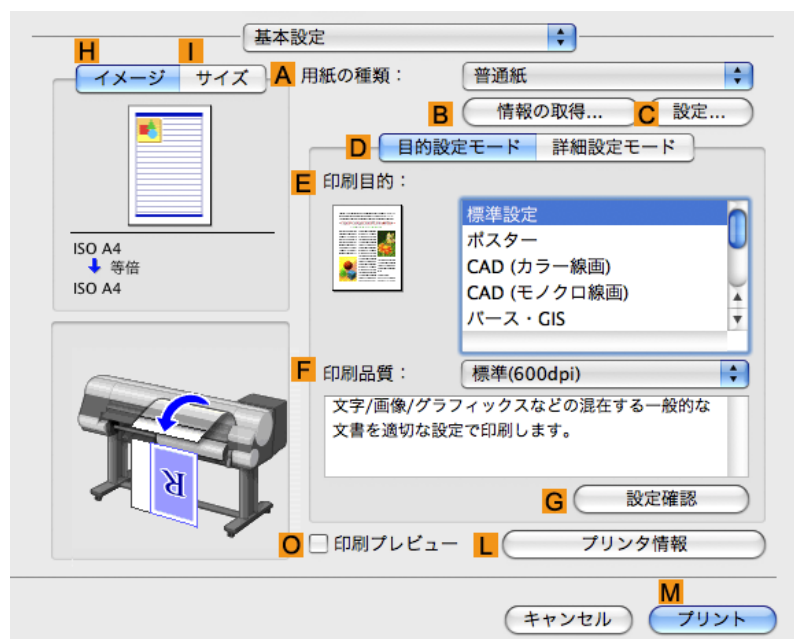
10. D[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

11. F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

印刷する

ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [基本設定]パネルを表示します。

3. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

4. E[印刷目的]を一覧から選択します。

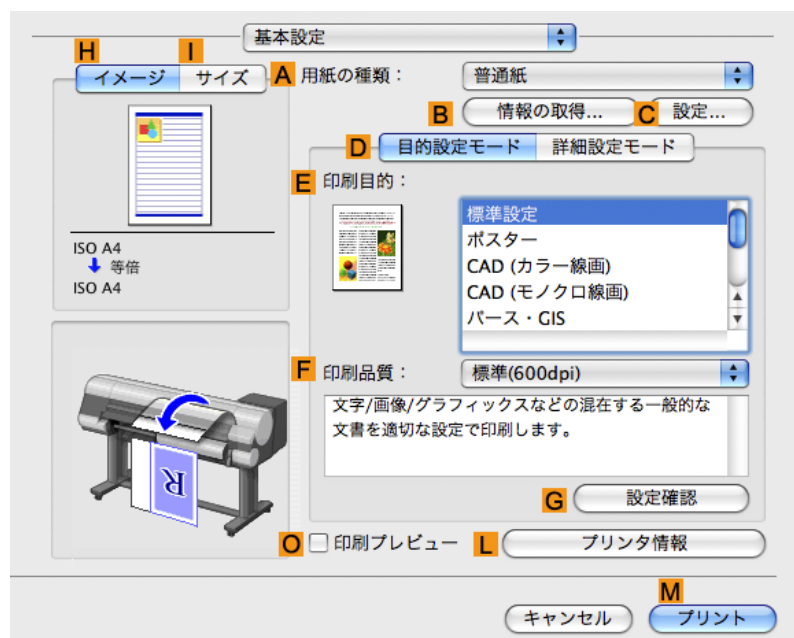
5. F[印刷品質]を一覧から選択します。

6. [ページ加工]パネルを表示します。

7. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

9. C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[100*500]が表示されていることを確認します。

10. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11. F[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する

用紙のサイズを指定して、定形外の用紙に印刷できます。
定形外の用紙のサイズに印刷するには、以下の 2 種類の方法があります。

プリンタドライバに定形外の用紙サイズを登録する

一度登録すれば、定形の用紙のサイズと同様に、用紙サイズの一覧から選択して使用できます。

メモ
- Windows では、プリンタドライバに登録する定形外のサイズをユーザ定義用紙、Mac OS X では[カスタムサイズ]と呼びます。

定形外の用紙サイズを一時的に設定する

プリンタドライバで一時的に設定するサイズのため、アプリケーションソフトを終了した時点で無効になります。定形外の用紙の設定を常に使用したい場合は、プリンタドライバに登録することをお勧めします。

メモ
- Windows では、プリンタドライバに一時的に設定する用紙サイズを[カスタムサイズ]と呼びます。
- Windows のみ設定することができます。

定形外の用紙に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 定形外の用紙に印刷する(Windows) →P.118
- 定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) →P.122

定形外の用紙に印刷する(Windows)

ここでは、定形外の用紙に印刷する 2 種類の手順を説明します。

- [カスタムサイズ]で印刷する
- ユーザ定義用紙で印刷する

[カスタムサイズ]で印刷する

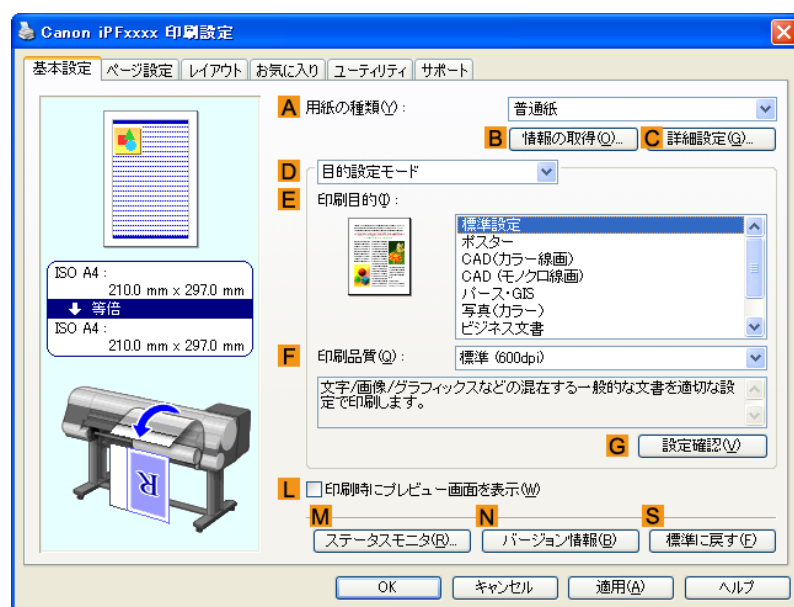
ここでは、以下を例に、[カスタムサイズ]を使用して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:定形外の正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

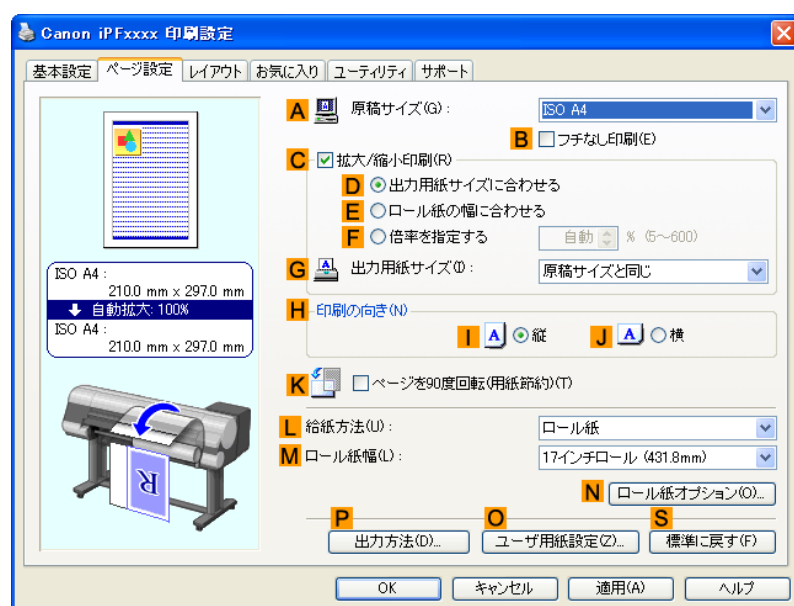
1. プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

9. A[原稿サイズ]の一覧から[カスタムサイズ]をクリックし、[カスタムサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。

10. [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11. [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

12. [OK]をクリックし、[カスタムサイズ設定]ダイアログボックスを閉じます。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192」を参照してください。

3

ユーザ定義用紙で印刷する

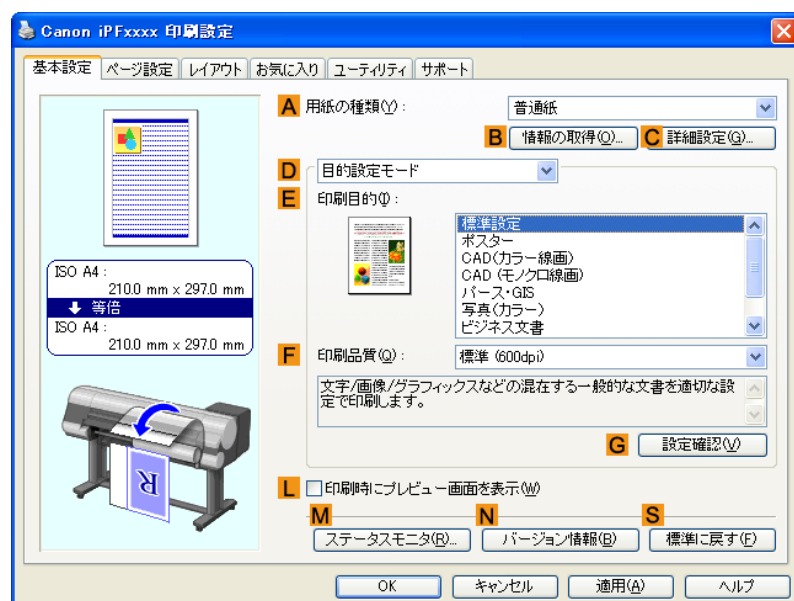
ここでは、以下を例に、ユーザ定義用紙を登録して印刷する手順を説明します。定形外の原稿サイズを[正方形430]という名前でユーザ定義用紙として登録します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

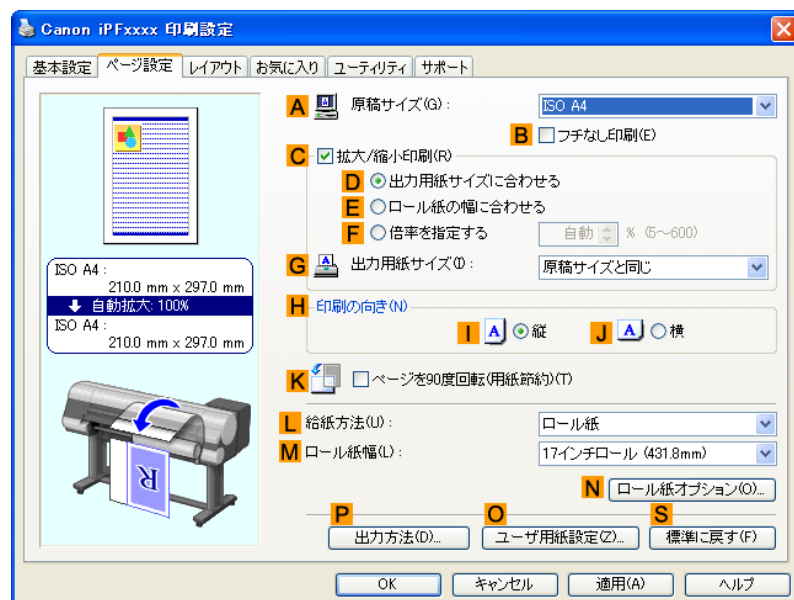
1. プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

9. [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[正方形 430]と入力します。

10. [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11. [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

メモ

- [幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにした場合、[幅]または[高さ]のどちらか一方に入力すると、元の幅と高さの比率に応じて、もう一方が自動的に変更されます。

12. [登録]をクリックし、[正方形 430]を登録します。

13. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

14. L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

15. A[原稿サイズ]の一覧から、登録した[正方形 430]をクリックします。

16. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する（Mac OS X）

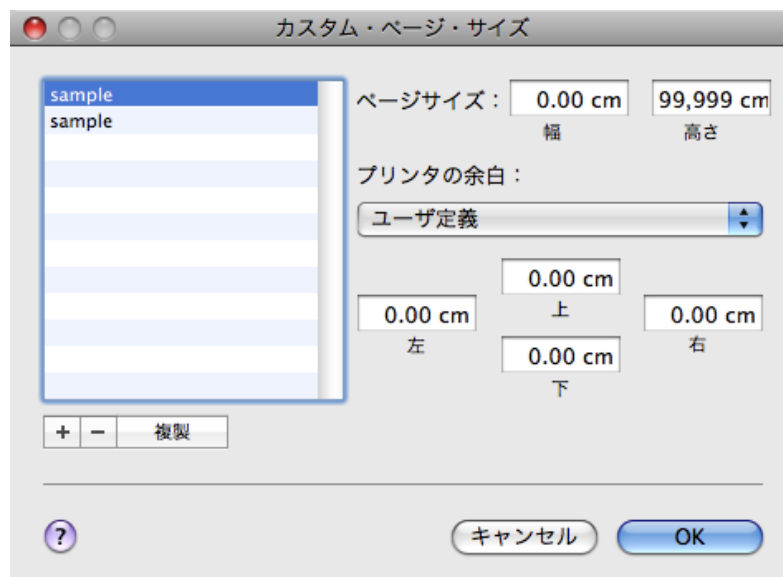
ここでは、以下を例に、[カスタム・ページ・サイズ]（Mac OS X 10.3.9～10.5）/[カスタム用紙サイズ]（Mac OS X 10.6）を登録して印刷する手順を説明します。定形外の用紙サイズを[430*430]という名前で[カスタム・ページ・サイズ]（Mac OS X 10.3.9～10.5）/[カスタム用紙サイズ]（Mac OS X 10.6）として登録します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形（430×430 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形（430×430 mm）

メモ

- 以下の手順は Mac OS X 10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

1. アプリケーションソフトで原稿を作成します。
2. プリンタに正方形（430×430 mm）の用紙をセットします。
3. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

4. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。
5. C[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを開きます。

6. [ページサイズ]で、原稿の幅と高さ、ここでは[幅]と[高さ]に[43.00 cm]を入力します。

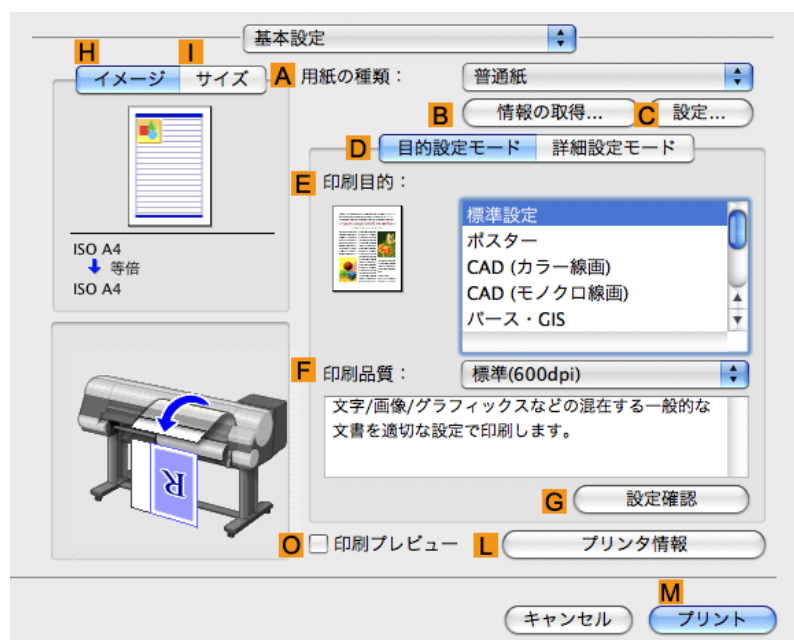
7. [プリンタの余白]で、上と左右の余白に[0.5]、下の余白に[2.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8. [カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスの左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、用紙サイズの名前、ここでは[430*430]を入力します。

9. [OK]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

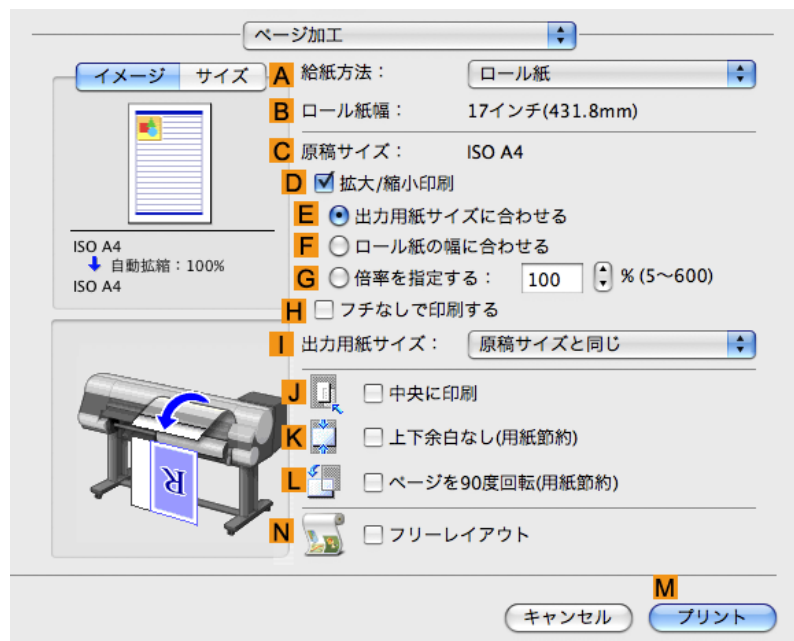
10. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[430*430]をクリックします。

11. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

12. [基本設定]パネルを表示します。

13. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

14. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

15. F[印刷品質]を一覧から選択します。

16. [ページ加工]パネルを表示します。

17. A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

18. C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[430*430]が表示されていることを確認します。

19. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

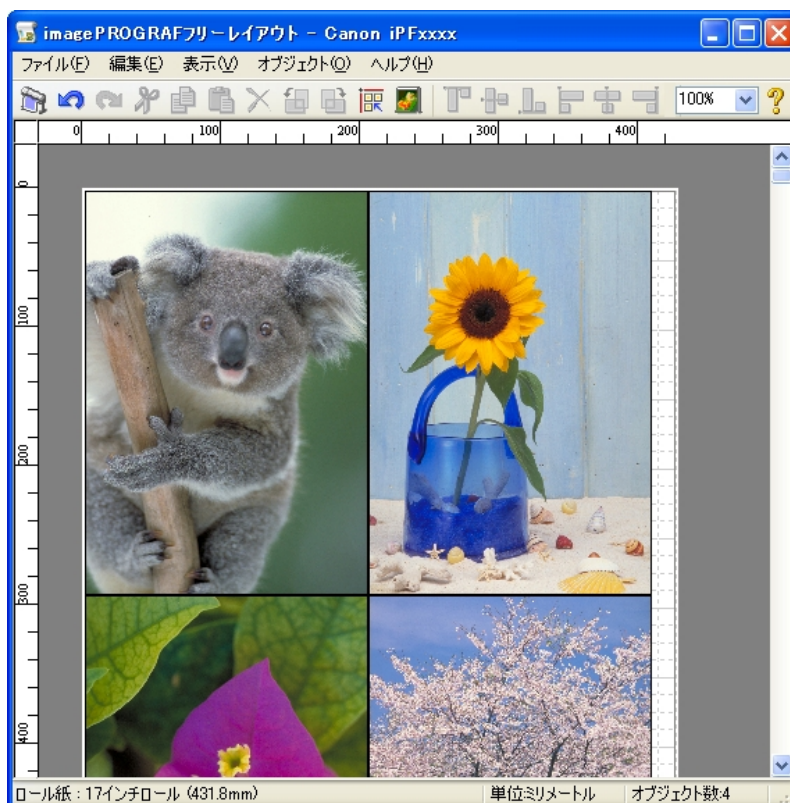
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.400 」を参照してください。

分割して印刷する／まとめて印刷する

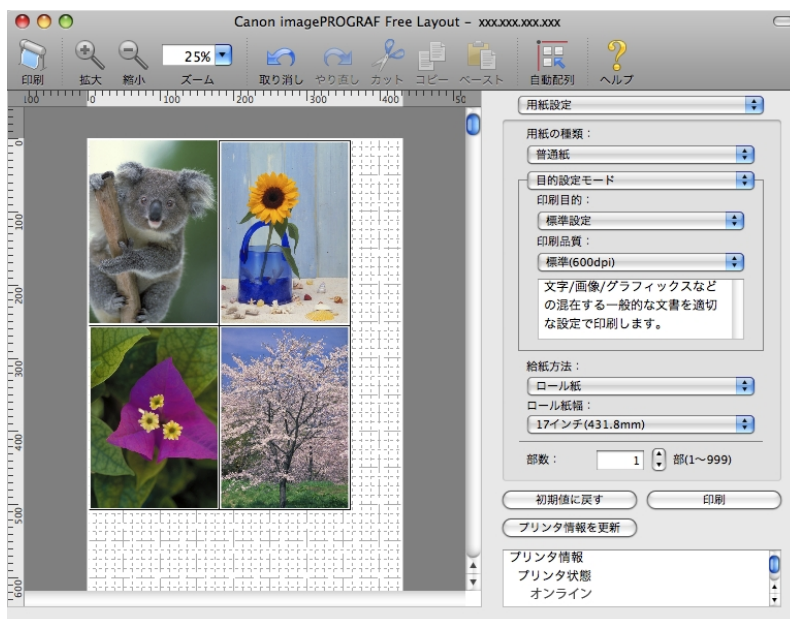
複数の原稿を並べて印刷する

ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを並べてレイアウトすることで、表現力の豊かなプレゼンテーション資料やわかりやすい会議用の資料など、さまざまな印刷物を作成できます。

［フリーレイアウト］（Windows）

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

> **重要**
> • フリーレイアウトは 64 ビット版の Windows では使用できません。

[imagePROGRAF Free Layout]（Macintosh）

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

複数のアプリケーションソフトの原稿を配置して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 複数の原稿を並べて印刷する（Windows） →P.126
- 複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X） →P.128

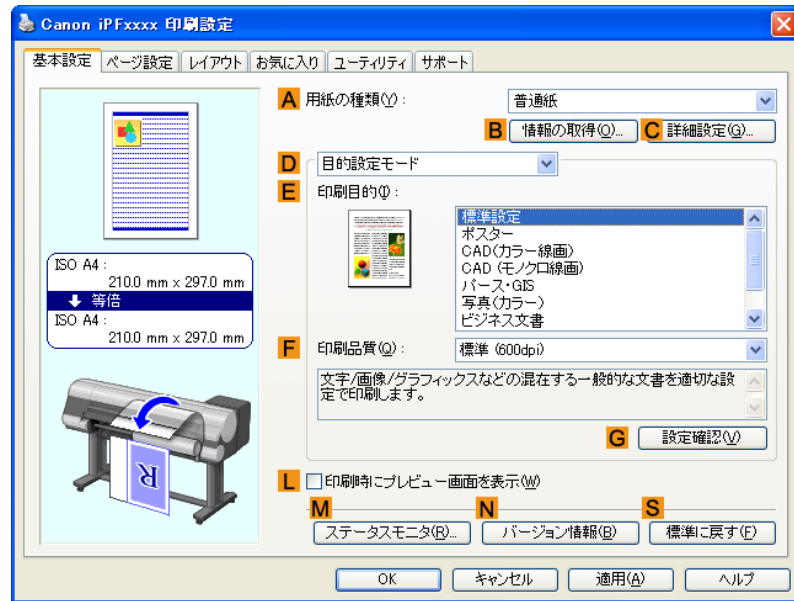
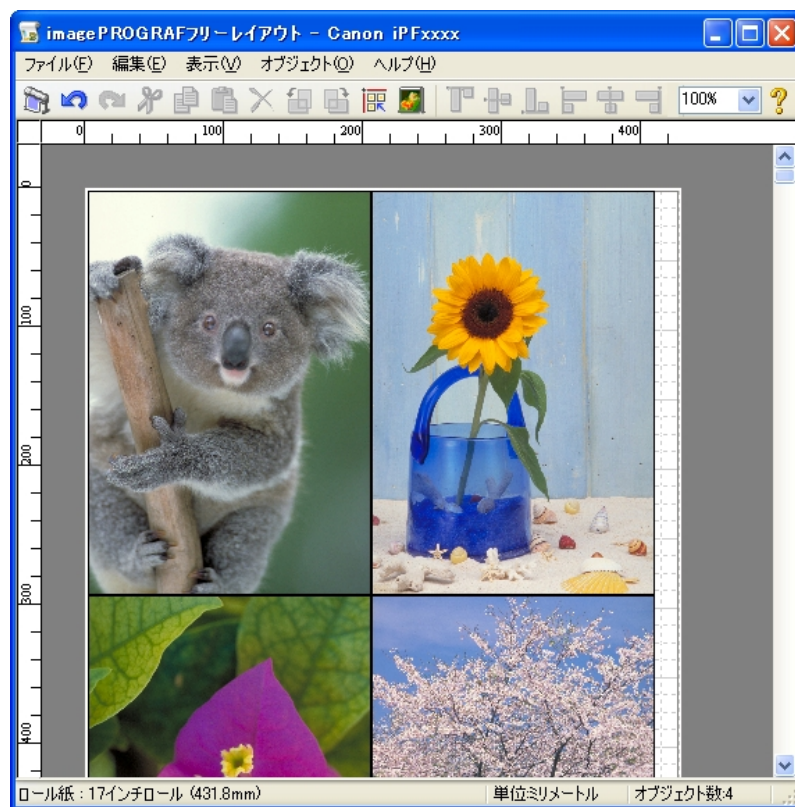
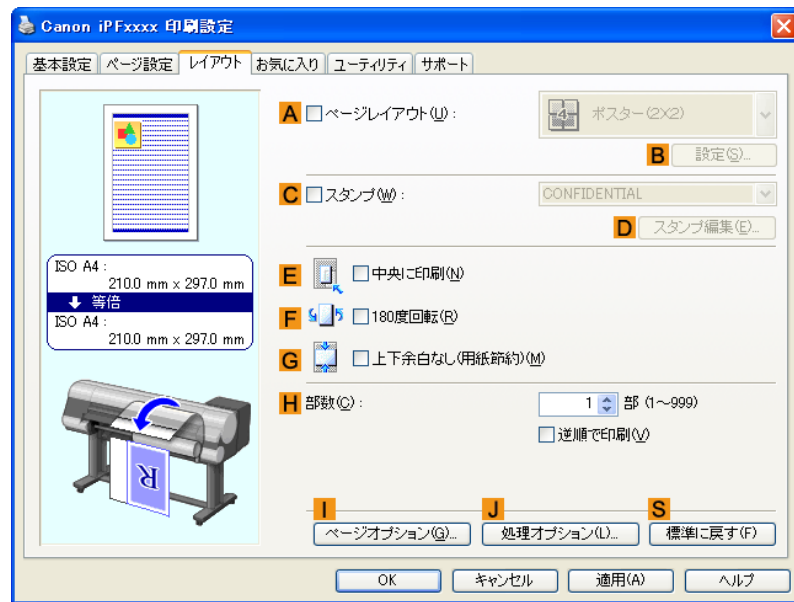
複数の原稿を並べて印刷する（Windows）

ここでは、フリーレイアウトという機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

重要
- フリーレイアウトは 64 ビット版の Windows では使用できません。

1. アプリケーションソフトのメニューから［印刷］（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6. A[ページレイアウト]の一覧から[フリーレイアウト]をクリックします。

7. 印刷を実行すると、imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウが開きます。（実際には、まだ用紙に印刷されません。）

8. imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

重要
• imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 7 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。

メモ
• イメージの編集や並べ替えの方法については、imagePROGRAF フリーレイアウトのヘルプを参照してください。

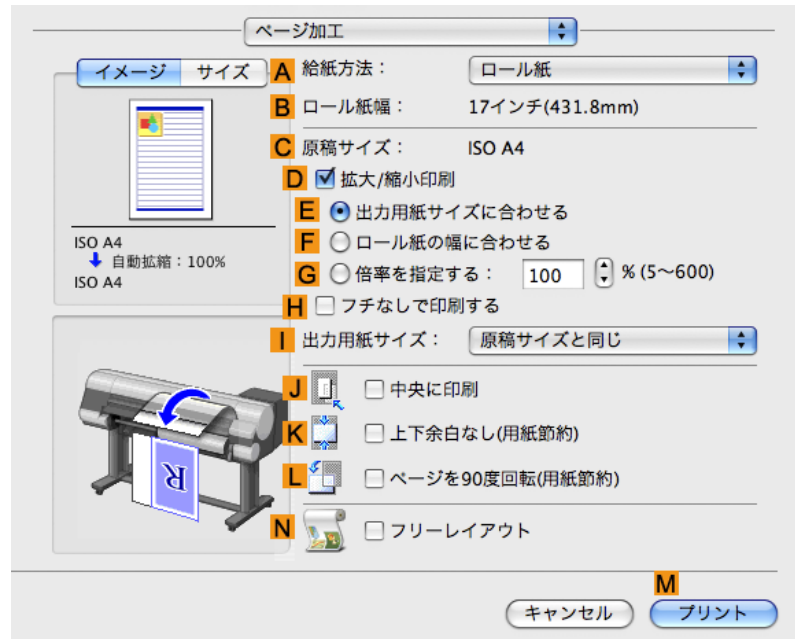
9. imagePROGRAF フリーレイアウトのメニューから印刷します。

メモ
• imagePROGRAF フリーレイアウト機能についての詳細は、フリーレイアウト →P.240 を参照してください。

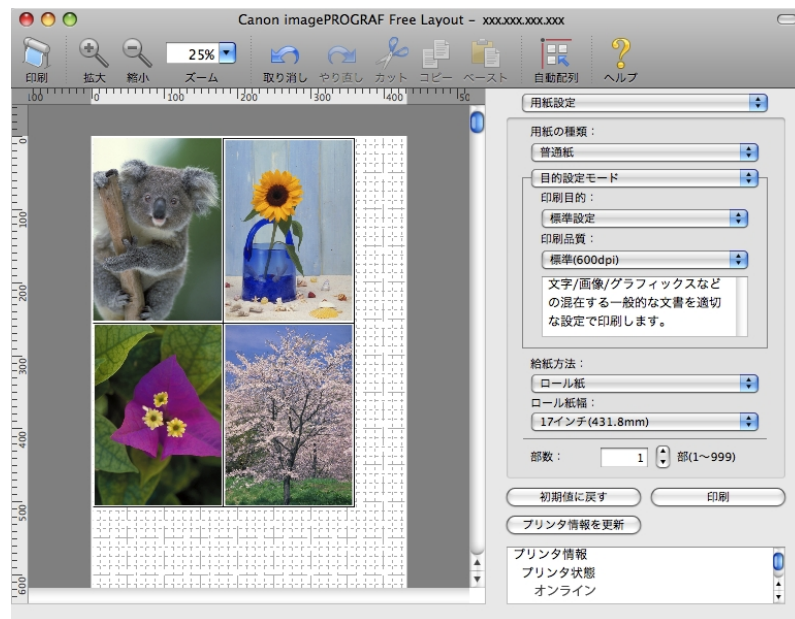
複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X）

ここでは、[Free Layout]（フリーレイアウト）という機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [ページ加工]パネルを表示します。

3. N[フリーレイアウト]チェックボックスをオンにします。

4. M[プリント]をクリックします。

5. [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウが開きます。

6. [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

メモ

- [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 4 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。
- イメージの編集や並べ替えの方法については、[Canon imagePROGRAF Free Layout]のヘルプを参照してください。

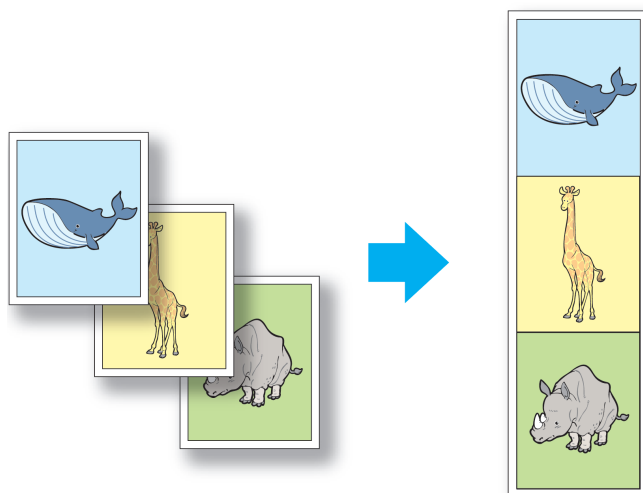
7. [Canon imagePROGRAF Free Layout]のメニューから印刷します。

メモ

- [Canon imagePROGRAF Free Layout]機能についての詳細は、Free Layout →P.448 を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する

複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷することができます。

ロール紙(バナー印刷)

重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数ページをつなげて印刷する(Windows) →P.130
- 複数ページをつなげて印刷する(Mac OS X) →P.132

複数ページをつなげて印刷する(Windows)

ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

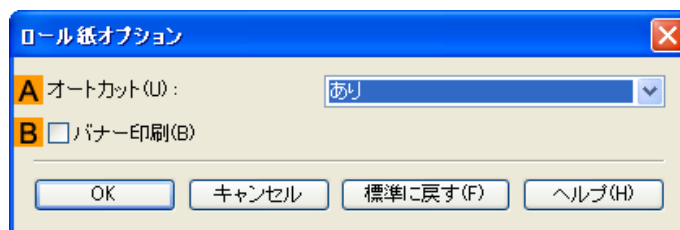
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）→P.196」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7. N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを表示します。

8. B[バナー印刷]チェックボックスをオンにします。

9. [OK]をクリックします。

10. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.192 」を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する（Mac OS X）

ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

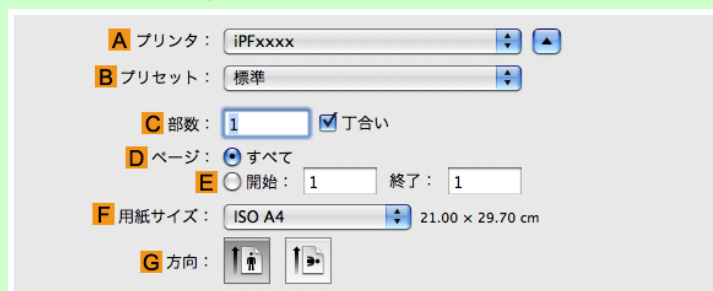
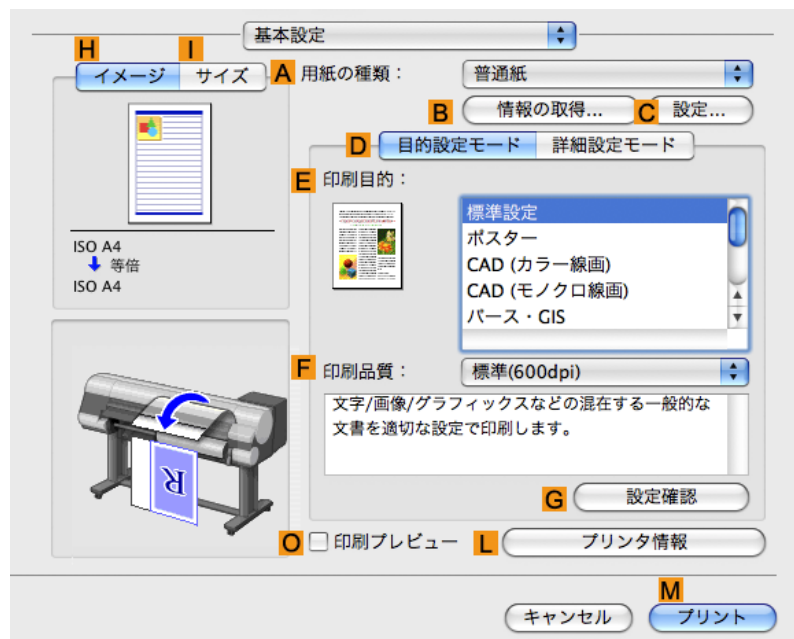
重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズをクリックします。

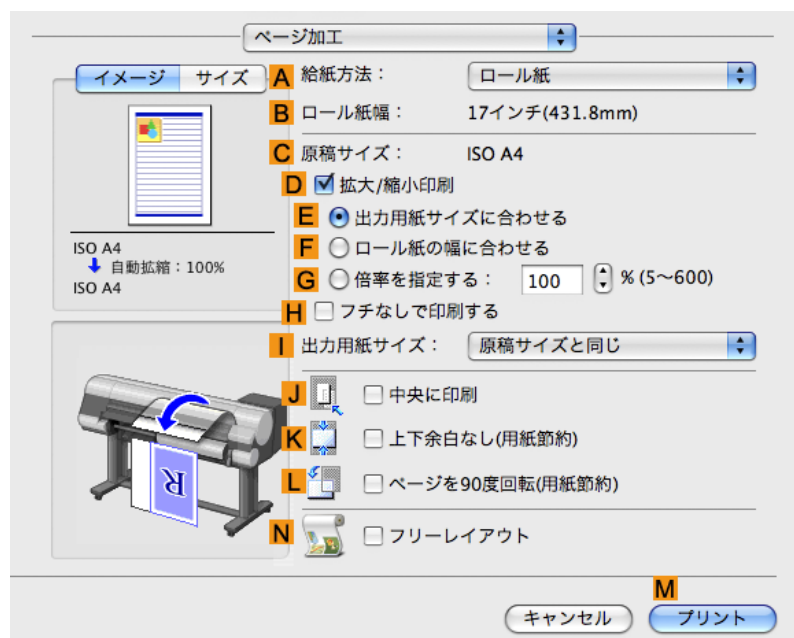
4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

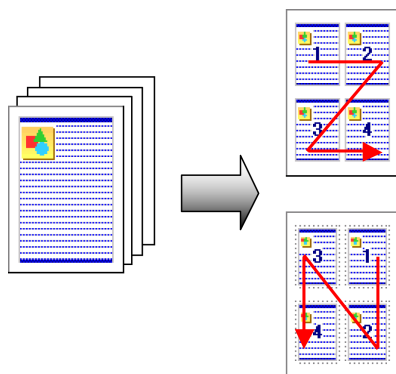
9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧から[ロール紙 1(バナー印刷)]または[ロール紙 2(バナー印刷)]をクリックします。

11. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する

原稿を縮小し、複数のページを 1 ページに割り付けて印刷することで、用紙を節約できます。

[ページレイアウト]

1 枚の用紙に割り付ける原稿のページ数を指定します。

メモ

- 最大 16 ページを 1 ページにまとめることができます。
- ページの配置順序を変更したり、それぞれのページに枠を付けることもできます。

重要

- 以下の場合は、この機能は使用できません。
  - フチなし印刷
  - 倍率を指定した拡大/縮小印刷（Windows）
  - バナー印刷（Windows）
- この機能を使用して印刷する場合は[中央に印刷]の設定が無効になります。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Windows）→P.135
- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Mac OS X）→P.137

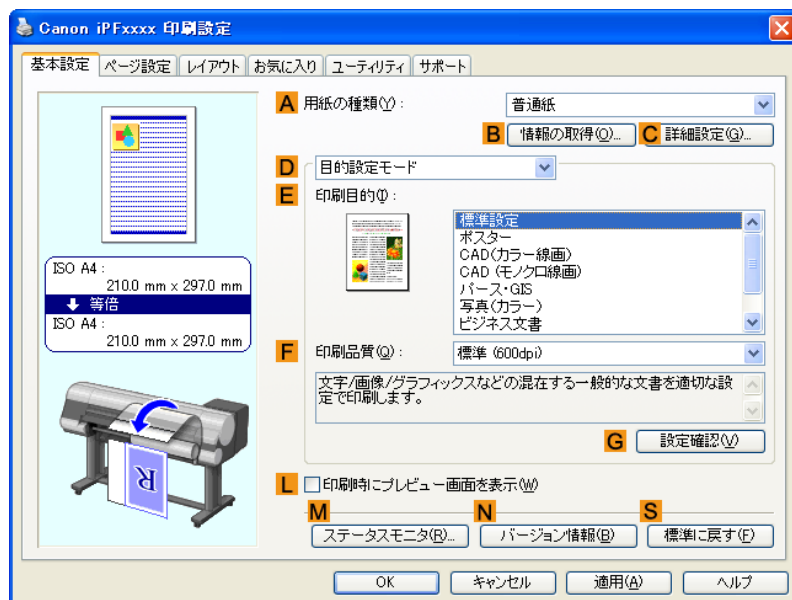
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3（297.0×420.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

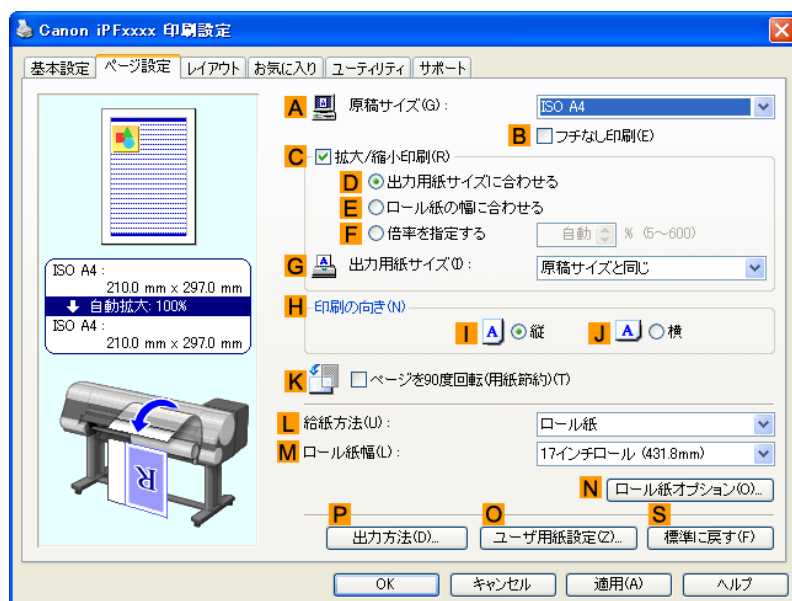
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

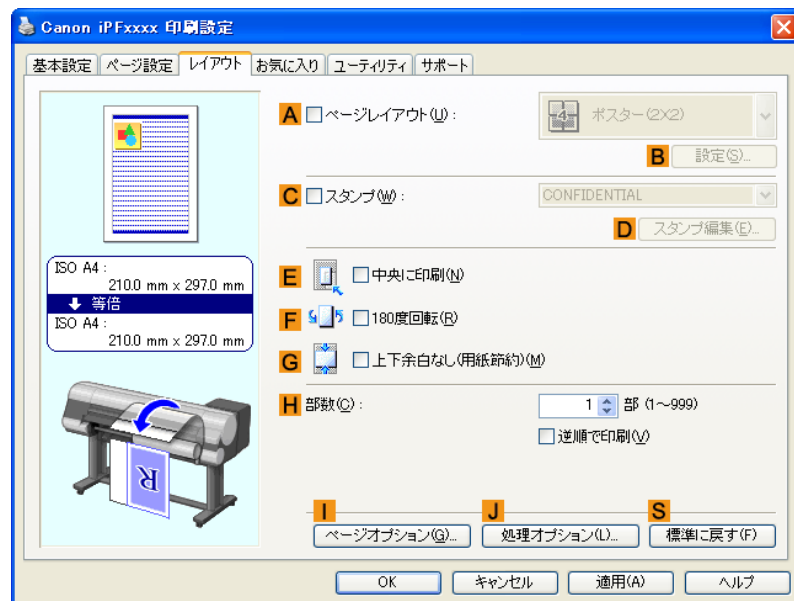
5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

6. F[印刷品質]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

11. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

12. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

13. A[ページレイアウト]の一覧から[4 ページ/枚]をクリックします。

メモ

- B[設定]をクリックし、[N ページ印刷]ダイアログボックスを開くと、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

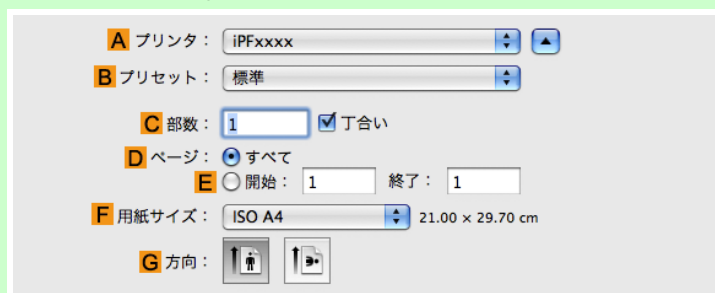
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.192 」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3（297.0×420.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

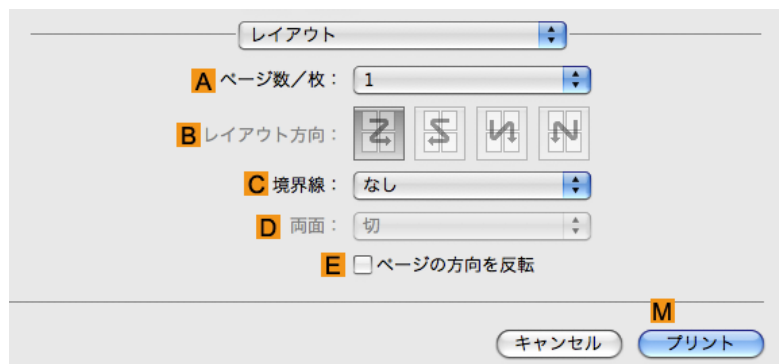
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

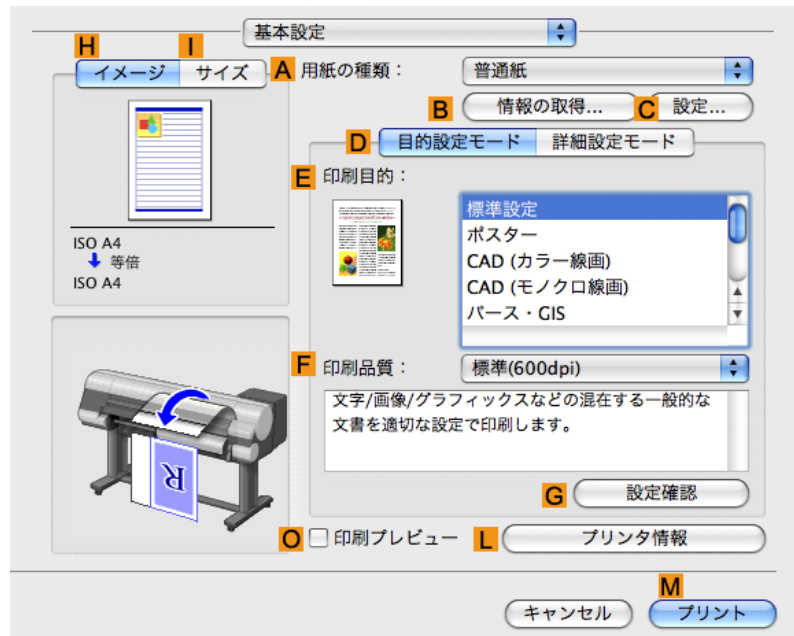
3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [レイアウト]パネルを表示します。

6. A[ページ数／枚]の一覧から[4]をクリックします。

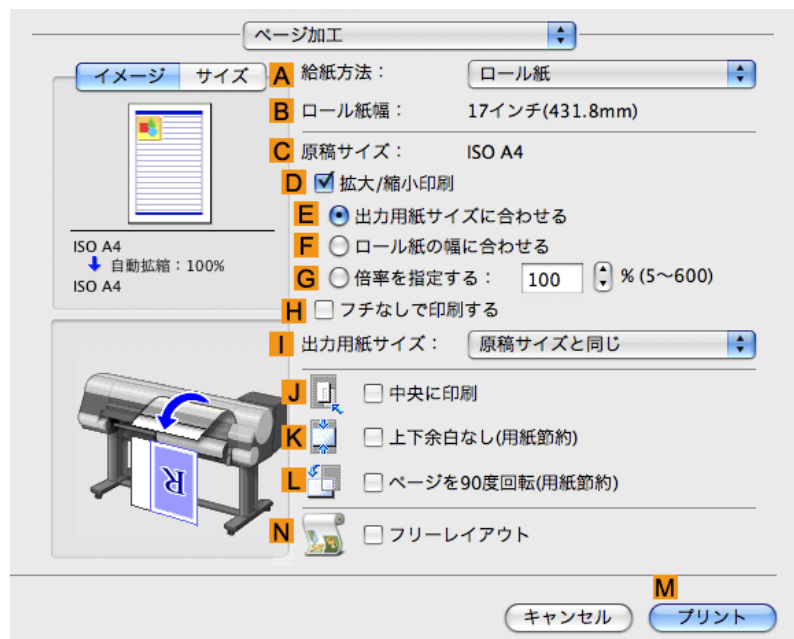
メモ

- B[レイアウト方向]や C[境界線](または[枠線])で、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

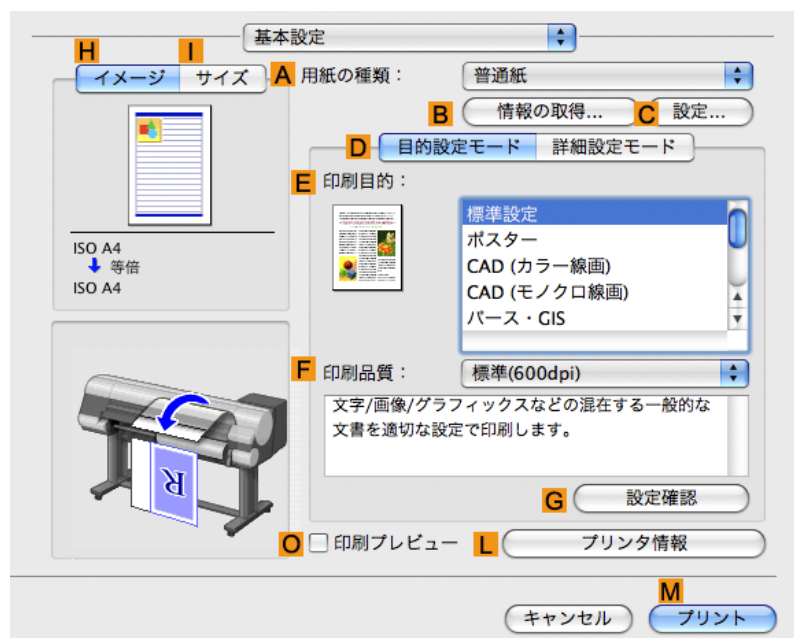
9. E[印刷目的]を一覧から選択します。

10. F[印刷品質]を一覧から選択します。

11. [ページ加工]パネルを表示します。

12. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

13. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

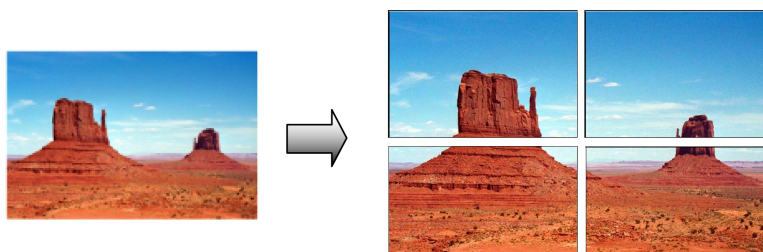
メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

14. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]が表示されていることを確認します。

15. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.400」を参照してください。

ポスターを分割して印刷する

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。

[ページレイアウト]

ポスター印刷を選択します。

重要
- この機能を使用して印刷する場合は[中央に印刷]、[スタンプ]、[上下余白なし（用紙節約）]、[ページオプション]の設定が無効になります。

大きなポスターを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 大きなポスターを印刷する（Windows）→P.142

メモ
- ポスター印刷は、Windows で使用できます。

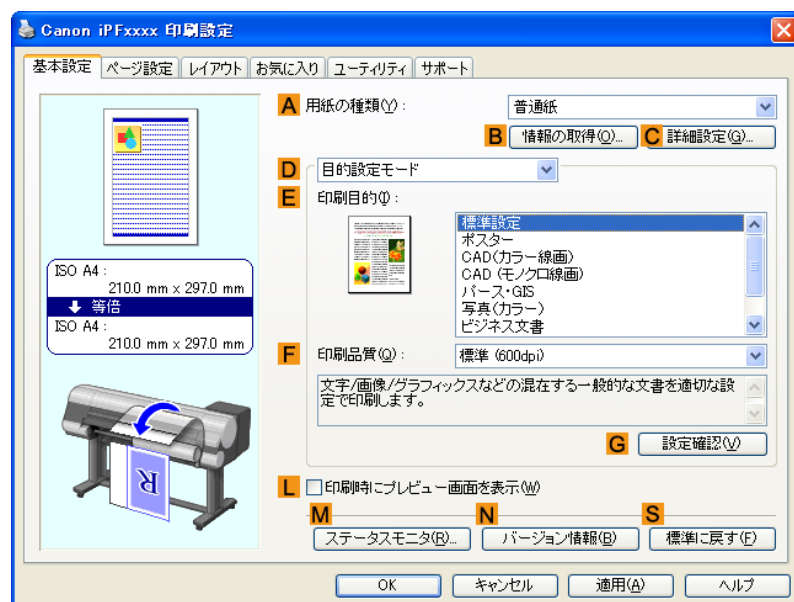
大きなポスターを印刷する（Windows）

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷できます。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。ここでは、以下を例に、A2 サイズの原稿を拡大して 4 枚の用紙に分割して印刷する手順を説明します。

- 原稿:ポスター
- 原稿サイズ:A2（420.0×594.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙サイズ:A2（420.0×594.0 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）→P.196」参照）

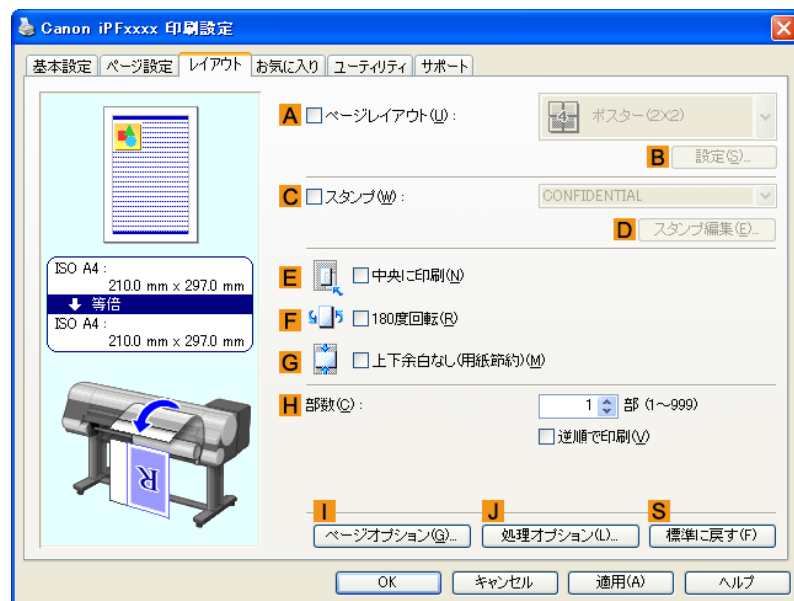
3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5. **E**[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

9. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

11. A[ページレイアウト]の一覧から[ポスター(2 X 2)]をクリックします。

メモ

- 分割して印刷するポスターの一部分だけを印刷する場合は、以下の手順を行います。
  - A[ページレイアウト]の下にある B[設定]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを開きます。
  - [出力ページの指定]ダイアログボックスで、印刷しない部分のチェックボックスをオフにします。
  - [OK]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを閉じます。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

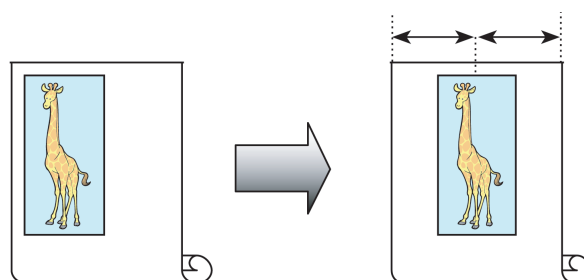
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

用紙の中央に印刷する

原稿をロール紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

ロール紙幅の中央に印刷する

ロール紙の幅よりも小さいサイズの原稿を印刷する場合、原稿をロール紙の幅の中央に配置して印刷することができます。
[中央に印刷]
ロール紙の幅の中央に原稿の中央を合わせて配置します。

原稿をロール紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する（Windows） →P.145
- 原稿をロール紙の中央に印刷する（Mac OS X） →P.147

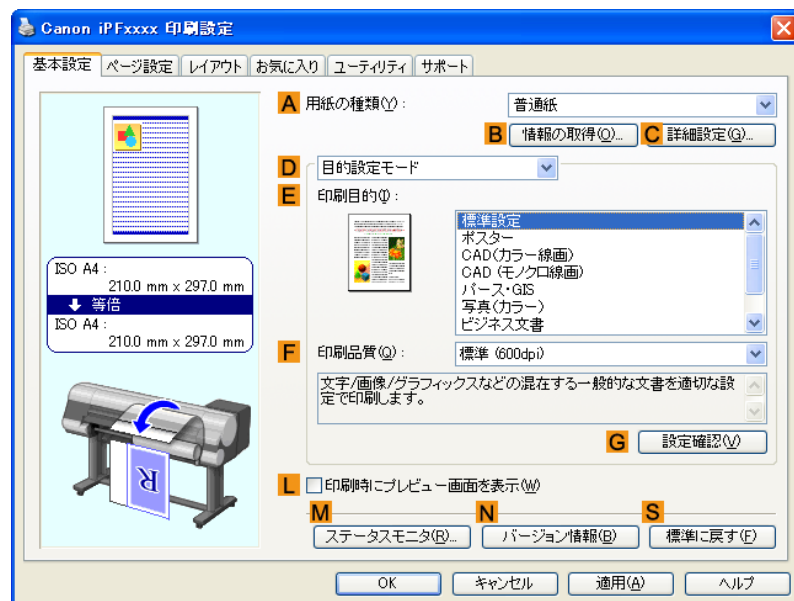
原稿をロール紙の中央に印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール（297.0 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

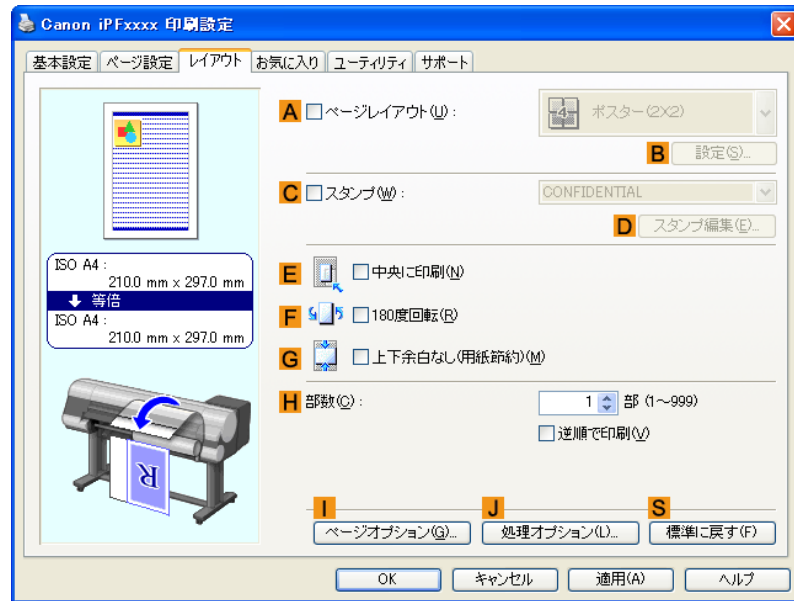
5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

10. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11. E[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows)」→P.192を参照してください。

原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

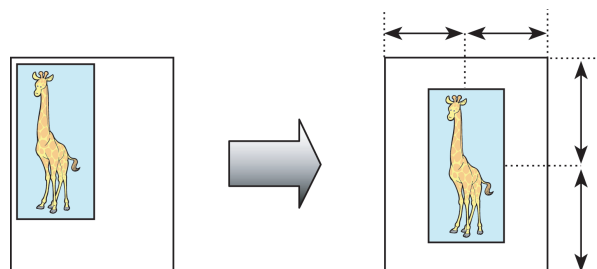
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

カット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷する場合、原稿が用紙の左上にずれて印刷されることがあります。原稿が用紙の左上に印刷される場合、原稿をカット紙の中央に配置して印刷することができます。
[中央に印刷]
カット紙の中央に原稿の中央を合わせて配置します。

原稿をカット紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿をカット紙の中央に印刷する（Windows） →P.151
- 原稿をカット紙の中央に印刷する（Mac OS X） →P.153

原稿をカット紙の中央に印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原稿を 50%の大きさに縮小し、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

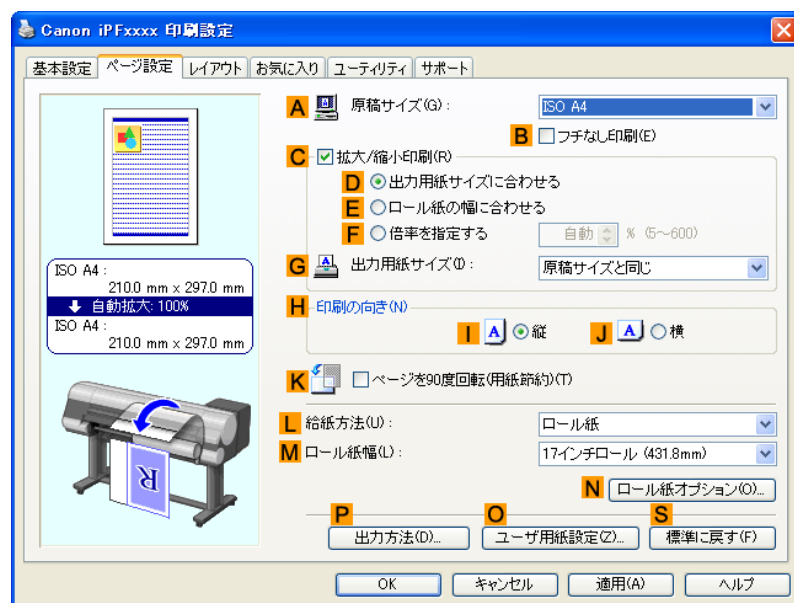
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.196 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

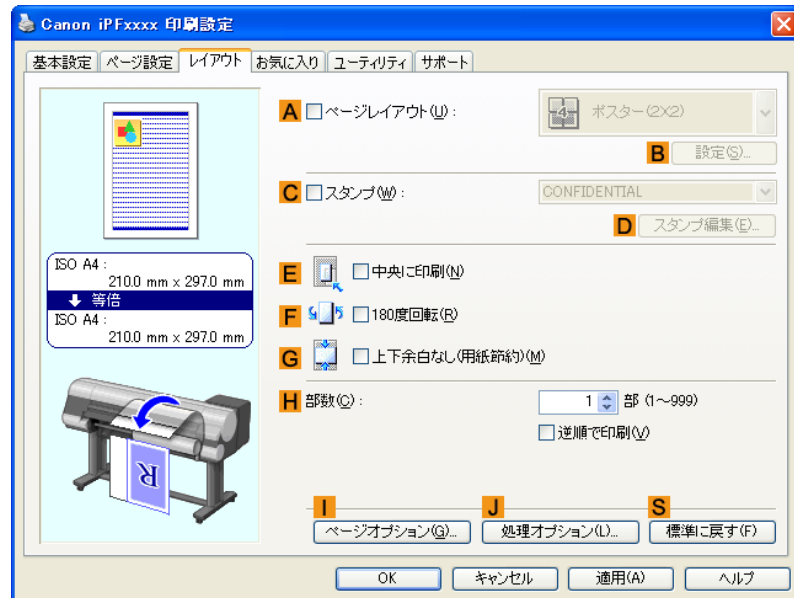
6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

9. G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

10. F[倍率を指定する]をクリックし、[50]を入力します。

11. L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

12. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

13. E[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

重要

- 給紙方法に[カット紙]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:定形外

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - カット紙]をクリックします。

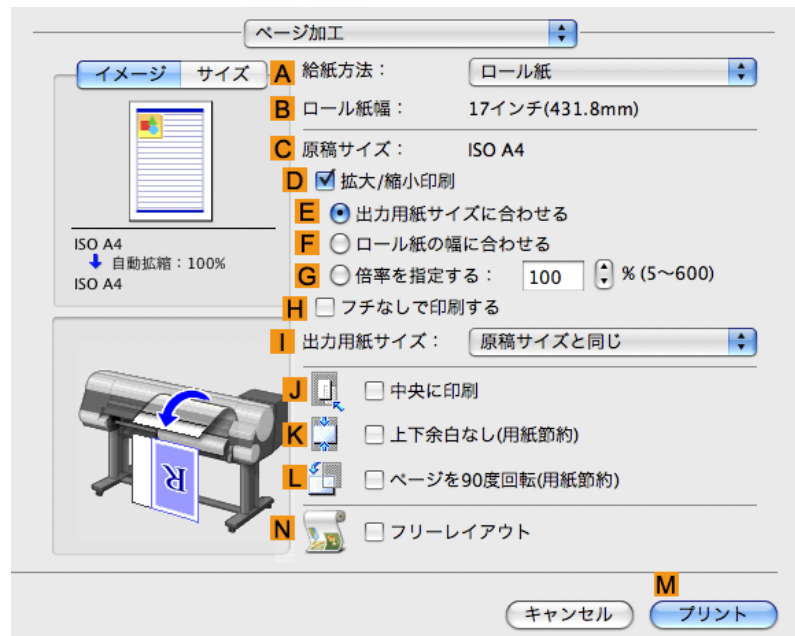
4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

11. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - カット紙]が表示されていることを確認します。

12. J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

13. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.400 」を参照してください。

重要

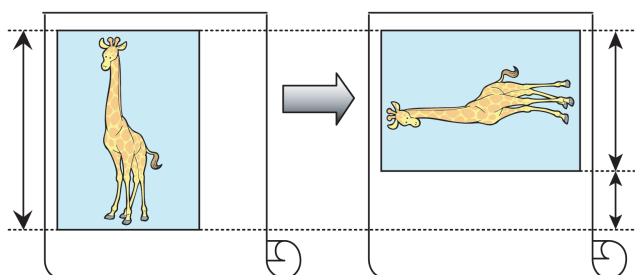
- 給紙方法に[カット紙]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

ロール紙を節約して印刷する

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

[ページを 90 度回転（用紙節約）]

縦長の原稿を印刷するとき、原稿の縦の長さがロール紙の幅に収まる場合、原稿を自動的に 90 度回転して印刷します。これにより、用紙を節約できます。

重要

- 回転するとロール紙の幅に収まらない場合も、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する機能を同時に使用すれば、ページを回転して印刷できます。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する（Windows） →P.157
- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する（Mac OS X） →P.159

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する（Windows）

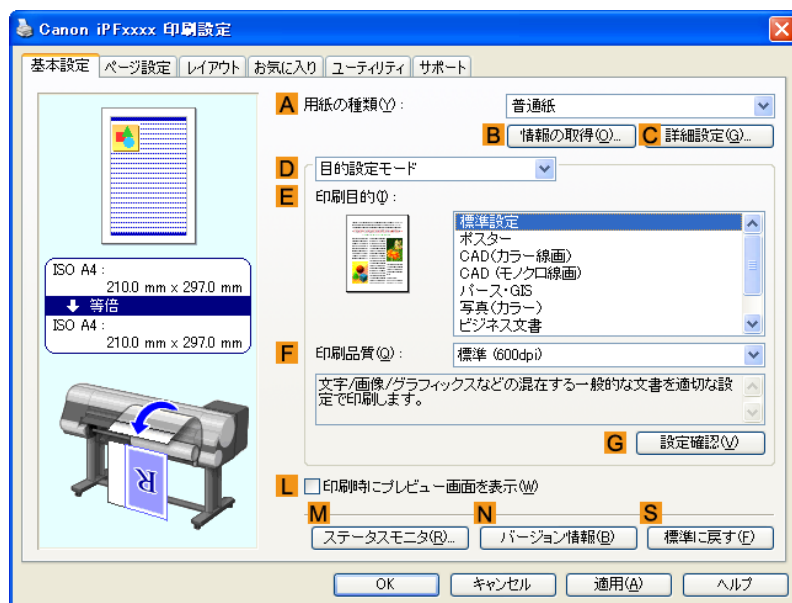
ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

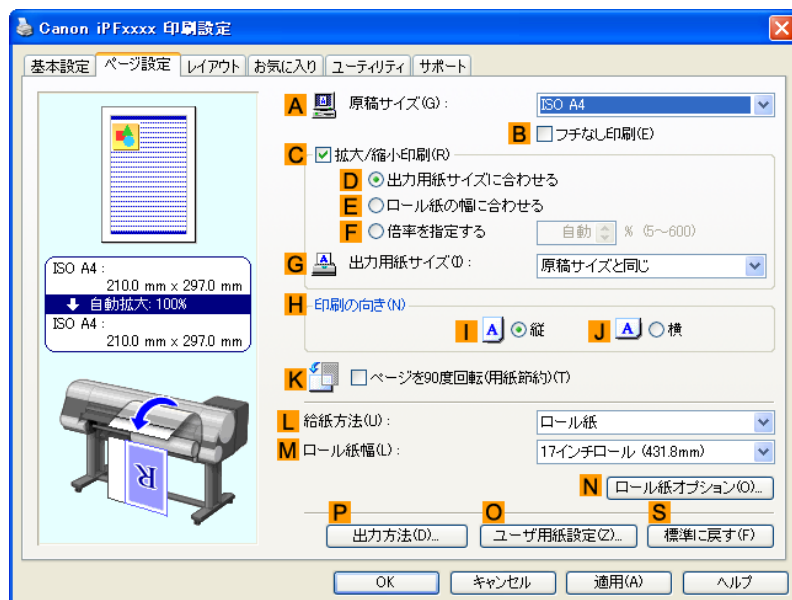
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール（297.0 mm）

この例では、A4（210.0×297.0 mm）の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅（297.0 mm）に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)→P.196」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9. K[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

10. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

この例では、A4(210.0×297.0 mm)の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅(297.0 mm)に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

3

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. [ページ加工]パネルを表示します。

8. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11. L[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

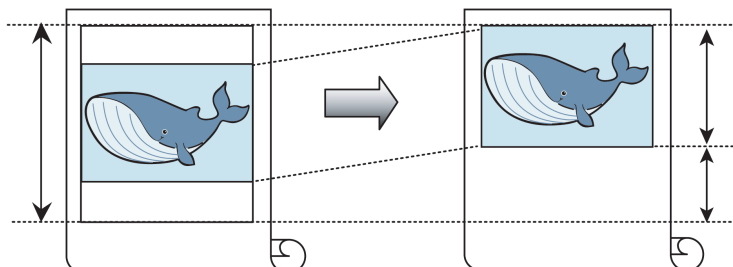
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

[上下余白なし(用紙節約)]

原稿の上下に空白部分(余白)がある場合、空白部分にあたる用紙の紙送りを行わずに印刷します。これにより、余白の分だけ用紙を節約できます。

重要

- 以下の場合は、上下の余白を除いて印刷することはできません。
  - バナー印刷
  - ページレイアウトとしてポスターを選択

メモ

- フチなしで印刷するときも、上下の余白を除いて印刷できます。
- 上下の余白を除いて印刷されるため、原稿内の画像や文章のレイアウトによっては、印刷物のサイズが不揃いになることがあります。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) →P.162
- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) →P.164

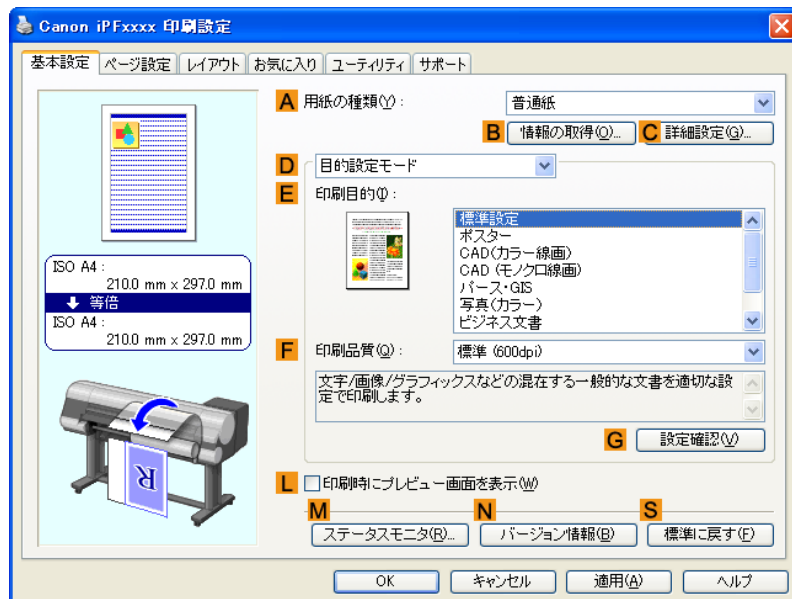
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows)

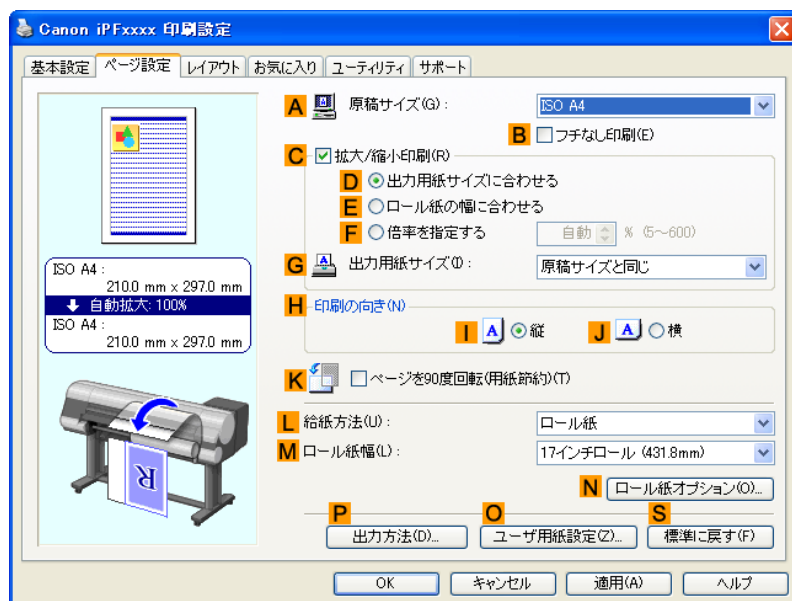
ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

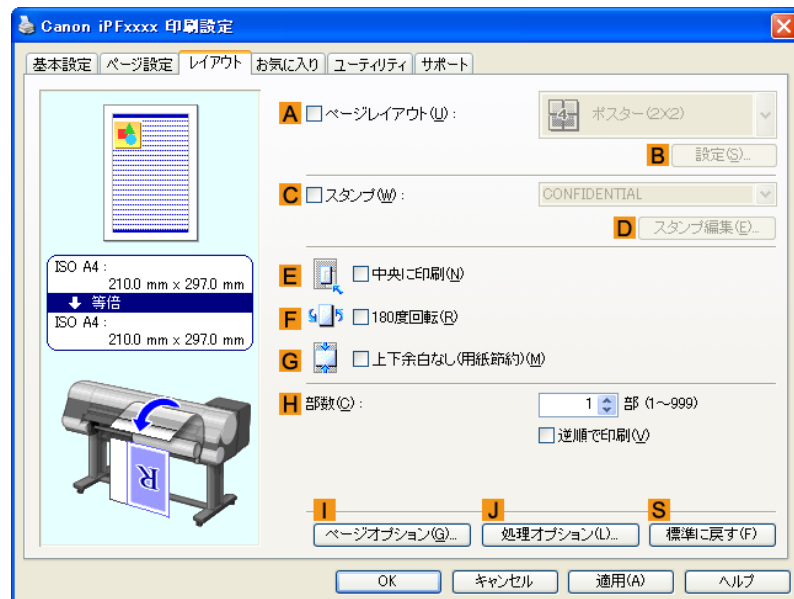
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10. G[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. [ページ加工]パネルを表示します。

8. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11. K[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

PosterArtist で編集して印刷する

PosterArtist で編集して印刷する

ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを、PosterArtist で編集して印刷できます。ここでは、複数のアプリケーションソフトの原稿を PosterArtist で編集し、ポスターにレイアウトして印刷する手順を説明します。

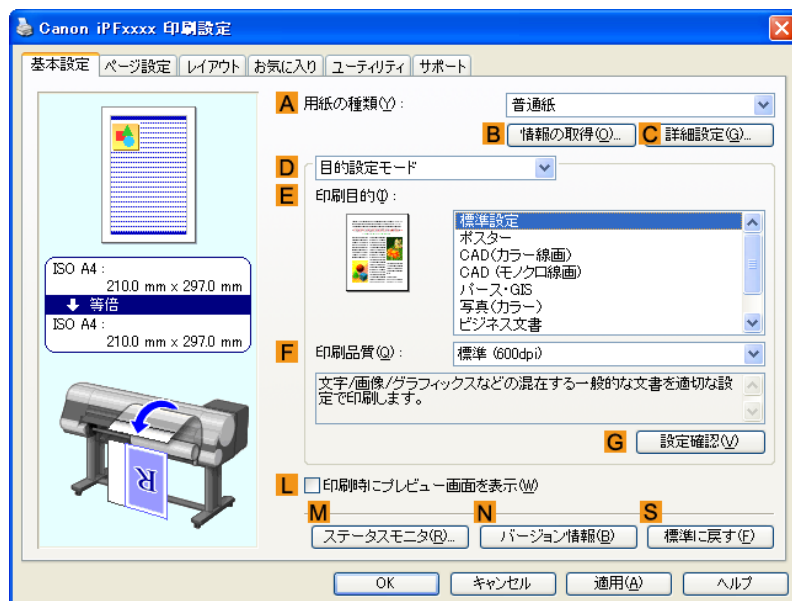
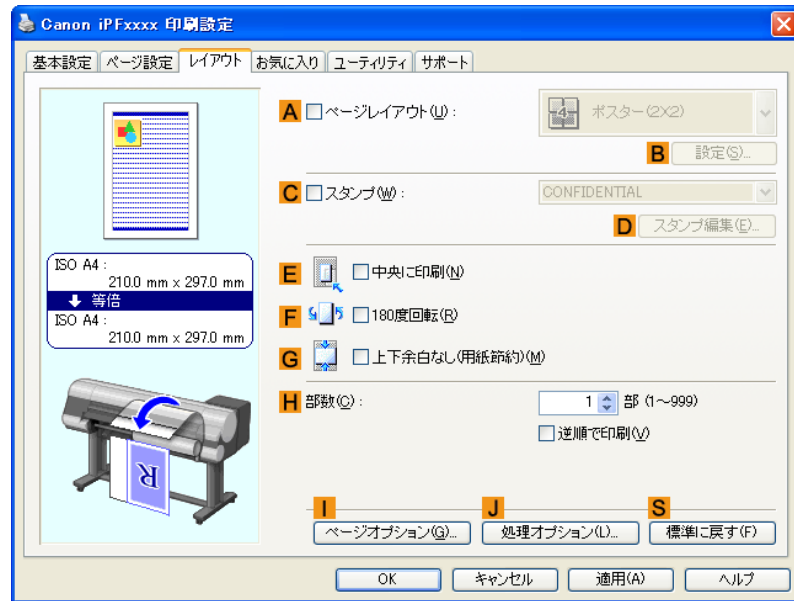
重要

- この機能は、Windows で使用できます。
- この機能を使用するには、別売りの PosterArtist がインストールされている必要があります。

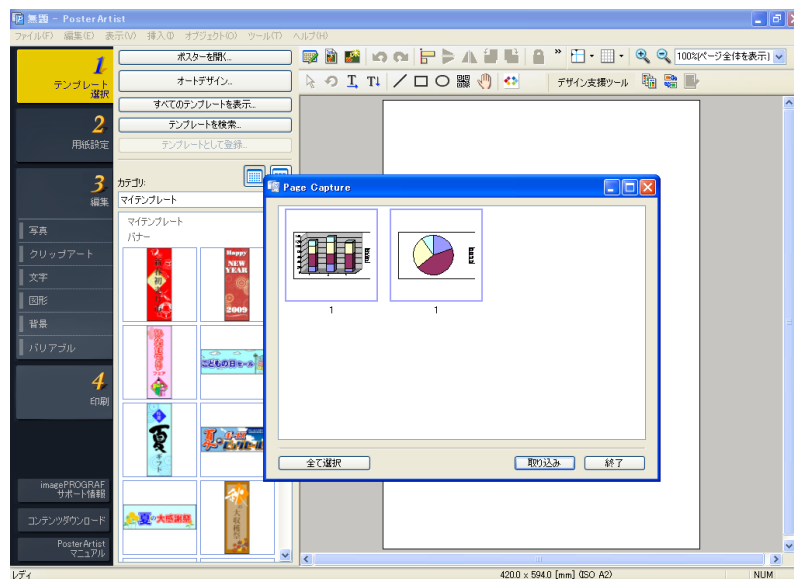
3

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.196

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6. A[ページレイアウト]の一覧から[PosterArtist で編集]をクリックします。

7. 印刷を実行すると、PosterArtist が起動し、PageCapture ウィンドウが開きます。(実際には、まだ用紙に印刷されません。)

8. PosterArtist に取り込むページを選択します。

9. PosterArtist のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

重要

- PosterArtist のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 8 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。

メモ

- イメージの編集や並べ替えの方法については、PosterArtist マニュアルを参照してください。

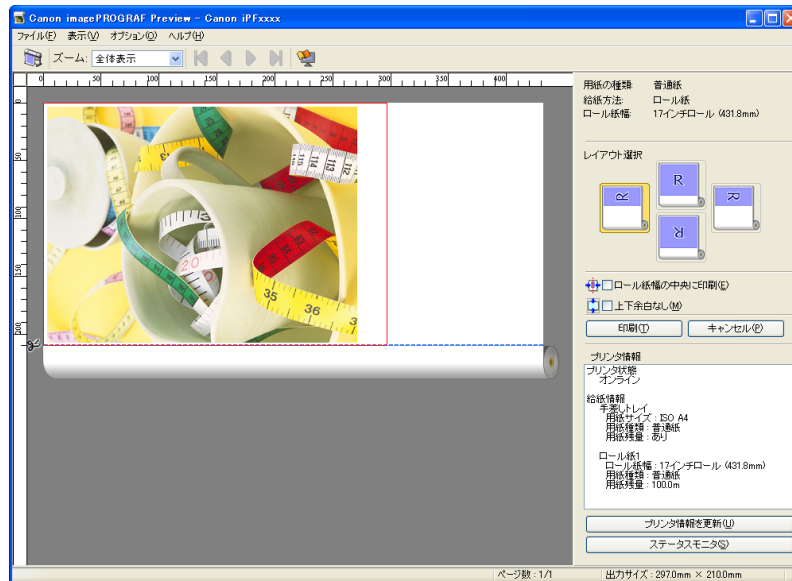
10. PosterArtist のメニューから印刷します。

印刷前に確認する

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

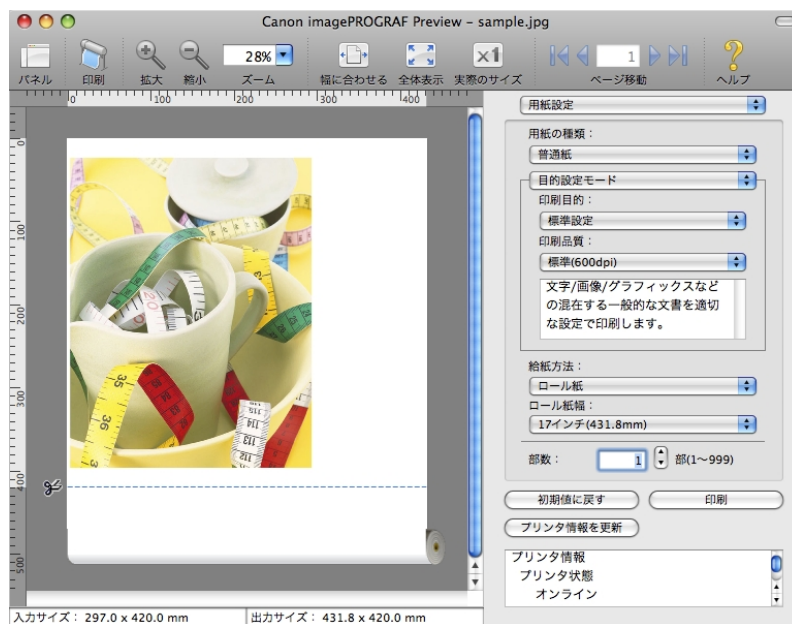
プレビュー画面で印刷レイアウトを確認することができます。

[印刷時にプレビュー画面を表示](Windows)

プレビュー画面を見ながら印刷の向きなどの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

メモ

- 設定や環境によっては PageComposer が起動する場合があります。

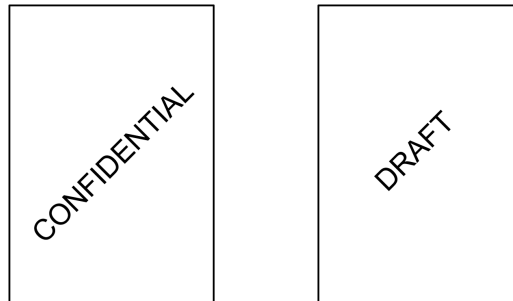
[Preview] (Macintosh)

プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

印刷前にレイアウトを確認する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する（Windows） →P.193
- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する（Mac OS X） →P.401

その他の便利な設定

スタンプを押して印刷する

取り扱いに注意が必要な書類に、マーク（スタンプ）を付けて印刷できます。

［スタンプ］

原稿のすべてのページにスタンプを押して印刷します。

重要
• ポスターのページレイアウトが選択されている場合は、スタンプは印刷できません。

以下のスタンプがあらかじめ用意されています。

• CONFIDENTIAL
• COPY
• DRAFT
• 社外秘
• FINAL
• コピー禁止
• サンプル
• マル秘

また、独自にスタンプを作成することもできます。スタンプを作成するときは、以下の項目を設定できます。

• スタンプに使用する文字列:フォント、サイズ、色などを設定できます。文字列を枠で囲むこともできます。
• スタンプを押す位置:ページ内の位置、角度などを設定できます。
• スタンプを印刷する方法:重ね印刷や透かし印刷を設定できます。また、先頭のページだけに印刷することもできます。

メモ

- スタンプ機能は、Windows で使用できます。
- Windows では、あらかじめ用意されているスタンプの他に、最大 50 個のスタンプを作成できます。

スタンプを押して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows) →P.174

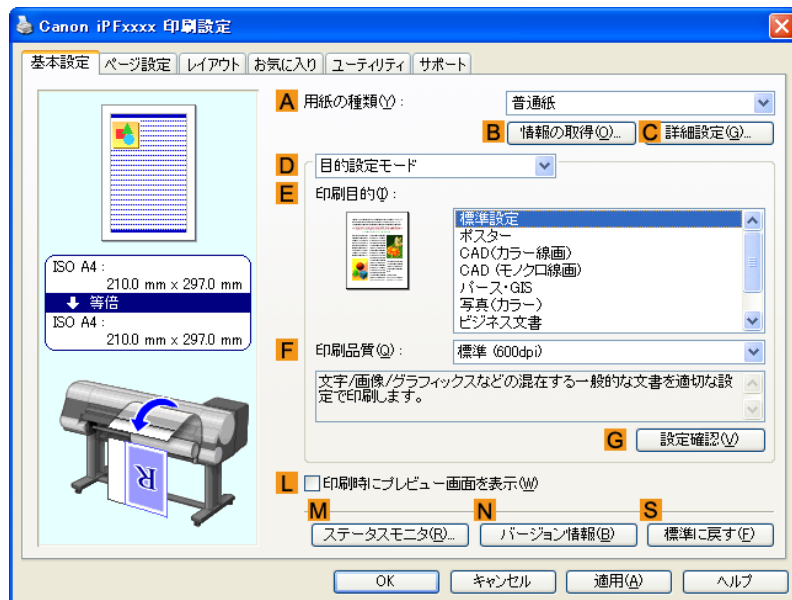
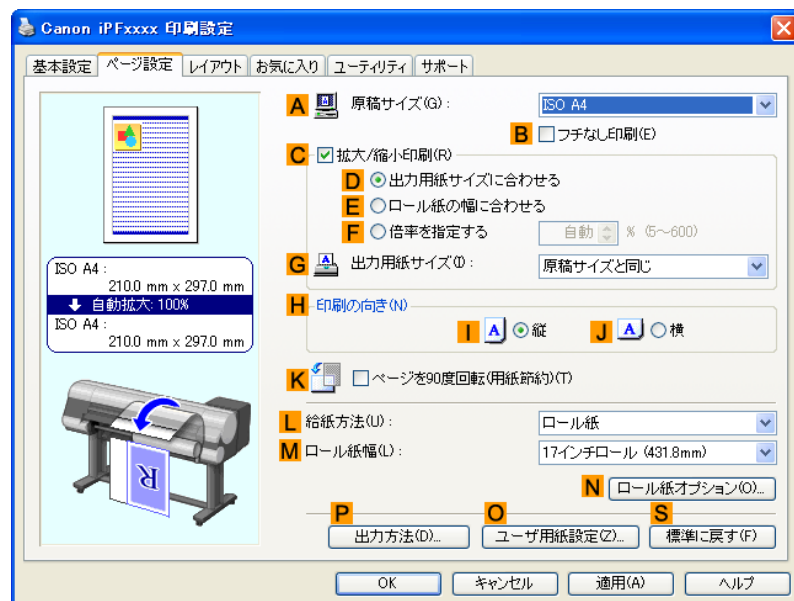
COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿に[社外秘]というスタンプを押して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A2(420.0×594.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

メモ

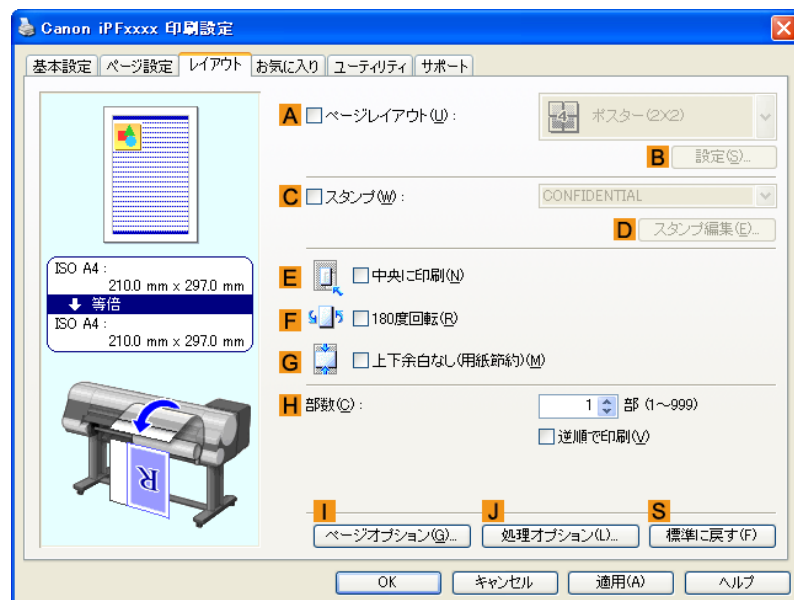
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧から、アプリケーションソフトで作成した原稿サイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

10. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11. C[スタンプ]チェックボックスをオンにします。

12. [スタンプリスト]の一覧から[社外秘]をクリックします。

メモ

- D[スタンプ編集]をクリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開きます。[スタンプ編集]ダイアログボックスでは、独自のスタンプを作成したり、スタンプの位置や角度を変更することができます。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

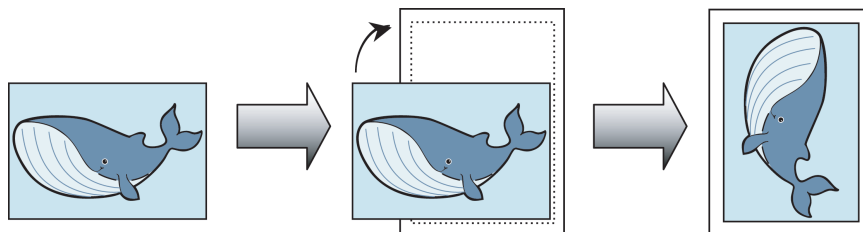
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192 」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する

印刷する用紙に合わせて、原稿の向きを指定することができます。

[印刷の向き]

プリンタには通常、用紙を縦向きにセットします。横長の原稿を印刷する場合は、印刷の向きを指定し、原稿を横向きにして印刷します。

[180 度回転]

原稿を 180 度回転し、上下を逆にして印刷します。

[鏡像]

鏡に映したように、原稿の左右を反転して印刷します。

原稿の向きを指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows) →P.176
- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X) →P.178

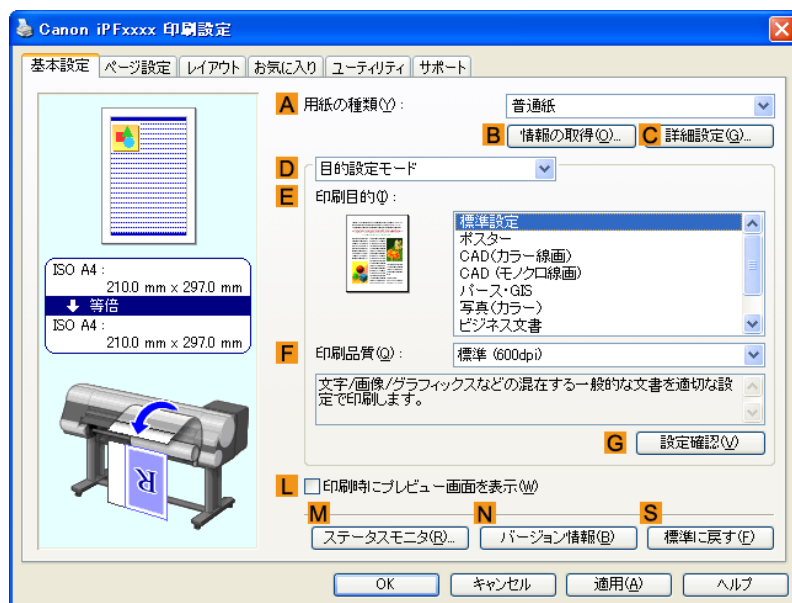
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

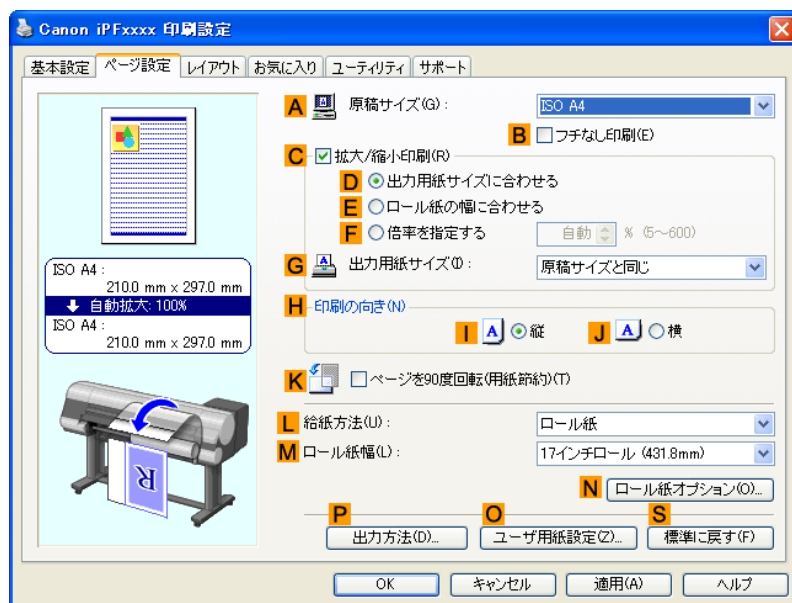
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

6. F[印刷品質]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9. **H**[印刷の向き]で、**J**[横]をクリックします。

10. **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. **M**[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
• 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows)→P.192」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X)

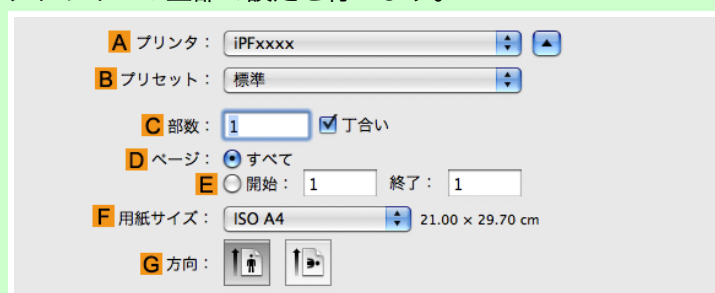
ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. D[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

5. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

6. [基本設定]パネルを表示します。

7. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

8. E[印刷目的]を一覧から選択します。

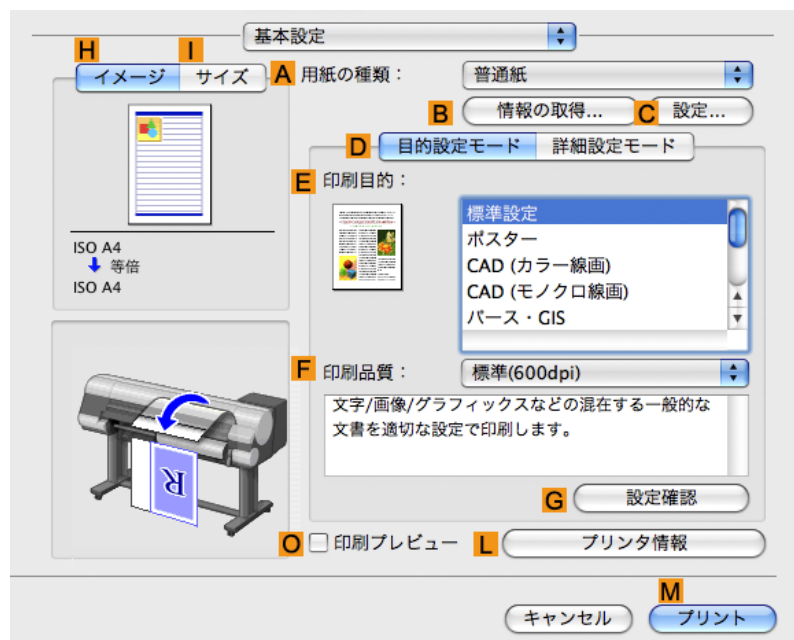
9. F[印刷品質]を一覧から選択します。

10. [ページ加工]パネルを表示します。

11. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.400 」を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

思いどおりに印刷できた場合や、同じサイズで何度も印刷する場合、[お気に入り]の設定として印刷の設定を登録しておくと、繰り返し同じ設定で印刷できます。

[お気に入り]

お気に入りの設定を登録します。登録済みの設定を一覧から選択して印刷に適用したり、内容を確認することができます。

メモ

- お気に入りの設定は、ファイルに保存することもできるため、他のコンピュータから同じ設定で印刷したい場合などに使用できます。(Windows の場合)

お気に入りの設定で印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- お気に入りの設定で印刷する(Windows) →P.194
- お気に入りの設定で印刷する(Mac OS X) →P.403

印刷後にロール紙をカットする

印刷後にロール紙を自動でカットできます。

メモ

- 糊付きの用紙など、特殊な用紙の場合はカットできないことがあります。自動でカットできない用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.570 」参照)

[オートカット]

印刷後にロール紙を自動でカットします。ロール紙をカットせずに、続けて印刷したり、カットラインを印刷することもできます。

印刷後にロール紙をカットする方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 印刷後にロール紙をカットする(Windows) →P.182
- 印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) →P.183

印刷後にロール紙をカットする(Windows)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

メモ

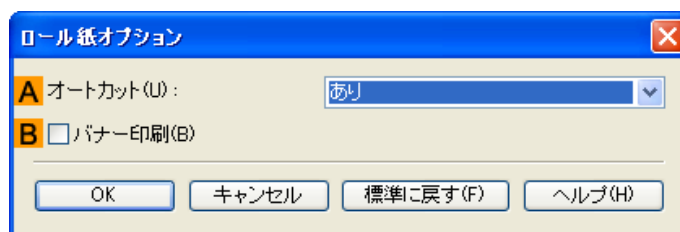
- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.196 」参照)

3. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

4. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

5. N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを開きます。

6. A[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[あり]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

7. [OK]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを閉じます。

8. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.192」を参照してください。

印刷後に、ロール紙が自動でカットされます。

3

印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

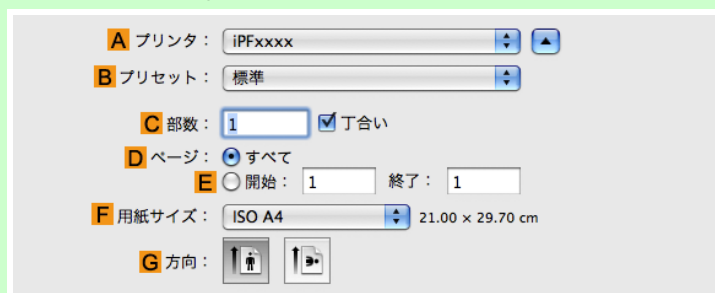
メモ

- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

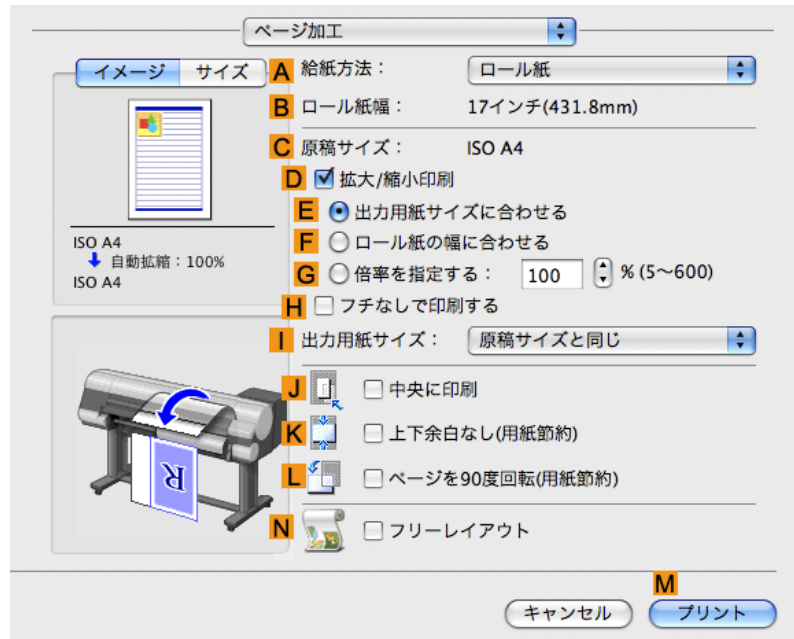
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

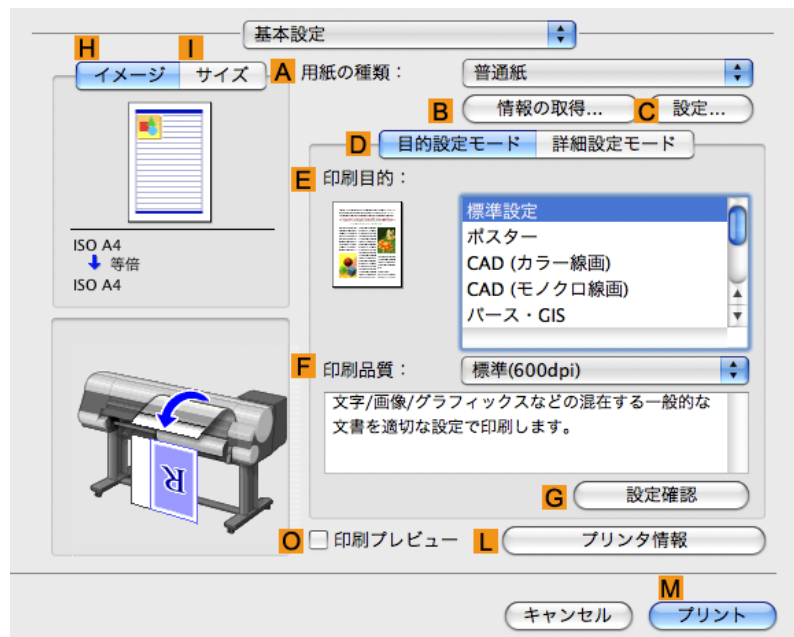
3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [ページ加工]パネルを表示します。

6. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

3

9. C[設定]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを開きます。

10. H[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[パネル優先]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

重要
- プリンタでオートカット機能が無効になっている場合は、プリンタの操作パネルから、オートカットの設定を変更する必要があります。

11. [OK]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを閉じます。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.400 」を参照してください。

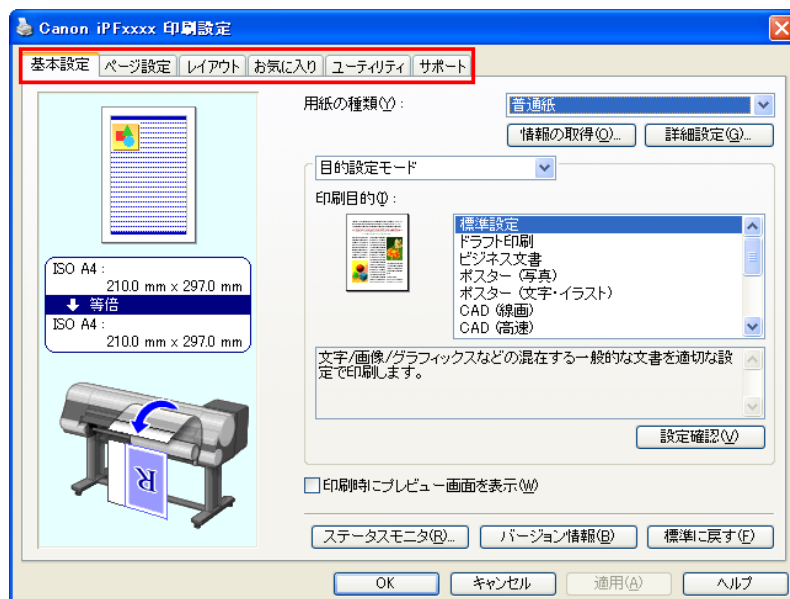
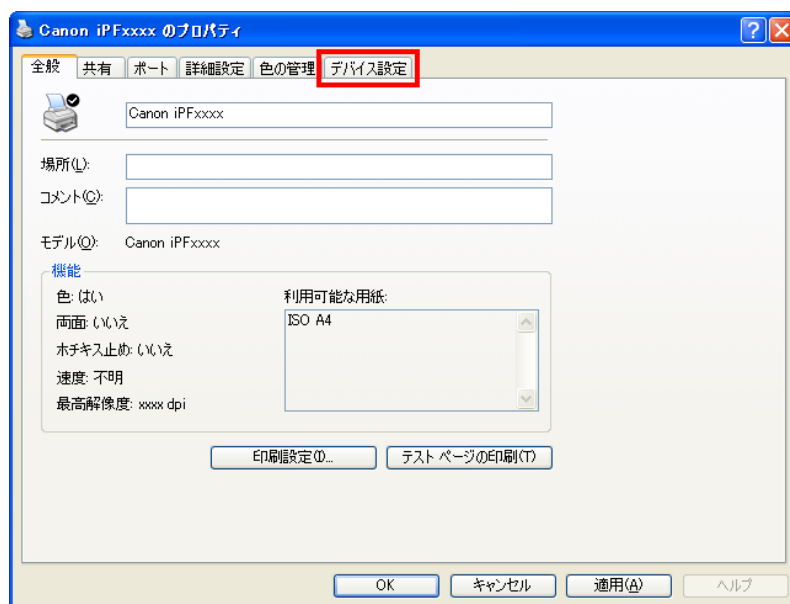
Windows ソフトウエア

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目

Windows 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.196
- システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.198

Windows 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定シート →P.199
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.204
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.205
  - 色調整シート(カラー) →P.205
  - マッチングシート →P.208
  - 色調整シート(モノクロ) →P.210
- ページ設定シート →P.212
  原稿の用紙サイズ、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、印刷の向き、給紙方法、印刷する用紙のサイズ、用紙のオートカットについて設定できます。
  - 出力方法ダイアログボックス →P.215
  - ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.216
- レイアウトシート →P.217
  ページレイアウト、スタンプ印刷、印刷の向き、印刷部数、印刷処理オプションについて設定できます。
  - ページオプションダイアログボックス →P.219
  - 処理オプションダイアログボックス →P.220
- お気に入りシート →P.221
  各シートで選択した印刷設定をお気に入りとして登録できます。登録したお気に入りは、編集したり、印刷時に使用することができます。
- ユーティリティシート →P.223
  プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。
- サポートシート →P.224
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- デバイス設定シート →P.225
  プリンタに装着されているオプションの設定や、プリンタドライバのバージョン情報表示を行えます。

[imagePROGRAF フリーレイアウト]とは、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに自由に配置して印刷するための機能です。詳細は、フリーレイアウト →P.240 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]とは、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷するための機能です。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.269 を参照してください。

重要
- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]、[imagePROGRAF フリーレイアウト]は 64 ビット版の Windows では使用できません。

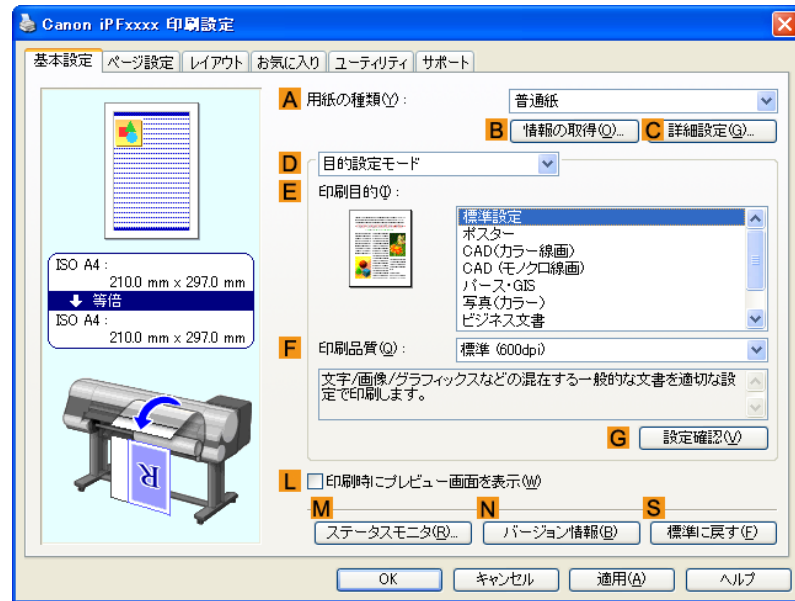
プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

重要
- 必ずプリンタのメニューとプリンタドライバで同じ用紙やサイズを指定してください。

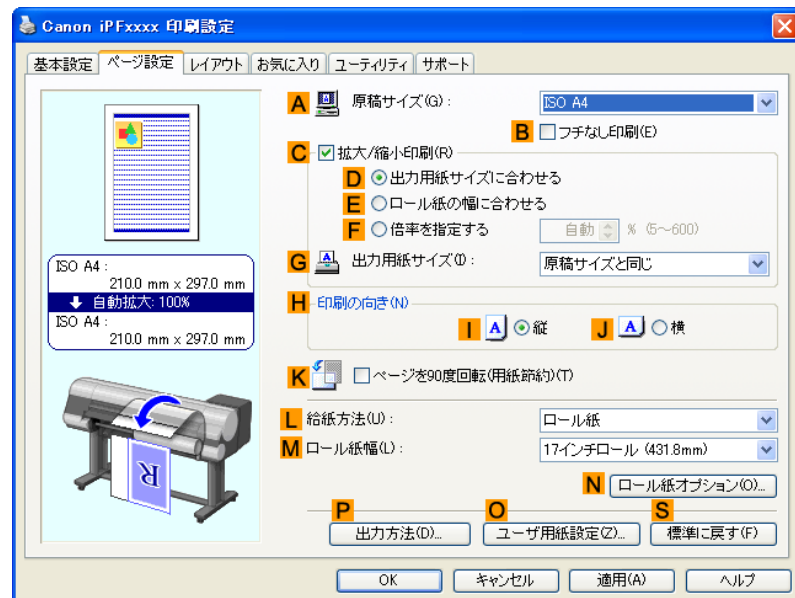
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.196 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

メモ

- B[情報の取得]ボタンをクリックすると[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスが表示されます。[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。
  この機能を使用する場合は、[ステータスモニタ]がインストールされている必要があります。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

7. L[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

8. L[給紙方法]でロール紙を選択した場合は、M[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙幅を選択します。

メモ

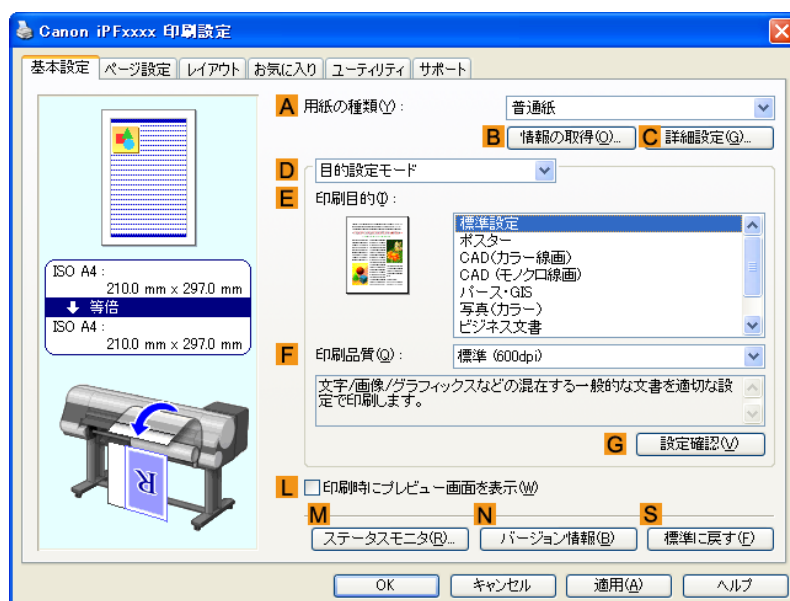
- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.188」を参照してください。

印刷の設定を確認する

印刷の設定を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する
- 印刷プレビューで確認する

設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法、レイアウトなど、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
P[上部のイラスト]	印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。
Q[中央の枠内]	原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
R[下部のイラスト]	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]シートで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

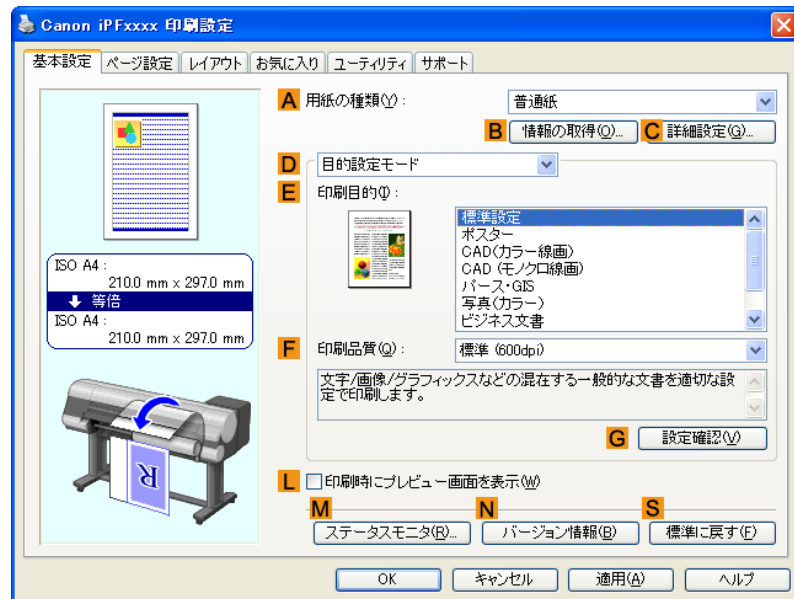
印刷プレビューで確認する

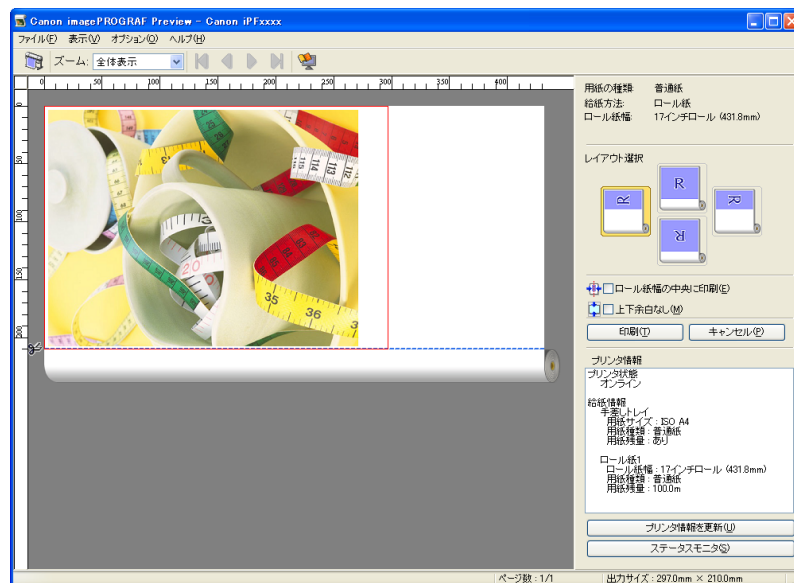
原稿の印刷イメージそのものを確認できます。
この機能を有効にしておくと、印刷する前に imagePROGRAF Preview または PageComposer が起動し、印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。

印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.171 」を参照してください。

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

ここでは、実際に用紙に印刷する前に、印刷結果をプレビューする手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.196 」参照)
3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. **L**[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。
5. [OK]をクリックして印刷を実行すると、[imagePROGRAF Preview]ウィンドウが開きます。

4

メモ

- PageComposer が起動した場合は、[レイアウト]シートから[処理オプション]ダイアログを開き、[プレビュー互換を行う]のチェックを外してください。

6. メインウィンドウで、レイアウトの確認や必要に応じた設定の変更を行います。

7. [ファイル]メニューから[印刷]をクリックします。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]の機能の詳細は、Preview →P.227 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、お気に入りの設定を登録し、その設定で印刷する手順を説明します。

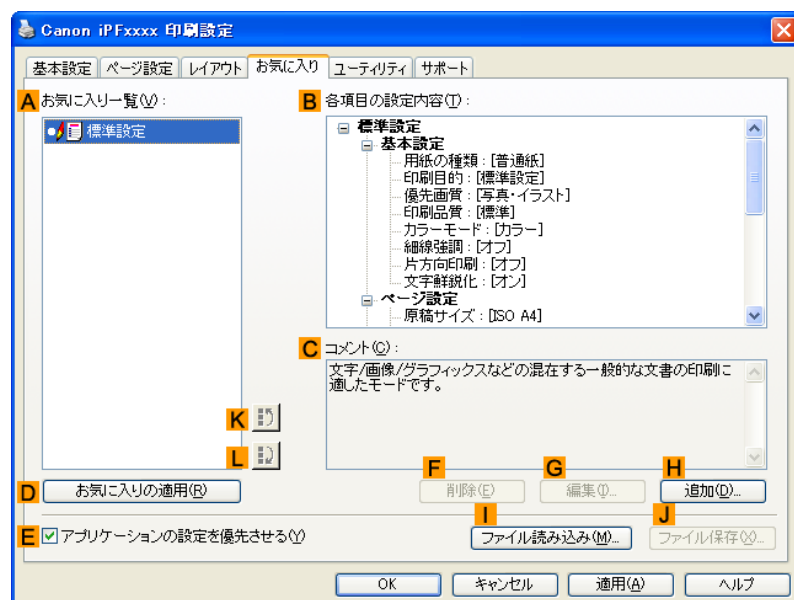
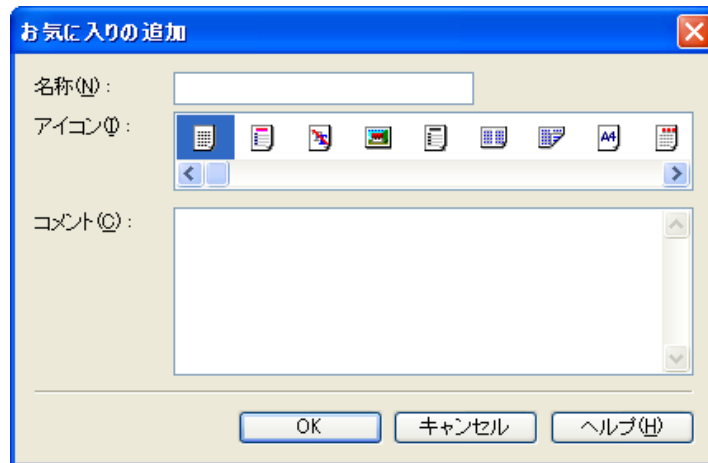
お気に入りの設定を登録する

ここではドライバ上で変更した印刷設定を[お気に入り]として登録する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.196 」参照)

3. 通常の印刷の設定を行います。
ここからお気に入りの登録を行います。

4. [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

5. H[追加]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを開きます。

6. [名称]に[プレゼン用の写真]や[月例の報告書]などの任意の名前を入力します。

7. [アイコン]の一覧から、この設定にふさわしいアイコンを選択します。

8. [コメント]に、追加するお気に入りの設定を説明するコメントを入力します。

9. [OK]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを閉じます。
登録したお気に入りの設定は、A[お気に入り一覧]に表示されます。

メモ

- お気に入りの設定をファイルに保存する場合は、J[ファイル保存]をクリックし、保存するファイルを指定します。

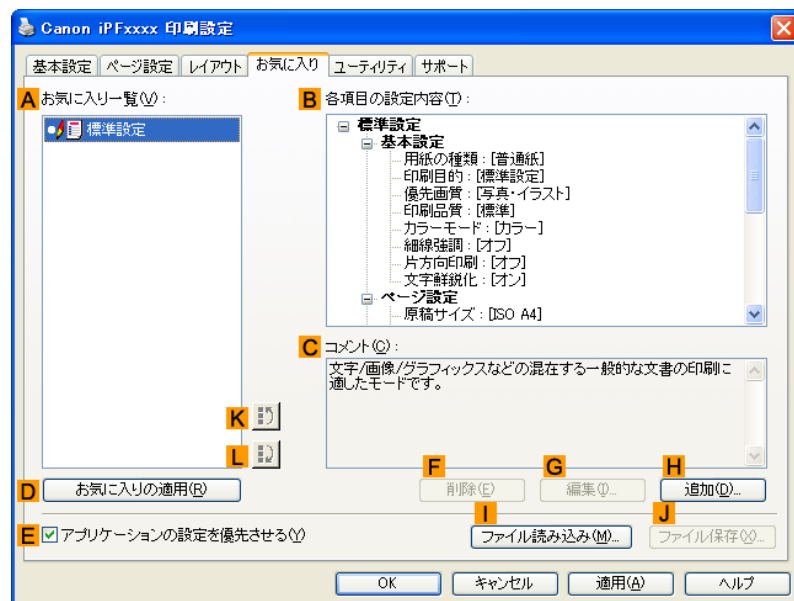
お気に入りの設定で印刷する

ここでは、登録したお気に入りの設定で印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.196」参照)

4

3. [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

4. A[お気に入り一覧]の一覧から、登録したお気に入りの設定を選択します。

メモ

- お気に入りの設定をファイルから読み込む場合は、I[ファイル読み込み]をクリックし、お気に入りが保存してあるファイルを指定します。

5. D[お気に入りの適用]をクリックし、現在の印刷の設定をお気に入りの設定に置き換えます。

6. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.192 」を参照してください。

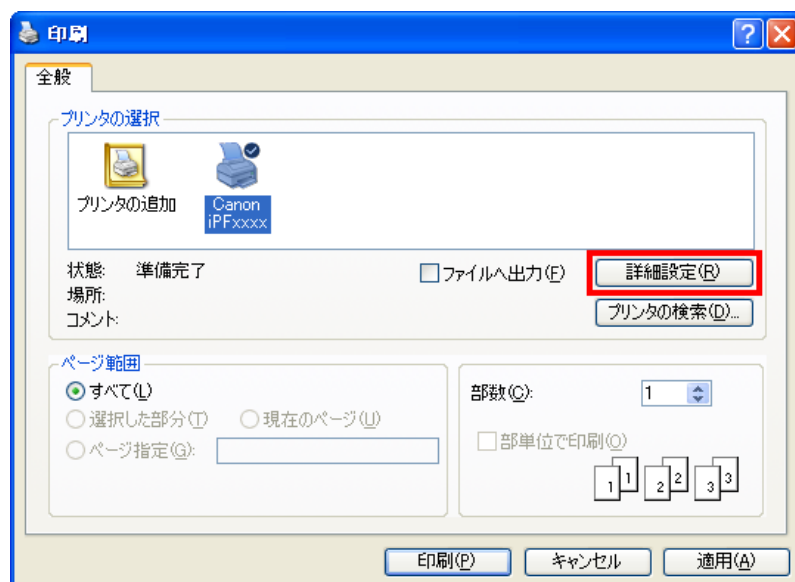
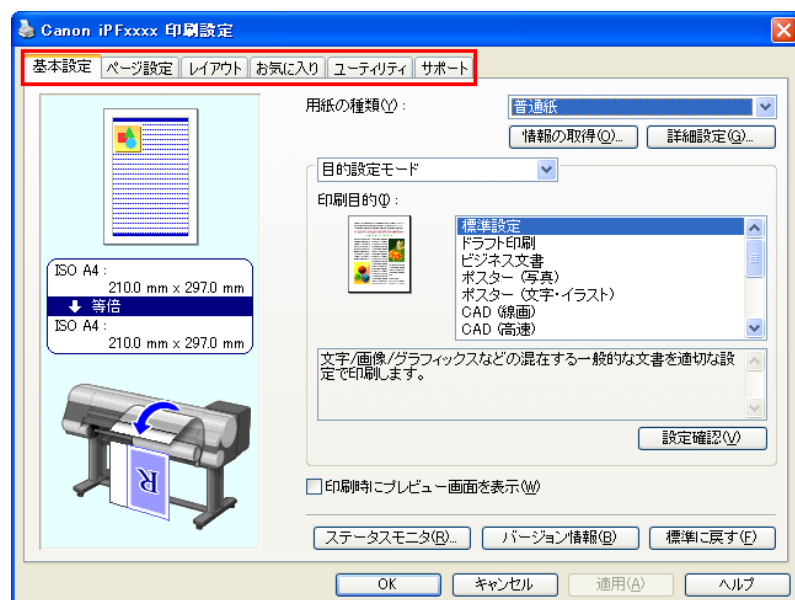
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. [ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷の条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2. プリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

メモ

- 印刷の条件を設定するダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。プリンタを選択すると、表示されているダイアログボックスにプリンタドライバの設定用のシートが追加されるアプリケーションソフトもあります。
以下の例では、[詳細設定]をクリックします。

- アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

メモ

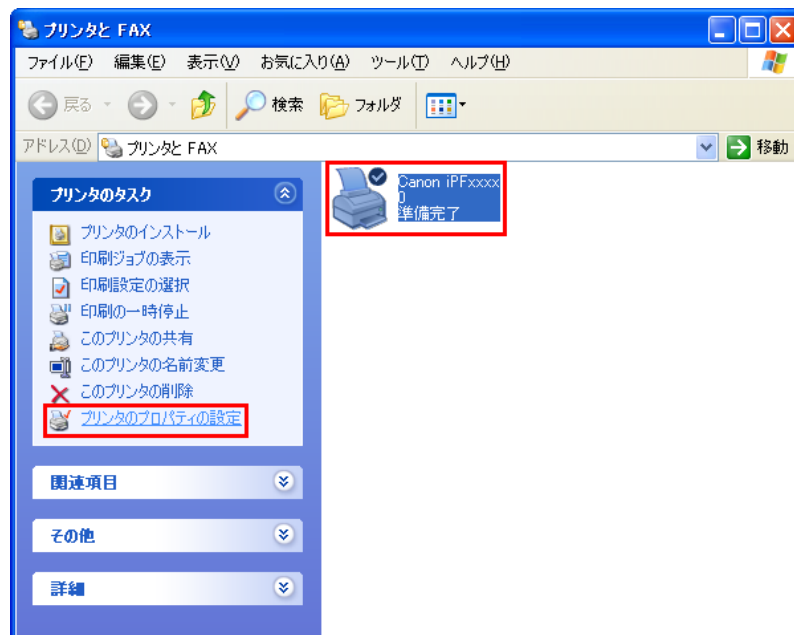
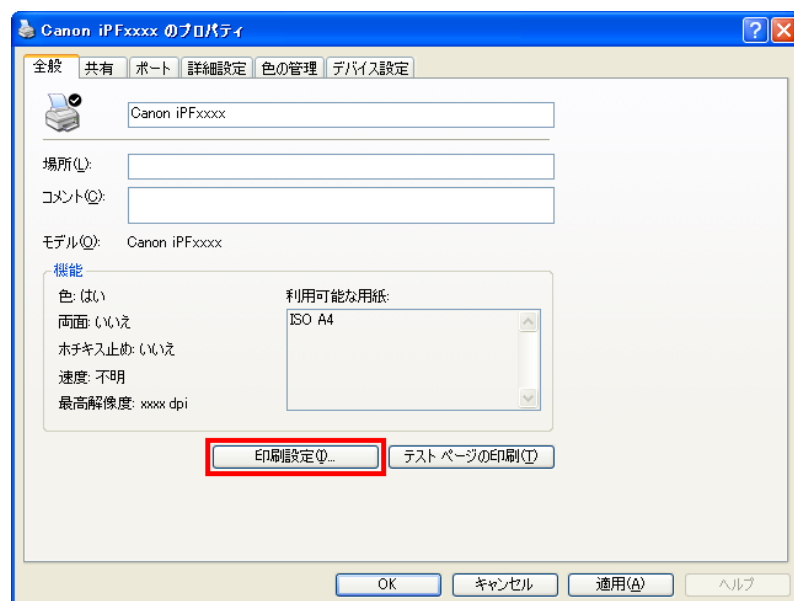
- アプリケーションソフトによっては、ダイアログボックスのタイトルが異なったり、上記の 6 つ以外のシートも表示される場合があります。

重要

- アプリケーションソフトで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、そのアプリケーションソフトで有効な一時的な設定です。アプリケーションソフトを終了した時点で無効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、Windows のシステムのメニューから開くこともできます。
  設定を継続的に全てのアプリケーションで使用する場合は、システムのメニューからプリンタドライバを開いて設定してください。
  「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.198 」を参照してください。

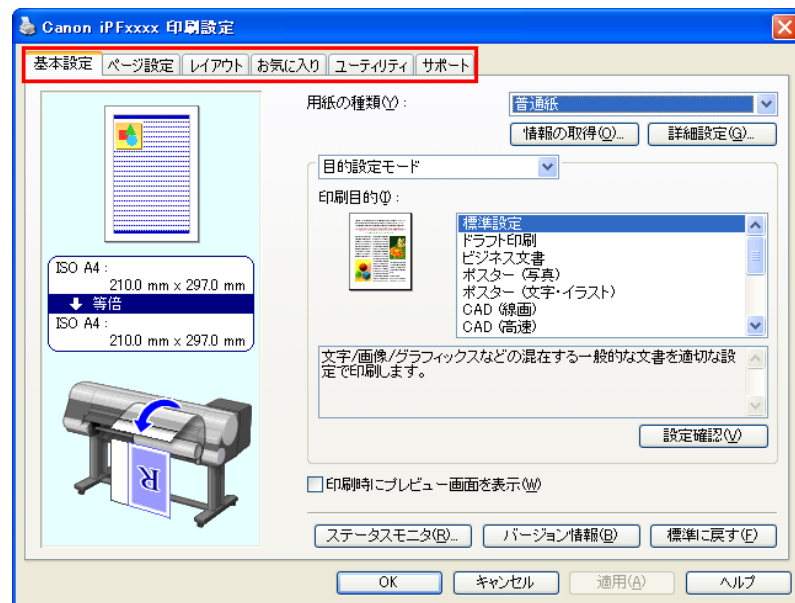
システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. [スタート]メニューから[プリンタと FAX](または[プリンタ])を開きます。

2. プリンタを選択し、プリンタのプロパティのダイアログボックスを開きます。

3. [印刷設定]をクリックし、タイトルにプリンタ名の付いた[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [デバイス設定]シートもプリンタドライバの一部です。(「デバイス設定シート 」参照)

→P.225

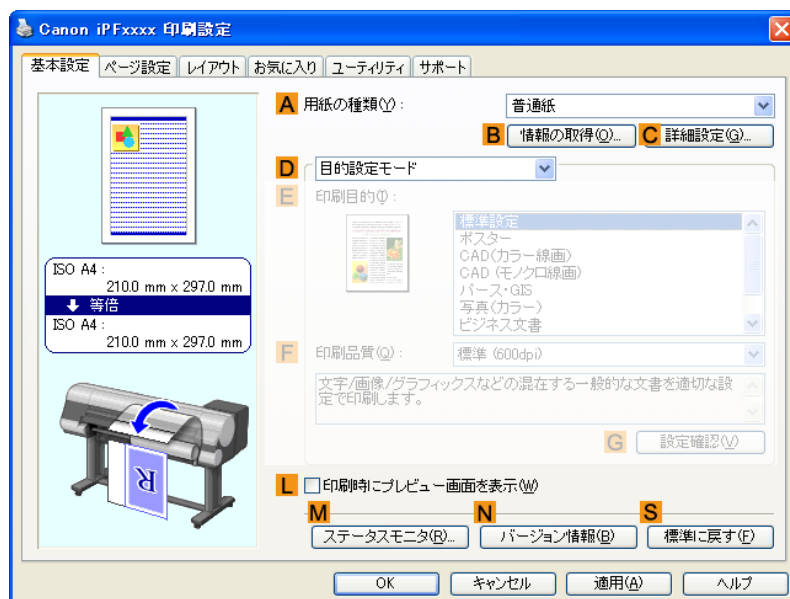
[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

重要

- システムのメニューで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、すべてのアプリケーションソフトで有効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、アプリケーションソフトから開くこともできます。「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.196 」を参照してください。

基本設定シート

[基本設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]シートは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

A[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.570 」参照)

B[情報の取得]

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

- プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.203

C[詳細設定]

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

- 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.204

L[印刷時にプレビュー画面を表示]

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.171

M[ステータスモニタ]

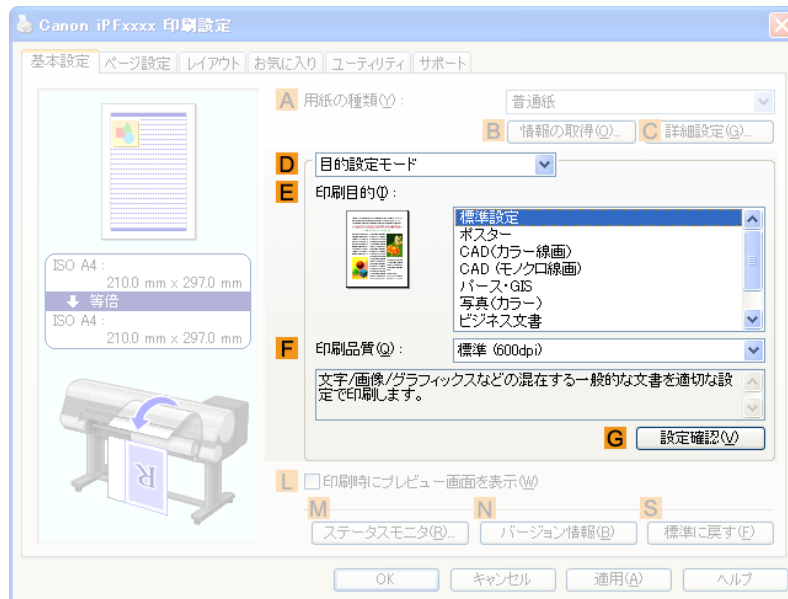
imagePROGRAF Status Monitor が起動します。
プリンタの状態やジョブの状態などを確認できます。
また、プリンタにエラーが発生した場合に、電子メールで通知する[電子メール通知]の設定ができます。
詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

N[バージョン情報]

プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

S[標準に戻す]

シート内の各設定値を初期値に戻します。

[目的設定モード]を選択した場合

E[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

- 写真やイラストを印刷する →P.29
- 線画や文字を印刷する →P.19
- オフィスの文書を印刷する →P.37

A[用紙の種類]によっては選択できない E[印刷目的]があります。

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

G[設定確認]

[印刷目的]の設定値が表示されます。
[印刷目的]の設定値を確認したり、順番を変更することができます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.205

[詳細設定モード]を選択した場合

E[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

G[カラーモード]

カラーモードを選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

メモ

- A[用紙の種類]によっては選択できない G[カラーモード]があります。

H[色設定]

クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

- プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44

I[細線強調]

オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

J[片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

K[文字鮮鋭化]

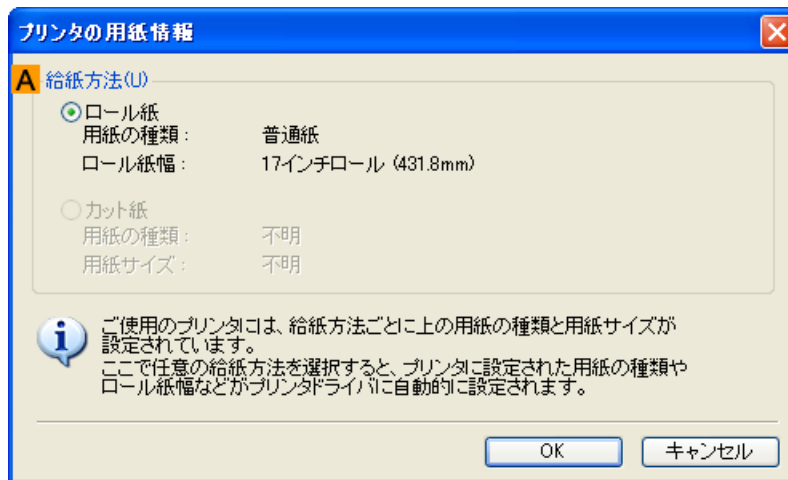
オンにすると、文字を鮮明に印刷します。

T[エコノミー印刷]

チェックボックスをオンにすると、インクの消費量を抑えて印刷します。ただし、通常の印刷よりも印刷品位は下がります。
図面を確認のために印刷する場合などにインクを節約したいときにオンにしてください。この機能は、A[用紙の種類]、F[印刷品質]の設定によっては選択できない場合があります。

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。

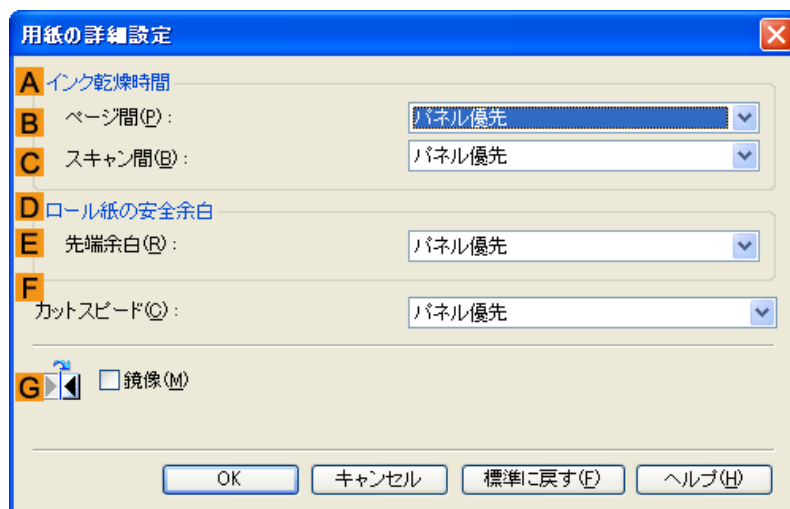
メモ

- [プリンタの用紙情報]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[情報の取得]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.199」参照)

A[給紙方法]

プリンタで使用可能な給紙方法とセットされている用紙の情報が表示されます。[給紙方法]を選択して[OK]をクリックすると、プリンタドライバに給紙方法と用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.199 」参照)

A[インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[インク乾燥時間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

- (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する →P.591 」参照)

B[ページ間]

1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。

C[スキャン間]

ページ内で 1 ラインを印刷してから、次の 1 ラインを印刷するまでの時間を設定できます。

D[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

E[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

F[カットスピード]

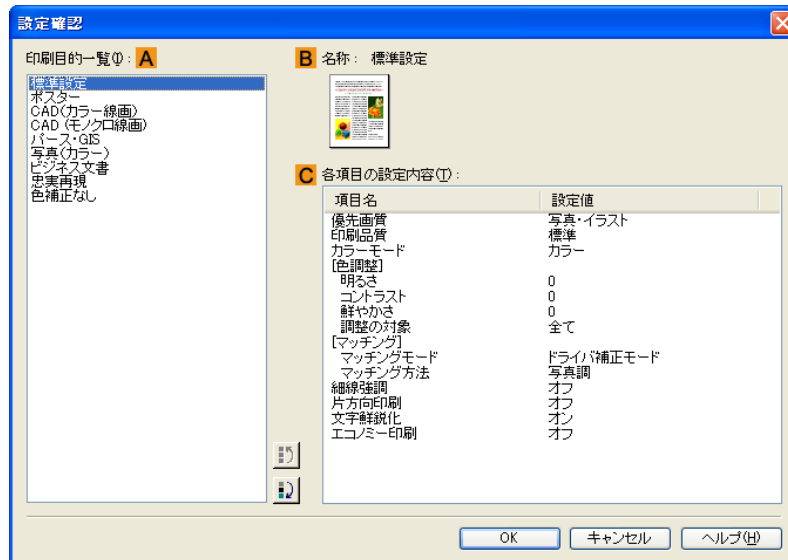
オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

G[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.199」参照)

A[印刷目的一覧]

[印刷目的]のすべての項目が表示されます。

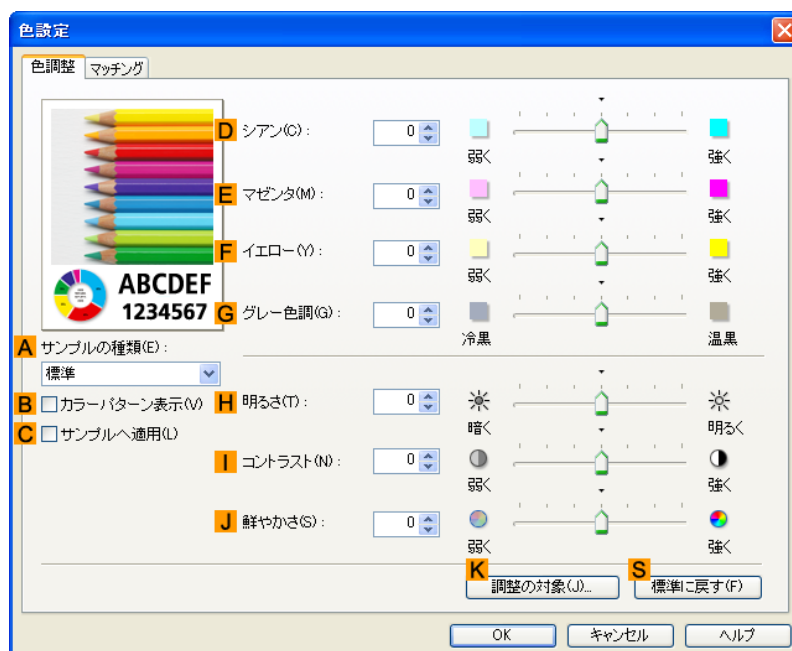
B[名称]

[印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。

C[各項目の設定内容]

選択した[印刷目的]の一覧から選択した各項目の細かな設定値を確認することができます。

色調整シート(カラー)

[色調整]シートでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.199」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

G[グレー色調]

グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J[鮮やかさ]

色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

K[調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

- 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.207

S[標準に戻す]

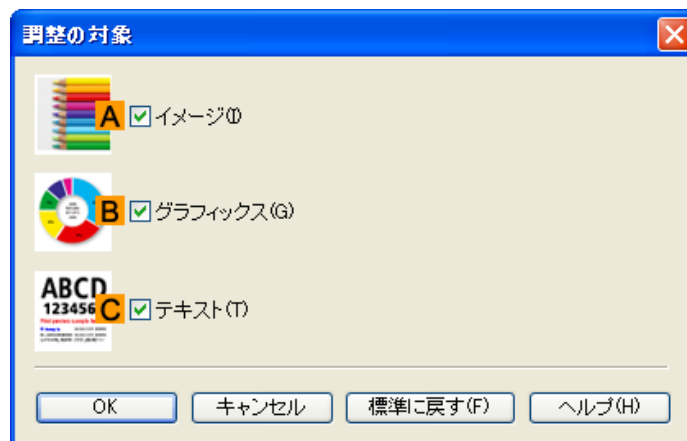
クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A[イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

B[グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

C[テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

マッチングシート

[マッチング]シートでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

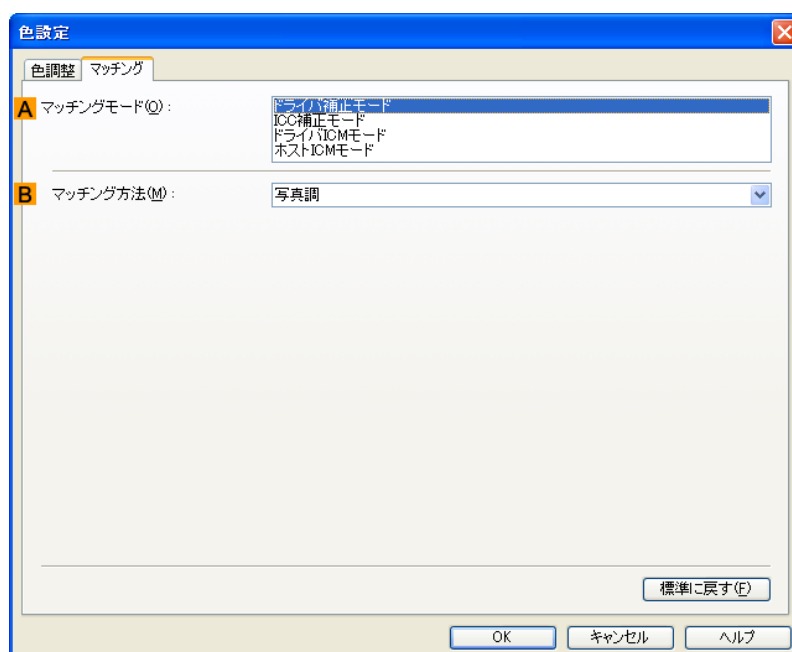
メモ

- [マッチング]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]シートをクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.199 」参照)

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]シートは表示されません。

[ドライバ補正モード]

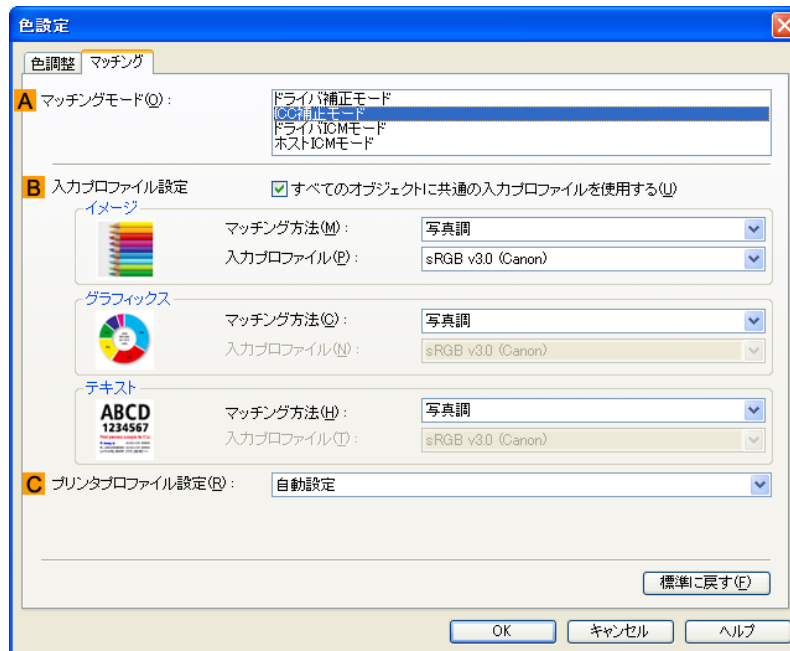
A[マッチングモード]の一覧から[ドライバ補正モード]を選択したときに、以下の項目を設定できます。

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。
通常は、[ドライバ補正モード]を選択します。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合は、使用するカラーマッチングシステムに応じて[ICC 補正モード]、[ドライバ ICM モード]、[ホスト ICM モード]を選択します。

B[マッチング方法]

印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。[マッチング方法]は、選択した[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

[ICC 補正モード]/[ドライバ ICM モード]/[ホスト ICM モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]、[ドライバ ICM モード]、[ホスト ICM モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。

B[入力プロファイル設定]

[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]それぞれを選択できます。[マッチング方法]と[入力プロファイル]を選択することができます。
選択されている[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。
[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスがオンになっているときは、[グラフィックス]、[テキスト]にも自動的に同じ入力プロファイルが設定されます。[グラフィックス]、[テキスト]に対して、それぞれ異なる入力プロファイルを設定したいときは、[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスをオフにしてから、設定します。

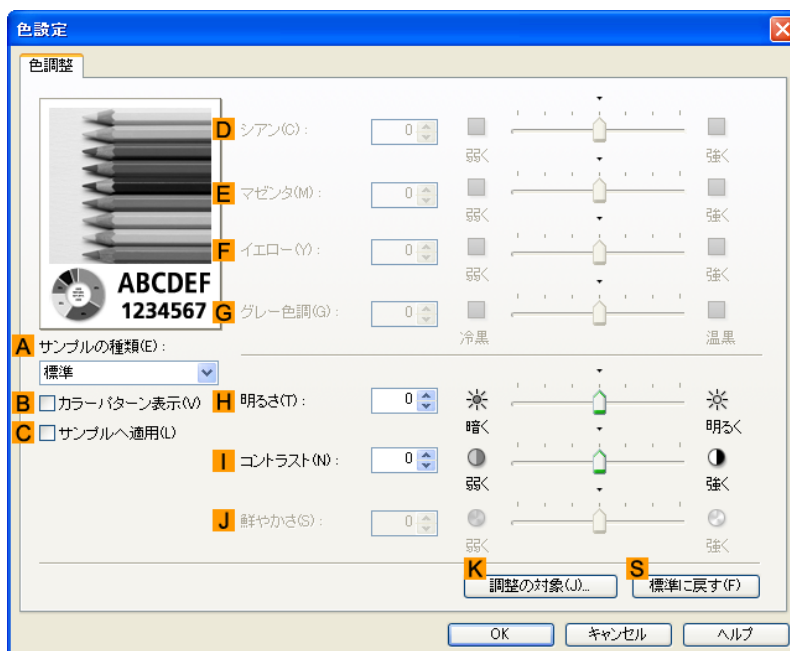
C[プリンタプロファイル設定]

プリンタのプロファイルを設定することができます。通常は[自動設定]を選択します。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 」を参照してください。

色調整シート(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]シートでは、明るさとコントラストを調整することができます。

4

メモ

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.199 」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

設定できません。

G[グレー色調]

設定できません。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J [鮮やかさ]

設定できません。

K [調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.211

S [標準に戻す]

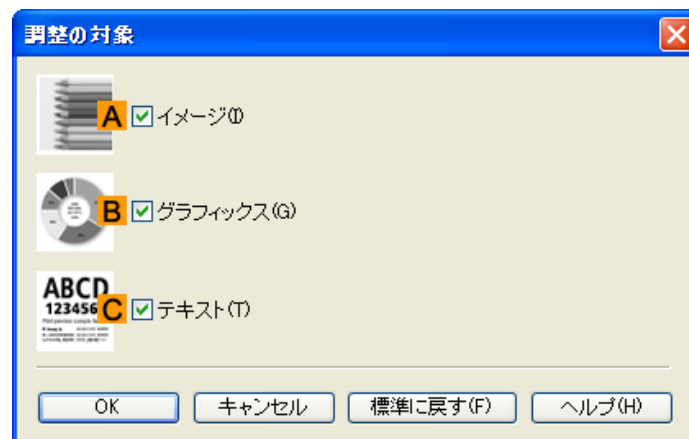
クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A [イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

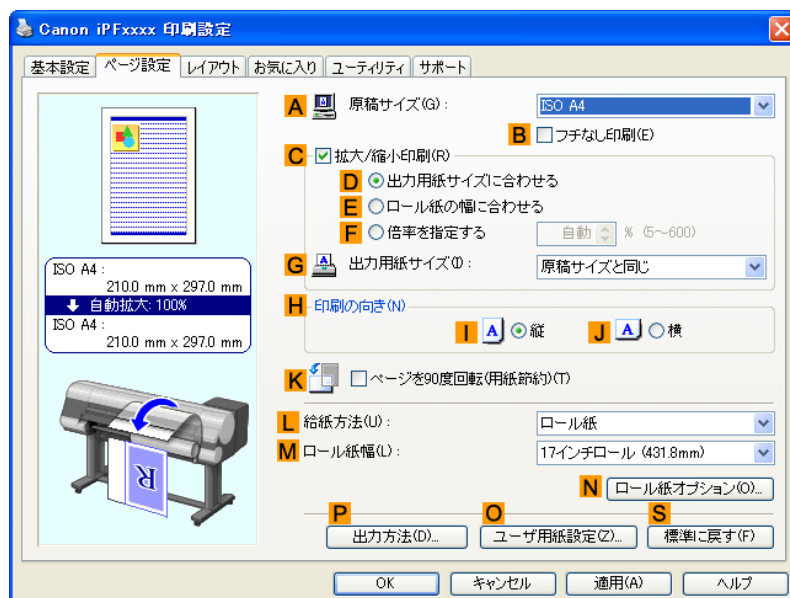
B [グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

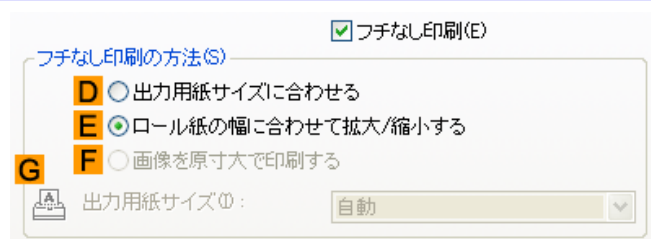
C [テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

ページ設定シート

[ページ設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[原稿サイズ]

アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択できます。
選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.573 」を参照してください。

B[フチなし印刷]

L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.94
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.101
- 原寸大のフチなしで印刷する →P.87

D[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

E[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]

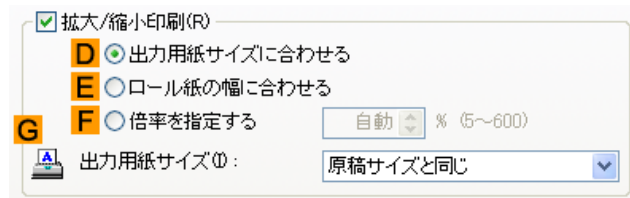
原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

F[画像を原寸大で印刷する]

画像を原寸大で印刷できます。A[原稿サイズ]の一覧から、原稿の高さまたは幅が[ロール紙]の幅と同じサイズを選択したときに有効になります。

G[出力用紙サイズ]

D[出力用紙サイズに合わせる]を選択すると有効になります。
印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.573 」を参照してください。
一覧には、フチなしで印刷できる用紙のサイズが表示されます。

C[拡大/縮小印刷]

オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.62
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.68
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.73

D[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

E[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

F[倍率を指定する]

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5～600]の値を入力できます。

G[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.573 」を参照してください。

H[印刷の向き]

印刷の向きを選択できます。

- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する →P.176

K[ページを 90 度回転(用紙節約)]

オンにすると、ページを 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.157

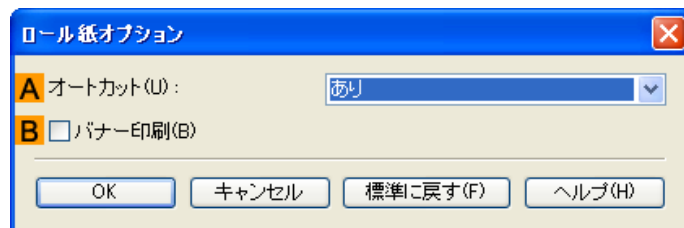
L[給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]シートの[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

M[ロール紙幅]

ロール紙の幅を選択できます。
選択できるロール紙の幅については、「用紙のサイズ →P.573 」を参照してください。

N[ロール紙オプション]

ロール紙のオプション設定を行います。クリックすると[ロール紙オプション]ダイアログボックスが開きます。

A[オートカット]の一覧からオートカットの[あり]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定できます。

- 印刷後にロール紙をカットする →P.182

複数ページをつなげて印刷する場合は B[バナー印刷]をチェックします。

- 複数ページをつなげて印刷する →P.130

P[出力方法]

クリックすると[出力方法]ダイアログボックスが開き、[出力方法]や[保存するデータの名称]を設定することができます。

- 出力方法ダイアログボックス →P.215

O[ユーザ用紙設定]

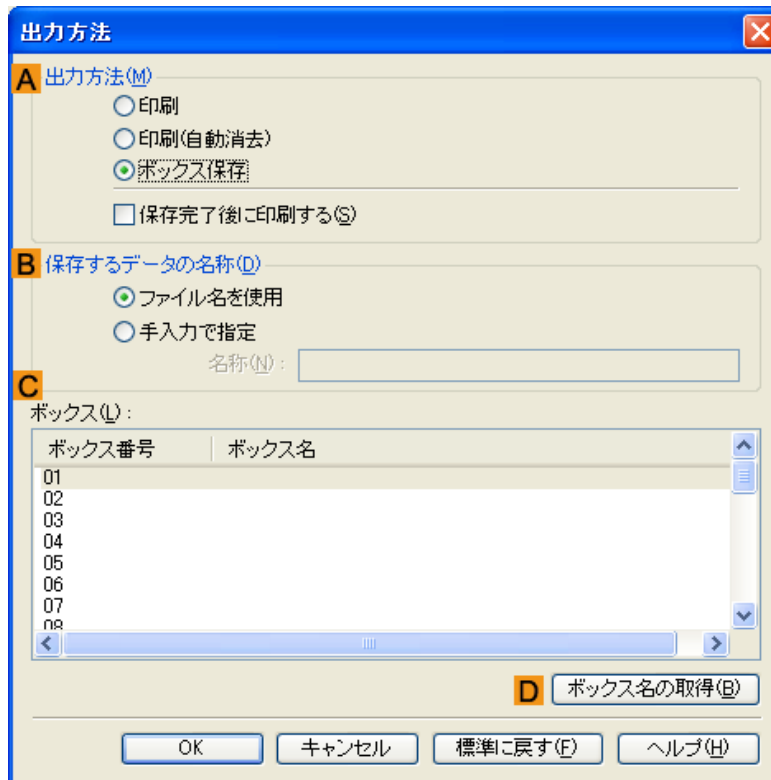
クリックすると[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが開き、独自の用紙サイズを登録したり、使用するサイズの系列を設定できます。

- ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.216

S[標準に戻す]

シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

出力方法ダイアログボックス

[出力方法]ダイアログボックスでは、[出力方法]を選択したり、ボックスに保存する場合に、保存の設定をすることができます。

メモ

- [出力方法]ダイアログボックスは、[ページ設定]シートの[出力方法]をクリックすると表示できます。(「ページ設定シート →P.212 」参照)

A[出力方法]

[印刷]を選択すると印刷終了後に、印刷ジョブがプリンタのハードディスクに保存されます。
[印刷(自動消去)]を選択すると、印刷終了後すぐにデータが消去されます。
[ボックス保存]を選択すると印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに保存されます。[ボックス保存]を選択した場合は、[ボックス]の一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。
[保存完了後に印刷する]をチェックすると、一時保存ボックスの印刷ジョブの保存が完了してから印刷を開始します。

B[保存するデータの名称]

ファイル名をそのまま使用する場合は、[ファイル名を使用]を選択します。
ファイル名を使用しない場合は、[手入力で指定]を選択し、[名称]に保存名を入力します。

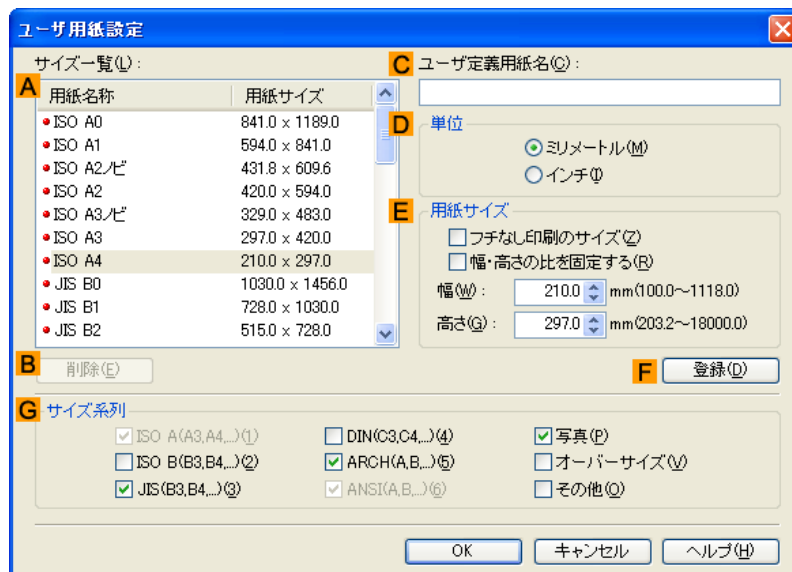
C[ボックス]

ボックスの一覧が表示されます。[ボックス保存]を選択した場合に、一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。

D[ボックス名の取得]

クリックすると、[ボックス]にプリンタ本体から取得したボックス名が表示されます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスでは、独自のユーザ定義用紙を作成して登録することができます。定義した用紙サイズは、標準の用紙サイズとともに一覧から選択できるようになります。

メモ

- [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスは、[ページ設定]シートの[ユーザ用紙設定]をクリックすると表示できます。(「ページ設定シート →P.212 」参照)

A[サイズ一覧]

プリンタドライバで使用可能な用紙サイズの名称とサイズが表示されます。

B[削除]

A[サイズ一覧]からユーザが作成したユーザ定義用紙を削除することができます。
以下の場合は、削除することができません。

- プリンタドライバ標準の用紙サイズを選択した場合
- オーバーサイズの用紙サイズを選択した場合
- 赤い丸の付いた用紙サイズを選択した場合

C[ユーザ定義用紙名]

ユーザ定義用紙の名称を指定することができます。

D[単位]

ユーザ定義用紙の高さ、幅のサイズの単位を指定することができます。

E[用紙サイズ]

用紙の[幅]と[高さ]を指定することができます。[フチなし印刷のサイズ]チェックボックスをオンにすると、[フチなし印刷]が可能なサイズから選択することができます。[幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにすると、[幅]と[高さ]の比率を保ったままサイズを変更することができます。

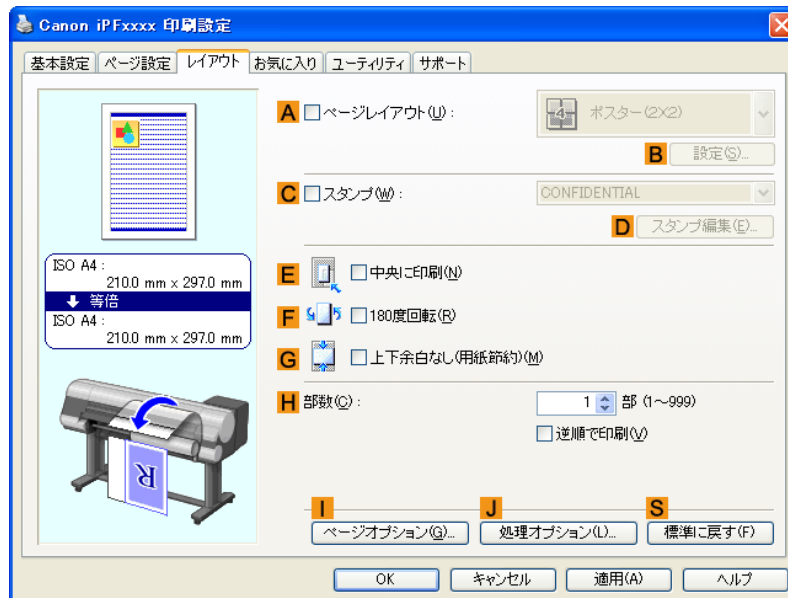
F[登録]

設定したユーザ定義用紙を登録したり、既存のユーザ定義用紙を上書きすることができます。

G[サイズ系列]

[原稿サイズ]、[出力用紙サイズ]、[サイズ一覧]に表示する選択肢の数を制限することができます。

レイアウトシート

[レイアウト]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[ページレイアウト]

オンにすると、ページレイアウトを選択できます。

- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する →P.135
- ポスターを分割して印刷する →P.141
- 複数の原稿を並べて印刷する →P.125
- PosterArtist で編集して印刷する →P.168

B[設定]

クリックすると、A[ページレイアウト]で選択した項目によって、以下のいずれかのダイアログボックスが開き、レイアウトの詳細や印刷するページを設定できます。

- [N ページ印刷]
- [出力ページの指定]
- [フリーレイアウト設定]

C[スタンプ]

オンにすると、[スタンプリスト]と D[スタンプ編集]が選択できるようになります。

- スタンプを押して印刷する →P.173

[スタンプリスト]

あらかじめ用意されたスタンプのリストが表示されます。印刷したいスタンプを選びます。

D [スタンプ編集]

クリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開き、独自のスタンプを定義できます。

E [中央に印刷]

オンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.145
- 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.151

F [180 度回転]

オンにすると、原稿を 180 度回転して印刷できます。

G [上下余白なし(用紙節約)]

オンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.162

H [部数]

印刷部数を[1〜999]の値で入力できます。

[逆順で印刷]

オンにすると、最終ページから逆の順番で印刷できます。

I [ページオプション]

クリックすると[ページオプション]ダイアログボックスが開き、用紙のヘッダやフッタにユーザ名や日付、ページ番号を印刷する設定をすることができます。

- ページオプションダイアログボックス →P.219

J [処理オプション]

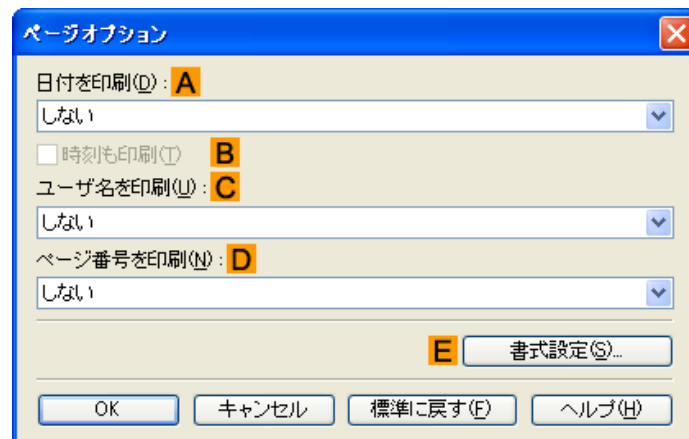
思いどおりに印刷できない場合、クリックすると、印刷の処理方法を変更できます。

- 処理オプションダイアログボックス →P.220

S [標準に戻す]

クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ページオプションダイアログボックス

[ページオプション]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [ページオプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[ページオプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.217 」参照)

A[日付を印刷]

日付を印刷する位置を選択することができます。B[時刻も印刷]をチェックすると時刻も印刷します。

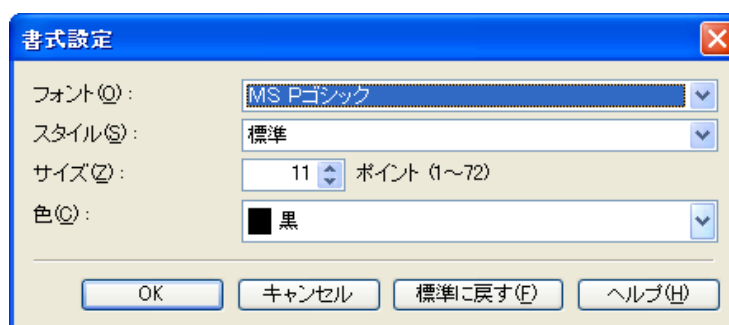
C[ユーザ名を印刷]

ユーザ名を印刷する位置を選択することができます。

D[ページ番号を印刷]

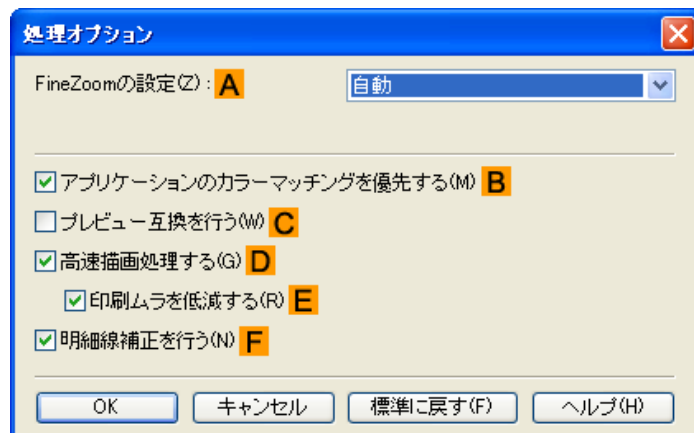
ページ番号を印刷する位置を選択することができます。

E[書式設定]

[書式設定]ダイアログボックスが開き、書式を設定する事ができます。

メモ

- 同じ位置が指定された場合には、左から日付/ユーザ名/ページ番号の順に配置して印字を行います。
- [N ページ印刷]などで複数ページを 1 枚にまとめる設定をした場合、それぞれのページに印刷されます。

処理オプションダイアログボックス

[処理オプション]ダイアログボックスでは、思いどおりの印刷結果を得られなかったときに、印刷の処理方法を変更することができます。

メモ

- [処理オプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[処理オプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.217」参照)

A [FineZoom の設定]

長尺用紙に印刷するときに使用する機能です。通常は[自動]を選択してください。長尺用紙への印刷が正しく行われない場合は[する]を選択し、細い線が消えるなどの画像乱れが発生する場合は[しない]を選択することにより改善する場合があります。

B [アプリケーションのカラーマッチングを優先する]

アプリケーションソフトによるカラーマネージメントを優先させることができます。

C [プレビュー互換を行う]

チェックボックスをオンにすると、[基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]をチェックして印刷したときに、PageComposer を起動します。

D [高速描画処理する]

画像の色味や線の太さなどが違って印刷されたとき、チェックボックスをオフにすると、思いどおりの印刷結果を得られることがあります。

重要

- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

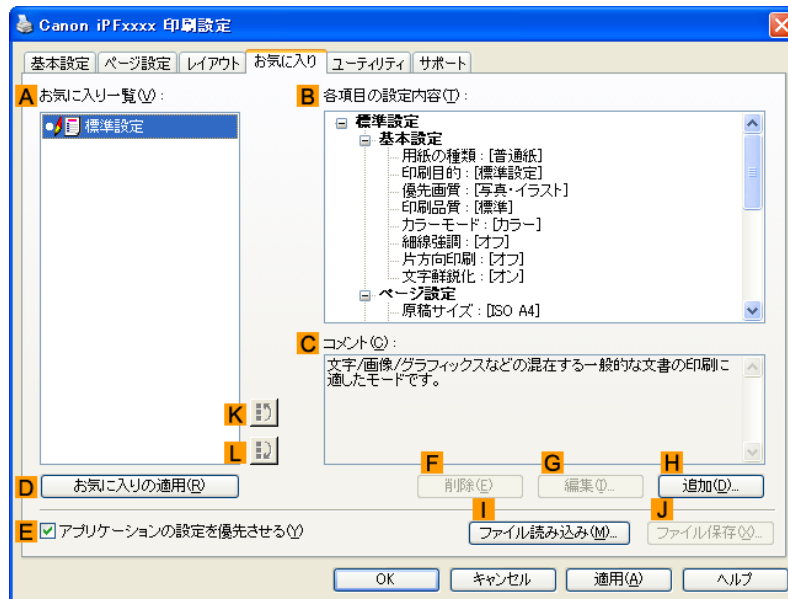
E [印刷ムラを低減する]

印刷ムラが気になるとき、チェックボックスをオンにすると印刷結果が改善されることがあります。ただし、画像によっては印刷速度が遅くなります。

F [明細線補正を行う]

細線の色味が他の図形と違って印刷されるとき、チェックボックスをオフにすると、思い通りの印刷結果を得られることがあります。ただし、色によっては細線が途切れて印刷される場合があります。

お気に入りシート

[お気に入り]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[お気に入り一覧]

[標準設定]と、独自に作成したお気に入りの設定の一覧が表示されます。

- お気に入りの設定で印刷する →P.182

B[各項目の設定内容]

A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の設定内容が表示されます。

C[コメント]

お気に入りの設定に登録したコメントが表示されます。

D[お気に入りの適用]

クリックすると、印刷の設定を、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定に変更できます。

E[アプリケーションの設定を優先させる]

オンにすると、D[お気に入りの適用]をクリックしたときに、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定よりも、アプリケーションソフトでの設定を優先します。優先される項目については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

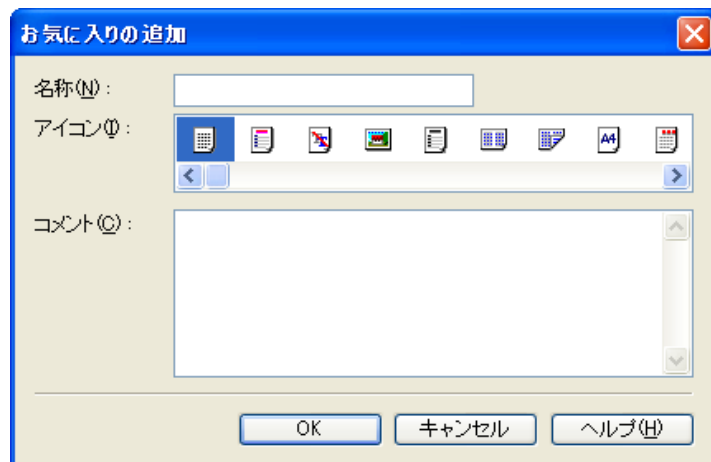
F[削除]

クリックすると、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を削除できます。

G[編集]

クリックすると[お気に入りの編集]ダイアログボックスが開き、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の名前やアイコンを編集できます。

H[追加]

クリックすると[お気に入りの追加]ダイアログボックスが開き、現在の印刷の設定をお気に入りの設定として登録できます。

I[ファイル読み込み]

クリックすると[ファイルを開く]ダイアログボックスが開き、ファイルに保存されているお気に入りの設定を読み込むことができます。

J[ファイル保存]

クリックすると[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開き、お気に入りの設定をファイルに保存できます。

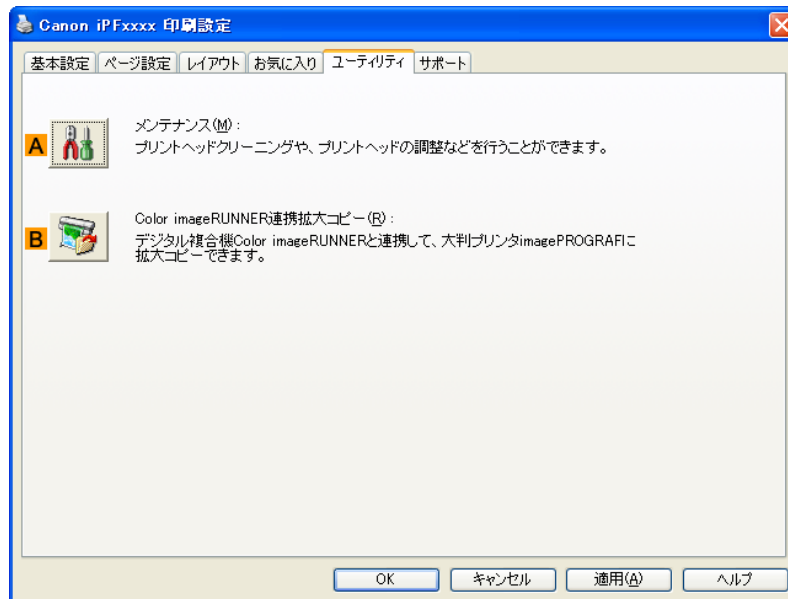
K[上へ]

クリックすると A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を上へ変更することができます。

L[下へ]

クリックすると A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を下へ変更することができます。

ユーティリティシート

[ユーティリティ]シートでは、以下の項目を実行できます。ユーティリティの詳細については、各ユーティリティのヘルプを参照してください。

A [メンテナンス]

クリックすると imagePROGRAF Status Monitor が起動し、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

- ノズル(インクの噴き出し口)のチェック
- ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
- ヘッドの位置の調整
- 用紙の送り量の調整

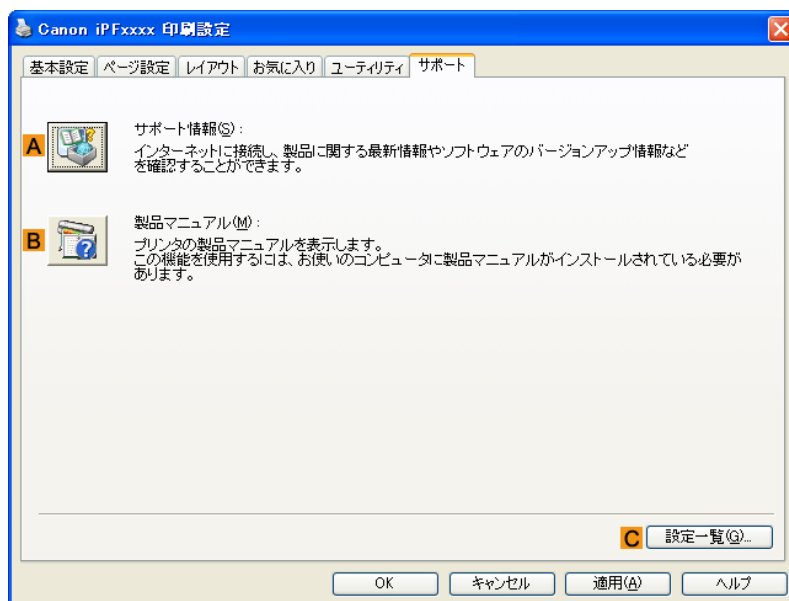
B [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]

クリックすると Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティ(iR 連携)が起動し、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるホットフォルダを作成したり、ホットフォルダに印刷の条件を設定することができます。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.280

詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.269 を参照してください。

サポートシート

[サポート]シートでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

A [サポート情報]

クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

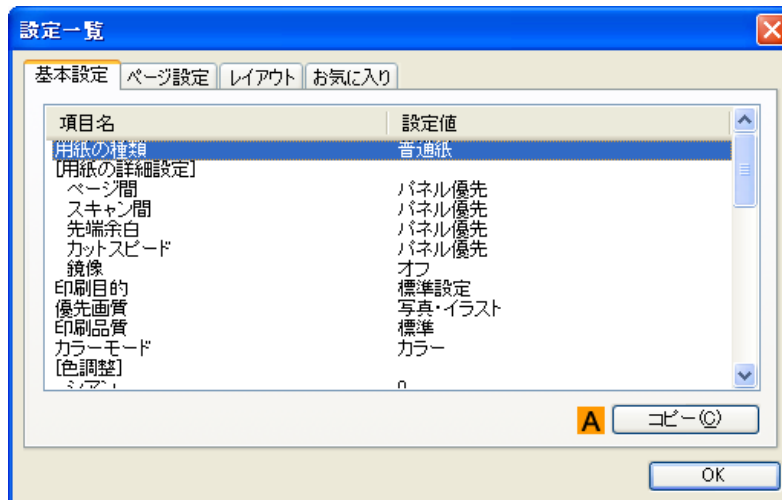
B [製品マニュアル]

クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

C [設定一覧]

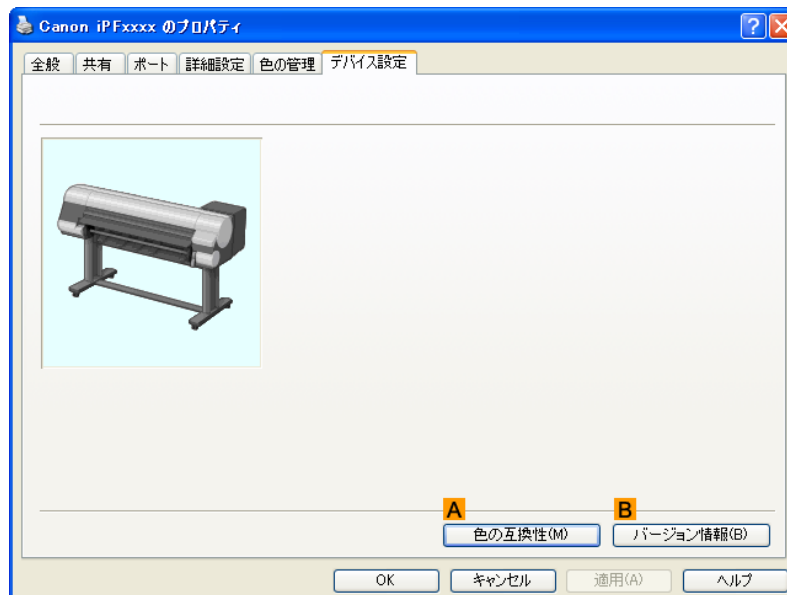
クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を確認することができます。

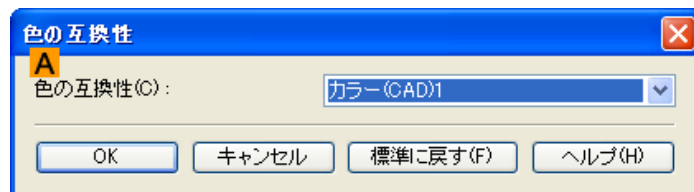
設定一覧ダイアログボックス

[設定一覧]ダイアログボックスでは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を表示することができます。

A[コピー]

クリックすると、設定をクリップボードにコピーします。テキストエディタなどに貼り付けることができます。

デバイス設定シート

プリンタのプロパティのウィンドウにあるシートの多くは、Windows によって管理されています。ただし、[デバイス設定]シートはプリンタの構成に関連する設定を行うシートで、プリンタドライバの一部です。
[デバイス設定]シートでは、以下の項目を設定できます。

A［色の互換性］

クリックすると［色の互換性］ダイアログボックスが開き、［カラーモード］で［カラー（CAD）］を選択した場合の色味の設定を行うことができます。

- カラー設定についての詳細は CAD 図面の色味を設定して印刷する →P.26 を参照してください。

B［バージョン情報］

プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトの設定を変更することができます。
- レイアウトを変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Preview は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

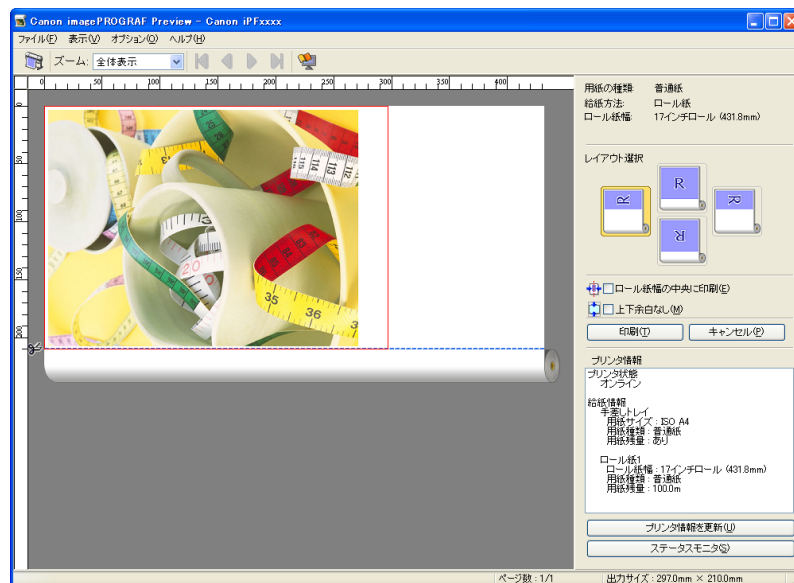
メモ

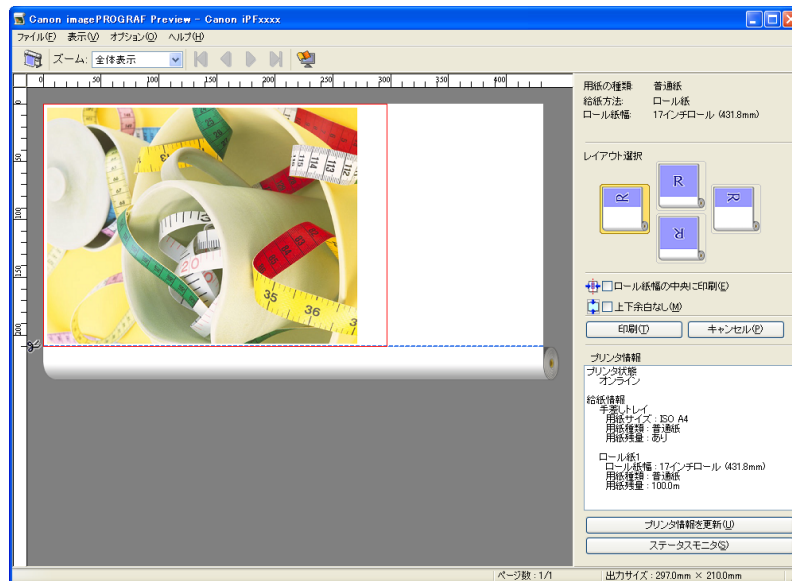
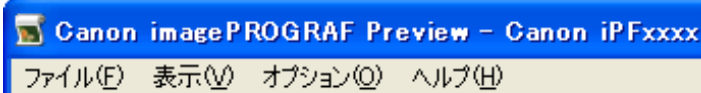
- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

3. [基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。

5. Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

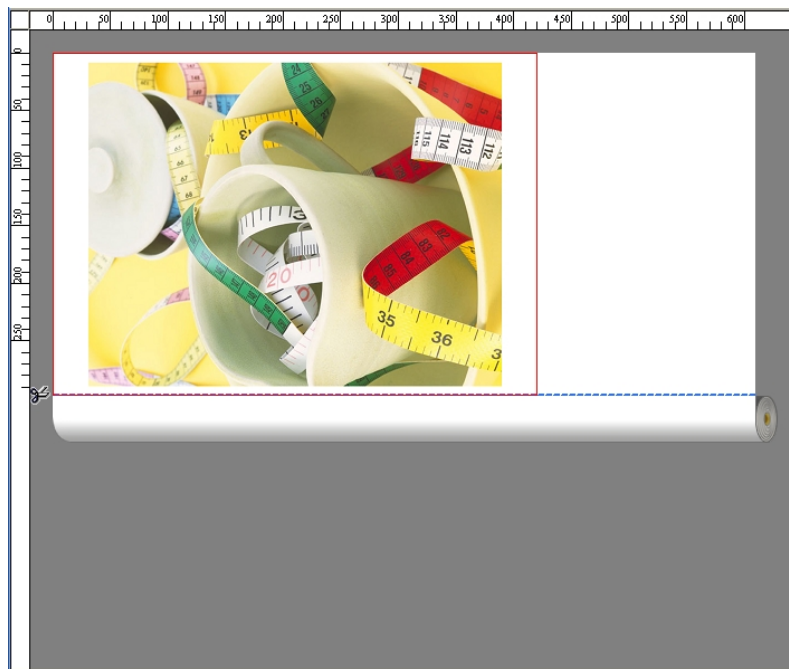
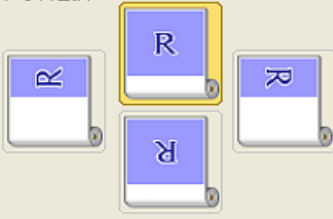
操作に必要なメニューを選択できます。

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

4

プレビューエリア

設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

ダイアログエリア

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。

ダイアログエリアについて詳しくは、「ダイアログエリア」を参照してください。→P.232

ステータスバー

メッセージ、[ページ数]と[出力サイズ]が表示されます。

画像を90度回転して印刷すれば、用紙を節約できます。 | ページ数 : 1/1 | 出力サイズ : 297.0mm × 420.0mm

ダイアログエリア

レイアウトを選択したり、中央に印刷することができます。

[用紙の種類]/[給紙方法]/用紙のサイズ

設定されている情報を確認することができます。

[レイアウト選択]

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。
[レイアウト選択]について詳しくは、「レイアウトを選択して印刷する」を参照してください。→P.236

[ロール紙幅の中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。
[ロール紙幅の中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.238

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[上下余白なし]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.239

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[印刷]ボタン

ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

[キャンセル]ボタン

ボタンをクリックすると、印刷を中止します。

[プリンタ情報]

プリンタから取得した情報を確認することができます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタと接続しプリンタ情報を更新することができます。

[ステータスモニタ]ボタン

ボタンをクリックすると、[ステータスモニタ]を起動します。

画面表示を拡大/縮小する

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、画面表示を拡大/縮小することができます。

項目	内容
[全体表示]	全体を表示します。
[幅に合わせる]	用紙の幅に合わせて表示します。
[縮小]	標準サイズの 1/2 倍で表示します。
[標準]	標準サイズで表示します。
[拡大]	標準サイズの 2 倍で表示します。
[さらに拡大]	標準サイズの 3 倍で表示します。

メモ
- ツールバーの[ズーム]の[▼]ボタンをクリックしても、項目を選択することができます。

ページを移動する

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示するページを移動する事ができます。

項目	内容
[最初のページへ]	最初のページに移動します。
[前のページへ]	前のページに移動します。
[次のページへ]	次のページに移動します。
[最後のページへ]	最後のページに移動します。
[ページの指定]	指定したページに移動します。

メモ

- ツールバーの でページを移動することもできます。

ルーラーを使用する

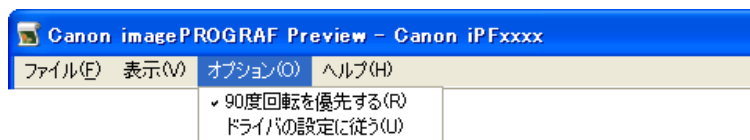
ルーラーを使用してレイアウトを確認することができます。

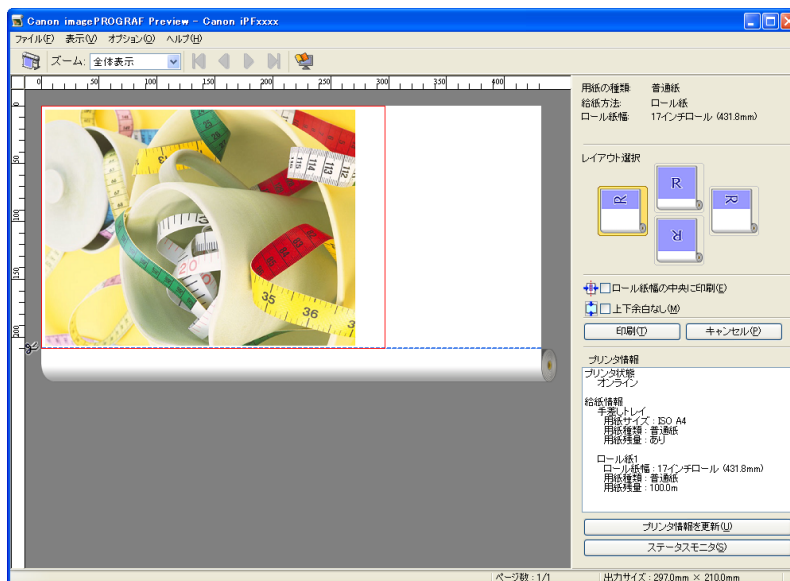
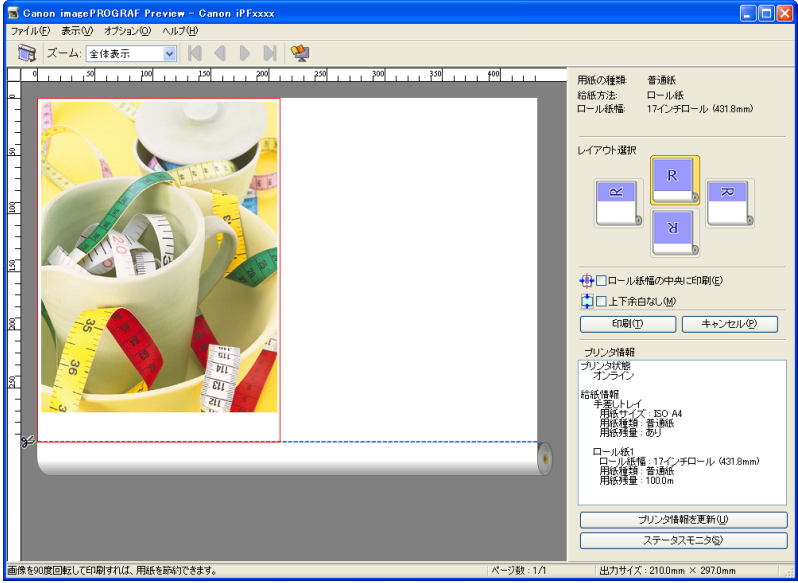
- ルーラーの表示/非表示を切り替える
  [表示]メニューから[ルーラー]を選択すると、ルーラーの表示/非表示が切り替わります。

- ルーラーの表示単位を変更する
  [表示]メニューから[表示単位]を選択すると、ルーラーの表示単位を設定することができます。

項目	内容
[ミリメートル]	ルーラーの目盛りをミリ単位で表示します。
[インチ]	ルーラーの目盛りをインチ単位で表示します。

90 度回転の優先設定を行う

[オプション]メニューから[90 度回転を優先する]または、[ドライバの設定に従う]を選択することができます。

項目	内容
[90 度回転を優先する]	縦長のページを 90 度回転して印刷します。回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ自動的にページを回転します。
[ドライバの設定に従う]	ページを回転させるかどうかは、プリンタドライバの設定に従います。

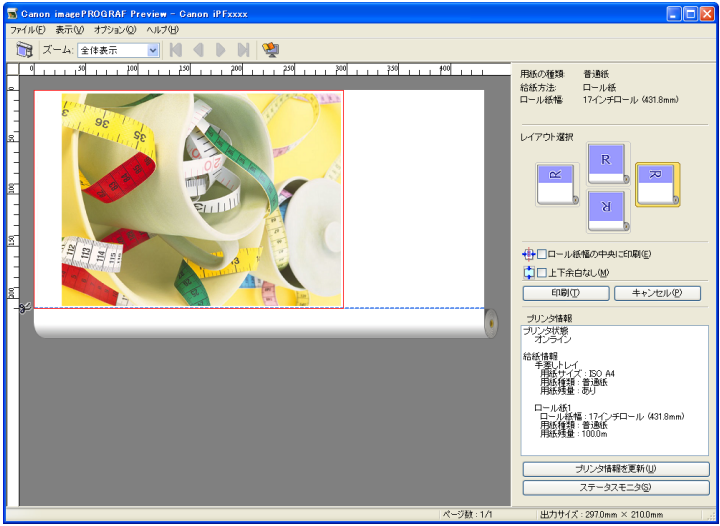
[90 度回転を優先する]が選択されている、またはプリンタドライバで[ページを 90 度回転(用紙節約)]がチェックされている場合

[ドライバの設定に従う]が選択されている場合

レイアウトを選択して印刷する

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。

1. [レイアウト選択]で変更したいレイアウトのボタンをクリックします。

ボタン	内容
[上ボタン]	の位置に回転します。
[右ボタン]	の位置に回転します。
[左ボタン]	の位置に回転します。
[下ボタン]	の位置に回転します。

メモ

- [右ボタン]または[左ボタン]は回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ選択することができます。
- [右ボタン]または[左ボタン]をクリックすると、ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。
- [カット紙]が選択されている場合は、[上ボタン]または[下ボタン]のみ選択することができます。

ボタン	内容
	現在選択されているボタンです。
	選択することができるボタンです。
	選択することができないボタンです。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

選択されたレイアウトで印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。

1. [ロール紙幅の中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

用紙の中央に印刷が開始されます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

1. [上下余白なし]をクリックしてチェックマークを付けます。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

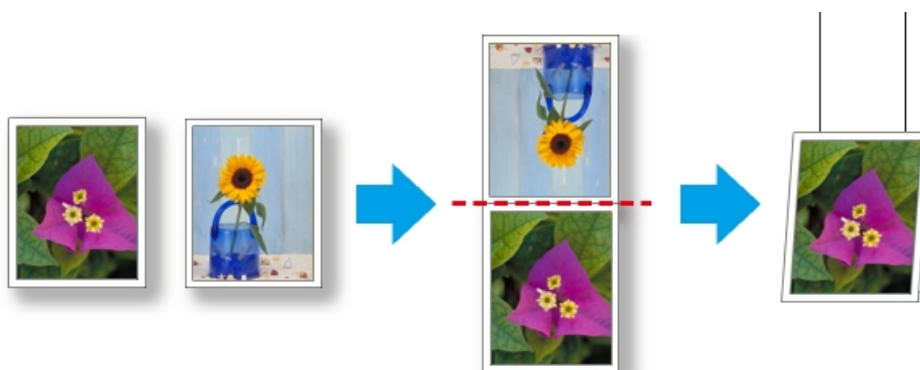
   上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

フリーレイアウト

フリーレイアウトの特長

フリーレイアウトの主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。
- 任意の 2 ページを、折り返すことで両面となるレイアウトに配置し、印刷します。
  天井から吊下げた広告用ポスターなどに利用できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、フリーレイアウト上の設定と異なる場合があります。

動作環境

フリーレイアウトは、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

メモ

- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

フリーレイアウトの起動方法

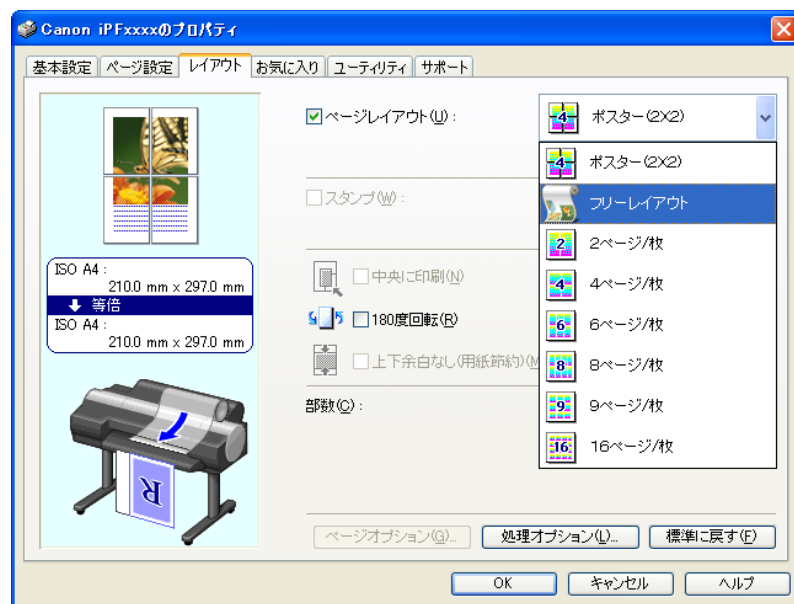
フリーレイアウトを起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

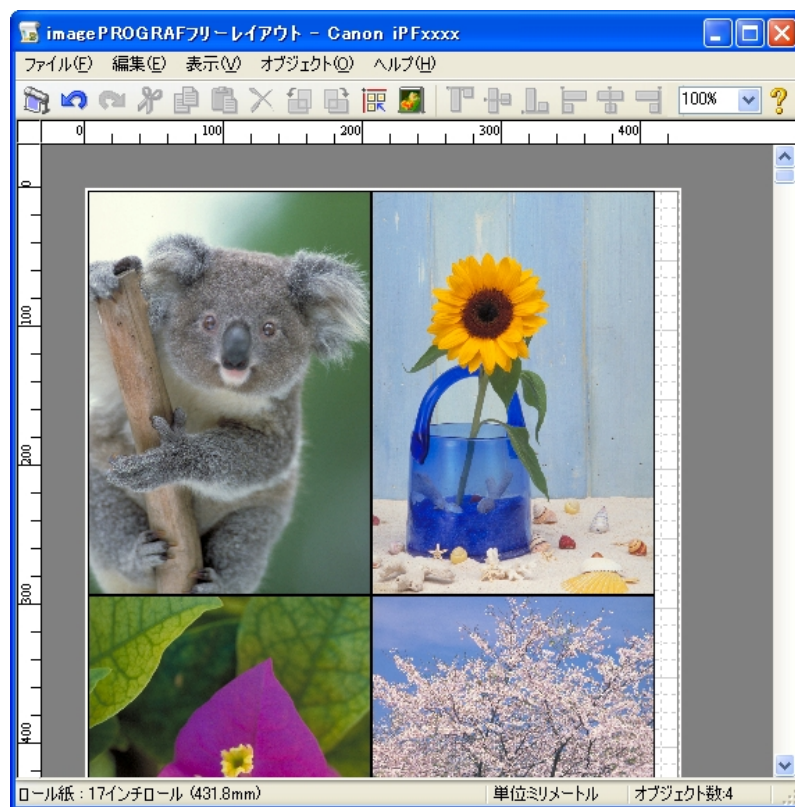
3. 一覧からプリンタを選択し、[レイアウト]シートを選択します。

メモ

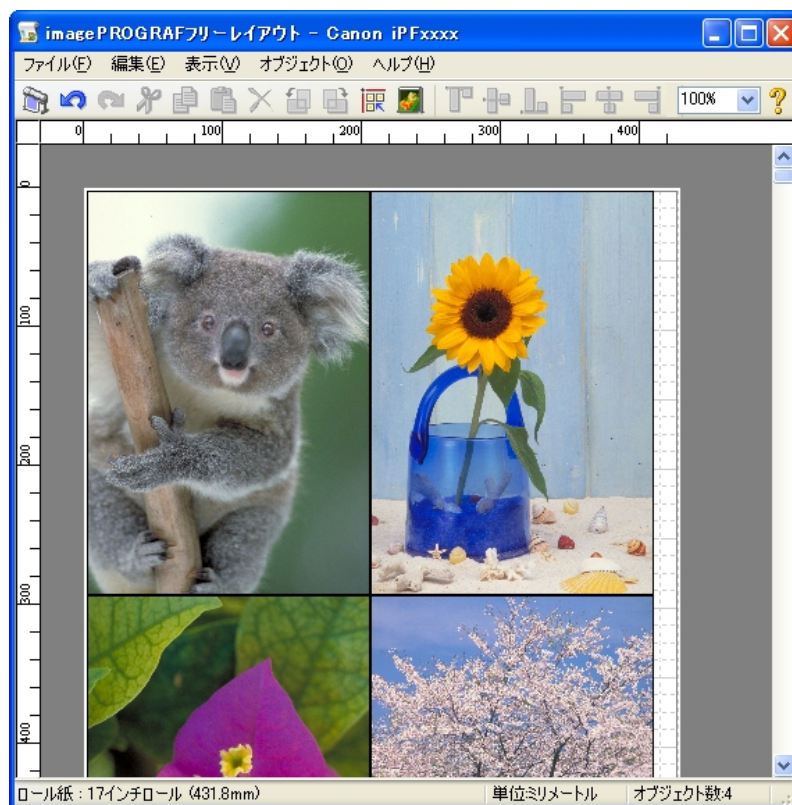
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。
   [OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ

- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

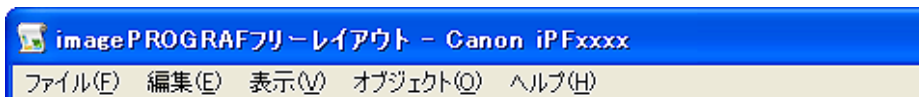
5. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。
フリーレイアウト メインウィンドウが表示されます。

フリーレイアウト メインウィンドウ

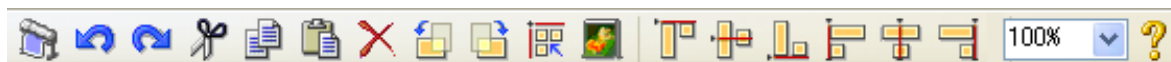
フリーレイアウトのメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

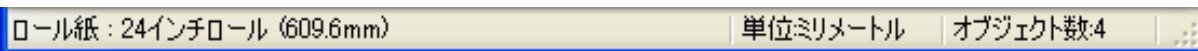
imagePROGRAFフリーレイアウト - Canon iPFxxxx
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) オブジェクト(O) ヘルプ(H)

ツールバー

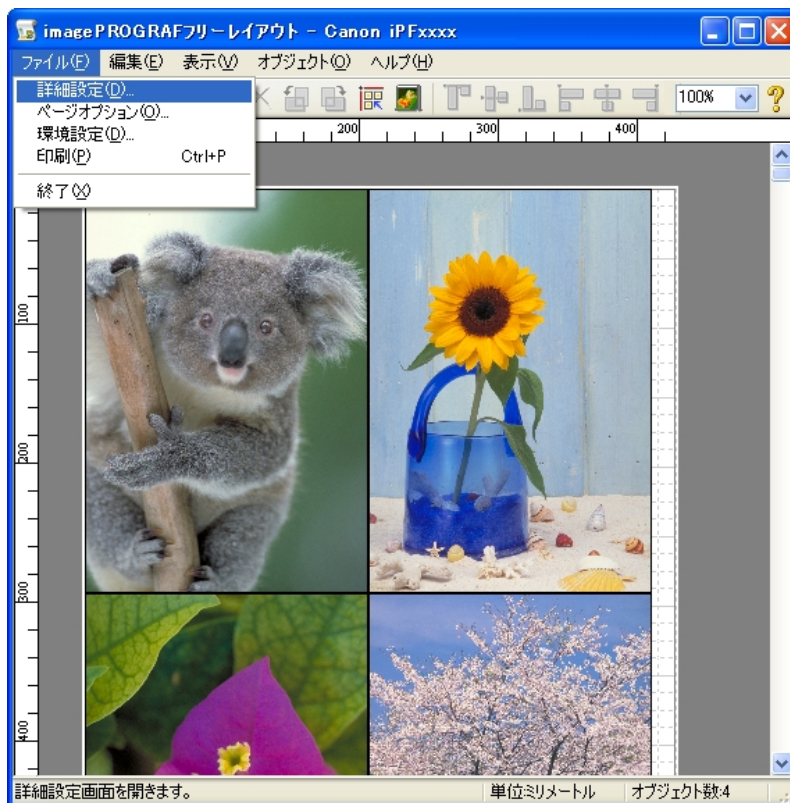
主なツールボタンを選択できます。

レイアウトエリア

オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

ステータスバー

用紙サイズ、長さの単位、オブジェクトの数が表示されます。

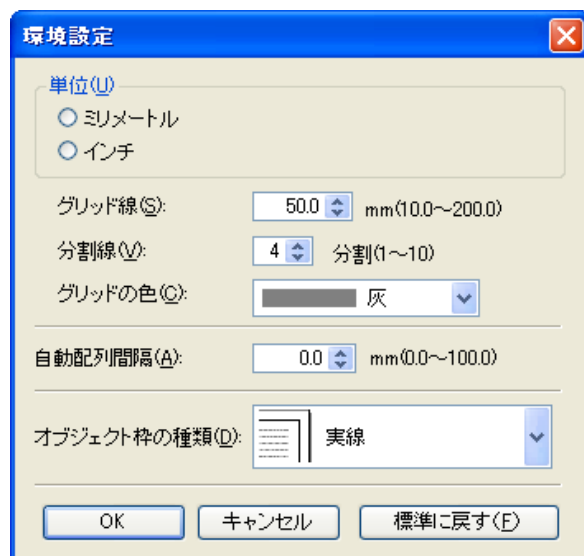
ロール紙 : 24インチロール (609.6mm) | 単位:ミリメートル | オブジェクト数:4

詳細設定ダイアログ

[ファイル]メニューから[詳細設定]ダイアログを選択すると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.188 を参照してください。

メモ

- [詳細設定]ダイアログを選択すると、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの３つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

環境設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。フリーレイアウトの環境設定を行うことができます。

[単位]

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

[グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は「10.0～200.0(mm)」「0.39～7.88(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

メモ

- 入力できる数値は 1～10 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

[自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

メモ

- 入力できる数値は「0.0～100.0(mm)」「0.00～3.94(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。

オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[枠なし]	枠なしで印刷します。
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。
[カットマーク]	カットマークを付けて印刷します。

ページオプションダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページオプション]を選択すると、表示されます。フリーレイアウトのロール紙の長さ、オブジェクトの配置順、余白の設定を行うことができます。

[ロール紙の長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。
ロール紙の長さには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動設定]	配置したオブジェクトが 1 ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する 1 ページの長さが自動で設定されます。
[手動設定]	ロール紙に印刷する 1 ページの長さを半角数字で入力します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2～18000.0(mm)」「8.00～708.66(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。

配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。
[右上から左向き]	右上から左方向に、オブジェクトが配置されます。
[左下から上向き]	左下から上方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]と[右上から左向き]が選択できます。
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]と[左下から上向き]が選択できます。

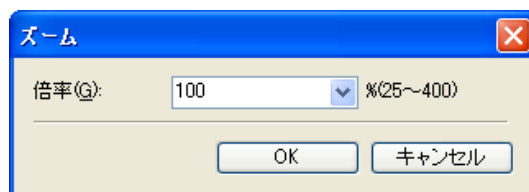
[余白]

用紙の余白を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は「0.0～50.0(mm)」「0.00～1.97(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

[倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。

[サイズ]シート

オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

[回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

[拡大/縮小]

チェックマークを付けると、[倍率を指定する]、[出力用紙サイズに合わせる]または[写真サイズに合わせる]を選択することができます。

設定項目	内容
[倍率を指定する]	オブジェクトの拡大/縮小率の数値を入力します。
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、各オブジェクトを拡大/縮小して印刷します。ロール紙を使用している場合は、各オブジェクトの幅がロール紙の幅に合うように拡大/縮小します。
[写真サイズに合わせる]	すべてのオブジェクトを、指定した写真サイズで印刷します。

メモ
- オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。入力できる数値は 25～600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[位置]シート

オブジェクトの位置を調整できます。

メモ
- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

[オブジェクトの位置]

数値を指定することにより、オブジェクトの位置を移動することが出来ます。

設定項目	内容
[縦位置]	縦位置の数値を入力します。
[横位置]	横位置の数値を入力します。
[ページ位置]	ページ位置の数値を入力します。

[オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ
- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2. [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3. [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

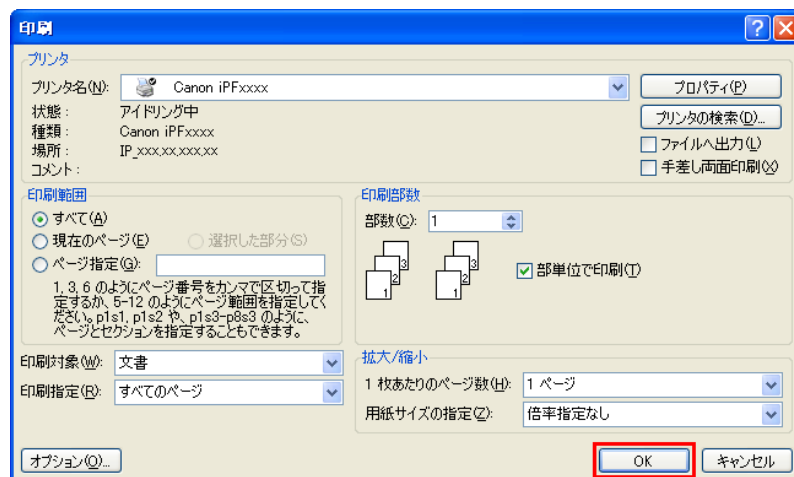
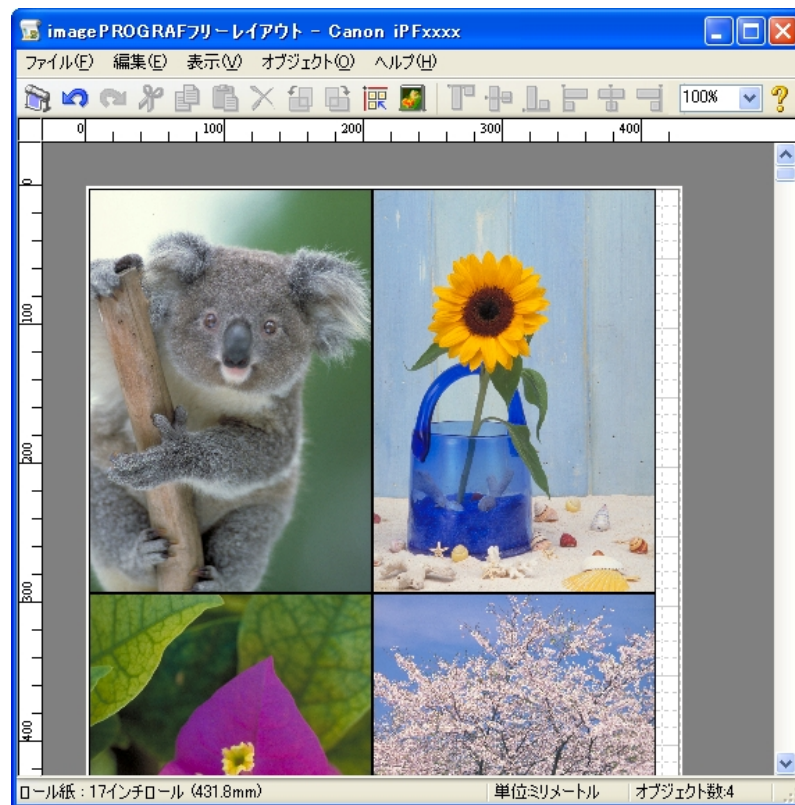
4

4. [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6. [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7. フリーレイアウトを起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2. [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3. [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ

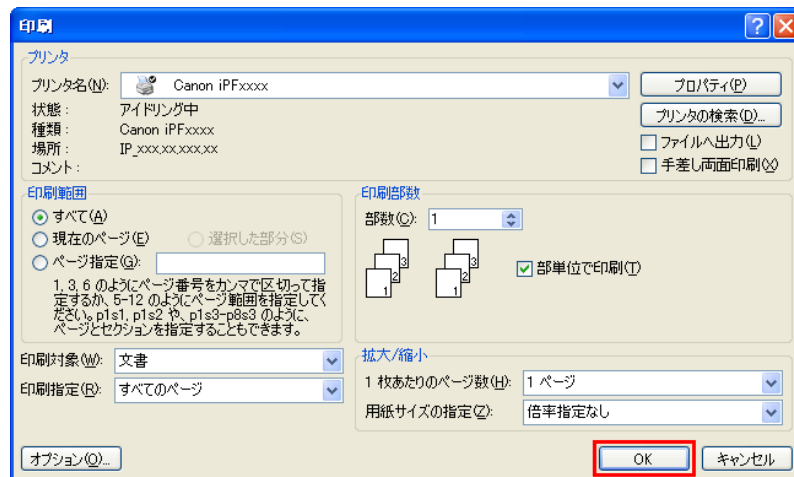
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

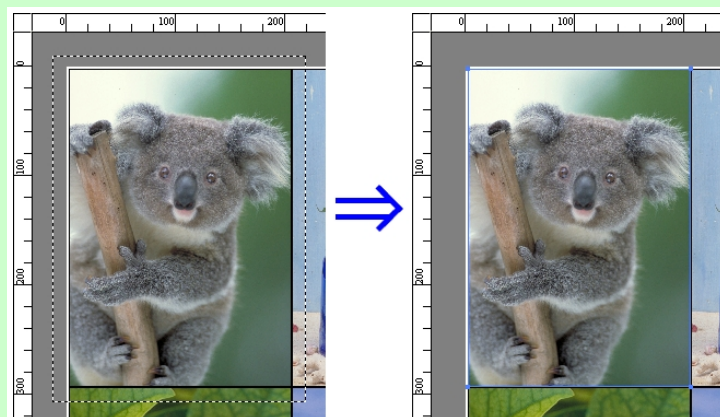
6. [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7. フリーレイアウトを起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ

- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、Shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[全て選択]を選択します。
- マウスをドラッグしたまま範囲を指定すると、範囲内にあるオブジェクトが選択されます。

オブジェクトのサイズを変更する

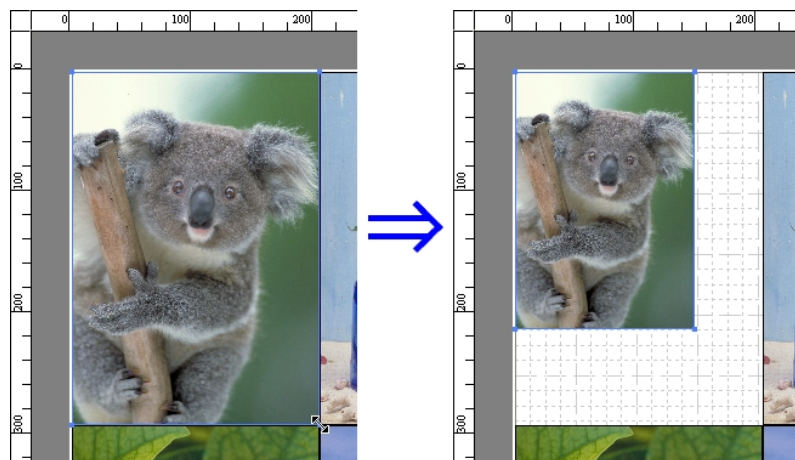
オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1. オブジェクトを選択します。
書式設定ダイアログボックス →P.249 の[拡大/縮小]チェックボックスをオンにし、[倍率を指定する]を選択します。

2. オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ

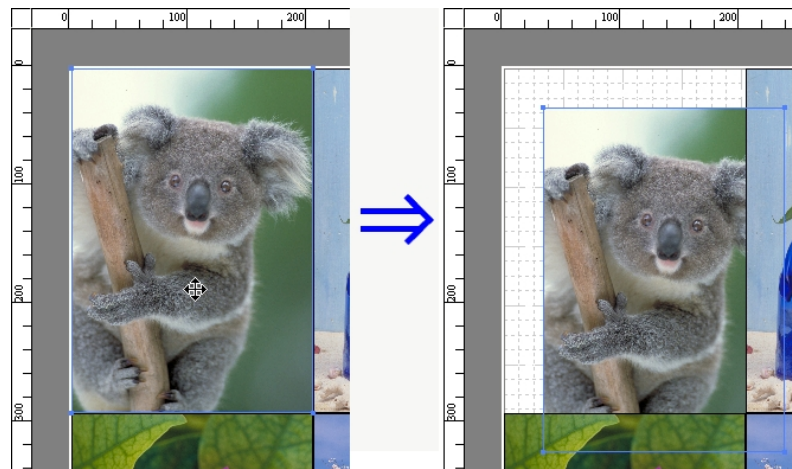
- 入力できる数値は 25～600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

3. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

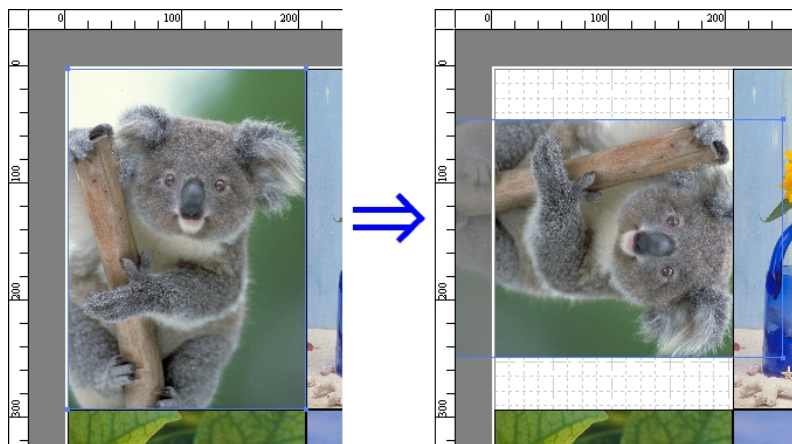
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

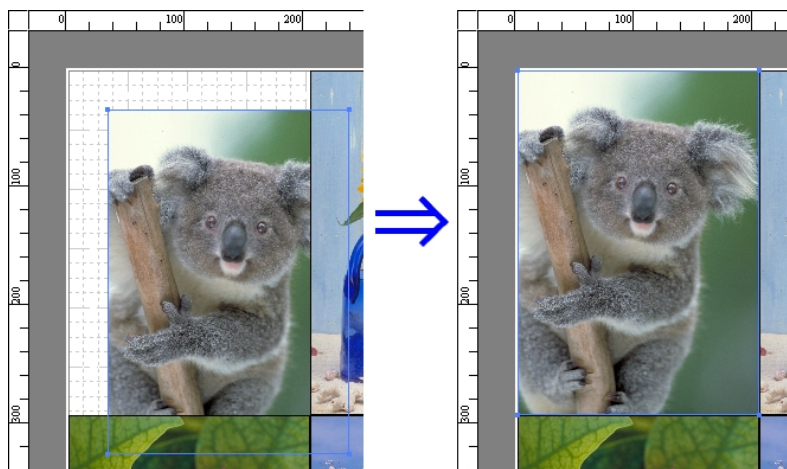
1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.249 の[縦位置]、[横位置]、[ページ位置]に数値を指定することにより、[オブジェクトの位置]を移動することが出来ます。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

1. オブジェクトを選択します。

2. ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.249 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

オブジェクトを自動配置する

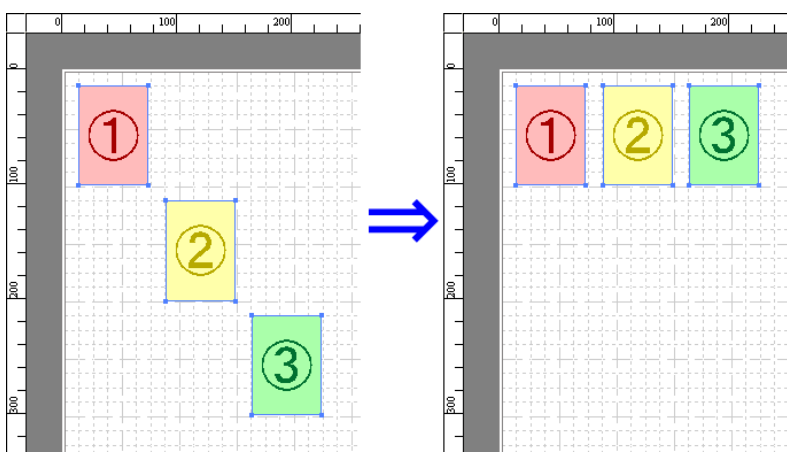
ツールバーの[オブジェクトの自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ

- オブジェクトの配置順は、ページオプションダイアログボックス →P.247 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1. 複数のオブジェクトを選択します。

2. ツールバーから整列用のボタンをクリックします。
   または[オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

[上揃え]

オブジェクトを上端に揃えて配置します。

[上下中央揃え]

オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

[下揃え]

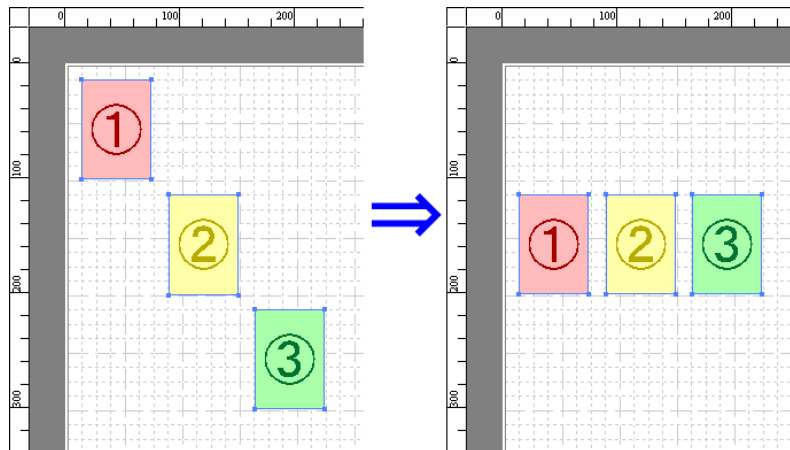
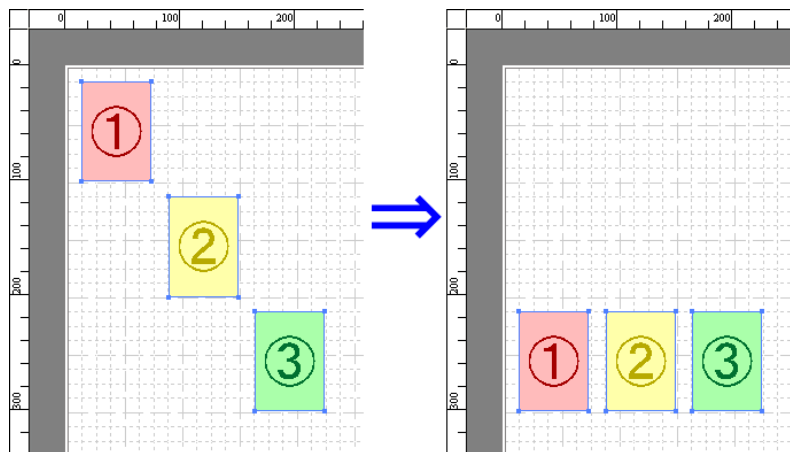
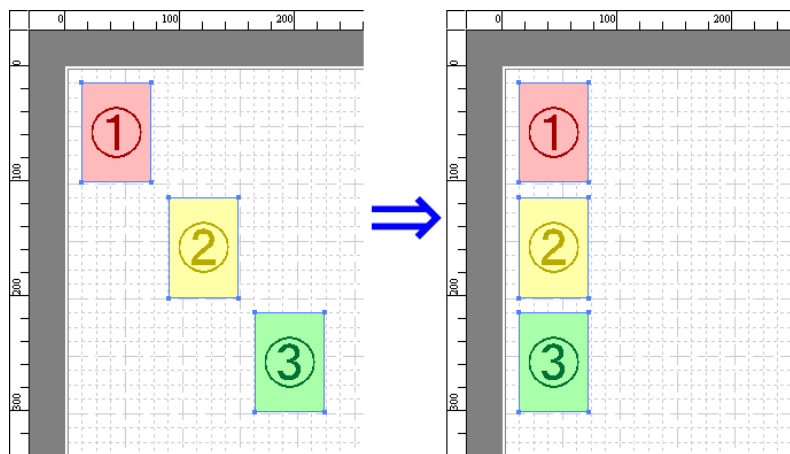
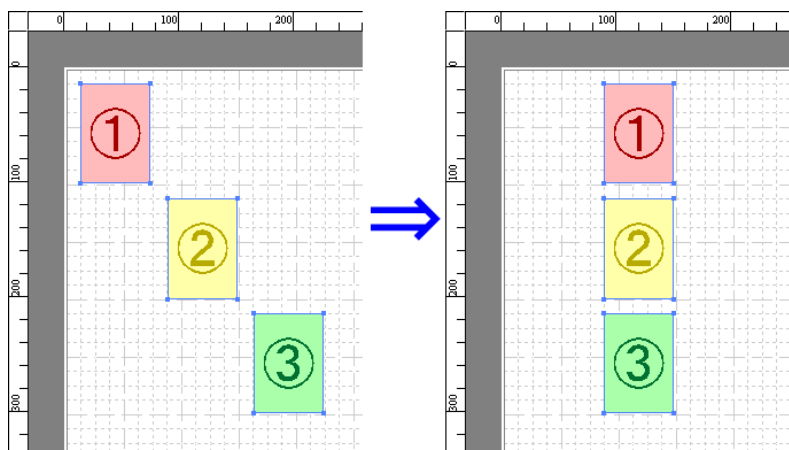
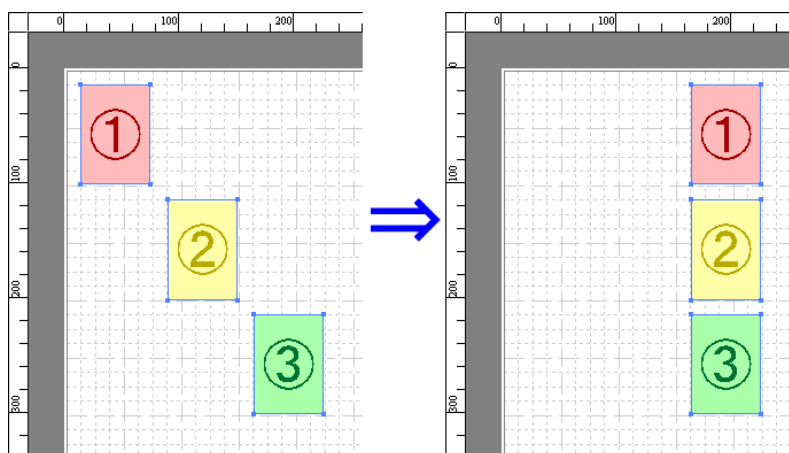
オブジェクトを下端に揃えて配置します。

[左揃え]

オブジェクトを左端に揃えて配置します。

[左右中央揃え]

オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

[右揃え]

オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

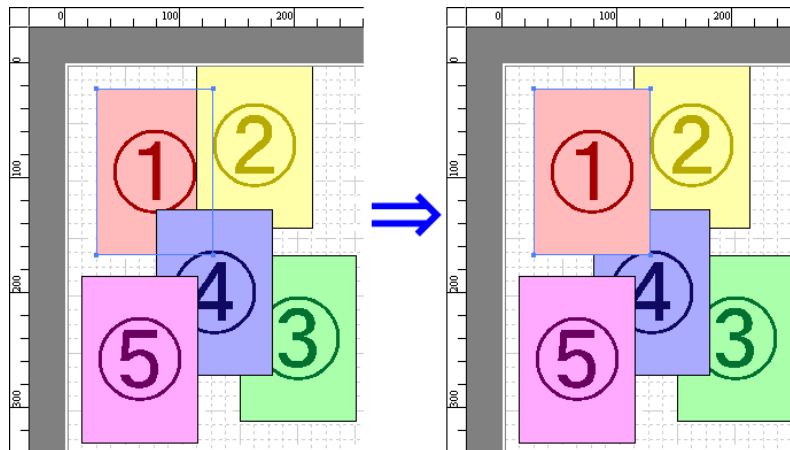
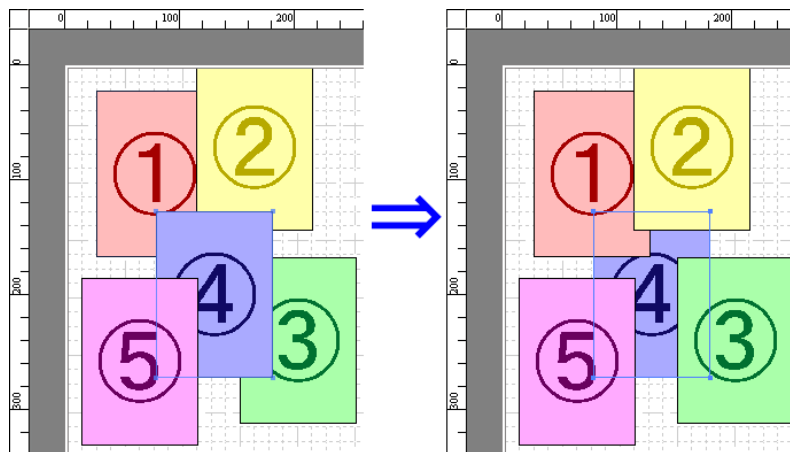
1. オブジェクトを選択します。

2. [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

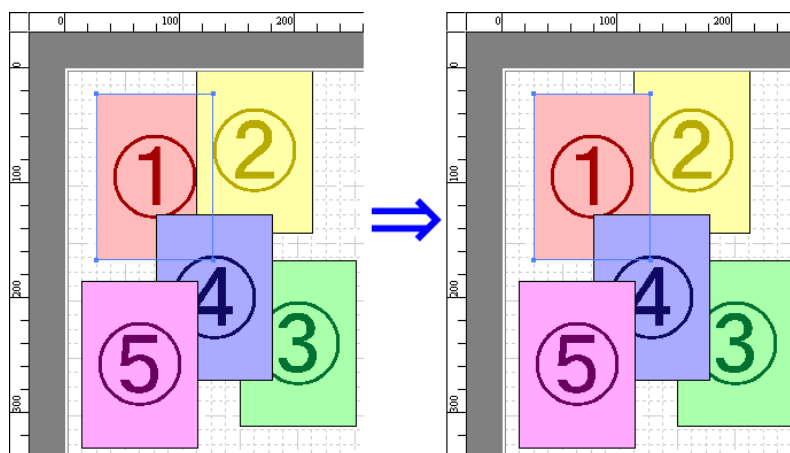
メモ

- オブジェクトの重なり順は、自動配置の順序に影響します。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。

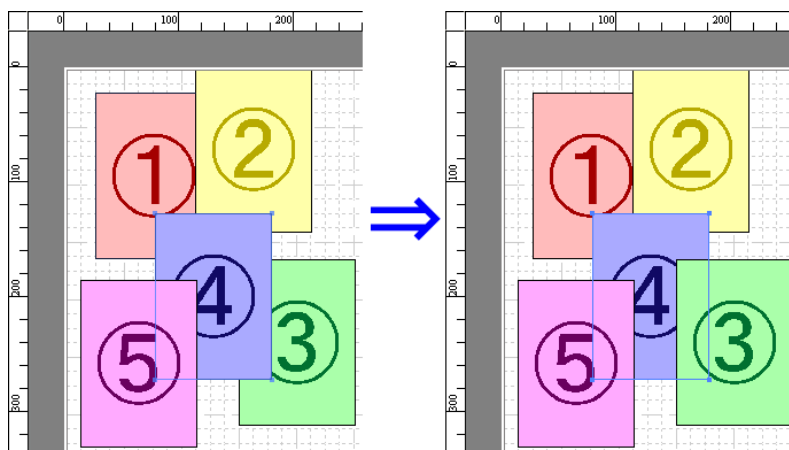
[最前面へ移動]

オブジェクトを最前面に移動します。

[最背面へ移動]

オブジェクトを最背面に移動します。

[前面へ移動]

オブジェクトを 1 つ前に移動します。

[背面へ移動]

オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1. ツールバーから[コピー]または[切り取り]をクリックします。
   または[編集]メニューから[コピー]または[切り取り]を選択します。

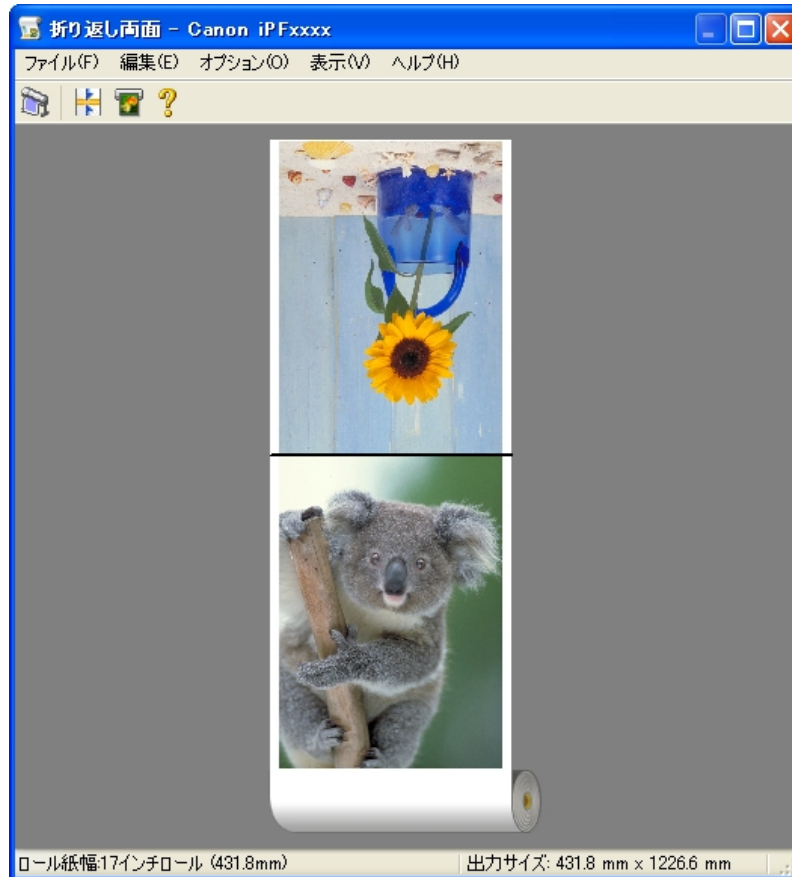
2. ツールバーから[貼り付け]をクリックします。
   または[編集]メニューから[貼り付け]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。
- 好みの位置に貼り付けたい場合は、マウスを好みの位置で右クリックして、[指定位置貼り付け]でオブジェクトを貼り付けます。

折り返し両面ウィンドウ

オブジェクトを選択後、[編集]メニューから[折り返し両面]を選択すると、表示されます。[折り返し両面]機能を使用して、折り目をつけて印刷することができます。
[折り返し両面]ウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

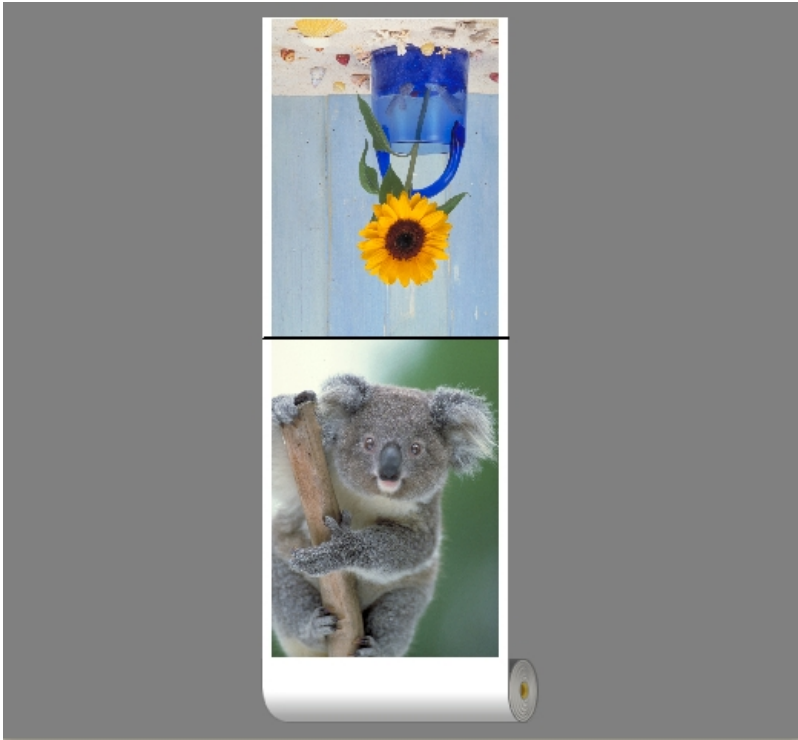
操作に必要なメニューを選択できます。

ファイル(F)　編集(E)　オプション(O)　表示(V)　ヘルプ(H)

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

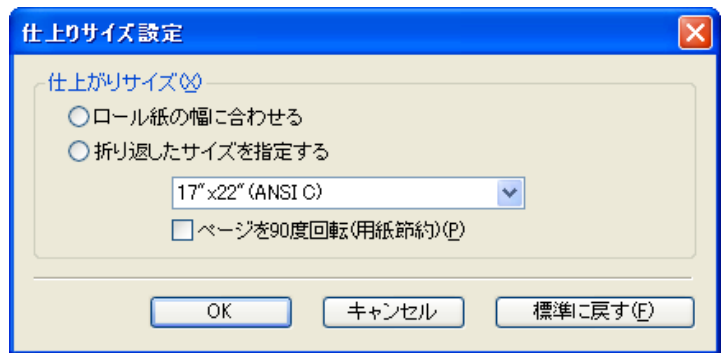
レイアウトエリア

オブジェクトの配置、向きを確認できます。

ステータスバー

給紙方法、ロール紙幅、出力サイズが表示されます。

ロール紙幅:17インチロール (431.8mm) 出力サイズ: 431.8 mm x 1226.6 mm

仕上りサイズ設定ダイアログボックス

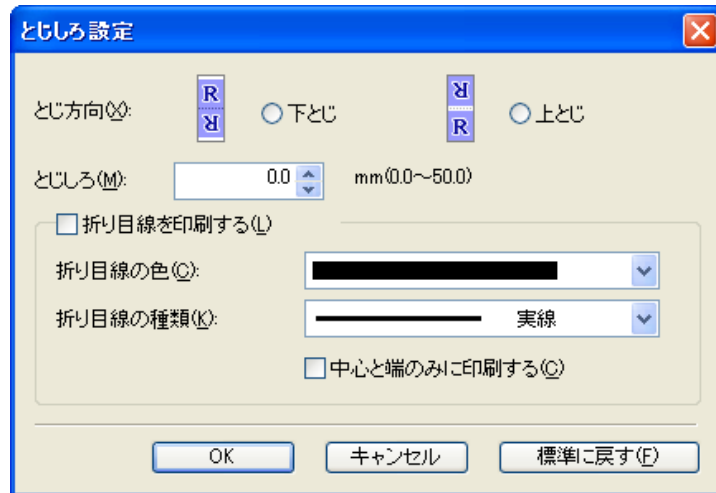
[編集]メニューから[仕上りサイズ設定]を選択すると、表示されます。仕上りサイズの設定を行うことができます。

[仕上りサイズ]

仕上りサイズの設定方法を選択します。
仕上りサイズには以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。

設定項目	内容
[折り返したサイズを指定する]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ページを 90 度回転(用紙節約)]	ページを 90 度回転して印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。

とじしろ設定ダイアログボックス

[編集]メニューから[とじしろ設定]を選択すると、表示されます。とじ方向の設定を行うことができます。

[とじ方向]

用紙を折り返す際のとじ方向を設定します。
とじ方向には以下の設定があります。

設定項目	内容
[下とじ]	原稿の下部にとじしろの余白を設定して印刷します。
[上とじ]	原稿の上部にとじしろの余白を設定して印刷します。

[とじしろ]

とじしろの余白を設定します。
指定したサイズで、とじしろの余白をとって印刷します。余白サイズを半角数字で入力してください。

メモ
- 入力できる数値は｢0〜50(mm)｣です。

[折り目線を印刷する]

折り目線の色や種類を設定します。

メモ
- 折り目線を印刷しない場合は、[折り目線を印刷する]チェックボックスをオフにします。

[折り目線の色]

折り目線を選択することができます。

[折り目線の種類]

折り目線を選択することができます。
折り目線の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

[中心と端のみに印刷する]

折り目線を中心と両端に印刷する場合は、[中心と端のみに印刷する]チェックボックスをオンにします。

折り返し両面で印刷する

2 ページを組み合わせて、折り返すことで両面印刷を実現することができます。

1. フリーレイアウトのレイアウトエリアから 2 つのオブジェクトを選択します。
2. フリーレイアウトの[編集]メニューから[折り返し両面]を選択します。
   [折り返し両面]ウィンドウが開き、選択したオブジェクトがレイアウトエリアに配置されます。
3. [編集]メニューから[仕上りサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。
4. [仕上りサイズ]から[ロール紙の幅に合わせる]もしくは[折り返したサイズを指定する]を選択します。

メモ
- [折り返したサイズを指定する]を選択した場合、[ページを 90 度回転(用紙節約)]を設定できます。

5. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。
6. [編集]メニューから[とじしろ設定]ダイアログボックスを開きます。
7. [とじ方向]から[下とじ]もしくは[上とじ]を選択します。
8. [とじしろ]から[とじしろ]の幅を設定をします。

9. [折り目線を印刷する]から[折り目線の色]と[折り目線の種類]の設定をします。

メモ
- [中心と端のみに印刷する]のチェックボックスをオンにすると、折り目線を中心と両端の 3 点のみに印刷します。

10. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。
11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Color imageRUNNER 連携拡大コピーは、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

メモ

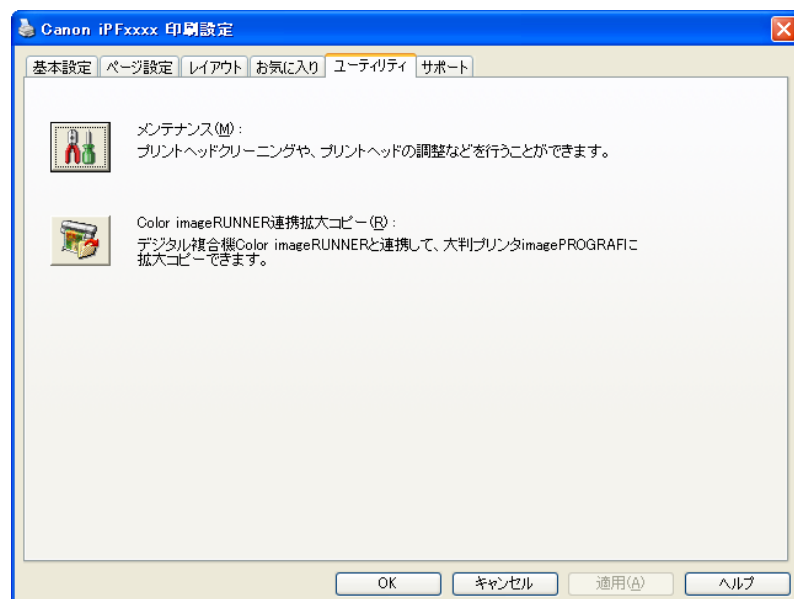
- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

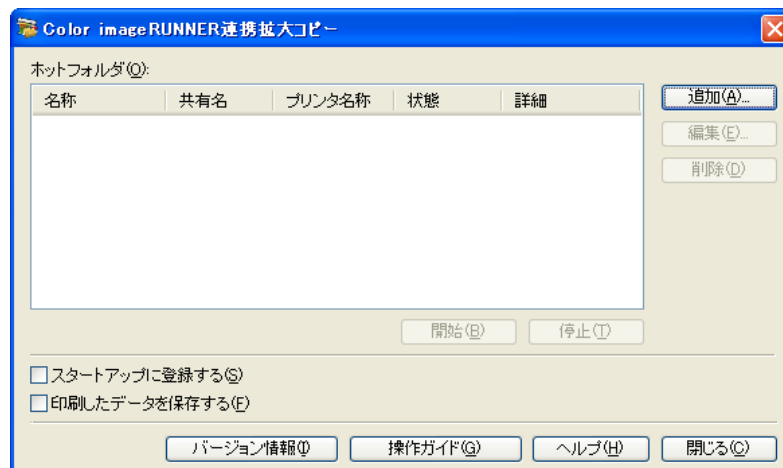
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

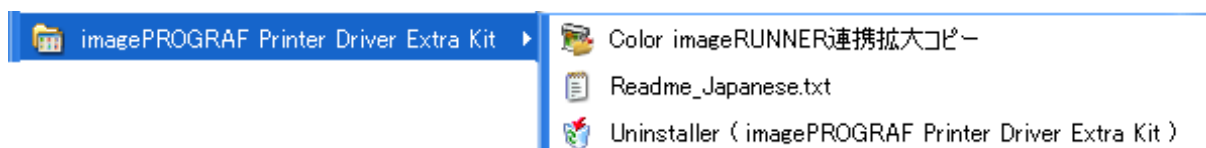
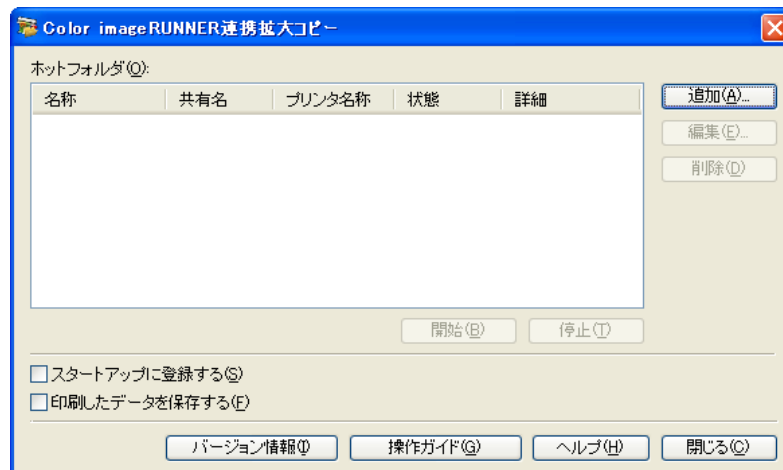
[スタート]ボタンから[プリンタと FAX]を選択して起動する場合

1. お使いの OS の、プリンタを設定するためのフォルダを開きます。
   たとえば Windows XP の場合は、デスクトップの[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]を選択します。

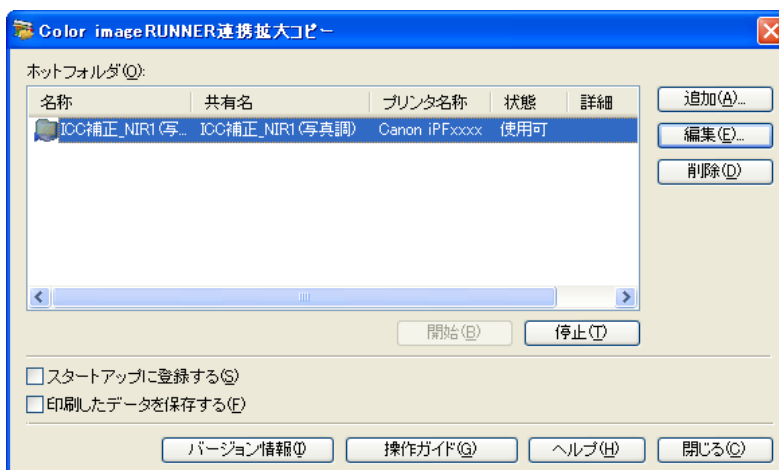
2. プリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定]を選択し、[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。
[ユーティリティ]シートで[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ボタンをクリックします。

3. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスで[スタートアップに登録する]チェックボックスをオンにすると、次回 Windows を起動したときから、タスクバーに Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択して起動する場合

1. Windows の[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択します。

2. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.269

[ホットフォルダ]

ホットフォルダの一覧が表示されます。

[追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。

[編集]ボタン

[ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。

[削除]ボタン

[ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。

[開始]ボタン

ボタンをクリックすると、選択された[停止]状態のホットフォルダが[使用可]になります。

[停止]ボタン

ボタンをクリックすると、選択された[使用可]状態のホットフォルダが[停止]になります。

[スタートアップに登録する]

Windows のスタートアップメニューに登録します。

[印刷したデータを保存する]

印刷したデータを自動的に保存します。

[バージョン情報]ボタン

ボタンをクリックすると、ユーティリティの名称とバージョン情報が表示されます。

[操作ガイド]ボタン

ボタンをクリックすると、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]が表示されます。

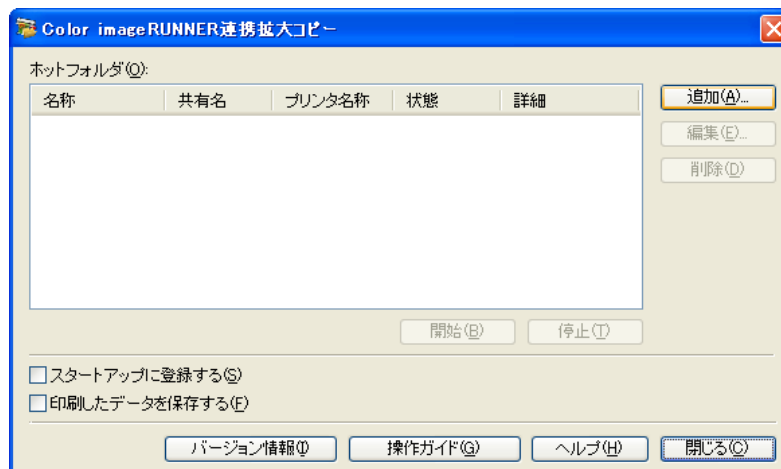
ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

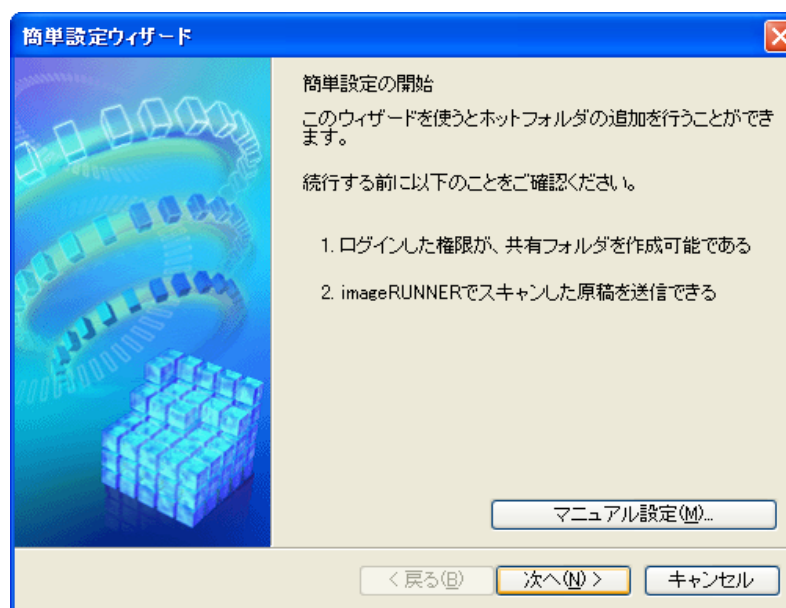
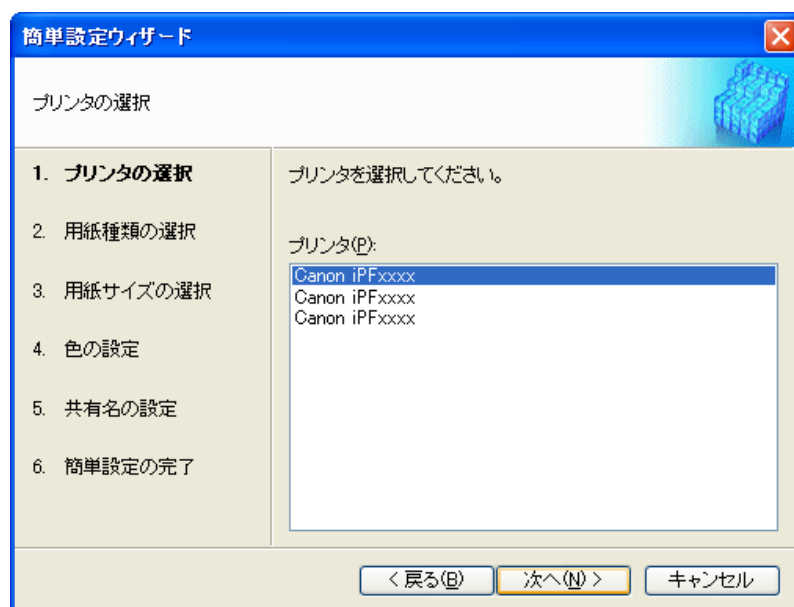
メモ

- ホットフォルダは 20 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

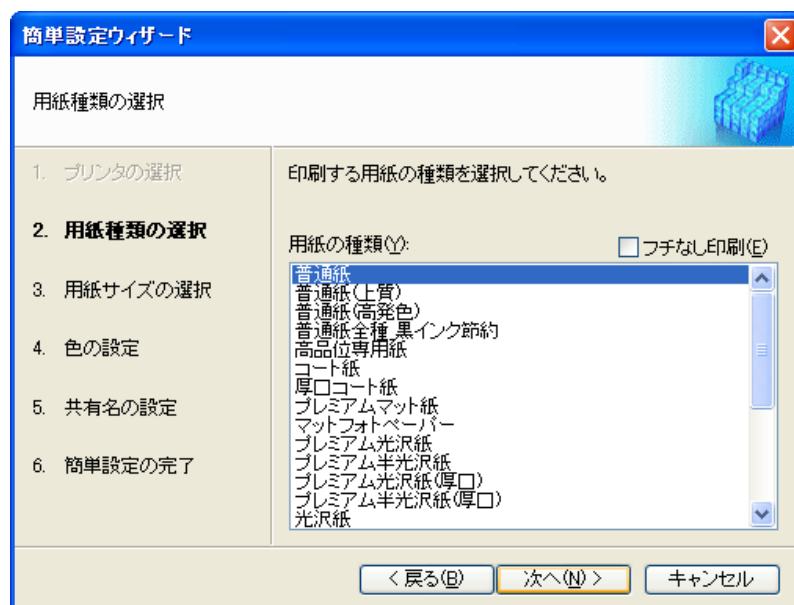
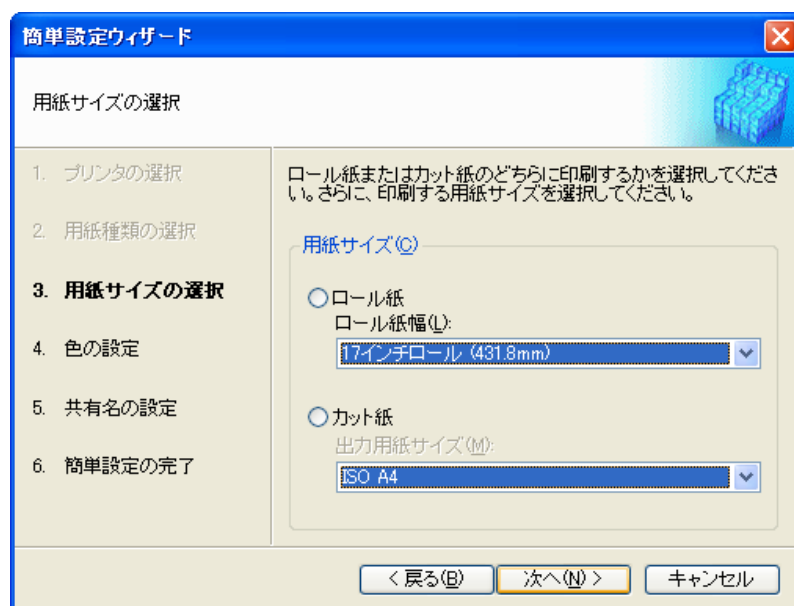
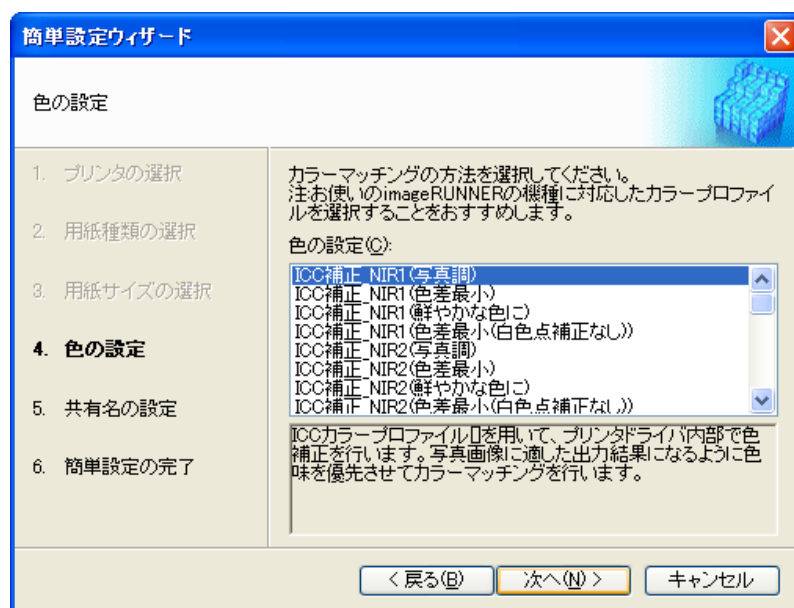
メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.269

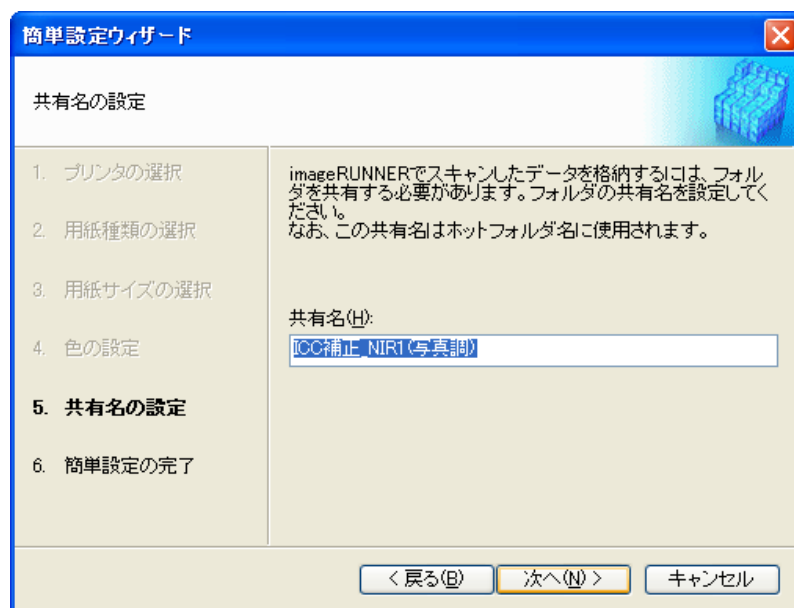
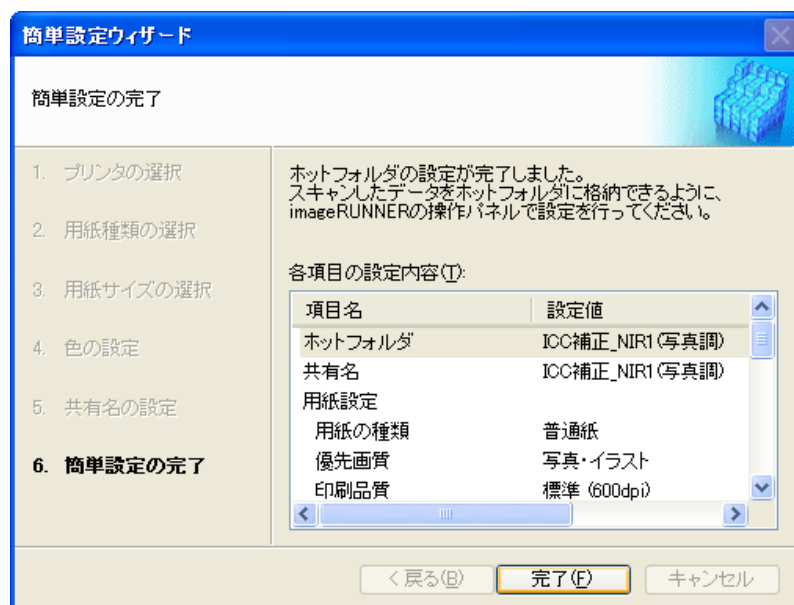
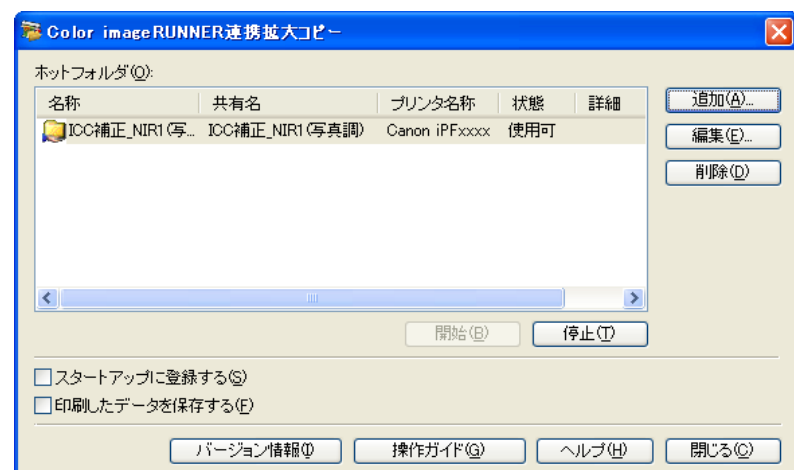
2. [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。

3. 使用するプリンタの機種を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

4. 印刷する用紙の種類を選択します。

メモ

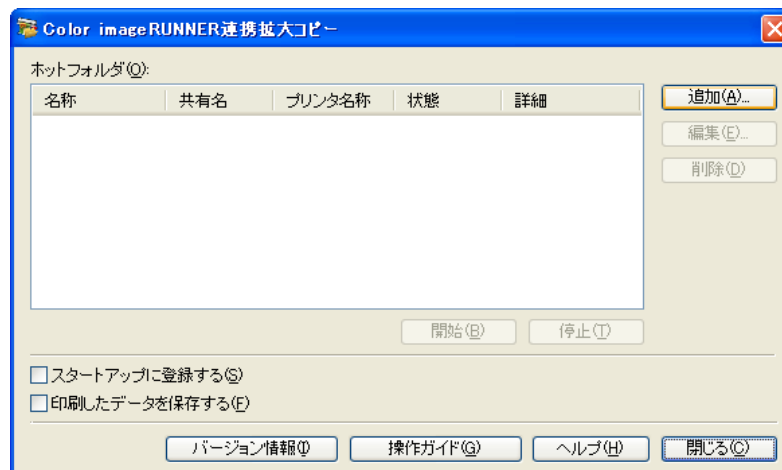
- [フチなし印刷]チェックボックスをオンにすると、フチなし印刷が可能な用紙の種類のみを 一覧表示します。

[次へ]ボタンをクリックします。

5. ロール紙またはカット紙のどちらに印刷するかを選択します。さらに、印刷する用紙サイズを選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

6. カラーマッチングの方法を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

7. Color imageRUNNER でスキャンした原稿を受信するためには、フォルダを共有する必要があります。
[共有名]にフォルダの共有名を入力します。
[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

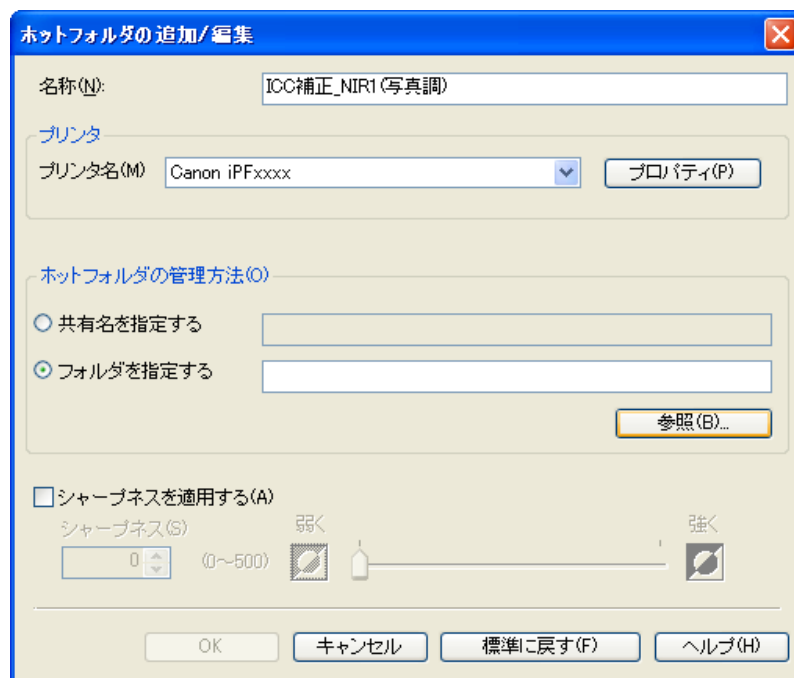
- この共有名はホットフォルダの名称に使用されます。
- ここで[次へ]ボタンをクリックした後は、[戻る]ボタンが使用できなくなります。

8. [完了]ボタンをクリックし、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する

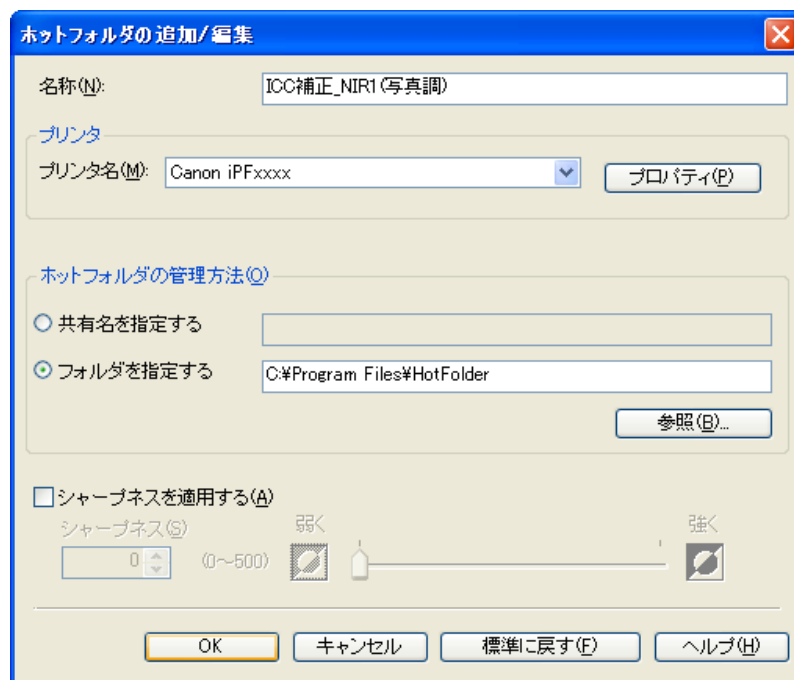
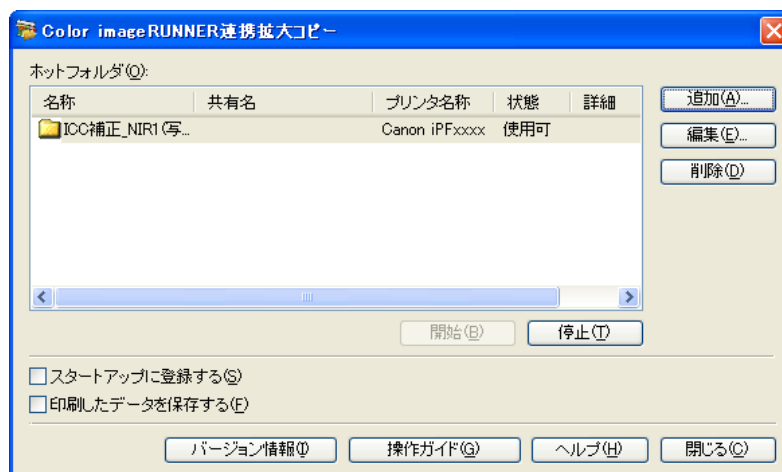
1. ホットフォルダに指定するフォルダを共有します。

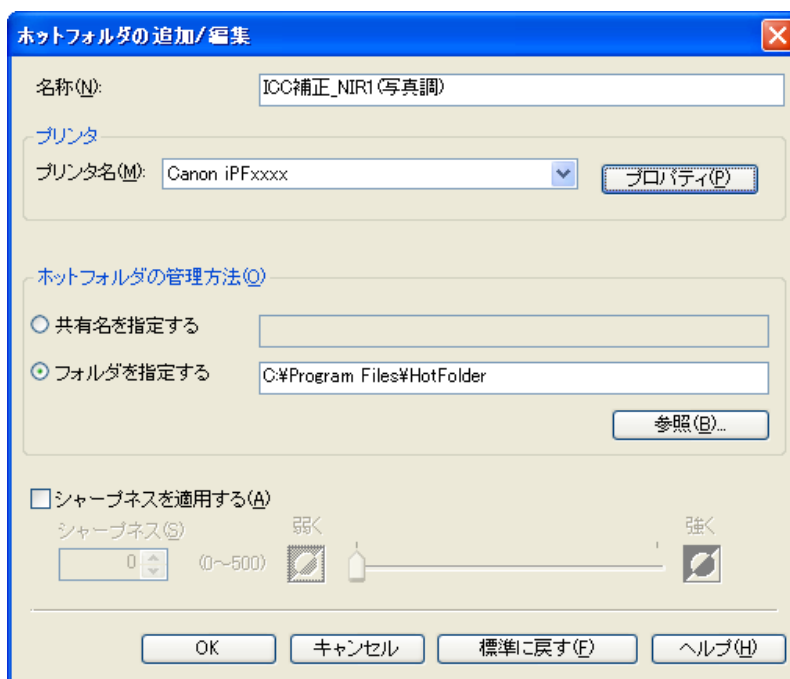
2. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.269

3. [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[マニュアル設定]ボタンをクリックします。

4. [ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが表示されます。
[名称]にホットフォルダの名称を入力します。
[フォルダを指定する]を選択してから、[参照]をクリックし、既存の共有フォルダを設定します。

5. フォルダの場所が表示されます。
ホットフォルダに指定するフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

6. 必要に応じて、ホットフォルダに印刷について設定することができます。(「印刷について設定する」参照) →P.280
[OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスから[プロパティ]ボタンをクリックすると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.188 を参照してください。

メモ
- [基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの３つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

[シャープネスを適用する]

チェックマークを付けると、シャープネスの設定を行うことができます。
スライドバーを左右にドラッグして調整します。直接数値を入力して調整することもできます。

メモ
- 入力できる数値は 0〜500 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。
- PDF 形式のファイルには適用されません。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。
2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。

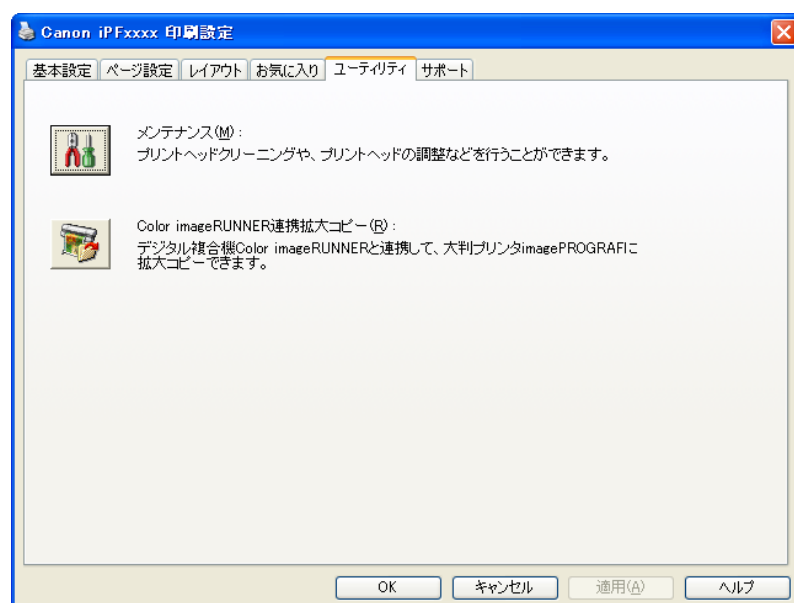
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

コンピュータにホットフォルダを作成する

ホットフォルダとは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー] (iR 連携) 機能で使用するフォルダです。Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを格納するホットフォルダを、コンピュータに作成します。ホットフォルダには、このフォルダに送信されたデータを印刷する際の、画質や用紙サイズなどの印刷条件を設定できます。ホットフォルダを作成、編集するには、以下の手順を行います。

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.198

2. [ユーティリティ] タブをクリックし、[ユーティリティ] シートを開きます。

3. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー] をクリックし、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティを起動します。

4. Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティでホットフォルダを作成、編集します。
ホットフォルダを作成、編集する手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのヘルプを参照してください。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の [定型業務] ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の [定型業務] ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティの [Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル] ボタンをクリックして表示される設定マニュアル、または Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。

2. [送信/ファクス](または[送信])を押し、送信画面を表示します。

3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。

4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Print Plug-In for Office

Print Plug-In for Office の特長

[Print Plug-In for Office]は[Microsoft Office]から簡単に印刷を行うための Plug-In です。

- ツールバー/リボンに表示されるので簡単にアクセスできます。
- ウィザード形式で選択していくだけで設定できます。
- [Microsoft Word]や[Microsoft PowerPoint]からは[長尺印刷]のカスタム用紙サイズの設定もウィザードで設定できます。
- [Microsoft Excel]では自動的にカスタム用紙サイズの設定ができます。
- 印刷前にプレビュー画面を起動し、レイアウトを確認することができます。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。
  [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンを表示する方法については、以下のトピックを参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.288

動作環境

[Print Plug-In for Office]の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS バージョン
  Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7

- インストールが必要なソフトウェア
  Microsoft Office XP/2003/2007/2010
  imagePROGRAF Printer Driver ver. 3.95 以降
- ハードウェア
  CPU Pentium4 2.0GHz 以上
  RAM 512MB 以上

重要

- [Internet Explorer]から Office ドキュメントを開いた場合、正常に動作しません。
- 埋め込みオブジェクトやリンクオブジェクトを編集している場合、正常に動作しません。
- [Microsoft Office 2007/2010]のクイックアクセスツールバーに[imagePROGRAF Print Plug-In]リボンを追加した場合、正常に動作しません。

インストール手順

[Print Plug-In for Office]をインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ

- インストールする前に Administrator 権限で Windows にログオンする必要があります。

1. CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入し、インストーラを起動します。

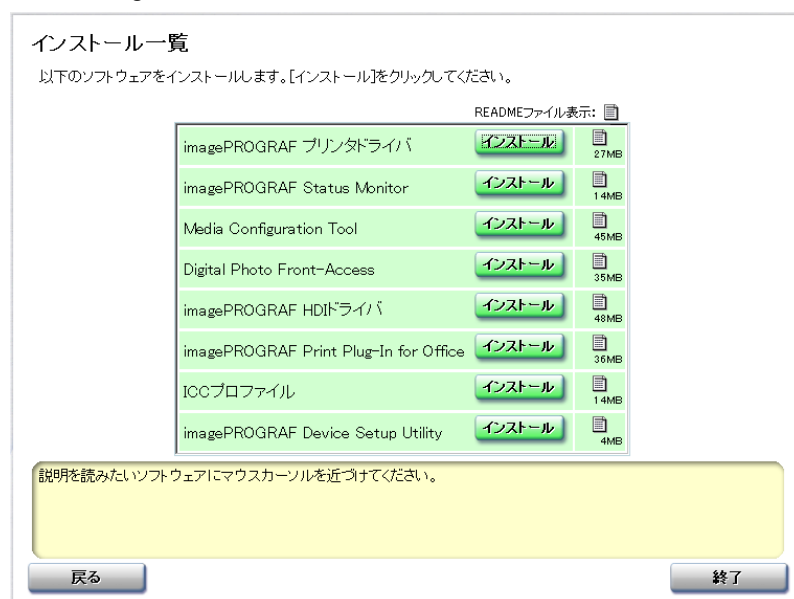
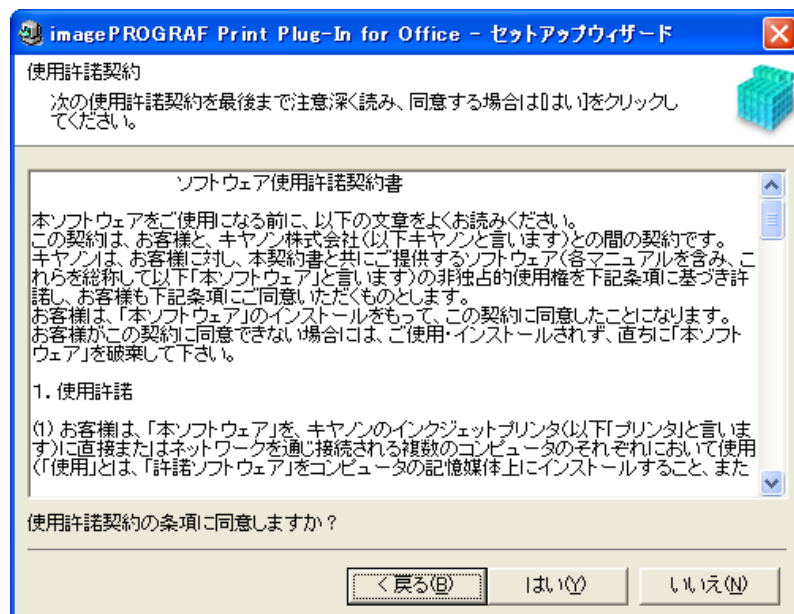
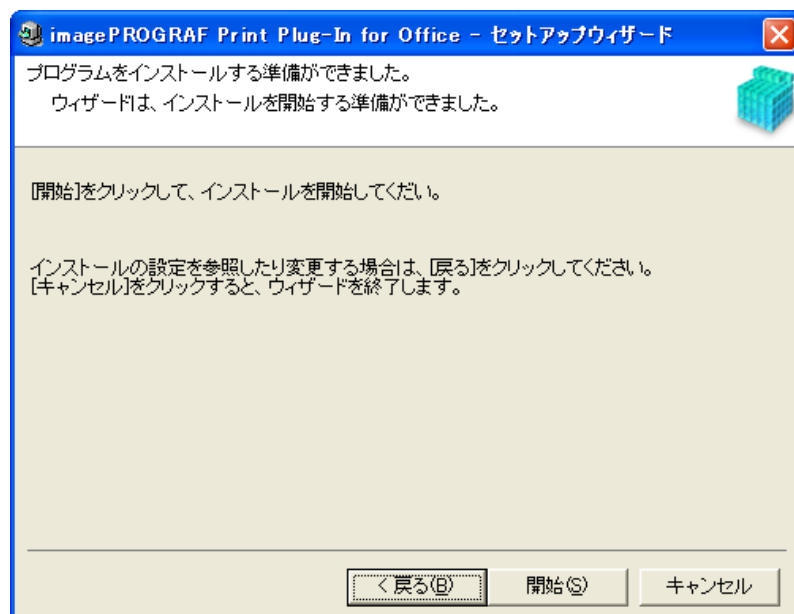
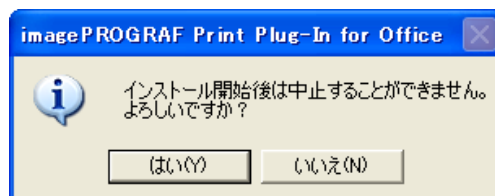
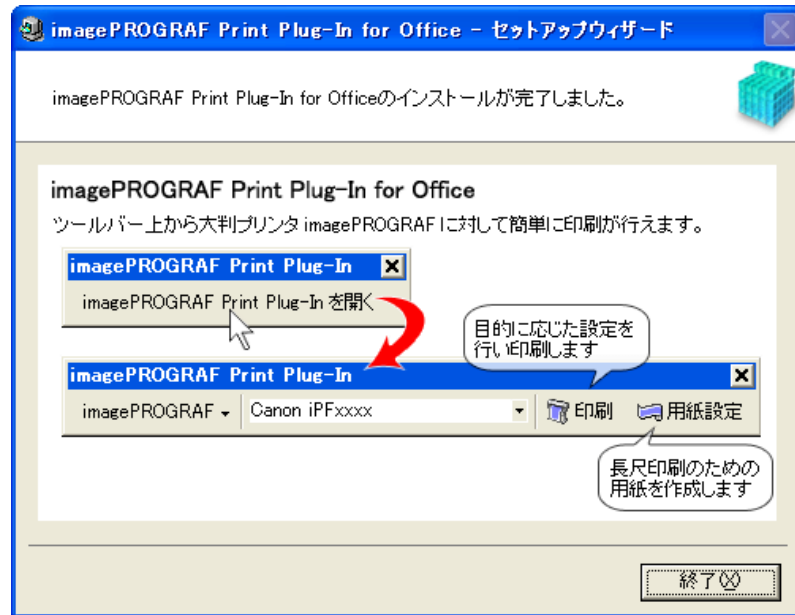
メモ

- インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き、[setup.exe]をクリックし、アイコンを開きます。

2. [ソフトウェア個別インストール]ボタンをクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]の[インストール]をクリックします。

4. [次へ]ボタンをクリックします。

4

5. [使用許諾契約]を読んで、[はい]ボタンをクリックします。

6. [開始]ボタンをクリックします。

7. [はい]ボタンをクリックします。

8. [終了]ボタンをクリックします。

[Print Plug-In for Office]のインストールが終了します。

重要

- 本ソフトウェアをインストールすると、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]がインストールされる場合があります。本ソフトウェアを使用する場合、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]をアンインストールしないでください。
- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。
  [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンを表示する方法については、以下のトピックを参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.288

アンインストール手順

[Print Plug-In for Office]をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。
2. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
3. [プログラムの追加と削除]を開きます。
4. [imagePROGRAF Print Plug-In]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]のアンインストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している全ての Office アプリケーションを閉じてください。

Print Plug-In for Office が表示されないときには

[Word]、[PowerPoint]、[Excel]の Microsoft Office アプリケーションで、[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]ボタンなどが表示されず[Print Plug-In for Office]の機能が使用できないことがあります。
その場合は[Print Plug-In for Office]を再インストールしてください。
また、[Microsoft Office 2003]以降の場合はアドインを有効にし、[Print Plug-In for Office]を表示させることもできます。
再インストール、またはアドインを有効にする手順については以下を参照してください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールする

- [Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。

これらの場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、[Print Plug-In for Office]を再インストールする必要があります。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]の再インストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している Office アプリケーションを閉じてください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールするには、次の手順で操作します。

1. [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。

2. [Print Plug-In for Office]をインストールします。
   インストールについては、「インストール手順」を参照してください。 →P.284

Office アプリケーションの使用できないアイテムで[Print Plug-In for Office]を有効にする

- [Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。

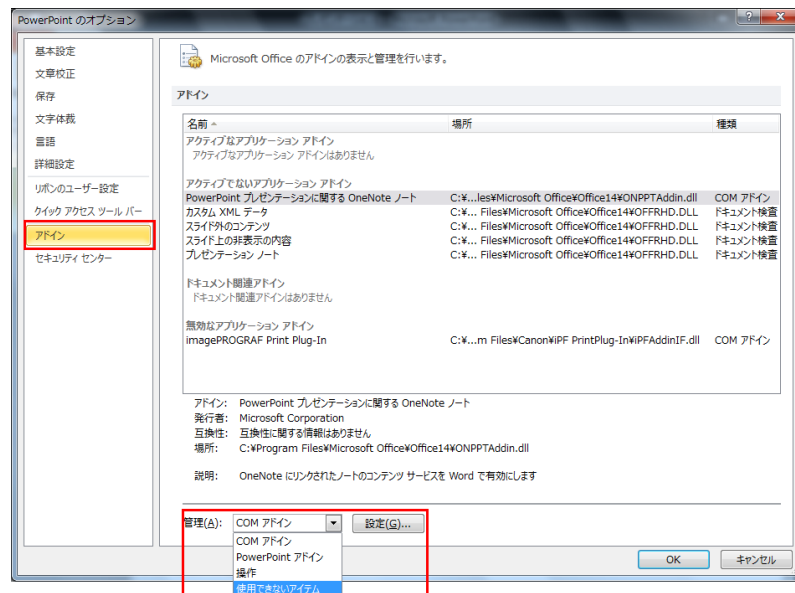
その場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、無効になっているアドインを復元させる必要があります。
[Microsoft Office]で無効になっているアドインを復元するには、次の手順で操作します。

[Microsoft Office 2010]の場合

1. [ファイル]メニューから、[オプション]を選択します。

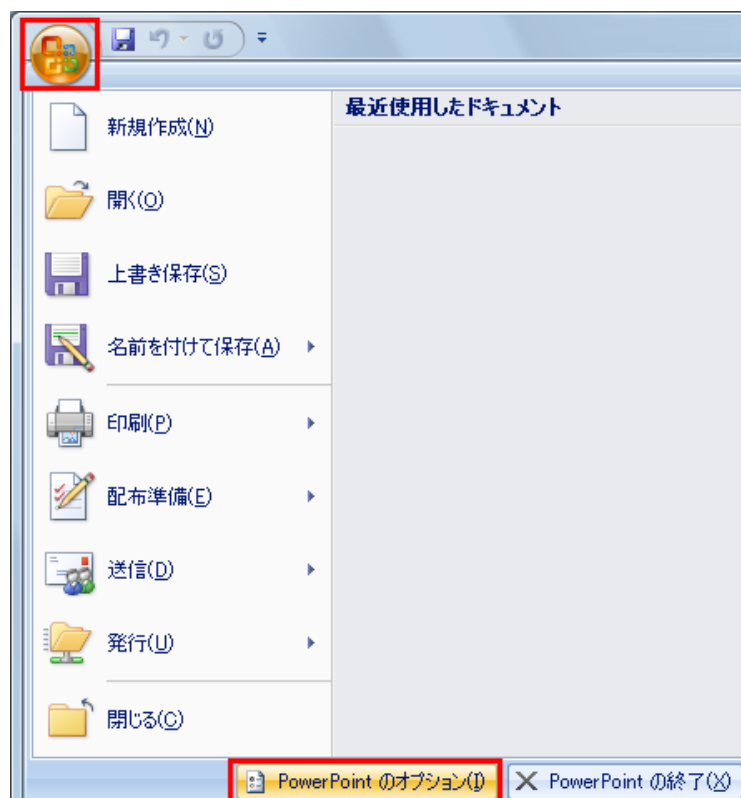
2. [<アプリケーション名>のオプション] ダイアログ左側のリストから [アドイン] を選択します。

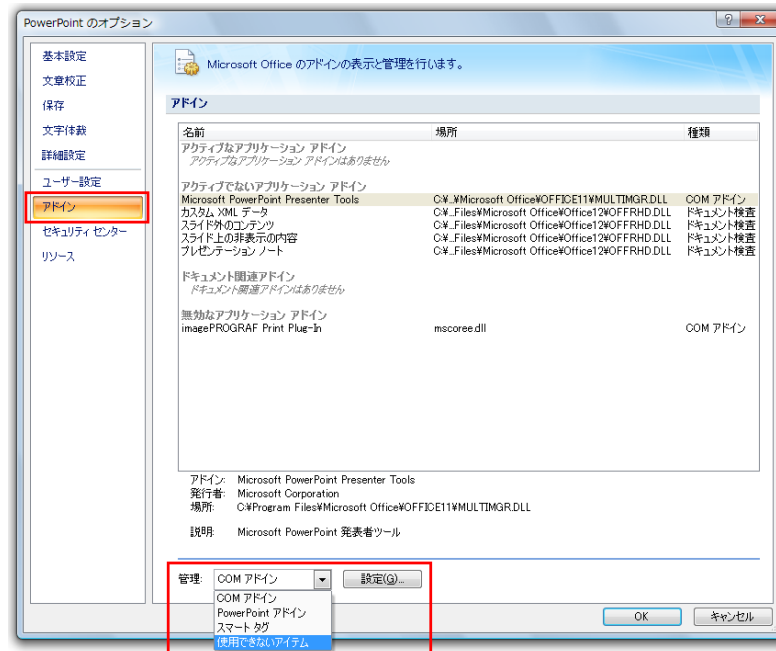
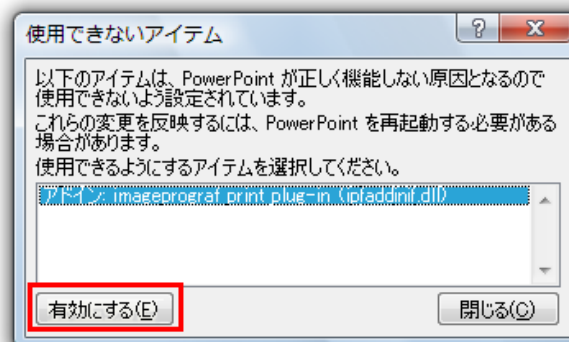
3. [管理] コンボボックスから [使用できないアイテム] を選択し [設定] ボタンをクリックします。

4

4. ［使用できないアイテム］ダイアログで［アドイン imageprograf print plug-in（ipfaddinif.dll）］が表示されている場合、選択して［有効にする］ボタンをクリックします。

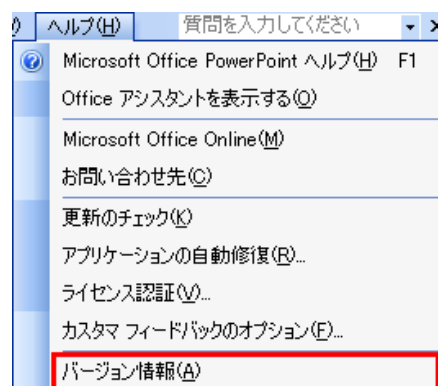
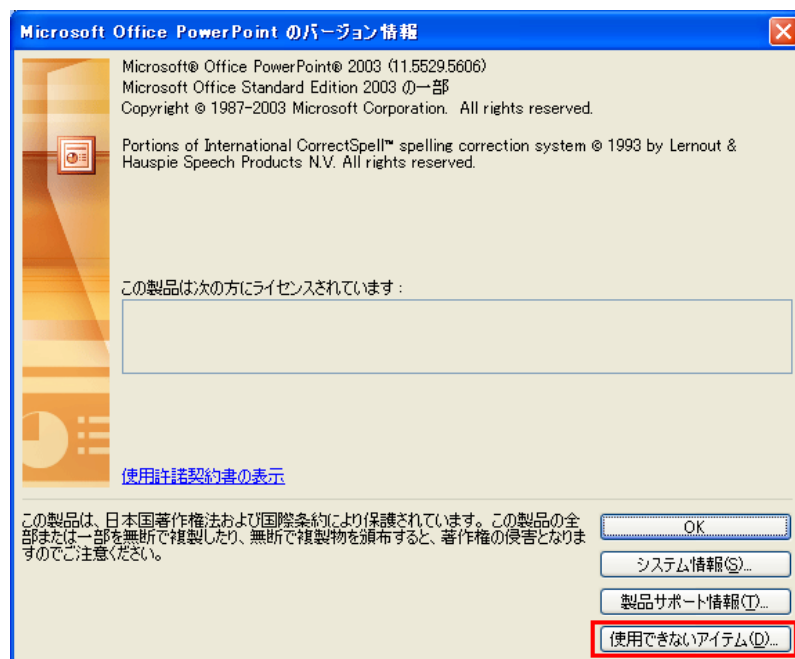
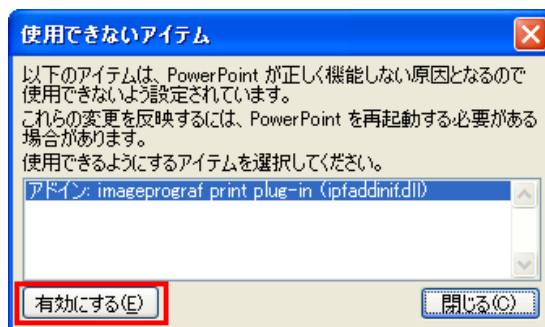
5. すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

［Microsoft Office 2007］の場合

1. ［Office］ボタンをクリックして、［<アプリケーション名>のオプション］ボタンをクリックします。

2. ［<アプリケーション名>のオプション］ダイアログ左側のリストから［アドイン］を選択します。

3. ［管理］コンボボックスから［使用できないアイテム］を選択し［設定］ボタンをクリックします。

4. ［使用できないアイテム］ダイアログで［アドイン imageprograf print plug-in（ipfaddinif.dll）］が表示されている場合、選択して［有効にする］ボタンをクリックします。

5. すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

［Microsoft Office 2003］の場合

1. アプリケーションの［ヘルプ］メニューから［バージョン情報］をクリックします。

2. [<アプリケーション>のバージョン情報] ダイアログで [使用できないアイテム] ボタンをクリックします。

3. [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (ipfaddinif.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

4. すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

Microsoft Word からの起動方法

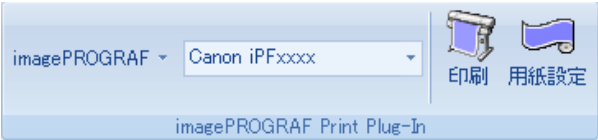
[Microsoft Word]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

重要

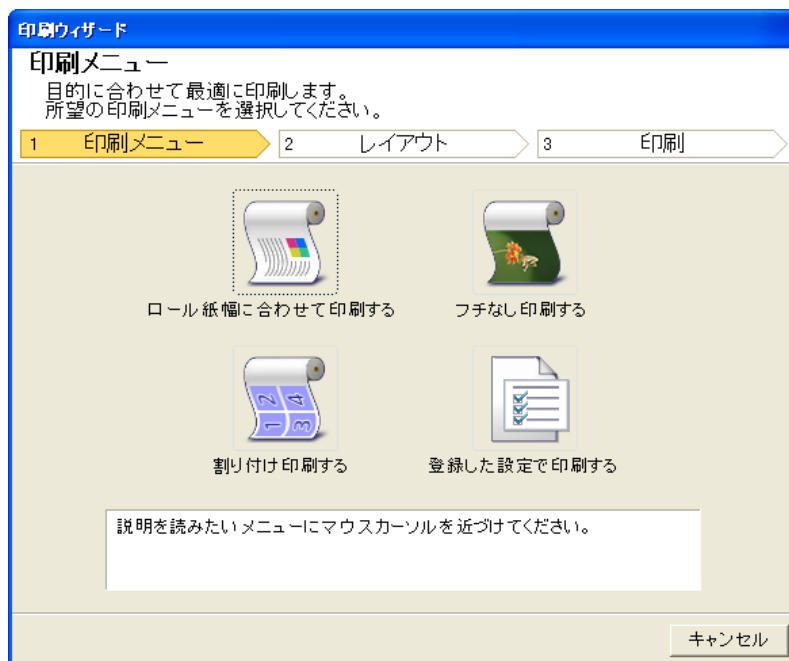
- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.288

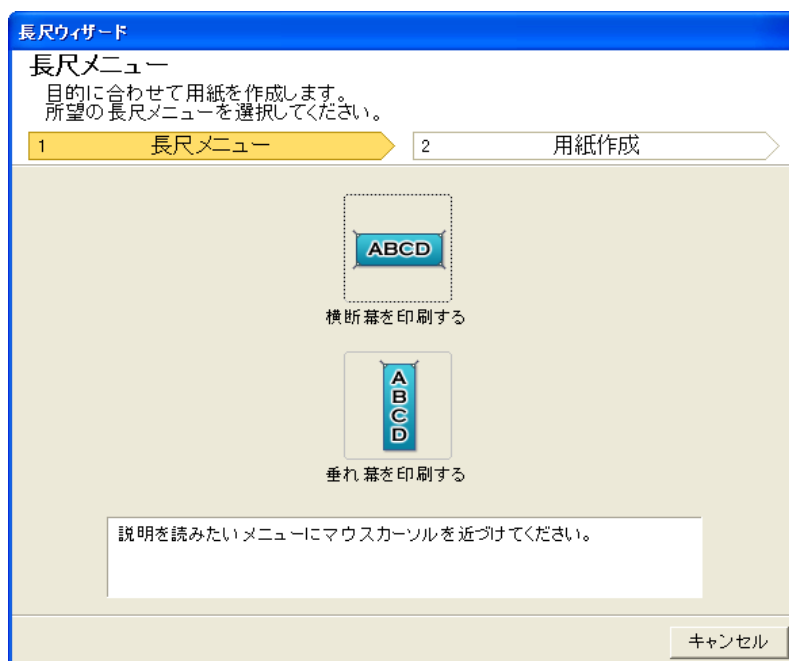
3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4. 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。 [処理オプション]ダイアログボックスでは設定を変更することができます。 詳しくは、処理オプションを設定する →P.330 を参照してください。
Canon iPFxxxx プリンター覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

4

[印刷ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

[長尺ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する（Word）

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く

imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [フチなし印刷する]をクリックします。

5. 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し、[OK]を押してください。

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

割り付け印刷する(Word)

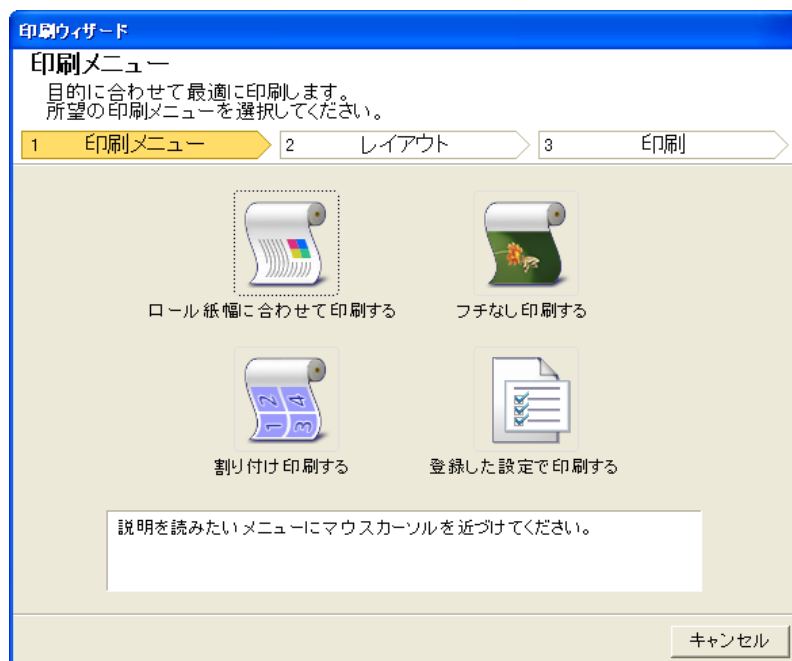
複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバーの操作ができない場合があります。

4. [割り付け印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. [レイアウト選択]からレイアウトを選択します。

7. [次へ]を選択します。

8. [用紙の種類]を選択します。

9. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

10. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11. [プリント]を押すと印刷を開始します。

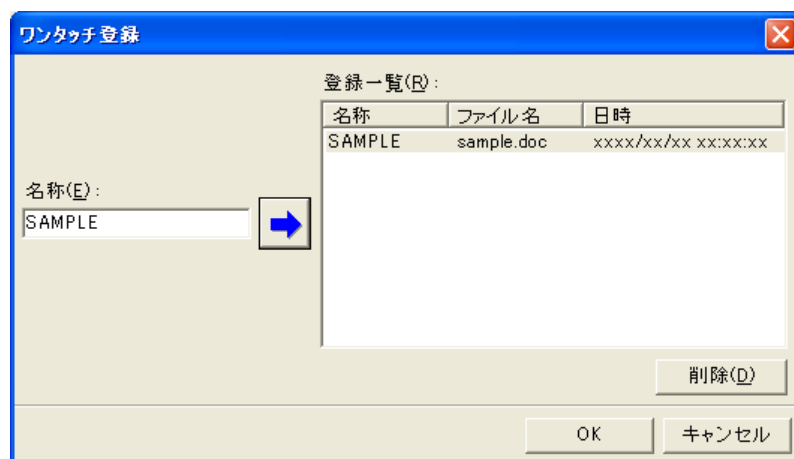
設定を登録する（Word）

同じ設定で繰り返し印刷する場合は［ワンタッチ登録］することができます。登録した設定は［登録した設定で印刷する］から呼び出すことができます。

1. ［印刷メニュー］の［ロール紙幅に合わせて印刷する］、［フチなし印刷する］または［割り付け印刷する］で［印刷］画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する（Word） →P.295
  - フチなし印刷する（Word） →P.297
  - 割り付け印刷する（Word） →P.299

2. ［ワンタッチ登録］ボタンをクリックします。

3. ［名称］に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4. をクリックします。入力した名称が［登録一覧］に表示されます。

5. ［OK］をクリックし、［印刷］画面へ戻ります。

6. 印刷する場合は［プリント］、印刷を中止する場合は［キャンセル］をクリックします。

メモ

- ［印刷］画面で［キャンセル］をクリックしても登録した設定は削除されません。

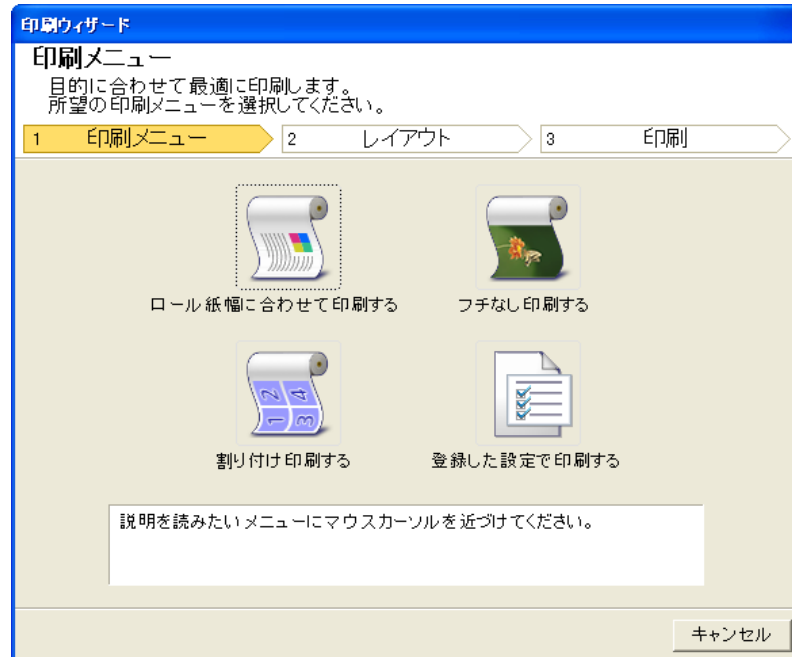
登録した設定で印刷する（Word）

登録した設定で印刷を行います。

1. ［Microsoft Word］を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5. [次へ]ボタンをクリックします。

6. [用紙の種類]を選択します。

7. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

8. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9. [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1. [Microsoft Word]を起動します。

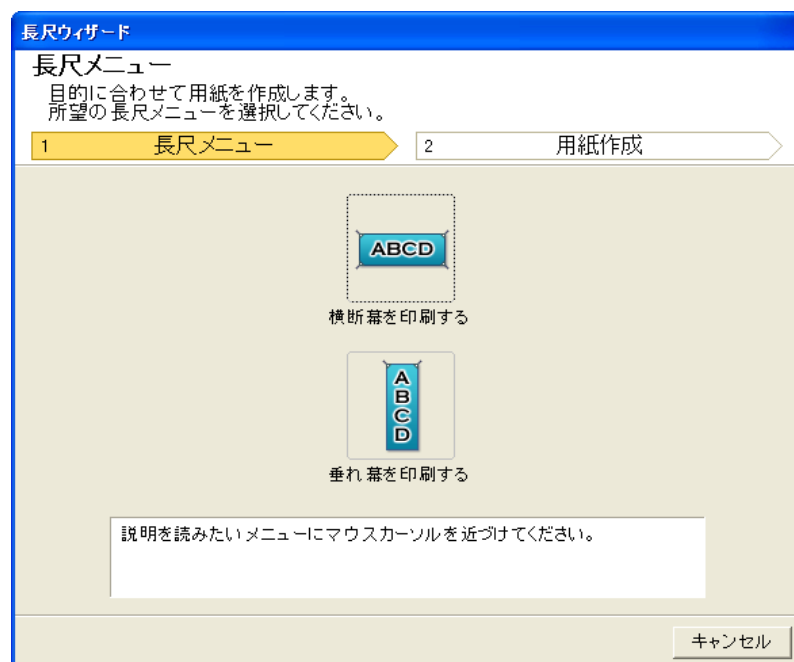
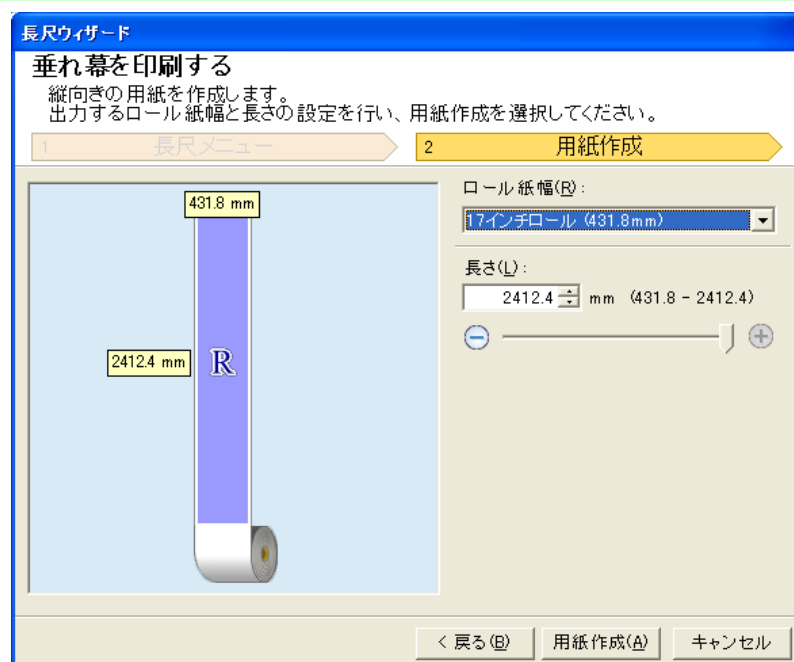
2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ
- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5. [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

6. [用紙作成]ボタンをクリックします。

7. メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8. 編集し、原稿を作成してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)」を参照してください。 →P.295

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

Microsoft PowerPoint からの起動方法

[Microsoft PowerPoint]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.288

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4. 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.330
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

4

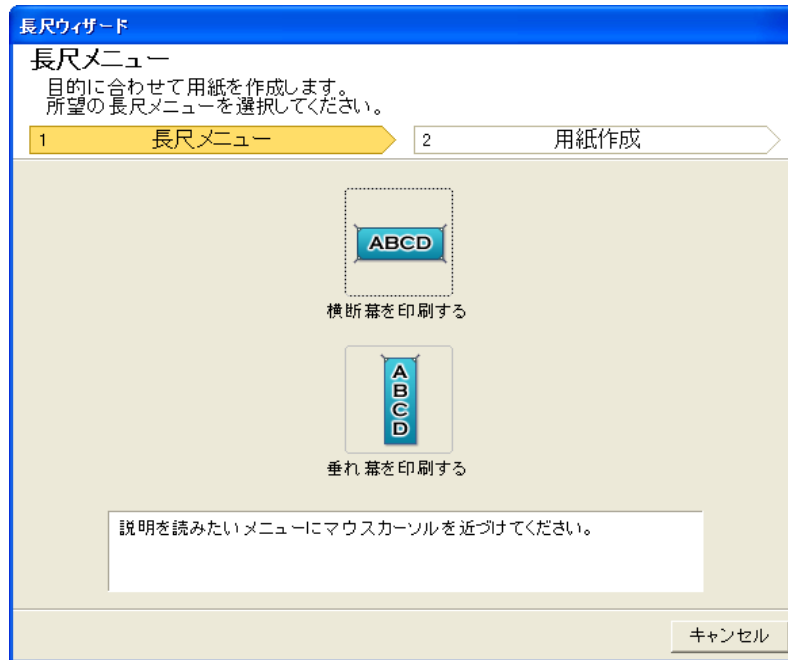
[印刷ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[印刷ウィザード]を実行できません。

[長尺ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[長尺ウィザード]を実行できません。パスワードの設定を解除してください。

ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する（PowerPoint）

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [フチなし印刷する]をクリックします。

5. 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し、[OK]を押してください。

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

割り付け印刷する(PowerPoint)

複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

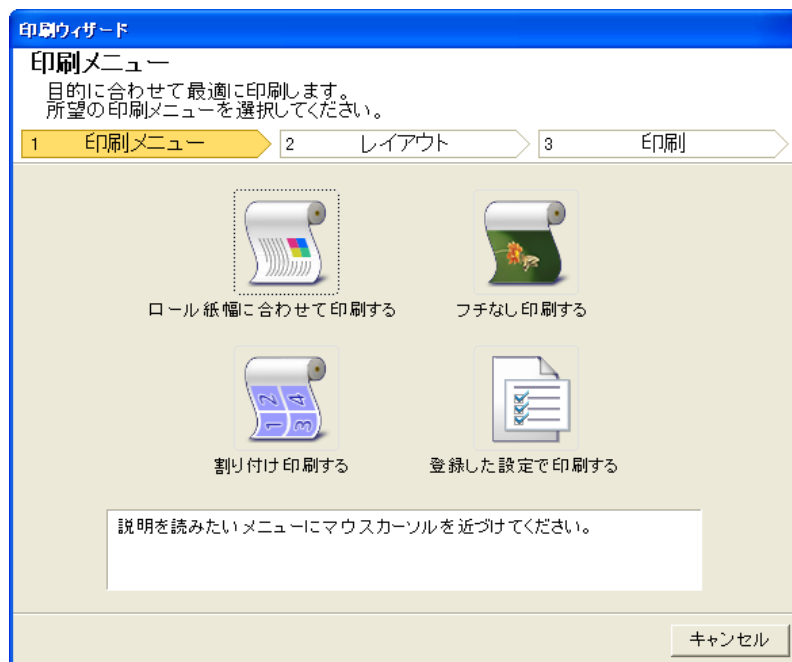
1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く

imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡

4. [割り付け印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. [レイアウト選択]からレイアウトを選択します。

7. [次へ]を選択します。

8. [用紙の種類]を選択します。

9. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

10. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11. [プリント]を押すと印刷を開始します。

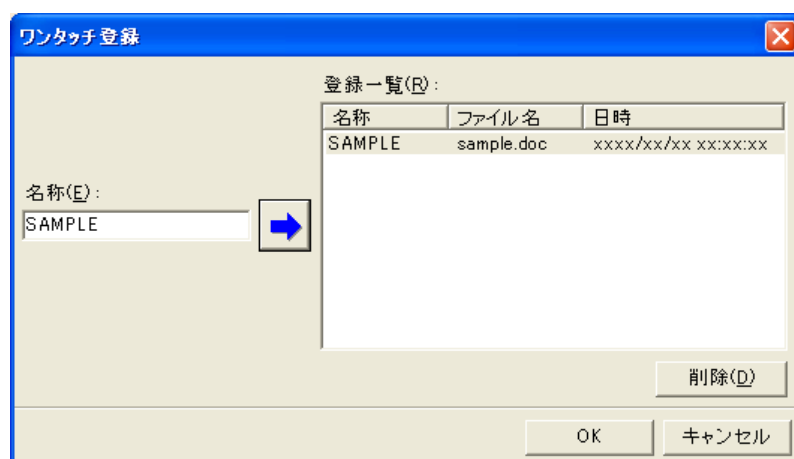
設定を登録する(PowerPoint)

同じ設定で繰り返し印刷する場合は[ワンタッチ登録]することができます。登録した設定は[登録した設定で印刷する]から呼び出すことができます。

1. [印刷メニュー]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]または[割り付け印刷する]で[印刷]画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint) →P.309
  - フチなし印刷する(PowerPoint) →P.311
  - 割り付け印刷する(PowerPoint) →P.314

2. [ワンタッチ登録]ボタンをクリックします。

3. [名称]に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4. をクリックします。入力した名称が[登録一覧]に表示されます。

5. [OK]をクリックし、[印刷]画面へ戻ります。

6. 印刷する場合は[プリント]、印刷を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

メモ
- [印刷]画面で[キャンセル]をクリックしても登録した設定は削除されません。

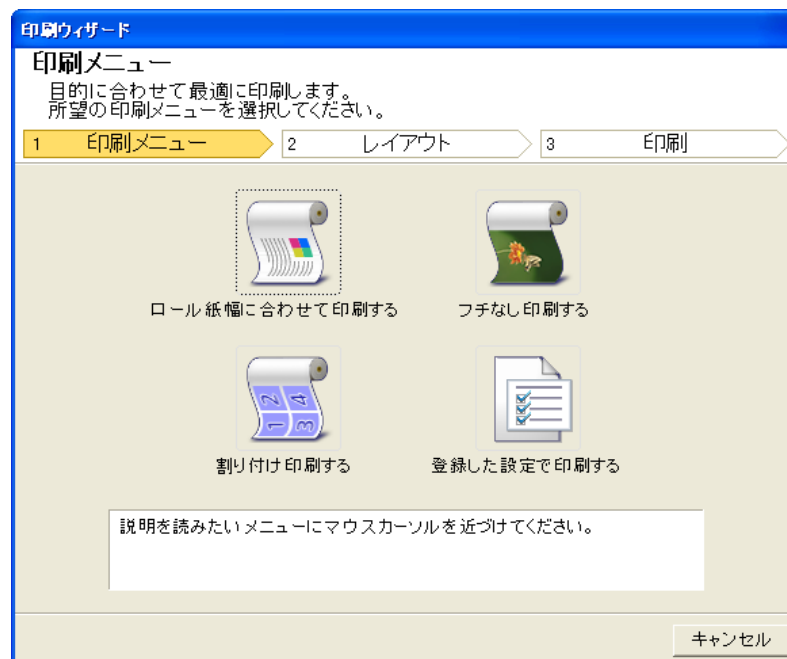
登録した設定で印刷する(PowerPoint)

登録した設定で印刷を行います。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要
- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5. [次へ]ボタンをクリックします。

6. [用紙の種類]を選択します。

7. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

8. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9. [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く

imagePROGRAF Print Plug-In

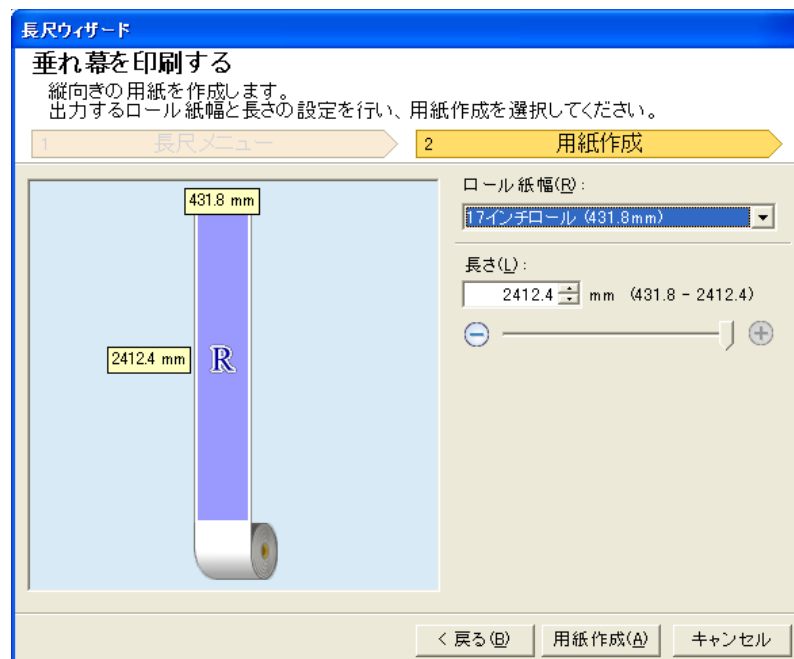
3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5. [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

6. [用紙作成]ボタンをクリックします。

7. メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8. 編集し、原稿を作成してください。

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)」を参照してください。 →P.309

Microsoft Excel からの起動方法

[Microsoft Excel]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Excel]を起動します。

2. ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

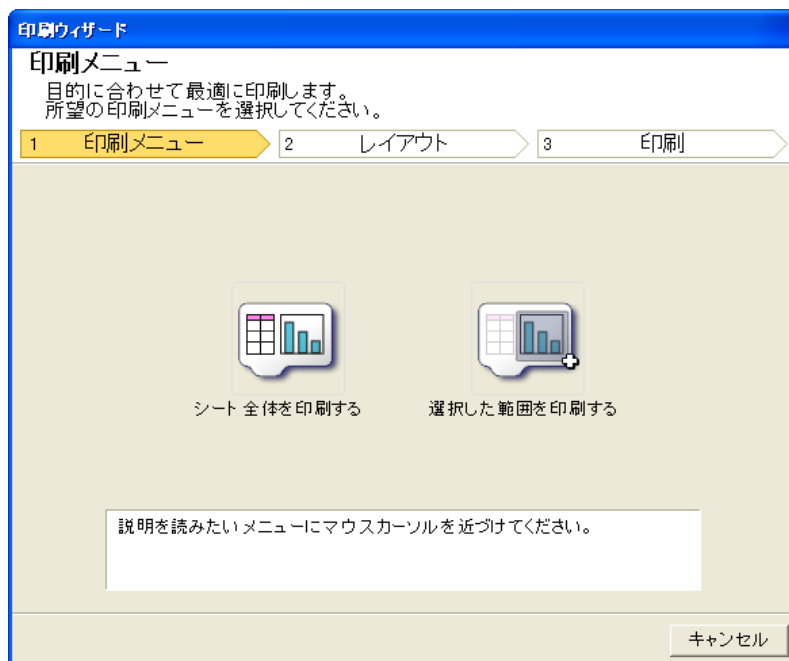
重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.288

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4. 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.330
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [シート全体を印刷する]、[選択した範囲を印刷する]の設定ができます。

[印刷ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- セル編集中は、ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません。
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。
- オブジェクトが選択されているとき、ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません。
- Excel の用紙サイズが空白になっている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。エクセルの[ファイル]メニューの[ページ設定]で[用紙サイズ]を確認してください。

メモ

- グラフが選択されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。
- 改ページが設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定された改ページを使用しない場合は、改ページプレビューを確認して変更してください。
- 印刷範囲が設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定された印刷範囲を使用しない場合は、改ページプレビューを確認して変更してください。
- シートやセルが保護されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定を変更する場合はシートやセルの保護を解除してください。

シート全体を印刷する(Excel)

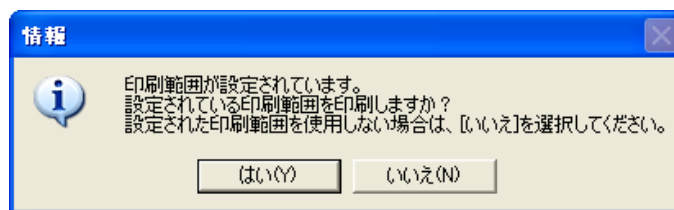
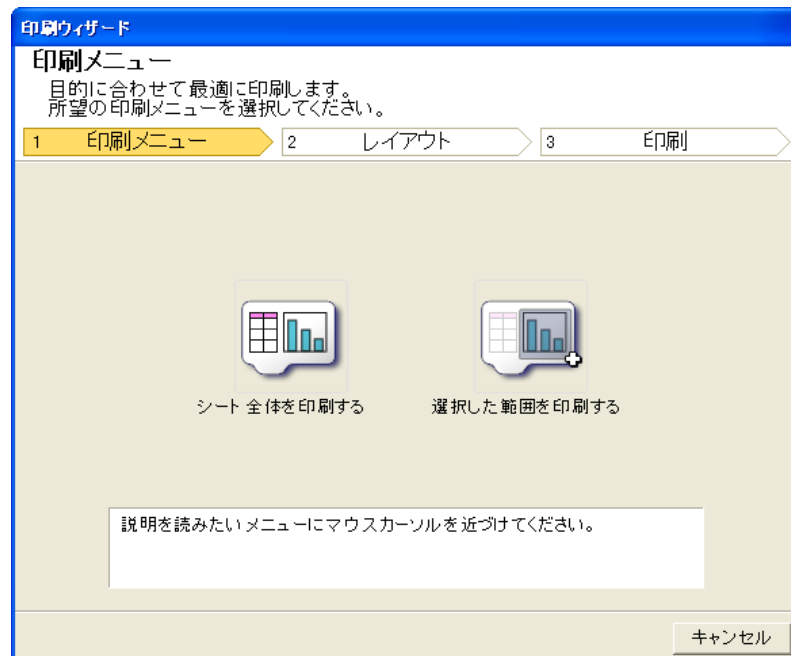
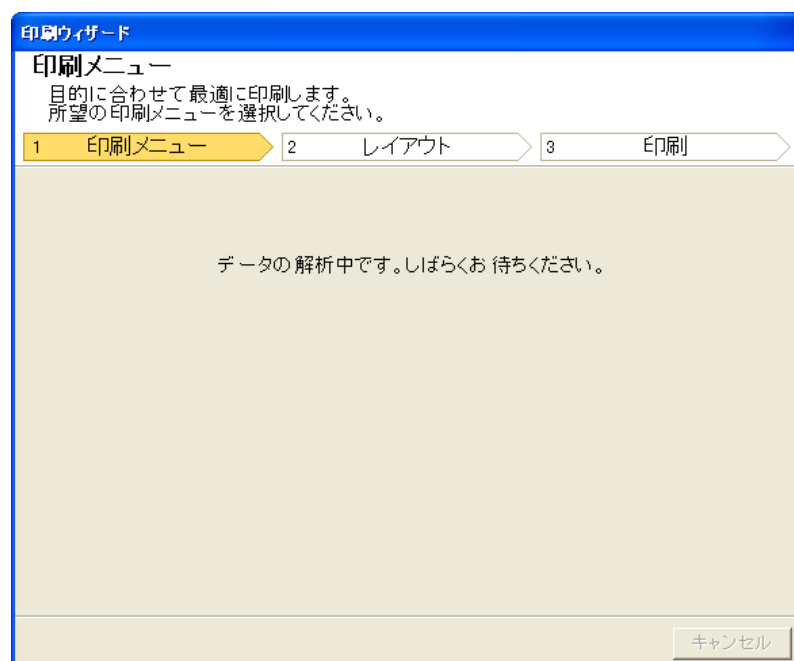
シート全体をロール紙幅いっぱいに印刷します。現在表示しているシートを大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

1. [Microsoft Excel]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
シート全体を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4. [シート全体を印刷する]をクリックします。
解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

メモ
- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する(Excel) →P.329 を参照してください。

9. [次へ]を選択します。

10. [用紙の種類]を選択します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12. 上下の余白が多い場合は[上下余白なし(用紙節約)]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13. [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要

- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

選択した範囲を印刷する(Excel)

選択した範囲のセルをロール紙幅いっぱいに印刷します。シートの特定の部分を大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

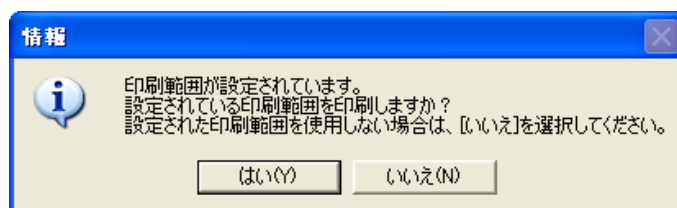
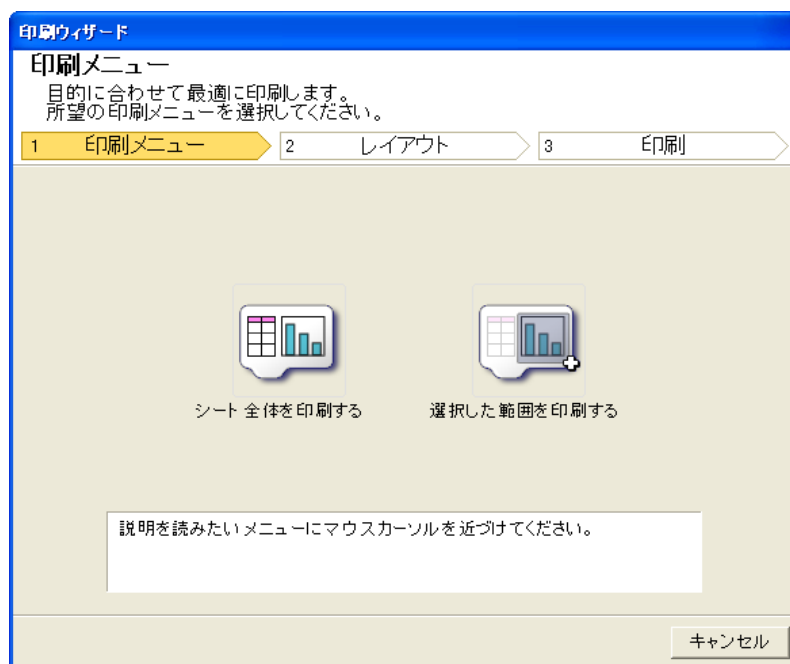
1. [Microsoft Excel]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

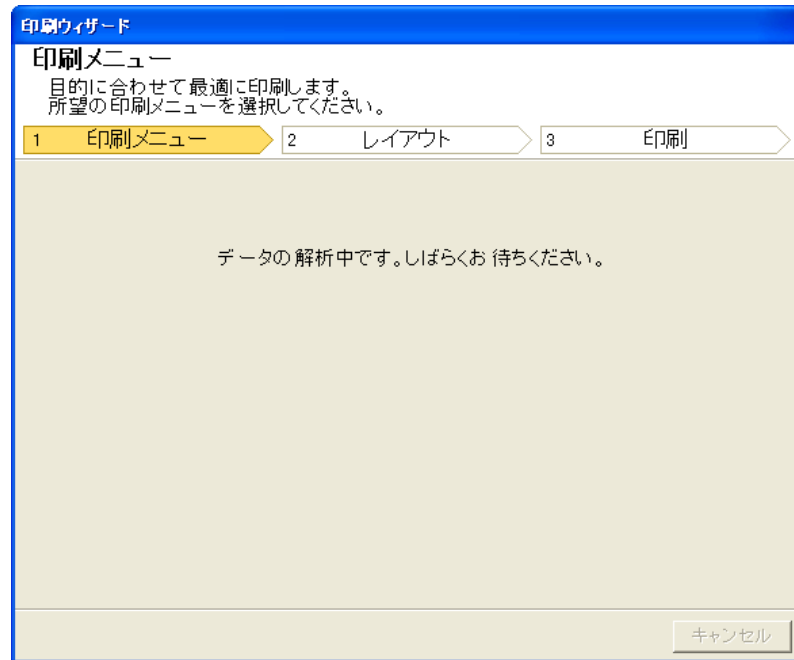
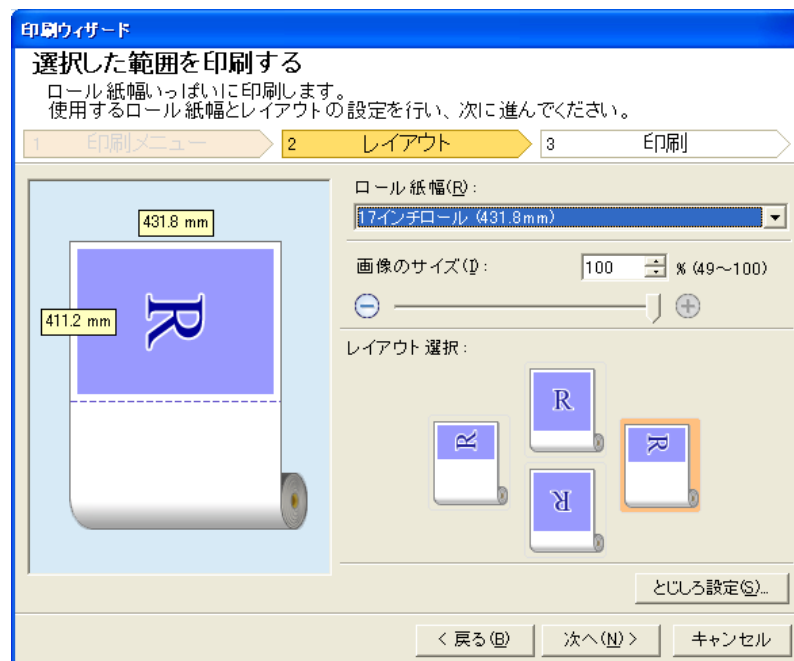
imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
選択した範囲を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4. [選択した範囲を印刷する]をクリックします。

重要
- 複数のセルが選択されていない場合は、[選択した範囲を印刷する]を選択できません。

解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

重要

- [Excel 2007/2010]で選択されている範囲が大きすぎる場合はデータを解析することができません。選択する範囲を小さくしてから実行してください。

メモ

- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する(Excel) →P.329 を参照してください。

9. [次へ]を選択します。

10. [用紙の種類]を選択します。

11. [部数]を入力します。

メモ
- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12. 上下の余白が多い場合は[上下余白なし(用紙節約)]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13. [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要
- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

とじしろを設定する（Excel）

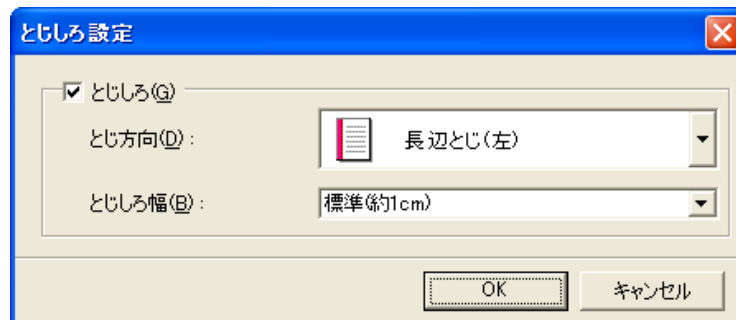
印刷物を閉じるための余白である[とじしろ]を設定することができます。

1. [シート全体を印刷する]または[選択した範囲を印刷する]で[レイアウト]画面の[レイアウト選択]まで設定します。
設定方法についてはシート全体を印刷する（Excel）→P.323、選択した範囲を印刷する（Excel）→P.325を参照してください。

2. [とじしろ設定]ボタンをクリックします。

重要

- 以下の場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックできません。
  - [画像のサイズ]が[100%]に設定されている場合
  - グラフが選択されている場合
  - 改ページが設定されている状態
  - シート、またはセルが保護されている場合

[とじしろ設定]ダイアログボックスが開きます。

3. [とじしろ]チェックボックスがオンになっていない場合はチェックしてオンにします。

4. [とじ方向]を選択します。

5. [とじしろ幅]を選択します。

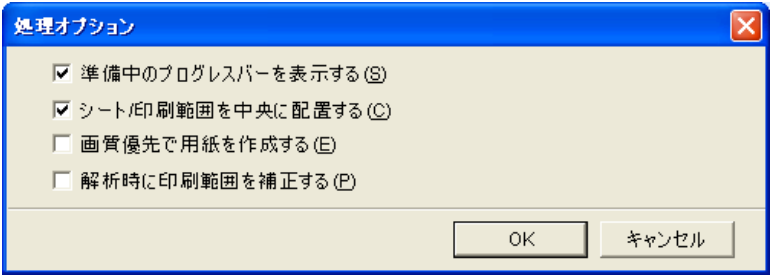
6. [OK]ボタンをクリックします。
[レイアウト]画面に戻ります。

プレビュー画面に[とじしろ]の設定が反映されていることを確認します。

7. [印刷ウィザード]ダイアログボックスの設定を行います。

処理オプションを設定する

[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバーから[処理オプション]を設定することができます。

1. ツールバーの[imagePROGRAF]をクリックし、[処理オプション]を選択します。

2. 設定を変更したい項目のチェックボックスをオンまたはオフにします。

項目	内容
[準備中のプログレスバーを表示する]	オフにすると準備中に表示されるプログレスバーを非表示にします。
[シート/印刷範囲を中央に配置する]	オフにすると配置を変更せずに印刷します。オンになっている場合は上下左右の余白が片寄らないように配置をして印刷します。オフにすると配置を変更せずに印刷します。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。
[画質優先で用紙を作成する]	オンにすると原稿を最大のサイズで作成します。印刷の際に拡大率が低くなるので写真などの画質の劣化が最小限になります。 この機能は[Microsoft PowerPoint]のみで有効になります。

項目	内容
[解析時に印刷範囲を補正する]	通常のデータ解析で処理できないデータに対して、印刷範囲を補正して処理を行います。データ解析に失敗した場合に、このチェックボックスをオンにすると印刷できることがあります。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。

3. [OK]をクリックして[処理オプション]ダイアログボックスを閉じます。

HDI ドライバ

HDI ドライバの特長

HDI ドライバの主な特長は以下のとおりです。

- オートデスク社の CAD 用ソフトウェア AutoCAD および AutoCAD LT（以下 AutoCAD）のアーキテクチャ、HDI（Heidi Device Interface）に対応した専用プリンタドライバです。
- 用紙に合わせた最適な印刷設定が可能になり、AutoCAD で作成した図面を鮮明に印刷することができます。

動作環境

HDI ドライバの動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS バージョン
  Windows XP、Windows Vista、Windows 7
- 対応 AutoCAD バージョン
  AutoCAD 2005, AutoCAD LT2005, AutoCAD 2006, AutoCAD LT2006,
  AutoCAD 2007, AutoCAD LT2007, DWG TrueView 2007, AutoCAD 2008, AutoCAD LT2008, DWG TrueView 2008,
  AutoCAD 2009, AutoCAD LT2009, DWG TrueView 2009, AutoCAD 2010, AutoCAD LT2010, DWG TrueView 2010,
  AutoCAD 2011, AutoCAD LT2011, DWG TrueView 2011,
  AutoCAD 2008（x64）, DWG TrueView 2008（x64）, AutoCAD 2009（x64）, AutoCAD LT2009（x64）, DWG TrueView 2009（x64）,
  AutoCAD 2010（x64）, AutoCAD LT2010（x64）, DWG TrueView 2010（x64）
  AutoCAD 2011（x64）, AutoCAD LT2011（x64）, DWG TrueView 2011（x64）

メモ

- AutoCAD のバージョンごとに、対応する OS のバージョンは異なります。詳しくは Autodesk 社にご確認ください。

インストール手順

HDI ドライバをインストールするには 2 通りの方法があります。

- キヤノン製インストーラを使用してインストールする →P.333
- プロッタを追加ウィザードを使用してインストールする →P.339

キヤノン製インストーラを使用してインストールする

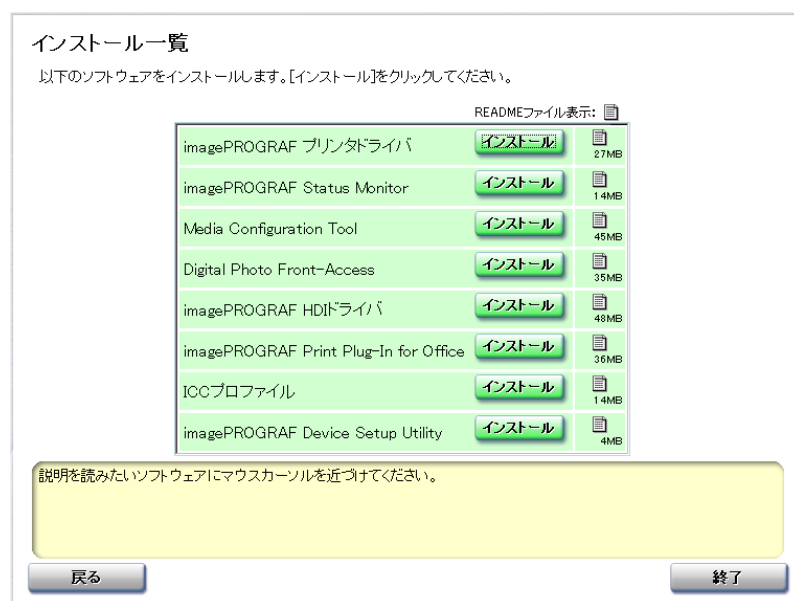
プリンタ本体に同梱されている[User Software CD-ROM]を起動すると、キヤノン製インストーラの画面が表示されます。この画面からインストールする手順は、以下のようになります。

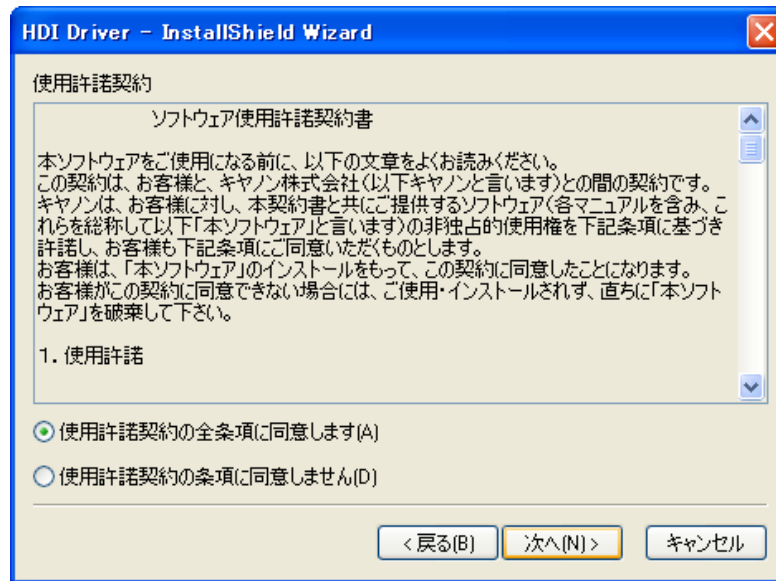
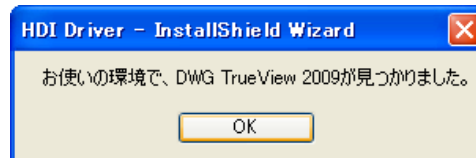
1. CD-ROM ドライブに[User Software CD-ROM]を挿入し、キヤノン製インストーラを起動します。

メモ

- キヤノン製インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から[CD-ROM]アイコンをダブルクリックしてインストーラ画面を開きます。

2. キヤノン製インストーラの[Setup Menu]から、[ソフトウェア個別インストール]ボタンをクリックします。

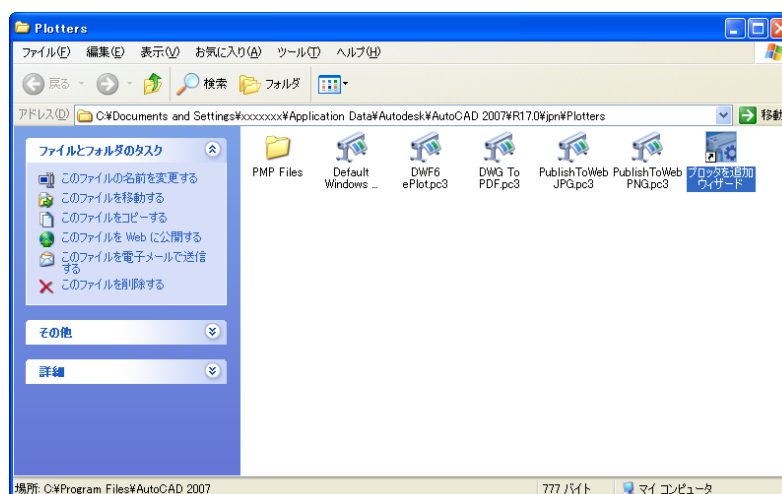
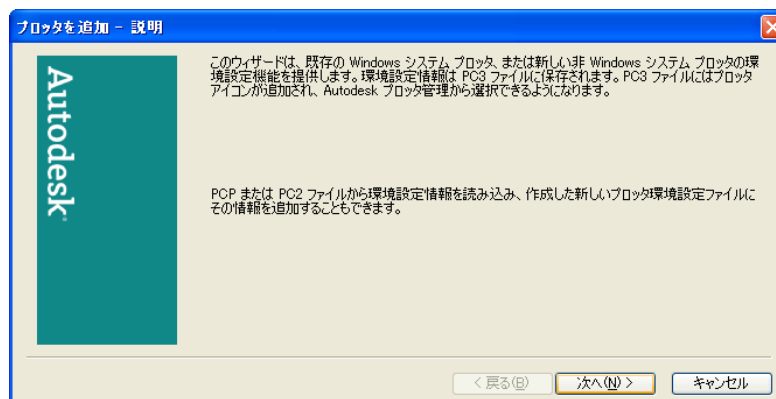
[インストール一覧]が表示されます。[imagePROGRAF HDI ドライバ]の[インストール]ボタンをクリックします。

ドライバのセットアップ画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

3. 使用許諾契約書を読んで、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

4. 検出された画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

メモ

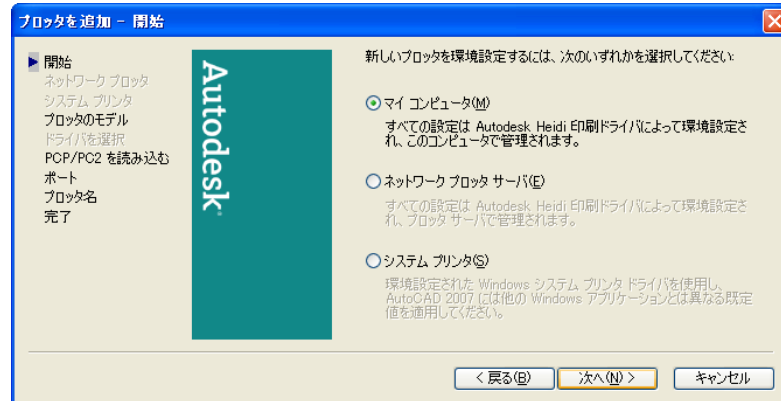
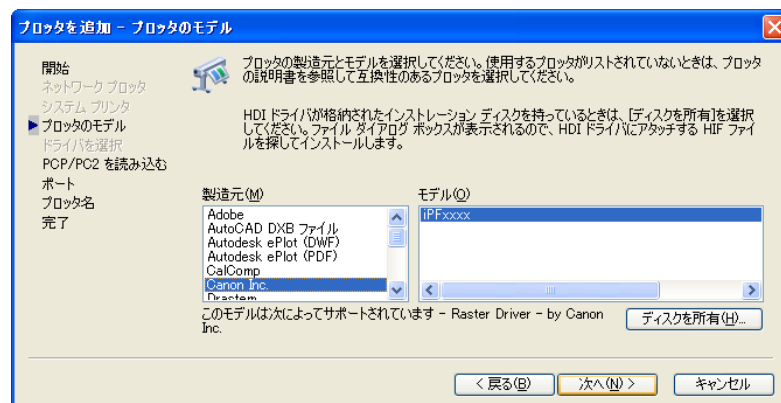
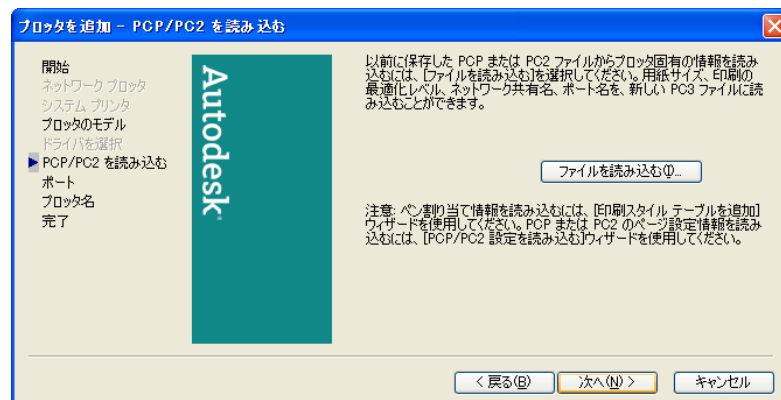
- お使いの環境にインストールされた AutoCAD と一致していることをご確認ください。

5. [インストール準備の完了]画面が表示されます。[インストール]ボタンをクリックします。

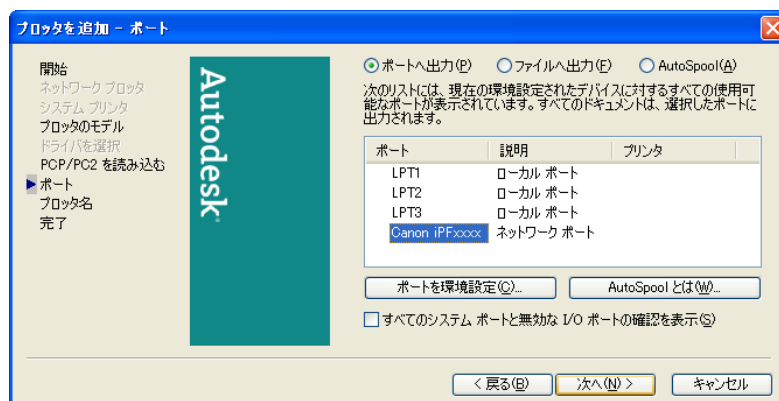
6. HDI ドライバファイルが AutoCAD プログラムが格納された[Drv]フォルダにコピーされます。
[完了]ボタンをクリックします。HDI ドライバのセットアップが終了します。

7. AutoCAD を起動し、[ファイル]メニューから[プロッタ管理]を選択します。
[Plotters]ウィンドウが表示されます。[プロッタを追加ウィザード]アイコンをクリックします。

8. [プロッタを追加 － 説明]が表示されます。画面表示を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プロッタを追加ウィザード]は、[スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択し、[Autodesk プロッタ管理]アイコンを押して、[Plotters]ウィンドウから[プロッタを追加ウィザード]アイコンを押して開くこともできます。

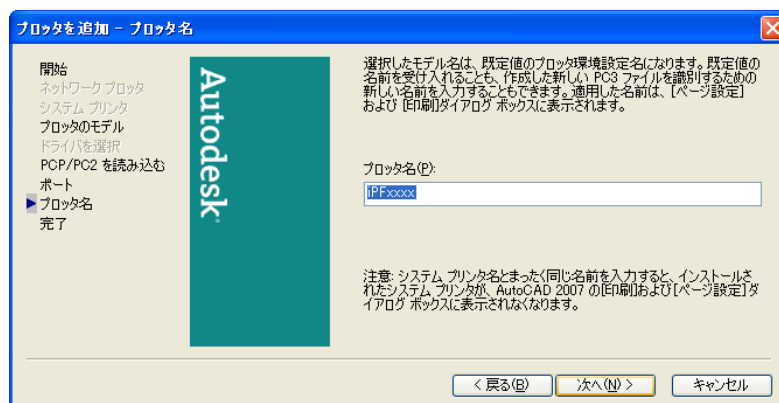
9. [プロッタを追加 ー 開始]が表示されます。[マイコンピュータ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

10. [プロッタを追加 ー プロッタのモデル]が表示されます。
[製造元]のリストで[Canon Inc.]が選択されていることを確認し、[モデル]でインストールするプリンタ名を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

11. [プロッタを追加 ー PCP/PC2 を読み込む]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

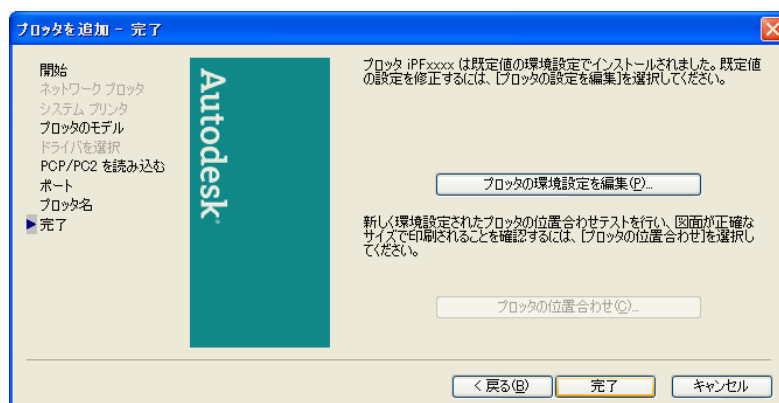
- 以前に保存した PCP または PC2 ファイルからプロッタの情報を読み込む場合は、[ファイルを読み込む]ボタンを押して、読み込むことができます。

12. [プロッタを追加 − ポート]が表示されます。
[ポートへ出力]にチェックマークが付いていることを確認し、プロッタに使用するポートを選択して[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プロッタを追加 − ポート]では、[ネットワークポート]を選択することをお勧めします。[ローカルポート]を選択すると、印刷時に AutoCAD の警告ダイアログが表示されることがあります。

13. [プロッタを追加 − プロッタ名]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プロッタ名]に表示されている名称は変更することもできますが、通常はこのまま手順 14 に進みます。

14. [プロッタを追加 − 完了]が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。
HDI ドライバのインストールが終了します。

15. ［終了］ボタンで［インストール一覧］と［Setup Menu］を終了し、CD-ROM ドライブから［User Software CD-ROM］を取り出します。

プロッタを追加ウィザードを使用してインストールする

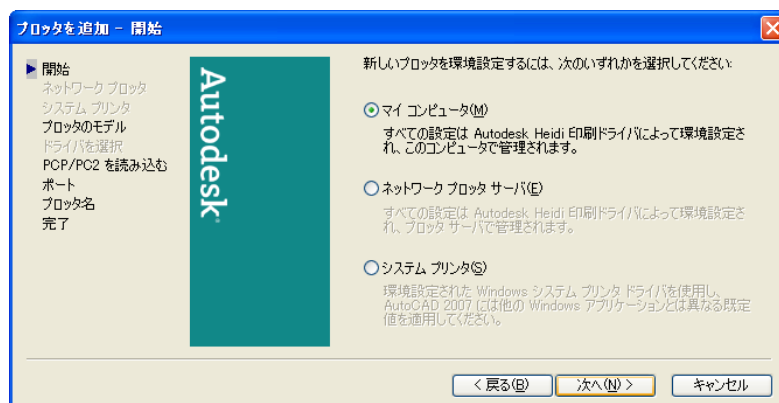
キヤノン製インストーラを使用しないで［プロッタを追加ウィザード］でインストールする場合は、以下のような手順になります。

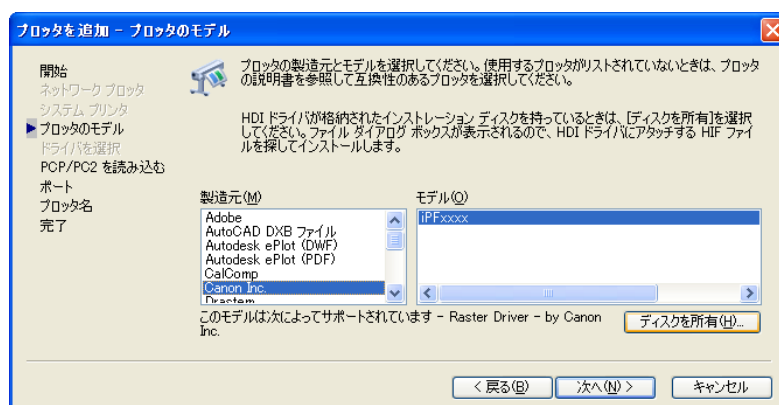
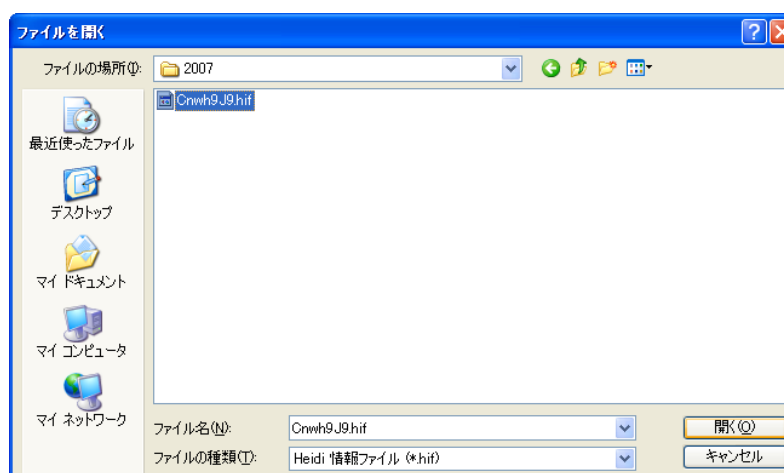
1. AutoCAD を起動し、［ファイル］メニューから［プロッタ管理］を選択します。
［Plotters］ウィンドウが表示されます。［プロッタを追加ウィザード］アイコンをクリックします。

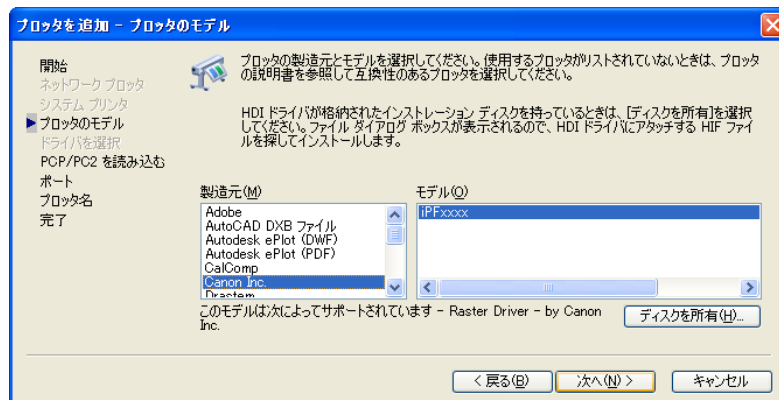
2. ［プロッタを追加 ー 説明］が表示されます。画面表示を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

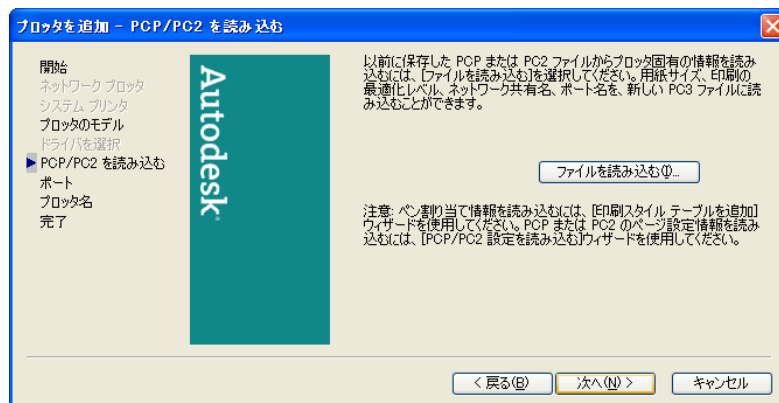
メモ

- ［プロッタを追加ウィザード］は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［Autodesk プロッタ管理］アイコンを押して、［Plotters］ウィンドウから［プロッタを追加ウィザード］アイコンを押して開くこともできます。

3. [プロッタを追加 ー 開始]が表示されます。[マイコンピュータ]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

4. [プロッタを追加 ー プロッタのモデル]が表示されます。CD-ROM ドライブに[User Software CD-ROM]を挿入します。

5. [プロッタを追加 ー プロッタのモデル]の[ディスクを所有]ボタンをクリックします。

6. [ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。[ファイルの場所]から CD-ROM ドライブを選択し、hif ファイルのあるフォルダまで移動します。
hif ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

メモ
- hif 形式のファイルは、以下のフォルダに含まれています。
¥HDI Driver¥Japanese¥2007(AutoCAD のバージョンが 2007 の場合)

7. [プロッタを追加 ー プロッタのモデル]に戻ります。
[製造元]のリストから[Canon Inc.]を選択し、[モデル]からプリンタを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

8. [プロッタを追加 ー PCP/PC2 を読み込む]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- 以前に保存した PCP または PC2 ファイルからプロッタの情報を読み込む場合は、[ファイルを読み込む]ボタンを押して、読み込むことができます。

9. [プロッタを追加 ー ポート]が表示されます。
[ポートへ出力]にチェックマークが付いていることを確認し、プロッタに使用するポートを選択して[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プロッタを追加 ー ポート]では、[ネットワークポート]を選択することをお勧めします。[ローカルポート]を選択すると、印刷時に AutoCAD の警告ダイアログが表示されることがあります。

10. [プロッタを追加 ー プロッタ名]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プロッタ名]に表示されている名称は変更することもできますが、通常はこのまま手順 11 に進みます。

11. [プロッタを追加 ー 完了]が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。
HDI ドライバのインストールが終了します。

12. CD-ROM ドライブから[User Software CD-ROM]を取り出します。

プロッタ環境設定エディタダイアログボックスを開く

[プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスを開くには 2 通りの方法があります。

- AutoCAD のファイルメニューから開く →P.343
- Windows のスタートメニューから開く →P.344

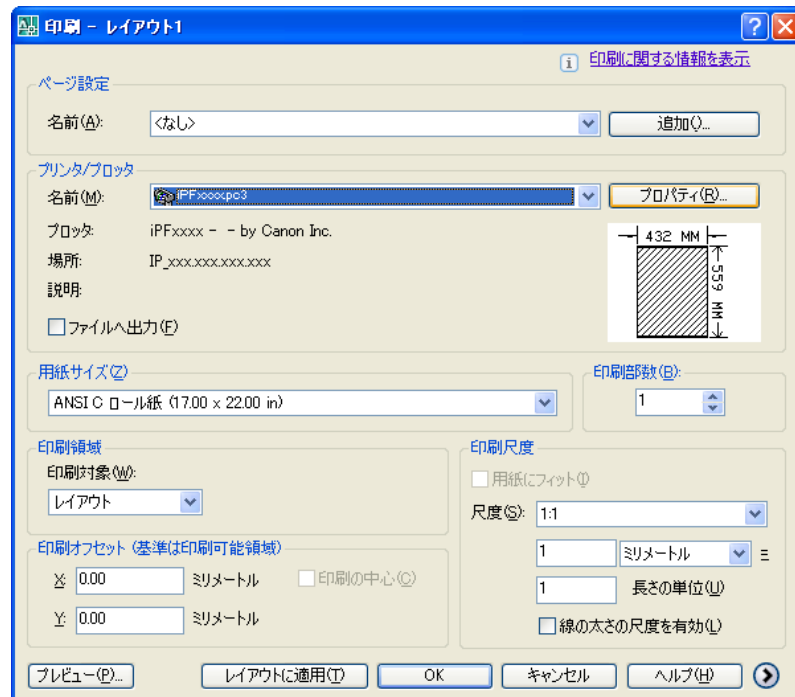
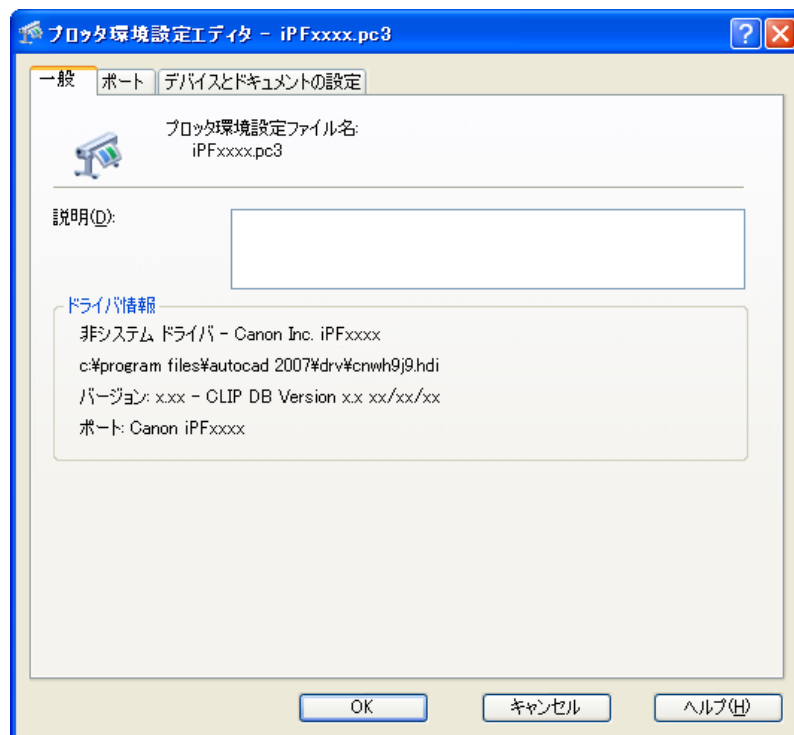
AutoCAD のファイルメニューから開く

AutoCAD の[ファイル]メニューから[プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスを開く手順は、以下のようになります。

1. AutoCAD の[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。[印刷]ダイアログボックスが表示されます。
   [プリンタ/プロッタ]の[名前]に、[iPFxxxx.pc3]のようなご使用のプリンタ名が表示されていることを確認します。
   [プロパティ]ボタンをクリックします。

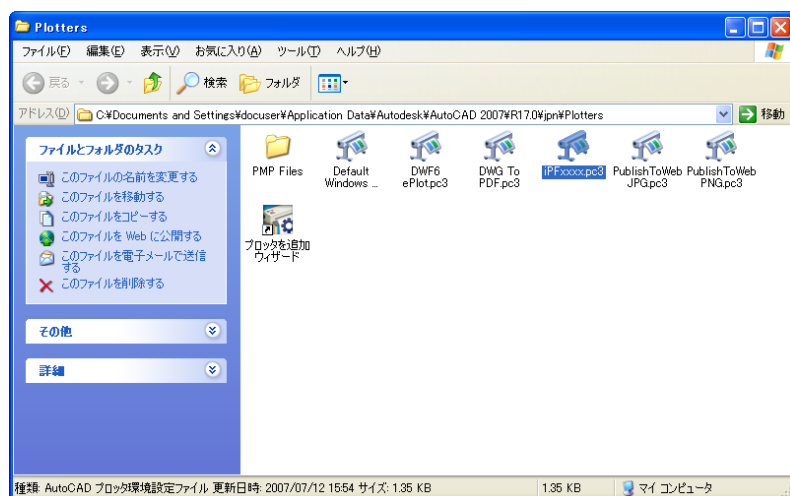
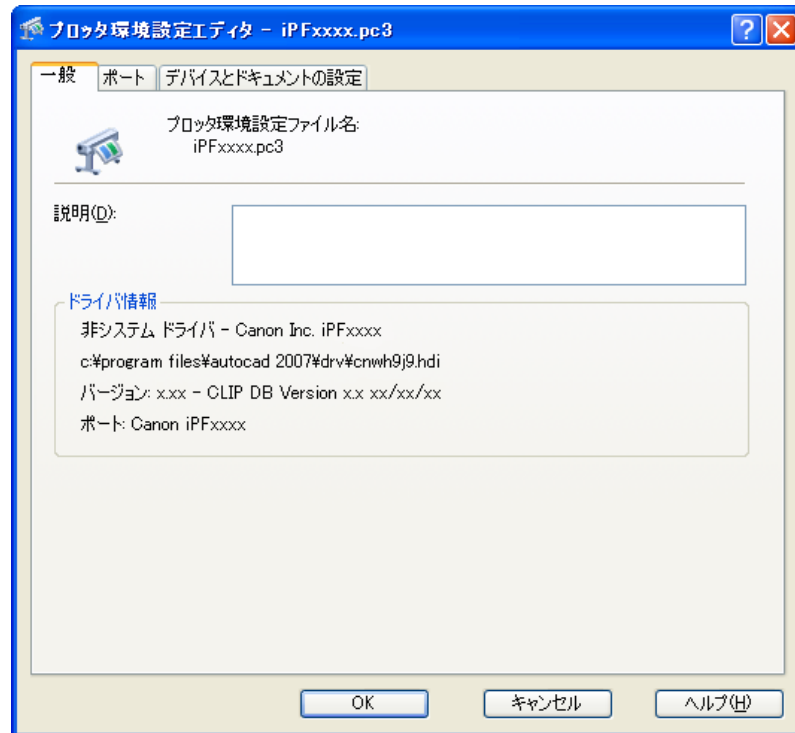
メモ

- [名前]に他のプリンタ名が選択されている場合は、[名前]のリストから使用するプリンタ名を選択してください。
- [名前]には、HDI ドライバをインストール時に登録したプリンタ名が表示されます。

4

2. [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスが表示されます。

Windows のスタートメニューから開く

Windows の[スタート]メニューから[プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスを開く手順は、以下のようになります。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
   [コントロールパネル]ウィンドウが表示されます。

2. [Autodesk プロッタ管理]アイコンをクリックして開きます。
   [Plotters]ウィンドウが表示されます。
   [iPFxxxx.pc3]アイコン(アイコンの名称は、ご使用のプリンタ名)をクリックして開きます。

3. [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスが表示されます。

プロッタ環境設定エディタダイアログボックス

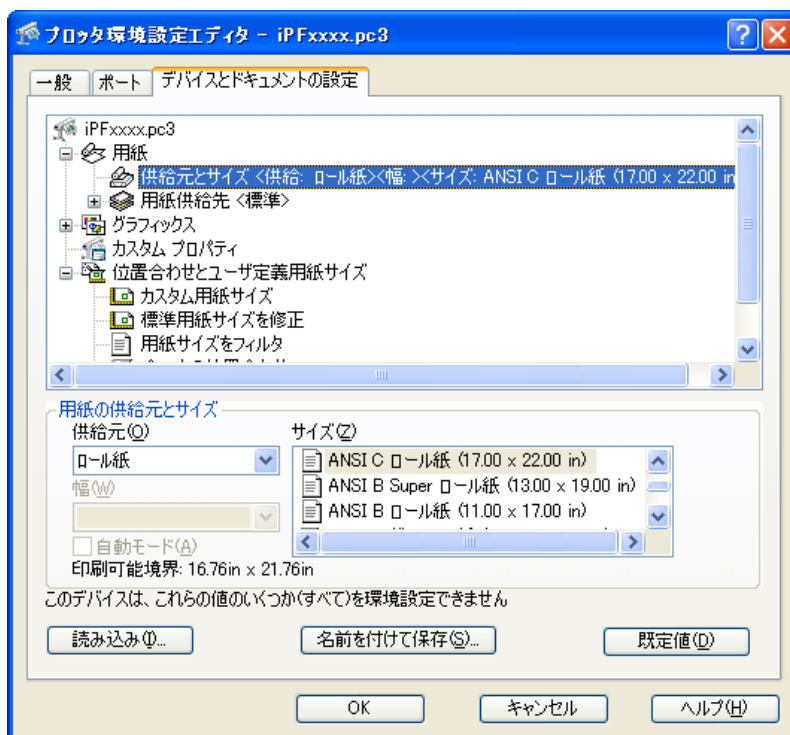
[プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスは、3 種類のシートから構成されています。
[プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスの表示は、これらのシートの各項目を選択することにより、切り替わります。

メモ

- [一般]シートおよび[ポート]シートについて詳しくは、AutoCAD のマニュアルを参照してください。

[デバイスとドキュメントの設定]シート

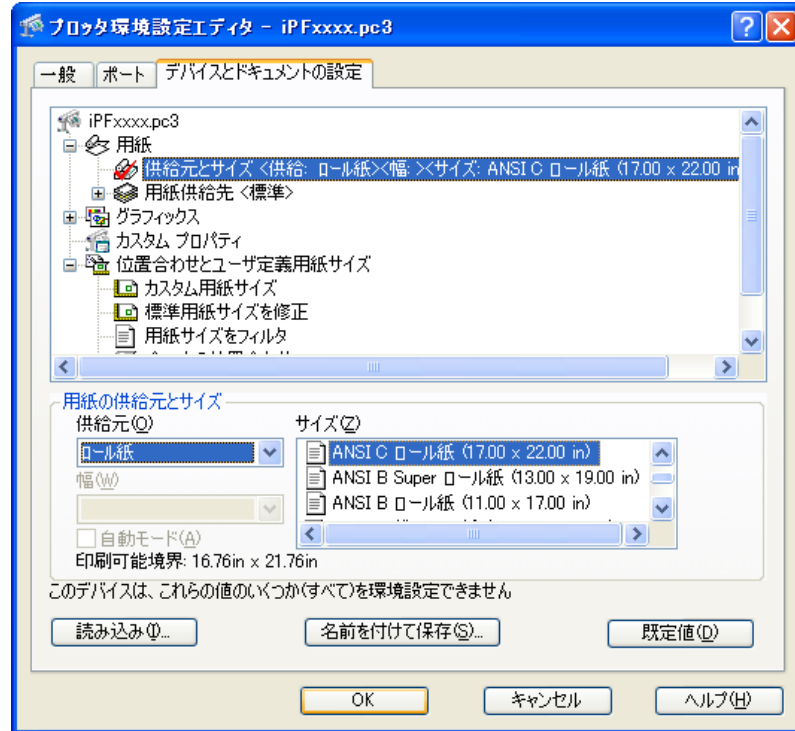
主な印刷設定を行います。このシートでは、各設定項目がツリー構造で表示されます。

項目を選択して、画面表示を切り替えながら、解像度などのグラフィックス設定、用紙の種類やカラーマッチングなどの[カスタムプロパティ]の設定、インクの乾燥時間やロール紙の安全余白などの用紙の詳細設定を行うことができます。

設定できる項目については以下をご覧ください。

- 設定用紙の供給元とサイズの設定 →P.347
- グラフィックスの設定 →P.348
- カスタムプロパティダイアログボックス →P.352

設定用紙の供給元とサイズの設定

用紙の供給元の設定と、用紙サイズの設定を行うことができます。

1. [用紙]の下の階層にある[供給元とサイズ]をクリックします。
   [デバイスとドキュメント設定]シートの表示が、用紙の供給元とサイズ設定用の表示に切り替わります。

2. [供給元]のリストから給紙方法を指定します。

3. [サイズ]のリストからサイズを指定します。

メモ

- [供給元]の設定を変更すると、[サイズ]で指定したサイズが、自動的に標準設定に戻ります。[供給元]を変更した場合には、再度、[サイズ]を指定してください。

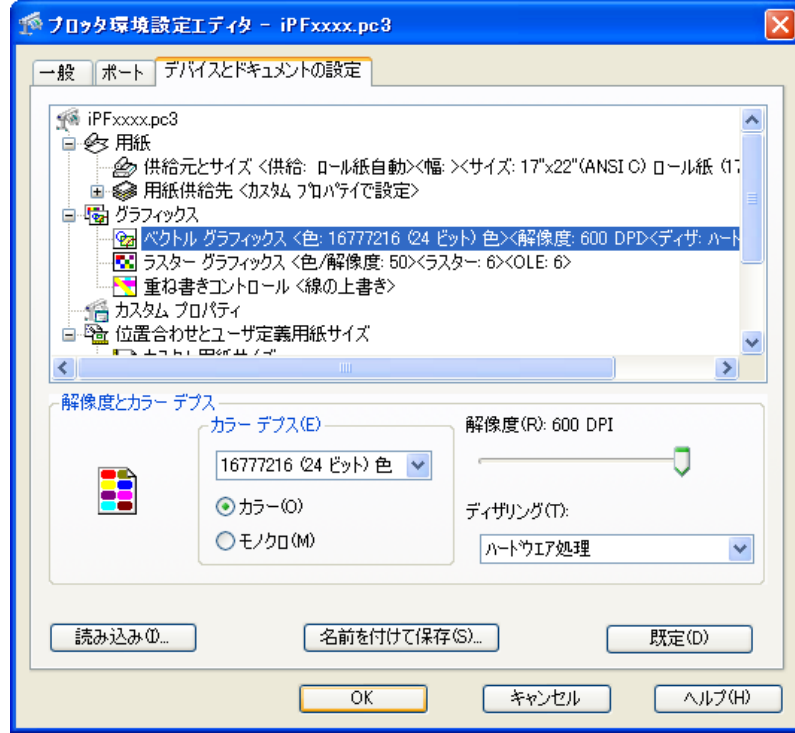
4. [OK]ボタンをクリックします。

グラフィックスの設定

グラフィックスの設定をすることができます。

[ベクトル グラフィックス]の設定

印刷モードや解像度を設定することができます。

1. [グラフィックス]の下の階層にある[ベクトル グラフィックス]をクリックします。
   [デバイスとドキュメントの設定]シートの表示が、ベクトルグラフィック用の表示に切り替わります。

2. [カラー]または[モノクロ]を選択します。

3. [カラー デプス]をリストから選択します。
   [カラー デプス]には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[カラー]	16777216(24-ビット)色
[モノクロ]	16777216 階調グレー

4. [解像度]をスライダーを動かして設定します。
   [解像度]には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[300 DPI]	解像度が低い為、印刷速度が速くなりますが、画像は粗くなります。
[600 DPI]	解像度が高い為、最良の印刷結果が得られます。

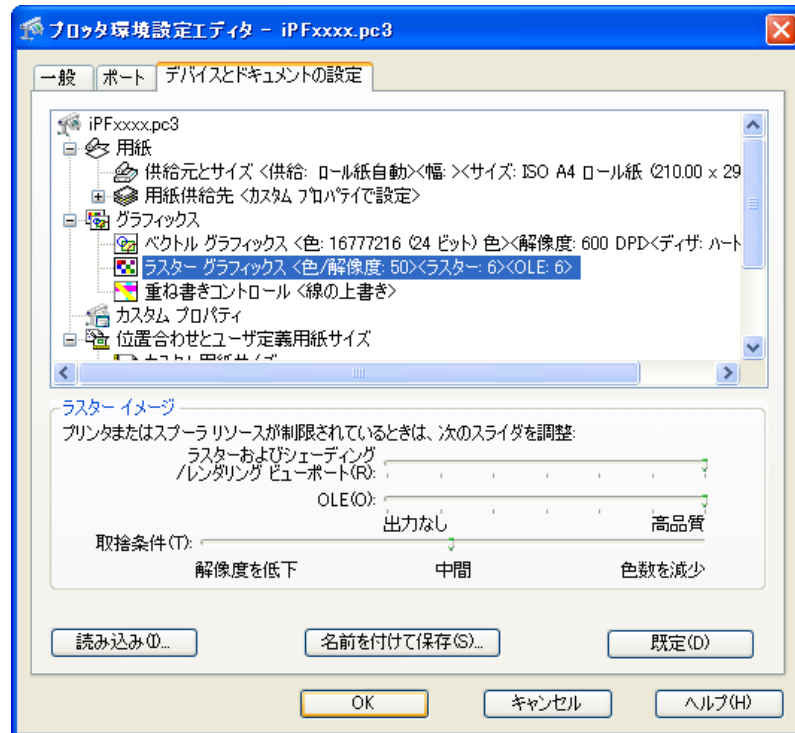
5. [ディザリング]を選択します。

設定項目	内容
[ハードウェア処理]	ディザ処理をプリンタで行います。

6. [OK]ボタンをクリックします。

[ラスター グラフィックス]の設定

ラスターグラフィックスの印刷品質と消費メモリおよび印刷速度のバランスを調整します。

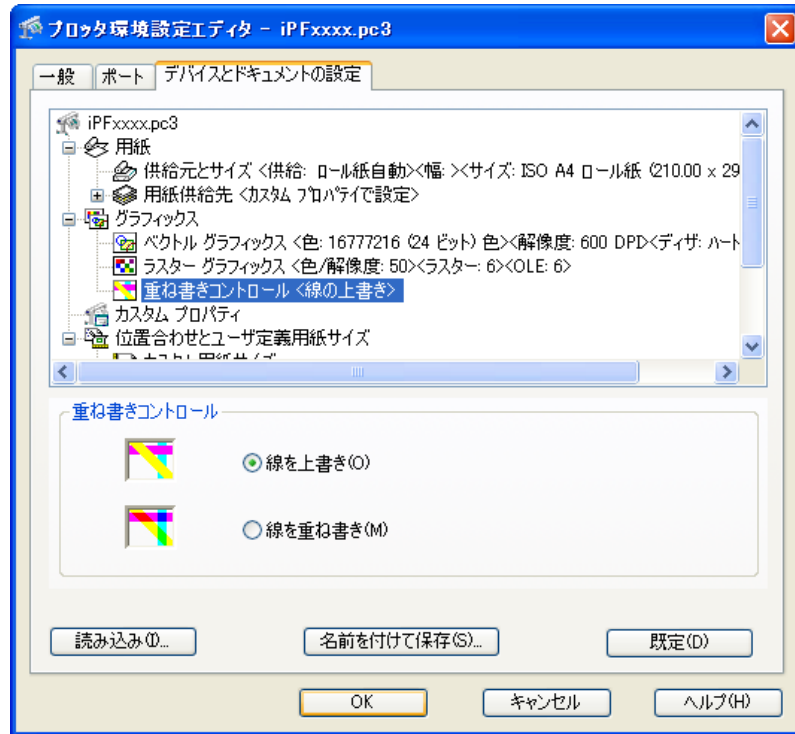
1. [グラフィックス]の下の階層にある[ラスター グラフィックス]をクリックします。
   [デバイスとドキュメントの設定]シートの表示が、ラスターグラフィック用の表示に切り替わります。

2. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[ラスターおよびシェーディング/レンダリング ビューポート]	印刷品質と消費メモリおよび印刷速度のバランスを調整します。[出力なし]に設定すると、ラスターイメージを印刷できません。[高品質]にするほど、印刷時間がかかります。
[OLE]	OLE オブジェクトを印刷するときの印刷品質と消費メモリおよび印刷速度のバランスを調整します。[出力なし]に設定すると、OLE オブジェクトを印刷できません。[高品質]にするほど、印刷時間がかかります。
[取捨条件]	最高の品質で印刷できない場合、印刷品質をどの程度落とすかを設定します。

3. [OK]ボタンをクリックします。

[重ね書きコントロール]の設定

交差する線の重ね方を設定します。

1. [グラフィックス]の下の階層にある[重ね書きコントロール]をクリックします。
   [デバイスとドキュメントの設定]シートの表示が、重ね書きコントロール用の表示に切り替わります。

設定項目	内容
[線を上書き]	線が交差する部分では、最後に印刷された線だけが見え、その下の線は見えなくなります。
[線を重ね書き]	線が交差する部分では、交差する線の色を重ねて書きます。

2. [OK]ボタンをクリックします。

カスタムプロパティダイアログボックスを開く

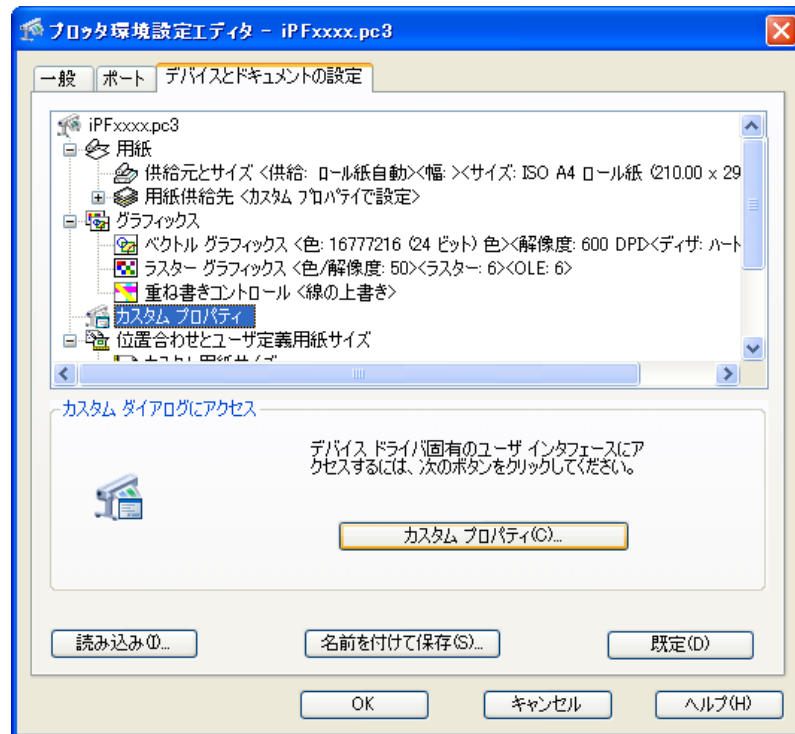
[カスタムプロパティ]ダイアログボックスを開く手順は、以下のようになります。

1. [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスの[デバイスとドキュメントの設定]シートを選択します。

メモ

- [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスの開き方については、「プロッタ環境設定エディタダイアログボックスを開く」を参照してください。 →P.342

2. [カスタムプロパティ]をクリックします。

3. [デバイスとドキュメントの設定]シートの表示が､カスタムプロパティ用の表示に切り替わります。
[カスタムプロパティ]ボタンをクリックします。

4. [カスタムプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

カスタムプロパティ
基本設定
サポート
用紙の種類(T) : 普通紙
設定(D)...
優先画質(Q) : 線画・文字
印刷品質(P) : 標準
カラーモード(C) : カラー(CAD)
カラーマッチング(M) : 色差最小
明るさ(G) : 暗く 明るく
淡い色を見やすい色にする(I)
エコノミー印刷(B)
イメージの印刷速度を上げる(N)
色の互換性(A)...
出力方法(U)...
標準に戻す(R)
OK
キャンセル
ヘルプ(H)

カスタムプロパティダイアログボックス

用紙の種類やカラーマッチング、明るさなどの設定を行うことができます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真・イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画・文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真・イラスト]を選んでください。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

印刷の内容に応じて適切な印刷品質を選択できます。

設定項目	内容
[最高]	最高品質で画質を優先します。
[きれい]	高品質で印刷します。
[標準]	品質と速度のバランスを重視して印刷します。
[速い]	印刷速度を優先します。

メモ
- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。

メモ
- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[カラーマッチング]

印刷の内容に応じてカラーマッチングを選択することができます。

設定項目	内容
[写真調]	写真画像に適した出力結果になるように色味を優先させてカラーマッチングを行います。
[色差最小]	スクリーン上のオリジナルの文書表示と印刷結果の間の色味の差を小さくすることを優先します。
[鮮やかな色に]	鮮やかさを優先させてカラーマッチングを行います。
[なし]	カラーマッチングを行いません。

メモ
- [カラーマッチング]は[カラーモード]が[カラー]の場合にのみ選択可能です。

[明るさ]

作成した図面などを最適な明るさで印刷するには、明るさを設定します。
スライドバーを左右にドラッグして、明るさを調整します。

[淡い色を見やすい色にする]

チェックマークを付けると、黄色や水色の細線など白地に印刷すると見えにくい画像を見やすく印刷することができます。

[エコノミー印刷]

チェックマークを付けると、インクの消費量を抑えて印刷することができます。

イメージの印刷速度を上げる(AutoCAD2011 のみ)

解像度 600dpi の設定で印刷する場合、ラスターイメージを含むデータを、より速く印刷できます。
ただし、高解像度のラスターイメージを含む場合は画質が落ちることがあります。この場合はチェックを外してください。

[出力方法]ボタン

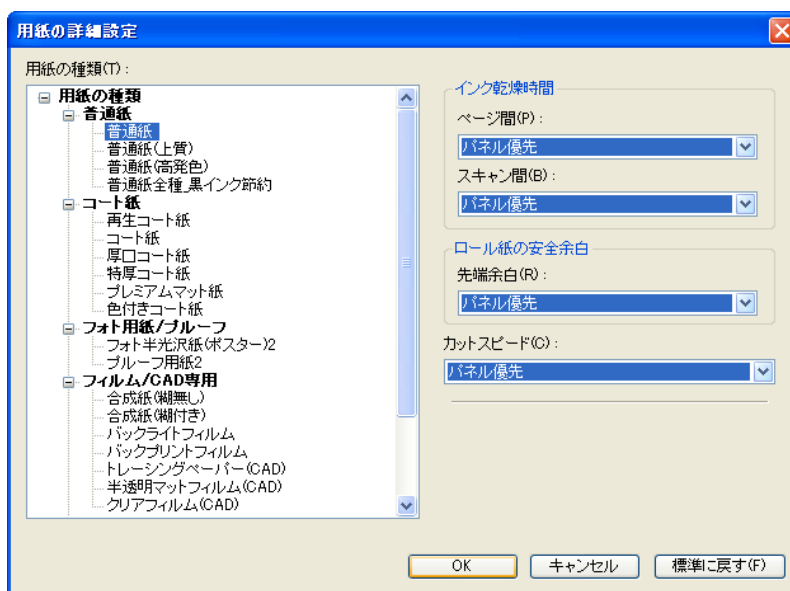
ボタンをクリックすると、[出力方法]ダイアログボックスが表示され、HDI ドライバの出力方法の設定を行うことができます。
出力方法の設定について詳しくは、「出力方法ダイアログボックス」を参照してください。→P.356

[色の互換性]ボタン

ボタンをクリックすると、[色の互換性]ダイアログボックスが表示され、[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した時の色味を設定することができます。
色の互換性の設定について詳しくは、「色の互換性ダイアログボックス」を参照してください。→P.356

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[カスタムプロパティ]ダイアログボックスの[用紙の種類]の[設定]ボタンをクリックすると表示されます。
インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた設定を行うことができます。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスの設定は一時的なもので、印刷が終了すると、本体の操作パネルの設定に戻ります。

[インク乾燥時間]

[ページ間]
インク乾燥のため、用紙を排紙するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

[スキャン間]
1 ラインを印刷後､次のラインを印刷するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後､すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後､設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *ページ内でにじみが発生したときや､フチなし印刷時に色ムラが発生したときには時間を増やしてください。

[ロール紙の安全余白]

[先端余白]
ロール紙の先端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[3mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	用紙サイズが定型サイズよりも紙送り方向に 17mm 大きく印刷されます。 *カールの強い用紙を使用した場合など､プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

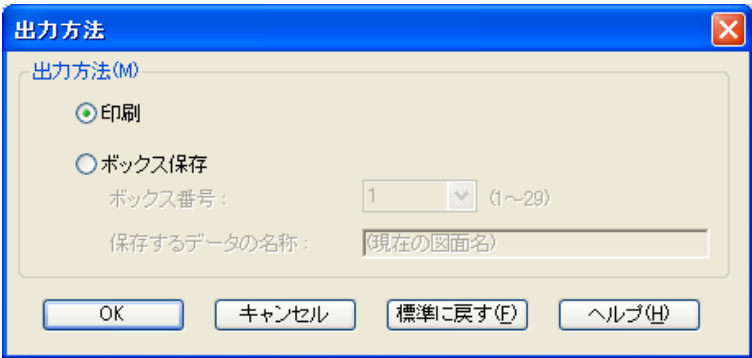
重要
- 余白を小さくすると､印刷画像が乱れたり､用紙によってはプリントヘッドのこすれが発生することがありますのでご注意ください。プリントヘッドがこすれる場合は､プリンタ本体でヘッドの高さを調整する必要があります。

[カットスピード]

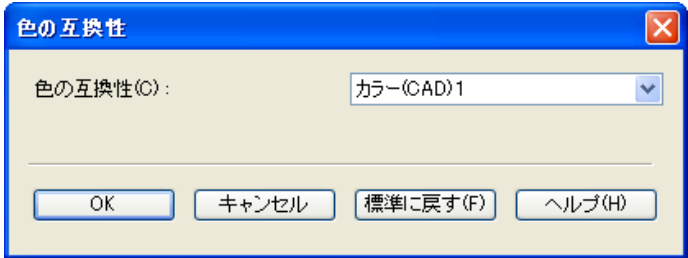
オートカットのスピード設定を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
[低速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。

出力方法ダイアログボックス

[カスタム プロパティ]ダイアログボックスの[基本設定]シートで、[出力方法]ボタンをクリックすると、表示されます。HDI ドライバの出力方法の設定を行うことができます。

設定項目	内容
[印刷]	通常の印刷です。一時保存ボックスに保存しながら印刷します。
[ボックス保存]	印刷を行わず、印刷データを HDD 内のボックスに保存します。 保存先のボックスの番号を指定します。保存するデータの名称が表示されます。

色の互換性ダイアログボックス

[カスタムプロパティ]ダイアログボックスの[基本設定]シートで、[色の互換性]ボタンをクリックすると、表示されます。[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した時の色味を設定することができます。
印刷の[色の互換性]を選択すると、指定した機種に近い色味で印刷することができます。

メモ
- [カラー(CAD)]は[基本設定]シートの[優先画質]で[線画・文字]を選択すると表示されます。

重要
- 指定した機種の色味や画質を完全に一致させるものではありません。

[色の互換性]

カラー設定項目と対応機種は以下のとおりです。

カラー設定	対応機種
[カラー(CAD)1]	標準
[カラー(CAD)2]	[カラー(CAD) 明るめ]
[カラー(CAD)3]	Canon BJ-W3000/W3050 (BJ-W3000/W3050 の日本国内での販売はされておりません。)
[カラー(CAD)4]	HP Designjet 500/800

カラー設定	対応機種
[カラー(CAD)5]	HP Designjet 1000
[カラー(CAD)6]	HP Designjet 4000/4500

印刷を実行する

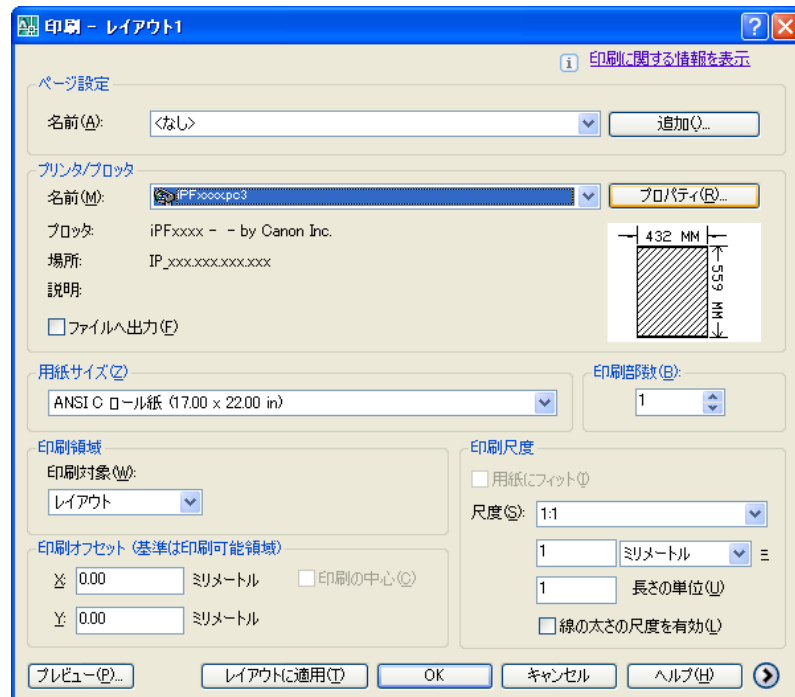
HDI ドライバを使用して印刷するときの操作について説明します。

メモ

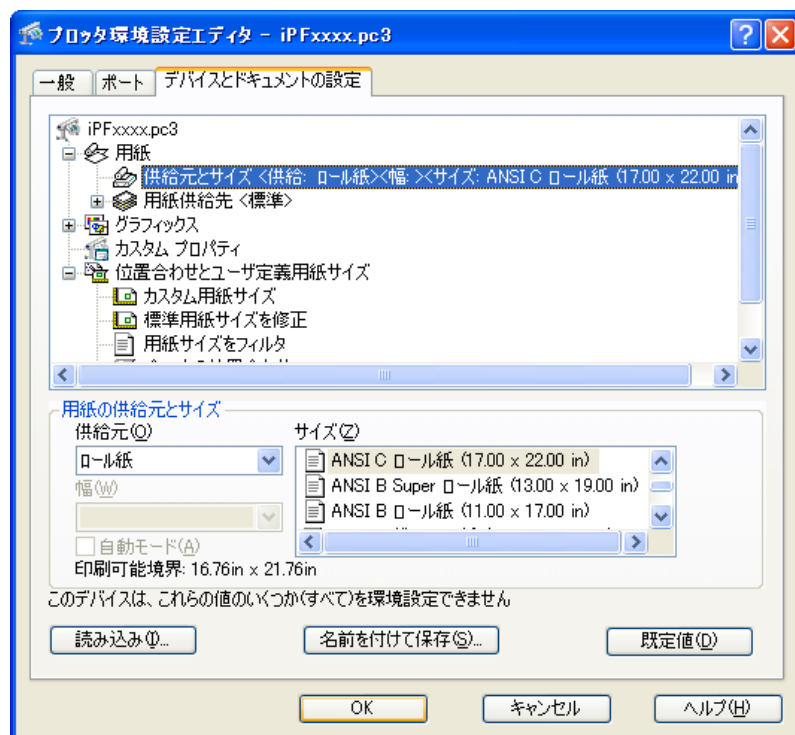
- 以下の説明では、AutoCAD 2007 から印刷する手順を例にあげています。

1. AutoCAD を起動し、画像ファイルを開きます。

2. [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。[印刷]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタ/プロッタ]の[名前]に、[iPFxxxx.pc3]のようなご使用のプリンタ名が表示されていることを確認します。
[プロパティ]ボタンをクリックします。

メモ

- [名前]に他のプリンタ名が選択されている場合は、[名前]のリストから使用するプリンタ名を選択してください。
- [名前]には、HDI ドライバをインストール時に登録したプリンタ名が表示されます。

3. [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスが表示されます。印刷に必要な設定を行います。
[OK]ボタンを押して[プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスを閉じます。

メモ

- [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスの設定方法について詳しくは、「プロッタ環境設定エディタダイアログボックス」を参照してください。 →P.345

4. [印刷]ダイアログボックスが表示されます。
[印刷]ダイアログボックスで必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [プロッタ環境設定エディタ]ダイアログボックスでの設定内容は、[印刷]ダイアログボックスの[用紙サイズ]に反映されます。
- [印刷]ダイアログボックスについて詳しくは、AutoCAD のマニュアルを参照してください。

5. 印刷が開始されます。

メモ

- 出力用紙の総ピクセル数が一定数を超えると、AutoCAD のハングアップを避けるため、解像度を下げるか色数を減らすように警告するダイアログボックスが表示されます。その場合は、[OK]ボタンを押して印刷を中止し、解像度や色数を変更してください。
- 選択した用紙の種類によっては、印刷できない解像度があります。印刷できない解像度が選択されている場合は、解像度を変更するように警告するダイアログボックスが表示されます。その場合は[OK]を押して印刷を中止し、解像度を変更してください。
- 印刷を開始すると、AutoCAD からのメッセージが表示されます。[OK]ボタンを押して印刷を実行してください。このメッセージ表示は、AutoCAD の[ツール]メニューの[オプション]で無効にすることができます。(AutoCAD のマニュアルを参照。)

Status Monitor

imagePROGRAF Status Monitor の特長

imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。
imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタを一覧表示する[プリンタリスト]と、個別のプリンタの詳細を表示する[ステータスモニタ]の二つの画面で構成されています。

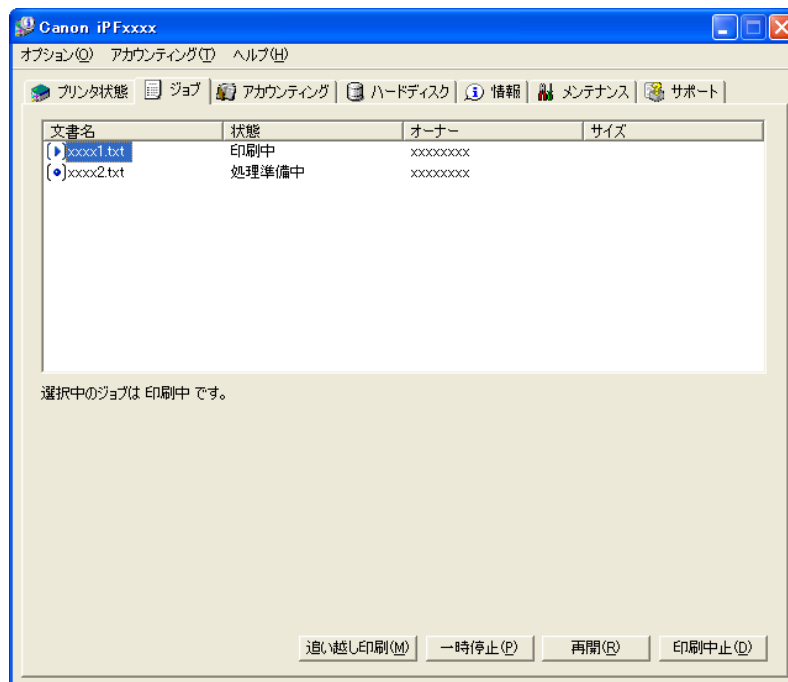
- ご使用のコンピュータにドライバがインストールされているプリンタ、またはコンピュータに接続されているプリンタやネットワーク上で検索されたプリンタの一覧を表示させることができます。
- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。

- プリンタの各色のインクの量を表示します。インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます。
- 各給紙部にセットされている用紙のサイズと種類が表示されます。また、用紙の有無を確認できます。
- プリンタの情報を確認したり、最良の印刷結果を得るためにプリンタのメンテナンスができます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、あらかじめ設定しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。
- ハードディスクの状態とハードディスクに保存されている文書を確認できます。
- アカウンティング機能を使ってプリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べることができます。
  アカウンティング機能について詳しくは、アカウンティングについて →P.363 を参照してください。

メモ

- 詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Status Monitor の[ジョブ]シートでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

追い越し印刷を行う

印刷ジョブを選択して[追い越し印刷]ボタンをクリックすると、選択したジョブをひとつ前のジョブよりも先に印刷します。

印刷を一時停止/再開する

印刷ジョブを選択して[一時停止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。
一時停止中のジョブを選択して[再開]ボタンをクリックすると、印刷処理を再開します。

メモ

- 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

印刷を中止する

印刷ジョブを選択して[印刷中止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

メモ

- 他のユーザの印刷を中止することはできません。

アカウンティング

アカウンティングについて

アカウンティングは、プリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べるための機能です。
アカウンティングを利用すると次のようなメリットがあります。

- ジョブ履歴の収集
  いつ誰がどんなドキュメントをどのプリンタから印刷したのかを確認できます。
- 使用した用紙枚数や金額の集計
  収集したジョブ履歴から、印刷したページ数や用紙枚数、印刷にかかったコストなどを集計できます。
- ジョブの定期取得
  定期的に印刷ジョブを自動収集できます。
- ジョブ情報の書き出し
  収集したジョブ情報を CSV 形式のファイルに書き出すことができます。

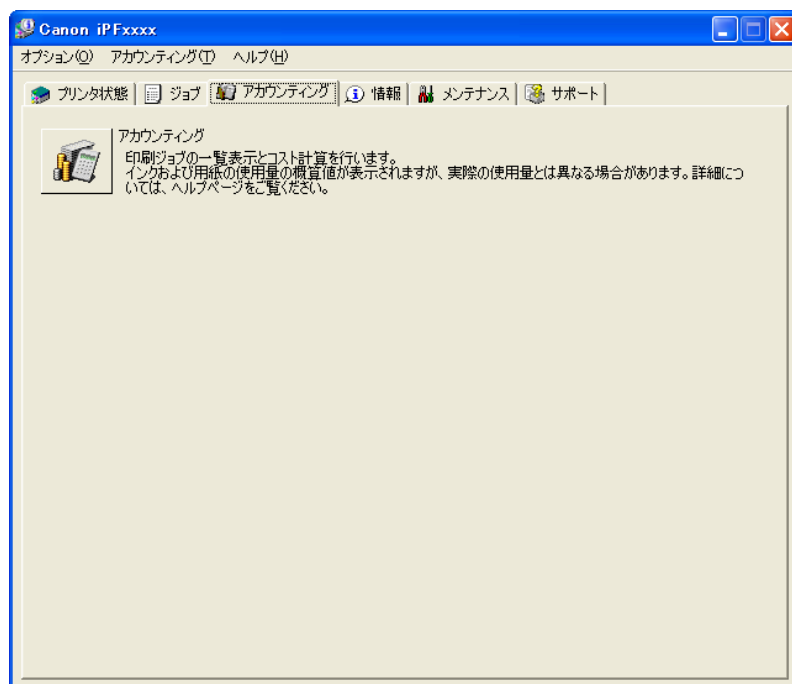
重要

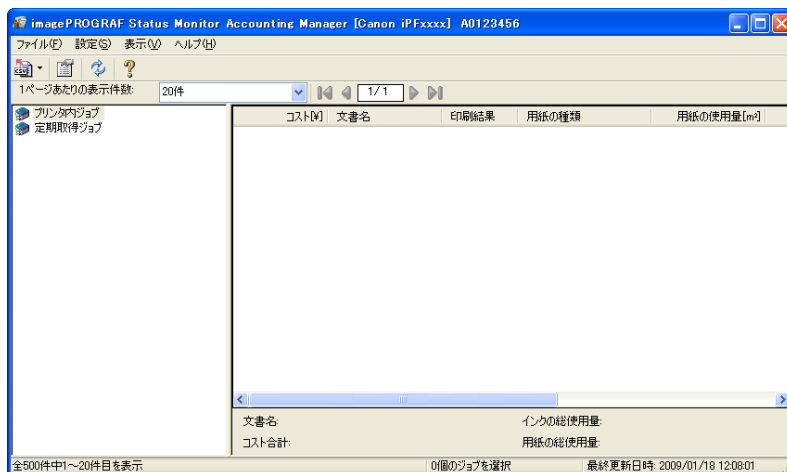
- Status Monitor のアカウンティングでは、ジョブごとに消費されるインクおよび用紙の使用量の概算値が表示されます。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。
- 操作パネルの[設定/調整ﾒﾆｭｰ]→[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]→[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]が[ｵﾌ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、
  - [ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]を[ｵﾌ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。
  - [ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]を再び[ｵﾝ]にしたときには、その時点でプリンタの中にあるジョブがすべて表示されます。

アカウンティングの起動方法

アカウンティングを起動する手順は、以下のとおりです。

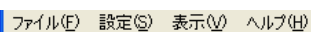
1. imagePROGRAF Status Monitor の画面を開きます。

2. [アカウンティング]メニューから[アカウンティング]を選択します。
または、[アカウンティング]シートを開き、[アカウンティング]ボタンをクリックします。

アカウンティング メインウィンドウ

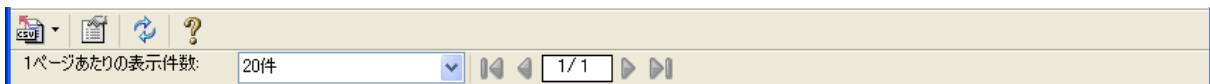
アカウンティングのメインウィンドウは、タイトルバー、メニューバー、ツールバー、表示ジョブの切替エリア、ジョブ一覧エリア、集計エリア、ステータスバーで構成されています。

タイトルバー

プリンタの機種名、使用しているポート名、およびシリアルナンバーが表示されます。

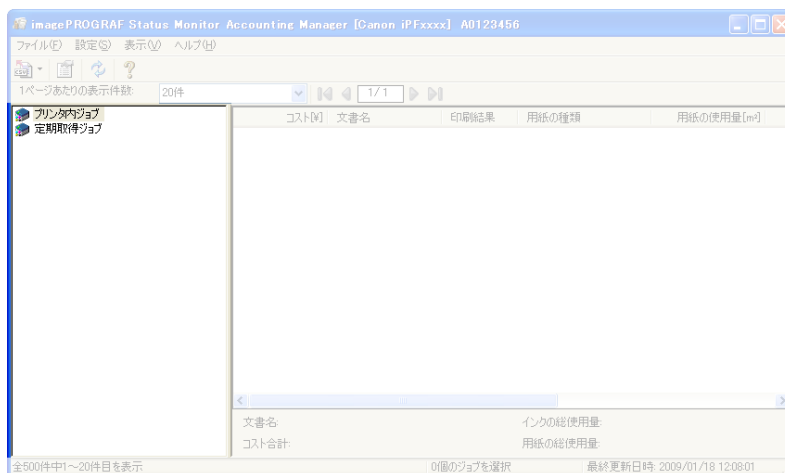
メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

ツールバー

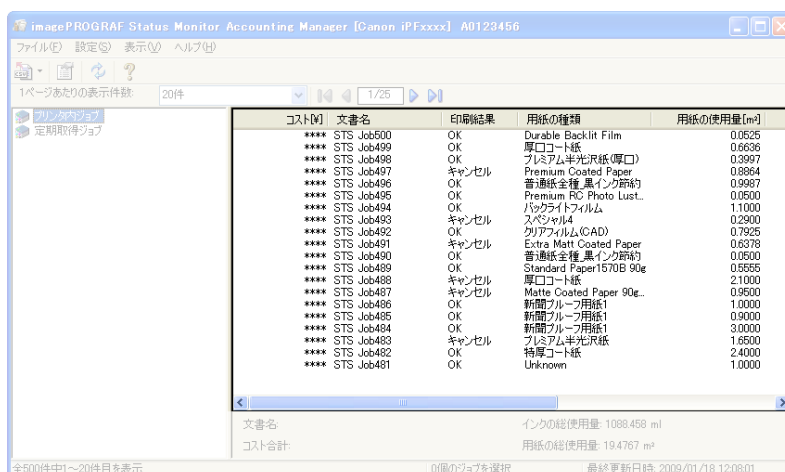
主な操作のツールボタンやプルダウンを選択できます。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

表示ジョブの切り替えエリア

どのジョブ履歴を表示させるかをここで選択して切り替えます。
定期取得を行っている場合は、指定した期間ごとにまとめてジョブ履歴を表示できます。

表示の切り替え方法について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.371 を参照してください。

ジョブリストエリア

取得したジョブの詳細情報が一覧表示されます。
プリンタ内のジョブまたは定期取得したジョブを一覧表示します。用紙とインクの使用量とコスト、用紙の種類や印刷にかかった時間などの情報が表示されます。

メモ

- インクと用紙の単価が設定されていないときには、コスト欄には[****]が表示されます。

集計エリア

選択したジョブのコスト合計、および用紙とインクの使用量が表示されます。

メモ

- 定期取得ジョブを表示している場合は、画面左側で期間を選択すると、その期間のコスト合計、および用紙とインクの使用量が表示されます。

ステータスバー

メッセージなどが表示されます。

アカウンティングの基本的な手順

初めて使用するときは、以下の手順で設定を行います。

1. 用紙やインクなどの単価を設定します。
   単価の設定について詳しくは、アカウンティングの単価を設定する →P.367 を参照してください。

2. 表示させる単位などを設定します。
   単位の設定について詳しくは、アカウンティングの表示と単位の設定をする →P.370 を参照してください。

3. ジョブを定期的に取得する場合は、定期取得の設定を行います。
   定期取得の設定について詳しくは、ジョブ履歴を定期的に自動取得する →P.371 を参照してください。

4. 一覧表示させたいジョブを指定します。
一覧表示の設定について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.371 を参照してください。

これで必要なジョブ履歴と詳細情報が一覧表示されます。

アカウンティングの単価を設定する

[設定]メニューから[単価設定]を選択すると、[単価設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで単価を設定します。

メモ
- ジョブを選択してから[単価設定]ダイアログボックスを開くと、そのジョブで単価がまだ設定されていない項目がフォーカスされた状態で表示されます。

- インクの単価を設定する →P.367
- 用紙の単価を設定する →P.368
- インクと用紙以外の価格を設定する →P.369

インクの単価を設定する

[インク]シートを開きます。このシートでインクの単価を設定します。

すべてのインクを同じ単価にする場合

1. [すべてのインクに同じ単価を使う]チェックボックスを選択します。

2. [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。

3. [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

色ごとにインクの単価を変える場合

1. 設定したいインクの色を選択します。

2. [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。

3. [上書き]ボタンをクリックします。

4. すべてのインクに対して、手順 1〜3 を繰り返します。

5. [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

用紙の単価を設定する

[用紙]シートを開きます。このシートで用紙の単価を設定します。

1. [用紙の種類]で、用紙の種類を選択します。

2. 用紙の[幅]、[長さ]、および、設定した幅×長さに対する面積あたりの[価格]を入力します。

3. [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

4. [OK]ボタンをクリックします。

重要
- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

インクと用紙以外の価格を設定する

[その他]シートを開きます。このシートでインクと用紙以外の価格を自由に設定します。

1. [名称]に任意の名称を入れます。

2. [単価]を入力します。

3. ジョブにかかったコストとして計上するかしないかを、[計上]で選択します。

4. [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

5. [OK]ボタンをクリックします。

メモ

- 最大で 5 件まで設定できます。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

アカウンティングの表示と単位の設定をする

[設定]メニューから[単位と表示の設定]を選択すると、[単位と表示の設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで表示に関する設定をします。

[日付の表示形式]

日付の表示形式を選択します。YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。

[通貨単位]

通貨単位を入れます。3 文字以内で任意に入力します。

[桁区切り記号]

桁区切りに使用する記号を選択します。記号は数字 3 桁ごとに入ります。

[小数点の記号]

小数点として使用する記号を選択します。

[インク量]

インク量の単位を選択します。

[用紙の幅]

用紙の幅方向の長さの単位を選択します。

[用紙の長さ]

用紙の長さの単位を選択します。

[面積の表示形式]

用紙の面積の単位を選択します。

ジョブ履歴を定期的に自動取得する

プリンタからジョブ履歴を定期的に収集し、お使いのコンピュータに保存します。

1. [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。

2. [印刷ジョブのログを定期的に取得する]を選択します。

3. [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 定期取得の設定を行った直後はジョブが表示されません。しばらく待ってから、[表示]メニューで[最新の情報に更新]を選択すると表示されます。
- ジョブ履歴は最大で 10000 件まで保存され、これを超えた場合は古いジョブ履歴から順に削除されます。古いデータを保存する場合は、CSV ファイルに書き出すことをおすすめします。
  ジョブ履歴を CSV ファイルに書き出す方法について詳しくは、ジョブ情報を CSV ファイルに出力する →P.372 を参照してください。

重要

- 操作パネルの[設定/調整ﾒﾆｭｰ]→[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]→[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]が[ｵﾌ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]を[ｵﾌ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。

ジョブ履歴の定期取得を解除する

プリンタからの定期的なジョブ履歴の取得を解除することができます。

1. [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。

2. [印刷ジョブのログを定期的に取得する]のチェックマークをはずします。

3. [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える

アカウンティングで表示するジョブ履歴には、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの二種類があります。
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブは、画面左の表示ジョブの切り替えエリアで指定して表示を切り替えます。

[プリンタ内ジョブ]

現在プリンタ内にあるジョブを一覧表示します。
ツールバーまたは[表示]メニューの[1 ページあたりの表示件数]で、1 ページに表示する件数を変えることができます。
ツールバーまたは[表示]メニューの[移動]で表示するページを移動する事ができます。

メモ

- ハードディスクを搭載するプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 500 件まで表示できます。
- ハードディスクを搭載しないプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 32 件まで表示できます。ただし、プリンタの電源をオフにすると、表示できるジョブは 10 件になります。

[定期取得ジョブ]

定期的に取得したジョブを一覧表示します。
ある一定の期間ごとにまとめてジョブを表示する場合は、ツールバーまたは[表示]メニューの[期間]および[集計開始日]（または[集計開始曜日]、[集計開始月]）で期間を指定します。
例えば、毎月 1 日から 1 か月分の単位でジョブ履歴を表示するときは、[期間]を[1 ヶ月ごと]に、[集計開始日]を[1]に設定します。

メモ

- 定期取得ジョブはプリンタ 1 台あたり最大 10000 件まで表示されます。

ジョブ情報を CSV ファイルに出力する

[ファイル]メニューから[コスト情報の書き出し]を選択すると、収集したジョブの情報を CSV ファイルに出力することができます。

メモ

- [コスト情報の書き出し]は、ツールバーのアイコンから選択することもできます。

[選択しているジョブ]

ジョブ一覧の中で選択されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

メモ

- Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数のジョブを選択することができます。

[リストに表示されているジョブ]

現在リストに表示されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

ジョブのプロパティを表示する

ジョブ一覧中のジョブを選択し、[ファイル]メニューから[ジョブのプロパティを表示]を選択すると、[ジョブのプロパティ]ダイアログが表示され、コストの詳細情報などを確認できます。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

メモ

- ジョブを選択して右クリックし、[ジョブのプロパティを表示]を選択して表示させることもできます。また、ツールバーのアイコンから表示させることもできます。
- 複数のジョブを選択してから[ジョブのプロパティ]ダイアログを開くと、その合計のコストが表示されます。

設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする

[単価情報の表示]

[ファイル]メニューから[単価情報の表示]を選択すると、[単価情報]ダイアログボックスが表示されます。設定されているインクや用紙などの単価が一覧表示されます。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

[単価情報の保存]

[ファイル]メニューの[単価情報の保存]で保存先を選択します。設定されているインクや用紙などの単価情報をファイルに保存します。

[単価情報の読み込み]

[ファイル]メニューの[単価情報の読み込み]で単価情報のファイルを選択すると、単価情報を読み込みます。

インクと用紙の総使用量を表示する

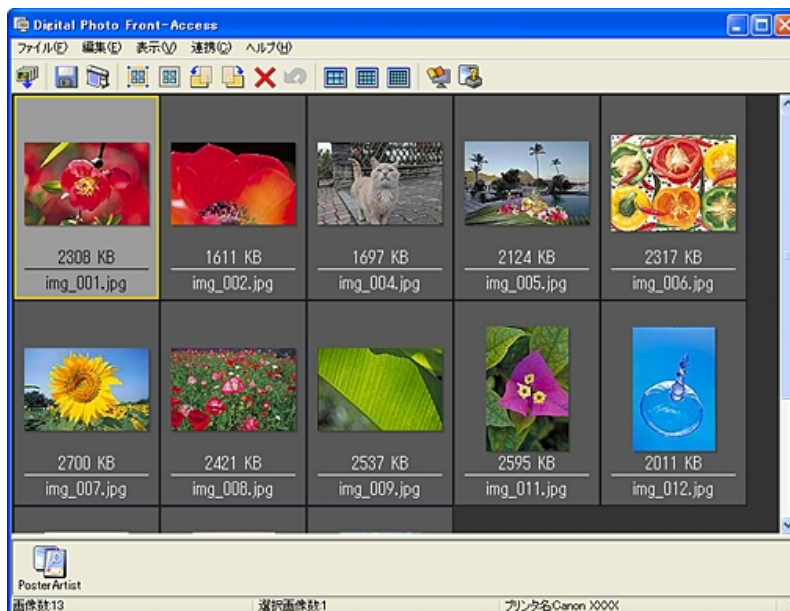
[ファイル]メニューから[インクと用紙の使用量を表示]を選択すると、[インクと用紙の使用量を表示]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタが今までに使用したインクと用紙の総量を一覧表示します。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

メモ

- 用紙は、使用量の多い順に 7 種類まで表示されます。それ以外の用紙は、合計使用量が[その他]として表示されます。

Digital Photo Front-Access

Digital Photo Front-Access

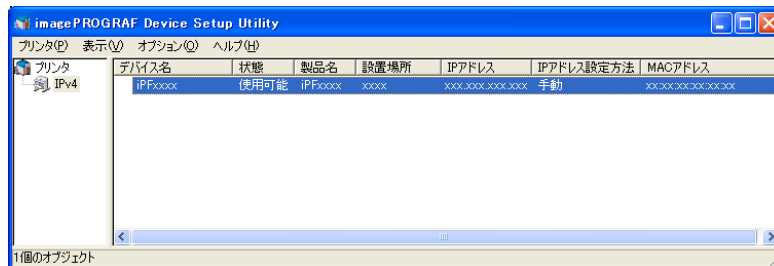
Digital Photo Front-Access は、キヤノン製デジタルカメラで撮影した写真など、コンピュータに取り込んだ画像と各種アプリケーションを簡単に連携させることができるアプリケーションソフトです。

- 画像を選択して、起動したいアプリケーションソフトのアイコンをクリックするだけで、簡単にアプリケーションを起動することができます。
- Digital Photo Front-Access から印刷することもでき、Digital Photo Front-Access を中心に、編集から印刷まで各種アプリケーションを有効に活用することができます。
- Digital Photo Front-Access には、画像補正機能もあります。補正したい画像を選択し、画像補正を選択すると、自動的に画像が補正されます。
- すべての画像を自動で補正してから表示させることもできるので、補正の手間もかかりません。

メモ

- 詳細については、Digital Photo Front-Access のヘルプを参照してください。

Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility は、ご使用のコンピュータとプリンタが通信できるように設定するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタを新規に導入した場合などは、最初に imagePROGRAF Device Setup Utility を使用してネットワーク設定を行います。

- imagePROGRAF Device Setup Utility を起動すると、ネットワーク上のプリンタを検索して一覧表示します。この中から設定したいプリンタ(MAC アドレス)を選択し、ご使用のコンピュータからプリンタの IP アドレスやネットワークのフレームタイプなどの基本的な設定を行います。
- 使用するコンピュータとプリンタが正しく通信できる状態にあるかどうかは、プリンタリストの一覧で確認できます。

メモ

- imagePROGRAF Device Setup Utility による設定作業は、ネットワーク管理者またはプリンタ管理者が行ってください。
- 詳細については、imagePROGRAF Device Setup Utility のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする

imagePROGRAF Device Setup Utility は、プリンタに付属の User Software CD-ROM から、以下の手順でインストールします。

重要

- Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 の場合は、[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。

1. User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
2. [Setup Menu]ウィンドウで、[ソフトウェア個別インストール]をクリックします。
3. imagePROGRAF Device Setup Utility の[インストール]をクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する

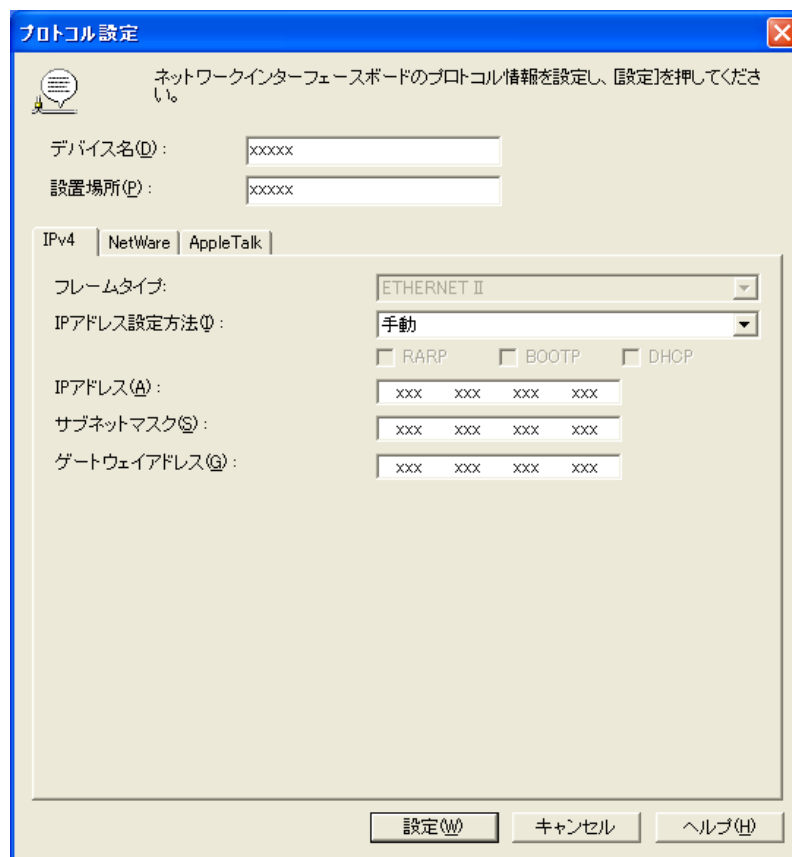
Windows のコンピュータをご使用の場合は、プリンタに付属のユーティリティソフト imagePROGRAF Device Setup Utility でプリンタの IP アドレスを設定できます。ここでは、imagePROGRAF Device Setup Utility を使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。

重要

- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.375

1. [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2. 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。

3. [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4. [IP アドレス設定方法]の一覧から[手動]を選択します。

5. プリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[設定]をクリックします。

6. [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

7. imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

メモ

- IP アドレスを自動で設定する場合は、[IP アドレス設定方法]の一覧から[自動]を選択し、[DHCP]、[BOOTP]、[RARP]のうち、使用する項目のチェックボックスをオンにします。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定できます。

Media Configuration Tool

Media Configuration Tool の特長

Media Configuration Tool の主な特長は以下のとおりです。

- プリンタがサポートするメディア(用紙の種類)が追加されたときに、その用紙情報ファイル(.amf ファイル、.med ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順の変更や用紙名称の変更などを行うことができます。

重要
- User Software CD-ROM の[プリンタドライバのインストール]でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらにメディア情報を追加したり、編集したい方はこのソフトウェアをお使いください。

Media Configuration Tool が適用されるドライバ

- imagePROGRAF プリンタドライバ
- imagePROGRAF HDI ドライバ

動作環境

Media Configuration Tool は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF プリンタドライバ

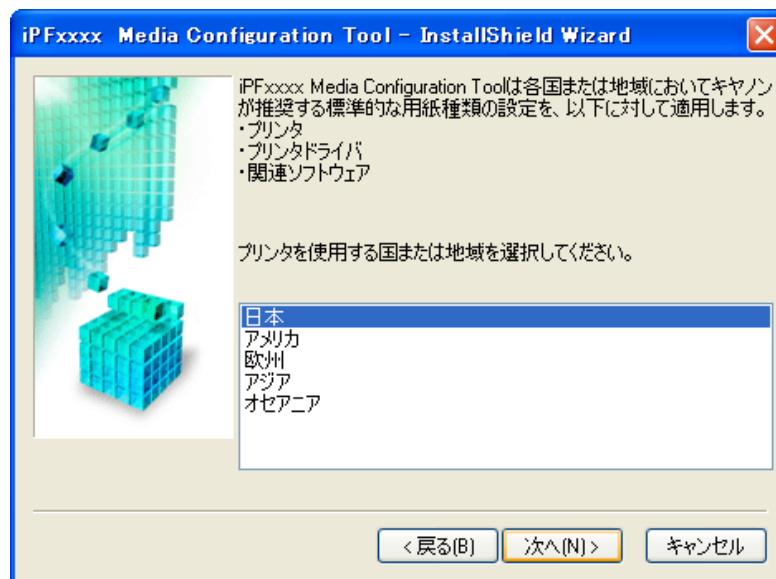
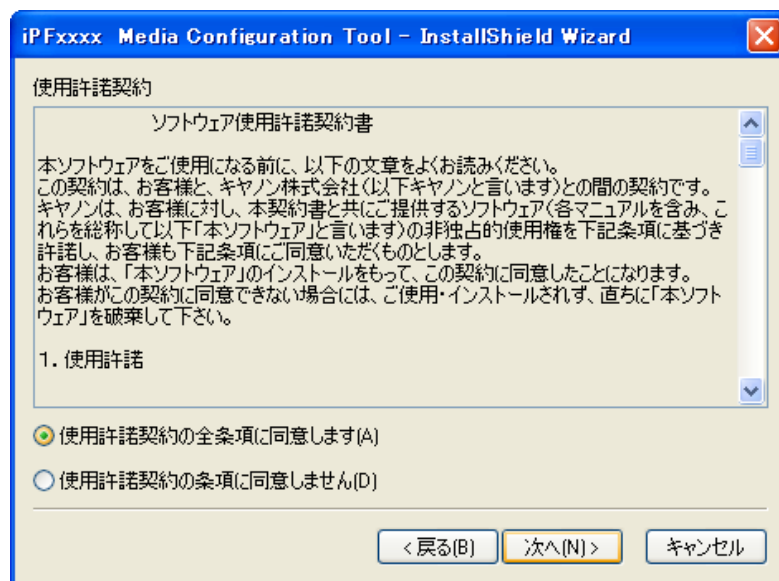
インストール手順

新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動すると、Media Configuration Tool のインストール画面が表示されます。この画面からインストールする手順は、以下のようになります。

重要

- User Software CD-ROM の［プリンタドライバのインストール］でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。
- Windows にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

1. Media Configuration Tool のインストーラを起動します。
［次へ］ボタンをクリックします。

2. プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

3. [使用許諾契約]が表示されます。
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

4. [インストール先の選択]画面が表示されます。
インストール先を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

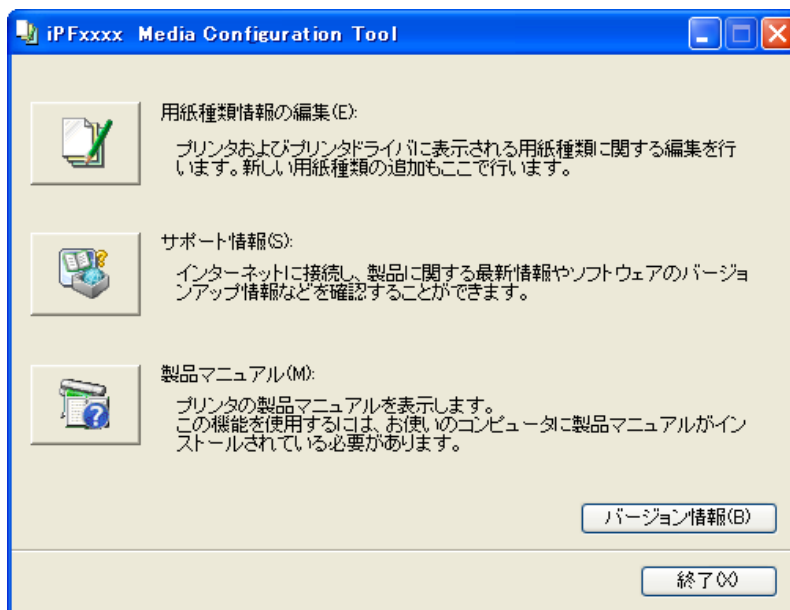
5. [インストール準備の完了]画面が表示されます。
[インストール]ボタンをクリックします。

6. 必要なファイルがお使いのコンピュータにコピーされ、[InstallShield Wizard の完了]画面が表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。

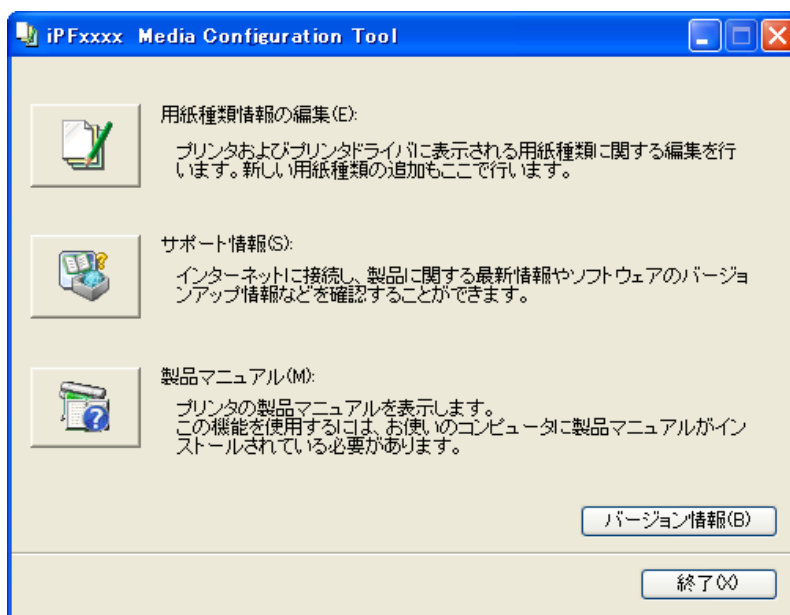
Media Configuration Tool のインストールが完了します。

Media Configuration Tool の起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[スタート]メニューから[プログラム]>[iPFxxxx Media Configuration Tool]>[iPFxxxx Media Configuration Tool]を選択します。

Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「Media Configuration Tool の起動方法」を参照してください。 →P.381

[用紙種類情報の編集]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、用紙の種類を編集することができます。
[用紙種類情報の編集]について詳しくは、「用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.383

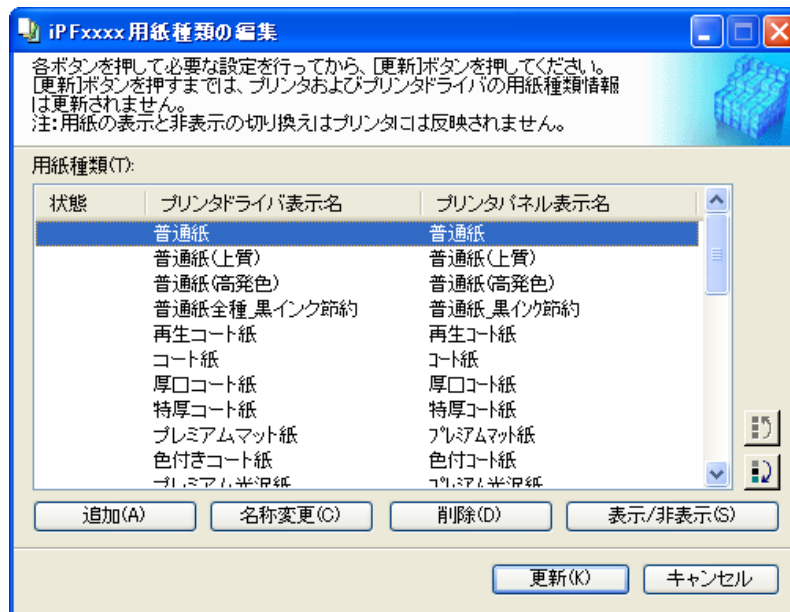
[サポート情報]ボタン

ボタンをクリックすると、インターネットに接続し、製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

[製品マニュアル]ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

用紙種類情報を編集する

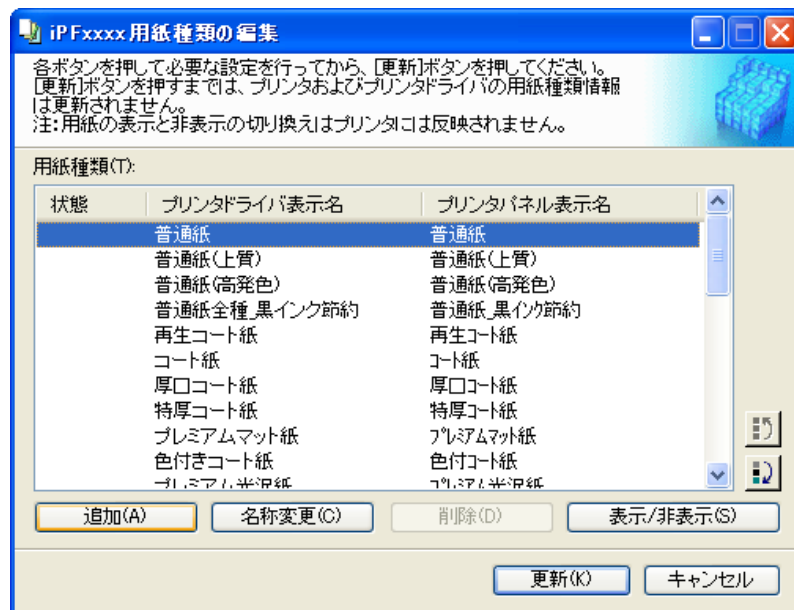
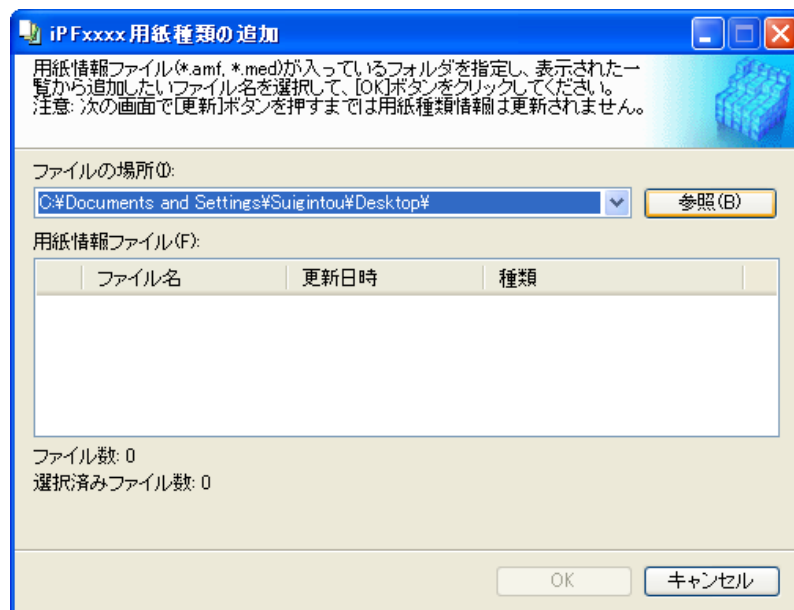
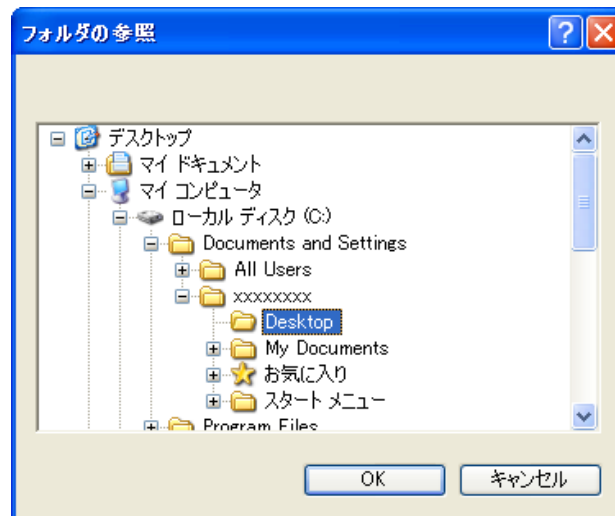
Media Configuration Tool メインウィンドウの[用紙種類情報の編集]ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- 用紙種類の追加 →P.384
- 用紙名称の変更 →P.386
- 追加した用紙種類の削除 →P.388
- 用紙種類の表示/非表示を切り替える →P.390
- 用紙種類の表示順序を変更する →P.391

メモ

- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。

用紙種類の追加

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2. [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3. [フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。
用紙情報ファイル(.amf ファイル、.med ファイル)が含まれるフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4. [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に[フォルダの参照]ダイアログボックスで選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

5. 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.393

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙名称の変更

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3. [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。

4. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.393

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

追加した用紙種類の削除

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.393

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.393

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタドライバに変更が反映されません。用紙の表示と非表示の切り替えはプリンタには反映されません。

用紙種類の表示順序を変更する

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.393

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙の種類を更新する

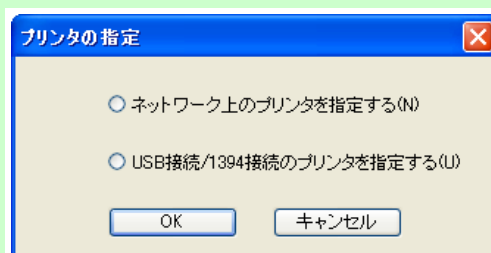
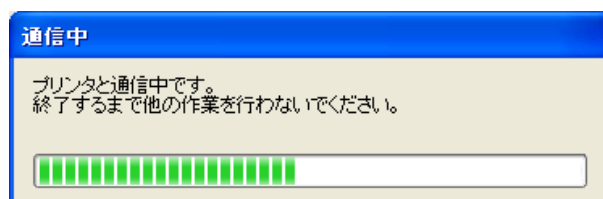
[用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックすると、[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。このウィザードでは、お使いのプリンタとプリンタドライバの用紙情報を新しい情報に置き換えることができます。
[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順は、以下のようになります。

重要

- ここでの手順は、更新された Media Configuration Tool もしくは、更新対象の用紙情報ファイルが入手されていることを前提としています。

1. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが自動的に表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- プリンタドライバがインストールされていない場合は、以下のようなダイアログボックスが表示されます。更新対象のプリンタの接続方法を選択します。

2. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

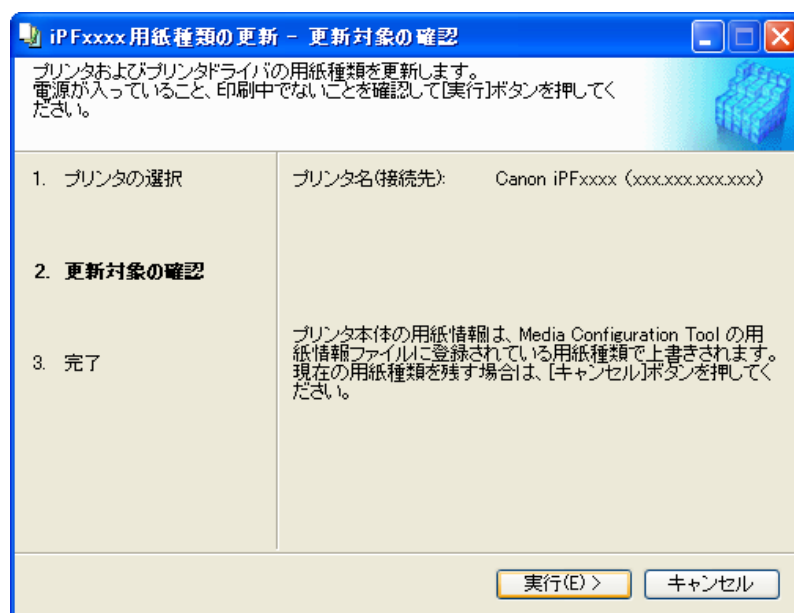
- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

3. プリンタとの通信が終了すると、画面表示が、[用紙種類の更新 - 更新対象の確認]ダイアログボックスに切り替わります。プリンタから取得した情報を確認します。
確認した内容で更新する場合には、[実行]ボタンをクリックします。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

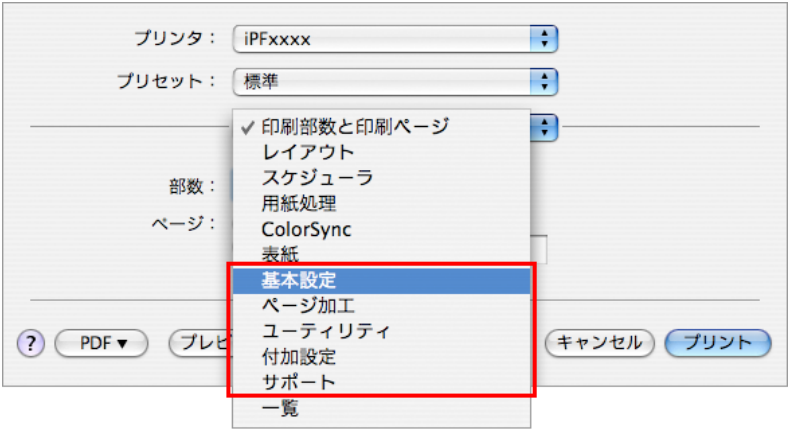
5. 正常に用紙情報ファイルが更新されると、画面表示が[用紙種類の更新 - 完了]ダイアログボックスに切り替わります。[完了]ボタンをクリックして、[用紙種類の更新]ウィザードを閉じます。

Mac OS X ソフトウエア

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目

Mac OS X 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.403

Mac OS X 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定パネル →P.404
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.408
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.409
  - 色設定パネル(カラー) →P.412
  - 色設定パネル(モノクロ) →P.414
- ページ加工パネル →P.416
  給紙方法、印刷する用紙サイズ、原稿の拡大/縮小率、フチなし印刷、印刷の向きについて設定できます。
- ユーティリティパネル →P.418

プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。

- 付加設定パネル →P.419
  プリンタへの印刷ジョブの送信方法について設定できます。
- サポートパネル →P.420
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

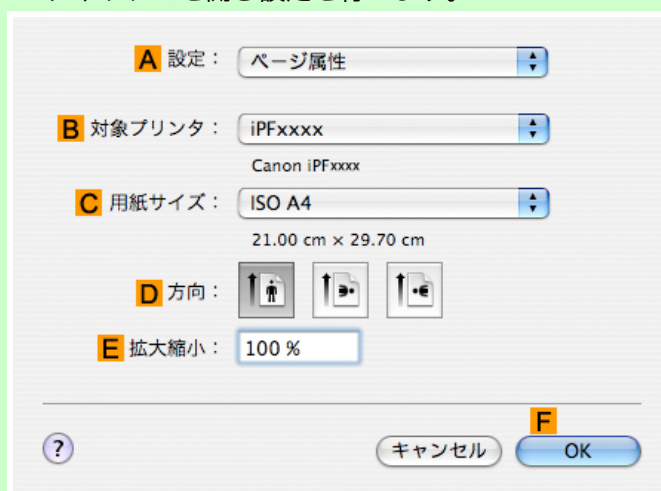
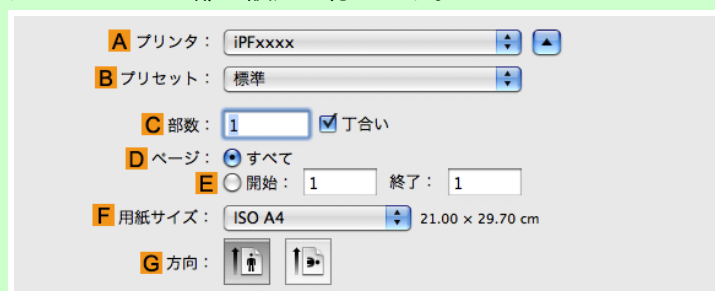
[imagePROGRAF Free Layout]という機能で、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。詳細は、Free Layout →P.448 を参照してください。
[imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷前にレイアウトを確認したりプレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。詳細は、Preview →P.421 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]という機能で、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.479 を参照してください。

プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

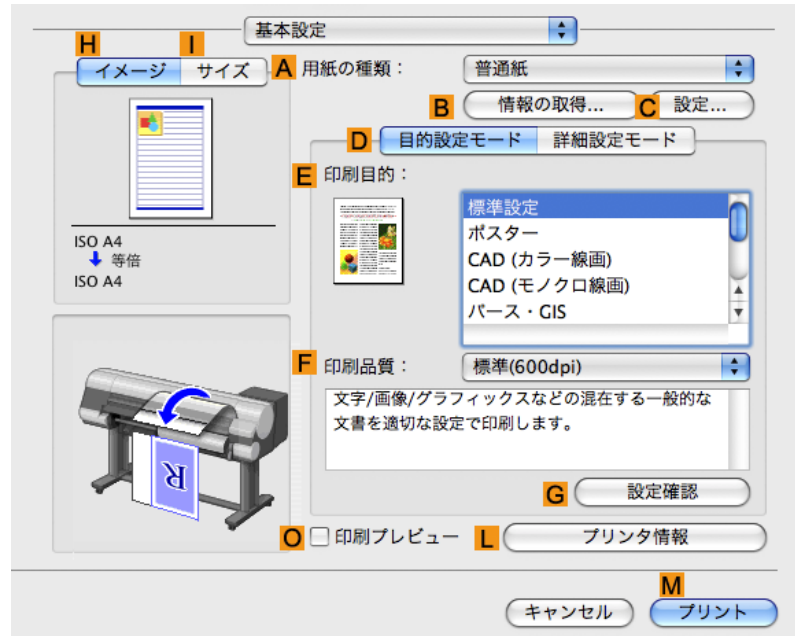
1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

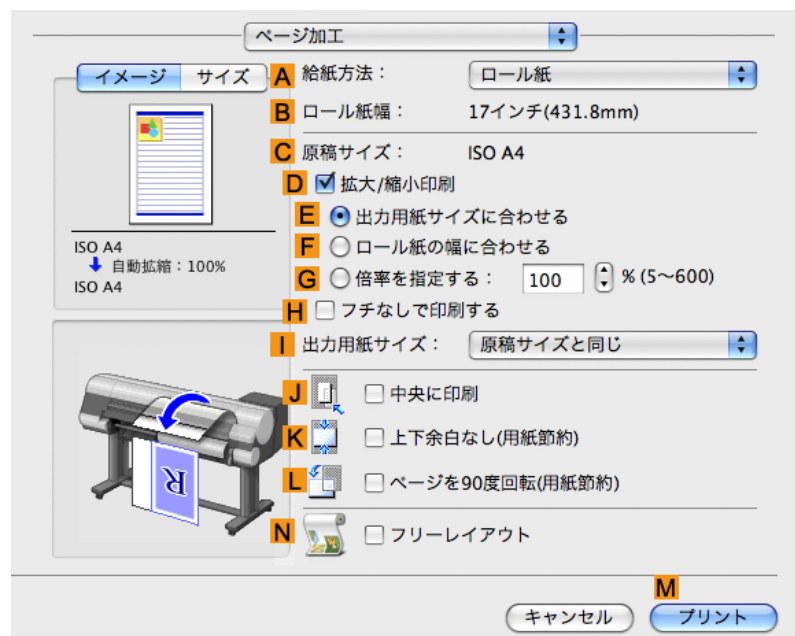
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

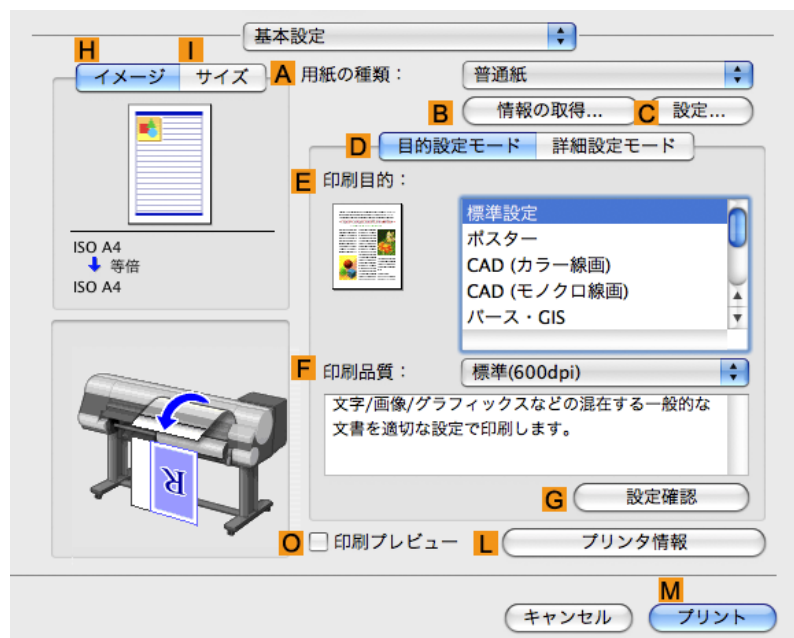
5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7. [ページ加工]パネルを表示します。

8. A[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

9. A[給紙方法]で[カット紙]を選択した場合は、C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で選択したサイズが表示されていることを確認します。A[給紙方法]でロール紙を選択した場合は、B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

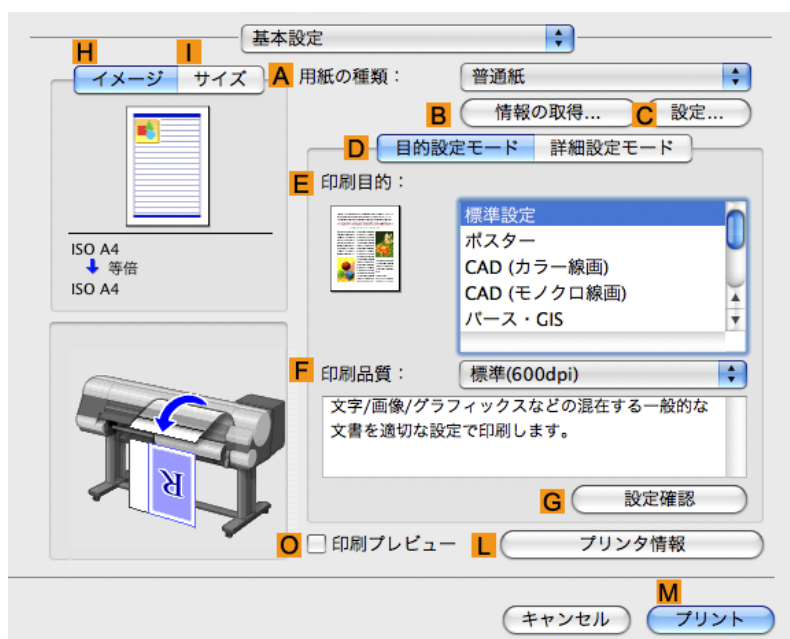
メモ

- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.397」を参照してください。

印刷の設定を確認する

設定した印刷条件を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する
- 印刷プレビューで確認する

設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]パネル、[ページ加工]パネル、[ユーティリティ]パネル、[付加設定]パネルの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法など、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
H[イメージ]タブをクリックして表示されるパネル	上部には、原稿のサイズ、用紙のサイズ、印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。その下には、原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
I[サイズ]タブをクリックして表示されるパネル	用紙サイズの詳細が数値で表示されます。
プリンタと用紙のイラストのパネル	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]パネルで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

印刷プレビューで確認する

原稿の印刷イメージそのものを確認できます。
印刷する前に印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。
印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.171 」を参照してください。

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

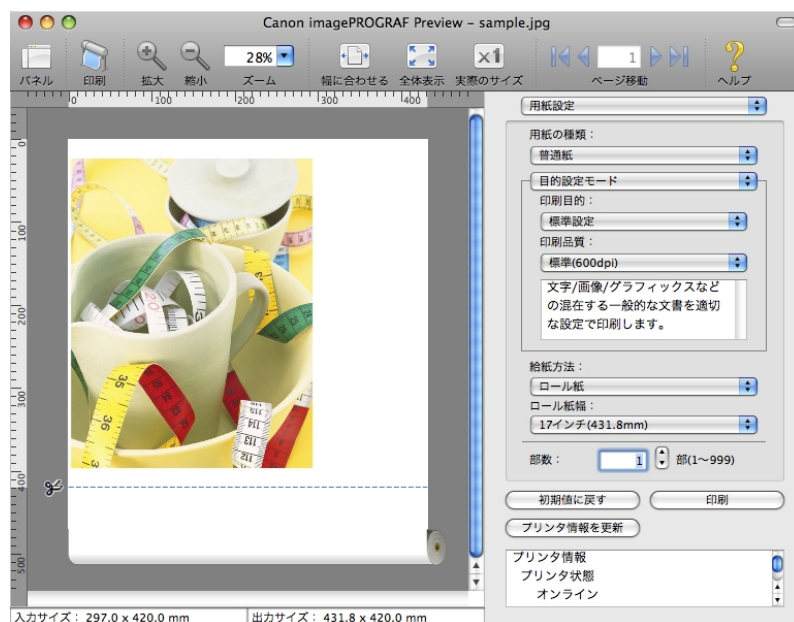
ここでは、[Canon imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷する前にレイアウトを確認する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [基本設定]パネルを表示します。

3. O[印刷プレビュー]チェックボックスをオンにします。

4. M[プリント]をクリックします。

5. [Canon imagePROGRAF Preview]のウィンドウが開きます。

6. [Canon imagePROGRAF Preview]のウィンドウで、レイアウトの確認や設定の変更を行います。

7. [Canon imagePROGRAF Preview]のメニューから印刷します。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]機能についての詳細は、Preview →P.421 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

Mac OS X では、[プリセット]機能を使用してお気に入りの設定で印刷できます。

メモ

- 印刷ダイアログボックスの[プリセット]の一覧から[別名で保存]をクリックすることで、現在の印刷条件の設定を保存できます。これは OS がサポートする機能です。詳細については、Mac OS のマニュアルを参照してください。

アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

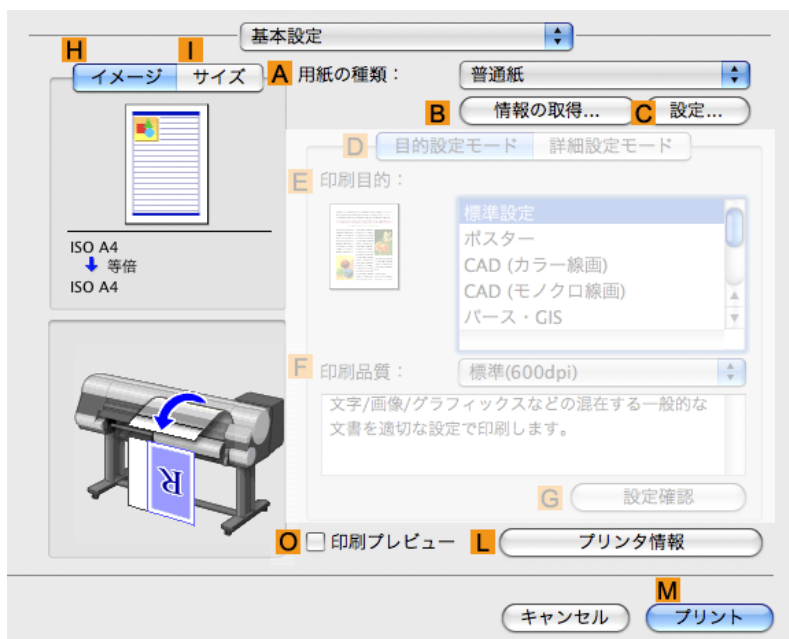
2. [プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. [プリント]をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

基本設定パネル

[基本設定]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]パネルは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

A [用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.570 」参照)

B [情報の取得]

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

- プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.407

C [設定]

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

- 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.408

O [印刷プレビュー]

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

重要

- [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]がオンになっている場合は選択できません。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.171

L[プリンタ情報]

[プリンタ情報]を表示します。インクの残量などのプリンタの情報を表示できます。

[目的設定モード]を選択した場合

E[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

- 写真やイラストを印刷する →P.29
- 線画や文字を印刷する →P.19
- オフィスの文書を印刷する →P.37

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

G[設定確認]

クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、E[印刷目的]の一覧から選択した項目の設定値を確認したり、E[印刷目的]の一覧に表示される項目の順番を変更できます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.409

[詳細設定モード]を選択した場合

E[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

H[カラーモード]

カラーモードを選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53

I[設定]

クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

- プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44

J[片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

Q[細線補正]

オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

P[文字鮮鋭化]

オンにすると、文字を鮮明に印刷します。

K [印刷ムラ低減]

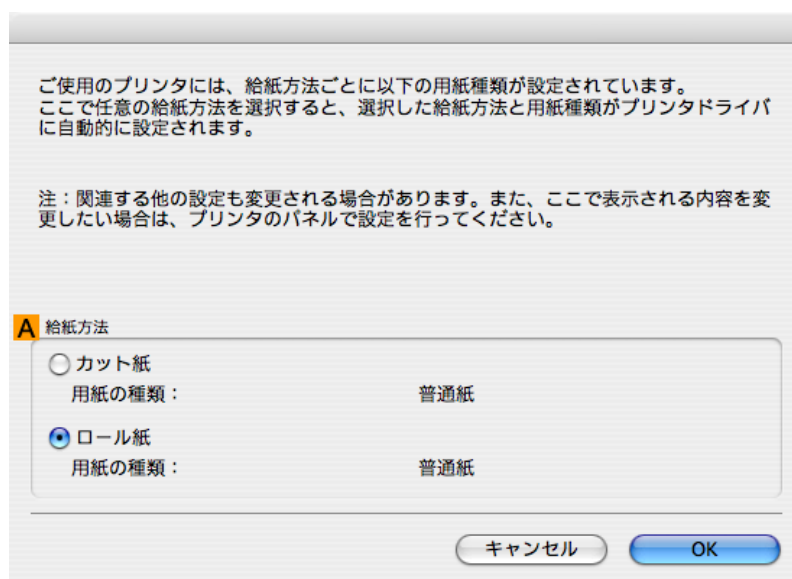
チェックボックスをオンにすると、2 パスで印刷し、印刷ムラを改善できます。
[用紙の種類] で普通紙、[優先画質] で [オフィス文書] を選択すると表示されます

N [エコノミー印刷]

チェックボックスをオンにすると、インクの消費量を抑えて印刷します。ただし、通常の印刷よりも印刷品位は下がります。
図面を確認のために印刷する場合などにインクを節約したいときにオンにしてください。この機能は、[用紙の種類]、[印刷品質] の設定によっては選択できない場合があります。

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

[プリンタの用紙情報] ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの用紙の種類を設定することができます。

メモ

- [プリンタの用紙情報] ダイアログボックスは、[基本設定] パネルで [用紙の種類] の [情報の取得] をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404」参照)

A [給紙方法]

プリンタで使用可能な [給紙方法] とセットされている用紙の種類が表示されます。[給紙方法] を選択して [OK] をクリックすると、プリンタドライバに用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404 」参照)

A[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.570 」参照)

B[インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[インク乾燥時間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

- (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する →P.591 」参照)

C[ページ間]

1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。

D[スキャン間]

ページ内で 1 ラインを印刷してから、次の 1 ラインを印刷するまでの時間を設定できます。

E[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

F[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

G[カットスピード]

オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

H[オートカット]

オートカットの有効/無効やカットラインの印刷を設定できます。一覧からオートカットの[パネル優先]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定します。

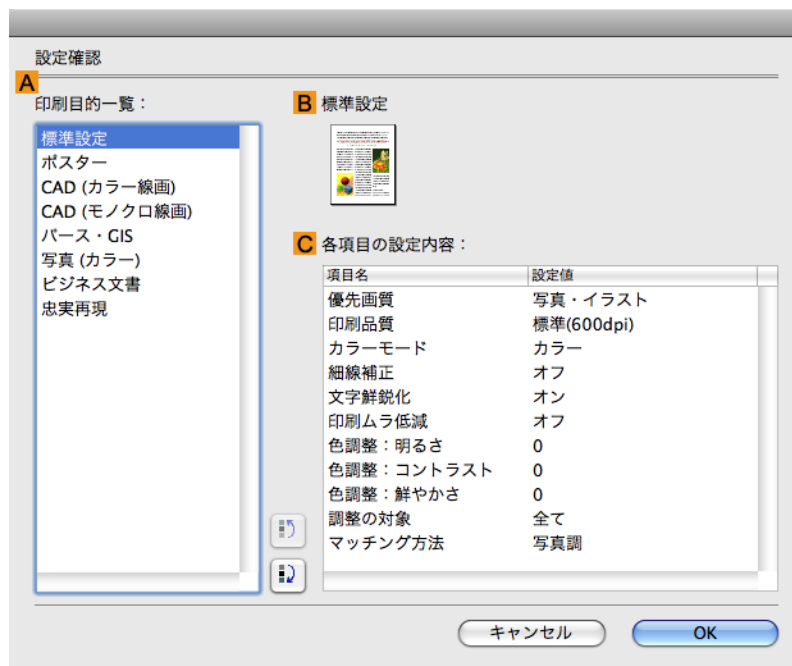
J[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

5

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404」参照)

A[印刷目的一覧]

[印刷目的]のすべての項目が表示されます。

B[名称]

[印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。

C[各項目の設定内容]

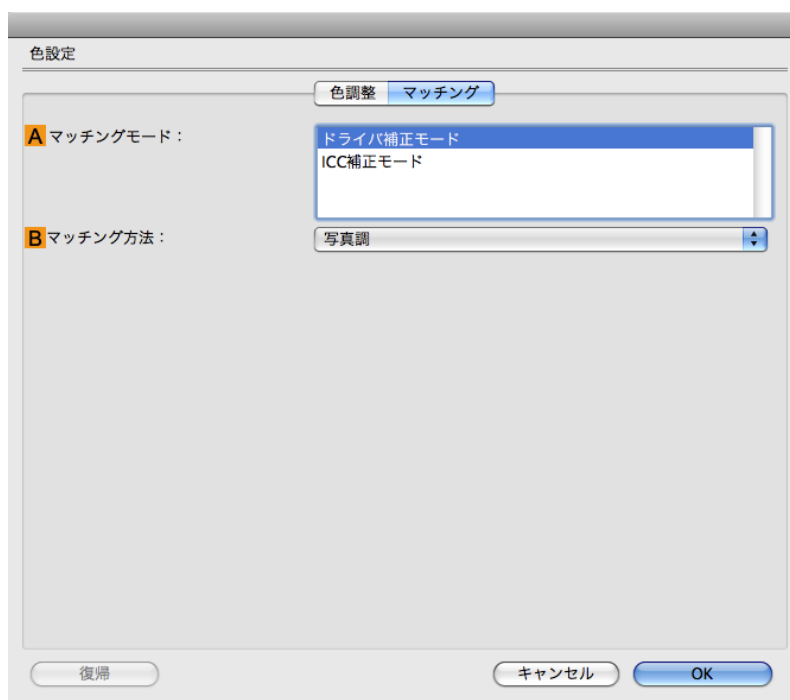
[印刷目的]の一覧から選択した項目の細かな設定値を確認することができます。

マッチングパネル

[マッチング]パネルでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

重要
- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]パネルは表示されません。

メモ
- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404」参照)

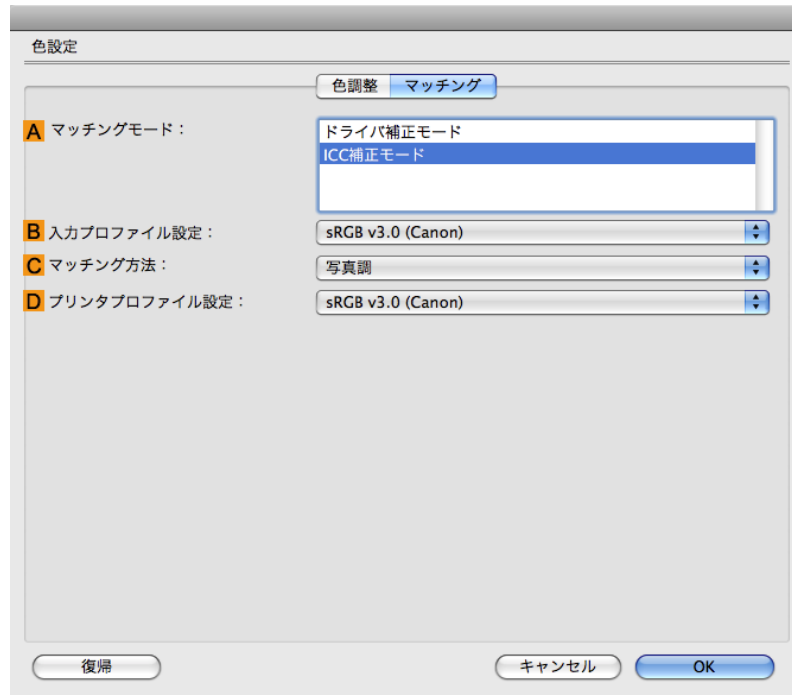
[ドライバ補正モード]

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。

B[マッチング方法]

印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。B[マッチング方法]は、選択した A[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

[ICC 補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404 」参照)

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。

B[入力プロファイル設定]

[入力プロファイル]を選択することができます。
選択されている A[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

C[マッチング方法]

C[マッチング方法]を選択することができます。
選択されている A[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

D[プリンタプロファイル設定]

プリンタのプロファイルを設定することができます。

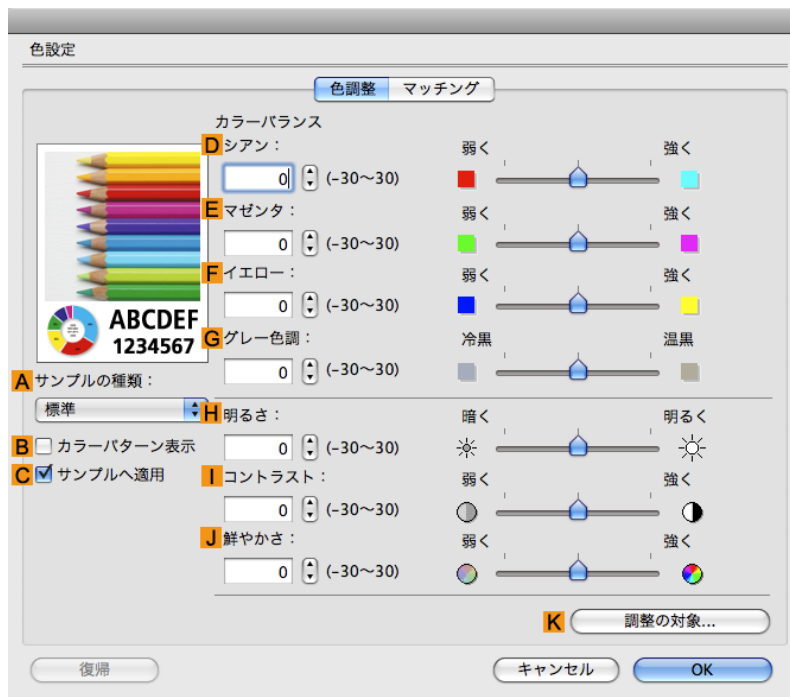
メモ

- 各選択項目の詳細については、プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 を参照してください。

色設定パネル(カラー)

色は、基本的にアプリケーションソフトで調整されます。印刷結果が思いどおりの色調にならない場合は、プリンタドライバでカラーを調整することもできます。

[色調整]パネル(カラー)

[色調整]パネルでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404 」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

G[グレー色調]

グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J[鮮やかさ]

色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44」を参照してください。

K[調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

- 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.413

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A[イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

B[グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

C[テキスト]

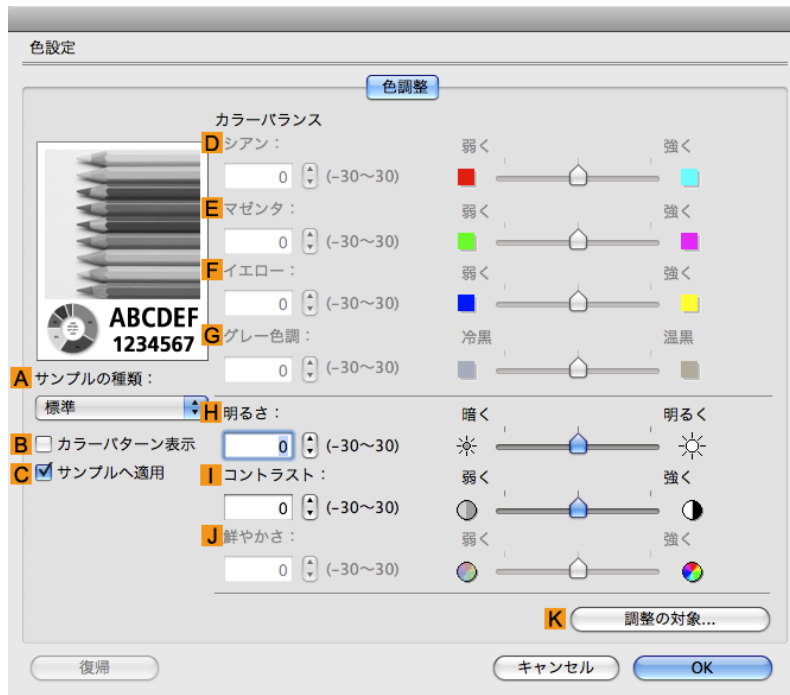
チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

色設定パネル(モノクロ)

モノクロの[色設定]パネルでは以下の項目を設定できます。

[色調整]パネル(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]パネルでは、明るさとコントラストを調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.404」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

設定できません。

G[グレー色調]

設定できません。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。I[コントラスト]を強くするとメリハリが付き I[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J[鮮やかさ]

設定できません。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 」を参照してください。

K[調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。
(Mac OS X 10.3.9-10.6 のみ対応)

- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.415

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A[イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

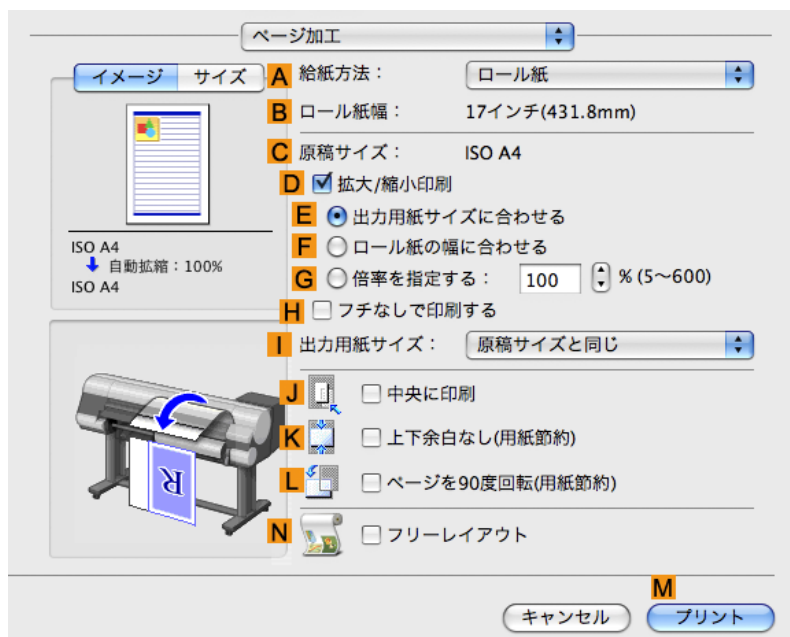
B[グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

C[テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

ページ加工パネル

[ページ加工]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]パネルの A[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

B[ロール紙幅]

プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されます。プリンタがロール紙の幅を認識できない場合は、[不明]と表示されます。

C[原稿サイズ]

アプリケーションソフトのページ設定で設定されている原稿のサイズが表示されます。
アプリケーションソフトで選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.573」を参照してください。

D[拡大/縮小印刷]

チェックボックスをオンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.62
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.68
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.73

E[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

F[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

G [倍率を指定する]

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5〜600]の値を入力できます。

H [フチなしで印刷する]

A [給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。
オンにすると、印刷する用紙のサイズや幅に合わせて、フチなしで印刷できます。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.94
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.101
- 原寸大のフチなしで印刷する →P.87

I [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
[すべての出力用紙サイズを表示]をクリックすると、選択可能な用紙のサイズの一覧が表示されます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.573 」を参照してください。

J [中央に印刷]

チェックボックスをオンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.145
- 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.151

K [上下余白なし(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.162

L [ページを 90 度回転(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿を 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.157

N [フリーレイアウト]

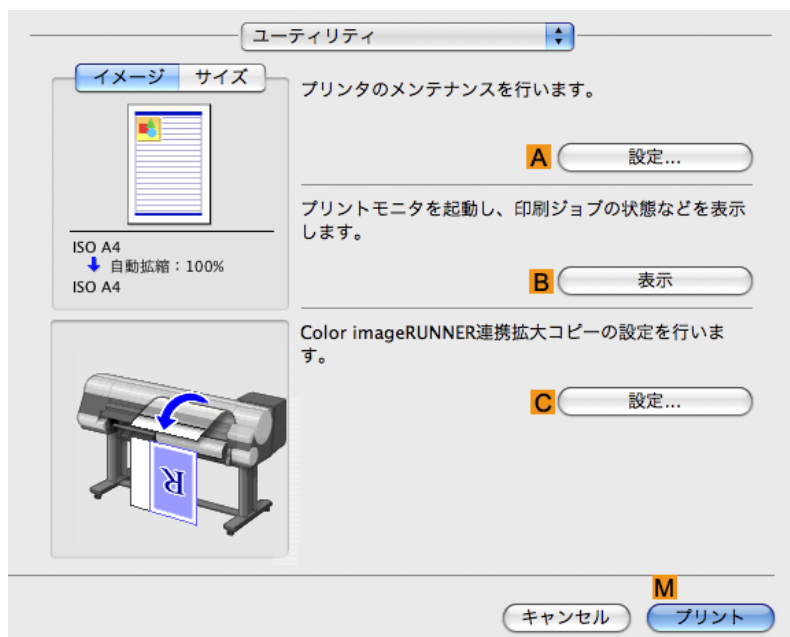
チェックボックスをオンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Free Layout]が起動します。
複数の原稿を並べて印刷することができます。

重要

- [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]がオンになっている場合は選択できません。

- 複数の原稿を並べて印刷する →P.125

ユーティリティパネル

[ユーティリティ]パネルでは、以下の項目を設定できます。

A[設定]

クリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

- ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
- ヘッドの位置の調整
- 用紙の送り量の調整

B[表示]

クリックすると[imagePROGRAF Printmonitor]が起動し、印刷ジョブの状態などを表示できます。

C[設定]

クリックすると、Color imageRUNNER 連携拡大コピー(iR 連携)の設定を行うことができます。
詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.479 を参照してください。

付加設定パネル

[付加設定]パネルでは、以下の項目を設定できます。

A[データ送信方法]

印刷ジョブをプリンタに送信する方法を選択できます。

- B[印刷データをすぐにプリンタに送る]
- C[全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る]

D[ジョブの出力方法]

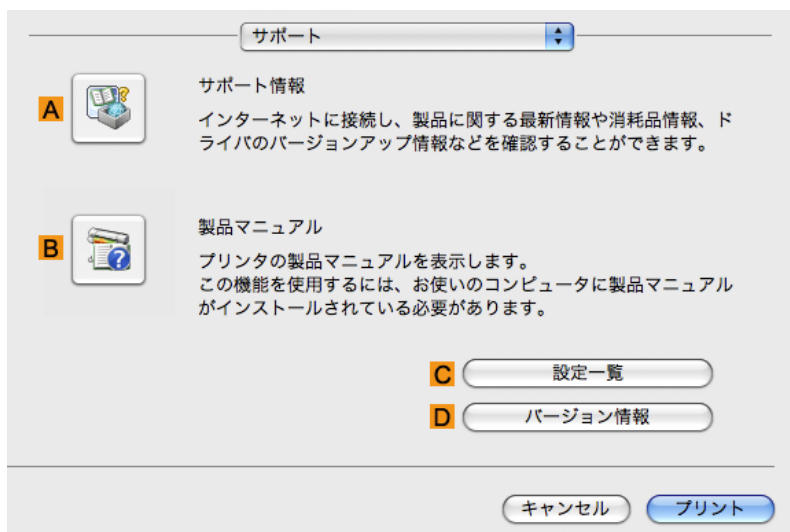
印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存する方法を設定できます。

- E[印刷]
- F[印刷(自動消去)]
- G[ボックス保存]

H[保存完了後に印刷する]

ハードディスクに保存が完了してから印刷します。

サポートパネル

[サポート]パネルでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

A[サポート情報]

クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

B[製品マニュアル]

クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

C[設定一覧]

設定をファイルとして保存することができます。クリックすると[ファイル保存]ダイアログボックスが開き、保存先を指定してファイルを保存します。

D[バージョン情報]

プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。
- 設定を変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Preview は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X（10.3.9〜10.6）
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

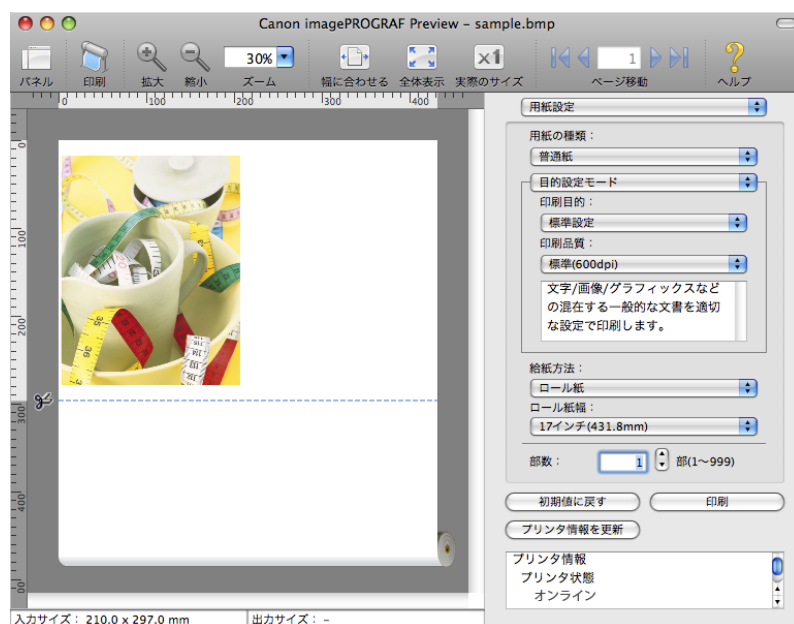
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

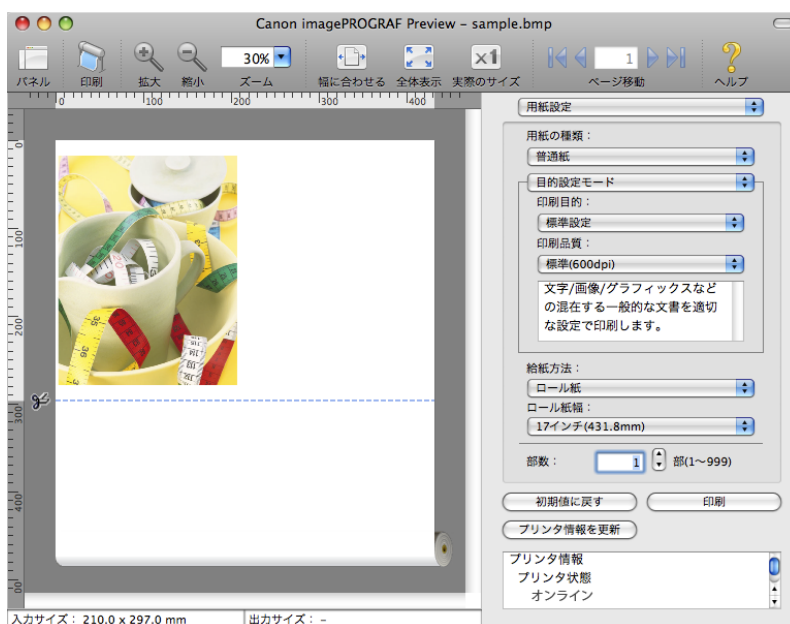
メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

3. [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]をクリックしてチェックマークを付けます。

4. [プリント]ダイアログボックスの[プリント]ボタンをクリックします。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5. Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

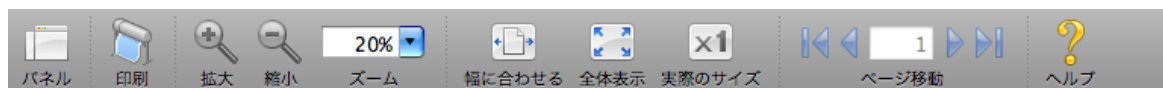
Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、パネルエリア、ステータスエリアで構成されています。

メモ
- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

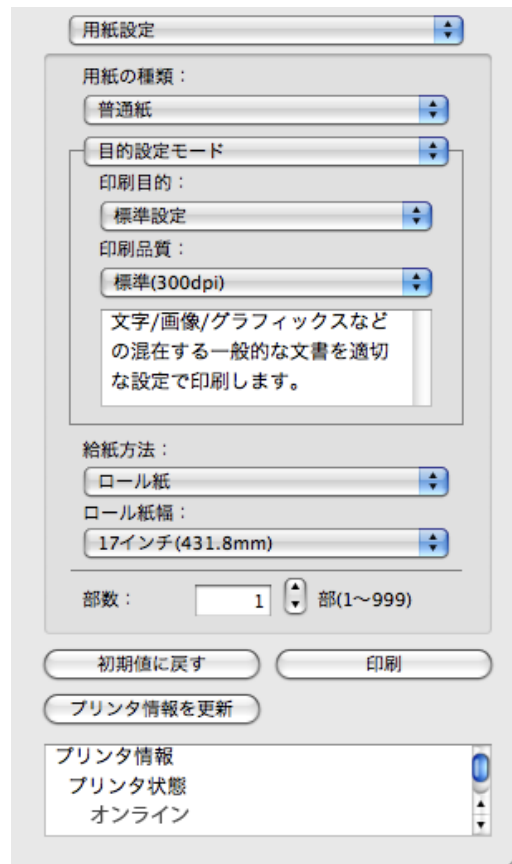
imagePROGRAF Advanced Preview　ファイル　編集　表示　オブジェクト　ウインドウ　ヘルプ

ツールバー

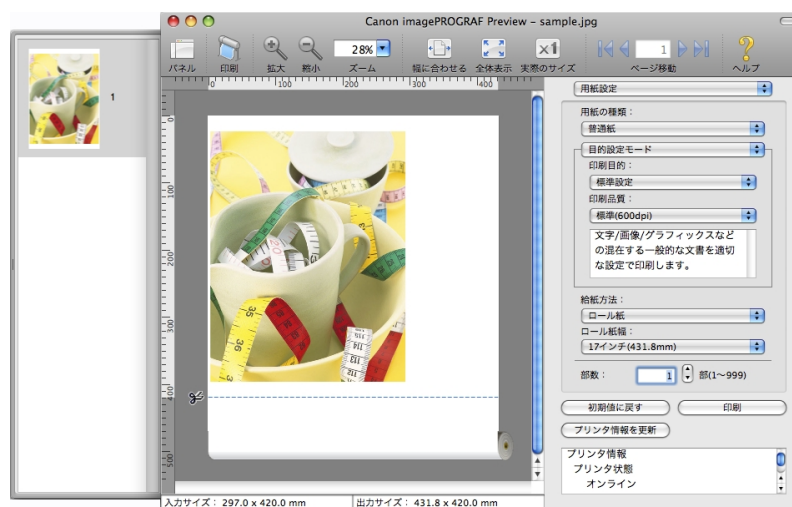
主な操作のツールボタンを選択できます。

プレビューエリア

設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

ダイアログエリア

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。

パネルエリア

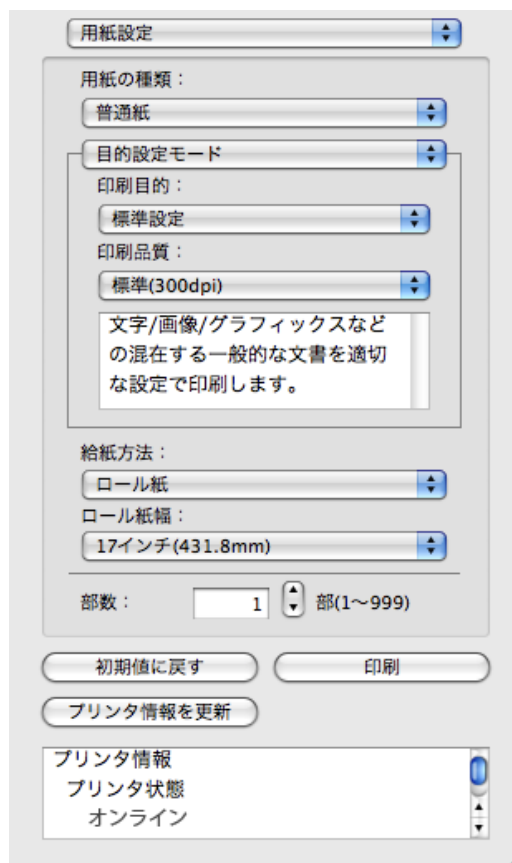
原稿のサムネイルを表示することができます。

ツールバーの [パネル]をクリックすると、表示されます。
または[表示]メニューから[パネル]を選択します。

ステータスエリア

[入力サイズ]と[出力サイズ]が表示されます。

入力サイズ： 420.0 x 594.0 mm　出力サイズ： 609.6 x 594.0 mm

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[目的設定モード]/[詳細設定モード]

最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 目的設定モード →P.428
- 詳細設定モード →P.429

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

[印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[CAD(カラー線画)]	CAD 図面などの細い線をくっきりと印刷します。
[CAD (モノクロ線画)]	CAD 図面を、黒い線でくっきりと印刷します。
[パース･GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ

• 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

印刷品質やカラーモードなどの詳細な設定を自分で行うことできます。

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真・イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。

設定項目	内容
[線画・文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真・イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

出力設定パネル

ダイアログエリアから[出力設定]を選択すると、表示されます。

[拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

[フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。
[フチなしで印刷する]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.442

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- [中央に印刷]が設定されている場合は、選択できません。

[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
- [拡大／縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、選択できません。

[中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。
[中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.442

メモ
- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

[上下余白なし(用紙節約)]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし(用紙節約)]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.443

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(二階調)]	白以外の色をすべて黒で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[色調整]/[マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.434

- マッチング →P.436

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

[マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.438	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.439	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.440	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- Mac OS X 10.5 以降をご使用の場合、[ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

[マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

[入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[プリンタプロファイル]

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- (MacOS X 10.3.9～10.4 をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]または[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。
- (MacOS X 10.5 以降をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[ソフトプルーフ]

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がプレビューエリアに適用されます。

メモ

- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1. [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

ICC 補正モード

5

1. [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

439

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。

設定項目	内容
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3. [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

4. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1. [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2. [ColorSync モード]をプレビューに適用する場合は、[ソフトプルーフ]にチェックマークをつけます。

環境設定ダイアログボックス

[imagePROGRAF Advanced Preview]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Preview の環境設定を行うことができます。

[表示単位]

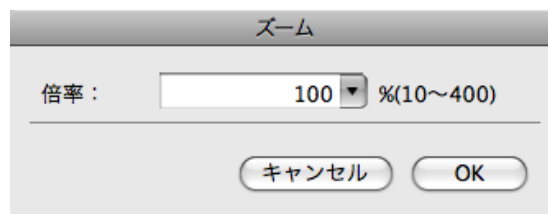
用紙の長さや余白などの単位を選択します。

ズームダイアログボックス

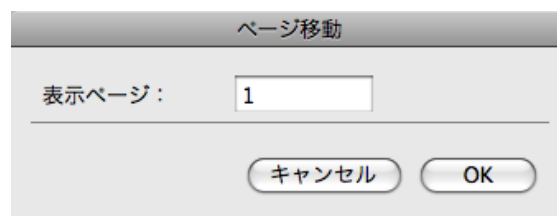
[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大／縮小できます。

[倍率]

画面表示の拡大／縮小倍率を設定します。

メモ

- 入力できる数値は 10～400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

ページ移動ダイアログボックス

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示されます。

メモ

- 原稿が 1 ページしかない場合は、[ページ移動]を選択することができません。

[表示ページ]

プレビューエリアに表示するページを半角数字で入力します。

メモ
• 入力できる数値は、原稿のページ数の範囲です。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

メモ
• 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
• フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1. 用紙設定パネル →P.426 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2. [出力設定]パネルの[拡大／縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

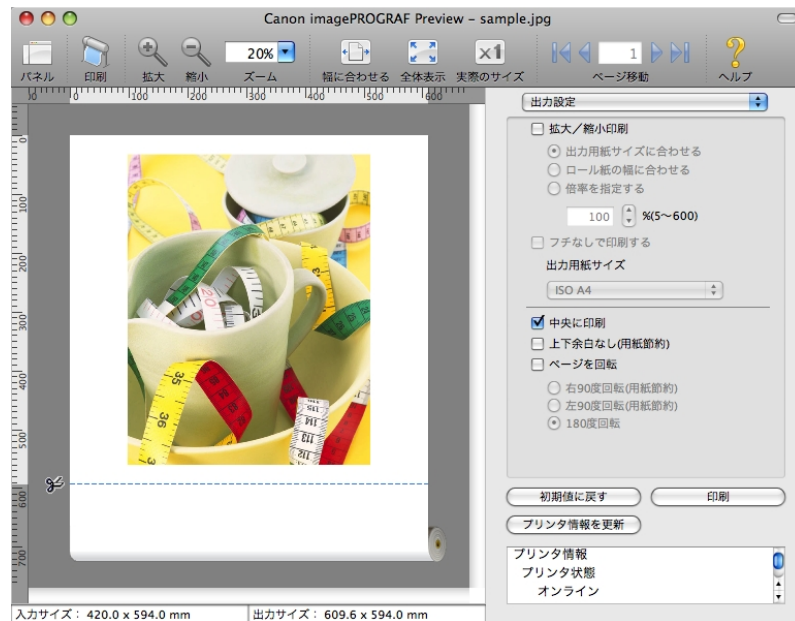
4. [フチなしで印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

5. [印刷]ボタンをクリックします。
   フチなしの設定で印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。

メモ
• [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1. [出力設定]パネルの[中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

用紙の中央に印刷が開始されます。

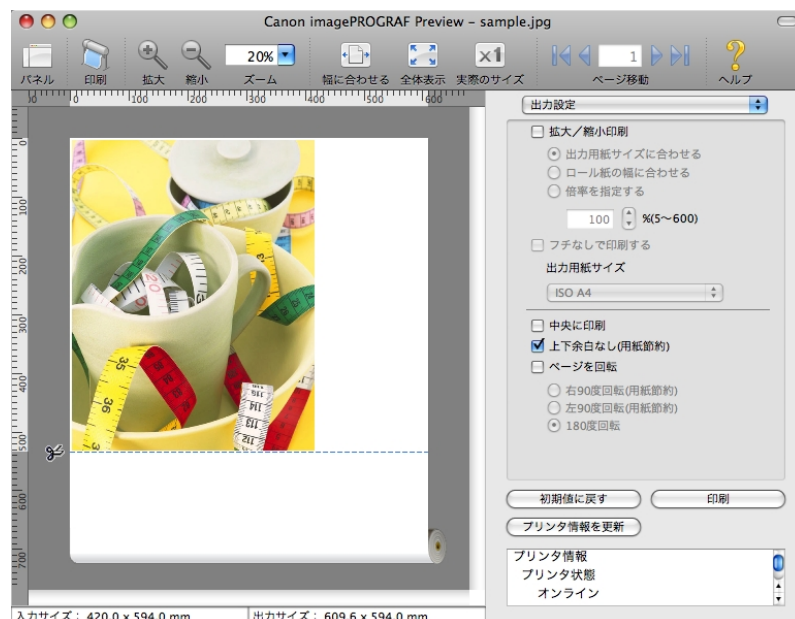
上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

メモ

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1. 用紙設定パネル →P.426 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2. [出力設定]パネルの[上下余白なし(用紙節約)]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [印刷]ボタンをクリックします。
   上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

ページを 90 度回転して印刷する

ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。

1. 用紙設定パネル →P.426 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2. [出力設定]パネルの[ページを回転]をクリックしてチェックマークを付けます。

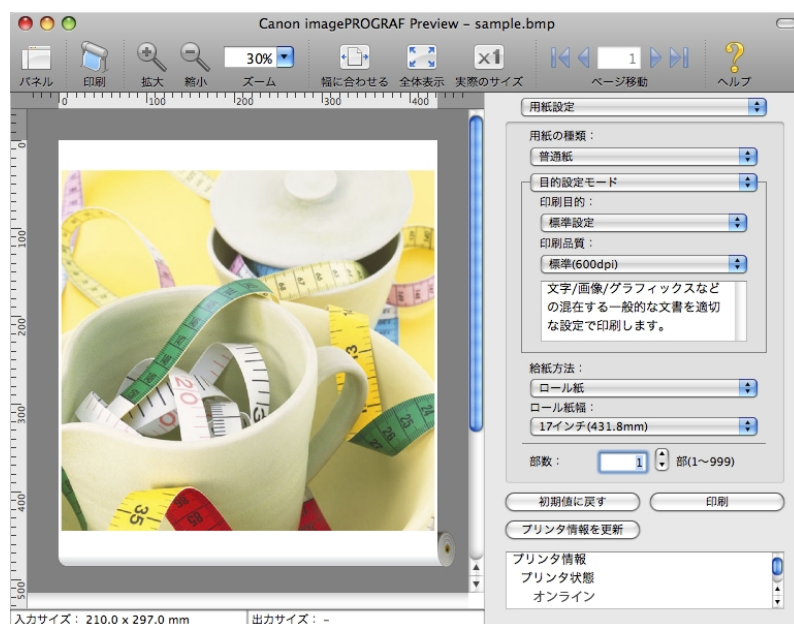
3. [右 90 度回転(用紙節約)]または[左 90 度回転(用紙節約)]を選択します。

4. [印刷]ボタンをクリックします。
   ページを 90 度回転して印刷が開始されます。

用紙の幅に合わせて表示する

プレビューエリアに用紙の幅に合わせて表示することができます。

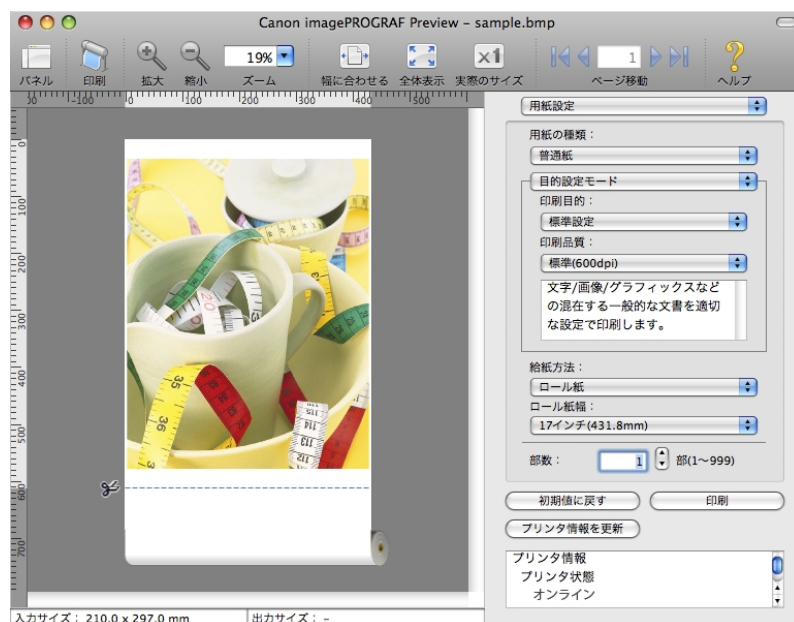
1. ツールバーから [幅に合わせる]を選択します。

2. 用紙の幅に合わせて表示されます。

5

全体を表示する

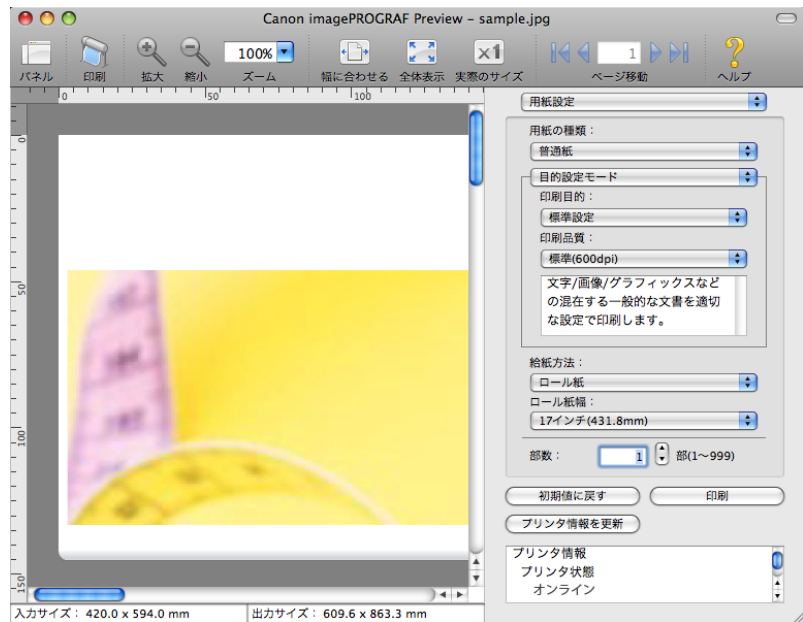
プレビューエリアに全体を表示することができます。

1. ツールバーから [全体表示]を選択します。

2. 全体が表示されます。

実際のサイズで表示する

実際のサイズで表示することができます。

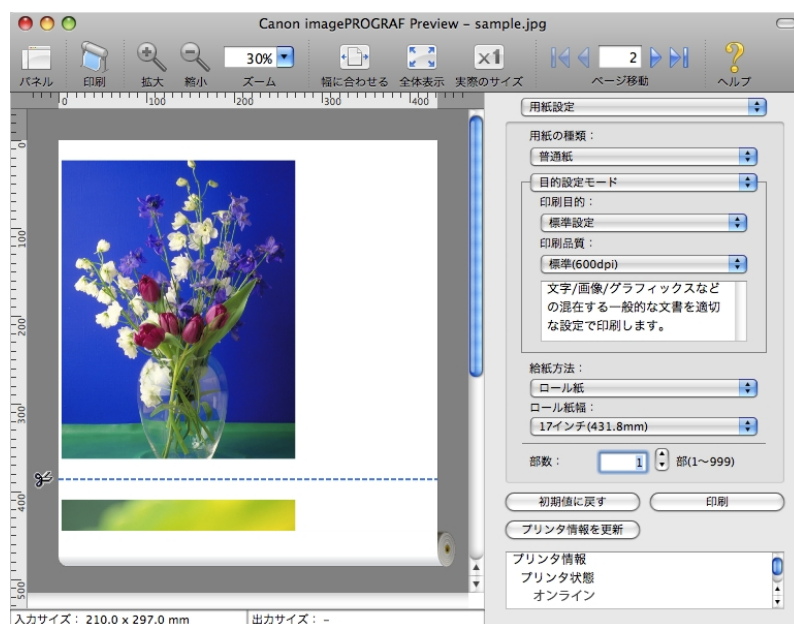
1. ツールバーから x1 [実際のサイズ]を選択します。

2. 実際のサイズで表示されます。

ページを移動する

プレビューエリアに表示するページを移動する事が出来ます。

1. ツールバーの[ページ移動]の各ボタンを選択します。

ボタン	内容
	最初のページに移動します。
	前のページに移動します。
	次のページに移動します。
	最後のページに移動します。

2. 移動先のページが表示されます。

メモ

- サムネイルでページをクリックして、ページを移動することもできます。

Free Layout

Free Layout の特長

Free Layout の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が Free Layout 上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Free Layout は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X（10.3.9～10.6）
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Free Layout の起動方法

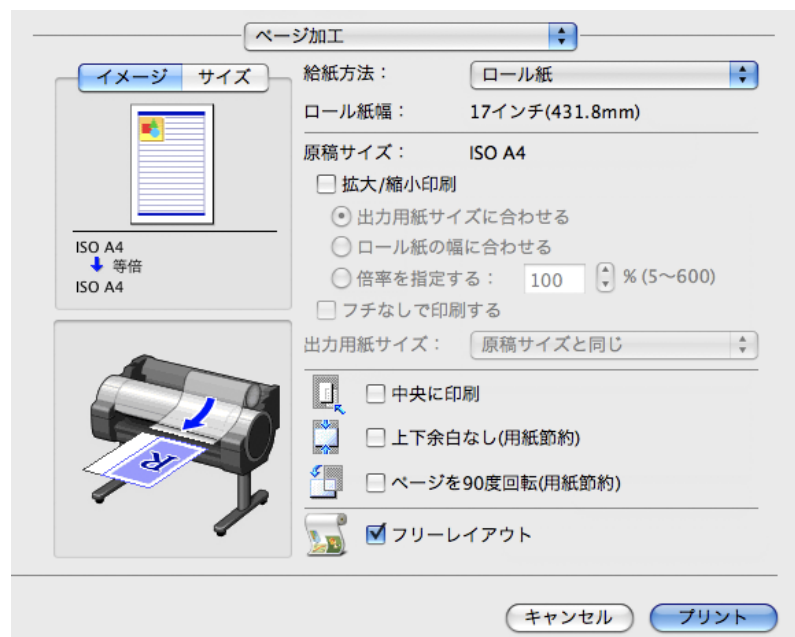
Free Layout を起動する手順は、以下のとおりです。

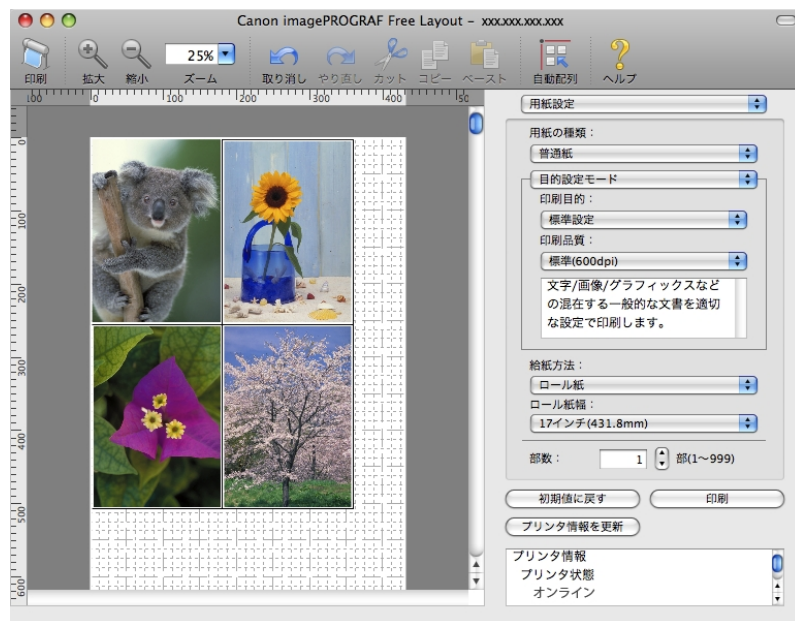
1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

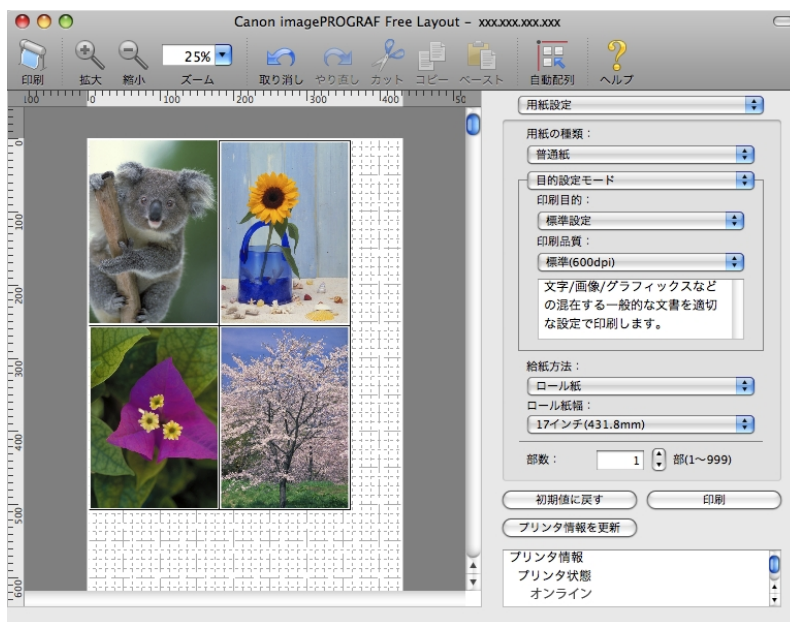
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

3. [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

4. [プリント]ダイアログボックスの[プリント]ボタンをクリックします。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5. Free Layout メインウィンドウが表示されます。

Free Layout メインウィンドウ

Free Layout のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ダイアログエリアで構成されています。

メモ

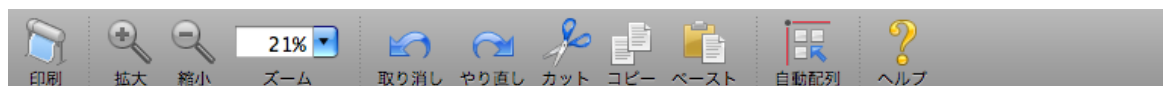
- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

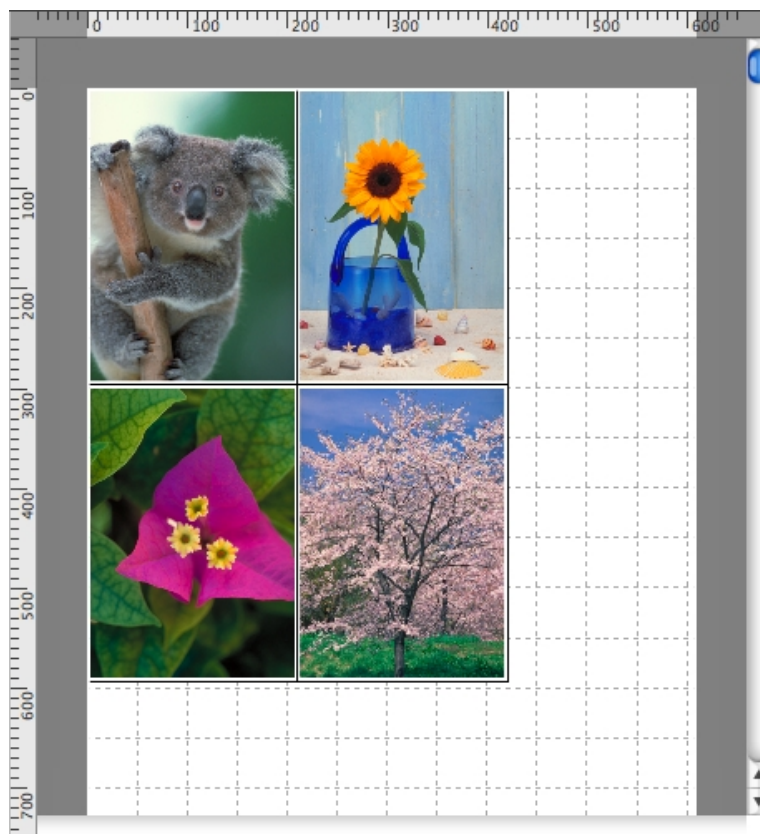
メニューバー

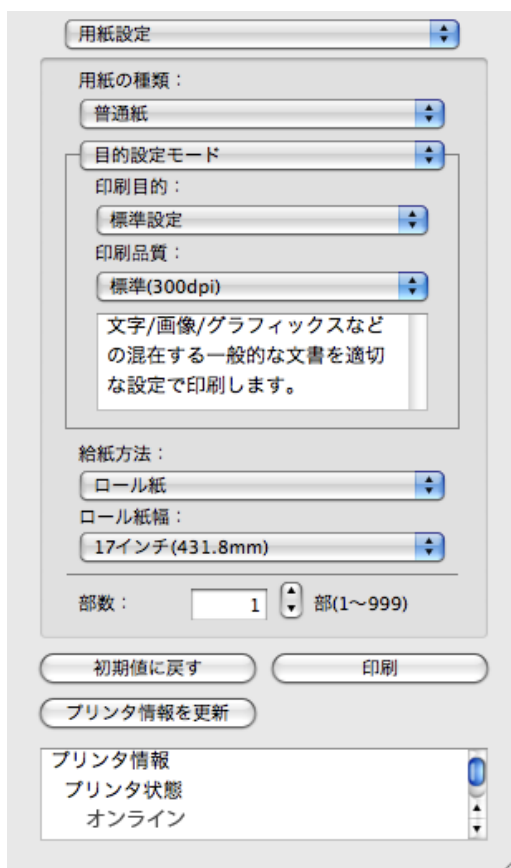
操作に必要なメニューを選択できます。

imagePROGRAF Advanced Preview ファイル 編集 表示 オブジェクト ウインドウ ヘルプ

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

レイアウトエリア

オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

ダイアログエリア

印刷条件を設定したり､印刷を実行することができます｡

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[目的設定モード]/[詳細設定モード]

最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 目的設定モード →P.455
- 詳細設定モード →P.456

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

[印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[CAD(カラー線画)]	CAD 図面などの細い線をくっきりと印刷します。
[CAD (モノクロ線画)]	CAD 図面を、黒い線でくっきりと印刷します。
[パース･GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。

設定項目	内容
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(二階調)]	白以外の色をすべて黒で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[色調整]/[マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.459
- マッチング →P.461

メモ
- [マッチング]は[カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは表示されません。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。

メモ
- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要
- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

[マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.463	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.464	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.465	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- Mac OS X 10.5 以降をご使用の場合、[ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

[マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

[入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ

- ［マッチングモード］で［ICC 補正モード］を選択した場合のみ、選択できます。

［プリンタプロファイル］

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- （MacOS X 10.3.9～10.4 をご使用の場合）［マッチングモード］で［ICC 補正モード］または［ColorSync モード］を選択した場合のみ、選択できます。
- （MacOS X 10.5 以降をご使用の場合）［マッチングモード］で［ICC 補正モード］を選択した場合のみ、選択できます。

［ソフトプルーフ］

チェックマークを付けると、［ColorSync モード］がレイアウトエリアに適用されます。

メモ

- ［マッチングモード］で［ColorSync モード］を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1. ［マッチングモード］で、［ドライバ補正モード］を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

ICC 補正モード

1. [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

色設定
カラーモード：
カラー
マッチング
マッチングモード：
ICC補正モード
マッチング方法：
写真調
色空間：
sRGB
Adobe RGB
入力プロファイル：
sRGB v3.0 (Canon)
プリンタプロファイル：
sRGB v3.0 (Canon)
ソフトプルーフ
初期値に戻す
印刷
プリンタ情報を更新
プリンタ情報
プリンタ状態
オンライン

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。

設定項目	内容
［色差最小］	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
［色差最小（白色点補正なし）］	カラーマッチングの処理方法は［色差最小］と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3. ［入力プロファイル］のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

4. ［プリンタプロファイル］のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1. ［マッチングモード］で、［ColorSync モード］が選択されていることを確認します。

2. ［ソフトプルーフ］にチェックマークを付けると、レイアウトエリアに出力結果がシミュレーションして表示されます。

環境設定ダイアログボックス

imagePROGRAF Advanced Preview メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Free Layout の環境設定を行うことができます。

[表示単位]

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

[グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は「10.0〜200.0（mm）」「0.39〜7.87（inch）」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜10 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

[オブジェクト枠を印刷する]

オブジェクトの枠線を印刷することができます。

メモ

- オブジェクトの枠線を印刷しない場合は、[オブジェクト枠を印刷する]チェックボックスをオフにします。

[オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。
オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

[自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

メモ

- 入力できる数値は「0.0～100.0(mm)」「0.00～3.94(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ページ設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、表示されます。このダイアログボックスで、印刷の向き、用紙サイズなどを設定します。

[用紙の向き]

用紙の向きを選択します。
用紙の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	アプリケーションで作成した図や文章をそのままの向きで印刷します。
[横]	アプリケーションで作成した図や文章の向きを、横に 90 度回転して印刷します。

[ロール紙長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。

[自動設定]にチェックマークを付けると、配置したオブジェクトが 1 ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する 1 ページの長さが自動で設定されます。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2〜18000.0（mm）」「8.00〜708.66（inch）」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。
配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ
- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]のみが選択できます。
- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]のみが選択できます。

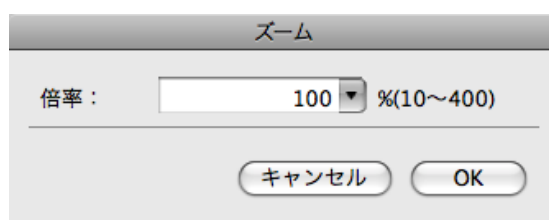
5

[用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
- [給紙方法]で[ロール紙]が設定されている場合は、選択できません。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

[倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 10〜400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

[回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

[倍率]

オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ

• 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

2. [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4. Free Layout を起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ

• 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

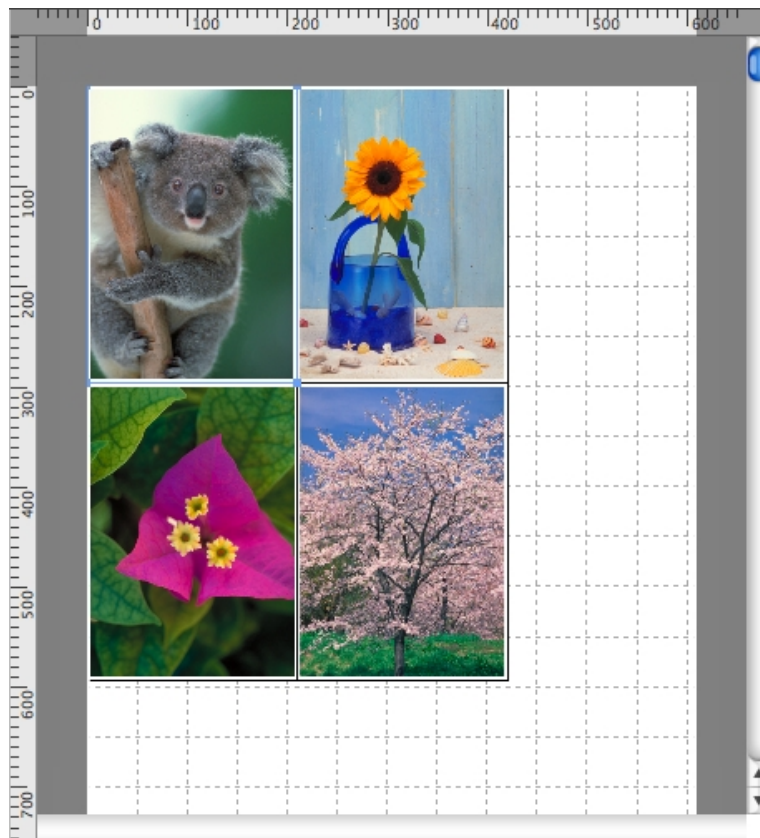
2. [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4. Free Layout を起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ

- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、command キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[すべてを選択]を選択します。

オブジェクトのサイズを変更する

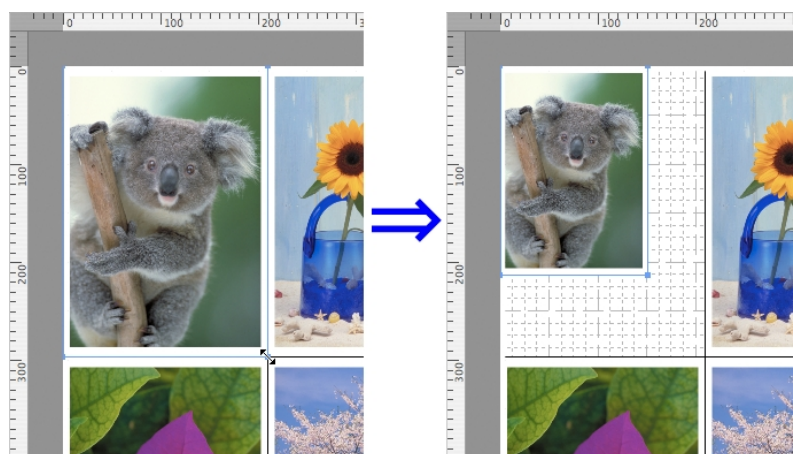
オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1. オブジェクトを選択します。

2. 書式設定ダイアログボックス →P.469 を開きます。

3. [倍率]で拡大/縮小倍率を設定します。オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

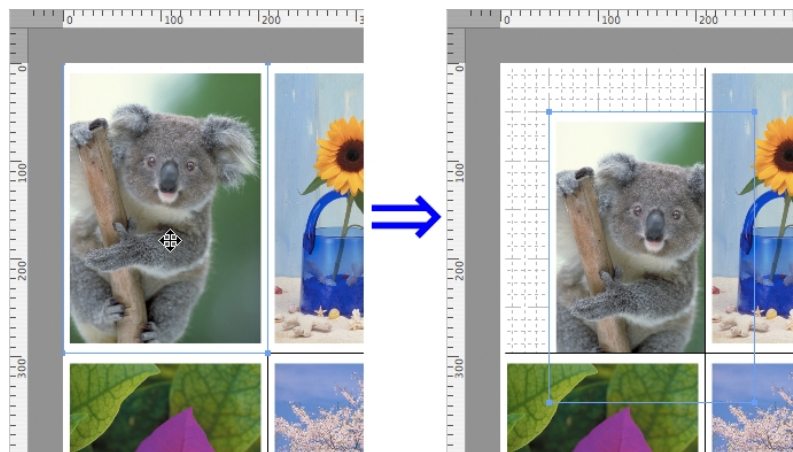
メモ
- 入力できる数値は 25〜400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

4. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

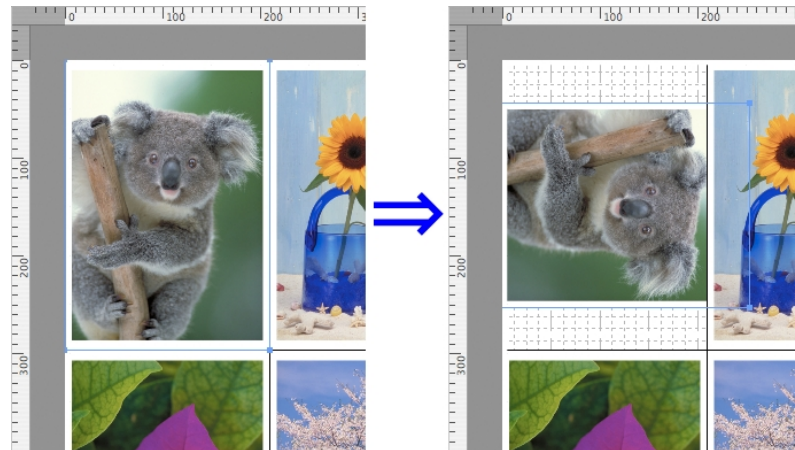
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

1. オブジェクトを選択します。

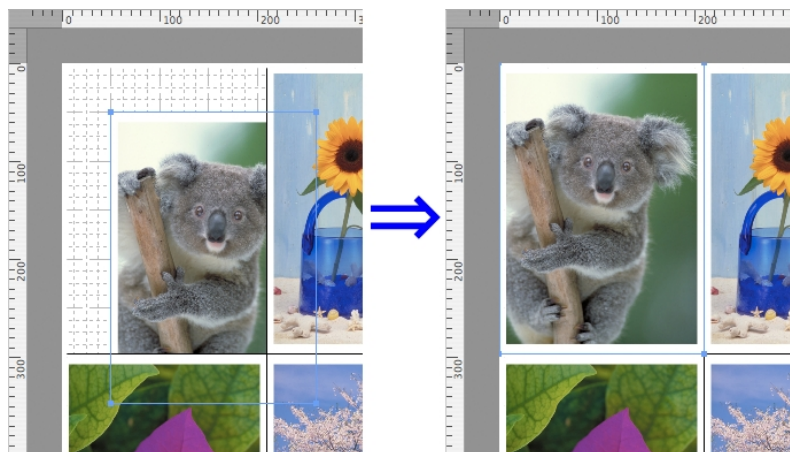
2. オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

1. オブジェクトを選択します。

2. ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.469 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ
- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

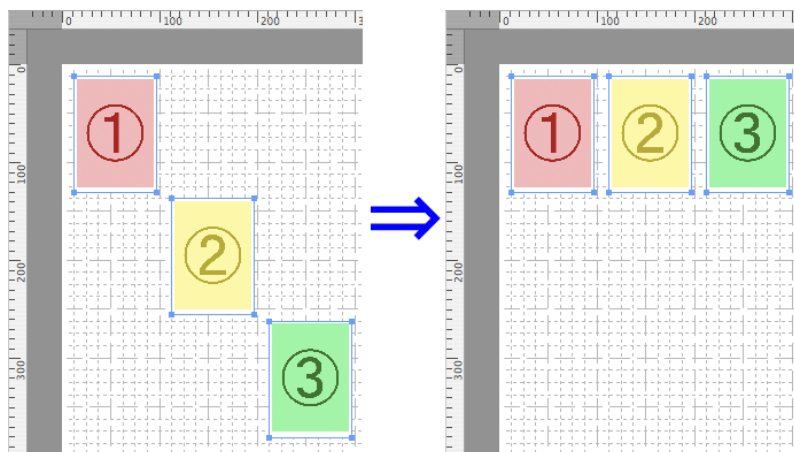
オブジェクトを自動配置する

ツールバーの[自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ
- オブジェクトの配置順は、ページ設定ダイアログボックス →P.467 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1. 複数のオブジェクトを選択します。

2. [オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

[上揃え]

オブジェクトを上端に揃えて配置します。

[上下中央揃え]

オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

[下揃え]

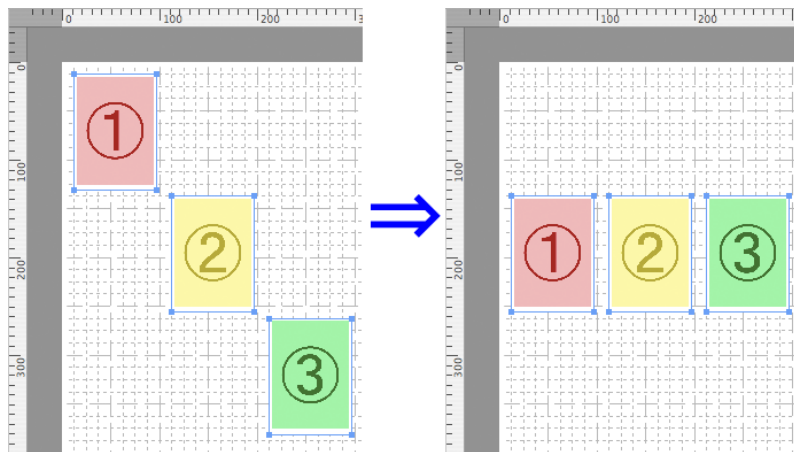
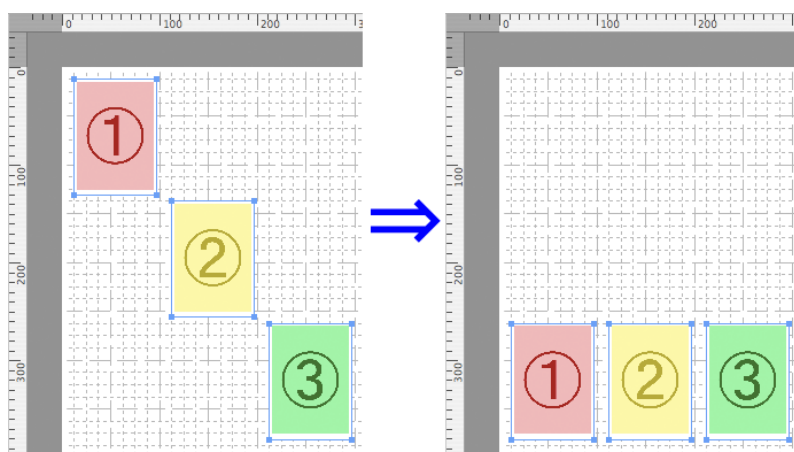
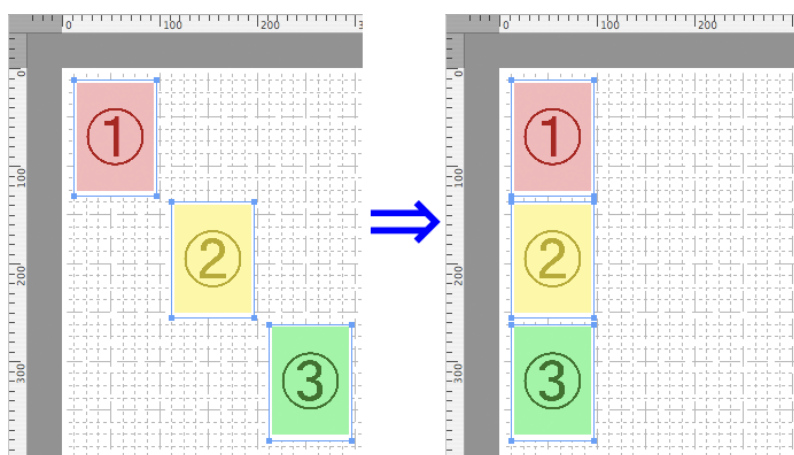
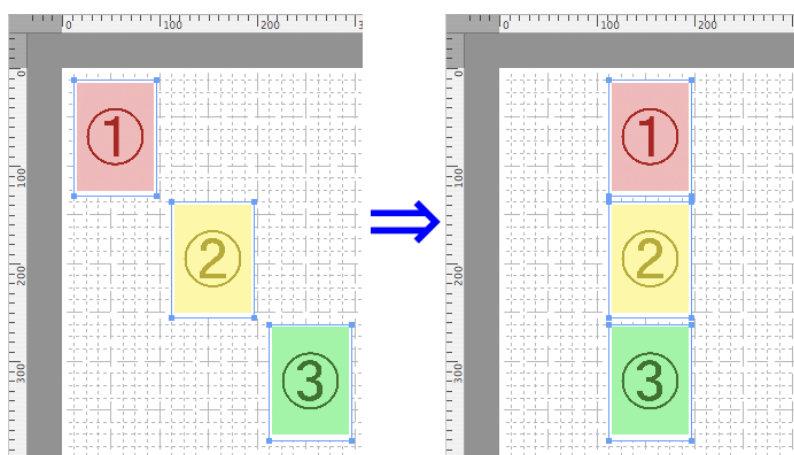
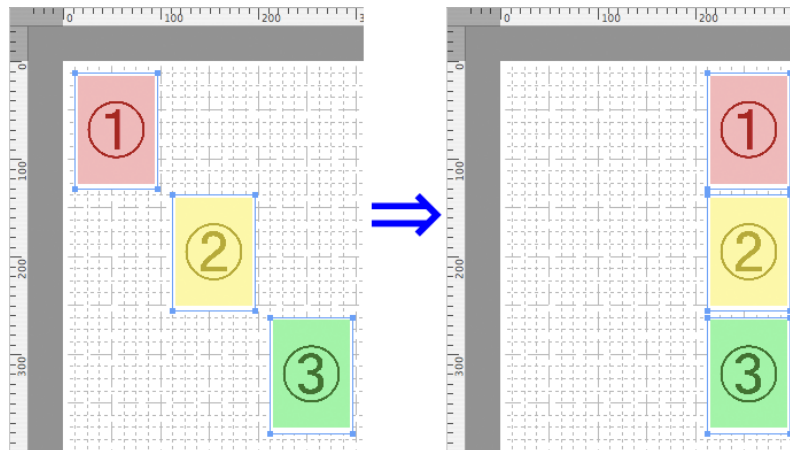
オブジェクトを下端に揃えて配置します。

[左揃え]

オブジェクトを左端に揃えて配置します。

[左右中央揃え]

オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

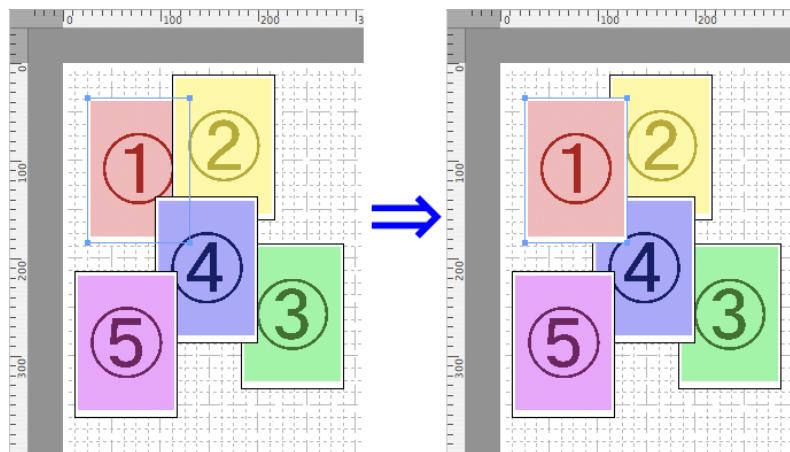
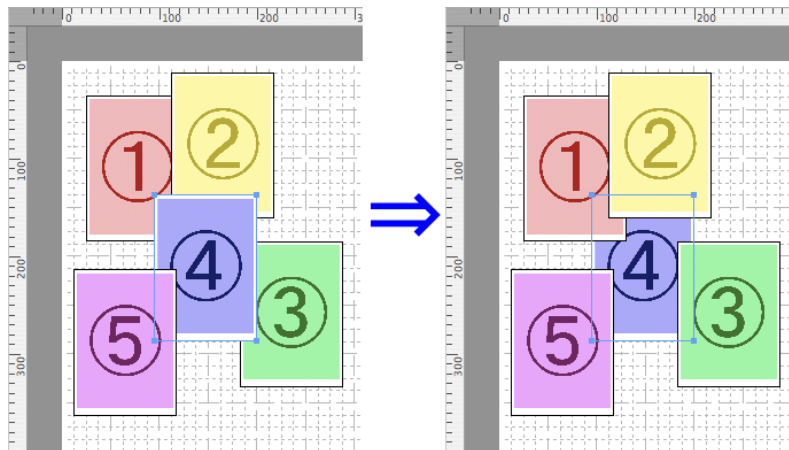
[右揃え]

オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

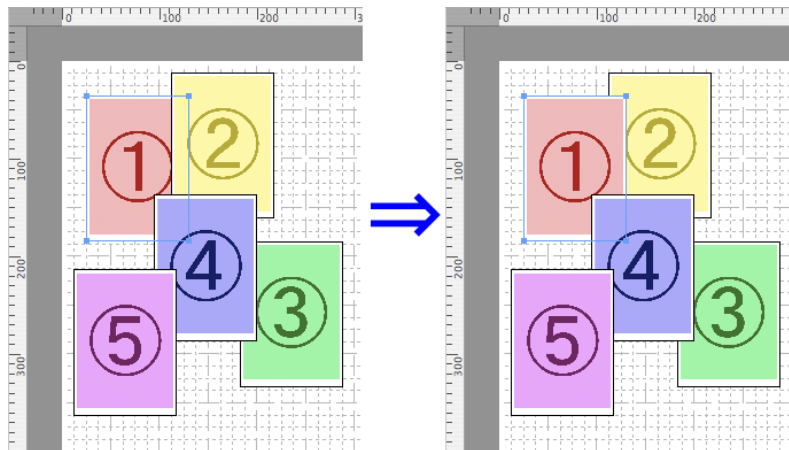
1. オブジェクトを選択します。

2. [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

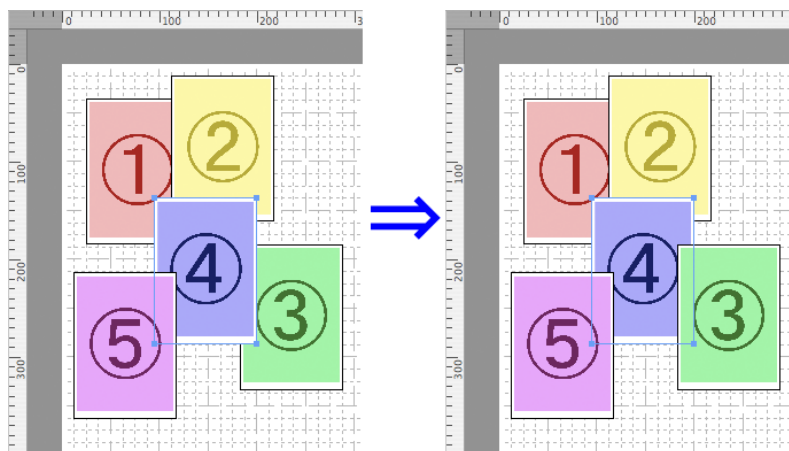
[最前面へ移動]

オブジェクトを最前面に移動します。

[最背面へ移動]

オブジェクトを最背面に移動します。

[前面へ移動]

オブジェクトを 1 つ前に移動します。

[背面へ移動]

オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1. ツールバーから[コピー]または[カット]をクリックします。
   または[編集]メニューから[コピー]または[カット]を選択します。

2. ツールバーから[ペースト]をクリックします。
   または[編集]メニューから[ペースト]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

動作環境

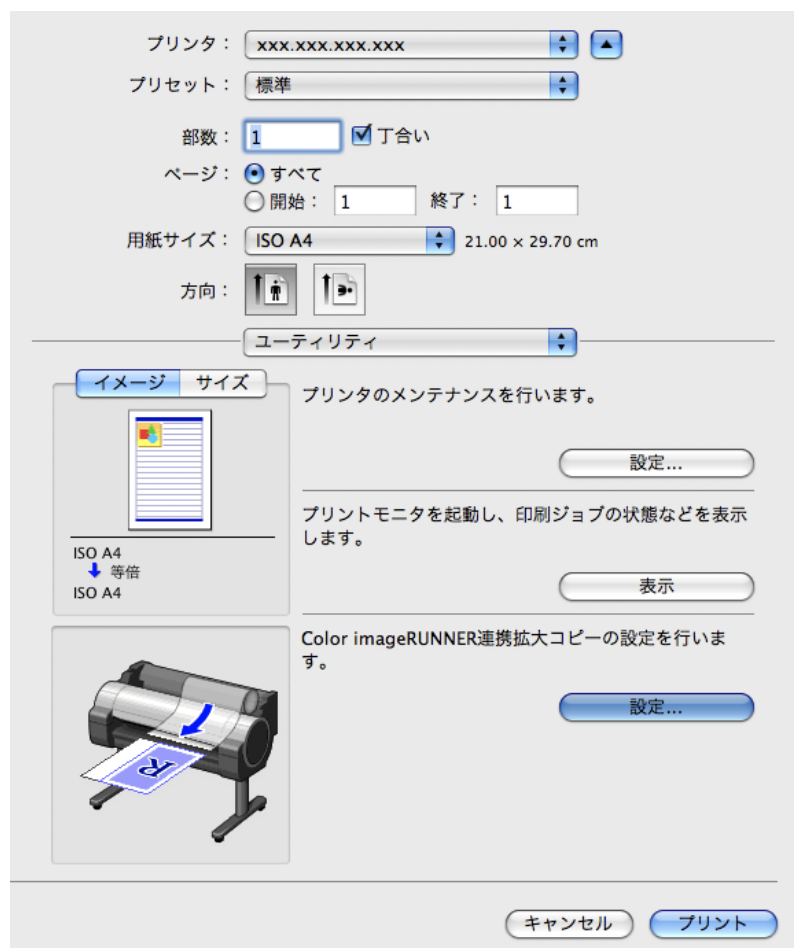
Color imageRUNNER 連携拡大コピーは、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X（10.3.9～10.6）
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

1. [プリント]ダイアログボックスの[ユーティリティ]パネルを開きます。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

2. [Color imageRUNNER 連携拡大コピーの設定を行います。]の[設定]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

5

メモ

- [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iR Enlargement Copy] >[Color imageRUNNER 連携拡大コピー.app]アイコンをクリックして直接起動することもできます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 →P.480 をご覧ください。

[フォルダ内のファイルを削除]

ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

[フォルダごと削除、および上記リストから削除]

ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。

[削除]ボタン

[フォルダ内のファイルを削除]または[フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダまたはホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

[追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[出力先選択]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。

[編集]ボタン

ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択してこのボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。

[ホットフォルダを常に監視する]

チェックボックスをオンにすると、次回 OS X を起動したときから、Dock に Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

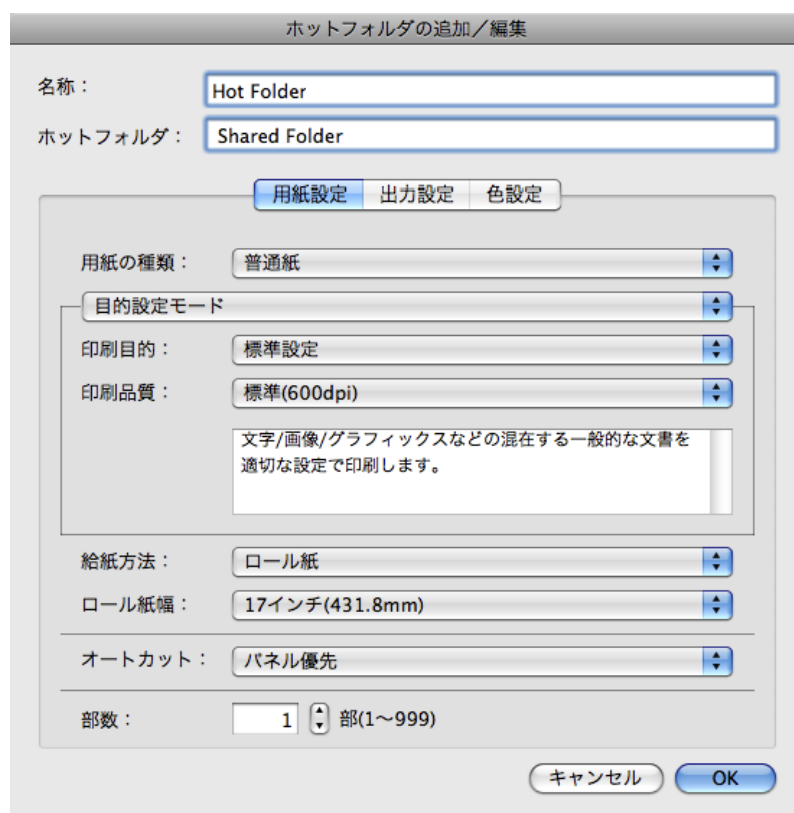
1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 →P.480 をご覧ください。

2. [拡大コピー用設定]の[追加]ボタンをクリックし、[出力先選択]ダイアログボックスを開きます。

3. [出力先]にプリンタ一覧の中から、出力先のプリンタを選択します。

4. [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

5. [名称]に、ホットフォルダのリストで表示するための名称を入力します。

6. [ホットフォルダ]にホットフォルダ名を入力します。

7. [OK]ボタンをクリックします。[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

8. [閉じる]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを終了させます。

9. [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

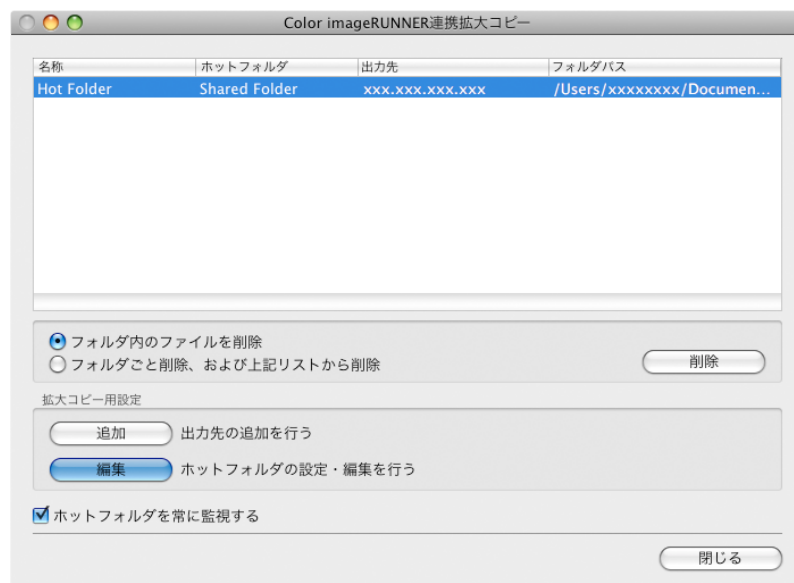
10. [ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。

11. [FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

メモ

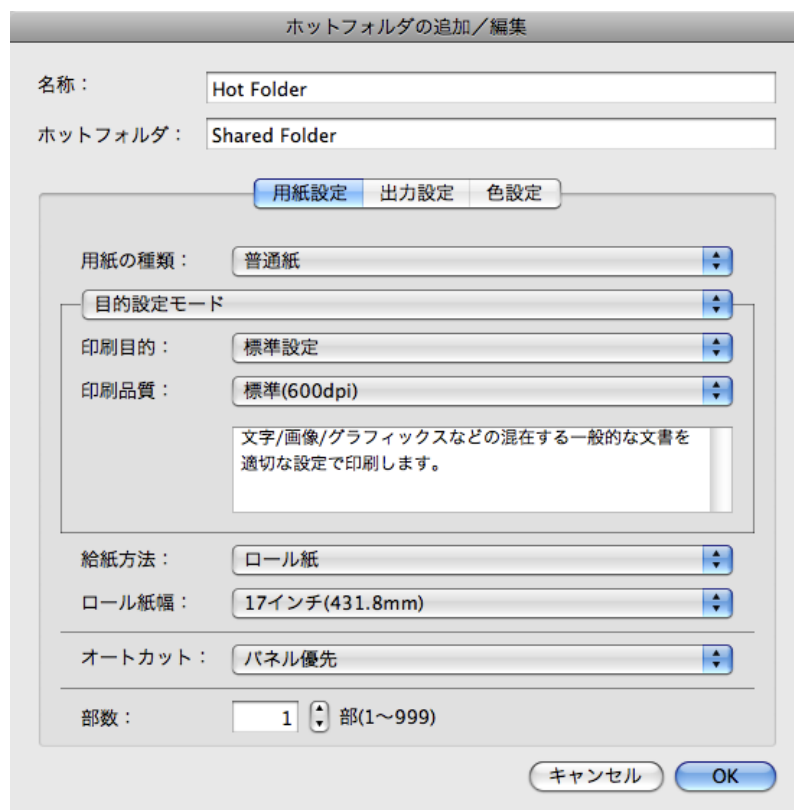
- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを編集する(印刷条件の設定)

1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2. ホットフォルダのリストから作成済みのホットフォルダを選択します。

3. [拡大コピー用設定]の[編集]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

4. 用紙設定パネル →P.488 で必要な項目を設定します。

ホットフォルダの追加／編集
名称： Hot Folder
ホットフォルダ： Shared Folder
用紙設定 出力設定 色設定
用紙の種類： 普通紙
目的設定モード
印刷目的： 標準設定
印刷品質： 標準(600dpi)
文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
給紙方法： ロール紙
ロール紙幅： 17インチ(431.8mm)
オートカット： パネル優先
部数： 1 部(1〜999)
キャンセル OK

5. 出力設定パネル →P.492 で必要な項目を設定します。

ホットフォルダの追加／編集
名称： Hot Folder
ホットフォルダ： Shared Folder
用紙設定 出力設定 色設定
拡大／縮小印刷
出力用紙サイズに合わせる
ロール紙の幅に合わせる
倍率を指定する 100 %(5～600)
フチなしで印刷する
出力用紙サイズ： ISO A4
中央に印刷
上下余白なし(用紙節約)
ページを回転
右90度回転(用紙節約)
左90度回転(用紙節約)
180度回転
キャンセル OK

6. 色設定パネル →P.495 で必要な項目を設定します。

ホットフォルダの追加／編集
名称： Hot Folder
ホットフォルダ： Shared Folder
用紙設定 出力設定 色設定
カラーモード： カラー
マッチングモード： ドライバ補正モード
マッチング方法： 写真調
入力プロファイル：
sRGB v3.0 (Canon)
プリンタプロファイル：
sRGB v3.0 (Canon)
キャンセル OK

7. [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを終了させます。

8. [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

9. [ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。

10. [FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

メモ
- ホットフォルダを新規作成した際、共有設定を行っている場合は、手順 8〜10 は必要ありません。

ホットフォルダを削除する

1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2. ホットフォルダのリストから削除したいホットフォルダを選択します。

3. [フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

4. メッセージの内容を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ
- ホットフォルダ内のファイルのみを削除するには、[フォルダ内のファイルを削除]を選択します。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスの設定パネルで印刷条件を設定することができます。
各パネルで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 用紙設定パネル →P.488
- 出力設定パネル →P.492
- 色設定パネル →P.495

用紙設定パネル

[目的設定モード]/[詳細設定モード]

最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 目的設定モード →P.490
- 詳細設定モード →P.491

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[カット紙]	カット紙に印刷する場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[オートカット]

ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[パネル優先]	本体の操作パネルに設定されている値になります。
[なし]	印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1 ページごとに手動でカットするためのカットラインを印刷し、連続して次のデータを印刷します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

[印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[CAD(カラー線画)]	CAD 図面などの細い線をくっきりと印刷します。
[CAD (モノクロ線画)]	CAD 図面を、黒い線でくっきりと印刷します。
[パース･GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi] / [600dpi] / [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

ホットフォルダの追加／編集
名称：
ホットフォルダ：
用紙設定 出力設定 色設定
用紙の種類： 普通紙
詳細設定モード
優先画質： 写真・イラスト
印刷品質： 標準(600dpi)
給紙方法： ロール紙
ロール紙幅： 17インチ(431.8mm)
オートカット： パネル優先
部数： 1 部(1〜999)
キャンセル OK

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。

設定項目	内容
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi] / [600dpi] / [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

出力設定パネル

ホットフォルダの追加／編集
名称：
ホットフォルダ：
用紙設定 出力設定 色設定
拡大／縮小印刷
出力用紙サイズに合わせる
ロール紙の幅に合わせる
倍率を指定する 100 %(5〜600)
フチなしで印刷する
出力用紙サイズ： ISO A4
中央に印刷
上下余白なし(用紙節約)
ページを回転
右90度回転(用紙節約)
左90度回転(用紙節約)
180度回転
出力方法...
キャンセル OK

[拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5～600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

[フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [拡大／縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

[中央に印刷]

画像をカット紙の中央に配置して印刷したいときや、ロール紙の幅に対して左右の余白を均等にとって印刷したいときには、この機能を使用します。

メモ

- [倍率を指定する]の機能を使って拡大または縮小印刷するときにも、この機能を使うと便利です。画像の倍率を指定すると、必ずそのページの左上の角に固定された始点を基準に拡大または縮小されます。そのため、縮小して印刷すると、用紙の下側と右側の余白が大きくなります。このときにこの機能を使用すると、上下左右の余白が均等になります。

[上下余白なし(用紙節約)]

印刷データの上下に空白部分がある場合に空白部分をなくして印刷します。空白部分については、紙を送らないので用紙を節約することができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[出力方法]ボタン

ボタンをクリックすると、[出力方法]ダイアログボックスが表示されます。
オブジェクトの出力方法の設定を行うことができます。

設定項目	内容
[印刷]	通常の印刷です。一時保存ボックスに保存しながら印刷します。
[印刷(自動消去)]	印刷終了後、すぐにデータを消去します。

メモ

- 一時保存ボックスに保存が完了してから印刷を開始する場合、[保存完了後に印刷する]のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

色設定パネル

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(二階調)]	白以外の色をすべて黒で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[マッチングモード]

[マッチングモード]でマッチングモードを選びます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.496	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.497	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。

設定項目	内容
ColorSync モード →P.498	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。
[補正しない]	カラーマッチングを実行しません。アプリケーションでマッチングを実行する場合に選択します。

ドライバ補正モード

1. [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

ICC 補正モード

1. [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3. [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

メモ

- 望みどおりの色で印刷されない場合は、お使いの Color imageRUNNER の iR 連携拡大コピー用の入力プロファイルを選択してください。

4. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1. [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択します。

2. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

メモ
- Mac OS X 10.3.9〜10.4 で選択できます。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

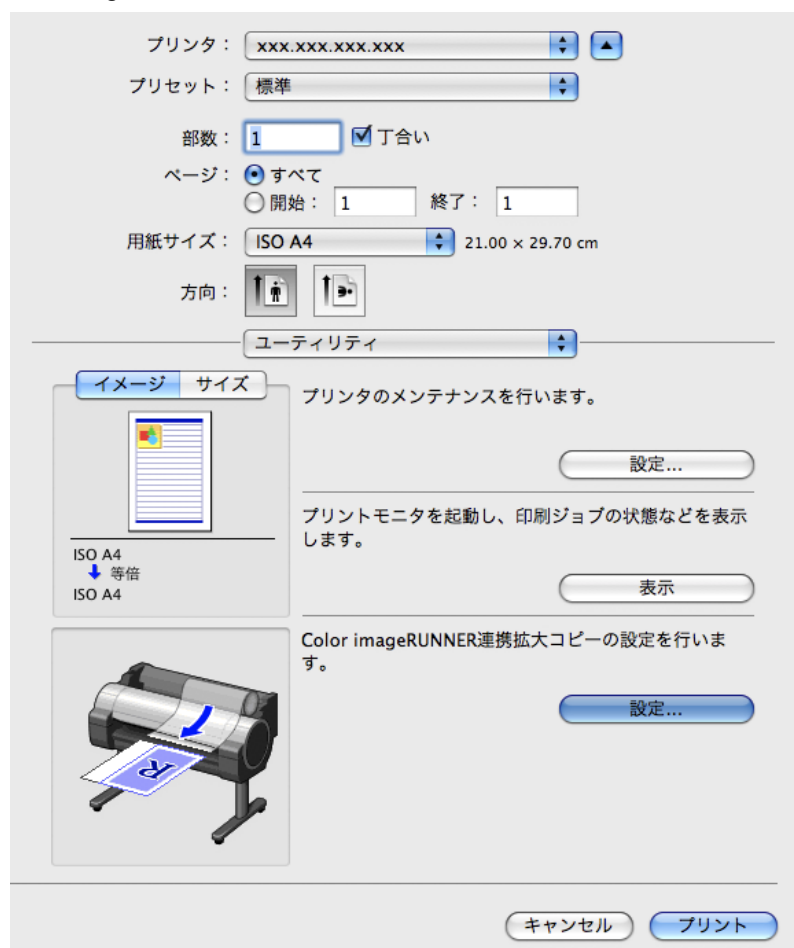
1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。
2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

コンピュータにホットフォルダを作成する

ホットフォルダとは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー](iR 連携)機能で使用するフォルダです。Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを格納するホットフォルダを、コンピュータに作成します。ホットフォルダには、このフォルダに送信されたデータを印刷する際の、画質や用紙サイズなどの印刷条件を設定できます。ホットフォルダを作成、編集するには、以下の手順を行います。

1. [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]—[iR Enlargement Copy]フォルダにある[Color imageRUNNER 連携拡大コピー.app]アイコンをクリックするか、[ユーティリティ]パネルの[設定]をクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

2. [拡大コピー用設定]の[追加]または[編集]をクリックし、ホットフォルダを作成、編集します。
ホットフォルダを作成、編集する手順については、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]のヘルプを参照してください。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

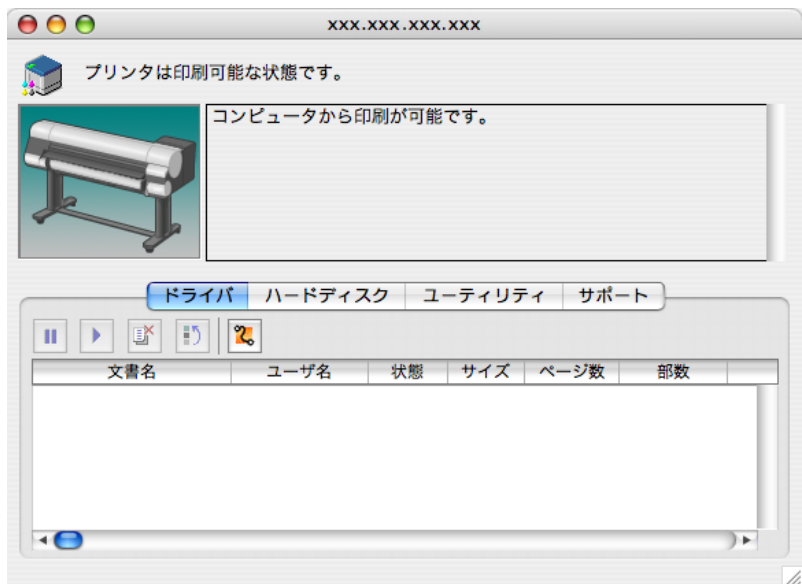
原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。
2. [送信/ファクス]（または[送信]）を押し、送信画面を表示します。
3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。
4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Printmonitor

imagePROGRAF Printmonitor

[imagePROGRAF Printmonitor]は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。

- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- 印刷ジョブの状態を確認したり、削除などの操作を行ったりすることができます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、あらかじめ設定しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。

メモ

- [imagePROGRAF Printmonitor]に目的のプリンタの状態が表示されなかった場合は、以下の手順でプリンタを選択し直してください。

1. 目的のプリンタがネットワークまたはローカルポートに接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。
2. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。
   目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。
3. 2.の手順で目的のプリンタの情報が表示されない場合は、[プリンタ]メニューの[監視プリンタを検索]を選択します。
4. 検索するゾーン(ゾーンを設定していない場合は[*(My Zone)])を選択して、[検索]ボタンをクリックします。
   [プリンタ]メニューのプリンタ名が現在認識されているプリンタ名に更新されます。
5. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。
   目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。

Media Configuration Tool

Media Configuration Tool の特長

Media Configuration Tool の主な特長は以下のとおりです。

- プリンタがサポートするメディア(用紙の種類)が追加されたときに、その用紙情報ファイル(.amf ファイル、.med ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順の変更や用紙名称の変更などを行うことができます。

重要
- User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらにメディア情報を追加したり、編集したい方はこのソフトウェアをお使いください。

Media Configuration Tool が適用されるドライバ

- imagePROGRAF プリンタドライバ

動作環境

Media Configuration Tool は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X(10.2.8 以上)
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF プリンタドライバ

インストール手順

新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動して Media Configuration Tool をインストールする手順は、以下のとおりです。

重要
- User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。

1. [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2. 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

"iPFxxxx MCT Installer X.app"を操作するには、
パスワードを入力してください。

名前：

パスワード：

詳細な情報

キャンセル　OK

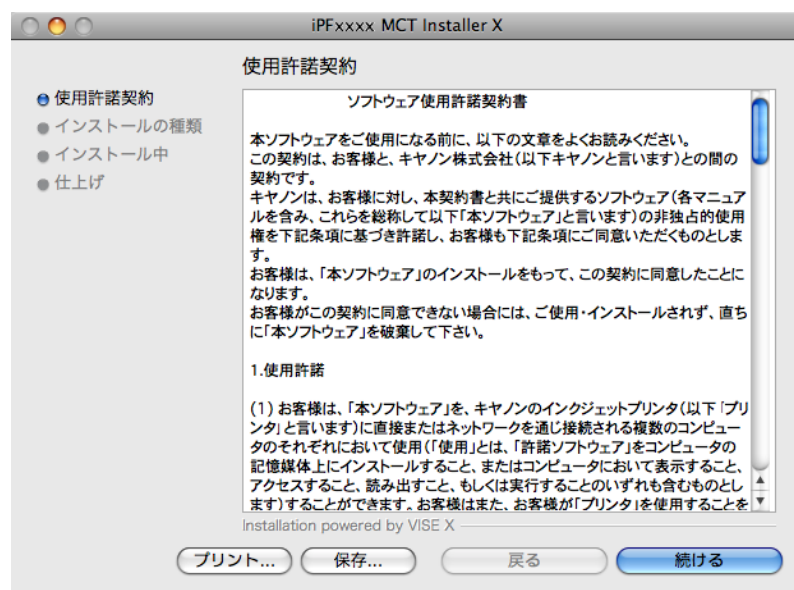
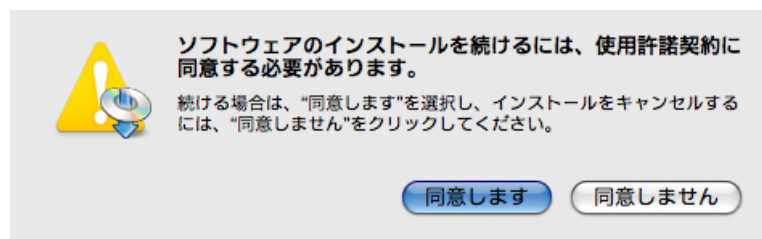
3. プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

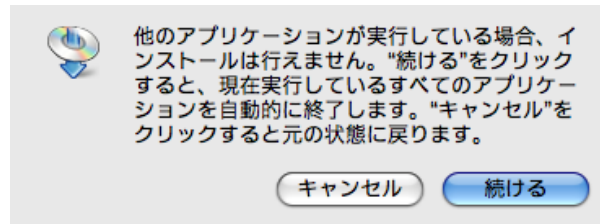
Media Configuration Toolは各国または地域においてキヤノンが推奨する標準的な用紙種類の設定を、以下に対して適用します。
・プリンタ
・プリンタドライバ
・関連ソフトウェア

プリンタを使用する国または地域を選択してください。

- 日本
- アメリカ
- 欧州
- アジア
- オセアニア

OK

4. [使用許諾契約]が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5. [同意します]ボタンをクリックします。

6. [簡易インストール]を選択して、[インストール]ボタンをクリックします。

7. 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

8. 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のインストールが終了します。

メモ

- インストールが正常に終了すると、以下のフォルダに[Media Configuration Tool]フォルダが保存されます。
  [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iPFxxxx Media Configuration Tool]
- 上記フォルダの[iPFxxxx]の部分はご使用のプリンタ名になります。

アンインストール手順

1. [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2. 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

"iPFxxxx MCT Installer X.app"を操作するには、パスワードを入力してください。

名前：

パスワード：

▶ 詳細な情報

キャンセル　OK

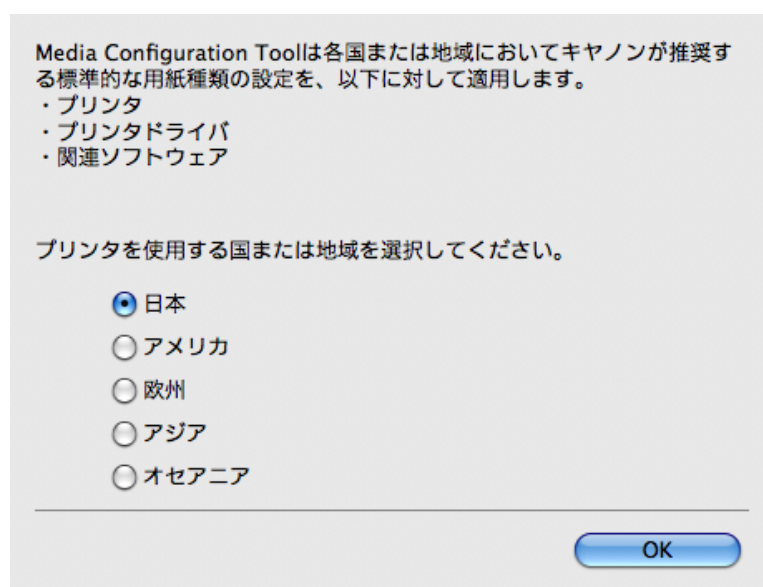
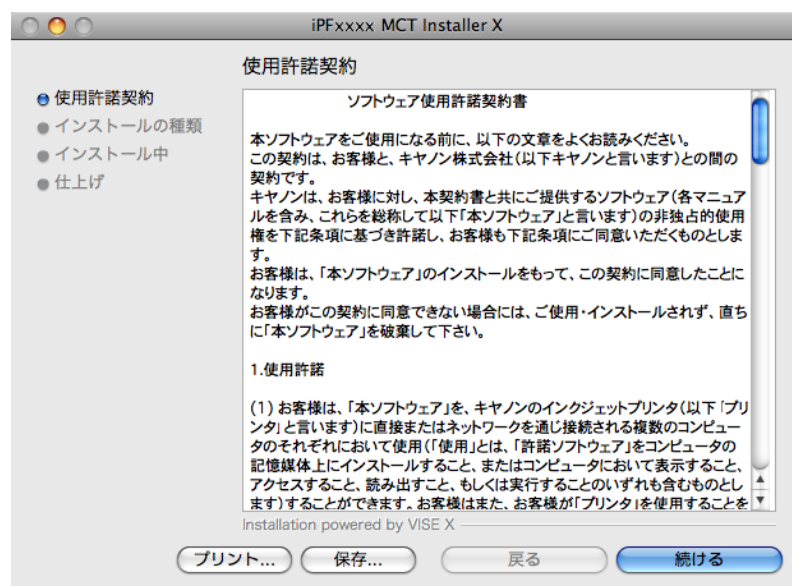
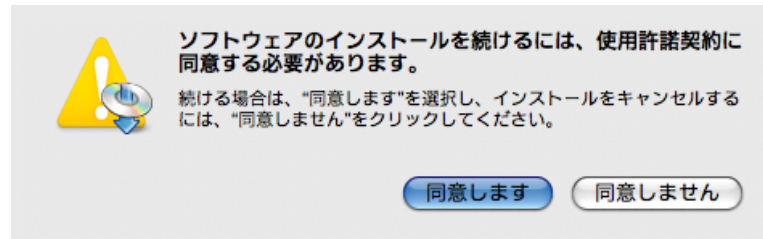
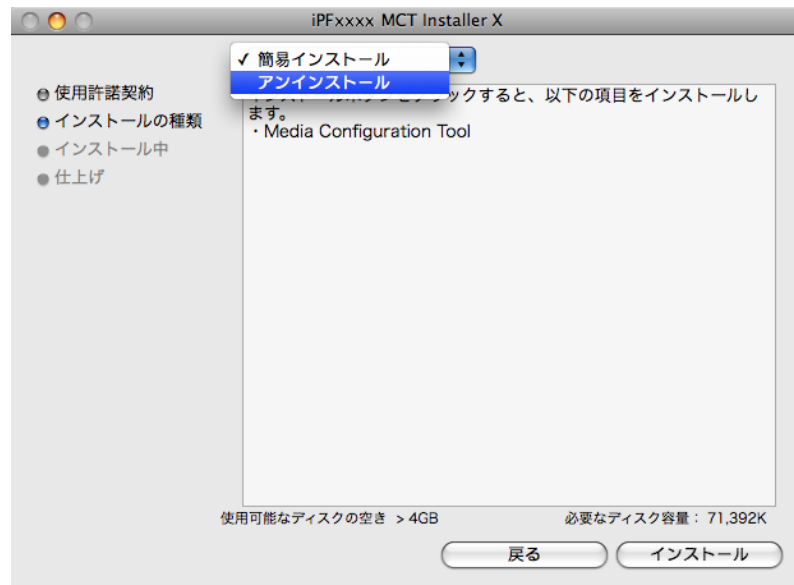
3. プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

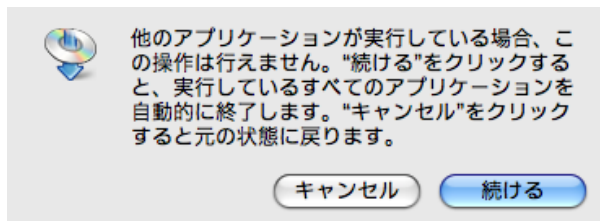
Media Configuration Toolは各国または地域においてキヤノンが推奨する標準的な用紙種類の設定を、以下に対して適用します。
・プリンタ
・プリンタドライバ
・関連ソフトウェア

プリンタを使用する国または地域を選択してください。

日本
アメリカ
欧州
アジア
オセアニア

OK

5

4. [使用許諾契約]が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5. [同意します]ボタンをクリックします。

6. [アンインストール]を選択します。

7. [アンインストール]ボタンをクリックします。

8. 他のアプリケーションが実行されている場合は、[続ける]ボタンをクリックします。

9. 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のアンインストールが終了します。

5

Media Configuration Tool の起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[アプリケーション]メニューから[Canon Utilities]> [iPFxxxx Media Configuration Tool] > [MCTxxxx.app] を選択します。

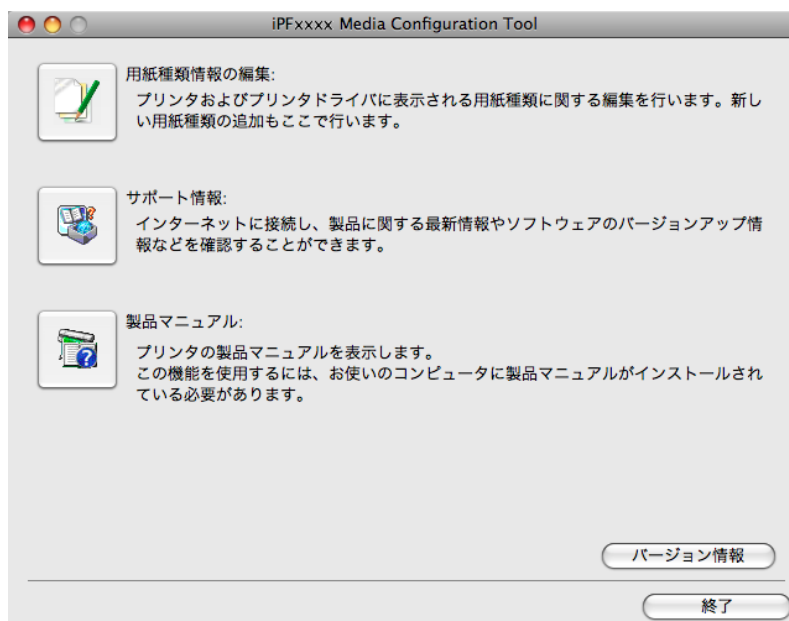
Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

メモ

- 対象機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、Media Configuration Tool は起動しません。プリンタドライバがインストールされていない状態で Media Configuration Tool を起動すると、以下の警告メッセージが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「Media Configuration Tool の起動方法」を参照してください。 →P.508

[用紙種類情報の編集]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、用紙の種類を編集することができます。
[用紙種類情報の編集]について詳しくは、「用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.510

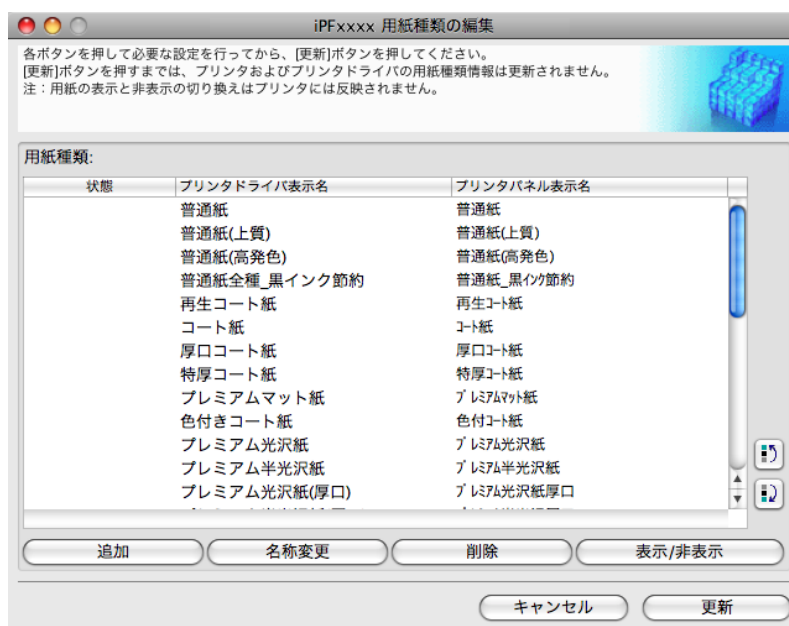
[サポート情報]ボタン

ボタンをクリックすると、インターネットに接続し、製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

[製品マニュアル]ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

用紙種類情報を編集する

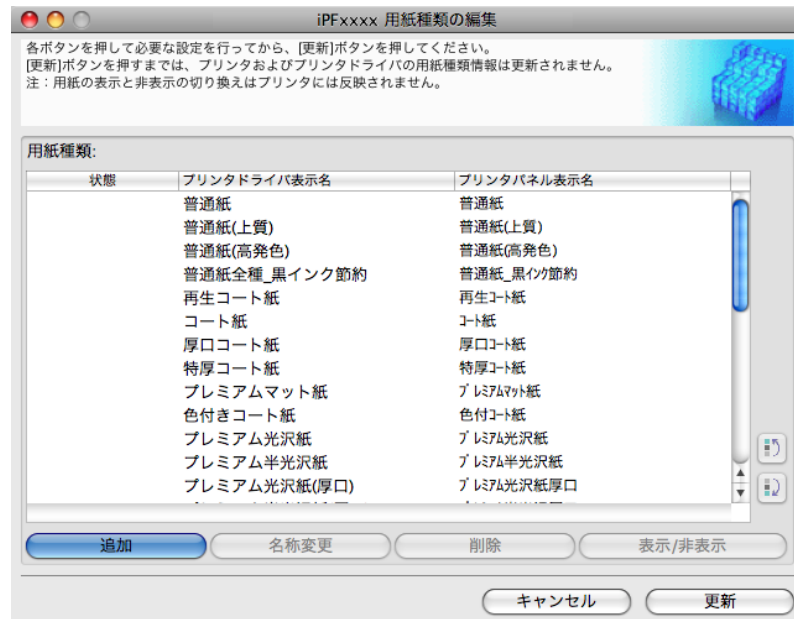
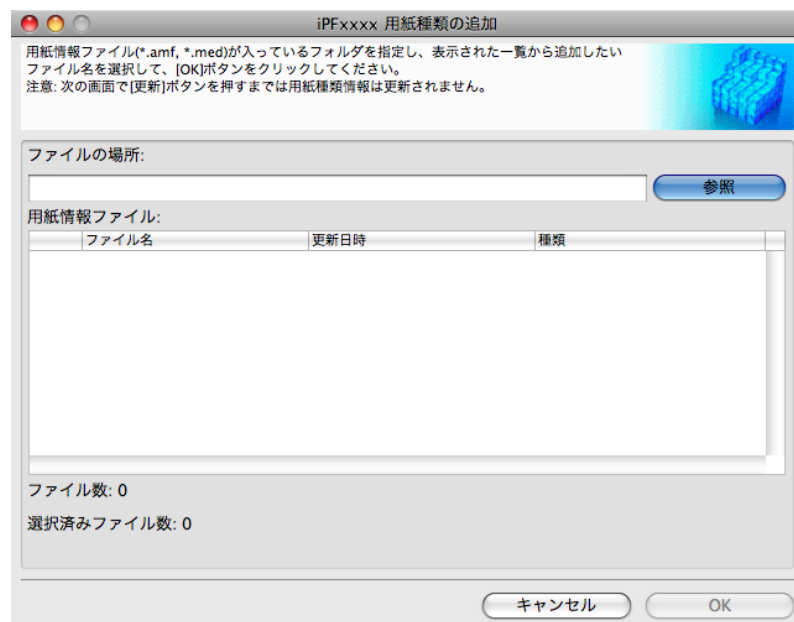
Media Configuration Tool メインウィンドウの[用紙種類情報の編集]ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

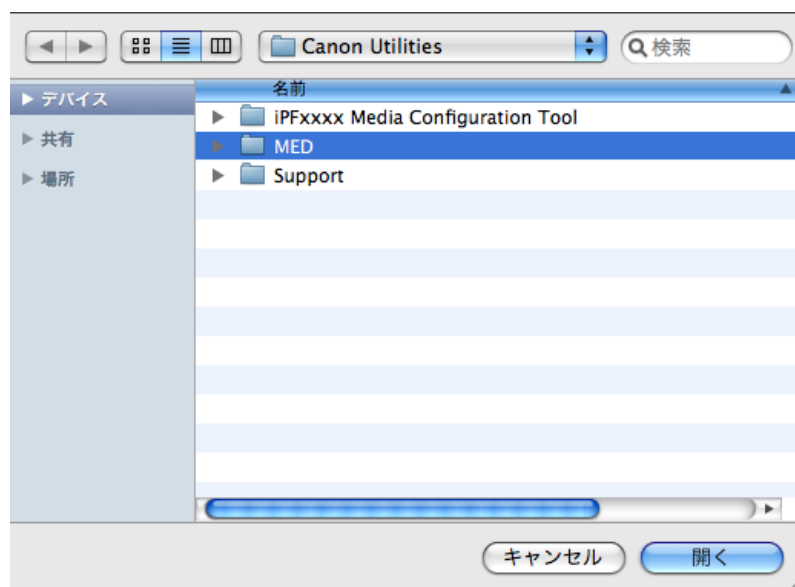
- 用紙種類の追加 →P.511
- 用紙名称の変更 →P.513
- 追加した用紙種類の削除 →P.515
- 用紙種類の表示/非表示を切り替える →P.516
- 用紙種類の表示順序を変更する →P.518

メモ

- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。

用紙種類の追加

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2. [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3. 用紙情報ファイル(.amf ファイル、.med ファイル)が含まれるフォルダを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

5

4. [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に[フォルダの選択]ダイアログボックスで選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

iPFxxxx 用紙種類の追加
用紙情報ファイル(*.amf, *.med)が入っているフォルダを指定し、表示された一覧から追加したいファイル名を選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。
注意: 次の画面で[更新]ボタンを押すまでは用紙種類情報は更新されません。
ファイルの場所:
MED
参照
用紙情報ファイル:

	ファイル名	更新日時	種類
☑	xxxxxxxx.med	xxxx/xx/xx xx:xx	xx用紙情報ファイル

ファイル数: 1
選択済みファイル数: 1
キャンセル
OK

5. 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.519

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙名称の変更

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3. [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。

4. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.519

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

追加した用紙種類の削除

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.519

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ
- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.519

重要
- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタドライバに変更が反映されません。用紙の表示と非表示の切り替えはプリンタには反映されません。

用紙種類の表示順序を変更する

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.519

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙の種類を更新する

[用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックすると、[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。このウィザードでは、お使いのプリンタとプリンタドライバの用紙情報を新しい情報に置き換えることができます。
[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順は、以下のようになります。

重要

- ここでの手順は、更新された Media Configuration Tool もしくは、更新対象の用紙情報ファイルが入手されていることを前提としています。

1. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが自動的に表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

2. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

注意

- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

3. プリンタとの通信が終了すると、画面表示が、[用紙種類の更新 - 更新対象の確認]ダイアログボックスに切り替わります。プリンタから取得した情報を確認します。
確認した内容で更新する場合には、[実行]ボタンをクリックします。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

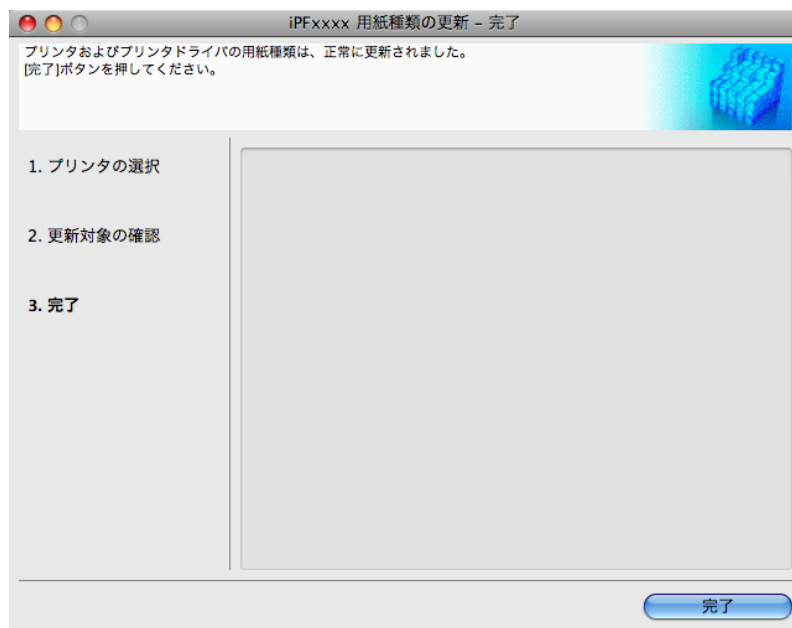
4. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

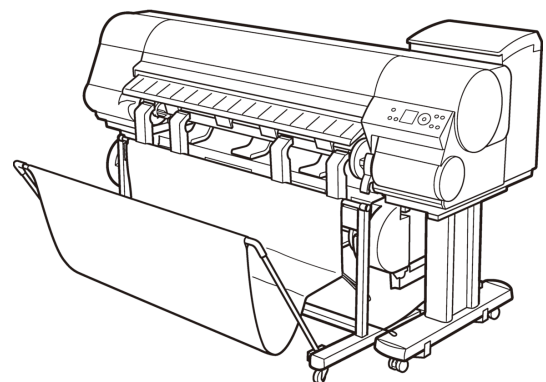
重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

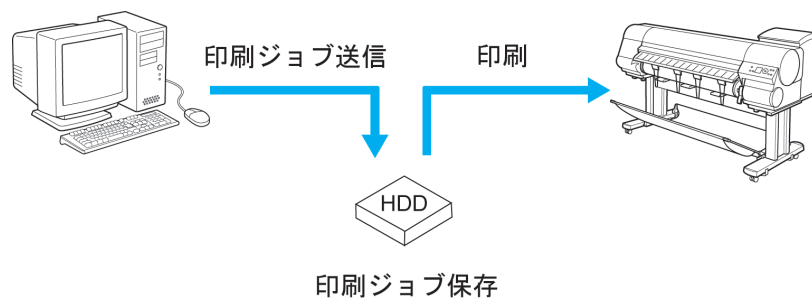
注意

- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

5. 正常に用紙情報ファイルが更新されると、画面表示が[用紙種類の更新 - 完了]ダイアログボックスに切り替わります。[完了]ボタンをクリックして、[用紙種類の更新]ウィザードを閉じます。

印刷ジョブ

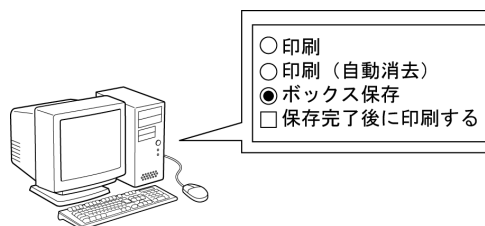
6

印刷ジョブの基本操作

印刷ジョブの保存について

印刷ジョブの保存とは、コンピュータから印刷ジョブを送信し、プリンタのハードディスクに保存することです。印刷ジョブを保存することで、コンピュータから再送しなくても、その印刷ジョブを必要に応じて繰り返し印刷することができます。

印刷ジョブを保存すると、以下のようなことが実現します。

- コンピュータの作業負荷を軽減
  印刷と同時に自動的に印刷ジョブをプリンタに保存したり、印刷しないで印刷ジョブをプリンタに保存することができます。印刷ジョブを保存しておけば、コンピュータを使用せずに、必要なときに必要な部数を印刷することができます。
- エラー発生後の再印刷が簡単
  印刷中に用紙切れなどのエラーがプリンタで発生した場合、コンピュータから印刷ジョブを再送しなくても、エラー解消後に印刷を続行することができます。
- 印刷の作業効率を向上
  コンピュータを使用せずに、印刷ジョブを選択して印刷したり、部数を指定して印刷することができます。また、複数の印刷ジョブをまとめて印刷することができます。夜間の無人運転も可能です。

出力方法

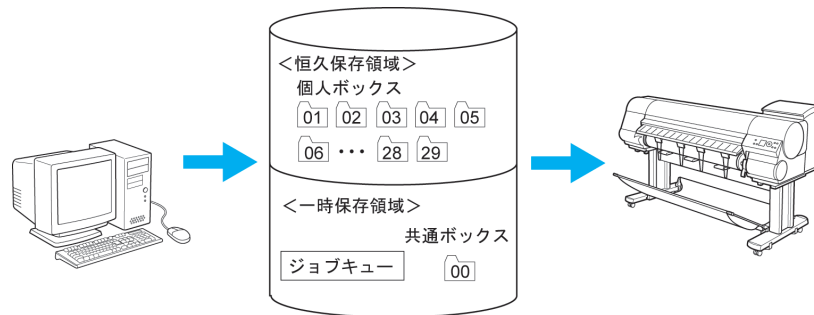
印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存するときは、[出力方法]（Windows）または[ジョブの出力方法]（Mac OS X）を選択します。[出力方法]（Windows）または[ジョブの出力方法]（Mac OS X）には[印刷]、[印刷（自動消去）]、[ボックス保存]の 3 種類があり、オプションとして[保存完了後に印刷する]を選択することができます。

- [印刷]
  印刷と同時に自動的に印刷ジョブをプリンタに保存します。（初期値）
- [印刷（自動消去）]
  印刷と同時に一時的に印刷ジョブを保存し、印刷後に印刷ジョブを消去します。

- [ボックス保存]
  印刷ジョブをプリンタに保存します。
- [保存完了後に印刷する]
  [印刷]、[印刷(自動消去)]、または[ボックス保存]のオプションとして選択できます。印刷ジョブをいったんハードディスクに保存した後、印刷を開始します。

メモ

- HP-GL/2 で印刷した場合は[出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)を選択することはできません。[出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)は[印刷]になります。

保存場所

プリンタのハードディスクの保存領域は、一時保存領域と恒久保存領域に分かれています。印刷ジョブは、一時保存領域のジョブキューか共通ボックス、または恒久保存領域の個人ボックスに保存されます。

- ジョブキュー

  実行中(*1)の印刷ジョブは、一時的にジョブキュー(処理する順番にジョブを格納する領域)に保存されます。
  最大 10 個のジョブを保存できます。それ以上のジョブは処理待ちの状態になります。
  *1: 保存中、受信中、処理準備中、処理中、印刷中、中断中または削除中のジョブ

- 共通ボックス

  コンピュータから送信した印刷ジョブは、[出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[印刷]を選択した場合、共通ボックスに保存されます。
  共通ボックスは 1 個で、ボックス番号は[00]です。暗証番号は設定できません。
  最大 100 個の印刷ジョブを保存できますが、以下の場合は、最終印刷日時の古い順に消去されます。

  - 共通ボックスとジョブキューの印刷ジョブの総数が 101 個以上の場合
  - [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)が[印刷]または[印刷(自動消去)]の印刷ジョブを受信中に、一時保存領域の空き容量がなくなった場合
  - [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)が[ボックス保存]の印刷ジョブを受信中に、一時保存領域と恒久保存領域に必要な空き容量がなくなった場合

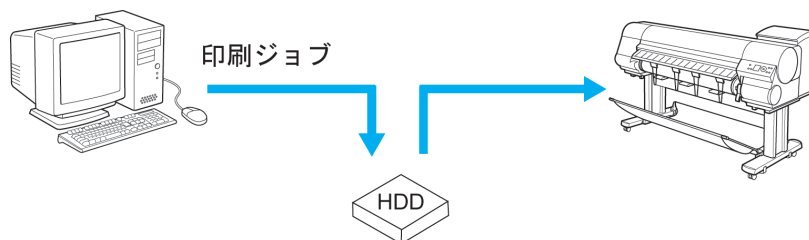
- 個人ボックス

  以下のいずれかの方法で、個人ボックスに印刷ジョブを保存することができます。

  - 共通ボックスに保存されている印刷ジョブを個人ボックスに移動したとき
  - [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[ボックス保存]を選択したとき

  個人ボックスは 29 個で、ボックス番号は[01]～[29]です。個人ボックスごとに、名前と暗証番号を設定できます。
  全個人ボックス合わせて最大 100 個の印刷ジョブを保存することができます。

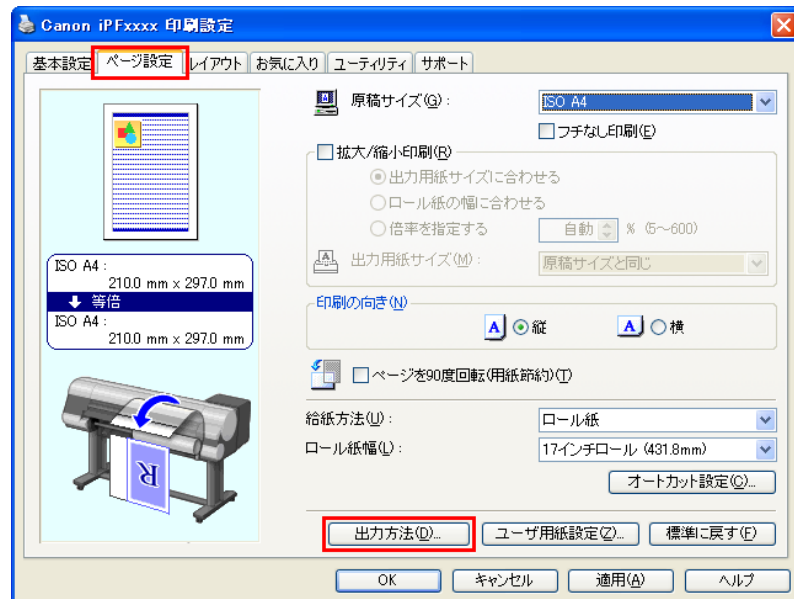
印刷ジョブを保存する

プリンタのハードディスクに印刷ジョブを保存することができます。

下記の方法で、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを保存することができます。

- プリンタドライバ(Windows)の場合 →P.527
- HDI ドライバ →P.332 (Windows)の場合
  [出力方法を設定する]の項目を参照してください。
- フリーレイアウト →P.240 (Windows)の場合
  [出力方法]ダイアログボックスの項目を参照してください。
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.269 (Windows)の場合
  [出力設定]シートの[出力方法]ボタンの項目を参照してください。
- [imagePROGRAF Preview](Windows)の場合
  印刷ジョブの保存形式はプリンタドライバでの設定を引き継ぎます。(「プリンタドライバ(Windows)の場合」参照) →P.527

- プリンタドライバ(Mac OS)の場合 →P.528
- Free Layout(Mac OS)の場合
  印刷ジョブの保存形式はプリンタドライバでの設定を引き継ぎます。(「プリンタドライバ(Mac OS)の場合」参照) →P.528
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.479 (Mac OS)の場合
  [出力設定]パネルの[出力方法]ボタンの項目を参照してください。
- [imagePROGRAF Preview](Mac OS)の場合
  印刷ジョブの保存形式はプリンタドライバでの設定を引き継ぎます。(「プリンタドライバ(Mac OS)の場合」参照) →P.528
  ただし、文書名は imagePROGRAF になります。

プリンタドライバ(Windows)の場合

1. [ページ設定]シートを表示します。

2. [出力方法]をクリックし、[出力方法]ダイアログボックスを開きます。

3. [出力方法]を選択します。

- [印刷]
  印刷と同時に自動的に印刷ジョブをプリンタに保存します。(初期値)
- [印刷(自動消去)]
  印刷と同時に一時的に印刷ジョブを保存し、印刷後に印刷ジョブを消去します。
- [ボックス保存]
  印刷ジョブをプリンタに保存します。

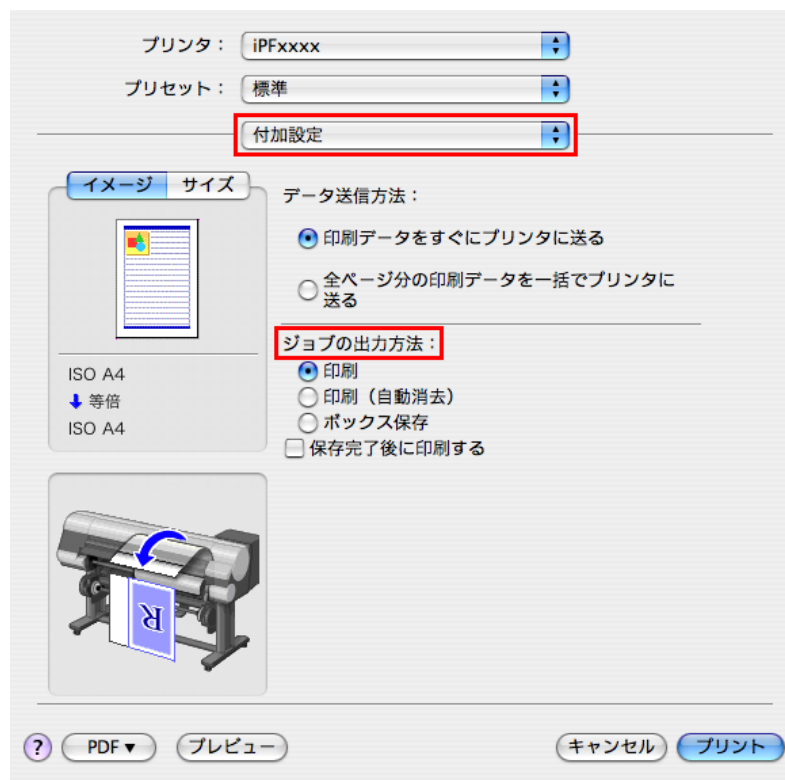
[ボックス保存]を選択した場合は、[ボックス]の一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。

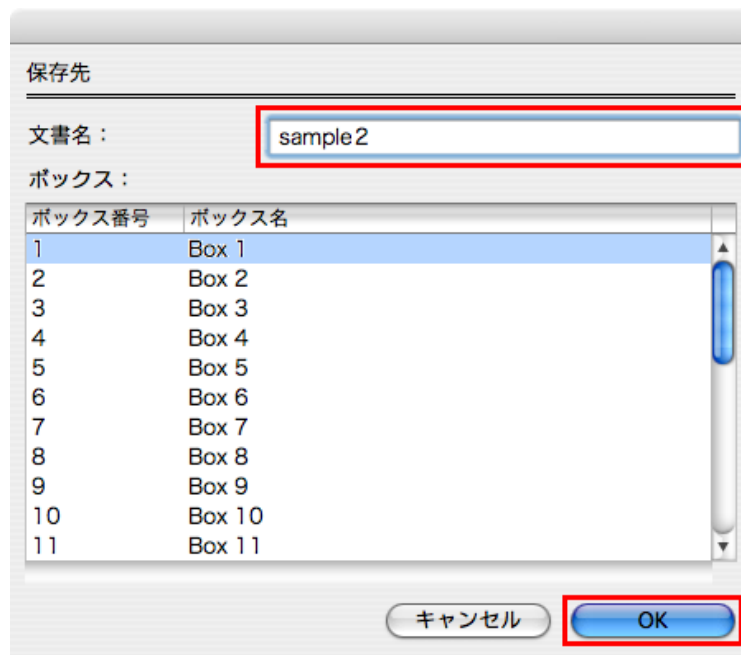
メモ
- [ボックス名の取得]をクリックすると、プリンタから取得した個人ボックスの名前が[ボックス]の一覧に表示されます。
- [保存完了後に印刷する]
  [印刷]、[印刷(自動消去)]、または[ボックス保存]のオプションとして選択できます。印刷ジョブをいったんハードディスクに保存した後、印刷を開始します。

4. [保存するデータの名称]で、印刷ジョブの保存名を指定します。
   - ファイル名をそのまま使用する場合は、[ファイル名を使用]を選択します。
   - ファイル名を使用しない場合は、[手入力で指定]を選択し、[名称]に保存名を入力します。

5. [OK]をクリックし、[出力方法]ダイアログボックスを閉じます。

プリンタドライバ(Mac OS)の場合

1. [付加設定]パネルを表示します。

2. [ジョブの出力方法]を選択します。
   - [印刷]
     印刷と同時に自動的に印刷ジョブをプリンタに保存します。
   - [印刷(自動消去)]
     印刷と同時に一時的に印刷ジョブを保存し、印刷後に印刷ジョブを消去します。
   - [ボックス保存]
     印刷ジョブをプリンタに保存します。

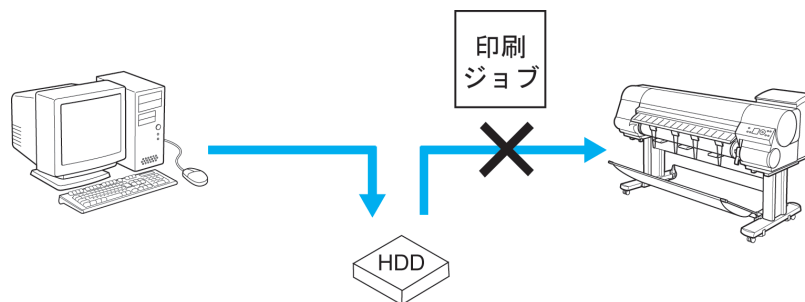
[ボックス保存]を選択した場合は、[保存先]ダイアログボックスが表示されます。印刷ジョブの保存名と保存先の個人ボックス番号を指定します。

1. [文書名]に、印刷ジョブの保存名を入力します。
2. [ボックス]の一覧から保存先の個人ボックス番号を選択します。
3. [OK]をクリックし、[保存先]ダイアログボックスを閉じます。

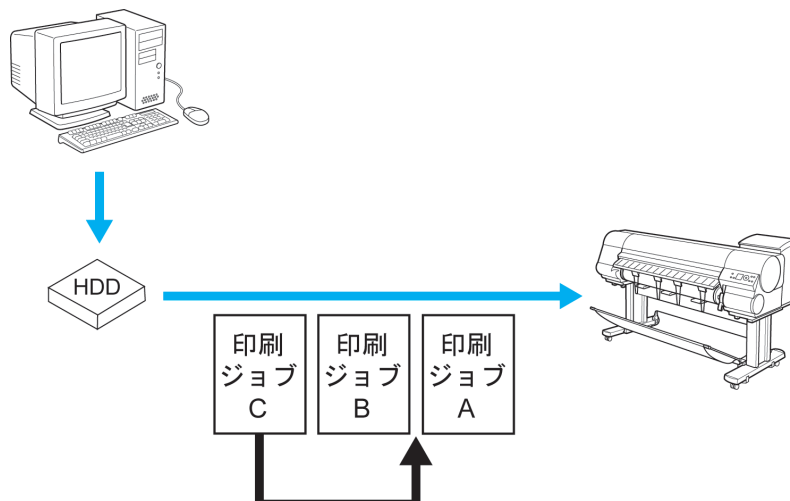
メモ

- [保存完了後に印刷する]
  [印刷]、[印刷(自動消去)]、または[ボックス保存]のオプションとして選択できます。印刷ジョブをいったんハードディスクに保存した後、印刷を開始します。

印刷待ちのジョブを操作する(削除、追い越し印刷)

印刷ジョブの状態によって、印刷ジョブの削除または印刷の順序を変更して印刷する追い越し印刷ができます。
印刷ジョブの状態は、操作パネル、リモート UI、imagePROGRAF Status Monitor(Windows)、imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)で確認できます。

- 印刷待ちジョブの削除
  印刷ジョブの状態に、削除中と表示されているジョブは削除できません。

- 追い越し印刷

印刷ジョブの状態に、受信中または処理準備中と表示されているジョブは追い越し印刷ができます。

下記の方法で、印刷待ちのジョブを操作することができます。

- 操作パネルの場合 →P.530
- リモート UI の場合 →P.531
- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合 →P.531
- imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合 →P.531

操作パネルの場合

1. [メニュー]キーを押して、[印刷中ﾒﾆｭｰ]を表示します。

2. 印刷待ちのジョブを操作します。

- 印刷待ちのジョブを削除する場合

  1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ管理ﾒﾆｭｰ]を選択し、[OK]キーを押します。
  2. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷ｼﾞｮﾌﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。
  3. [▲]キー、[▼]キーを押して削除する印刷ジョブを選択し、[▶]キーを押します。
  4. [▲]キー、[▼]キーを押して[削除]を選択し、[OK]キーを押します。

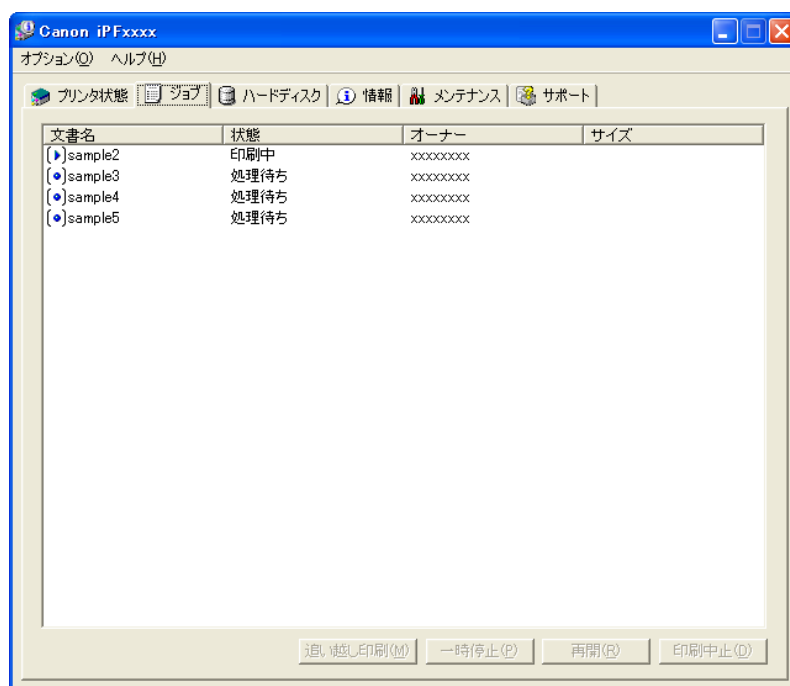
- 印刷の順番を変更する場合

  1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ管理ﾒﾆｭｰ]を選択し、[OK]キーを押します。
  2. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷ｼﾞｮﾌﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。
  3. [▲]キー、[▼]キーを押して優先して印刷するジョブを選択し、[▶]キーを押します。
  4. [▲]キー、[▼]キーを押して[追い越し]を選択し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

[印刷ジョブ]ページで印刷ジョブを選択し、機能を選択します。詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

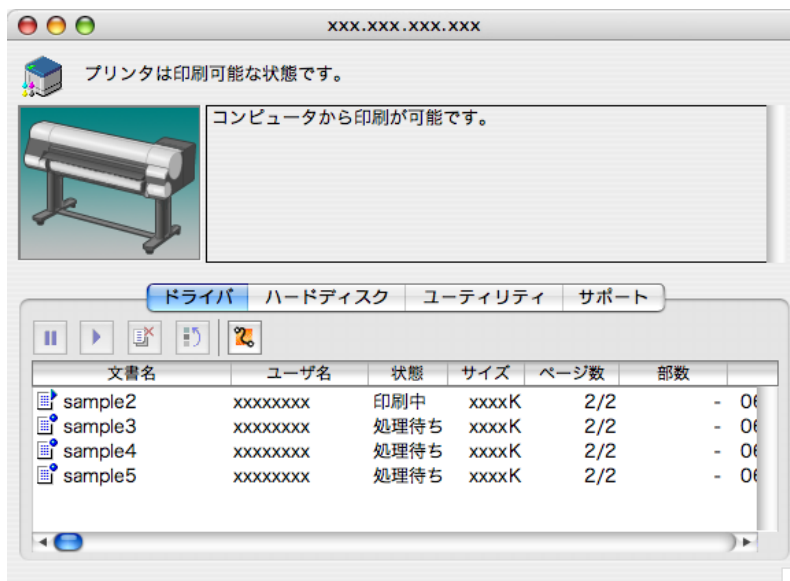
[ジョブ]シートで、印刷ジョブを選択し、実行したい機能を選択します。機能には下記のものがあります。

- 追い越し印刷
- 一時停止
- 再開
- 印刷中止

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

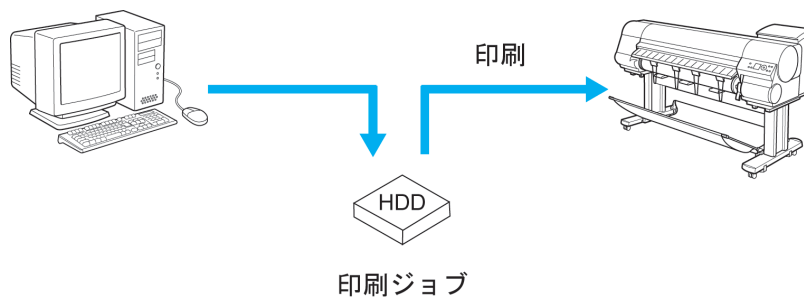
[ドライバ]パネルで、印刷ジョブを選択し、実行したい機能を選択します。機能には下記のものがあります。

- 追い越し印刷
- 一時停止
- 再開

- 印刷中止

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブを印刷する

下記の方法で、プリンタのハードディスクに保存したジョブ（保存ジョブ）を印刷することができます。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合
- imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

操作パネルの場合

1. ［メニュー］キーを押して、［メインメニュー］を表示します。

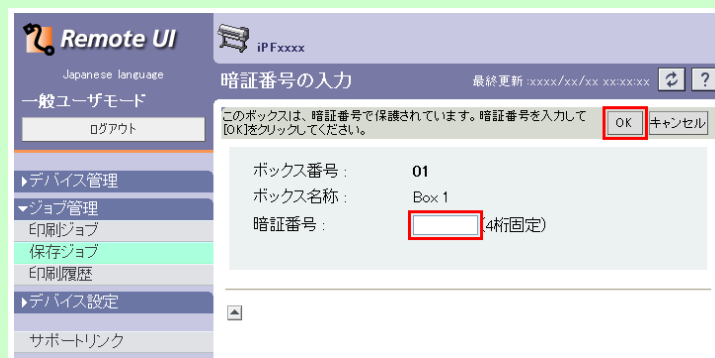
2. 保存ジョブを印刷します。

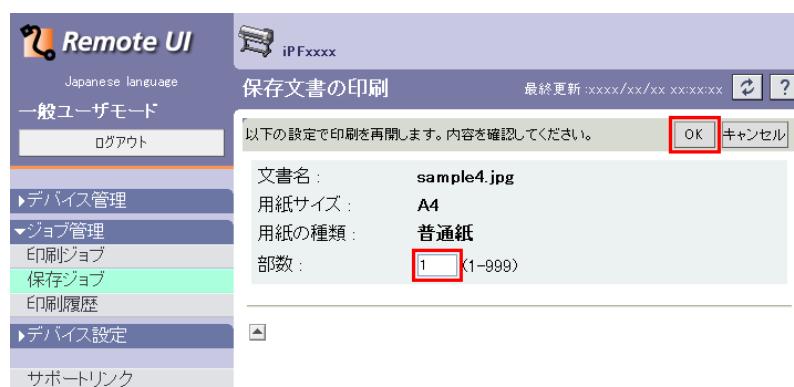
1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ 管理]を選択し、[▶]キーを押します。
2. [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ｼﾞｮﾌﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。
3. [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]～[29])を選択し、[▶]キーを押します。
4. 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ ﾘｽﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。
6. [▲]キー、[▼]キーを押して印刷する保存ジョブを選択し、[▶]キーを押します。
7. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷]を選択し、[▶]キーを押します。
8. 印刷部数を設定し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、ボックスを選択します。

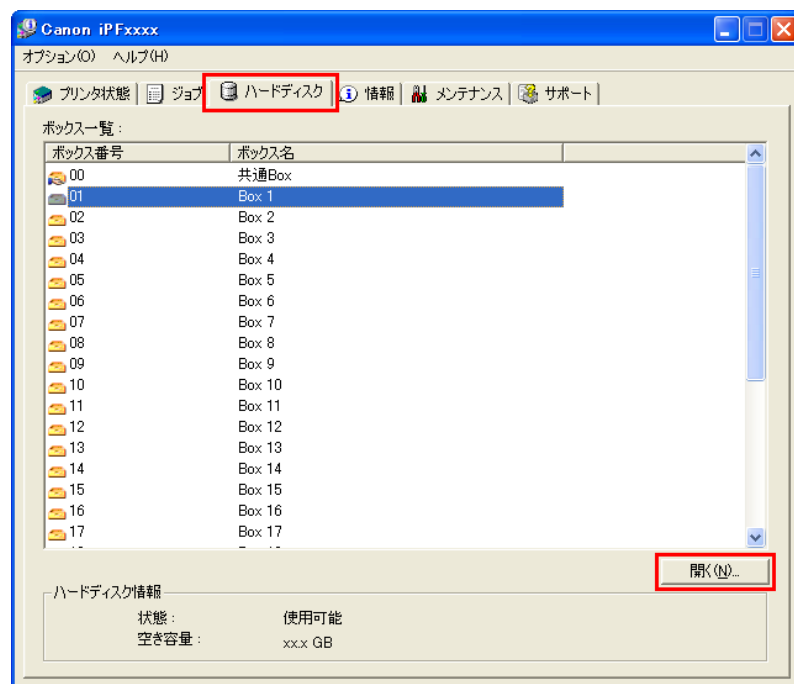
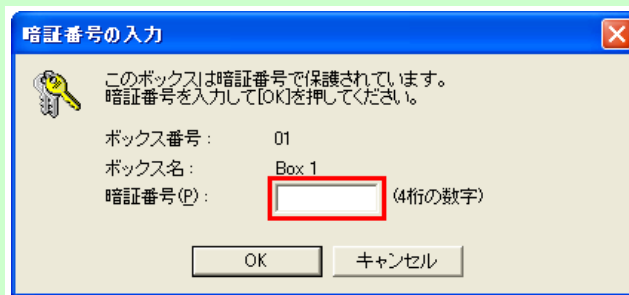
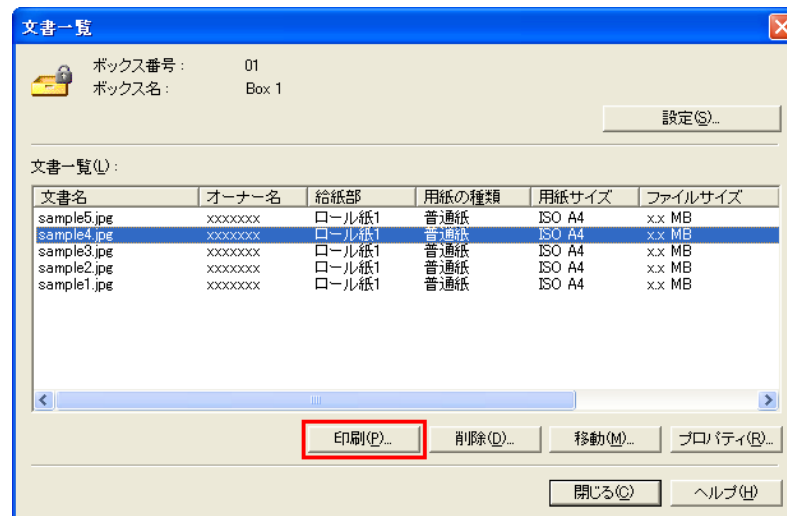
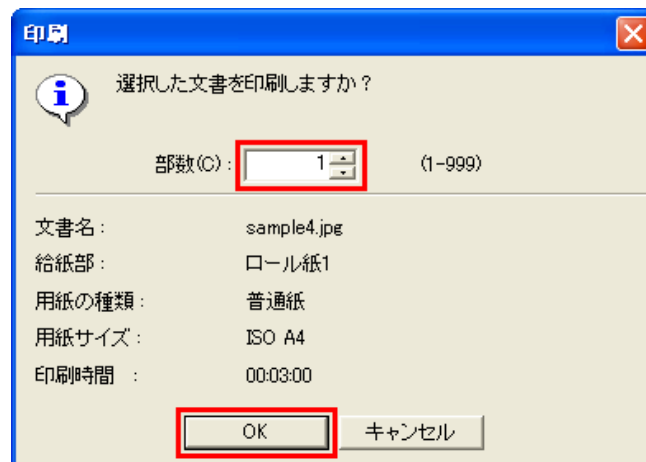
メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[印刷]をクリックします。

3. [保存文書の印刷]ページで、[部数]に印刷部数を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor の場合

1. [ハードディスク]シートで、一覧からボックスを選択し、[開く]をクリックします。

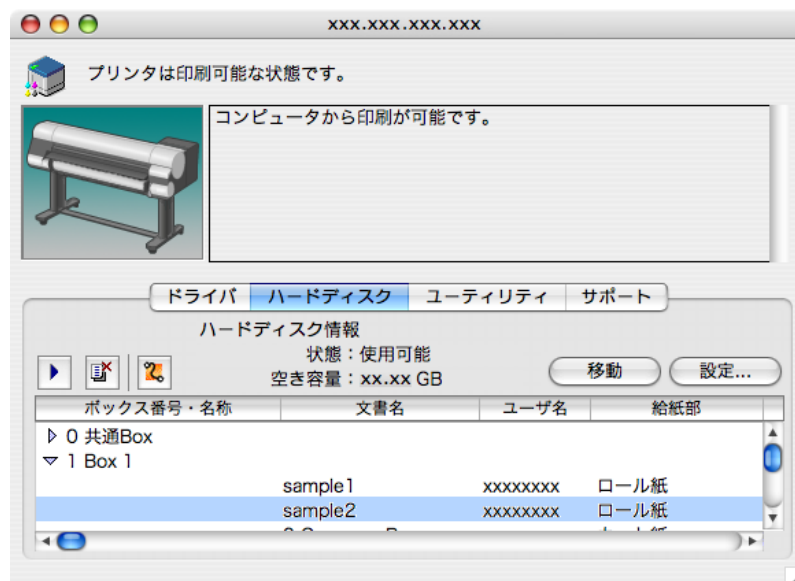
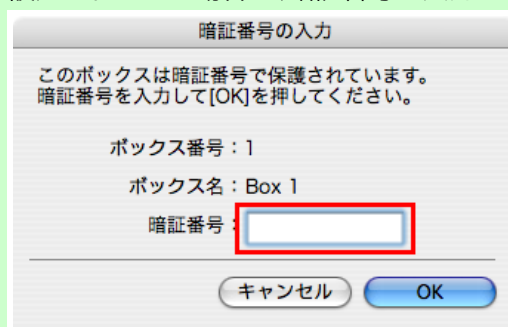
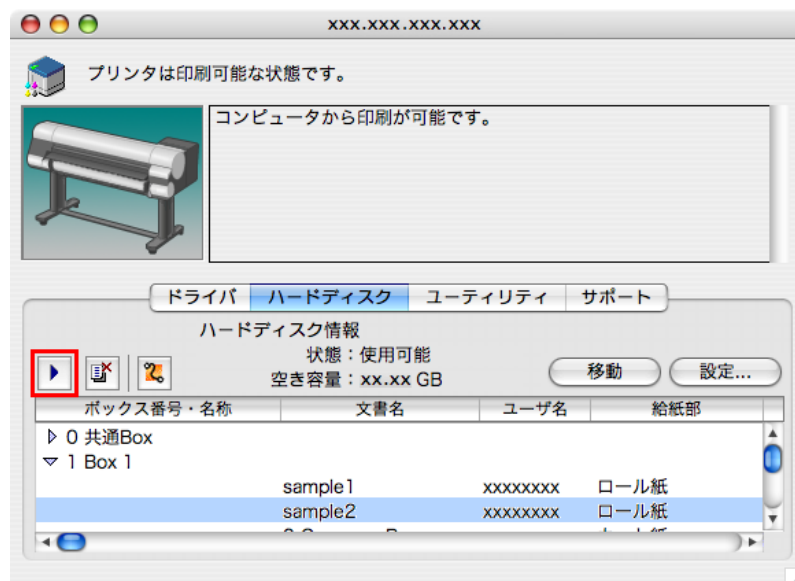
メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、一覧から保存ジョブを選択し、[印刷]をクリックします。

3. [印刷]ダイアログボックスで、[部数]に印刷部数を入力し、[OK]をクリックします。

メモ

- 印刷時間には、前回の印刷で 1 部を印刷するのにかかった時間がはじめに表示されます。[部数]を変更した場合、印刷時間には、前回の印刷で 1 部を印刷するのにかかった時間に部数を掛けた時間が表示されます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor の場合

1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号･名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[印刷再開]ボタンをクリックして[印刷再開]ダイアログを開きます。

3. 部数を設定して[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブを削除する

共通ボックス、個人ボックスに保存したジョブ(保存ジョブ)は、削除することができます。
下記の方法で、保存ジョブを削除することができます。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合
- imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

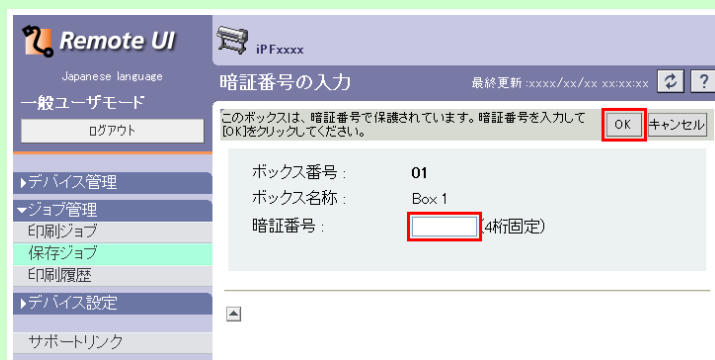
操作パネルの場合

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. 保存ジョブを削除します。

   1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ジョブ管理]を選択し、[▶]キーを押します。
   2. [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ジョブ]を選択し、[▶]キーを押します。
   3. [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]〜[29])を選択し、[▶]キーを押します。
   4. 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。
   5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ジョブリスト]を選択し、[▶]キーを押します。
   6. [▲]キー、[▼]キーを押して削除する保存ジョブを選択し、[▶]キーを押します。
   7. [▲]キー、[▼]キーを押して[削除]を選択し、[▶]キーを押します。

8. 削除する保存ジョブを確認し、[OK]キーを押します。

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、ボックスを選択します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

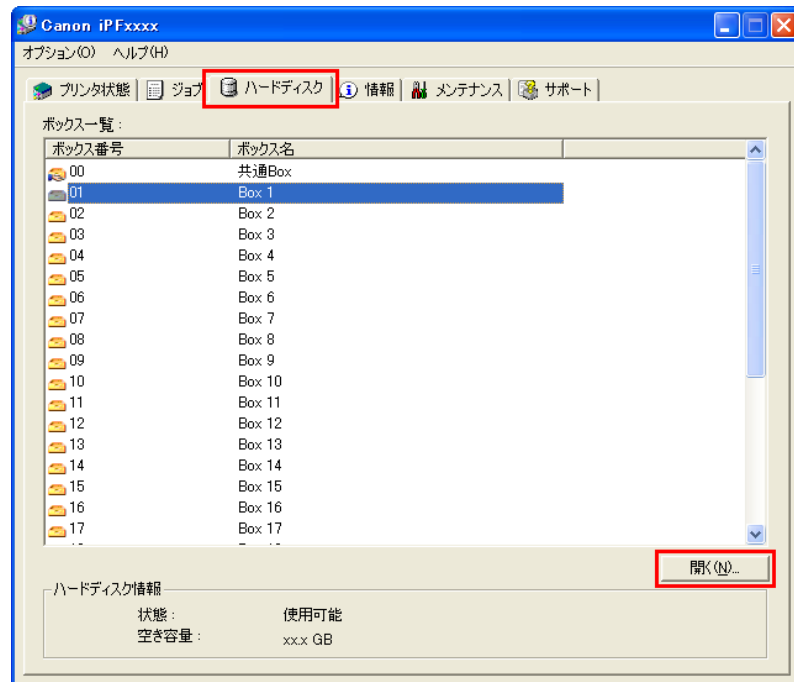
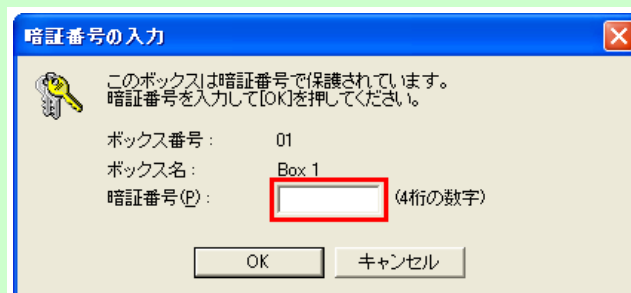
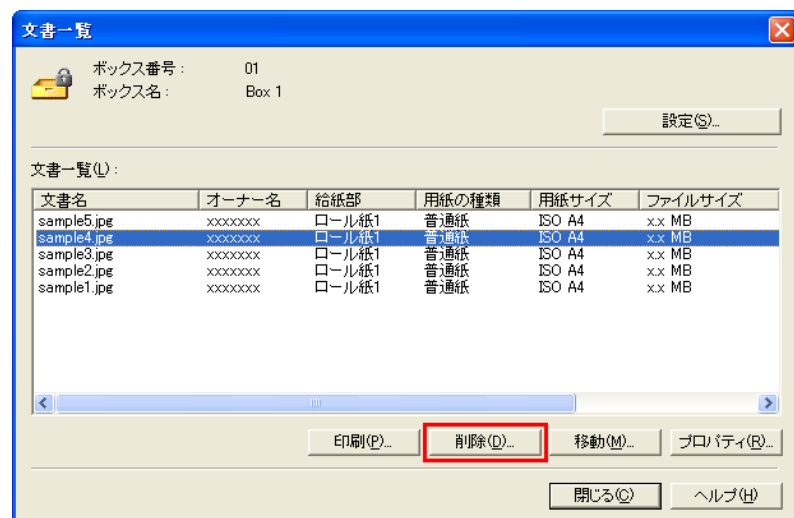
2. 一覧から保存ジョブを選択し、[削除]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

6

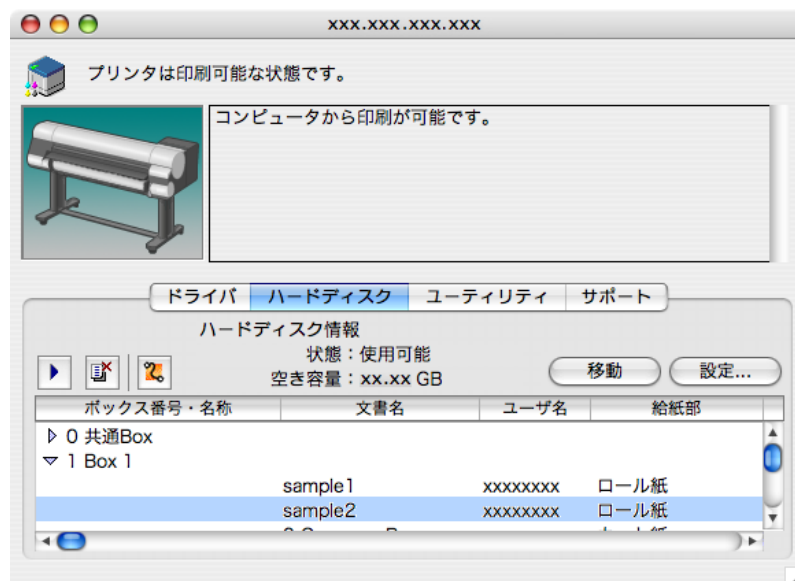
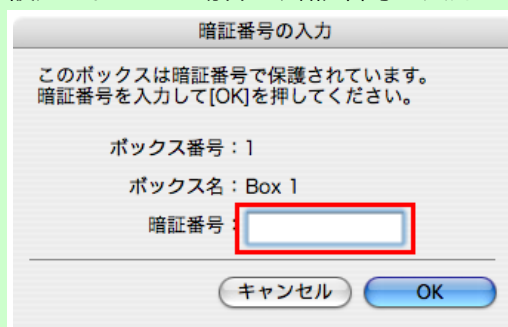
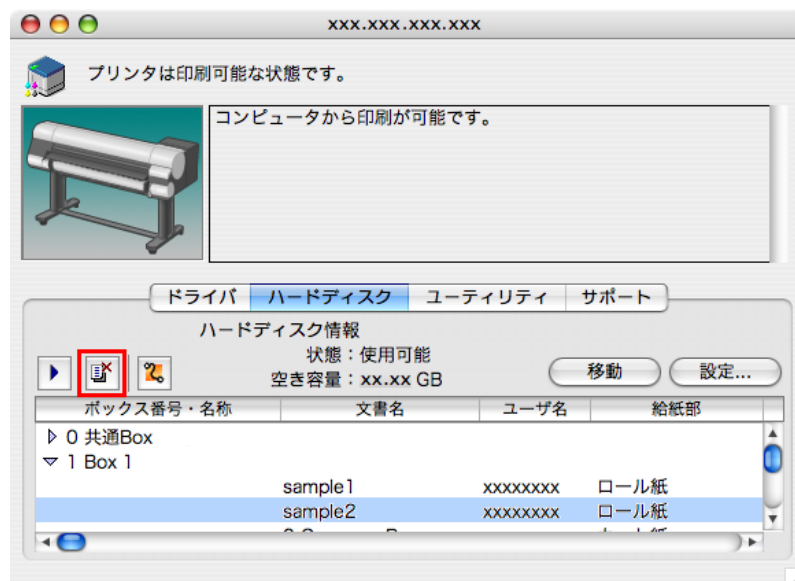
imagePROGRAF Status Monitor の場合

1. [ハードディスク]シートで、一覧からボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、一覧から保存ジョブを選択し、[削除]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor の場合

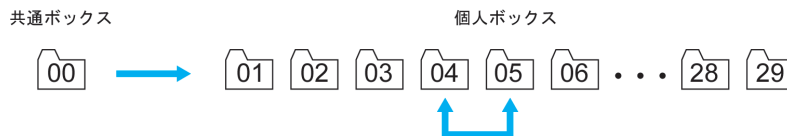
1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号･名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[削除]ボタンをクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブを移動する

[出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[印刷]を選択した印刷ジョブは、ボックス番号[00]の共通ボックスに保存されます。ただし、共通ボックスに保存されたジョブ(保存ジョブ)は、以下の場合に、最終印刷日時が古い順に自動的に消去されます。

- 共通ボックスの保存ジョブとジョブキューの印刷ジョブの総数が 101 個以上の場合
- [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)が[印刷]または[印刷(自動消去)]の印刷ジョブを受信中に、一時保存領域の空き容量がなくなった場合
- [出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)が[ボックス保存]の印刷ジョブを受信中に、一時保存領域と恒久保存領域に必要な空き容量がなくなった場合

消去したくない保存ジョブは、ボックス番号[01]〜[29]の個人ボックスに移動することができます。(最大 100 個)
個人ボックス間で保存ジョブを移動することもできます。

下記の方法で、保存ジョブを移動することができます。

- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合
- imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

メモ
- 個人ボックスの保存ジョブは、共通ボックスに移動することはできません。

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、ボックスを選択します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

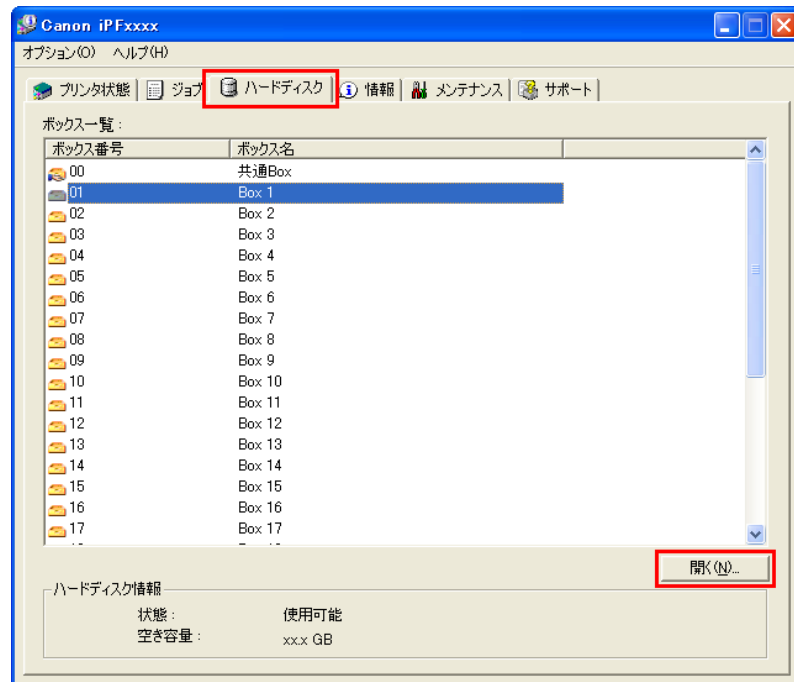
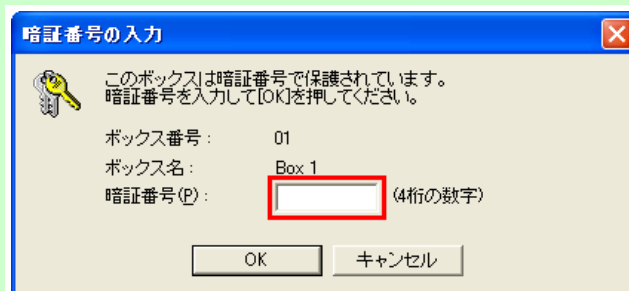
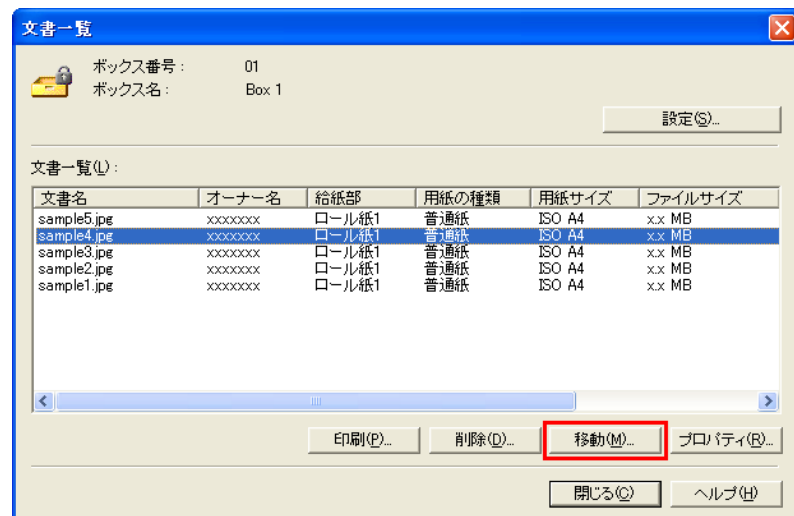
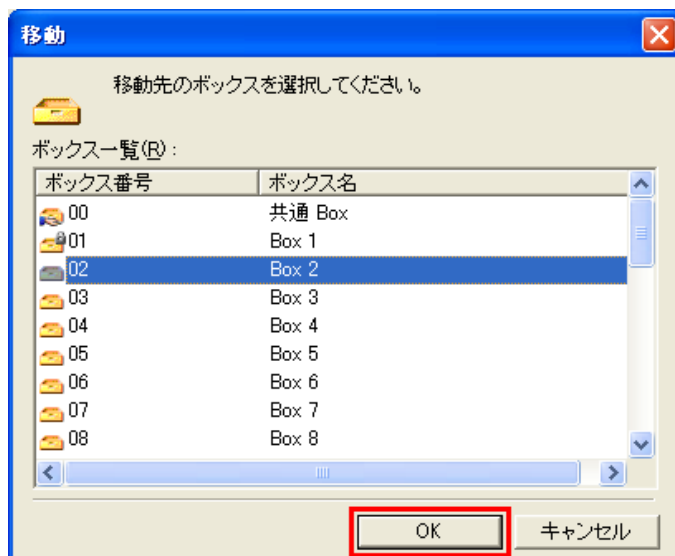
2. 一覧から保存ジョブを選択し、[移動]をクリックします。

3. [文書の移動]ページで、[移動先ボックス]の一覧から移動先の個人ボックス番号･名称を選択し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合

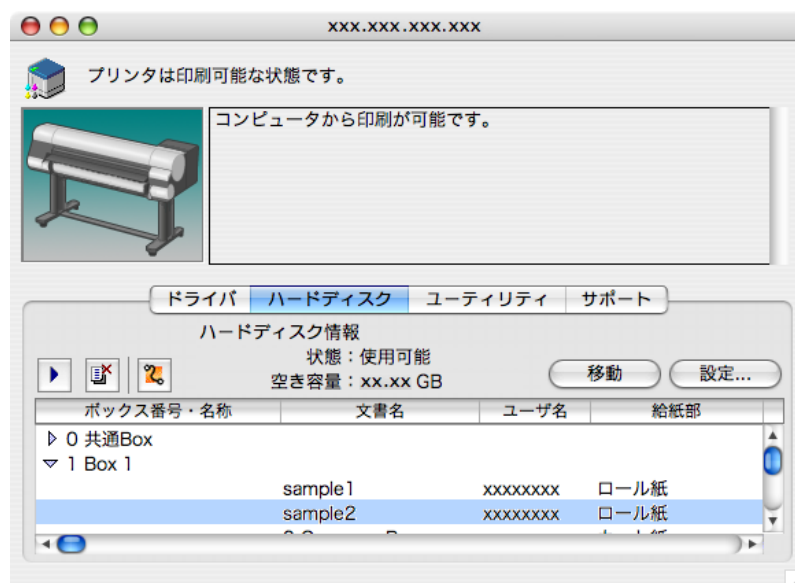
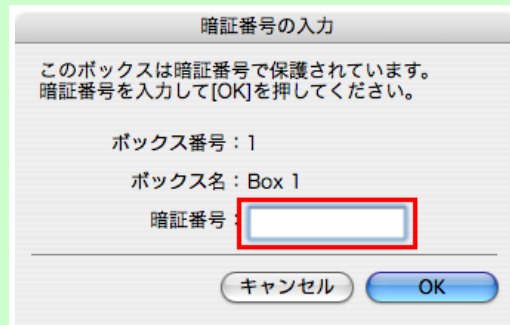
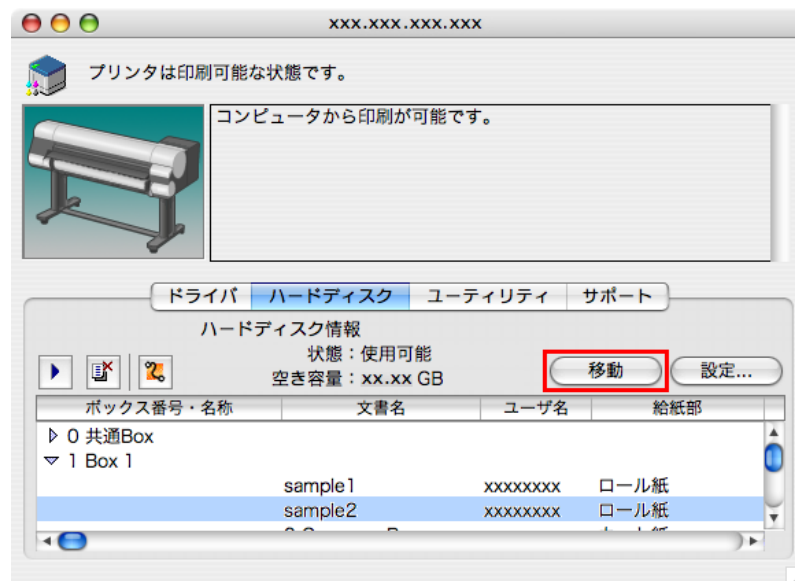
1. [ハードディスク]シートで、一覧からボックスを選択し、[開く]をクリックします。

> メモ
>
> • ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
>
>
>

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、一覧から保存ジョブを選択し、[移動]をクリックします。

3. [移動]ダイアログボックスで、移動先の個人ボックス番号を選択し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

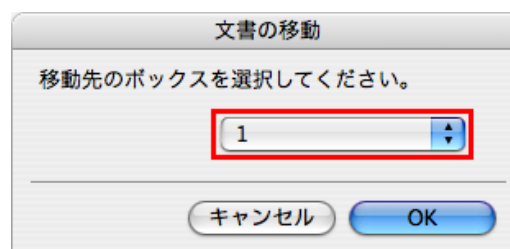
6

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

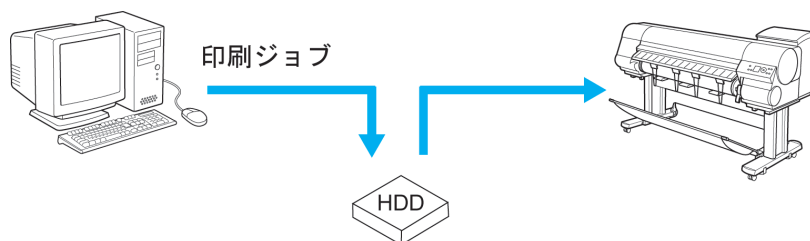
1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は 4 桁の数字です。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[移動]をクリックします。

3. [文書の移動]ダイアログボックスで、移動先の個人ボックス番号を選択し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

6

印刷ジョブのさまざまな操作

プリンタドライバ以外から送信された印刷ジョブを保存する

同梱のプリンタドライバ以外のソフトウェアやシステムなどから送信された印刷ジョブの保存について設定する場合は、プリンタのメニューで、[出力方法]と[保存完了後に印刷]を設定してください。

重要

- お使いのソフトウェアやシステムのこの機能への対応につきましては、お使いのソフトウェアまたはシステムの製造元にお問い合わせください。

[出力方法]を設定する

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｽﾃﾑ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[出力方法]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して出力方法を選択し、[OK]キーを押します。

   - [印刷]
     印刷と同時に自動的に印刷ジョブをプリンタに保存します。(初期値)
   - [印刷(自動消去)]
     印刷と同時に一時的に印刷ジョブを保存し、印刷後に印刷ジョブを消去します。
   - [ﾎﾞｯｸｽ保存<01>](数字はボックス番号)

印刷ジョブをプリンタに保存します。こちらを選択した場合は、手順 5 に進んで、保存するボックスを選択してください。

5. [▲]キー、[▼]キーを押してボックスを選択し、[OK]キーを押します。

[保存完了後に印刷]を設定する

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｽﾃﾑ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[保存完了後に印刷]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を選択し、[OK]キーを押します。
[ｵﾝ]を選択した場合、印刷ジョブをいったんハードディスクに保存した後、印刷を開始します。

印刷ジョブを共通ボックスに保存しない

コンピュータから送信した印刷ジョブは、プリンタドライバの[出力方法](Windows)または[ジョブの出力方法](Mac OS X)で[印刷]を選択した場合、共通ボックスに保存されます。(「印刷ジョブの保存について」参照)→P.524
プリンタのメニューの[共通ﾎﾞｯｸｽ保存]で[ｵﾌ]を選択すると、プリンタドライバの[出力方法]ダイアログボックスで[印刷]を選択した印刷ジョブは、印刷後に共通ボックスから削除されます。
機密性の高い印刷データを印刷する場合などに、この機能を使用します。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

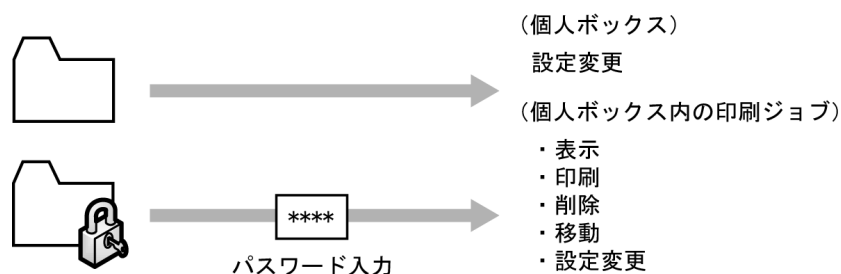
2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｽﾃﾑ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[共通ﾎﾞｯｸｽ保存]を選択し、[▶]キーを押します。

メモ
- プリンタにパスワードを設定している場合は、[ﾛｸﾞｵﾝ]画面が表示されます。
  設定を変更する場合は、[管理者]を選択し、[OK]キーを押してください。[管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]が表示されたら、パスワードを入力し、[OK]キーを押すと、次の手順に進みます。
  [一般ﾕｰｻﾞ]を選択し、[OK]キーを押した場合は、設定値を参照できますが、変更はできません。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾌ]を選択し、[OK]キーを押します。

個人ボックスに暗証番号を設定する

工場出荷時の状態では、個人ボックスに暗証番号は設定されていません。セキュリティのために、個人ボックスごとに暗証番号を設定することができます。暗証番号を設定すると、個人ボックスの設定変更、個人ボックスに保存されているジョブの表示、印刷、削除、移動、設定変更には暗証番号が必要になります。

メモ
- 共通ボックスには、暗証番号を設定できません。
- 暗証番号は 0001 から 9999 までの 4 桁の数字を入力してください。
- 暗証番号を設定しても、リモート UI の管理者モードでログオンするときは、設定した暗証番号を入力する必要はありません。

下記の方法で、個人ボックスに暗証番号を設定することができます。

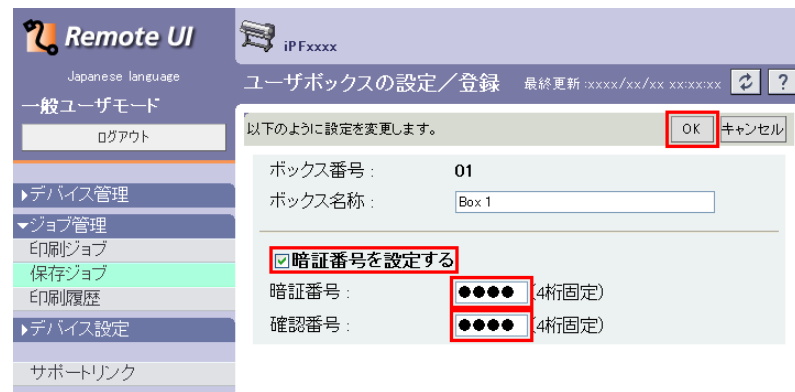
- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合
- imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、暗証番号を設定する個人ボックスを選択します。

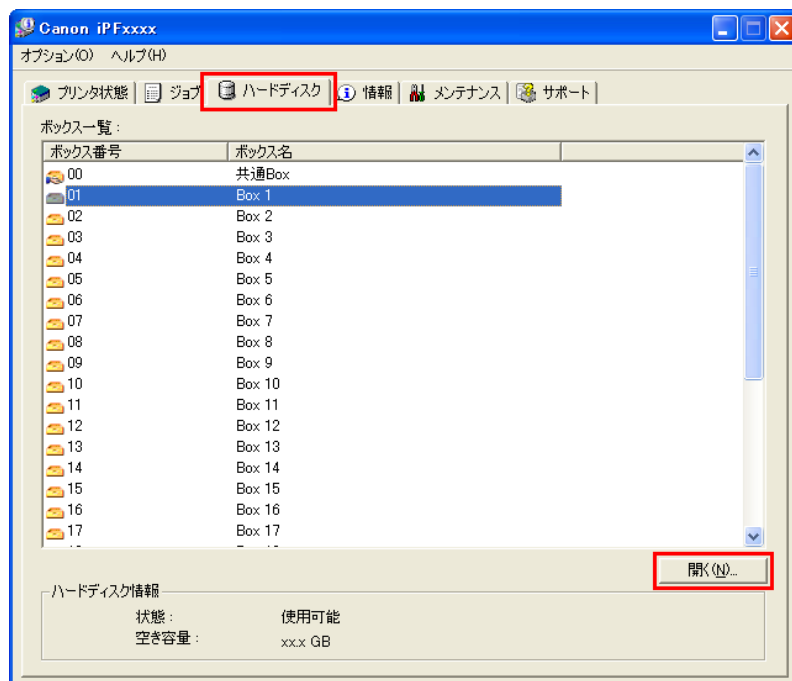
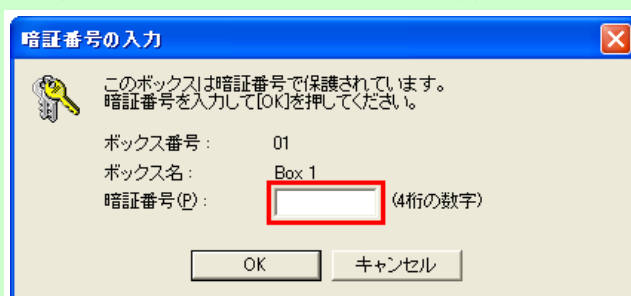
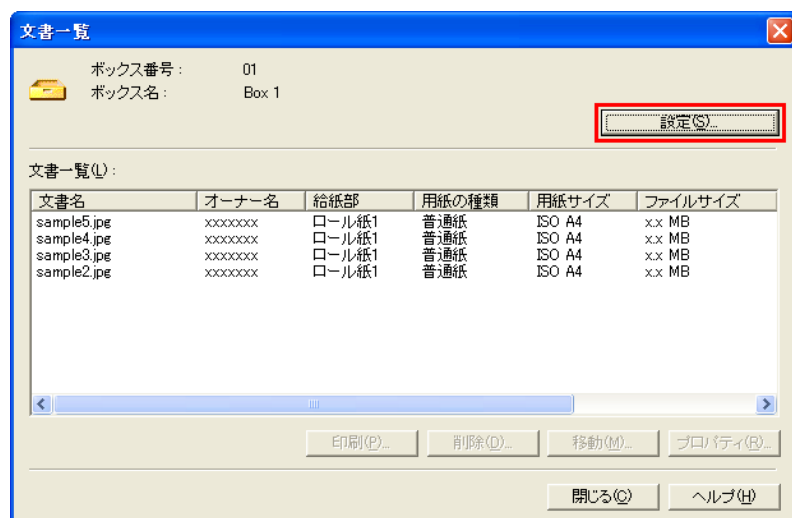
2. [変更]をクリックします。

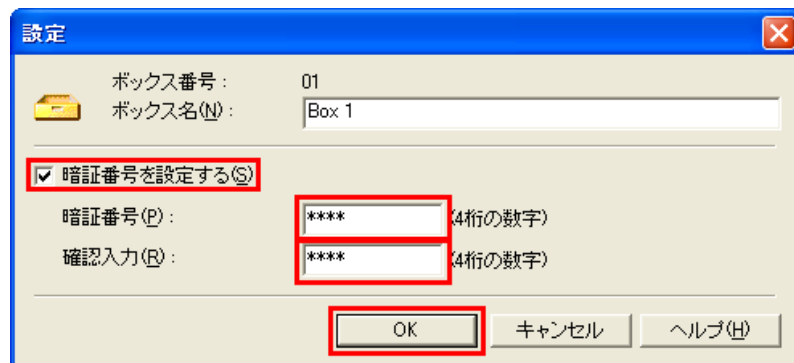
3. [ユーザボックスの設定/登録]ダイアログボックスで、暗証番号を設定し、[OK]をクリックします。

- [暗証番号を設定する]: チェックボックスをオンにします。
- [暗証番号]: 暗証番号を入力します。(4 桁固定、0001〜9999)
- [確認番号]: 確認用に暗証番号を入力します。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

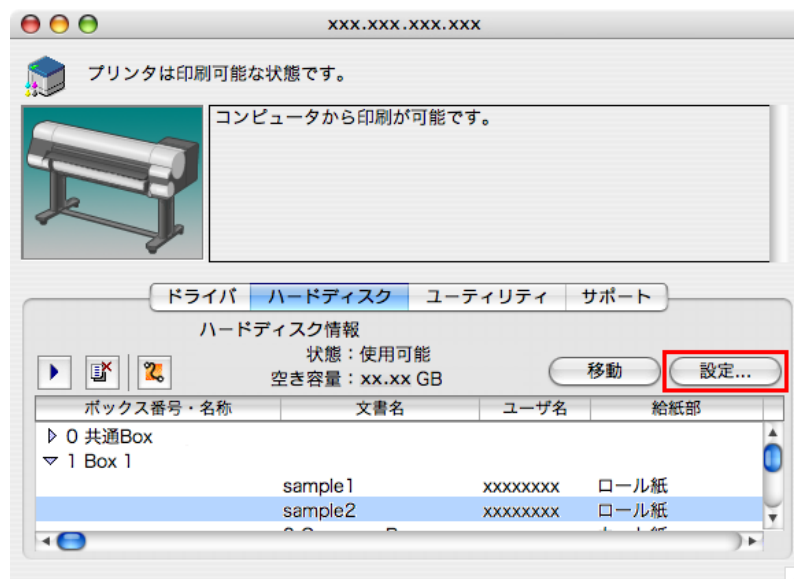
imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合

1. [ハードディスク]シートで、一覧から暗証番号を設定する個人ボックスを選択し、[開く]をクリックします。

> メモ
>
> • 個人ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
>
>
>

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、[設定]をクリックします。

3. [設定]ダイアログボックスで、暗証番号を設定し、[OK]をクリックします。

- [暗証番号を設定する]: チェックボックスをオンにします。
- [暗証番号]: 暗証番号を入力します。(4 桁固定、0001～9999)
- [確認入力]: 確認用に暗証番号を入力します。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。どれか一つのジョブを選択し、[設定]をクリックします。

2. [設定]ダイアログボックスで、暗証番号を設定し、[OK]をクリックします。

- [暗証番号の設定]: チェックボックスをオンにします。
- [暗証番号]: 暗証番号を入力します。(4 桁固定、0001～9999)
- [確認入力]: 確認用に暗証番号を入力します。

設定
ボックス
ボックス名の変更
ボックス番号： 1
ボックス名： Box 1
暗証番号の設定
暗証番号： ････ （4桁の数字）
確認入力： ････
文書名の変更
文書名： sample2
キャンセル OK

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

6

個人ボックスに名前を付ける

工場出荷時の状態では、個人ボックスに名前は付いていません。わかりやすいように、個人ボックスごとに名前を付けることができます。
下記の方法で、個人ボックスに名前を付けることができます。

- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合
- imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、名前を付ける個人ボックスを選択します。

メモ

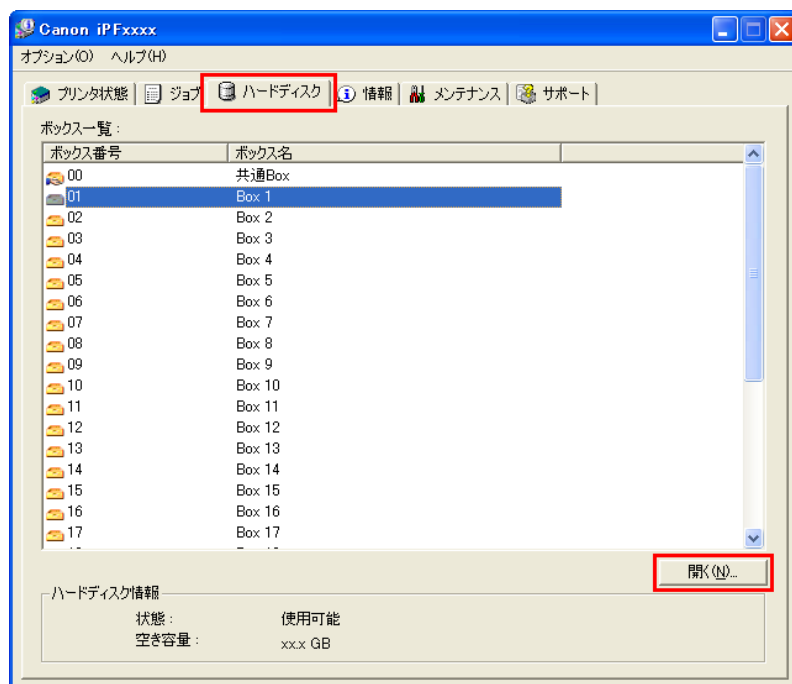
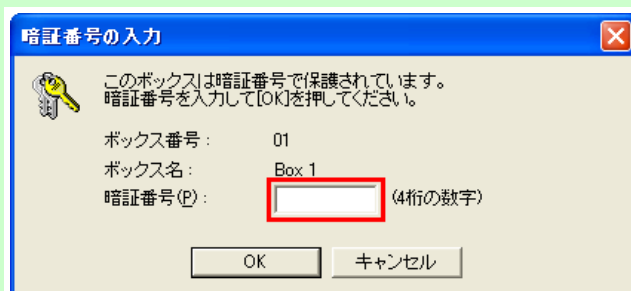
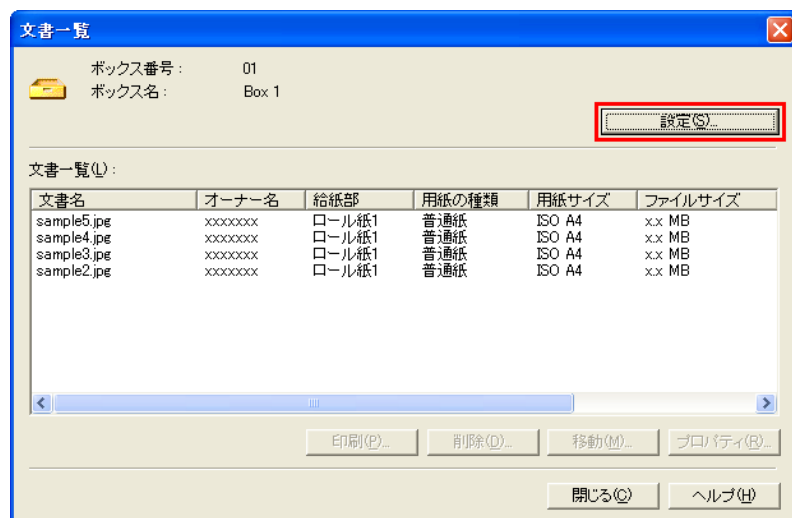
- 個人ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. [変更]をクリックします。

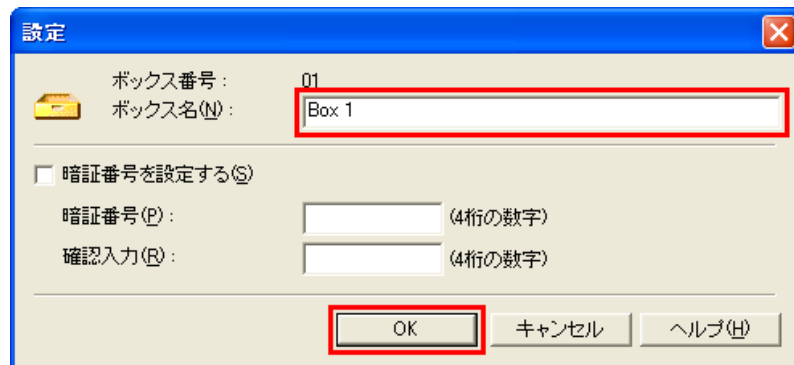
3. [ユーザボックスの設定/登録]ダイアログボックスで、[ボックス名称]に個人ボックスの名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

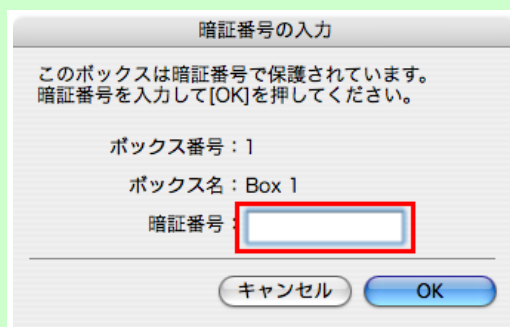
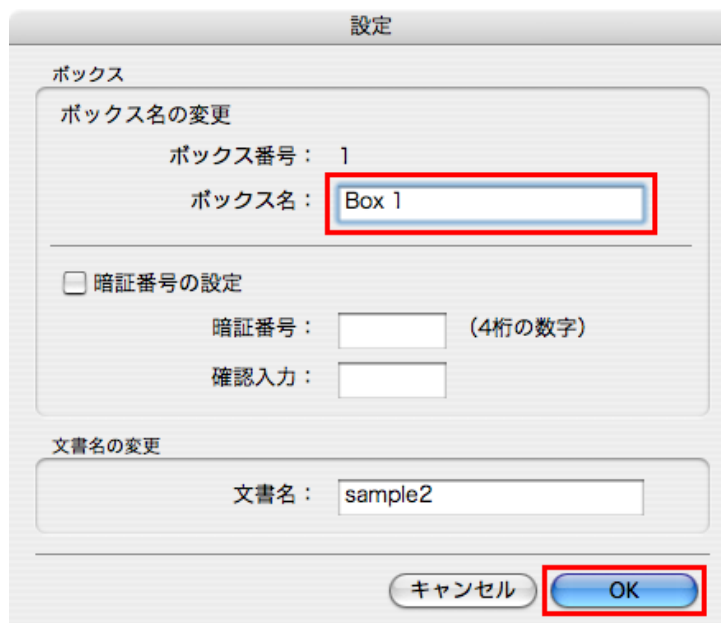
imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

1. [ハードディスク]シートで、一覧から名前を付ける個人ボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- 個人ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、[設定]をクリックします。

3. [設定]ダイアログボックスで、個人ボックスの名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。どれか一つのジョブを選択し、[設定]をクリックします。

2. [設定]ダイアログボックスで個人ボックスの名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブの一覧を表示する

保存したジョブ(保存ジョブ)の一覧は、共通ボックス、個人ボックスごとに表示することができます。
下記の方法で、保存ジョブの一覧を表示することができます。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合
- imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

操作パネルの場合

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

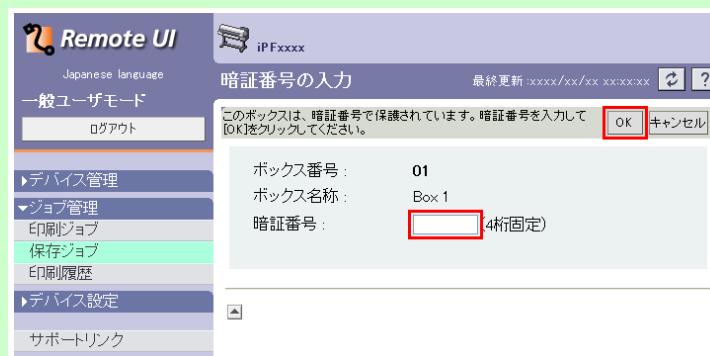
2. 保存ジョブの一覧を表示します。
   1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ 管理]を選択し、[▶]キーを押します。
   2. [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ｼﾞｮﾌﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。
   3. [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]〜[29])を選択し、[▶]キーを押します。
   4. 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ ﾘｽﾄ]を選択します。

リモート UI の場合

[保存ジョブ]ページでボックスを選択すると、ボックス内の保存ジョブの一覧が表示されます。

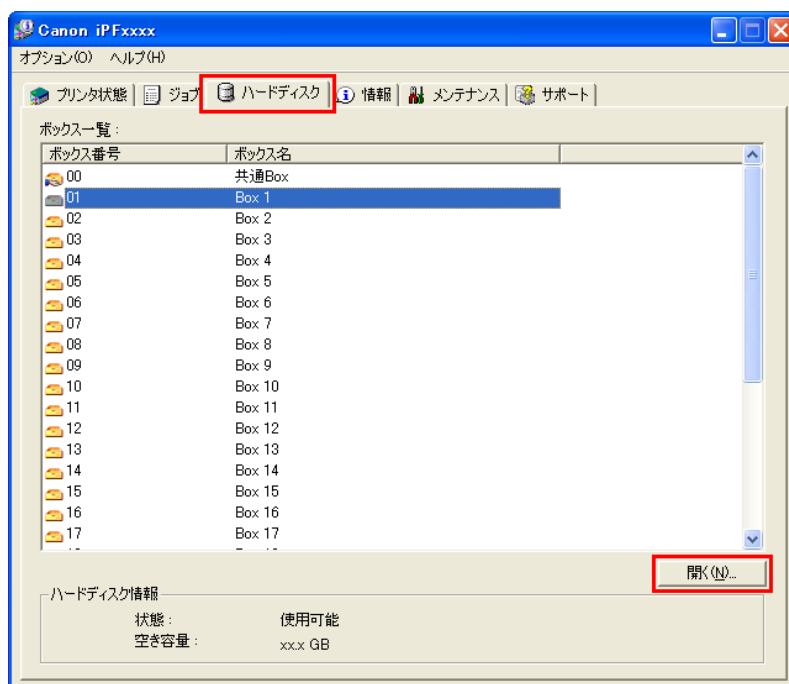
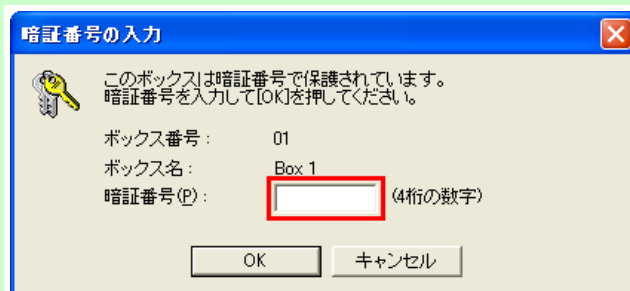
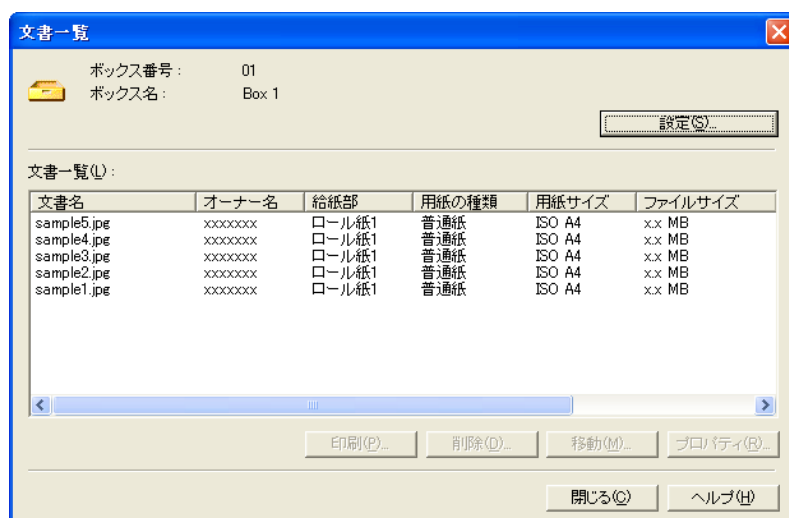
メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

ボックス内の保存ジョブの一覧が表示されます。

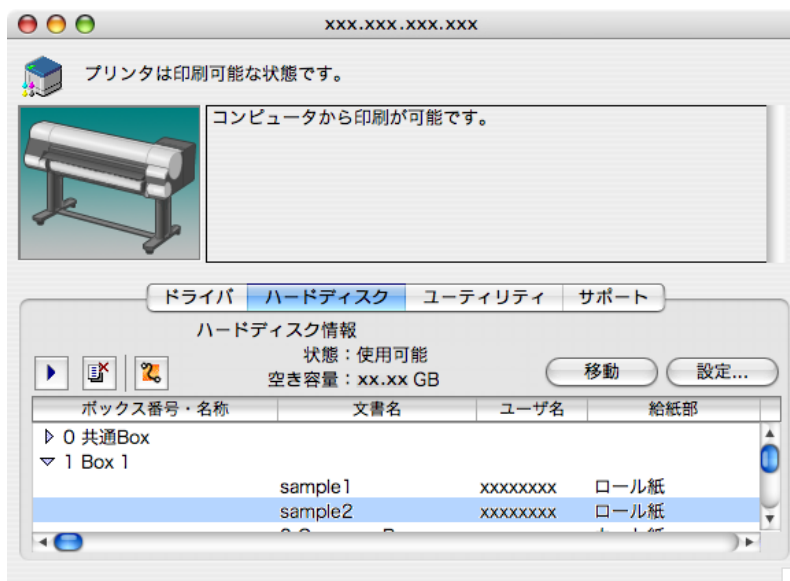
詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

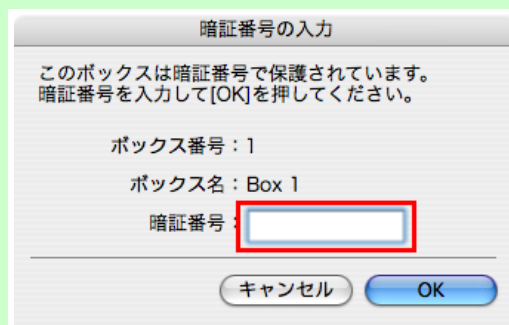
imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

[ハードディスク]シートで、一覧からボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

[文書一覧]ダイアログボックスに、ボックス内の保存ジョブの一覧が表示されます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

［ハードディスク］パネルで、［ボックス番号･名称］の［▶］をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は 4 桁の数字です。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブの一覧を印刷する

保存したジョブの一覧は、共通ボックス、個人ボックスごとに印刷することができます。
操作パネルで、保存ジョブの一覧を印刷することができます。

1. ［メニュー］キーを押して、［メインメニュー］を表示します。

2. 保存ジョブの一覧を印刷します。

   1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ 管理]を選択し、[▶]キーを押します。
   2. [▲]キー、[▼]キーを押して[保存ｼﾞｮﾌﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。
   3. [▲]キー、[▼]キーを押してボックス番号([00]～[29])を選択し、[▶]キーを押します。
   4. 暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力し、[OK]キーを押します。
   5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ ﾘｽﾄ印刷]を選択し、[▶]キーを押します。
   6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

保存したジョブの詳細を表示する

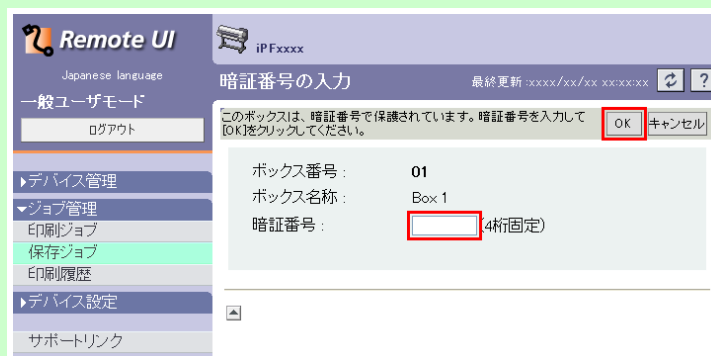
下記の方法で、保存したジョブの詳細を表示することができます。

- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合
- imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、ボックスを選択します。

メモ

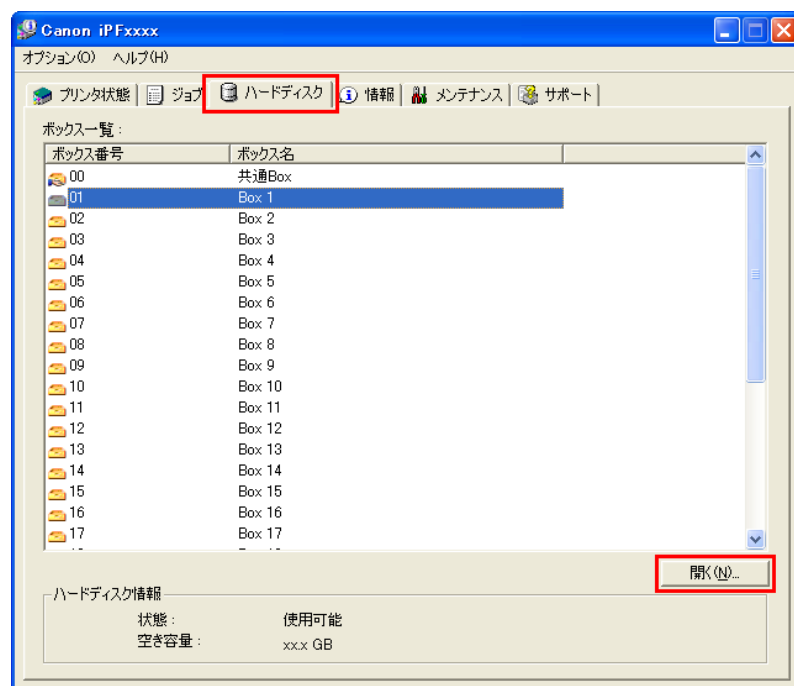
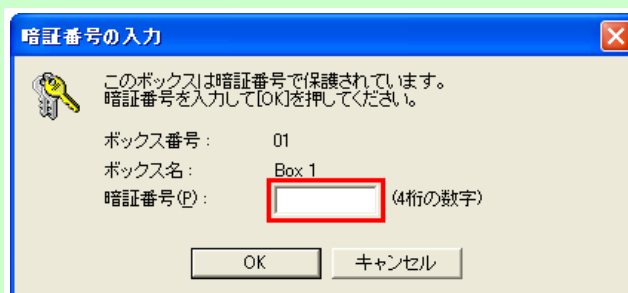
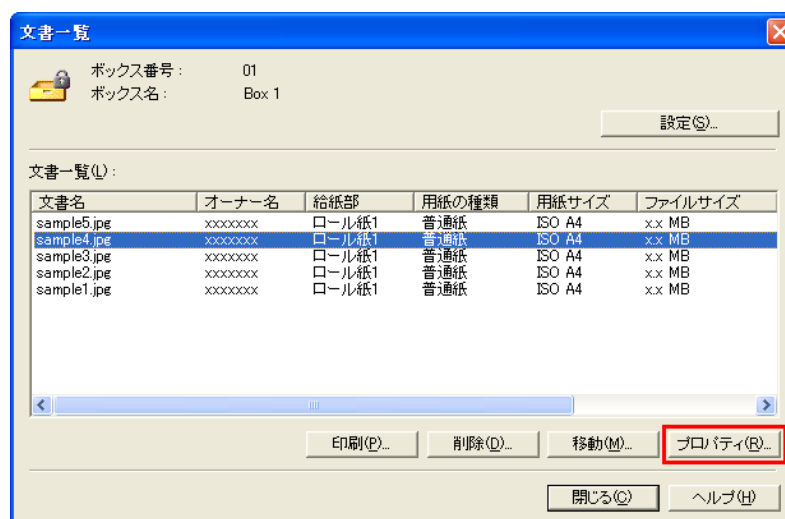
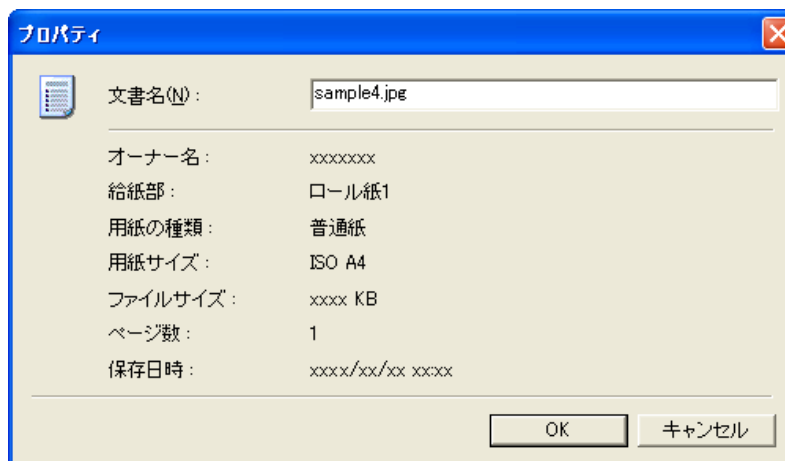
- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[詳細]をクリックします。

[保存文書の詳細]ページが表示されます。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

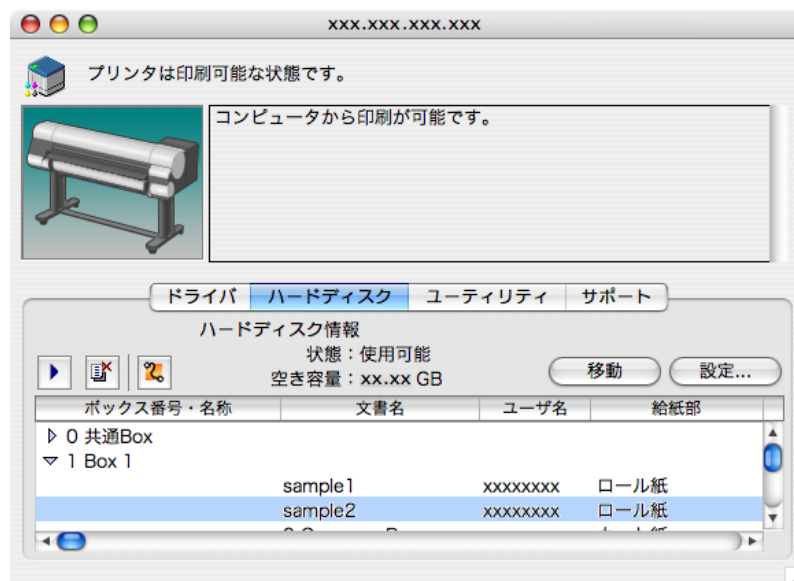
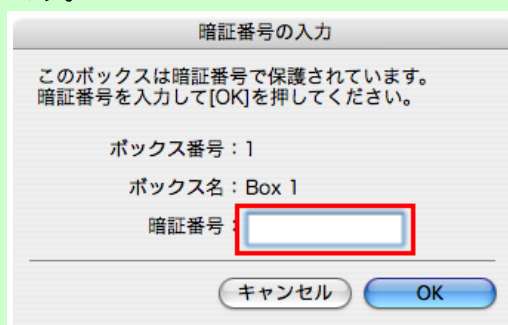
imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

1. [ハードディスク]シートで、一覧からボックスを選択し、[開く]をクリックします。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、一覧から保存ジョブを選択し、[プロパティ]をクリックします。

[プロパティ]ダイアログボックスが開きます。

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号・名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は 4 桁の数字です。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

保存したジョブの名前を変更する

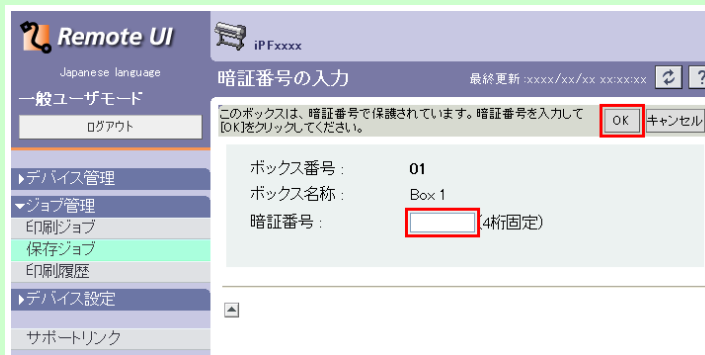
下記の方法で、保存したジョブの名前を変更することができます。

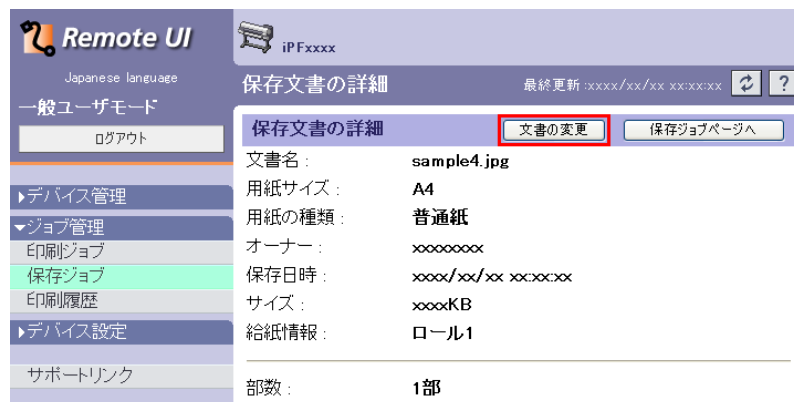
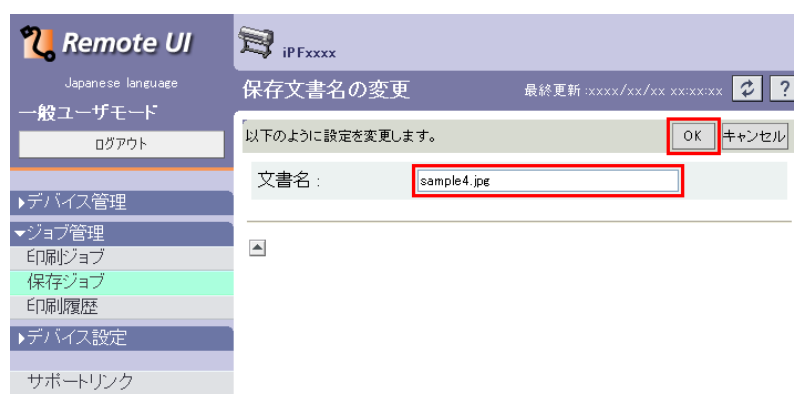
- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の場合
- imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

リモート UI の場合

1. [保存ジョブ]ページで、ボックスを選択します。

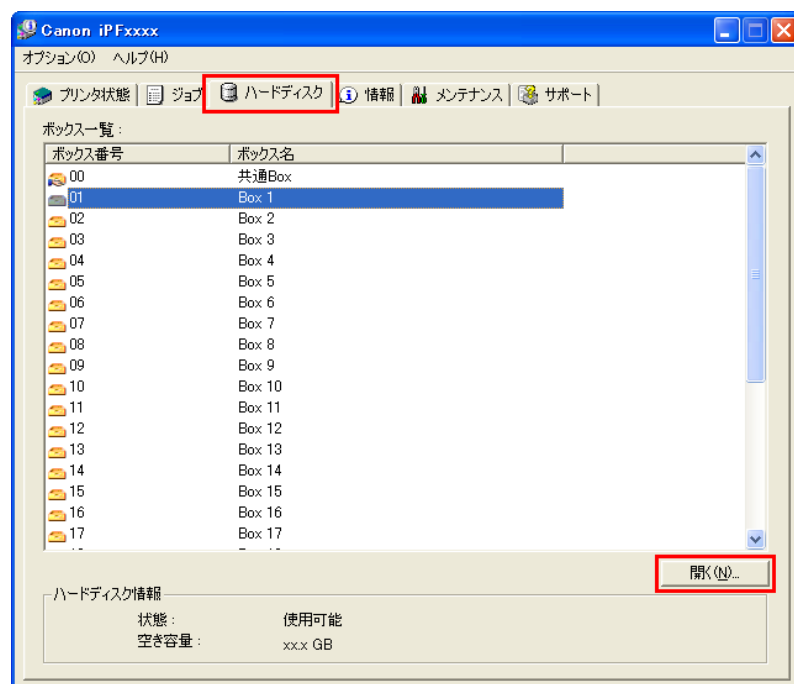
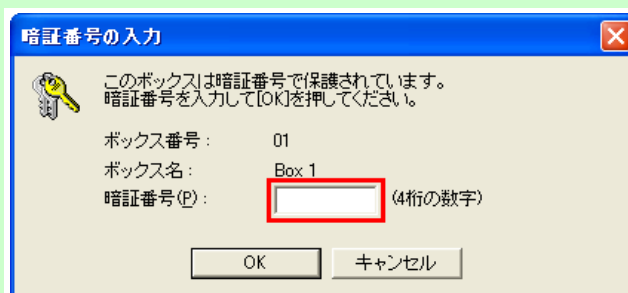
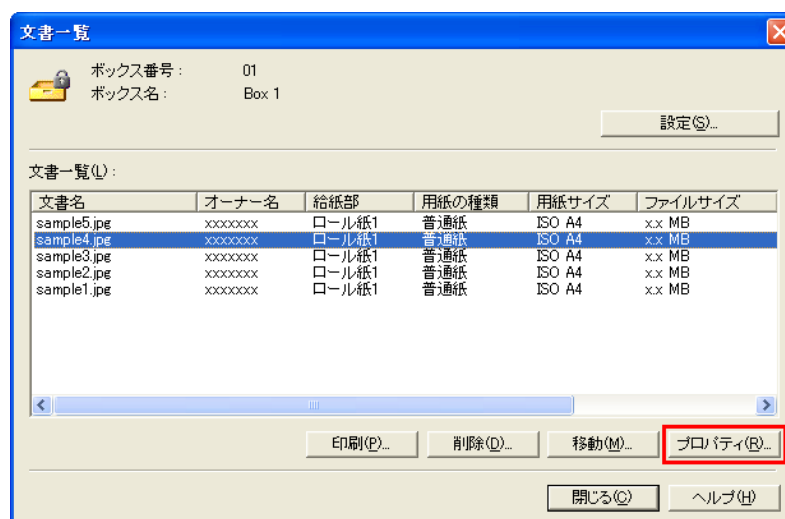
メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[詳細]をクリックします。

3. [保存文書の詳細]ページで、[文書の変更]をクリックします。

4. [保存文書名の変更]ページで、[文書名]に保存ジョブの名前を入力し、[OK]をクリックします。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合

1. [ハードディスク]シートで、一覧からボックスを選択し、[開く]をクリックします。

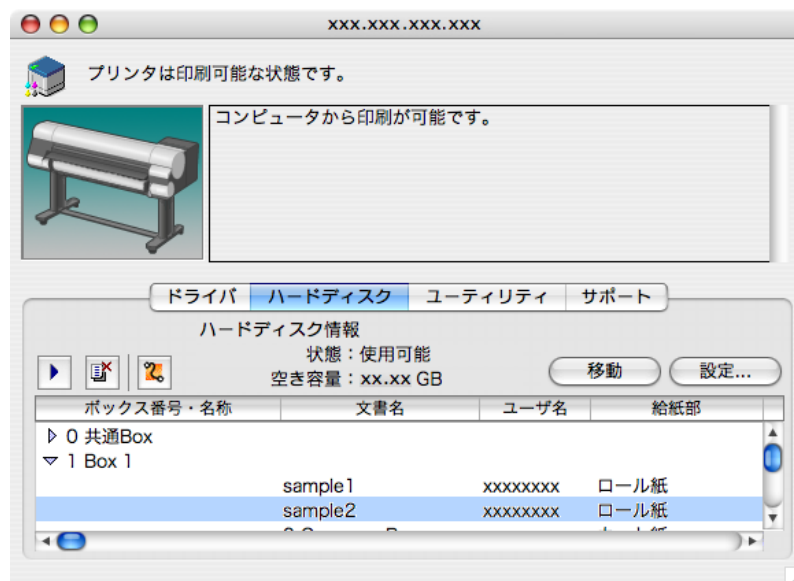
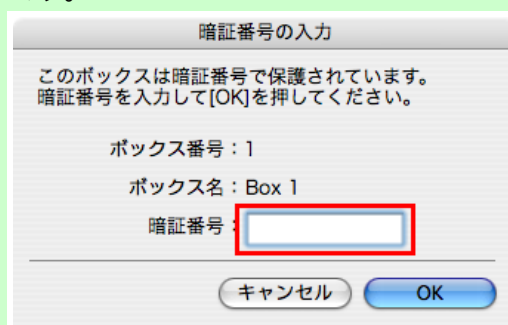
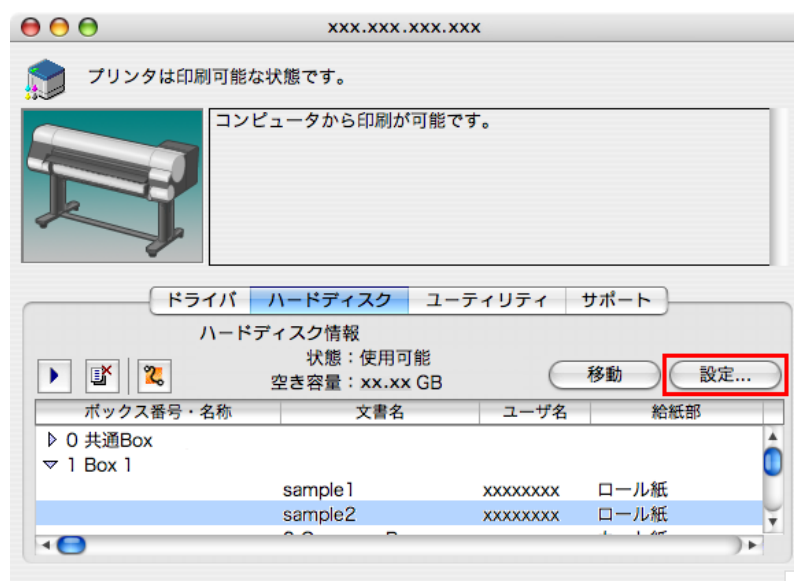
メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。

2. [文書一覧]ダイアログボックスで、一覧から保存ジョブを選択し、[プロパティ]をクリックします。

3. [プロパティ]ダイアログボックスで、保存ジョブの名前を入力し、[OK]をクリックします。

プロパティ
文書名(N) : sample4.jpg
オーナー名 : xxxxxxx
給紙部 : ロール紙1
用紙の種類 : 普通紙
用紙サイズ : ISO A4
ファイルサイズ : xxxx KB
ページ数 : 1
保存日時 : xxxx/xx/xx xx:xx
OK
キャンセル

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

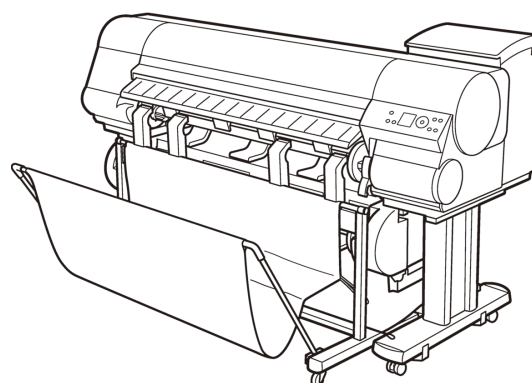
imagePROGRAF Printmonitor（Macintosh）の場合

1. [ハードディスク]パネルで、[ボックス番号･名称]の[▶]をクリックし、保存ジョブの一覧を表示します。

メモ

- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力してください。
  暗証番号は 4 桁の数字です。

2. 一覧から保存ジョブを選択し、[設定]をクリックします。

3. [設定]ダイアログボックスで、保存ジョブの名前を入力し、[OK]をクリックします。
文書名の変更は、暗証番号を設定していないと、変更できません。暗証番号を設定していない場合は、暗証番号を設定してください。文書名を変更した後に、暗証番号の設定は解除できます。

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

用紙の取り扱い

用紙について

用紙の種類

プリンタに対応する用紙(普通紙、コート紙、フォト用紙(光沢紙など)、プルーフ用紙、CAD 専用など)については、用紙リファレンスガイドを参照してください。用紙リファレンスガイドには、用紙の種類や仕様、プリンタドライバの設定、用紙の取り扱い方法などが記載されています。(「用紙リファレンスガイド」参照)
Media Configuration Tool の最新版を imagePROGRAF ホームページからダウンロードすることで、用紙リファレンスガイドやプリンタの操作パネル、プリンタドライバの用紙情報を最新の情報に更新できます。

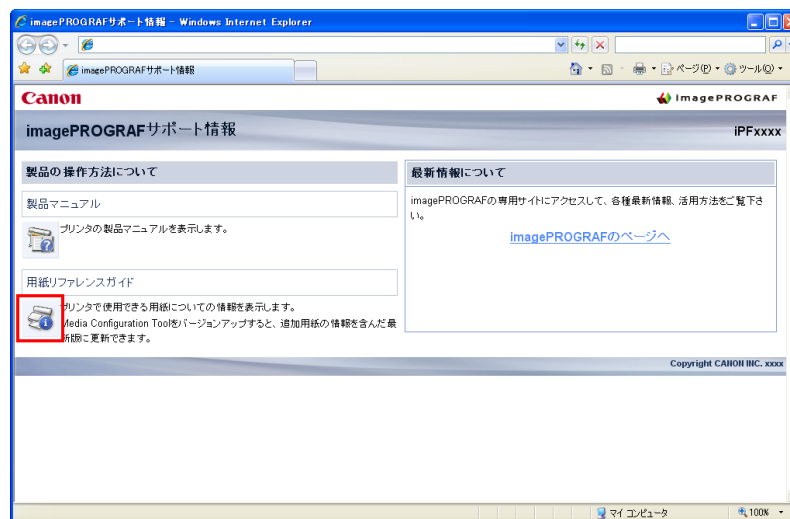
用紙リファレンスガイドを[imagePROGRAF サポート情報]から表示する

用紙リファレンスガイドは、[imagePROGRAF サポート情報]からも参照できます。ご使用の OS に合わせて、操作してください。

- Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします(iPFxxxx はプリンタ名)。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

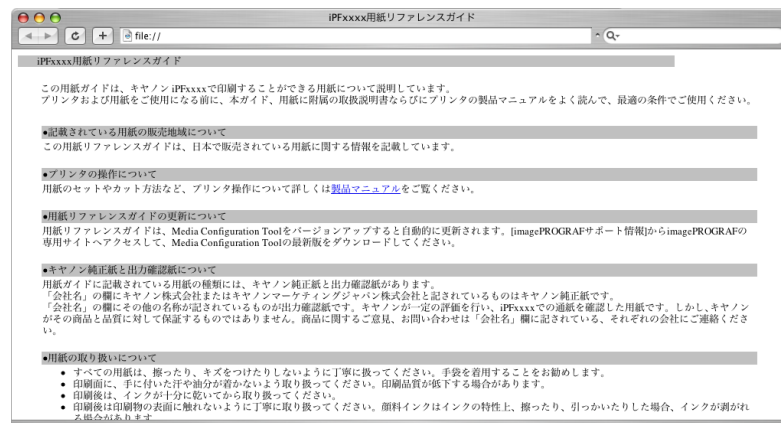
2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

• Mac OS X の場合

1. [Dock]内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

最新の用紙情報に更新する

用紙リファレンスガイドとプリンタの最新の用紙情報は、imagePROGRAF のホームページから Media Configuration Tool の最新版をダウンロードして更新します。Media Configuration Tool については、Media Configuration Tool →P.378 (Windows)または Media Configuration Tool →P.502 (Macintosh)を参照してください。
imagePROGRAF のホームページは、[imagePROGRAF サポート情報]から参照できます。

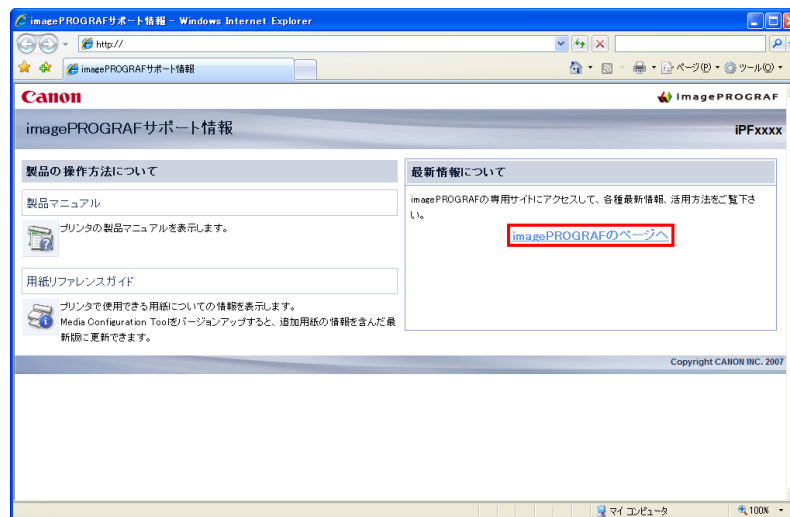
重要

- Media Configuration Tool で用紙の種類を更新した場合、プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバ、関連ソフトウェアの用紙の種類が変更されます。

- Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします(iPFxxxx はプリンタ名)。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

- Mac OS X の場合

1. [Dock]内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

7

2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し､imagePROGRAF のホームページが表示されます。

用紙のサイズ

ロール紙

以下のすべての条件に合ったロール紙を使用できます。

- 外径 150 mm 以内
- 紙管の内径 2 インチまたは 3 インチ
- 表(外側)が印刷面

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定	フチなし印刷(*1 →P.573)
1117.6 mm(44.00 インチ)	[44 インチロール (1117.6mm)]	不可
1066.8 mm(42.00 インチ)	[42 インチロール (1066.8mm)]	可
1030.0 mm(40.55 インチ)	[JIS B0/B1 ロール (1030.0mm)]	可
914.4 mm(36.00 インチ)	[36 インチロール (914.4mm)]	可
841.0 mm(33.11 インチ)	[ISO A0/A1 ロール (841.0mm)]	可
762.0 mm(30.00 インチ)	[30 インチロール (762.0mm)]	不可
728.0 mm(28.66 インチ)	[JIS B1/B2 ロール (728.0mm)]	不可
609.6 mm(24.00 インチ)	[24 インチロール(609.6mm)]	可
594.0 mm(23.39 インチ)	[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]	可
515.0 mm(20.28 インチ)	[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]	可
431.8 mm(17.00 インチ)	[17 インチロール(431.8mm)]	可
420.0 mm(16.54 インチ)	[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]	不可
406.4 mm(16.00 インチ)	[16 インチロール(406.4mm)]	不可
355.6 mm(14.00 インチ)	[14 インチロール(355.6mm)]	可
297.0 mm(11.69 インチ)	[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]	不可
254.0 mm(10.00 インチ)	[10 インチロール(254.0mm)]	可
[ユーザ定義用紙]	203.2 mm(8.00 インチ) 〜 1118.0 mm(44.02 インチ)	

*1: フチなし印刷できる用紙の種類については用紙リファレンスガイドを参照してください。(｢用紙の種類｣参照) →P.570

カット紙

以下のカット紙を使用できます。

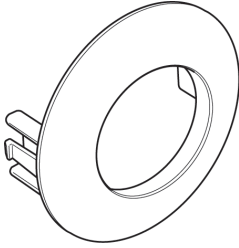
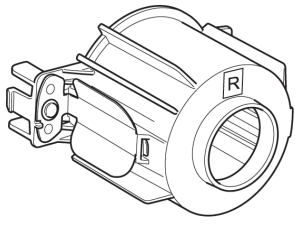
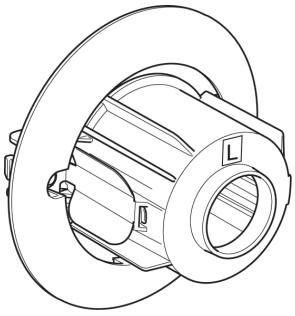
用紙のサイズ	寸法
[ISO A0]	841.0 × 1189.0 mm(33.11 × 46.81 インチ)
[ISO A1]	594.0 × 841.0 mm(23.39 × 33.11 インチ)
[ISO A2]	420.0 × 594.0 mm(16.54 × 23.39 インチ)
[ISO A2 ノビ]	431.8 × 609.6 mm(17.00 × 24.00 インチ)
[ISO A3]	297.0 × 420.0 mm(11.69 × 16.54 インチ)
[ISO A3 ノビ]	329.0 × 483.0 mm(12.95 × 19.02 インチ)
[ISO A4]	210.0 × 297.0 mm(8.27 × 11.69 インチ)
[ISO B0]	1000.0 × 1414.0 mm(39.37 × 55.67 インチ)
[ISO B1]	707.0 × 1000.0 mm(27.83 × 39.37 インチ)
[ISO B2]	500.0 × 707.0 mm(19.69 × 27.83 インチ)
[ISO B3]	353.0 × 500.0 mm(13.90 × 19.69 インチ)
[ISO B4]	250.0 × 353.0 mm(9.84 × 13.90 インチ)
[JIS B0]	1030.0 × 1456.0 mm(40.55 × 57.32 インチ)
[JIS B1]	728.0 × 1030.0 mm(28.66 × 40.55 インチ)
[JIS B2]	515.0 × 728.0 mm(20.28 × 28.66 インチ)
[JIS B3]	364.0 × 515.0 mm(14.33 × 20.28 インチ)
[JIS B4]	257.0 × 364.0 mm(10.12 × 14.33 インチ)
[34"x44"(ANSI E)]	863.6 × 1117.6 mm(34.00 × 44.00 インチ)
[28"x40"(ANSI F)]	711.2 × 1016.0 mm(28.00 × 40.00 インチ)
[22"x34"(ANSI D)]	558.8 × 863.6 mm(22.00 × 34.00 インチ)
[17"x22"(ANSI C)]	431.8 × 558.8 mm(17.00 × 22.00 インチ)
[11"x17"(Ledger)]	279.4 × 431.8 mm(11.00 × 17.00 インチ)
[13"x19"(Super B)]	330.2 × 482.6 mm(13.00 × 19.00 インチ)
[Letter(8.5"x11")]	215.9 × 279.4 mm(8.50 × 11.00 インチ)
[Legal(8.5"x14")]	215.9 × 355.6 mm(8.50 × 14.00 インチ)
[36"x48"(ARCH E)]	914.4 × 1219.2 mm(36.00 × 48.00 インチ)
[30"x42"(ARCH E1)]	762.0 × 1066.8 mm(30.00 × 42.00 インチ)
[26"x38"(ARCH E2)]	660.4 × 965.2 mm(26.00 × 38.00 インチ)
[27"x39"(ARCH E3)]	685.8 × 990.6 mm(27.00 × 39.00 インチ)
[24"x36"(ARCH D)]	609.6 × 914.4 mm(24.00 × 36.00 インチ)
[18"x24"(ARCH C)]	457.2 × 609.6 mm(18.00 × 24.00 インチ)
[12"x18"(ARCH B)]	304.8 × 457.2 mm(12.00 × 18.00 インチ)
[9"x12"(ARCH A)]	228.6 × 304.8 mm(9.00 × 12.00 インチ)
[DIN C0]	917.0 × 1296.0 mm(36.10 × 51.02 インチ)
[DIN C1]	648.0 × 917.0 mm(25.51 × 36.10 インチ)
[DIN C2]	458.0 × 648.0 mm(18.03 × 25.51 インチ)
[DIN C3]	324.0 × 458.0 mm(12.76 × 18.03 インチ)
[DIN C4]	229.0 × 324.0 mm(9.02 × 12.76 インチ)

用紙のサイズ	寸法
[大全 (20"x24")]	508.0 × 609.6 mm(20.00 × 24.00 インチ)
[全紙 (18"x22")]	457.2 × 558.8 mm(18.00 × 22.00 インチ)
[半切 (14"x17")]	355.6 × 431.8 mm(14.00 × 17.00 インチ)
[小半切 (12"x16")]	304.8 × 406.4 mm(12.00 × 16.00 インチ)
[四切 (10"x12")]	254.0 × 304.8 mm(10.00 × 12.00 インチ)
[四切ワイド (10"x15")]	254.0 × 381.0 mm(10.00 × 15.00 インチ)
[六切 (8"x10")]	203.2 × 254.0 mm(8.00 × 10.00 インチ)
[US フォト (16"x20")]	406.4 × 508.0 mm(16.00 × 20.00 インチ)
[ポスター 20"x30"]	508.0 × 762.0 mm(20.00 × 30.00 インチ)
[ポスター 30"x40"]	762.0 × 1016.0 mm(30.00 × 40.00 インチ)
[ポスター 42"x60"]	1066.8 × 1524.0 mm(42.00 × 60.00 インチ)
[ポスター 44"x62"]	1117.6 × 1574.8 mm(44.00 × 62.00 インチ)
[13"x22"]	329.0 × 558.0 mm(12.95 × 21.97 インチ)
[ポスター 300x900mm]	300.0 × 900.0 mm(11.81 × 35.43 インチ)
[ユーザ定義用紙]	203.2 × 203.2 mm(8.00 × 8.00 インチ) ~ 1118.0 × 1600.0 mm(44.02 × 62.99 インチ)

メモ

- プリンタドライバでは、用紙のサイズは、ISO A 系列、JIS 系列などの[サイズ系列]でグループ化されています。
  Windows では、初期状態では無効になっているサイズ系列があります。有効にしたい場合は、以下の手順を行います。

  1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
  2. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。
  3. [ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。
  4. サイズ系列のチェックボックスをオンにします。

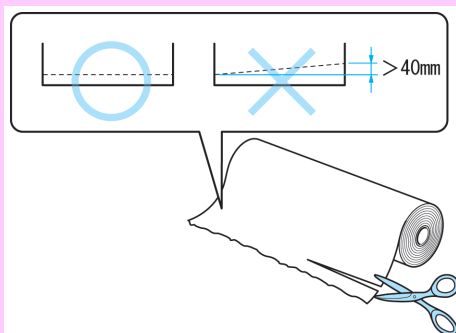
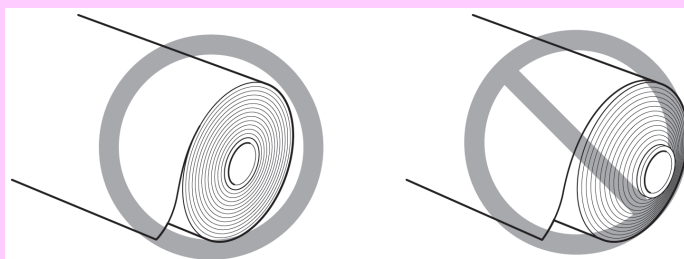
- 定形外の用紙については、「定形外の用紙に印刷する」を参照してください。 →P.118
- カット紙では、フチなし印刷できません。

ロール紙の取り扱い

ロール紙にロールホルダーをセットする

ロール紙に印刷する場合は、ロール紙にロールホルダーを取り付けます。
ロール紙の紙管には 2 インチと 3 インチの 2 つの種類があるため、紙管に合ったアタッチメントを取り付けてください。工場出荷状態では 2 インチ紙管アタッチメントが取り付けられています。

2 インチ紙管のロール紙を使用する場合		3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
ロールホルダー側	ホルダーストッパ側	ロールホルダー側	ホルダーストッパ側
アタッチメント不要	2 インチ紙管アタッチメント	3 インチ紙管アタッチメント 1	3 インチ紙管アタッチメント 2

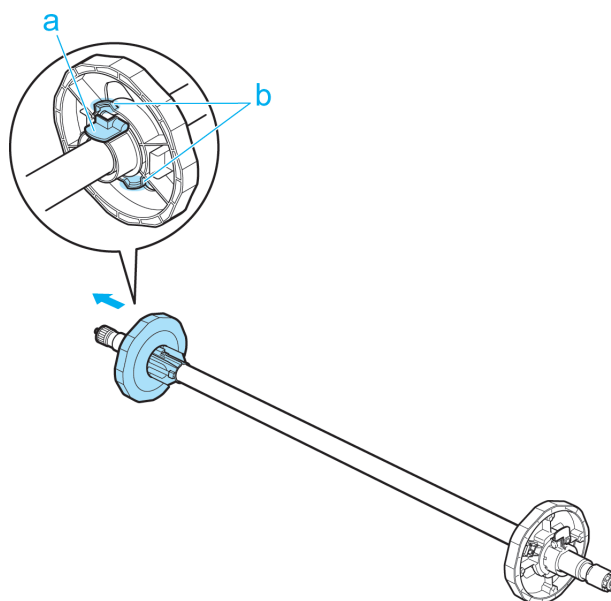
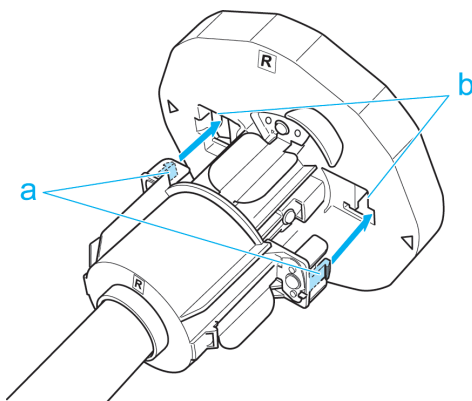
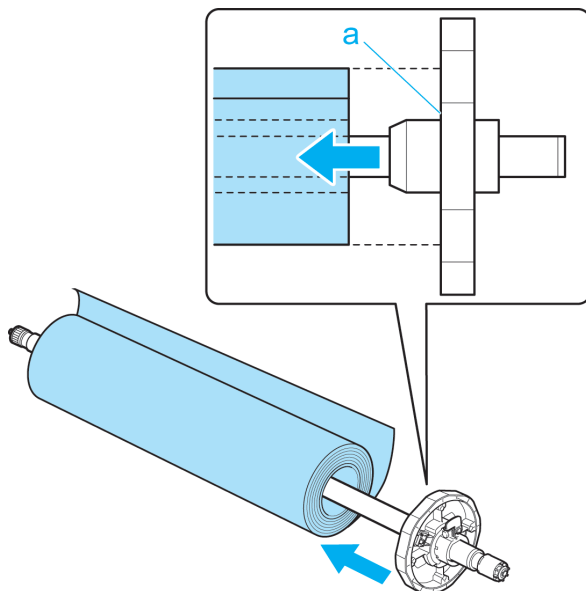
重要

- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、切り揃えておいてください。給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。バーコードが印刷されているロール紙の場合、バーコード部分をカットしないように注意してください。

- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。

注意

- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

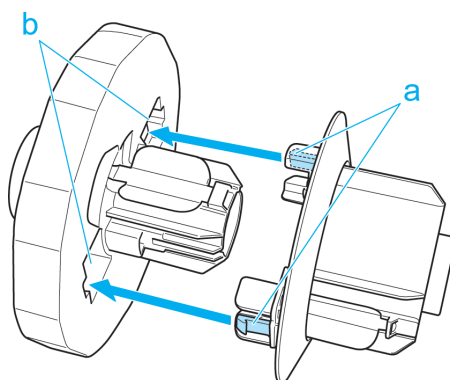
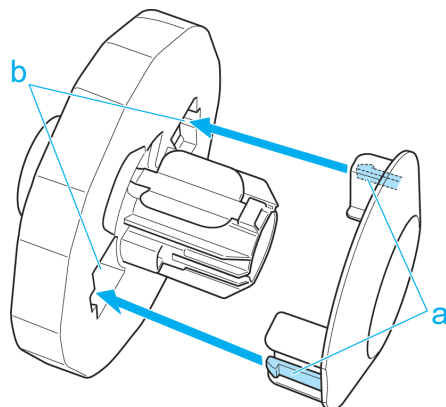
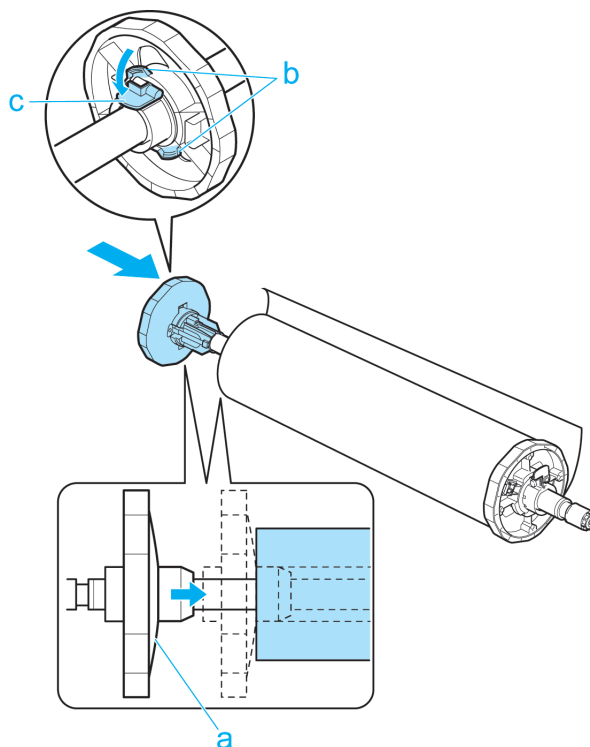
メモ

- セットできるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.573 (「用紙の種類」参照) →P.570
- [用紙セット/排紙]キーを押すと、ディスプレイでガイダンスを確認しながら用紙をセットできます。

1. ホルダーストッパのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、図の位置(b)を持ってホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2. 3 インチ紙管の用紙を使用する場合は、3 インチ紙管アタッチメント 1 のツメ（a）をロールホルダーの穴（b）に合わせて、しっかりと差し込みます。

3. 図のように、ロール紙の先端を手前側に向けて、ロール紙の右側からロールホルダーを差し込みます。ロール紙が、ロールホルダーのフランジ（a）に突き当たるまでしっかりと差し込みます。

重要

- ロール紙をセットするときに、強い衝撃を与えないでください。ロールホルダーが破損する原因になります。

4. ホルダーストッパに、使用するロール紙の紙管のアタッチメントを取り付けます。
アタッチメントのツメ（a）をホルダーストッパの穴（b）に合わせて、しっかりと差し込みます。

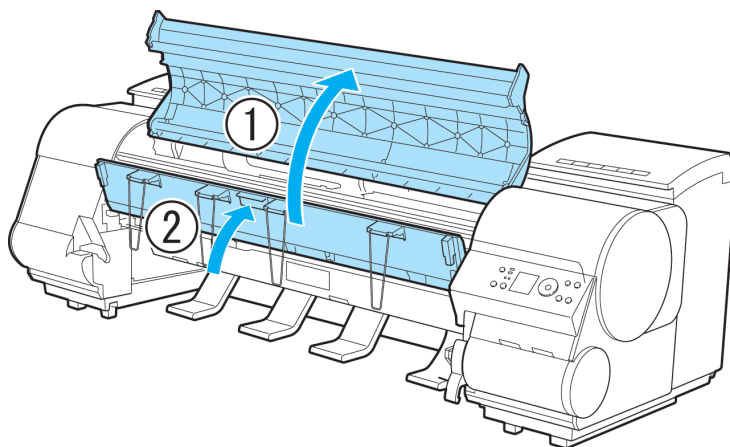
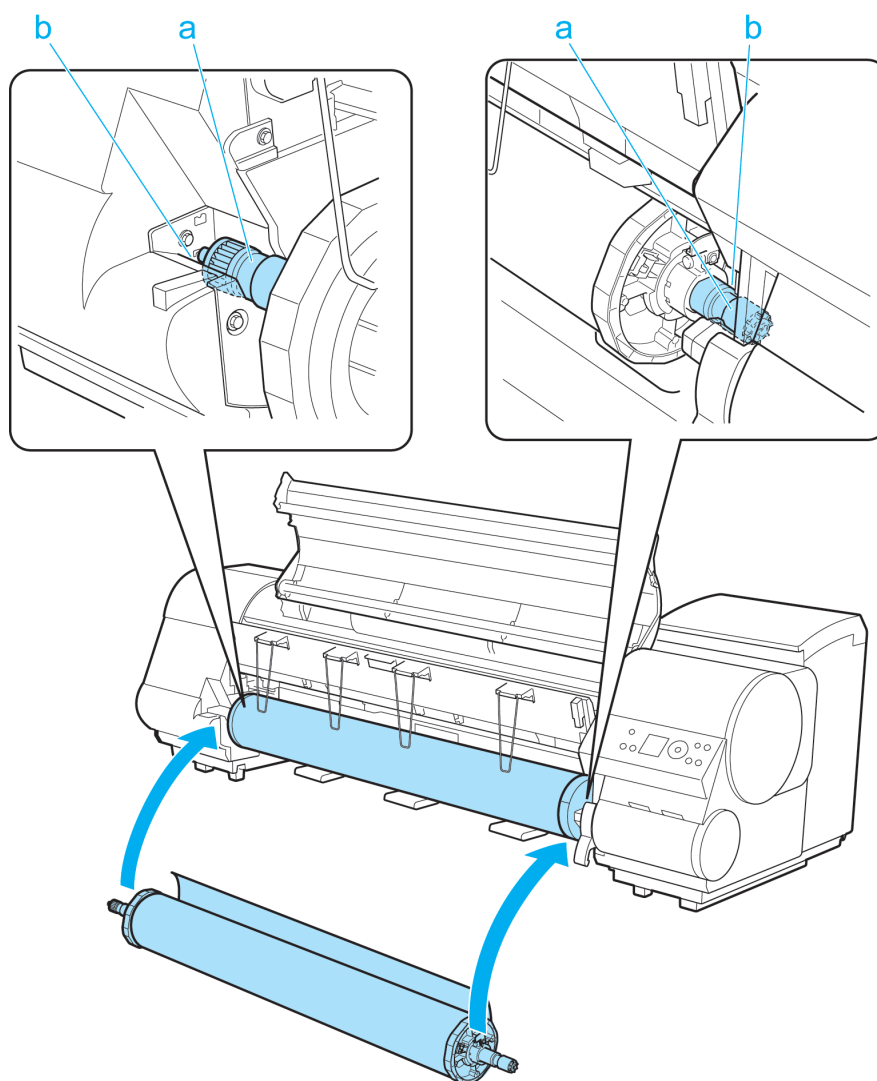
- 3 インチ紙管アタッチメント 2

- 2インチ紙管アタッチメント

5. 図のように、ホルダーストッパを左側からロールホルダーに差し込み、図の位置(b)を持ってホルダーストッパのフランジ(a)がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。ホルダーストッパのレバー(c)を軸側に倒してロックします。

ロール紙をプリンタにセットする

以下の手順でロール紙をプリンタにセットします。

メモ

- 使用しない用紙がセットされている場合は、取り外しておきます。
  - ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586
  - カット紙の場合(「カット紙を取り外す」参照) →P.607
- プラテンが汚れている場合は、上カバー内部を清掃しておきます。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776
- [用紙セット/排紙]キーを押すと、ディスプレイでガイダンスを確認しながら用紙をセットできます。(「ガイダンスを見ながら操作する」参照) →P.689

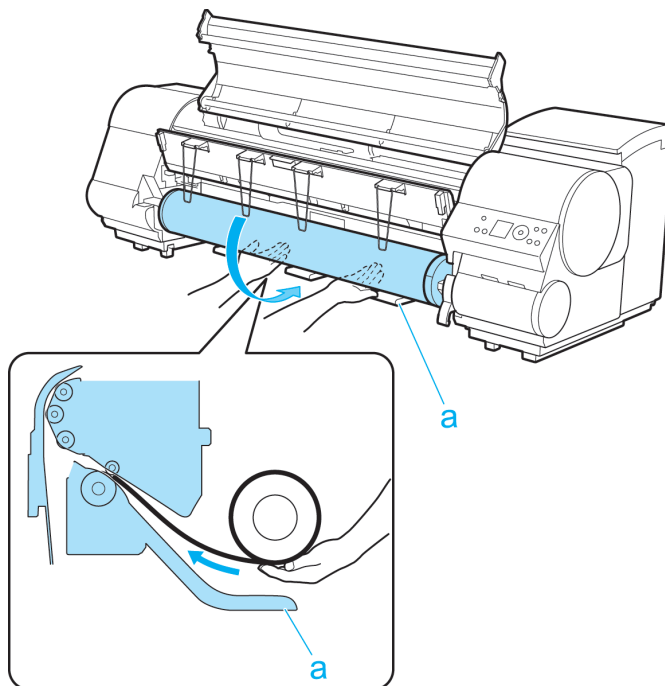
1. 給紙元にロール紙を選択されていることを確認します。(「給紙元を選択する」参照) →P.583

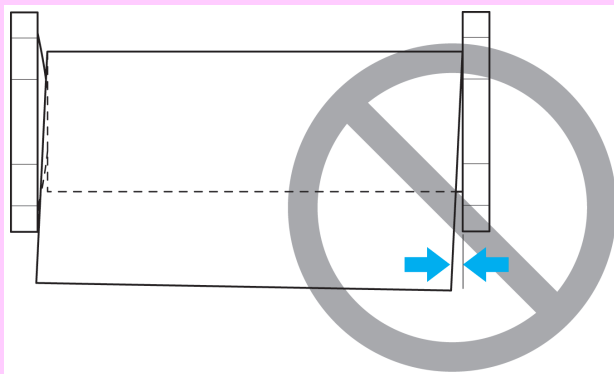
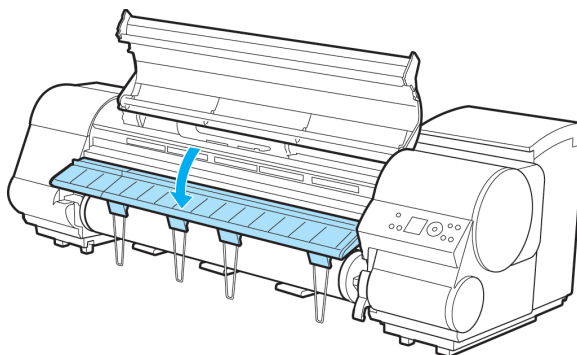
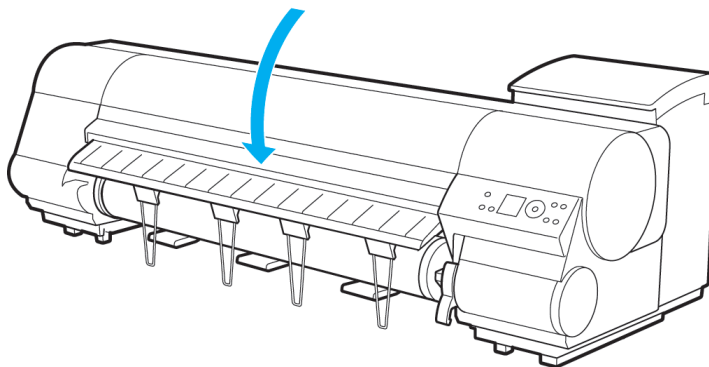
2. 上カバーを開き、排紙ガイドを上げます。

3. ロールホルダーの白いギヤが付いている側をロールホルダースロットの白いギヤが付いている側に向け、ロールホルダーの軸(a)をロールホルダースロットの左右のガイド溝(b)に合わせてセットします。

注意

- セットするときに、ロールホルダーの軸(a)とガイド溝(b)の間に指が挟まれないように注意してください。

メモ

- ロール紙にロールホルダーを取り付ける手順は「ロール紙にロールホルダーをセットする」を参照してください。 →P.576

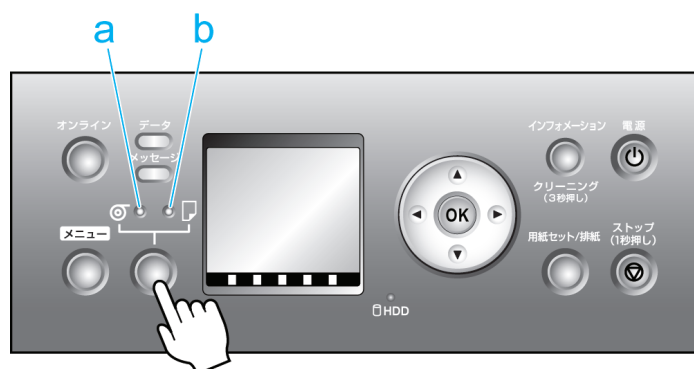
4. ロール紙を左右均等に引き出して両手で給紙口(a)に差し込み、ブザー音が鳴るまで送り込みます。

重要

- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- 用紙の右端とロールホルダーの間に、すきまが開かないようにセットしてください。

5. 排紙ガイドを下げます。

6. 上カバーを閉じます。

7. [OK]キーを押します。
用紙が給紙されます。

ロール紙をセットすると、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。
引き続き、用紙の種類を選択してください。(「用紙の種類を選択する(ロール紙)」参照) →P.584

給紙元を選択する

給紙をする際は、[給紙選択]キーを押して、給紙元を選択してください。
選択されている給紙元は、[ロール紙ランプ](a)または[カット紙ランプ](b)の点灯で確認できます。

- [ロール紙ランプ]:ロール紙を給紙する場合に選択します。
- [カット紙ランプ]:カット紙を給紙する場合に選択します。

メモ

- 給紙元をロール紙に切り替えた際にカット紙がセットされていると、[ｶｯﾄ紙を外しますか?]と表示されます。[OK]キーを押してカット紙を取り外してください。
- 以下の場合は、給紙元を切り替えられません。
  - メッセージランプが点滅中の場合
    ディスプレイのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。(「エラーメッセージ一覧 →P.826」参照)
  - データランプが点滅中の場合
    印刷が終了してから給紙元を選択してください。
  - プリンタのメニューを実行中の場合
    メニューを終了してから給紙元を選択してください。
  - 用紙をセット中の場合
    用紙のセットが終了してから、給紙元を選択してください。
  - インクタンクを交換中の場合
    インクタンクの交換が終了してから、給紙元を選択してください。
  - 上カバーが開いている場合
    上カバーを閉じてから、給紙元を選択してください。

用紙の種類を選択する(ロール紙)

用紙の給紙後に用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で用紙の種類を選択してください。

重要

- このプリンタは、最良の印刷品質を得るために、用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しています。印刷するときは、給紙する用紙の種類を正しく選択してください。
- 用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しているため、用紙の種類によって画像のサイズやマージンが変わることがあります。画像のサイズやマージンが思うような結果にならない場合は、用紙の送り量の調整やプリントヘッドの高さの変更を行ってください。
  (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.626
  (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624

メモ

- ロール紙にバーコードが印刷されていない場合もしくはロール紙残量管理機能が無効の場合は、ロール紙をセットすると、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。用紙の種類を選択して[OK]キーを押してください。
  ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、ロール紙残量管理機能が有効の場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する(ロール紙)」参照) →P.585

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ﾒﾆｭｰ]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾛｰﾙ紙種類]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570 工場出荷時は、普通紙が選択されています。
- リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に最後に選択した用紙に戻ります。
- 必ず正しい用紙の種類を選択してください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。
- ロール紙残量管理機能が[ｵﾌ]に設定されていて、用紙幅検知機能が[ｵﾌ]に設定されている種類の用紙を選択した場合、用紙を手動で印刷開始位置まで給紙する必要があります。(「用紙を手動で印刷開始位置にセットする」参照) →P.605

5. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。

用紙の長さを設定する(ロール紙)

用紙の給紙後に用紙の長さを変更する場合は、以下の手順で用紙の長さを設定してください。

メモ

- プリンタのメニューからロール紙の長さを設定する場合は、[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されている必要があります。
- ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されている場合は、用紙の種類を選択すると、ディスプレイに用紙の長さを選択するメニューが自動的に表示されます。用紙の長さを選択し、[OK]キーを押してください。プリンタは自動的にオンラインモードになります。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ﾒﾆｭｰ]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾛｰﾙ紙長さ]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の長さを設定し、[OK]キーを押します。
用紙の長さは、以下の手順で設定します。

1. [◀]キー、[▶]キーを押して、数値を入力するフィールドにアンダーバー(_)を移動します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

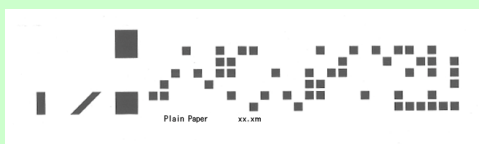
3. 手順 1、2 を繰り返して数値を入力し、[OK]キーを押します。

5. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。

ロール紙をプリンタから取り外す

以下の手順でロール紙をプリンタから取り外します。

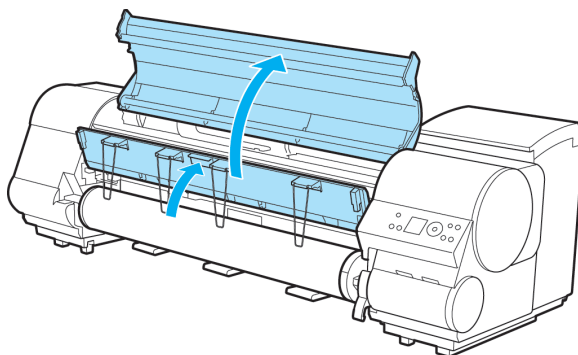
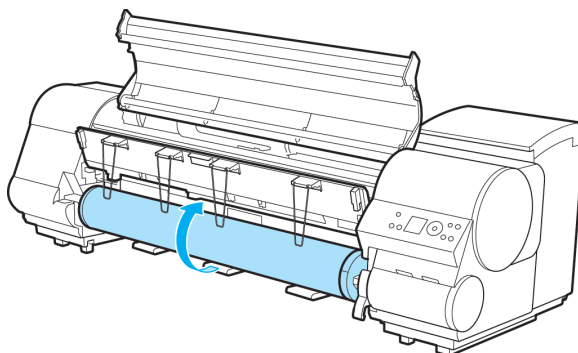
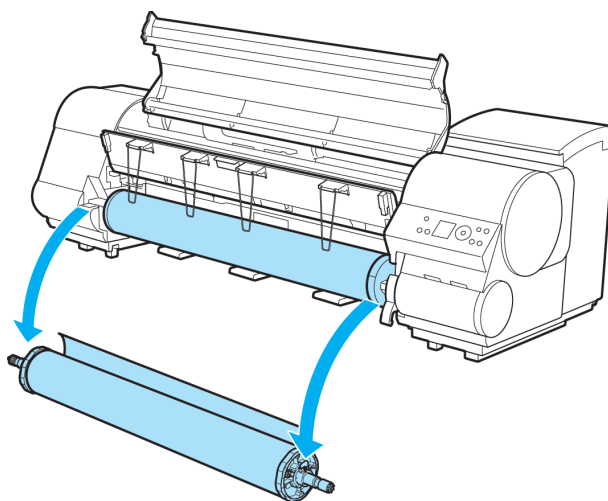
メモ

- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、プリンタのメニューで[用紙ｶｯﾄ]を選択し、任意の位置で用紙をカットします。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.593
- プリンタのメニューで、[用紙ﾒﾆｭｰ]の[ﾛｰﾙ紙残量管理]を[ｵﾝ]に設定した場合は、ロール紙の先端に残量バーコードが印刷されます。ただし、用紙の種類によっては、バーコードが印刷されず、テキストによる用紙情報の印刷になる場合があります。

注意

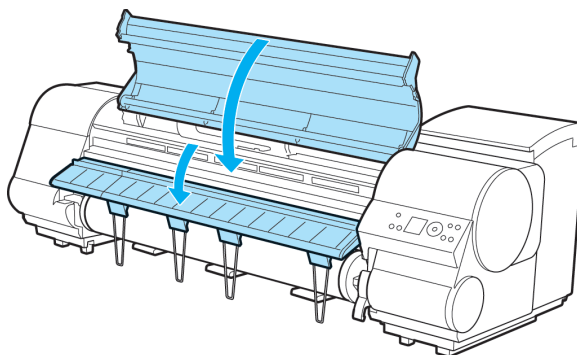
- ロール紙残量管理機能を有効にしているときは、バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。

1. [用紙セット/排紙]キーを押します。
ロール紙の取り外しを確認するメッセージが表示されます。

2. [OK]キーを押します。
ロール紙が排紙されます。

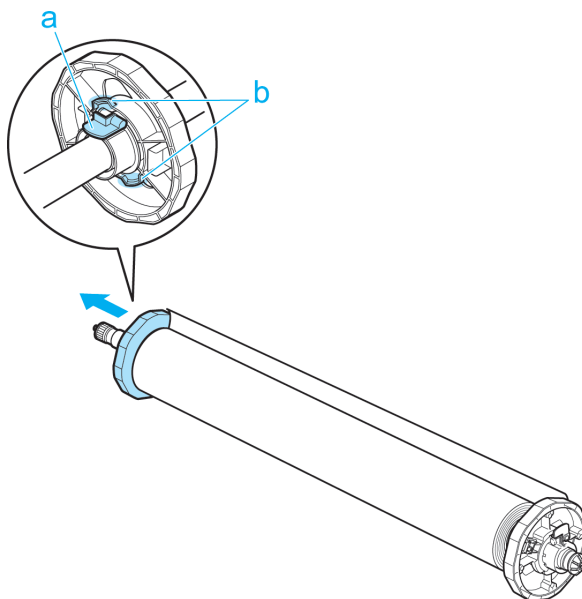
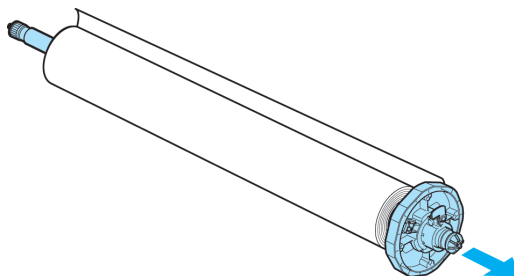
3. 上カバーを開き、排紙ガイドを上げます。

4. 両手でロールホルダーを矢印方向に回してロール紙を巻き取ります。

5. ロールホルダーをロールホルダースロットから取り外します。

メモ

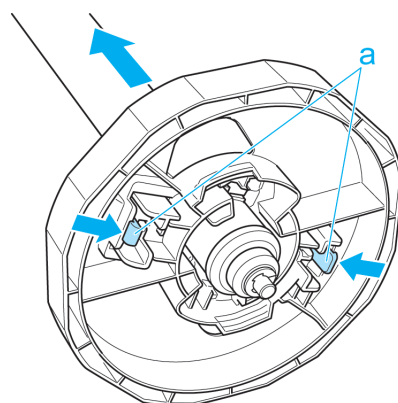
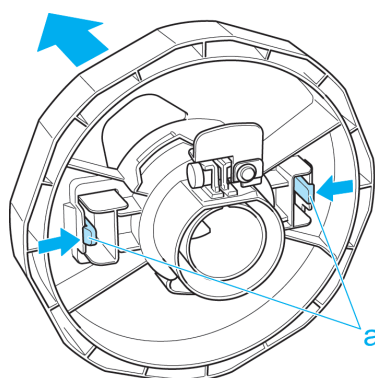
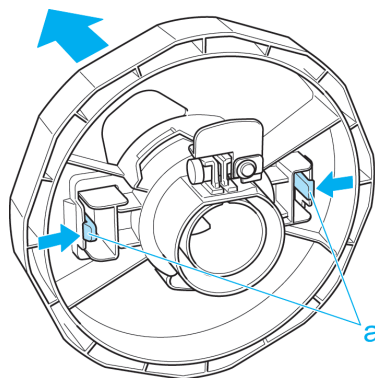
- ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「ロール紙からロールホルダーを取り外す」を参照してください。→P.588

6. 排紙ガイドを下げて、上カバーを閉じます。

メモ

- 新しく用紙をプリンタに取り付ける場合は、引き続き「ロール紙をプリンタにセットする」を参照してください。 →P.579

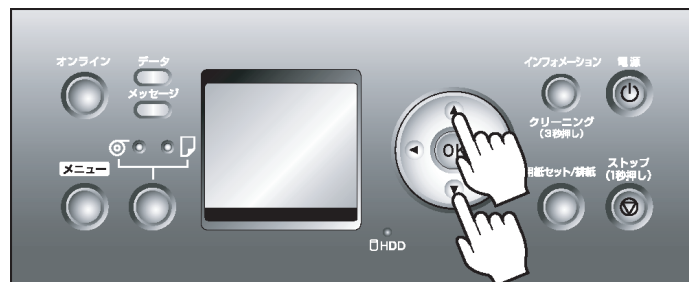
ロール紙からロールホルダーを取り外す

1. ホルダーストッパのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、図の位置(b)を持ってホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2. ロール紙からロールホルダーを取り外します。

3. アタッチメントを取り外す場合は、ツメ(a)を内側に押して、アタッチメントを取り外します。

- 3 インチ紙管アタッチメント 1(ロールホルダー側)

- 3 インチ紙管アタッチメント 2(ホルダーストッパ側)

- 2 インチ紙管アタッチメント

重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

ロール紙を手動で送る

オフラインモードのときに、プラテン上のロール紙を[▲]キー、[▼]キーで前後に送ることができます。

1. [オンライン]キーを押して、オフラインモードにします。

2. 給紙元がロール紙になっていることを確認します。(「給紙元を選択する」参照) →P.583

3. [▲]キー、[▼]キーを押してロール紙を前後に送ります。
   [▲]キーを押すと、ロール紙を手動で戻すことができます。
   [▼]キーを押すと、ロール紙を手動で送ることができます。

メモ

- 1 秒未満[▲]キー、[▼]キーを押すと、ロール紙は約 1 mm 送られます。
  1 秒以上[▲]キー、[▼]キーを押し続けると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。ディスプレイに[紙送り量のﾘﾐｯﾄに達しました。これ以上紙送りできません。]が表示された場合は、指を離します。

ロール紙の残量を管理する

ロール紙残量管理機能を有効にしておくと、排紙前にロール紙の残量と用紙種類情報がバーコードとテキストで印刷されます。ロール紙残量管理機能が有効でロール紙にバーコードが印刷されている場合は、そのロール紙をセットしたときに、ロール紙の残量と用紙種類が自動的に検知されます。読み取り後にバーコード部分がカットされます。

メモ

- 印刷物をカットせずに保持している場合は、テキストのみ印刷されます。

重要

- クリアフィルムはロール紙残量管理機能に対応していないため、クリアフィルムを取り付けたときに、[ﾛｰﾙ紙がなくなりました。]とエラーメッセージが表示されることがあります。このため、クリアフィルムは、ロール紙残量管理機能を無効にしてからプリンタにセットしてください。
- ロール紙のバーコードが検知されなかったときは、操作パネルで用紙種類と長さを入力します。

ロール紙残量管理機能を有効にする場合は、以下の手順で行います。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ﾒﾆｭｰ]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾛｰﾙ紙残量管理]を選択し、[▶]キーを押します。

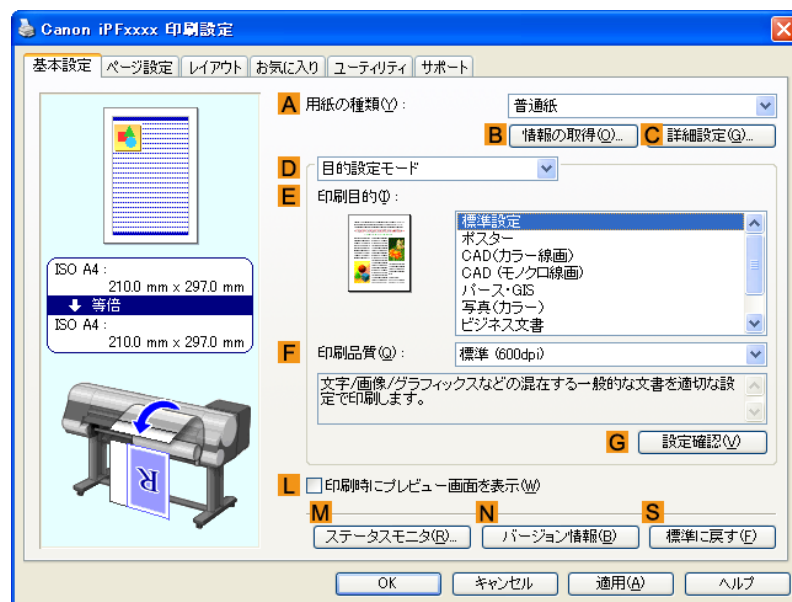
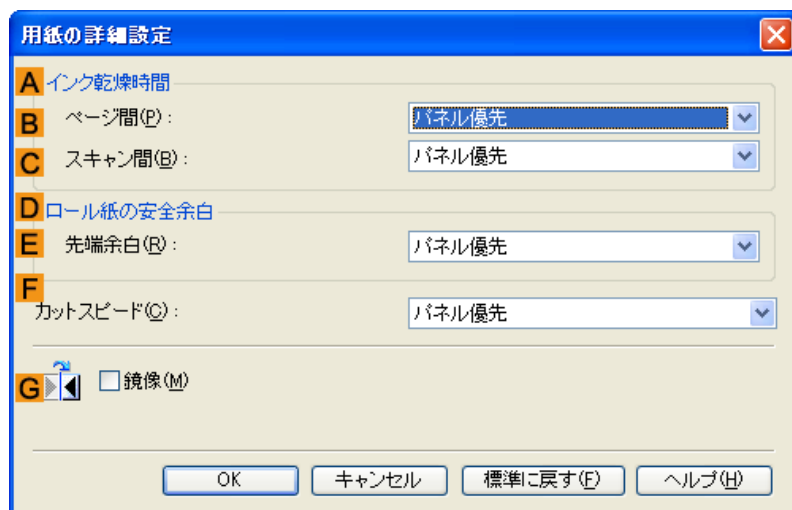
4. [▲]キー、[▼]キーを押して設定を選択し、[OK]キーを押します。

ロール紙のインク乾燥時間を設定する

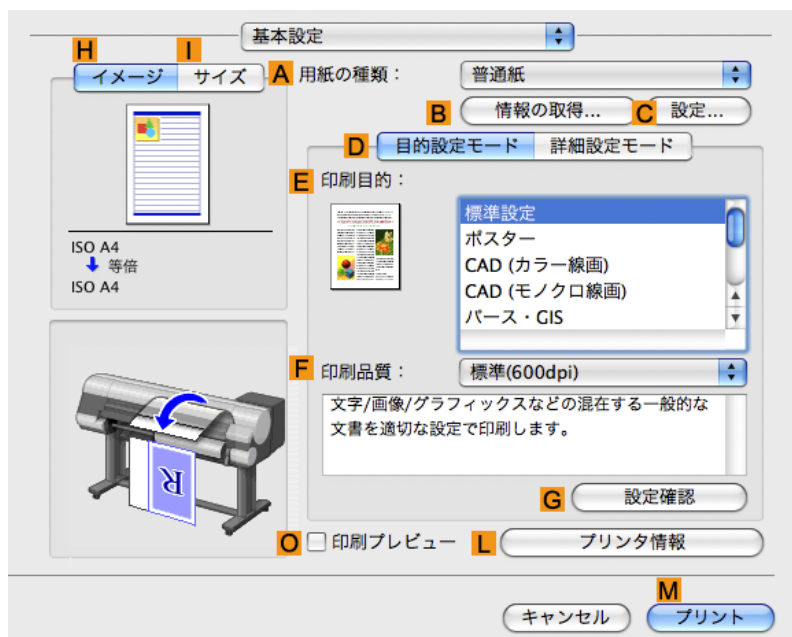
インクの定着が悪い用紙の場合、カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、傷が発生したり切断面がみだれる場合や、排紙時の転写により、用紙の表面が汚れる場合があります。その場合は、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定することで、改善できることがあります。

Windows の場合

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
（「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）」参照） →P.198

2. [基本設定]シートを選択し、**A**[用紙の種類]の **C**[詳細設定]をクリックします。

3. [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、A[インク乾燥時間]の B[ページ間]と C[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
(「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Windows)」参照) →P.204

Mac OS X の場合

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [基本設定]パネルを選択し、A[用紙の種類]の C[設定]をクリックします。

3. [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、B[インク乾燥時間]の C[ページ間]と D[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
(「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Mac OS X)」参照) →P.408

メモ

- [インク乾燥時間]は、工場出荷時の状態では全用紙[ｵﾌ]になっています。
- 印刷直後に印刷物を落下させずにインクの乾燥を待つ場合は、プリンタのメニューの[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]に設定します。
(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.593

ロール紙のカット方法を設定する

プリンタのメニューの設定によって、排紙したときのロール紙のカット方法は異なります。

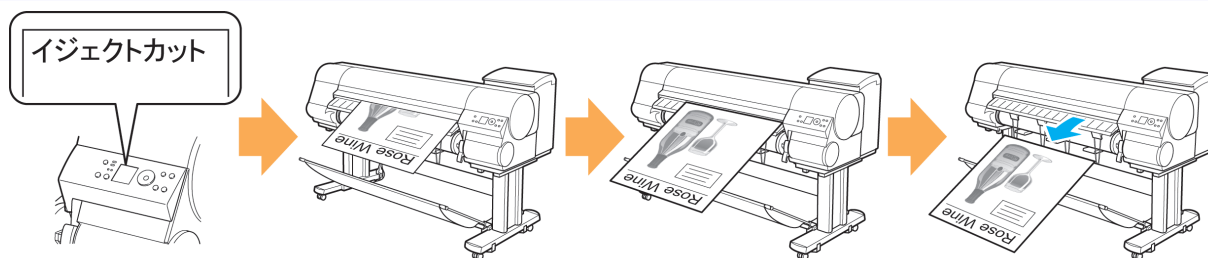
カット方法		メニューの設定		ドライバの設定	
自動カット	プリンタドライバの設定によって、カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。	[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	[自動ｶｯﾄ]	[オートカット設定]	[あり]
イジェクトカット →P.594	インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、カッターユニットでロール紙をカットします。		[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]		[あり]
ユーザーカット →P.595	カッターユニットでカットできない用紙の種類の場合に選択します。 1 枚ずつはさみでロール紙をカットします。連続印刷した後にカットしたい場合は、[オートカット設定]で[あり]または[カットラインを印刷]を選択します。 (「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.182		[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]		[なし] [あり] [カットラインを印刷]

カット方法		メニューの設定		ドライバの設定	
用紙カット →P.596	プリンタドライバの[オートカット設定]で、[なし]または[カットラインを印刷]を選択して印刷した後で、カッターユニットをボタン操作で動作させて、ロール紙をカットしたい場合に選択します。 またはロール紙のセット後に用紙の先端をカットしたい場合に選択します。	[用紙カット]	[する]	[オートカット設定]	[なし] [カットラインを印刷]

メモ

- 自動カット、イジェクトカットは、プリンタドライバの[オートカット設定]が[あり]の場合のみ動作します。
- イジェクトカットで連続印刷をする場合は、印刷後にロール紙をカットしないと次の印刷が開始しません。

以下の場合に、ロール紙を手動でカットしてください。

イジェクトカット(印刷した後にインクの乾燥を待つ場合)

「イジェクトカット」を選択　　印刷　　カット位置で自動停止　　印刷物が落下しないように支えながら[ストップ]キーでカット

重要

- 幅の広い用紙をイジェクトカットするときは、用紙を 2 人で支えてください。用紙が落下すると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下する場合があります。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。

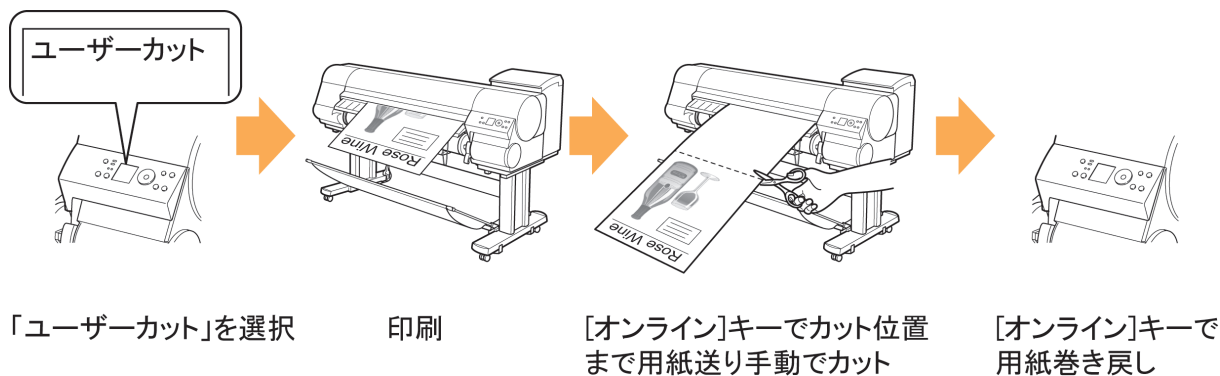
3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

6. 印刷します。
印刷が終わると、カットする位置までロール紙が送られ、自動的に停止します。

7. 印刷物が落下しないように支えながら、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、ロール紙をカットします。

ユーザーカット（カッターユニットでカットできない用紙の場合）

「ユーザーカット」を選択　印刷　[オンライン]キーでカット位置まで用紙送り手動でカット　[オンライン]キーで用紙巻き戻し

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。

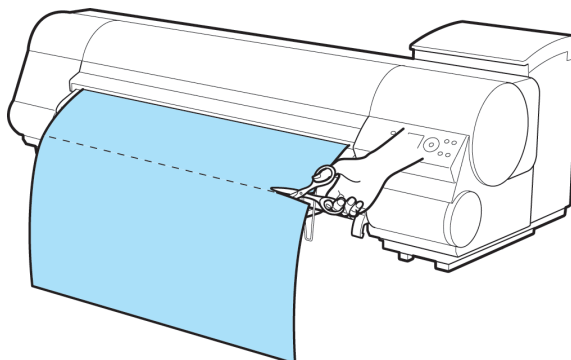
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

6. 印刷します。
印刷が終わると、停止します。

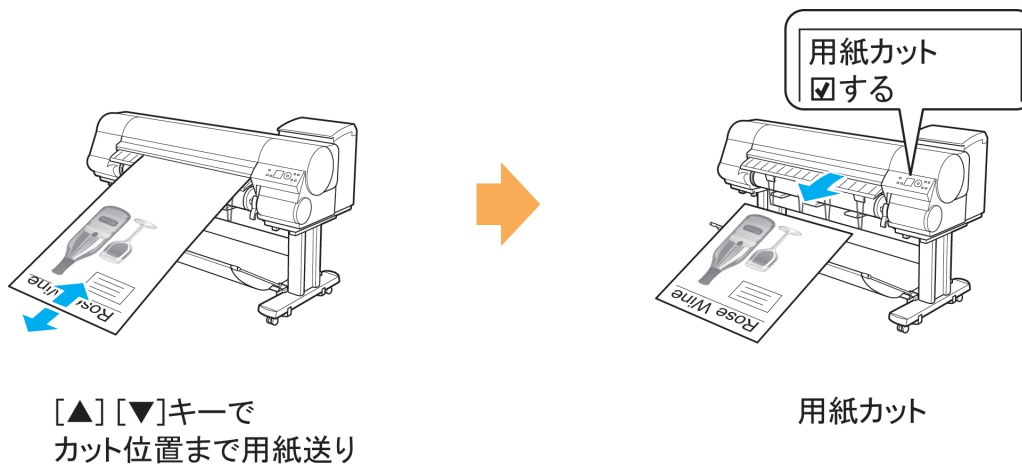
7. [オンライン]キーを押します。

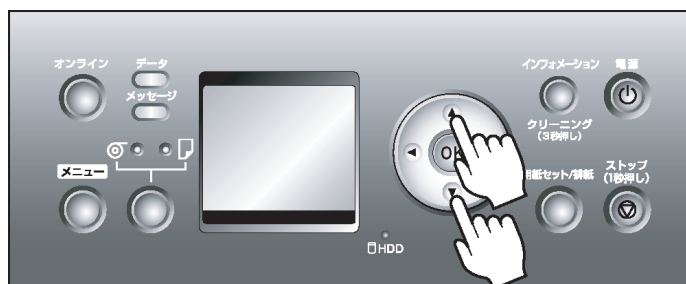
カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

8. 手動でロール紙をはさみなどでカットします。

9. [オンライン]キーを押します。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

用紙カット(任意の位置でロール紙をカットしたい場合)

[▲] [▼]キーで
カット位置まで用紙送り

用紙カット

1. [オンライン]キーを押してオフラインにしてから[▲]キー、[▼]キーを押して、カットしたい位置までロール紙を送ります。

2. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ｶｯﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙がカットされ、自動的に巻き戻されます。

注意

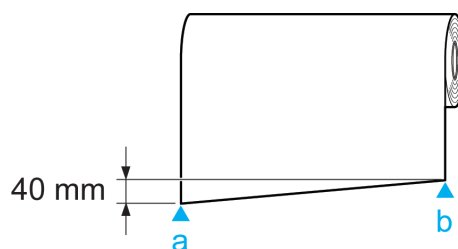
- カットする長さが短い場合、自動的にロール紙が送られてカットされることがあります。

ロール紙の先端を自動でカットする

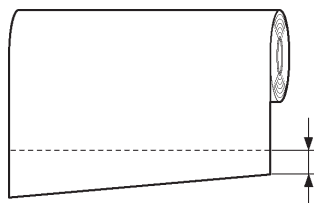
ロール紙の先端が斜めになっていたり、ゆがんでいると、エラーメッセージを表示して正しく印刷できません。その場合は、操作パネルのメニューの[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]で[自動]または[ｵﾝ]を選択すると、ロール紙のセット時に先端を切り揃えることができます。
[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]には以下の設定があります。

- [自動]

ロール紙のセット時に、左右の先端(a)と(b)の差が 40 mm 以上あれば、斜め量に応じて先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。40 mm 以下の場合はカットしません。ただし、先端の状態によってはカットされる場合があります。

- [ｵﾌ]

先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。一部の用紙を除き、工場出荷時の状態では[ｵﾌ]に設定されています。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570

- [ｵﾝ]

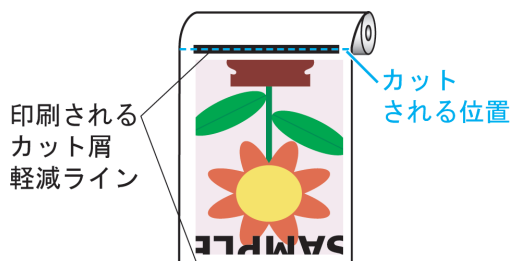
ロール紙のセット時に、先端をカットして白紙の紙片を排紙します。用紙先端のカット量は、用紙の種類によって異なります。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570

> メモ
> - 幅が一定ではない用紙の場合は、[斜行検知精度]で[ゆるめ]を選択して用紙の斜行検知機能の精度を緩めたり、[ｵﾌ]を選択して斜行検知機能を無効にします。ただし、[ｵﾌ]を選択したときに用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテンが汚れる場合があります。

[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]の設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して設定を選択し、[OK]キーを押します。
次回ロール紙をセットするときから、設定が有効になります。

ロール紙のカット屑を軽減する

バックライトフィルムなどカット屑が出やすい用紙の場合、カット屑軽減機能をオンにすることで、カット屑を軽減できます。これによって、印刷品質が改善されたり、プリントヘッドの故障が減る場合があります。カット屑軽減機能は、用紙の種類ごとに設定できます。
カット屑軽減機能をオンにすると、印刷物の先端と後端に黒い線が印刷されます。

重要

- 普通紙や薄い用紙など波打ちが起きやすい用紙の場合は、カット屑軽減機能をオンにしないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- カット屑軽減機能をオンにしている場合は、フチなし印刷できません。フチなし印刷する場合は、カット屑軽減機能をオフにしてください。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。

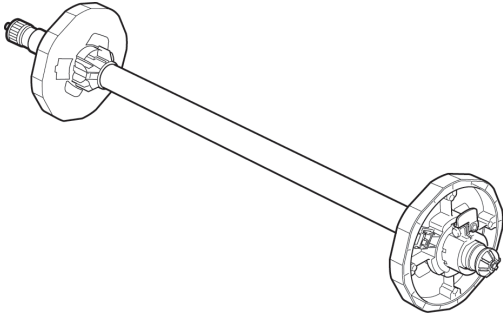
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄ屑軽減]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾝ]を選択し、[OK]キーを押します。
カット屑軽減機能がオンになります。

ロールホルダーセット

ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンタに取り付けます。ロールホルダーセット RH2-44 のロールホルダーは 2 インチ/3 インチ紙管兼用でお使いいただけます。紙管に合ったアタッチメントを取り付けてご使用ください。(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576

- ロールホルダーセット RH2-44

- ロールホルダー（2 インチ/3 インチ紙管兼用）

- アタッチメント

2 インチ紙管のロール紙を使用する場合	3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
2 インチ紙管アタッチメント	3 インチ紙管アタッチメント 1	3 インチ紙管アタッチメント 2

カット紙の取り扱い

用紙の種類を選択する(カット紙)

用紙の給紙後に用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で用紙の種類を選択してください。

メモ

- カット紙をセットすると、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。その場合は、用紙の種類を選択し、[OK]キーを押してください。プリンタは自動的にオンラインモードになります。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ﾒﾆｭｰ]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄ紙種類]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 用紙の種類の詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570 工場出荷時は、普通紙が選択されています。
  リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に普通紙に戻ります。
- 必ず正しい用紙の種類を選択してください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。
- 用紙幅検知機能が[ｵﾌ]に設定されている種類の用紙を選択した場合、用紙を手動で印刷開始位置まで給紙する必要があります。(「用紙を手動で印刷開始位置にセットする」参照) →P.605

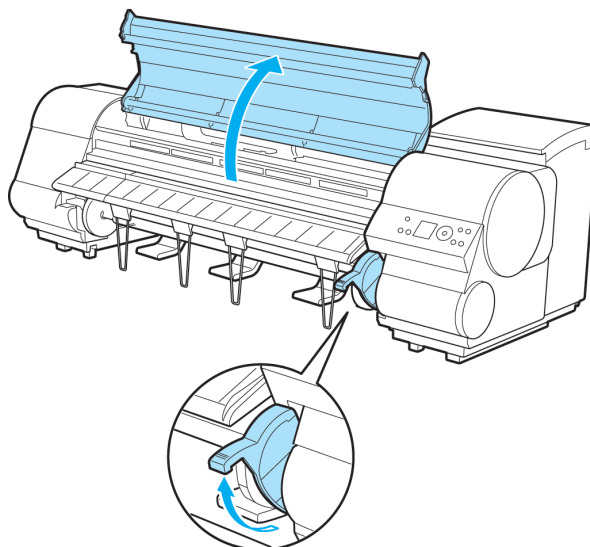
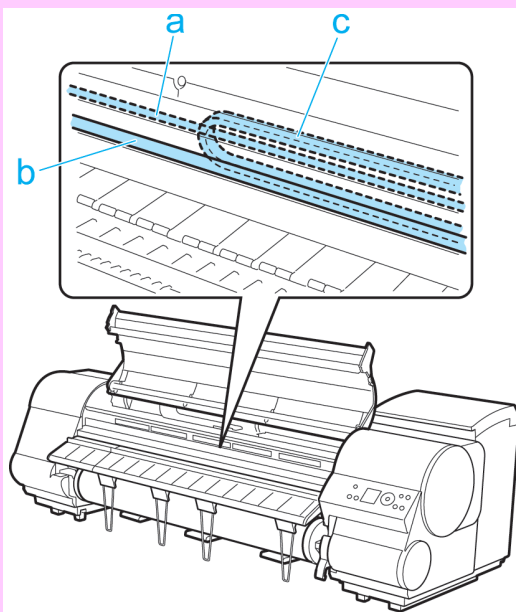
5. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。

カット紙をプリンタにセットする

メモ

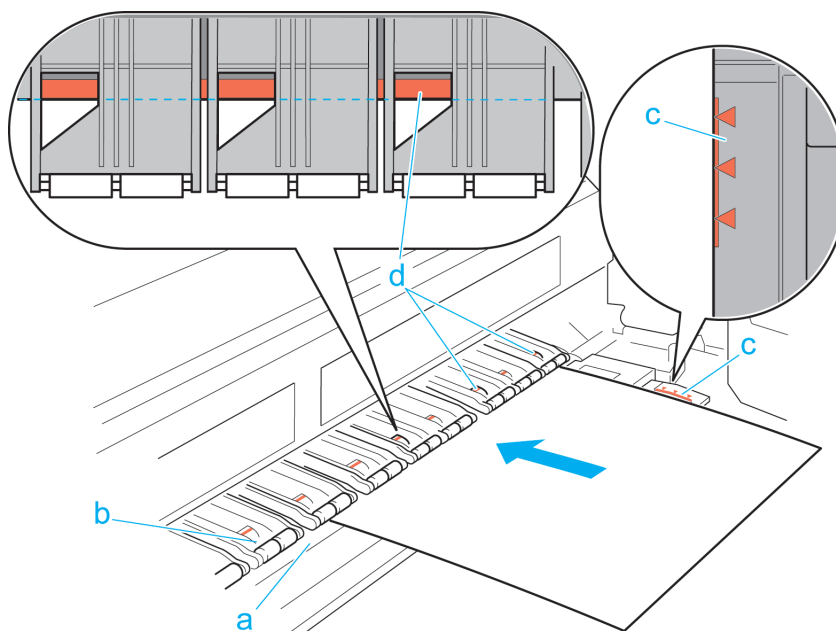
- セットできる用紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.573 (「用紙の種類」参照) →P.570
- プラテンが汚れている場合は、上カバー内部を清掃してから用紙をセットしてください。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776
- [用紙セット/排紙]キーを押すと、ディスプレイでガイダンスを確認しながら用紙をセットできます。(「ガイダンスを見ながら操作する」参照) →P.689

1. 事前にコンピュータから印刷ジョブを送信しておくと、ディスプレイに印刷する用紙の種類とサイズが表示されます。リリースレバーを上げ、上カバーを開きます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

2. 印刷面を上にして縦長になる向きで、カット紙をプラテン(a)と用紙押さえ(b)の間に差し込み、以下の手順で用紙の先端を合わせます。

1. 右側の紙合わせライン(c)に合わせてセットします。

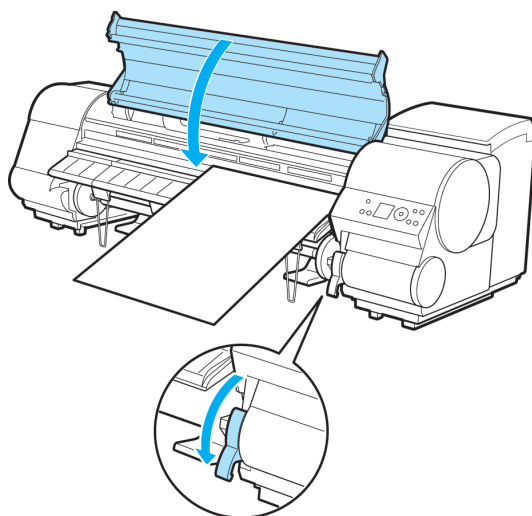
2. 図のように、紙合わせライン(d)の手前側に、差し込んだ用紙の先端を合わせます。

カット紙を差し込むと、自動的にカット紙が吸引されてプラテン上に保持されます。

重要

- カット紙は右側の紙合わせライン(c)と平行になるようにセットしてください。斜めになっていると斜行エラーになります。
- 用紙に反りがある場合、用紙とプリントヘッドがこすれる可能性があります。反りを直してから用紙をセットしてください。

メモ

- リリースレバーを上げているときは、プラテンの用紙吸着力を調整することができます。用紙をセットしにくいときは、操作パネルの[▲]キー、[▼]キーを押して、吸着力を調整してください。吸着力の調整は 3 段階で、[▲]キーを押すと強く、[▼]キーを押すと弱くなります。
  ただし、用紙によっては、吸着力を強くしてもプラテン上に保持されない場合があります。その場合は、手を添えて用紙をセットしてください。
- カット紙は、プラテン上の穴が吸引することによって保持されています。セット位置によって音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。音が気になる場合は、紙合わせラインと平行のままセット位置を少し(左右最大 1 mm 以内)ずらしてみてください。
- セット時の吸引時間は約 30 秒です。吸引中にセットできなかった場合は、カット紙を引き抜いて差し込み直すと、再び吸引されます。

3. リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

給紙が開始されます。
給紙が完了すると、自動的にオンラインモードになり、自動的に印刷を開始します。
事前にコンピュータから印刷ジョブを受信していない場合は、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。
その場合は用紙の種類を選択してください。(「用紙の種類を選択する(カット紙)」参照) →P.601

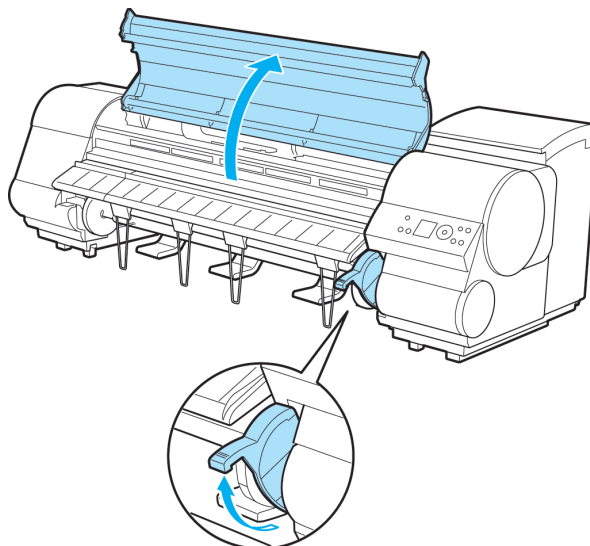
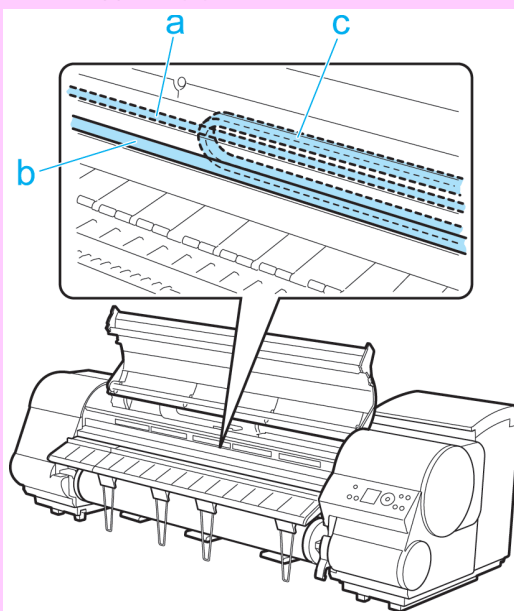
メモ

- スタンド固定型バスケットを使用する場合、大きいサイズの固いカット紙を印刷するときは、印刷物が折れ曲がらないように、スタンド固定型バスケットを倒した位置にセットすることをお勧めします。(「スタンド固定型バスケットを使用する」参照) →P.610

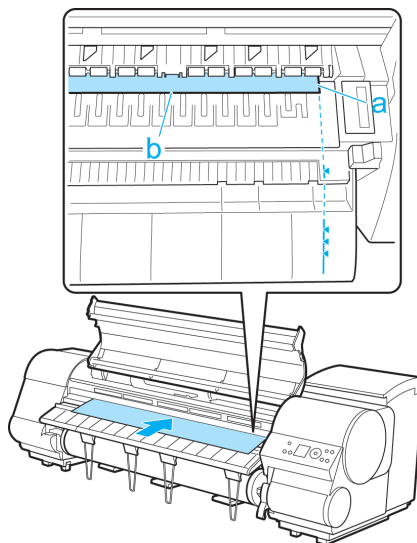
用紙を手動で印刷開始位置にセットする

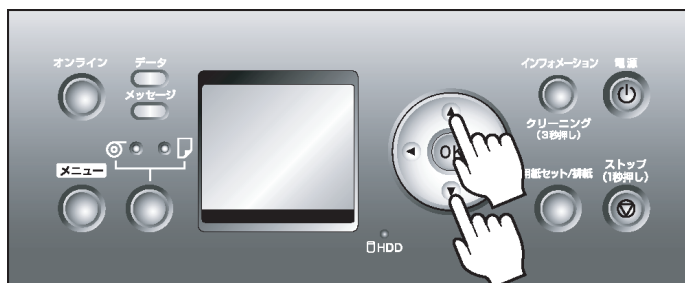
定形外の用紙や、任意の位置から印刷を開始したい場合は、プリンタのメニューで使用する用紙種類の[用紙幅検知]を[オフ]に設定します。
[用紙幅検知]を[オフ]に設定すると、用紙は自動で印刷開始位置にセットされません。用紙を手動で印刷開始位置にセットしてください。
ここでは、[用紙幅検知]が[オフ]に設定されている用紙を手動で印刷開始位置へセットする手順を説明します。

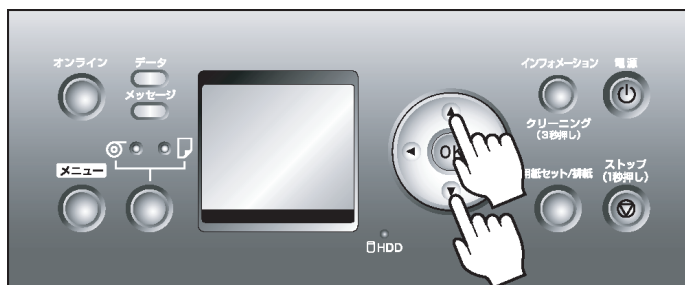
1. 事前にコンピュータから印刷ジョブを送信しておくと、ディスプレイに印刷する用紙の種類とサイズが表示されます。リリースレバーを上げ、上カバーを開きます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

2. 用紙の右端をプリンタ本体の右側の紙合わせライン(a)の延長線上に合わせながら、用紙の手前端をプラテンの奥側の溝(b)に合わせてセットします。
この場合、用紙をセットした位置から印刷が開始されるため、できるだけ給紙口の奥側に用紙をセットする必要があります。

3. リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

7

4. コンピュータから印刷ジョブを受信していない場合は、[▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択して[OK]キーを押します。

5. ディスプレイに[[用紙幅検知]がｵﾌに設定されています。そのまま続けますか?]と表示されたら、[▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾌのまま続ける]を選択して[OK]キーを押します。

6. 用紙のセット位置を確認して、[OK]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙のサイズを選択して[OK]キーを押します。

メモ

- 送信した印刷データが選択した用紙のサイズよりも大きい場合、プラテンが汚れる場合があります。

カット紙を取り外す

以下の手順でカット紙をプリンタから取り外します。

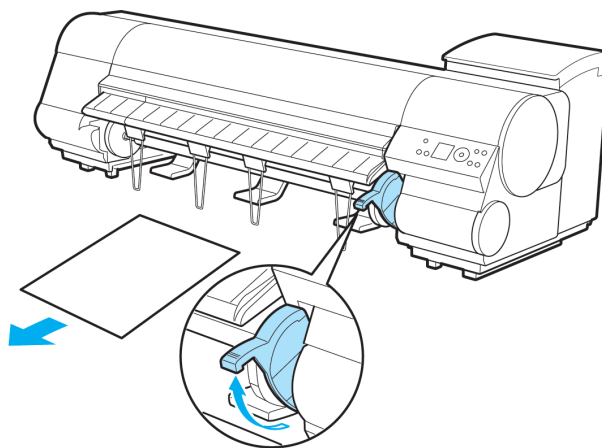
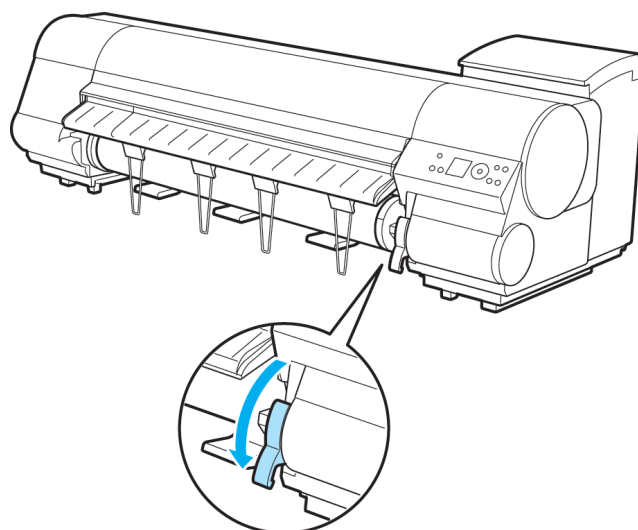
1. [用紙セット/排紙]キーを押します。

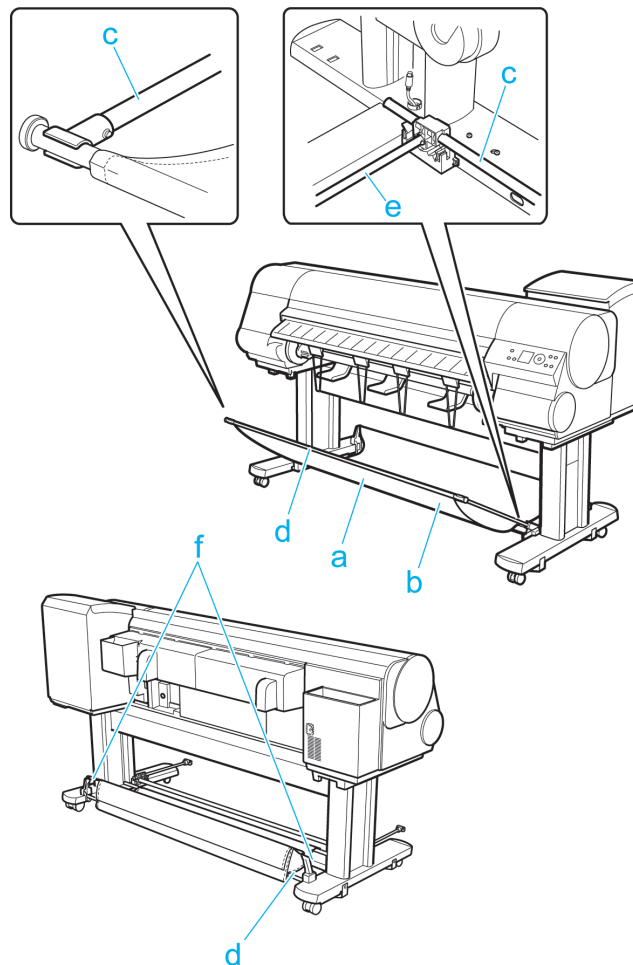
メモ

- 印刷ジョブまたはインク乾燥の実行中は、[用紙セット/排紙]キーによる排紙は実行できません。[ストップ]キーを押して、印刷中や処理中のジョブ、インク乾燥を中止してから排紙してください。

2. [OK]キーを押して、カット紙を排紙します。

カット紙は前側に排紙されます。

3. カット紙を持ちながらリリースレバーを上げ、カット紙を取り外します。

4. リリースレバーを下げます。

バスケット

スタンド固定型バスケット

a. バスケット

排紙された用紙を受けとめる布製のトレイです。

b. 白いタグ

バスケットの取り付け向きの目印です。

c. バスケットアーム R／バスケットアーム L

バスケットを通したバスケットロッド(タグ側)を保持します。バスケットを使わないときは下に倒してスタンドレッグに沿って収納できます。

d. バスケットロッド（タグ側）／バスケットロッド（ひも側）

布製バスケットを所定の位置に固定します。

e. バスケットロッド

バスケットアーム R とバスケットアーム L の角度を同期させます。

f. リアホルダー

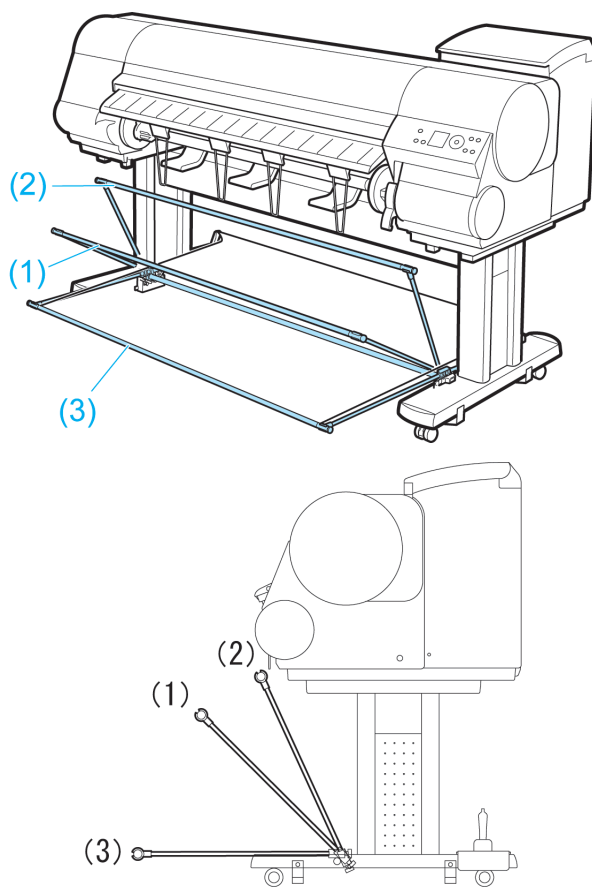
バスケットロッド(ひも側)を保持します。

(「スタンド固定型バスケットを使用する」参照) →P.610

メモ

- 本プリンタに使用可能なバスケットは、スタンド固定型バスケットと単体で移動可能なキャスター付バスケットの 2 種類があります。
  通常はスタンド固定型バスケットが標準品ですが、お買い上げの地域によってはキャスター付バスケットが標準品の場合があります。キャスター付バスケットが標準品の場合、スタンド固定型バスケットは付属しません。
  キャスター付バスケットについては「キャスター付バスケット」を参照してください。→P.614

スタンド固定型バスケットを使用する

スタンド固定型バスケットは、図のように 3 か所の位置で使用することができます。

- **バスケットに印刷物を収容するとき**

  (1)の位置で使用します。

- **バスケットを使用しないとき**

  (2)の位置に移動します。

- **巻き取り装置を使用するとき、またはバスケットを長期間使用しないとき**

  (3)の位置に倒し、収納します。(「スタンド固定型バスケットを収納する」参照) →P.612

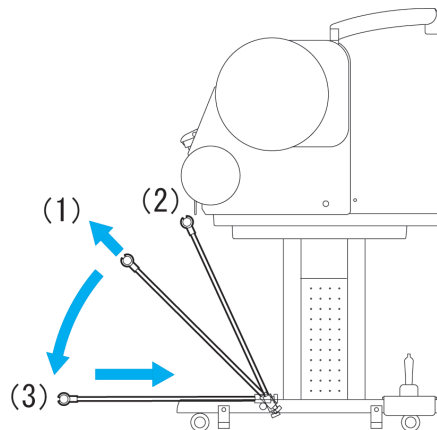
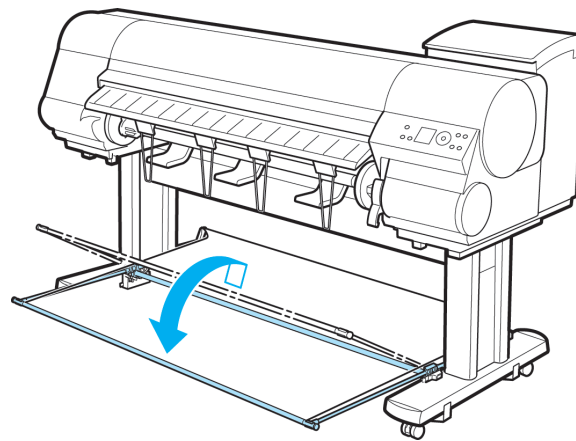
  収納したバスケットを再度使用するときは、バスケット前側のバスケットロッドを左右のバスケットアームの先端部分に取り付けて、最後まで完全に引き出します

- **大きいサイズの固いカット紙を印刷するとき**

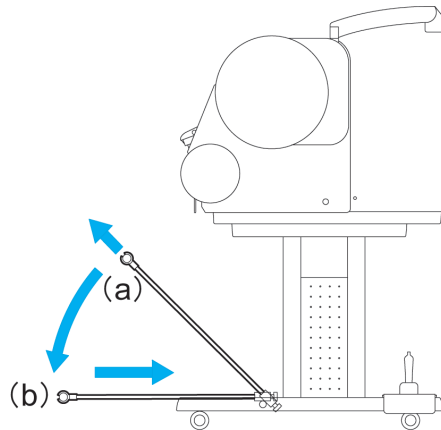
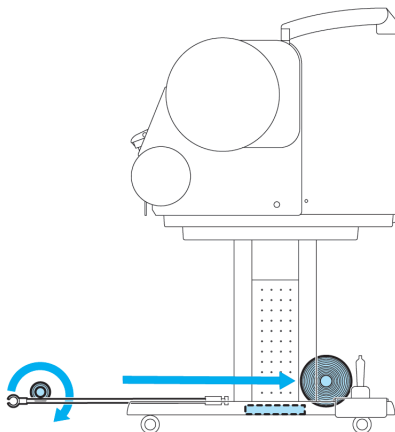
  (3)の位置で使用します。

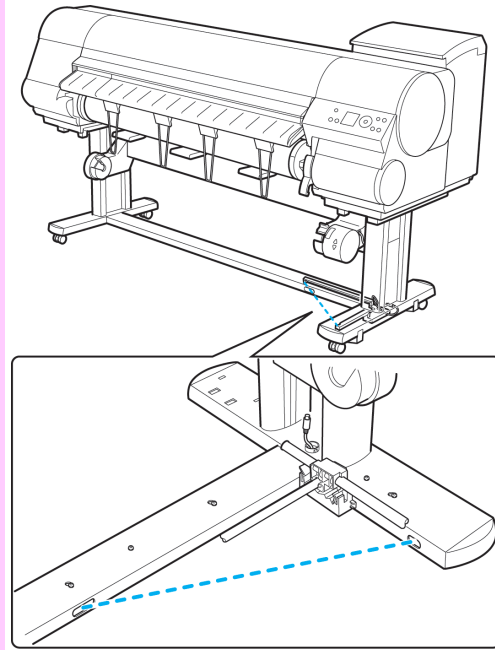
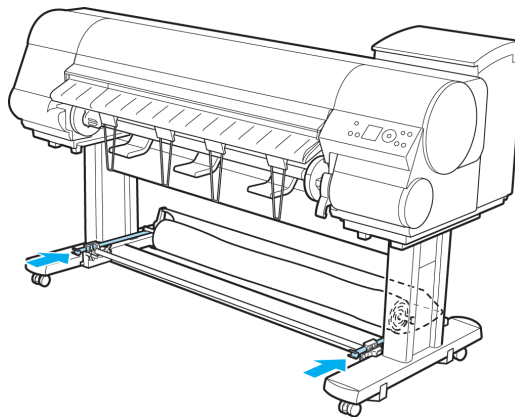
重要

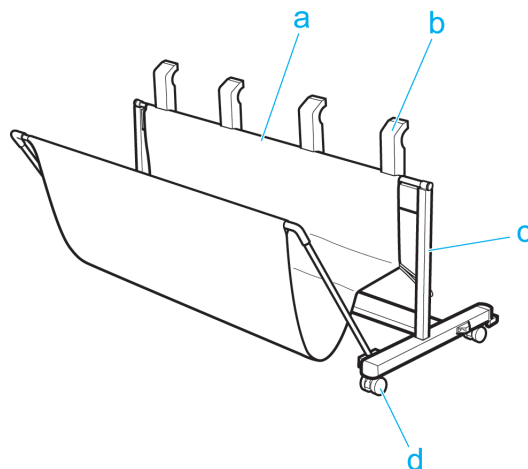
- バスケットに印刷物を収容するときは、必ず(1)の位置で使用してください。(1)の位置で使用しないと、印刷物がバスケットに入らず、印刷面が汚れる場合があります。
- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
- バスケットを使用するときは、巻き取り用スプールを取り外してください。印刷物が正しく収容されず、傷付く場合があります。
- バスケットには、62 インチ(1575mm)までのロール紙を収容できます。それ以上の長さのロール紙に印刷する場合は、巻き取り装置(オプション)を使用してください。

(1)または(2)の位置まで持ち上げると、バスケットはロックされます。バスケットを倒したい場合は、前側のバスケットロッドを軽く持ち上げるとロックが解除されるので、そのまま倒します。

スタンド固定型バスケットを収納する

巻き取り装置を使用するとき、またはスタンド固定型バスケットを長期間使用しないときは、スタンド固定型バスケットを収納します。

1. バスケットに印刷物を収容するときに使用する位置(a)で、前側のバスケットロッドを軽く持ち上げてロックを解除してから手前に倒し(b)、奥側に押し込みます。

2. 前側のバスケットロッドを左右のバスケットアームから取り外し、バスケット布を巻き取りながらスタンド下ステーの後ろ側に置きます。

重要

- オプションの巻き取り装置を使用している場合は、バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサー(破線部)をさえぎらないように置いてください。

3. 左右のバスケットアームを、止まるまで後ろ側に押し込みます。

キャスター付バスケット

プリンタの前に取り付けるキャスター付きのバスケットです。

a. バスケット

排紙された用紙を受けとめる布製のトレイです。
手前のロッドを持って、バスケットを開閉できます。

b. バスケット排紙ガイド

印刷物がロールホルダーや給紙口に巻き込まれるのを防止します。
キャスター付バスケットを動かす際は、ここを持ちます。

c. バスケットフットスタンド

キャスター付きで簡単に移動できます。

d. ストッパ

スタンドのキャスターを固定します。
プリンタを移動するときは、必ずストッパを解除してください。ストッパをロックしたままプリンタを移動すると、キャスターが削れて床に傷が付く場合があります。

メモ

- キャスター付バスケットの組み立て方法については、キャスター付バスケットに同梱されているセットアップガイドを参照してください。
- 本プリンタに使用可能なバスケットは、スタンド固定型バスケットと単体で移動可能なキャスター付バスケットの 2 種類があります。
  キャスター付バスケットは通常はオプション品ですが、お買い上げの地域によっては標準品の場合があります。キャスター付バスケットが標準品の場合、スタンド固定型バスケットは付属しません。
  スタンド固定型バスケットについては「スタンド固定型バスケット」を参照してください。→P.609

キャスター付バスケットを使用する

キャスター付バスケットをプリンタに取り付けて、印刷したロール紙が床に落ちるのを防ぎます。
キャスターが付いているので、簡単に移動できます。

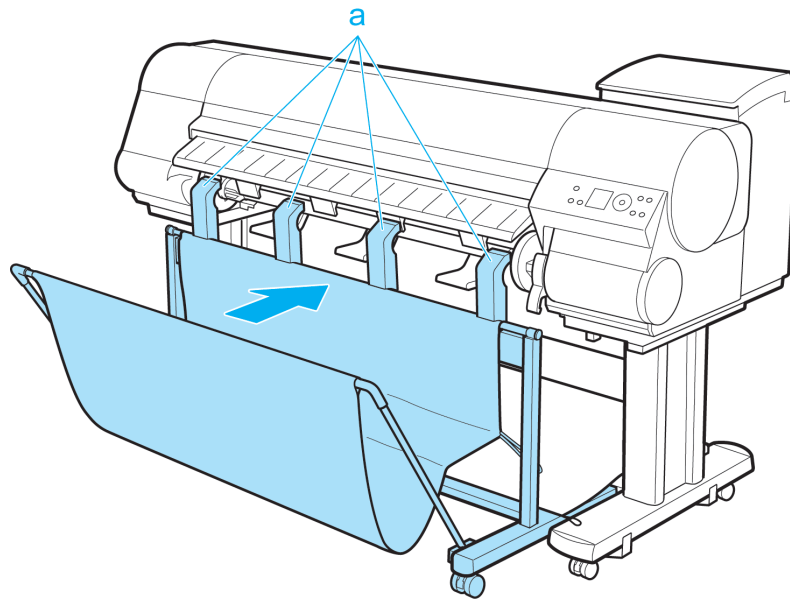
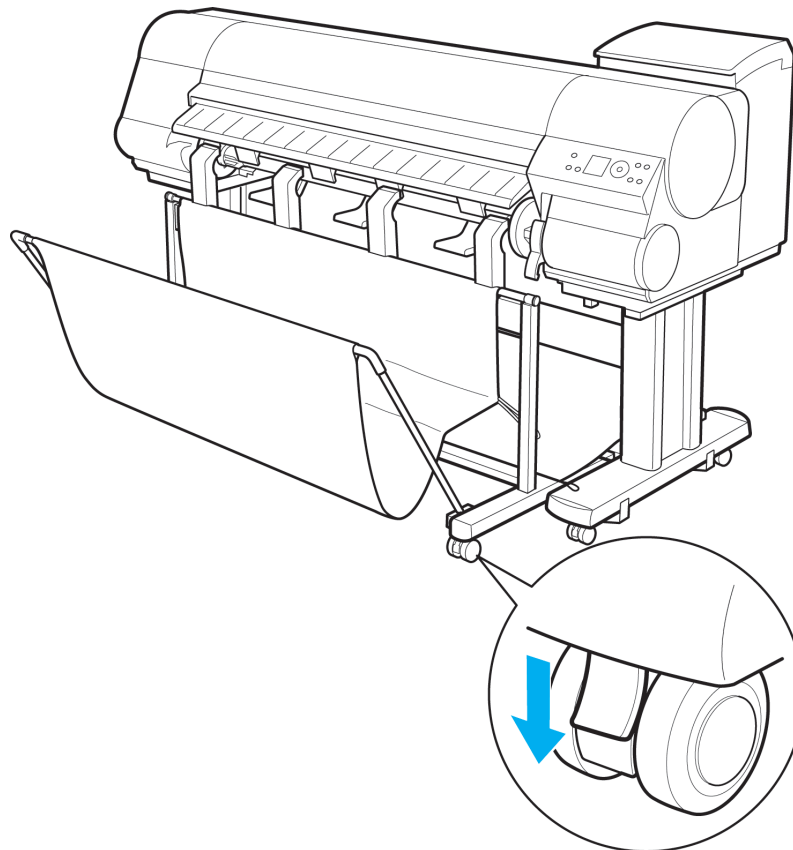
重要

- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。

キャスター付バスケットをプリンタに取り付ける

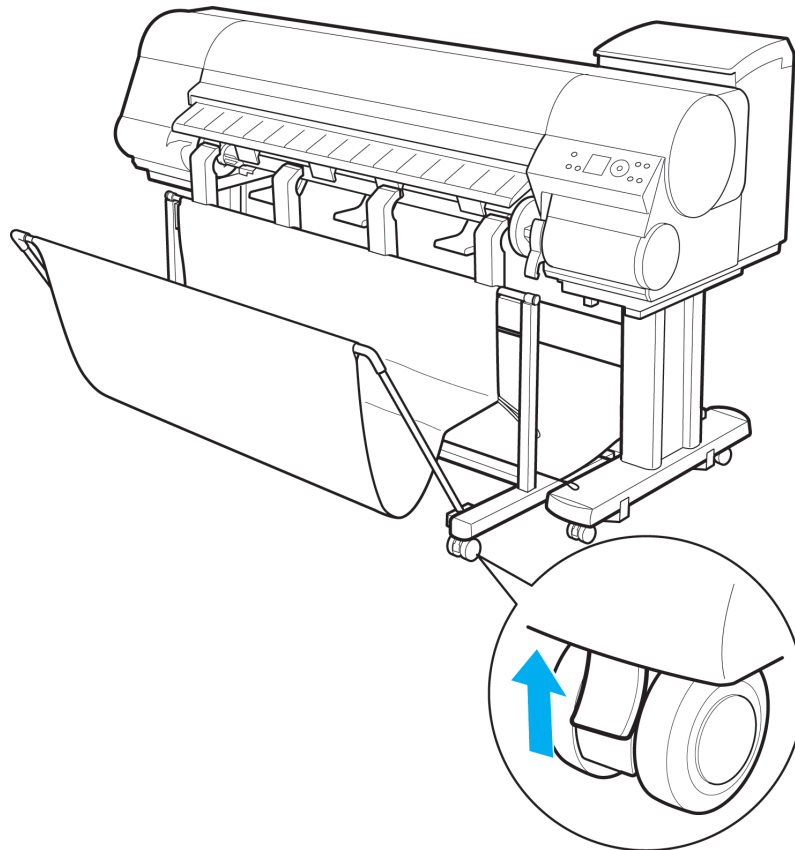
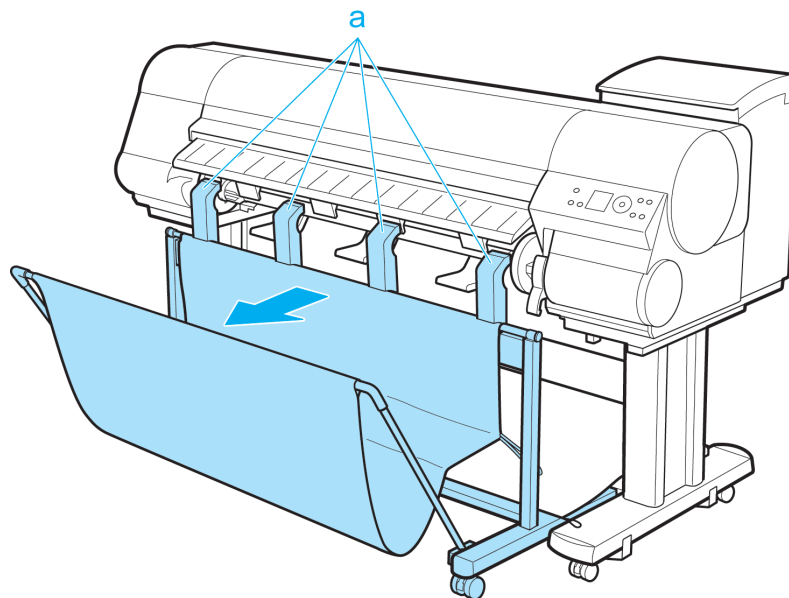
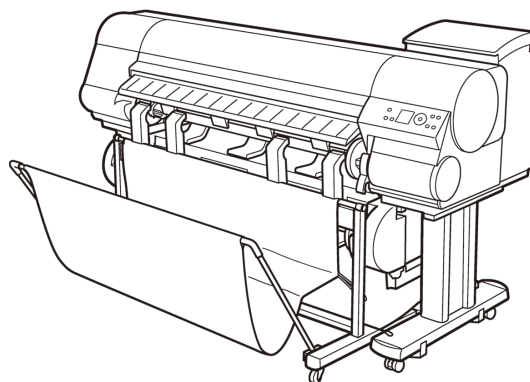
1. バスケット排紙ガイド(a)を持ち、プリンタのスタンドの間に移動します。

2. キャスターをロックします。

7

キャスター付バスケットをプリンタから取り外す

メモ

- キャスター付バスケットを移動するスペースが少ない場合は、バスケットのなかの印刷物を取り除き、バスケットを畳んでください。

1. キャスターのロックを解除します。

2. バスケット排紙ガイド(a)を持ち、プリンタから取り外します。

画質の調整と改善

プリントヘッドの調整

プリントヘッドを調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、プリントヘッドを調整します。

- 印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合
  [ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ]を実行し、プリントヘッドのノズルがつまっていないかを確認します。
  確認方法については、「ノズルのつまりをチェックする」を参照してください。→P.758
- 印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合
  [自動ﾍｯﾄﾞ調整]または[手動ﾍｯﾄﾞ調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
  通常は、[自動ﾍｯﾄﾞ調整]を実行してください。ただし、特殊な用紙や、[自動ﾍｯﾄﾞ調整]の[詳細調整]を実行しても改善されない場合は、[手動ﾍｯﾄﾞ調整]を実行してください。
  調整方法については、「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整) →P.618」または「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(手動ヘッド調整)」を参照してください。→P.620
- 印刷したときに罫線がずれる場合
  [ﾍｯﾄﾞ傾き調整]を実行し、プリントヘッドの傾きを調整します。
  微妙な罫線のずれを調整することができます。
  調整方法については、「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」を参照してください。→P.621
- プリントヘッドが用紙にこすれる場合や、画像の端部がぼやける場合
  [ﾍｯﾄﾞ高さ]を実行し、プリントヘッドの高さを変更すると、改善されることがあります。
  調整方法については、「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」を参照してください。
  →P.624

縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、プリントヘッドの位置を調整します。
[自動ﾍｯﾄﾞ調整]を実行すると、調整用パターンが印刷され、印刷結果を基にプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。
[自動ﾍｯﾄﾞ調整]には、[標準調整]と[詳細調整]があります。
微小なゆがみや色ずれなど、ほとんどの場合は[標準調整]で改善されますが、改善されない場合は[詳細調整]を行ってください。

メモ

- 特殊な用紙や、自動調整の詳細調整を行っても改善されない場合は、手動で調整してください。手動で調整する方法については、「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する（手動ヘッド調整）」を参照してください。→P.620
- 用紙を他の種類に変更したときや各色の境界をよりきれいにしたい場合は、[標準調整]を行ってください。
- より鮮明な画像に印刷したい場合やプリントヘッドを交換したときは、ノズル間や色間の位置を詳細に調整する[詳細調整]を行ってください。高画質な印刷を行うために[詳細調整]を実施することをお勧めします。
- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。
- トレーシングペーパー（CAD）、半透明マットフィルム（CAD）および、クリアフィルム（CAD）は使用できません。透過性の高いフィルム系などの用紙や特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、プリントヘッドの位置を手動で調整してください。（「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する（手動ヘッド調整）」参照）→P.620

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	[標準調整]：未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 [詳細調整]：未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 5 枚（ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚/A3 サイズを横向きに置く場合は 2 枚）

以下の手順で、[自動ﾍｯﾄﾞ調整]を実行します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.579
   - カット紙をプリンタにセットする →P.602

2. [メニュー]キーを押して、[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動ﾍｯﾄﾞ調整]を選択し、[▶]キーを押します。

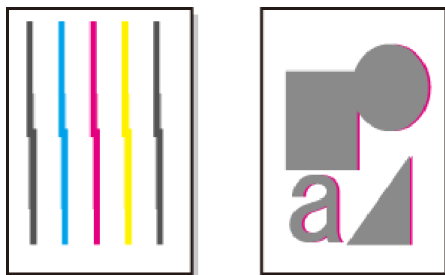
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[標準調整]または[詳細調整]を選択し、[▶]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
   プリントヘッド調整用パターンが印刷されます。
   ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整は終了します。

7. [詳細調整]で A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(手動ヘッド調整)

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、プリントヘッドの位置を調整します。
[手動ﾍｯﾄﾞ調整]は、調整用パターンを印刷して、印刷結果を基に手動でプリントヘッドの位置を調整します。
プリントヘッドの位置を調整するには、自動で調整する方法と手動で調整する方法があります。通常は、自動調整を行ってください。特殊な用紙や、自動調整の詳細調整を行っても改善されない場合は、手動で調整してください。自動で調整する方法については、「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)」を参照してください。 →P.618

メモ

- [手動ﾍｯﾄﾞ調整]がメニューに表示されるのに選択できない場合は、[自動ﾍｯﾄﾞ調整]の[詳細調整]を実行してください。一度、[詳細調整]を実行した後は、メニューで[手動ﾍｯﾄﾞ調整]が選択できるようになります。
- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で、[手動ﾍｯﾄﾞ調整]を実行します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.579
   - カット紙をプリンタにセットする →P.602

2. [メニュー]キーを押して、[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[▶]キーを押します。

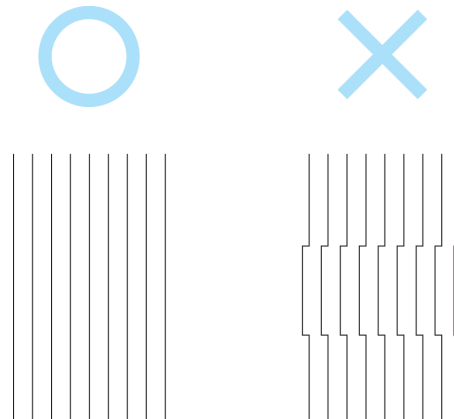
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[手動ﾍｯﾄﾞ 調整]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
プリントヘッド調整用パターンが印刷されます。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[D]を選択し、[▶]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[D-1]を選択し、[▶]キーを押します。

8. 印刷されたプリントヘッド調整用パターンの[D-1]を見て、線がまっすぐのパターンの番号を確認します。

メモ

- 線が最もまっすぐなパターンを 2 つのパターンで迷う場合は、中間の値を選択してください。例えば、番号が 10 と 12 のパターンで判断できない場合は、11 を選択します。

9. [▲]キー、[▼]キーを押してその番号を選択し、[OK]キーを押します。

10. 手順 7〜9 を繰り返し、[D-2]〜[D-5]、[D-7]〜[D-11]の調整値を設定します。

11. [◀]キーを押します。

12. [▲]キー、[▼]キーを押して[設定登録]を選択し、[▶]キーを押します。

13. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)

印刷したときに罫線がずれる場合は、プリントヘッドの傾きを調整します。微妙な罫線のずれを調整することができます。プリントヘッドの傾きは、調整用パターンを印刷して、印刷結果を基に調整します。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で、[ﾍｯﾄﾞ 傾き調整]を実行します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.579
   - カット紙をプリンタにセットする →P.602

メモ

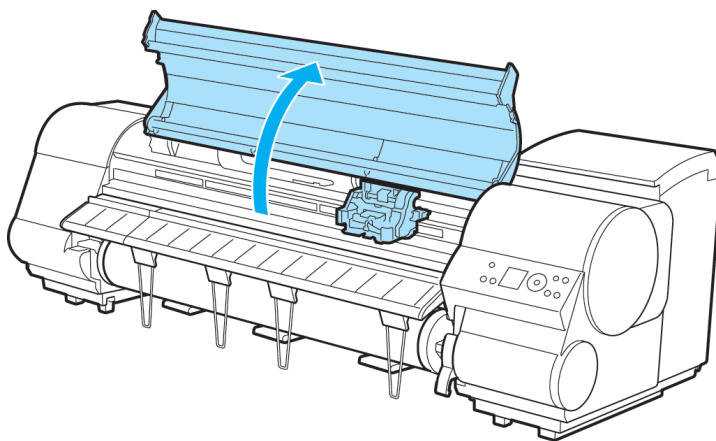
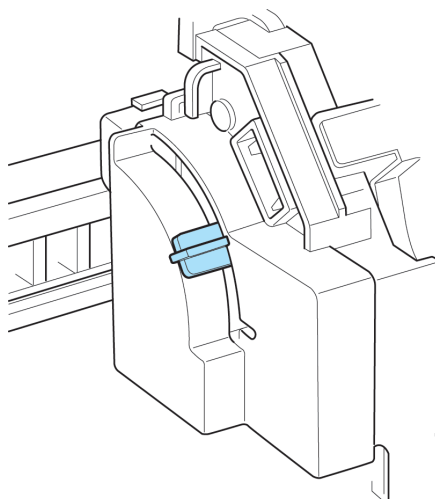
- 用紙をセットするときに、用紙の種類を正しく設定してください。用紙の種類が設定されていない場合、正しい調整結果が得られず、印刷品質が低下する場合があります。
- 使用頻度が最も高い用紙をセットすることをお勧めします。

2. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

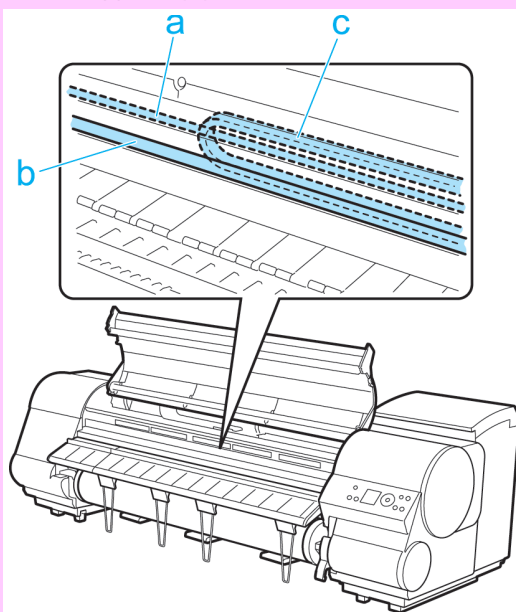
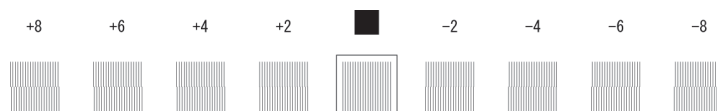
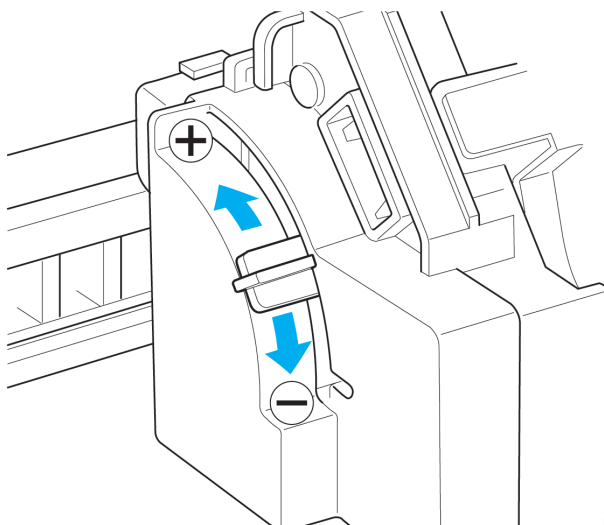
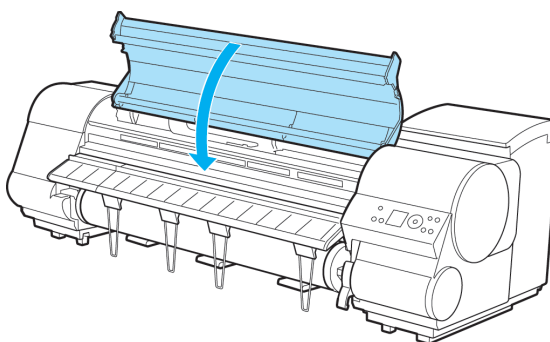
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 傾き調整]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
   プリントヘッドが移動し、上カバーを開くメッセージが表示されます。

6. 上カバーを開きます。

7. スラント調整レバーを赤い四角の位置に合わせ、上カバーを閉じます。

調整用パターンが印刷されます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

8. 印刷された調整パターンを見て、線がまっすぐのチャートを確認します。

9. 上カバーを開き、線がまっすぐのチャートの数字または四角にスラント調整レバーを合わせます。
線がまっすぐのチャートがない場合は、線のズレが最も少ない 2 つのチャートの数字または四角の中間にスラント調整レバーを合わせます。

10. 上カバーを閉じます。
プリントヘッドの傾きが調整され、調整が終了します。

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)

印刷したときに、印刷がこすれたり用紙の端がこすれた場合は、プリントヘッドの高さを変更すると、改善されることがあります。
また、画像の端部がぼやける場合は、プリントヘッドの高さを低くすると、改善されることがあります。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押してプリントヘッドの高さを選択し、[OK]キーを押します。

用紙送りの調整

用紙の送り量を調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、用紙の送り量を調整します。

- 印刷物に色味の違うスジが入る
- 用紙送り方向に印刷された罫線の長さが正確でない

用紙の送り量を調整する場合は、以下の順に設定してください。

1. 現象に応じて、用紙の種類に対する[紙送り調整]の設定を変更します。（「用紙の送り量の調整方法を選択する（紙送り調整）」参照） →P.626
2. [紙送り調整]の設定に応じて、[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]、[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]、[長さ調整]のいずれかを実行します。（「横スジを自動調整する（自動バンド調整）」参照） →P.627 （「横スジを手動で調整する（手動バンド調整）」参照） →P.628 （「罫線の長さを調整する（長さ調整）」参照） →P.631
3. [自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]または[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行した後に、さらに微調整が必要な場合は、[印刷中ﾒﾆｭｰ]から[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]を実行します。（「印刷中に横スジを調整する（バンド微調整）」参照） →P.630

用紙の送り量の調整方法を選択する（紙送り調整）

用紙の送り方向への調整方法は、[紙送り調整]で用紙種類ごとに設定されています。
[紙送り調整]の設定は、印刷目的に応じて変更してください。

- [ﾊﾞﾝﾄﾞ合せ目優先]: 印刷物の横スジを目立たなくするように調整します。
  [自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]または[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]の設定が適用されます。[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]を実行した場合は、[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]または[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]の設定に加えて、[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]の設定も適用されます。
- [長さ優先]: 印刷物の罫線の長さを合わせるように調整します。
  [長さ調整]メニューの[A:きれい]または[B:標準/速い]の設定が適用されます。
- [自動]: 印刷時にプリンタドライバで選択された[優先画質]により、[ﾊﾞﾝﾄﾞ合せ目優先]または[長さ優先]が選択されます。
  [写真・イラスト]または[オフィス文書]:[ﾊﾞﾝﾄﾞ合せ目優先]が選択されます。
  [線画・文字]:[長さ優先]が選択されます。

メモ

- [手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]は、透明度のある用紙など[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]で調整できない用紙を調整する場合に実行します。
- [長さ調整]メニューの[B:標準/速い]、[A:きれい]は、印刷時のプリンタドライバの設定によりいずれかが適用されます。
- プリンタドライバで[目的設定モード]を選択した場合は、以下の手順で[優先画質]を確認してください。
  - Windows :[基本設定]タブで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。
  - Mac OS X :[基本設定]パネルで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。

以下の手順で[紙送り調整]の設定を変更します。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[▶]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動]、[ﾊﾞﾝﾄﾞ合せ目優先]、[長さ優先]のいずれかを選択し、[OK]キーを押します。

横スジを自動調整する(自動バンド調整)

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、用紙の送り量を調整します。
[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]には、[標準調整]と[詳細調整]があり、キヤノン純正紙および出力確認用紙以外の用紙で調整する場合や、[標準調整]を実行してもスジが改善されない場合には[詳細調整]を実行します。
[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行する前に、必ず[紙送り調整]の設定を確認してください。(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.626

メモ

- 透明度のある用紙など、[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]で調整できない用紙の場合は、用紙の送り量を手動で調整する必要があります。(「横スジを手動で調整する(手動バンド調整)」参照) →P.628
- [自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]を実行してください。(「印刷中に横スジを調整する(バンド微調整)」参照) →P.630
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したいときなど、スケールの精度を調整したい場合は、用紙の伸縮率を設定して調整します。(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.631
- 用紙の種類によっては、時間がかかる場合があります。
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	[標準調整]：未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 [詳細調整]：未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚（ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚）

以下の手順で[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.579
   - カット紙をプリンタにセットする →P.602

メモ

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. [メニュー]キーを押して、[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[標準調整]または[詳細調整]を選択し、[▶]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
   バンド調整用パターンが印刷されます。
   ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整は終了します。

7. [標準調整]で A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

横スジを手動で調整する（手動バンド調整）

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、用紙の送り量を調整します。
[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]は、透明度のある用紙など、[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]で調整できない用紙に対して実行します。
その他の用紙は、自動調整をお勧めします。（「横スジを自動調整する（自動バンド調整）」参照） →P.627
[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行する前に、必ず[紙送り調整]の設定を確認してください。（「用紙の送り量の調整方法を選択する（紙送り調整）」参照） →P.626

メモ

- [手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]を実行してください。(「印刷中に横スジを調整する(バンド微調整)」参照) →P.630
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚

以下の手順で、[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を実行します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.579
   - カット紙をプリンタにセットする →P.602

メモ

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. [メニュー]キーを押して、[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
   バンド調整用パターン A が印刷されます。

6. 印刷されたバンド調整用パターン A を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

メモ

- 横スジが最も目立たないパターンを 2 つのパターンで迷う場合は、中間の値を選択してください。例えば、番号が 10 と 12 のパターンで判断できない場合は、11 を選択します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して、手順 6 で選択した番号を表示してから、[OK]キーを押します。
バンド調整用パターン B が印刷されます。

8. 印刷されたバンド調整用パターン B を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

9. [▲]キー、[▼]キーを押して、手順 8 で選択した番号を表示してから、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

印刷中に横スジを調整する(バンド微調整)

印刷中に、横方向に 50 mm 程度の周期的な濃淡差が発生した場合、または色味の違うスジが入る場合は、以下の手順で調整することができます。調整した結果が印刷の途中から反映され、結果をすぐに確認することができます。ただし、印刷を一時停止させるため、色味が変わることがあります。
[バンド微調整]は、[自動バンド調整]または[手動バンド調整]を実行後、さらに微調整が必要な場合に実行してください。(「横スジを自動調整する(自動バンド調整)」参照) →P.627 (「横スジを手動で調整する(手動バンド調整)」参照) →P.628

メモ

- [バンド微調整]の設定値は、[自動バンド調整]または[手動バンド調整]を実行すると 0 に戻ります。

以下の手順で、印刷中に[バンド微調整]を実行します。

1. [オンライン]キーを押して、印刷を一時停止します。

2. [メニュー]キーを押して、印刷中メニューを表示します。(「印刷中のメインメニューの設定値」参照) →P.681

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷中メニュー]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[バンド微調整]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を変更し、[OK]キーを押します。

メモ

- –5〜+5 の数値を設定することができます。

6. [オンライン]キーを押して、印刷を再開します。

罫線の長さを調整する(長さ調整)

CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したいときなどは、[長さ調整]を実行します。
[長さ調整]には[A:きれい]と[B:標準/速い]がありますので、印刷目的に応じて選択してください。

- [A:きれい]: 印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[最高]または[きれい]が選択された場合に設定が適用されます。
- [B:標準/速い]: 印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[標準]または[速い]が選択された場合に設定が適用されます。

[長さ調整]を実行する前に、[紙送り調整]の設定を確認してください。(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.626

メモ

- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。
- プリンタで[目的設定モード]を選択した場合は、以下の手順で[印刷品質]を確認してください。
  - Windows :[基本設定]タブで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。
  - Mac OS X :[基本設定]パネルで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で[長さ調整]の設定を変更します。

1. 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
- ロール紙をプリンタにセットする →P.579
- カット紙をプリンタにセットする →P.602

メモ

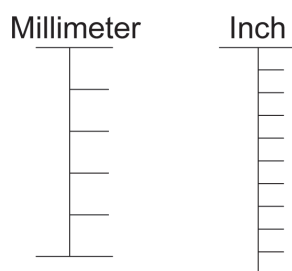
- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. [メニュー]キーを押して、[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[長さ調整]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[A:きれい]または[B:標準/速い]を選択し、[▶]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
用紙の伸縮率の調整用パターンが印刷されます。[Millimeter]には 50 mm 間隔、[Inch]には 1 インチ間隔のスケールが表示されます。

メモ
- 調整用パターンは、[A:きれい]を選択した場合は黒で、[B:標準/速い]を選択した場合はマゼンタでそれぞれ印刷されます。
- 調整用パターンの印刷を中止する場合は、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、手順 7 に進んでください。

7. 調整用パターンの長さを測定し、測定値と実際の値の誤差を%で入力し、[OK]キーを押します。
0.02%ごとに値を変えることができます。[▲]キーを押すと値が増え、[▼]キーを押すと値が減ります。
印刷されたスケールの長さが実際より短かった場合は+側に、印刷されたスケールの長さが実際の値より長かった場合は-側に設定します。

メモ
- [用紙詳細設定]メニューの[長さ調整]でも、調整値を設定することができます。ただし、この場合は調整用パターンが印刷されません。

用紙の吸着力を変更する(吸着力)

厚い用紙や、カールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、印刷がこすれたり用紙の端がこすれた場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

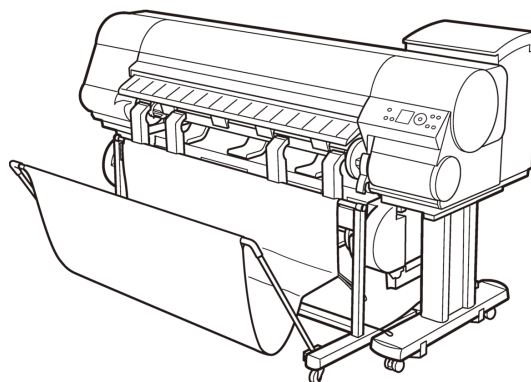
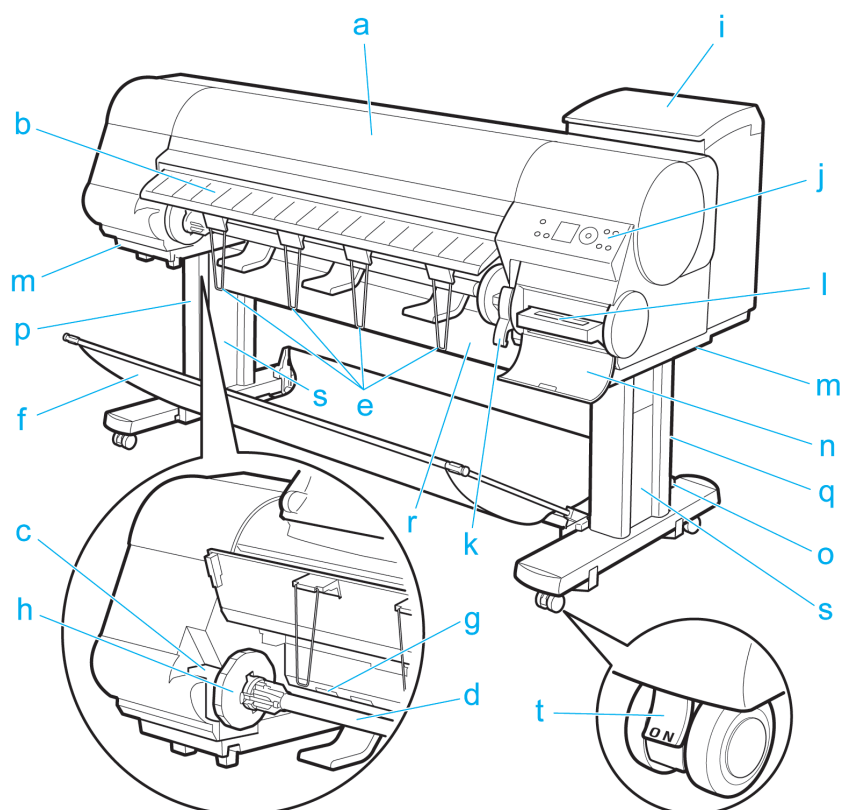
2. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[吸着力]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押してプラテン上での用紙の吸着力の強さを選択し、[OK]キーを押します。

プリンタの各部

各部の説明

前面

a. 上カバー

このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、用紙をセットしたり、プリンタ内部につまった用紙を取り除きます。(「上カバー内部」参照) →P.638

b. 排紙ガイド

印刷物が排紙されます。また、ロール紙をセットするときに、このガイドを開きます。

c. ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのガイド溝にセットします。

d. ロールホルダー

ロール紙をこのホルダーにセットします。

e. 排紙サポート

印刷物がロールホルダーや給紙口に巻き込まれるのを防止します。

f. スタンド固定型バスケット

排紙された用紙を受け止める布製のトレイです。(「スタンド固定型バスケット」参照) →P.609

g. 給紙口

ロール紙をセットするときに、ここにロール紙を差し込みます。

h. ホルダーストッパ

ロールホルダーにロール紙をこの部品で固定します。

i. インクタンクカバー

このカバーを開き、インクタンクを交換します。(「インクタンクカバー内部」参照) →P.640

j. 操作パネル

このパネルで、プリンタを操作したり、プリンタの状態を確認します。(「操作パネル」参照) →P.641

k. リリースレバー

用紙押さえを解除します。用紙をセットするときに、このレバーを手前側に引き上げます。

l. メンテナンスカートリッジ

ヘッドクリーニングなど、メンテナンスで使用したインクを吸収します。(いっぱいになったら交換します。)

m. 運搬用取っ手

左右底面のこの部分を持って、6 人でプリンタを運びます。

n. メンテナンスカートリッジカバー

このカバーを開き、メンテナンスカートリッジを交換します。

o. スタンド

プリンタの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。

p. スタンド L

スタンドの左足です。

q. スタンド R

スタンドの右足です。

r. スタンド上ステー

スタンド L とスタンド R を支えます。ここに、巻き取り装置(オプション)を取り付けます。

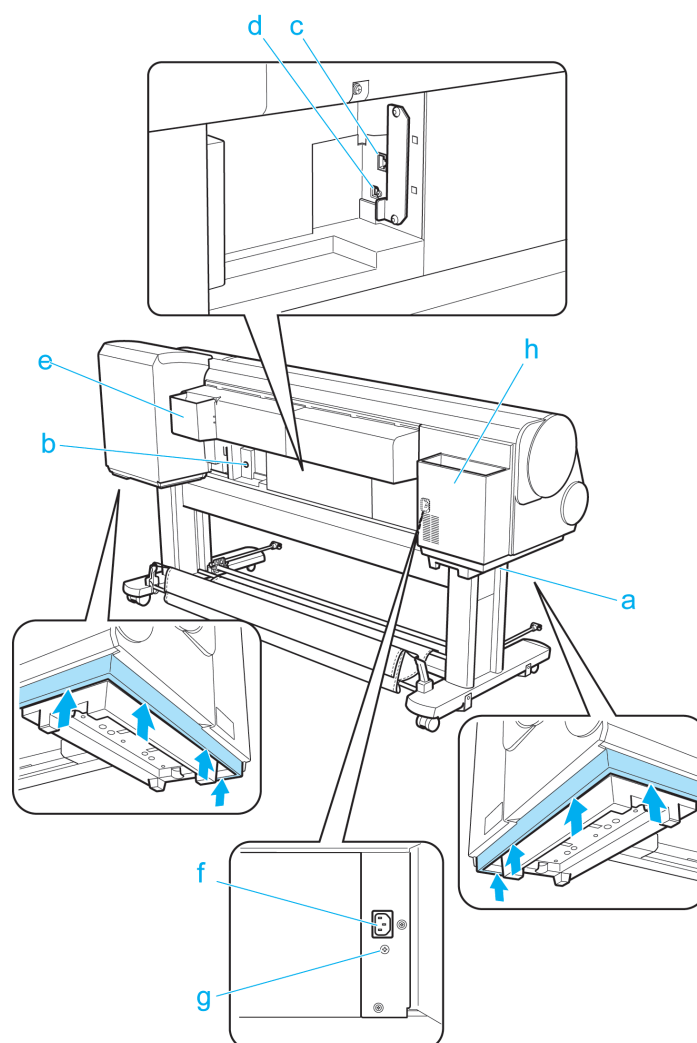
s. レッグカバー

スタンド L とスタンド R のカバーです。

t. ストッパ

スタンドのキャスターを固定します。

プリンタを移動するときは、必ずストッパを解除してください。ストッパをロックしたままプリンタを移動すると、キャスターが削れて床に傷が付く場合があります。

背面

a. 運搬用取っ手

左右底面のこの部分を持って、6 人でプリンタを運びます。

b. 巻き取り装置用電源コネクタ

巻き取り装置(オプション)の電源コードをこのコネクタに接続します。

c. Ethernet コネクタ

Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。Ethernet ケーブルが正しく接続され、通信可能な状態になっている場合は、ランプが点灯します。

d. USB ポート

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

e. マニュアルポケット

プリンタのマニュアルをこのポケットに収納します。

f. 電源コネクタ

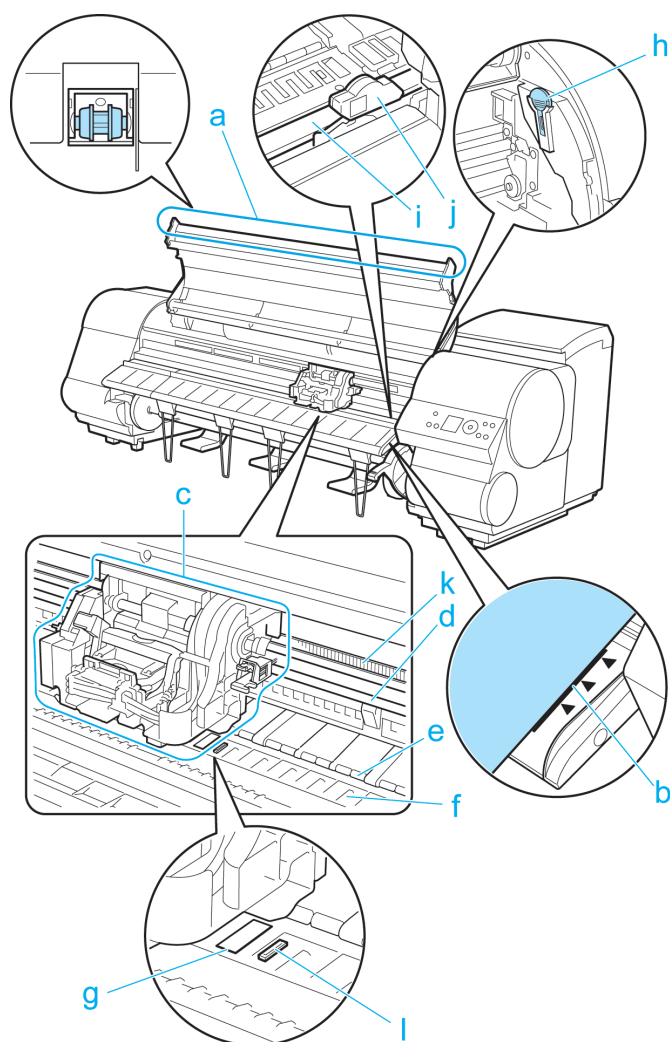
電源コードをこのコネクタに接続します。

g. アース端子

アース線をこの端子に接続します。

h. アクセサリポケット

組み立て工具やロールホルダーのアタッチメントなどをこのポケットに収納します。

上カバー内部

a. 上カバーローラ

用紙の浮き上がりを押さえて排紙します。

b. 紙合わせライン

用紙をセットするときに、このラインに合わせてセットします。

c. キャリッジ

プリントヘッドを動かします。印刷するための重要な部品です。(「キャリッジ」参照) →P.639

d. キャリッジシャフト

この部分をキャリッジが移動します。

e. 用紙押さえ

用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。

f. プラテン

この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。表面には吸引口があり、用紙の浮き上がりを防ぎます。

g. フチなし印刷インク受け溝

フチなし印刷するときに、用紙の外側にはみ出したインクを受けます。

h. クリーナブラシ

上カバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。
また、プラテン上の青いスイッチを動かす際に使用します。

i. カッターレール

この部分をカッターユニットが通過し、用紙をカットします。

j. カッターユニット

用紙を自動でカットするための丸刃カッターです。

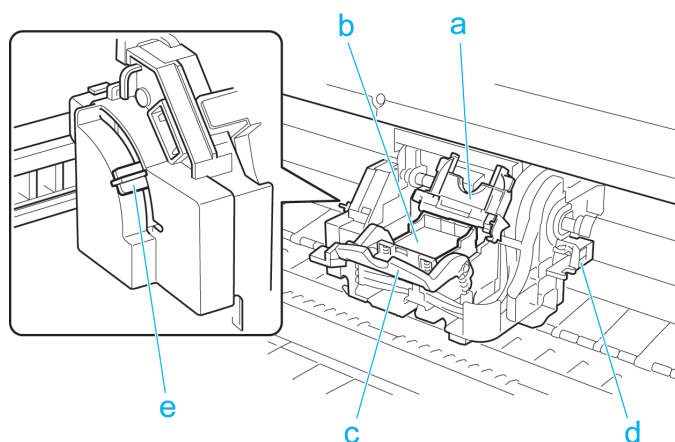
k. リニアスケール

キャリッジの位置を検出するための重要な部品です。上カバー内部で清掃や紙づまり処理を行うときは、絶対に触れないでください。

l. スイッチ

印刷した画像の端部がぼやける場合などに、●の反対側に設定します。フチなし印刷をする際は●側に戻してから印刷してください。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.809

キャリッジ

a. プリントヘッド固定カバー

プリントヘッドを固定します。

b. プリントヘッド

ノズルが装着されています。印刷するための重要な部品です。

c. プリントヘッド固定レバー

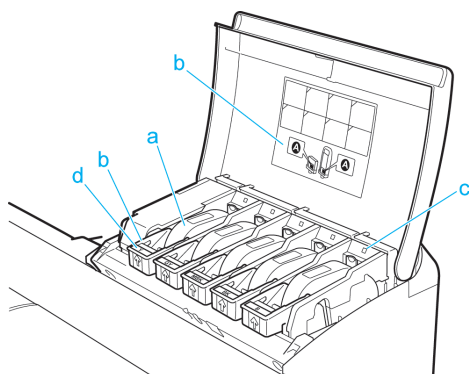
プリントヘッド固定カバーをロックします。

d. シャフトクリーナ

キャリッジシャフトの汚れを防止します。

e. スラント調整レバー

印刷時の罫線のずれを微調整します。

インクタンクカバー内部

* 図は 700ml のインクタンクをセットした状態

a. インクタンク

各色のインクのカートリッジです。

b. インクタンク固定レバー

インクタンクを保護し、ロックするためのレバーです。インクタンクを交換するときに、このレバーを上下します。開くときは、このレバーのストッパーを持ち上げて、止まるところまで引き上げてから手前に倒します。閉じるときは、カチッと音がするまで押し下げます。

c. インクランプ（赤）

インクタンクカバーを開いたときに、以下のようにインクタンクの状態を示します。

- 点灯

  インクタンクが正常にセットされています。

- 消灯

  インクタンクがセットされていない、またはインク残量検知機能が無効になっています。

- 遅い点滅

  インクの残量が少なくなっています。

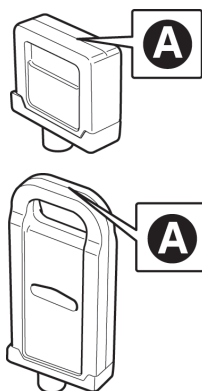
- 速い点滅

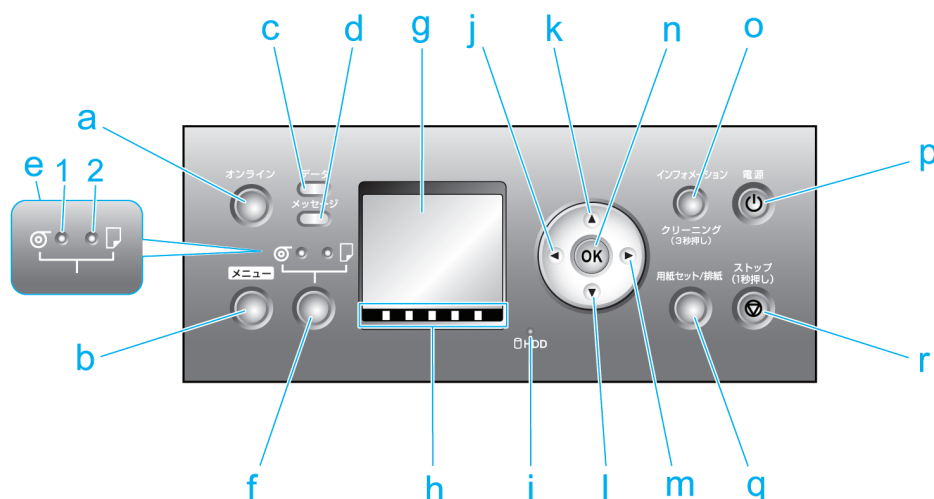
  インクがありません。

d. インク色ラベル

ラベルの色と名称に合わせてインクタンクをセットします。

e. インクセット

このプリンタで使用できるインクタンクの側面には、黒丸に白い文字で[A]と記載されたラベルが付いています。インクタンクをご購入の際は、ラベルに[A]が記載されていることをご確認ください。(「インクタンク」参照) →P.745

操作パネル

操作パネル

a. ［オンライン］キー（緑）

プリンタのモードをオンライン/オフラインに切り替えます。(「モードを切り替える」参照) →P.651

- 点灯

  オンラインモードです。

- 点滅

  モードの移行中です。

- 消灯

  オフラインモードです。

b. ［メニュー］キー

プリンタのメインメニューを表示します。(「メインメニューの設定値」参照) →P.669

c. データランプ（緑）

- 点滅

  印刷しているときは、印刷ジョブの受信中または処理中を示します。印刷していないときは、印刷ジョブの一時停止中またはファームウェアのデータの受信中を示します。

- 消灯

  印刷ジョブがない状態を示します。

d. メッセージランプ（オレンジ）

- 点灯
  警告メッセージの表示中を示します。
- 点滅
  エラーメッセージの表示中を示します。
- 消灯
  正常または電源がオフの状態を示します。

e. 給紙選択部

[給紙選択]キーを押して選択した給紙元のランプが点灯します。

1. ［ロール紙ランプ］（緑）

- 点灯
  給紙元としてロール紙が選択されていることを示します。
- 消灯
  給紙元としてカット紙が選択されていることを示します。

2. ［カット紙ランプ］（緑）

- 点灯
  給紙元としてカット紙が選択されていることを示します。
- 消灯
  給紙元としてロール紙が選択されていることを示します。

f. ［給紙選択］キー

給紙元を切り換えます。このキーを押すたびに、ロール紙とカット紙が切り替わり、給紙選択部のランプが点灯します。

g. ディスプレイ

プリンタのメニュー、状態、またはメッセージを表示します。

h. 色ラベル

インクタンクの色です。ディスプレイに表示されるインクの残量に対応しています。

i. ［HDD ランプ］（緑）

- 点灯
  プリンタのハードディスクにアクセス中であることを示します。
- 消灯
  プリンタのハードディスクにアクセスしていないことを示します。

j. ［◀］キー

メニューモードのときに、このキーを押すと、1 つ上の階層のメニューを表示します。

k. ［▲］キー

オフラインモードのときに、このキーを押すと、ロール紙を排紙方向と逆の方向に手動で送ることができます。（「ロール紙を手動で送る」参照） →P.590
メニューモードのときに、このキーを押すと、1 つ前の項目または設定値を表示します。

l. ［▼］キー

オフラインモードのときに、このキーを押すと、ロール紙を排紙方向に手動で送ることができます。（「ロール紙を手動で送る」参照） →P.590
メニューモードのときに、このキーを押すと、次の項目または設定値を表示します。

m. ［▶］キー

メニューモードのときに、このキーを押すと、1 つ下の階層のメニューを表示します。

n. ［OK］キー

メニューモードのときに、選択した項目の実行や値の設定を行うことができます。ディスプレイに［OK］キーを押すメッセージが表示された場合も、このキーを押します。

o. ［インフォメーション］キー

プリンタのサブメニューを表示します。このキーを押すたびに、インクや用紙に関する情報が表示されます。（「サブメニューの表示」参照） →P.681
また、このキーを 3 秒押し続けると、プリントヘッドのクリーニング（［ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A］）を実行します。

p. ［電源］キー

プリンタの電源をオン/オフにします。（「電源をオン/オフにする」参照） →P.643

q. ［用紙セット/排紙］キー

用紙のセット/取り外し方法をガイダンスで確認できます。用紙がセットされていないときにこのキーを押すと、用紙のセット方法、用紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙の取り外し方法がディスプレイに表示されます。

r. ［ストップ］キー

1 秒以上押すと、処理中のジョブや実行中のインク乾燥を中止します。

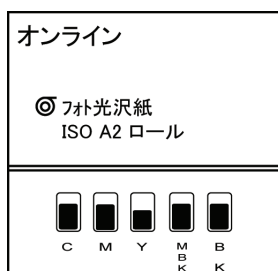
メモ

- スリープモード中は、［電源］キー以外のいずれかのキーを押すと、スリープモードから復帰します。

電源をオン/オフにする

電源をオンにする

1. ［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
   プリンタが起動します。
   ディスプレイにキヤノンのロゴが表示され、続いて［起動中です。しばらくお待ちください。］と表示されます。

2. 起動が完了すると、オンラインランプと給紙選択部のランプが点灯し、印刷可能な状態（オンラインモード）になります。

以下の場合は、オンラインモードになりません。必要な処置を行ってください。

- 上カバーが開いている場合
  上カバーを閉じてください。
- インクタンクカバーが開いている場合
  インクタンクカバーを閉じてください。
- プリントヘッドがセットされていない場合
  「プリントヘッドを交換する」を参照してください。→P.760
- インクタンクがセットされていない場合
  「インクタンクを交換する」を参照してください。→P.746
- ディスプレイに［ｴﾗｰ］が表示された場合
  電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- オンラインランプやメッセージランプが一度も点灯しなかったり、ディスプレイに何も表示されない場合
  電源コードやコンセントの接続を確認してください。
- 用紙がセットされていない場合
  用紙をセットしてください。(「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.7

重要
- プリンタと Macintosh を USB ケーブルで接続している場合、プリンタの電源をオンにすると、シャットダウンしていた Macintosh も同時に起動することがあります。同時に起動させたくない場合は、USB ケーブルを取り外してからプリンタの電源をオンにしてください。なお、USB ハブを使用してプリンタと Macintosh を接続すると、この問題が解決される場合があります。

電源をオフにする

重要
- プリンタの動作中は、絶対に電源供給を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンタの故障や破損の原因になります。

1. プリンタが動作中でないことを確認します。
   メッセージランプが点滅している場合は、ディスプレイのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。(「エラーメッセージ一覧 →P.826 」参照)

データランプが点滅している場合は、印刷ジョブを受信中です。印刷が終了してから電源をオフにしてください。

2. [電源]キーを 1 秒以上押し続けます。

ディスプレイに[終了します。しばらくお待ちください。]と表示され、電源がオフになります。

プリンタのモード

プリンタのモードについて、以下に分類して説明します。

- モードの種類 →P.645
- モードの遷移 →P.647
- オンラインモードと操作パネル →P.648
- オフラインモードと操作パネル →P.648
- メニューモードと操作パネル →P.650
- サブメニューモードと操作パネル →P.650

モードの種類

プリンタのモードには、以下の 5 種類があります。

- オンライン

プリンタがコンピュータからの印刷ジョブを受信できる状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、すぐに処理します。オンラインモード以外のときに印刷ジョブが送信された場合は、オンラインモードに移行した時点で印刷が開始されます。

- オフライン

コンピュータから印刷ジョブを受信しても、印刷せずに待機しています。
ロール紙の用紙送りやカットを手動で行うことができます。
エラーメッセージの表示中など印刷ジョブを処理できない場合は、自動的にオフラインになります。

- メニュー

プリンタのメニューを表示し、プリンタの各種機能を設定、実行できる状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、印刷せずに待機しています。

- サブメニュー

インクや用紙に関する情報を表示している状態です。オンラインモードでサブメニューを表示したときは、印刷ジョブを受信し、印刷することができます。それ以外のモードでサブメニューを表示したときは、コンピュータから印刷ジョブを受信しても、印刷せずに待機しています。

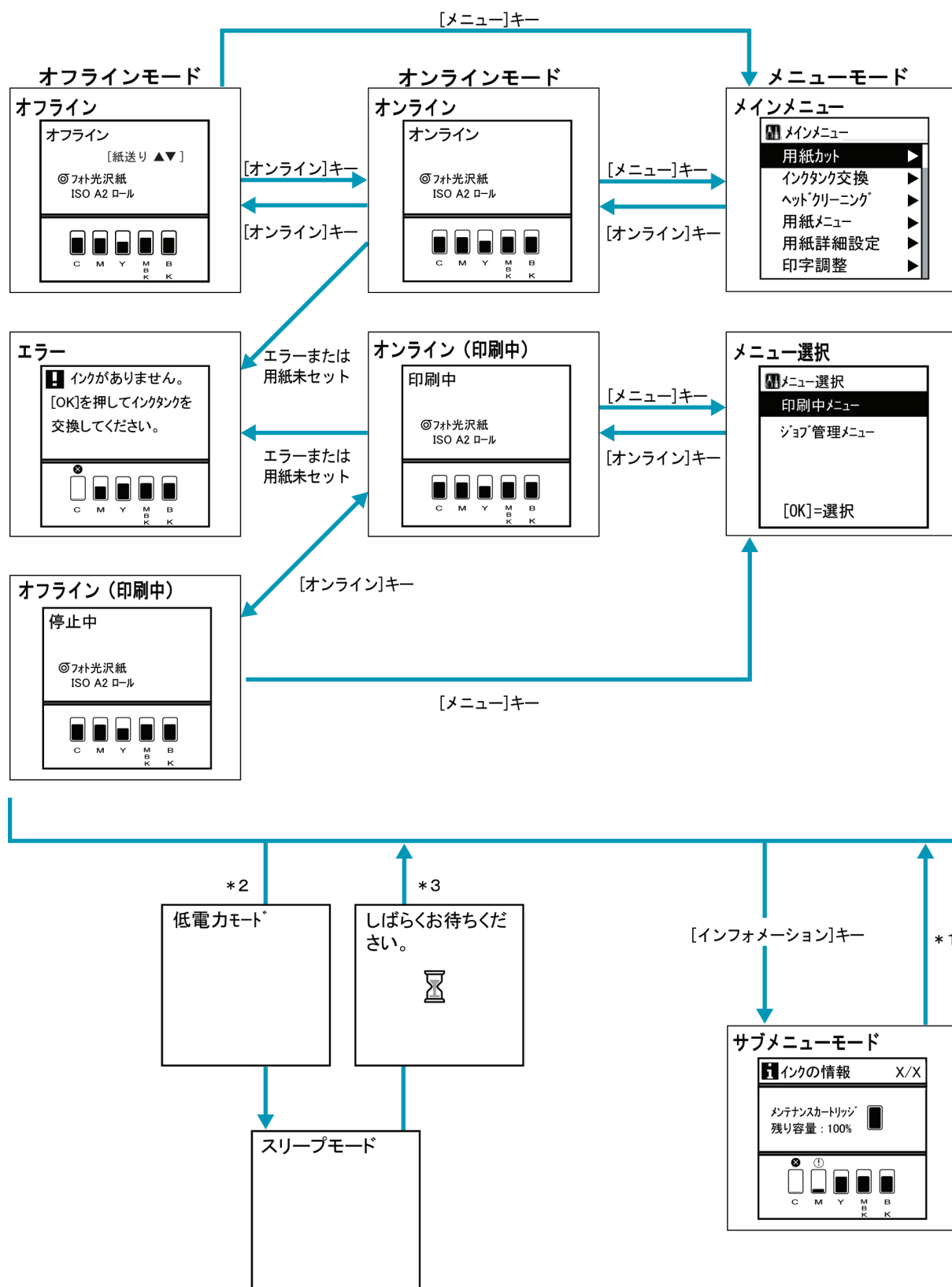
- スリープ

プリンタが節電している状態です。プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的にスリープモードになり、消費電力を節約します。

スリープモードへの移行時間は、プリンタの[ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾏｰ]メニューで設定できます。(「メインメニューの設定値」参照) →P.669

オンラインモードからスリープモードに移行した場合は、印刷ジョブを受信すると自動的にオンライン状態に戻り、印刷を行います。

モードの遷移

プリンタのモードの遷移を、以下に示します。

*1: サブメニューの表示中は、[インフォメーション]キー以外は、どのキーを押しても、直前のモードに戻ります。

*2: プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的にスリープモードになります。ただし、エラーメッセージが表示されている場合は、スリープモードにはなりません。

*3: スリープモード中は、どのキーを押しても、スリープモードから復帰します。また、印刷ジョブの受信時やリモート UI による操作時も、スリープモードから復帰します。

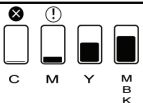
オンラインモードと操作パネル

印刷していない場合	印刷中(印刷ジョブの受信または処理中)の場合

ディスプレイ

- ディスプレイ上段
  プリンタの状態が表示されます。用紙種類の左側に、選択されている給紙元のアイコンが表示されます。
- ディスプレイ中段
  1 段目に用紙の種類、2 段目に用紙のサイズが表示されます。
  警告メッセージがある場合は、2～4 段目にメッセージが表示されます。必要な処置を行ってください。(「エラーメッセージ一覧 →P.826 」参照)
- ディスプレイ下段
  現在セットされているインクの残量が表示されます。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.756

操作パネル

- オンラインランプ
  点灯します。
- データランプ
  印刷ジョブの受信中または処理中に点滅します。
- メッセージランプ
  警告メッセージの表示中に点灯します。

オフラインモードと操作パネル

オフライン中

印刷していない場合	印刷の一時停止中の場合

ディスプレイ

<table>
<tr><th>印刷していない場合</th><th>印刷の一時停止中の場合</th></tr>
<tr><td colspan="2">

- ディスプレイ
プリンタの状態が表示されます。用紙種類の左側に、選択されている給紙元のアイコンが表示されます。
- ディスプレイ中段
1 段目に用紙の種類、2 段目に用紙のサイズが表示されます。
警告メッセージがある場合は、2～4 段目にメッセージが表示されます。必要な処置を行ってください。(「エラーメッセージ一覧 →P.826 」参照)
- ディスプレイ下段
現在セットされているインクの残量が表示されます。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.756

操作パネル

- メッセージランプ
警告メッセージの表示中に点灯します。

</td></tr>
</table>

エラーメッセージ表示中

<table>
<tr><th colspan="2">処置できる場合</th><th colspan="2">処置できない場合</th></tr>
<tr>
<td>! ｲﾝｸがありません。
[OK]を押してｲﾝｸﾀﾝｸを
交換してください。
C M Y MBK BK</td>
<td>! 用紙種類が違います
ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞｰを上げて、用
紙をｾｯﾄし直してくだ
さい。
[ｽﾄｯﾌﾟ]=印刷中止</td>
<td>! ﾊｰﾄﾞｳｪｱｴﾗｰ
xxxxxxxx−xxxx
電源を切り、しばらく
たってから再度電源を
入れてください。</td>
<td>! エラー Exxx−xxxx
担当ｻｰﾋﾞｽにご相談く
ださい。</td>
</tr>
<tr>
<td>• ディスプレイ上段
エラーメッセージが表示されます。
• ディスプレイ下段
現在セットされているインクの残量が表示されます。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.756</td>
<td>• ディスプレイ上段
エラーメッセージが表示されます。
• ディスプレイ下段
処置方法が表示されます。</td>
<td>• ディスプレイ上段
エラーメッセージと[電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。]が表示されます。</td>
<td>• ディスプレイ
[ｴﾗｰ]、エラーコード、および[担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。]が表示されます。</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">• データランプ
印刷ジョブの受信中に点滅します。
• メッセージランプ
エラーメッセージの表示中に点滅します。</td>
<td colspan="2">• データランプ
印刷ジョブの受信中に点滅します。
• メッセージランプ
エラーメッセージの表示中に点滅します。</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">必要な処置を行ってください。(「エラーメッセージ一覧 →P.826 」参照)</td>
<td colspan="2">電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。
上記の操作を行っても、再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。</td>
</tr>
</table>

メニューモードと操作パネル

メインメニュー表示中	項目名/設定値の表示中	メインメニュー表示中(印刷中の場合)
メインメニュー 用紙カット ▶ インクタンク交換 ▶ ヘッドクリーニング ▶ 用紙メニュー ▶ 用紙詳細設定 ▶ ジョブ管理 ▶	◀用紙カット □ しない □ する	メニュー選択 印刷中メニュー ジョブ管理メニュー [OK]=選択
• ディスプレイ 印刷していないときに[メニュー]キーを押すと、メインメニューが表示されます。 1 段目には選択したメニュー名、2 段目以降にはその下の階層のメニュー名が表示されます。右側に[▶]が表示されているときは、さらに下の階層のメニューがあることを示しています。(「メインメニューを操作する」参照) →P.654	• ディスプレイ 1 段目には選択したメニュー名、2 段目以降には項目名または設定値が表示されます。(「メインメニューを操作する」参照) →P.654 メインメニュー(左図)が表示されている状態で[▶]キーを押すと印刷中メニュー(上の図)が表示されます。	• ディスプレイ 印刷中に[メニュー]キーを押すと、印刷中に実行できるメニューの選択画面が表示されます。 各メニューを選択すると、1 段目には選択したメニュー名、2 段目以降にはその下の階層のメニュー名が表示されます。右側に[▶]が表示されているときは、さらに下の階層のメニューがあることを示しています。(「メインメニューを操作する」参照) →P.654

9

サブメニューモードと操作パネル

メンテナンスカートリッジの残り容量とインクの残量	セットされている用紙の情報	プリンタの情報	HP-GL/2 の設定情報
インクの情報 X/X メンテナンスカートリッジ 残り容量 : 100% C M Y MBK BK	用紙の情報 X/X ロール紙 フォト光沢紙 ISO A4 ヘッド高さ = やや高い 先端余白 = 20 mm バンド合せ目優先	システム情報 X/X ファームウェア : 00.00 Boot : 00.00 MIT : 00.00 s/n: ############ HDD空き容量:xx.xGB IP : xxx.xxx.xxx.xxx	GL2設定 X/X カラーモード=モノクロ 印刷品質=標準 エコノミー印刷=オフ 入力解像度=600dpi 給紙方法=ロール紙 用紙節約=オフ

[インフォメーション]キーを押すと、メンテナンスカートリッジの残り容量とインクの残量、セットされている用紙の情報、プリンタの情報、GL2 設定情報が切り替わります。(「サブメニューの表示」参照) →P.681

モードを切り替える

オンラインモードまたはオフラインモードに切り替える場合

[オンライン]キーを押すと、オンラインモードまたはオフラインモードに切り替わります。

オンラインモードの場合は、オンラインランプが点灯します。印刷可能な状態になります。

オフラインモードの場合は、オンラインランプが消灯します。

プリンタの状態によって、以下のようにオンライン/オフラインモードに切り替わります。

プリンタの状態	[オンライン]キーを押した場合
オンラインモード	オフラインモードに切り替わり、オンラインランプが消灯します。
オンラインモード (印刷中)	オフラインモードに切り替わり、印刷を一時停止します。 一時停止中は[印刷中]メニューを実行することができます。
オフラインモード	用紙が給紙されている場合は、オンラインモードに切り替わり、オンラインランプが点灯します。
オフラインモード (エラーメッセージ表示中)	下記以外のエラーメッセージが表示されている場合や用紙がセットされていない場合は、問題が解決されるまでオフラインモードのままです。オンラインランプは消灯しています。
	以下のエラーメッセージの場合は、オンラインモードに切り替わり、印刷を続行します。 • [このﾃﾞｰﾀを印刷するには用紙が足りません。] • [ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞはｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要な状態です。] • [用紙ｻｲｽﾞが違います。] • [用紙種類が違います。]

プリンタの状態	[オンライン]キーを押した場合
メニューモード	用紙が給紙されている場合は、オンラインモードに切り替わり、オンラインランプが点灯します。
メニューモード(印刷中)	オンラインモードに切り替わり、オンラインランプが点灯します。 印刷を再開します。

メニューモードに切り替える場合

[メニュー]キーを押すと、メインメニューが表示されます。

プリンタの状態によって、以下のようにメニューモードに切り替わります。

プリンタの状態	[メニュー]キーを押した場合
オンラインモード	メニューモードに切り替わります。
オンラインモード(印刷中)	印刷中メニューまたはジョブ管理メニューを選択する画面が表示されます。メニューを選択すると、各メニューモードに切り替わります。
オフラインモード	メニューモードに切り替わります。
オフラインモード(印刷中)	印刷中に実行できるメニューが表示されます。
オフラインモード(エラーメッセージ表示中)	問題が解決されるまでメニューモードに切り替わりません。

[インフォメーション]キーを押すと、サブメニューが表示されます。

[インフォメーション]キーを押すと、メンテナンスカートリッジの残り容量とインクの残量、セットされている用紙の情報、プリンタの情報が表示されます。[インフォメーション]キーを押すたびに、表示内容が切り替わります。(「サブメニューの表示」参照) →P.681
[インフォメーション]キー以外のキーを押すと、直前のモードに戻ります。
サブメニューの表示後、印刷ジョブの受信やプリンタの操作がない場合は、約 10 秒後にサブメニューの表示前のモードに戻ります。

メモ

- [インフォメーション]キーを 3 秒以上押し続けると、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を実行できます。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.759

プリンタのメニューでできること

プリンタのメニューには、メインメニューとサブメニューの 2 種類があります。

- 印刷していないときのメインメニュー操作 →P.653
- 印刷中のメインメニュー操作 →P.653
- サブメニューの操作 →P.654

印刷していないときのメインメニュー操作

メインメニューは、操作パネルの[メニュー]キーを押すと表示されます。

メモ

- 以下の場合は、[メニュー]キーを押してもメインメニューは表示されません。
  - エラーメッセージが表示されている場合
    問題を解決すると、メニューモードに切り替えられます。

メインメニューでは、以下の操作を行えます。

- 用紙関連の設定
- 印刷関連の設定
- プリンタ関連の設定
- HP-GL/2 関連の設定
- ジョブ゛管理メニューの操作

メインメニューで実行できる具体的な項目については、「メインメニューの設定値」を参照してください。
→P.669
メインメニューの設定方法については、「メインメニューを操作する」を参照してください。→P.654

メモ

- メインメニューで設定した値は、プリンタの初期値としてすべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタドライバに同じ設定項目がある場合は、プリンタドライバの設定値が優先されます。

印刷中のメインメニュー操作

印刷中に操作パネルの[メニュー]キーを押すと表示される[ﾒﾆｭｰ選択]画面では、[印刷中ﾒﾆｭｰ]と[ｼﾞｮﾌﾞ管理ﾒﾆｭｰ]が選択できます。その他のメニューは印刷が終了してから操作してください。

メモ

- 以下の場合は、[メニュー]キーを押しても[ﾒﾆｭｰ選択]画面は表示されません。
  - エラーメッセージが表示されている場合
    問題を解決すると、メニューモードに切り替えられます。

印刷中のメインメニューでは、以下の操作を行えます。

[印刷中ﾒﾆｭｰ]

- プリントヘッドのクリーニング
- 用紙送りの手動調整
- プリンタに関する情報の表示

[ｼﾞｮﾌﾞ管理ﾒﾆｭｰ]

- ジョブ管理メニューの操作

印刷中のメインメニューで実行できる具体的な項目については、「印刷中のメインメニューの設定値」を参照してください。→P.681
印刷中のメインメニューの設定方法については、「メインメニューを操作する」を参照してください。
→P.654

サブメニューの操作

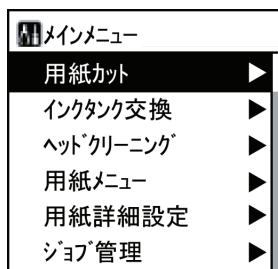
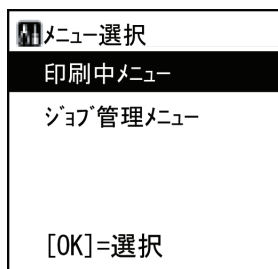
サブメニューは、操作パネルの[インフォメーション]キーを押すと表示されます。サブメニューでは、以下の情報を確認することができます。

- メンテナンスカートリッジの残り容量
- インクの残量
- セットされている用紙の情報
- プリンタの情報
- HP-GL/2 関連の設定情報

サブメニューで表示できる具体的な項目については、「サブメニューの表示」を参照してください。→P.681

メインメニューを操作する

[メニュー]キーを押すと、メインメニューを表示することができます。詳細については「メインメニューの設定値」を参照してください。→P.669

- メインメニュー（印刷していないときに[メニュー]キーを押した場合）

- メニュー選択（印刷しているときに[メニュー]キーを押した場合）

メモ

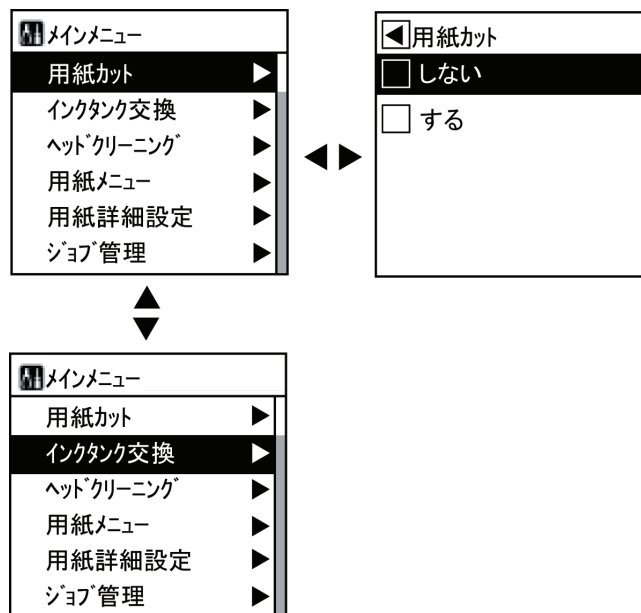
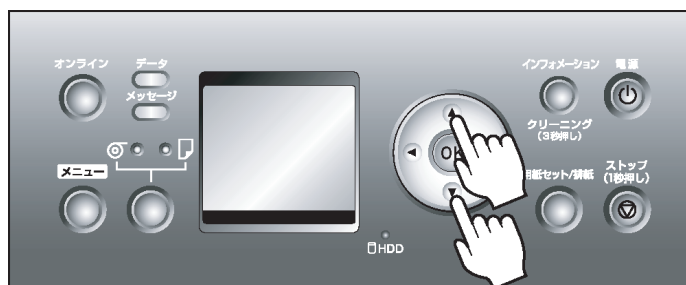
- 以下の場合は、[メニュー]キーを押してもメインメニューは表示されません。
  - エラーメッセージが表示されている場合
    問題を解決すると、メニューモードに切り替えられます。

操作パネルのキーを押すだけで、メインメニューから各メニューに移動したり、メニューの項目を設定または実行することができます。
ここでは、メニューの操作方法と、この[製品マニュアル]で手順を説明するときのメニュー操作の表記方法について説明します。

- 各メニューに移動する →P.655
- メニューの項目を設定する →P.656

- メニューの項目で数値を設定する →P.656
- メニューの項目を実行する →P.657

各メニューに移動する

プリンタのメニューは、機能ごとに分類され、階層構造になっています。
メニューの 1 段目が選択されている状態で表示されます。操作パネルのキーを押すと、各メニューに移動することができます。

- 同じ画面の上部のメニューに移動する場合は[▲]キー、下部のメニューに移動する場合は[▼]キーを押します。画面に表示しきれないメニューが上部にある場合は[▲]キー、画面に表示しきれないメニューが下部にある場合は[▼]キーを押し続けます。選択されているメニューは、反転表示されます。

画面の右側にあるスライドバーは、選択されているメニューがメニュー全体に対してどの位置にあるかを示します。

- 下の階層にメニューがある場合は、2 段目以降のメニューの右側に[▶]が表示されます。下の階層のメニューに移動する場合は、メニューを選択し、[▶]キーを押します。
- 上の階層にメニューがある場合は、1 段目のメニューの左側に[◀]が表示されます。上の階層のメニューに移動する場合は、[◀]キーを押します。

メニューの項目を設定する

以下の手順で、メニューの項目を設定することができます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押してメニューを選択し、[▶]キーを押します。
この操作を目的のメニュー項目が表示されるまで繰り返します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して設定する項目を選択し、[OK]キーを押します。
項目の左側のチェックボックスがオンになり、設定値が確定します。

2 秒後に、1 つ上の階層のメニューに戻ります。

3. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。

メモ

- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、オンラインモードになります。

メニューの項目で数値を設定する

ネットワークの設定項目で数値を入力するときに、以下の手順で、数値を設定することができます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[IP 設定]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[IP ｱﾄﾞﾚｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [◀]キー、[▶]キーを押して、数値を入力するフィールドにアンダーバー(_)を移動します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力し、[OK]キーを押します。

メモ
- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減することができます。
- コンピュータとプリンタの IP アドレスが同じにならないように設定してください。

7. 続けて数値を設定する場合は、手順 5〜6 を繰り返します。

8. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。

メモ
- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、オンラインモードになります。

メニューの項目を実行する

以下の手順で、メニューの項目を実行することができます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押してメニューを選択し、[▶]キーを押します。
この操作を目的のメニュー項目が表示されるまで繰り返します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して実行する項目を選択し、[OK]キーを押します。

2 秒後にメニューの項目が実行されます。実行後は通常、メニューを操作する前の状態(オンラインモードまたはオフラインモード)に戻ります。

メニューの階層

メインメニュー

メインメニューの階層を、以下に示します。項目の右側の*は、初期値を示します。
設定方法については、「メインメニューを操作する」を参照してください。 →P.654
各項目の詳細については、「メインメニューの設定値」を参照してください。→P.669

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[用紙ｶｯﾄ](*1 →P.667)	[しない]*						
	[する]						
[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]	[しない]*						
	[する]						
[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]	[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]*						
	[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]						
[巻き取りｵｰﾄﾌｨｰﾄﾞ](*11 →P.668)	[しない]*						
	[する]						
[巻き取り装置](*9 →P.668)	[使用しない]*						
	[使用する]						
[用紙ﾒﾆｭｰ]	[ｶｯﾄ紙種類]	(用紙の種類が表示される)(*5 →P.668)					
	[ﾛｰﾙ紙種類](*1 →P.667)	(用紙の種類が表示される)(*5 →P.668)					
	[ﾛｰﾙ紙長さ](*1 →P.667)、(*2 →P.668)	[##.# m]					
		[### feet](*13 →P.668)					
	[ﾛｰﾙ紙残量管理]	[ｵﾌ]*					
		[ｵﾝ]					
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示される)(*5 →P.668)	[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]	[ｵﾌ]				
			[30 秒]				
			[1 分]				
			[3 分]				
			[5 分]				
			[10 分]				
			[30 分]				
			[60 分]				
		[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]	[乾燥時間]	[ｵﾌ]*			

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示される)(*5 →P.668)	[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]	[乾燥時間]	[1 秒]			
				[3 秒]			
				[5 秒]			
				[7 秒]			
				[9 秒]			
			[領域](*14 →P.668)	[全域]*			
				[先端]			
		[紙送り調整]	[自動]*				
			[ﾊﾞﾝﾄﾞ合せ目優先]				
			[長さ優先]				
		[長さ調整 A]	–0.70%〜0.00%*〜0.70%				
		[長さ調整 B]	–0.70%〜0.00%*〜0.70%				
		[ﾍｯﾄﾞ高さ]	[自動]*				
			[高い]				
			[やや高い]				
			[標準]				
			[やや低い]				
			[低い]				
		[斜行検知精度]	[標準]*				
			[ゆるめ]				
			[ｵﾌ]				
		[吸着力]	[自動]*				
			[強い]				
			[やや強い]				
			[標準]				
			[やや弱い]				
			[弱い]				
		[用紙幅検知]	[ｵﾌ]				
			[ｵﾝ]*				
		[ﾛｰﾙ紙先端余白]	[3mm]				
			[20mm]				
		[ｶｯﾄｽﾋﾟｰﾄﾞ]	[速い]				
			[標準]				
			[遅い]				
		[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]	[自動]				
			[ｵﾌ]				
			[ｵﾝ]				
		[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	[自動ｶｯﾄ]				

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示される)(*5 →P.668)	[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]				
			[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]				
		[ﾌﾁなし余白設定]	[自動]				
			[固定]				
		[ｶｯﾄ屑軽減]	[ｵﾌ]				
			[ｵﾝ]				
		[ｶｯﾄ紙先端余白]	[3mm]				
			[20mm]				
		[初期値に戻す]	[しない]				
			[する]				
[ｼﾞｮﾌﾞ管理]	[印刷ジョブ]	[ｼﾞｮﾌﾞﾘｽﾄ]	(印刷ジョブを選択する)	[削除]			
				[追い越し]			
	[保存ｼﾞｮﾌﾞ]	[ﾎﾞｯｸｽﾘｽﾄ]	(暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力する)	[ｼﾞｮﾌﾞﾘｽﾄ]	[印刷]		
					[削除]		
				[ｼﾞｮﾌﾞﾘｽﾄ印刷]	[しない]		
					[する]		
	[ｼﾞｮﾌﾞ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できる)	[ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ名]				
			[ﾕｰｻﾞｰ]				
			[ﾍﾟｰｼﾞ数]				
			[ｼﾞｮﾌﾞｽﾃｰﾀｽ]	[OK]			
				[ｷｬﾝｾﾙ]			
			[ﾌﾟﾘﾝﾄ開始時刻]	[yyyy/mm/dd　hh:mm]			
			[ﾌﾟﾘﾝﾄ終了時刻]	[yyyy/mm/dd　hh:mm]			
			[ﾌﾟﾘﾝﾄ時間]	[xxx 秒]			
			[出力用紙ｻｲｽﾞ]	[xxxxxxxxsq.mm]			
			[用紙種類]				
			[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ]	[USB]			
				[ﾈｯﾄﾜｰｸ]			
			[ｲﾝｸ使用量]	(インクタンク総使用量、インクの色が表示される)	[xxx.xxx ml]		
	[HDD 情報]	[HDD 空き容量]:xx.xGB					
[GL2 設定]	[画質の管理]	[ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ]	[ﾓﾉｸﾛ]				
			[ｶﾗｰ(CAD)1]*				

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[GL2 設定]	[画質の管理]	[ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ]	[ｶﾗｰ(CAD)2]				
			[ｶﾗｰ(CAD)3]				
			[ｶﾗｰ(CAD)4]				
			[ｶﾗｰ(CAD)5]				
			[ｶﾗｰ(CAD)6]				
		[印刷品質]	[速い]				
			[標準]*				
			[きれい]				
		[入力解像度]	[600dpi]*				
			[300dpi]				
		[ｴｺﾉﾐｰ印刷]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
	[用紙の管理]	[給紙方法]	[自動]*				
			[ﾛｰﾙ紙]				
			[ｶｯﾄ紙]				
		[印刷余白]	[3mm(標準)]*				
			[5mm]				
		[用紙節約]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[自動回転]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[ﾈｽﾃｨﾝｸﾞ]	[ﾈｽﾃｨﾝｸﾞ使用]	[ｵﾌ]*			
				[ｵﾝ]			
			[ﾈｽﾃｨﾝｸﾞ待ち時間]	[xx 分]			
			[切り取り線]	[ｵﾌ]*			
				[ｵﾝ]			
	[線/ﾍﾟﾝの管理]	[線のﾏｰｼﾞ]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[ﾍﾟﾝ設定]	[ﾊﾟﾚｯﾄの選択]	[ｿﾌﾄｳｪｱ]*			
				[ﾊﾟﾚｯﾄA]			
				[ﾊﾟﾚｯﾄB]			
				[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ]			
			[ﾊﾟﾚｯﾄの定義]	[ﾊﾟﾚｯﾄA]	(ペン番号を選択する)	[幅]	([幅]の値が表示される)
						[ｶﾗｰ]	0〜255
						[つなぎ形状]	[処理なし]
							[丸処理]

9

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[GL2 設定]	[線/ﾍﾟﾝの管理]	[ﾍﾟﾝ設定]	[ﾊﾟﾚｯﾄの定義]	[ﾊﾟﾚｯﾄB]	（ペン番号を選択する）	（[幅]、[ｶﾗｰ]、[つなぎ形状]が表示される）	（[幅]、[ｶﾗｰ]、[つなぎ形状]の値を設定する）
				[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ]	（ペン番号を選択する）	（[幅]、[ｶﾗｰ]、[つなぎ形状]が表示される）	
			[ﾊﾟﾚｯﾄの初期化]	[すべてのﾊﾟﾚｯﾄ]			
				[ﾊﾟﾚｯﾄA]			
				[ﾊﾟﾚｯﾄB]			
		[ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ]	[ｿﾌﾄｳｪｱ]*				
			[ｽﾑｰｽﾞ]				
		[細線強調]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[明細線補正]	[ｵﾌ]				
			[ｵﾝ]*				
	[処理ｵﾌﾟｼｮﾝ]	[警告表示]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[ｵﾝｻﾞﾌﾗｲ]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[ﾍﾟｰｼﾞｻｲｽﾞ処理 1]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
		[ﾍﾟｰｼﾞｻｲｽﾞ処理 2]	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
[印字調整]	[自動ﾍｯﾄﾞ調整]	[標準調整]	[しない]				
			[する]				
		[詳細調整]	[しない]				
			[する]				
		[自動ﾌﾟﾘﾝﾄ]	[ｵﾌ]				
			[ｵﾝ]*				
	[手動ﾍｯﾄﾞ調整]（*10 →P.668）	[しない]					
		[する]					
	[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]	[標準調整]	[しない]				
			[する]				
		[詳細調整]	[しない]				
			[する]				
	[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]	[しない]					
		[する]					

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[印字調整]	[長さ調整] (*3 →P.668)	[A:きれい]	[しない]				
			[する]				
		[B:標準/速い]	[しない]				
			[する]				
	[ﾍｯﾄﾞ傾き調整]	[しない]					
		[する]					
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定] (*15 →P.668)	[EOP ﾀｲﾏｰ] (*15 →P.668)	[10 秒]					
		[30 秒]					
		[1 分]					
		[2 分]					
		[5 分]					
		[10 分]*					
		[30 分]					
		[60 分]					
	[TCP/IP] (*15 →P.668)	[IPﾓｰﾄﾞ] (*15 →P.668)	[自動]				
			[手動]*				
		[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ] (*4 →P.668) (*15 →P.668)	[DHCP] (*15 →P.668)	[ｵﾝ]			
				[ｵﾌ]*			
			[BOOTP] (*15 →P.668)	[ｵﾝ]			
				[ｵﾌ]*			
			[RARP] (*15 →P.668)	[ｵﾝ]			
				[ｵﾌ]*			
		[IP 設定] (*12 →P.668) (*16 →P.668)	[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	0.0.0.0～255.255.255.255			
			[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]	0.0.0.0～255.255.255.255			
			[ﾃﾞﾌｫﾙﾄG/W]	0.0.0.0～255.255.255.255			
	[NetWare] (*15 →P.668)	[NetWare] (*15 →P.668)	[使う]				
			[使わない]*				
		[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ] (*6 →P.668) (*15 →P.668)	[自動検出]				
			[Ethernet 2]				
			[Ethernet 802.2]*				
			[Ethernet 802.3]				
			[Ethernet SNAP]				

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定] (*15 →P.668)	[NetWare] (*15 →P.668)	[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽ] (*6 →P.668) (*15 →P.668)	[BinderyPServer]				
			[RPrinter]				
			[NDSPServer]*				
			[NPrinter]				
	[AppleTalk] (*15 →P.668)	[使う]					
		[使わない]*					
	[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ] (*15 →P.668)	[自動検出] (*15 →P.668)	[ｵﾝ]*				
			[ｵﾌ]				
		[通信方式] (*7 →P.668) (*15 →P.668)	[半二重]*				
			[全二重]				
		[Ethernet 種類] (*7 →P.668) (*15 →P.668)	[10 Base-T]*				
			[100 Base-TX]				
		[ｽﾊﾟﾆﾝｸﾞﾂﾘｰ] (*15 →P.668)	[対応しない]*				
			[対応する]				
		[MAC ｱﾄﾞﾚｽ] (*15 →P.668)	000085XXXXXX				
	[初期値に戻す] (*16 →P.668)	[しない]*					
		[する]					
[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]	[ﾒﾝﾃﾅﾝｽC交換]	[しない]					
		[する]					
	[ﾍｯﾄﾞ交換]	[しない]					
		[する]					
	[ｼｬﾌﾄｸﾘｰﾅ交換]	[しない]					
		[する]					
	[本体輸送]	[ﾚﾍﾞﾙ1]*					
		[ﾚﾍﾞﾙ2]					
		[ﾚﾍﾞﾙ3]					
[ｼｽﾃﾑ設定]	[警告]	[ﾌﾞｻﾞｰ]	[ｵﾌ]				

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[ｼｽﾃﾑ設定]	[警告]	[ﾌﾞｻﾞｰ]	[ｵﾝ]*				
		[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]	[一時停止する]				
			[警告表示する]				
			[検知しない]*				
		[巻き取りｴﾗｰｽｷｯﾌﾟ](*9 →P.668)	[ｵﾌ]*				
			[ｵﾝ]				
	[外形ｻｲｽﾞ優先]	[ｵﾌ]*					
		[ｵﾝ]					
	[用紙ｻｲｽﾞ優先設定]	[ｶｯﾄ紙優先設定 1]	[ISO A3+]*				
			[13"x19"(Super B)]				
		[ｶｯﾄ紙優先設定 2]	[ISO B1]*				
			[28"x40"(ANSI F)]				
	[ﾛｰﾙ退避時ﾌﾟﾚｶｯﾄ]	[自動]					
		[ｵﾌ]*					
		[ｵﾝ]					
	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ間隔]	[ｵﾌ]					
		[1 ﾍﾟｰｼﾞ]					
		[10 ﾍﾟｰｼﾞ]					
		[自動]*					
	[ｷｬﾘｯｼﾞｽｷｬﾝ幅設定]	[自動]*					
		[固定]					
	[ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾏｰ]	[5 分]*					
		[10 分]					
		[15 分]					
		[20 分]					
		[30 分]					
		[40 分]					
		[50 分]					
		[60 分]					
		[240 分]					
	[長さの単位]	[ﾒｰﾄﾙ]*					
		[ﾌｨｰﾄ/ｲﾝﾁ]					
	[ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ](*15 →P.668)	[0:ﾛﾝﾄﾞﾝ (GMT)]					
		[+1:ﾊﾟﾘ,ﾛｰﾏ]					
		[+2:ｱﾃﾈ,ｶｲﾛ]					
		[+3:ﾓｽｸﾜ]					
		[+4:ｴﾚﾊﾞﾝ,ﾊﾞｸｰ]					
		[+5:ｲｽﾗﾏﾊﾞｰﾄﾞ]					
		[+6:ﾀﾞｯｶ]					

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[ｼｽﾃﾑ設定]	[ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ] (*15 →P.668)	[+7:ﾊﾞﾝｺｸ]					
		[+8:香港]					
		[+9:東京,ｿｳﾙ]					
		[+10:ｷｬﾝﾍﾞﾗ]					
		[+11:ﾆｭｰｶﾙﾄﾞﾆｱ]					
		[+12:ｳｪﾘﾝﾄﾝ]					
		[-12:ｴﾆｳｪﾄｸ]					
		[-11:ﾐｯﾄﾞｳｪｰ島]					
		[-10:ﾊﾜｲ (AHST)]					
		[-9:ｱﾗｽｶ (AKST)]					
		[-8:ｵﾚｺﾞﾝ (PST)]					
		[-7:ｱﾘｿﾞﾅ (MST)]					
		[-6:ﾃｷｻｽ (CST)]					
		[-5:ﾆｭｰﾖｰｸ (EST)]					
		[-4:ｻﾝﾃｨｱｺﾞ]					
		[-3:ﾌﾞｴﾉｽｱｲﾚｽ]					
		[-2:中央大西洋]					
		[-1:ｶｰﾎﾞﾍﾞﾙﾃﾞ諸島]					
	[日付形式] (*15 →P.668)	[yyyy/mm/dd]*					
		[dd/mm/yyyy]					
		[mm/dd/yyyy]					
	[日時設定] (*15 →P.668)	[日付設定]	[yyyy/mm/dd] (*8 →P.668)				
			[時刻設定]	[hh:mm]			
	[表示言語]	[English]					
		[日本語] *					
		[Français]					
		[Italiano]					
		[Deutsch]					
		[Español]					
		[Русский]					
		[中文 (簡体字)]					
		[한국어]					
	[画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整]	-4,-3,-2,-1,0*,+1,+2,+3,+4					
	[用紙設定初期化] (*15 →P.668)	[しない]					
		[する]					

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層	第 8 階層
[ｼｽﾃﾑ設定]	[HDDﾃﾞｰﾀ消去]	[高速] (*15 →P.668)	[しない]				
			[する]				
		[ｾｷｭｱ高速] (*15 →P.668)	[しない]				
			[する]				
		[ｾｷｭｱ] (*15 →P.668)	[しない]				
			[する]				
	[出力方法]	[印刷]*					
		[印刷(自動消去)]					
		[ﾎﾞｯｸｽ保存]					
	[保存完了後に印刷]	[ｵﾌ]*					
		[ｵﾝ]					
	[共通ﾎﾞｯｸｽ保存] (*15 →P.668)	[ｵﾌ]					
		[ｵﾝ]*					
	[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示] (*15 →P.668)	[ｵﾌ]					
		[ｵﾝ]*					
[管理者ﾒﾆｭｰ] (*15 →P.668)	[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更] (*16 →P.668) [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの初期化] (*16 →P.668)						
[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]	[ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ]	[しない]					
		[する]					
	[用紙詳細ﾌﾟﾘﾝﾄ]	[しない]					
		[する]					
	[ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]	[しない]					
		[する]					
	[ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ]	[しない]					
		[する]					
	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ]	[しない]					
		[する]					
	[ｶﾗｰﾊﾟﾚｯﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]	[しない]					
		[する]					
[ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ]	[ｼｽﾃﾑ情報]						
	[ｴﾗｰ履歴]	1:xxxxxxxx-xxxx					
		2:xxxxxxxx-xxxx					

*1: ロール紙がセット済みの場合のみ設定可能です。

*2: [ロール紙残量管理]で[オン]が設定されている場合のみ設定可能です。
*3: [紙送り調整]で[自動]または[長さ優先]が設定されている場合に設定可能です。
*4: [IPモード]で[手動]が設定されている場合は表示しません。
*5: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570 User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「Media Configuration Tool →P.378 」、「Media Configuration Tool →P.502 」参照)
*6: [NetWare]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。
*7: [自動検出]で[オン]が設定されている場合は表示しません。
*8: [日付形式]の設定に従います。
*9: 巻き取り装置が装着されている場合に表示します。
*10: 一度[自動ヘッド調整]の[詳細調整]を行った後に設定可能です。
*11: (a)[巻き取り装置]で[使用する]、(b)ロール紙をセット済み、(c)セットしたロール紙に対し[巻き取りオートフィード]未実施、の場合に設定可能です。
*12: [IPモード]で[自動]が設定されている場合は表示しません。
*13: [長さの単位]の設定に従います。
*14: プリンタドライバの[用紙の詳細設定]ダイアログボックスから[先端]の設定はできません。
*15: 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能です。
*16: 管理者のみ表示/設定可能です。

注意

- 印刷中は、以下のメニューだけが表示されます。
  このメニューを選択すると、[ヘッドクリーニング]、[バンド微調整]、[インフォメーション]が表示されます。
  このメニューを選択すると、[ジョブ管理]が表示されます。

9

サブメニュー

操作パネルの[インフォメーション]キーを押すたびに、以下の順にプリンタ情報が表示されます。

- メンテナンスカートリッジの残り容量とインクの残量

- セットされている用紙の情報

- プリンタの情報

iシステム情報 X/X

ﾌｧｰﾑ ｳｪｱ : 00.00
Boot : 00.00
MIT : 00.00
s/n: ############
HDD空き容量 : xx.xGB
IP : xxx.xxx.xxx.xxx

- HP-GL/2 設定情報

各画面の詳細については、「サブメニューの表示」を参照してください。→P.681

印刷中のメインメニュー

印刷中のメインメニューの階層を、以下に示します。
設定方法については、「メインメニューを操作する」を参照してください。→P.654
各項目の詳細については、「印刷中のメインメニューの設定値」を参照してください。→P.681

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
[印刷中ﾒﾆｭｰ]	[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]*	[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]*	
		[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]	
	[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]	-5〜0〜5	
	[ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ]	[ｼｽﾃﾑ情報]	
		[ｴﾗｰ履歴]	1:xxxxxxxx-xxxx
			2:xxxxxxxx-xxxx

メインメニューの設定値

メインメニューの各項目の説明について、以下に示します。
設定方法については、「メインメニューを操作する」を参照してください。→P.654
メニューの階層と設定値については、「メニューの階層」を参照してください。→P.658

設定項目	機能説明/設定方法
[用紙ｶｯﾄ]	ロール紙がセットされている場合のみ実行可能です。 [する]を選択すると、現在の位置でロール紙をカットします。ただし、カットする位置までロール紙が送られていない場合は、カットされません。その場合は、ロール紙を手動で送ってからカットしてください。(「ロール紙を手動で送る」参照) →P.590
[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]	インクタンクを交換するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「インクタンクを交換する」参照) →P.746
[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]	プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.759

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">機能説明/設定方法</th></tr>
<tr><td>[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]</td><td colspan="2">印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を選択します。
インクがまったく出ない場合や、[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]で問題が解決されない場合に、[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を選択します。</td></tr>
<tr><td>[巻き取りｵｰﾄﾌｨｰﾄﾞ]</td><td colspan="2">[巻き取り装置]で[使用する]が設定済みの場合のみ実行可能です。[する]を選択すると、ロール紙を巻き取り用スプールに貼り付ける位置まで自動的に送ります。</td></tr>
<tr><td>[巻き取り装置]</td><td colspan="2">[使用する]を選択すると、巻き取り装置を使用できます。</td></tr>
<tr><td>[用紙ﾒﾆｭｰ]</td><td colspan="2">用紙の種類やサイズを設定します。(「用紙ﾒﾆｭｰ」参照) →P.671</td></tr>
<tr><td>[用紙詳細設定]</td><td colspan="2">インク乾燥時間やフチなしの設定など、用紙の詳細設定を行います。(「用紙詳細設定」参照) →P.671</td></tr>
<tr><td>[ｼﾞｮﾌﾞ管理]</td><td colspan="2">プリンタのハードディスク内のジョブに関する操作を行います。(「ｼﾞｮﾌﾞ管理」参照) →P.673</td></tr>
<tr><td>[GL2 設定]</td><td colspan="2">HP-GL/2 で印刷するための設定を行ないます。(「GL2 設定」参照) →P.674</td></tr>
<tr><td>[印字調整]</td><td colspan="2">調整用パターンを使用して、プリントヘッドの位置や用紙送りの量を調整します。(「印字調整」参照) →P.676</td></tr>
<tr><td>[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]</td><td colspan="2">EOP タイマーおよびネットワーク設定を行います。(「ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定」参照) →P.677</td></tr>
<tr><td>[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]</td><td colspan="2">プリントヘッドの交換やプリンタの輸送の準備などを行います。(「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」参照) →P.678</td></tr>
<tr><td>[ｼｽﾃﾑ設定]</td><td colspan="2">日付や表示言語など、プリンタ本体に関する設定を行います。(「ｼｽﾃﾑ設定」参照) →P.678</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[管理者ﾒﾆｭｰ]</td><td>[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更]</td><td>パスワードを設定すると、メニューの表示/設定を以下のように制限できます。入力できる数値は 0～9999999 です。
• 管理者のみ表示/設定可能
[IP 設定]
[初期値に戻す]
[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更]
[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの初期化]
• 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]([IP 設定],[初期値に戻す]を除く)
[ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ]
[日付形式]
[日時設定]
[用紙設定初期化]
[高速]
[ｾｷｭｱ高速]
[ｾｷｭｱ]
[共通ﾎﾞｯｸｽ保存]
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]
[管理者ﾒﾆｭｰ]</td></tr>
<tr><td>[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの初期化]</td><td>[OK]を押すと[管理者ﾒﾆｭｰ]のパスワードが工場出荷時の値に戻ります。</td></tr>
<tr><td>[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]</td><td colspan="2">[ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択すると、プリンタの情報を印刷します。
[用紙詳細ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択すると、[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択すると、印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。(インクの消費量は目安です。)</td></tr>
</table>

設定項目	機能説明/設定方法
[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]	[ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ]を選択すると、メインメニューの一覧を印刷します。 [ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択すると、ノズルチェックパターンを印刷します。 [ｶﾗｰﾊﾟﾚｯﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択すると、GL2 のカラー一覧を印刷します。
[ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ]	プリンタ本体の情報やエラーの履歴を表示します。(「ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ」参照) →P.680

[用紙ﾒﾆｭｰ]

設定項目	機能説明/設定方法
[ｶｯﾄ紙種類] (*1 →P.671)	カット紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を選択する(カット紙)」参照) →P.601
[ﾛｰﾙ紙種類] (*1 →P.671)	ロール紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を選択する(ロール紙)」参照) →P.584
[ﾛｰﾙ紙長さ]	[ﾛｰﾙ紙残量管理]で[ｵﾝ]が選択されている場合に表示されます。 ロール紙にバーコードが印刷されていない場合、ロール紙の長さを設定します。[長さの単位]で設定した値によって、メートルまたはフィートでロール紙の長さが表示されます。
[ﾛｰﾙ紙残量管理]	[ｵﾝ]を選択すると、ロール紙を取り外すときにバーコードを印刷します。印刷されたバーコードによってロール紙の残量を管理できます。[ｵﾌ]を選択すると、バーコードは印刷されません。 (「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.590

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570 User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「Media Configuration Tool →P.378 」、「Media Configuration Tool →P.502 」参照)

[用紙詳細設定]

設定項目		機能説明/設定方法
(用紙の種類が表示される) (*1 →P.673)	[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]	1 枚印刷するごとのインクの乾燥待ち時間を選択します。
	[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]	用紙のインク乾燥特性に合わせて、片方向への印刷(スキャン)ごとにインクの乾 燥待ち時間を設定します。さらに、乾燥時間の適用領域を設定します。 [全域]を選択すると、印刷のはじめから終わりまでの各スキャンごとに乾燥時間が入ります。[先端]を選択すると、用紙の先端から約 110 mm〜160 mm までの各スキャンごとに乾燥時間が入ります。(乾燥時間の入る長さは[印刷品質]の設定により異なります。) [ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]を設定すると、印刷に時間がかかるようになります。とくに[先端]を選択すると、乾燥時間の入る領域と入らない領域の境でバンド状の色ムラが生じる可能性があります。
	[紙送り調整]	優先させる紙送りの精度を設定します。通常は、[自動]を選択します。用紙の送り量を正確にしたい場合は、[長さ優先]を選択します。ただし、[長さ優先]を選択した場合、キャリッジのスキャン方向に若干の色ムラが発生することがあります。

設定項目		機能説明/設定方法
(用紙の種類が表示される)(*1 →P.673)	[長さ調整]	[紙送り調整]で[長さ優先]が選択されている場合に表示されます。 現在セットされている用紙の伸縮率を調整します。[ﾊﾟﾀｰﾝ印刷]で調整した結果を入力するか、自分で測定した値との差を%で入力します。 伸びやすい用紙など送り量を長くしたい場合は調整値を増やし、縮みやすい用紙など送り量を短くしたい場合は調整値を減らします。
	[ﾍｯﾄﾞ高さ]	プリントヘッドの高さを調整します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
	[斜行検知精度]	幅が一定ではない用紙の場合に、[ゆるめ]を選択して用紙の斜行検知機能の精度を緩めたり、[ｵﾌ]を選択して斜行検知機能を無効にします。ただし、[ｵﾌ]を選択したときに用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
	[吸着力]	プラテン上での用紙の吸着力を選択します。(「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633
	[用紙幅検知]	枠内に印刷したい場合など、任意の位置から印刷を開始したいときに設定します。[ｵﾌ]を選択すると、用紙幅や斜行の検知を行ないません。用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
	[ﾛｰﾙ紙先端余白]	用紙の先端側の印刷品質を確保したい場合に、ロール紙先端側の余白の最小値を設定します。 [3mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。また、プラテンが汚れる場合があります。
	[ｶｯﾄｽﾋﾟｰﾄﾞ]	用紙をカットする速度を選択します。糊付きの用紙の場合は、[遅い]を選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。
	[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]	ロール紙をセットしたときに、先端をカットします。
	[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	標準装備の丸刃カッターでカットするかどうかを選択します。 [自動ｶｯﾄ]を選択すると、印刷後に用紙をカットします。[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]を選択すると、印刷後にカットしないでカット位置に線を印刷します。 [ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]はインクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。
	[ﾌﾁなし余白設定]	フチなし印刷したときに、外側の余白量を調整します。 [自動]を選択すると、用紙の幅を自動で検知し、フチなしの余白設定を行います。[自動]を選択している状態で余白ができてしまう場合は、[固定]を選択します。用紙の幅は自動検知されず、プリンタ規定値の余白設定でフチなし印刷を行い、余白ができなくなります。

設定項目		機能説明/設定方法
(用紙の種類が表示される)(*1 →P.673)	[ｶｯﾄ屑軽減]	[ｵﾝ]を選択すると、用紙をカットする際に、カット位置に線を印刷します。これにより、カット屑の散乱が軽減されます。また、糊付きの用紙の場合は、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。(「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.599
	[ｶｯﾄ紙先端余白]	用紙先端側の印刷品質を確保したい場合に、カット紙先端側の余白を設定します。 [3mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。
	[初期値に戻す]	[する]を選択すると[用紙詳細設定]の設定が工場出荷時の値に戻ります。

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570 User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。

[ｼﾞｮﾌﾞ管理]

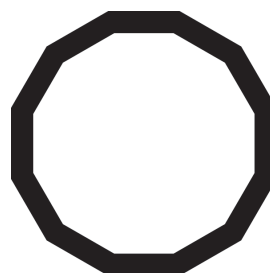
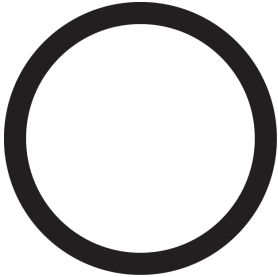
設定項目						機能説明/設定方法
[印刷ジョブ]	[ｼﾞｮﾌﾞﾘｽﾄ]	(印刷ジョブを選択する)	[削除]			印刷中または印刷待ちのジョブを削除します。(「印刷待ちのジョブを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.529
			[追い越し]			印刷中のジョブが印刷完了後、優先的に印刷します。(「印刷待ちのジョブを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.529
[保存ｼﾞｮﾌﾞ]	[ﾎﾞｯｸｽﾘｽﾄ]	(暗証番号が設定されている場合は暗証番号を入力する)	[ｼﾞｮﾌﾞﾘｽﾄ]	(印刷ジョブを選択する)	[印刷]	保存したジョブを印刷します。
					[削除]	保存したジョブを削除します。
			[ｼﾞｮﾌﾞﾘｽﾄ印刷]			保存したジョブの一覧を印刷します。
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できる)	[ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ名]				最後に印刷したジョブのドキュメント名を表示します。
		[ﾕｰｻﾞｰ]				ジョブを送信したユーザー名を表示します。
		[ﾍﾟｰｼﾞ数]				ジョブの枚数を表示します。
		[ｼﾞｮﾌﾞｽﾃｰﾀｽ]				ジョブの処理結果を表示します。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ開始時刻]				ジョブの印刷を開始した時刻を表示します。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ終了時刻]				ジョブの印刷を終了した時刻を表示します。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ時間]				ジョブの印刷の所要時間を表示します。
		[出力用紙ｻｲｽﾞ]				ジョブの用紙のサイズを表示します。
		[用紙種類]				ジョブの用紙の種類を表示します。
		[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ]				ジョブのインタフェースを表示します。

設定項目			機能説明/設定方法
[ジョブ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できる)	[ｲﾝｸ使用量]	ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1 →P.674)
[HDD 情報]	[HDD 空き容量]		プリンタのハードディスクの空き容量を表示します。

*1: プリント 1 枚につき消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

[GL2 設定]

設定項目			機能説明/設定方法
[画質の管理]	[ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ]	[ﾓﾉｸﾛ]	モノクロで印刷します。
		[ｶﾗｰ(CAD)1]	標準的なカラーで印刷します。
		[ｶﾗｰ(CAD)2]	明るめのカラーで印刷します。
		[ｶﾗｰ(CAD)3]	Canon BJ-W3000/W3050 をエミュレートした近似色で印刷します。(*1 →P.676)
		[ｶﾗｰ(CAD)4]	HP Designjet 500/800 をエミュレートした近似色で印刷します。(*1 →P.676)
		[ｶﾗｰ(CAD)5]	HP Designjet 1000 をエミュレートした近似色で印刷します。(*1 →P.676)
		[ｶﾗｰ(CAD)6]	HP Designjet 4000/4500 をエミュレートした近似色で印刷します。(*1 →P.676)
	[印刷品質]		印刷品質を選択します。
	[入力解像度]		プリンタへの入力解像度を[600dpi]または[300dpi]から選択します。
	[ｴｺﾉﾐｰ印刷]		通常の印刷よりも印刷品位は下がりますが、インクの消費量を抑えて印刷します。インクを節約したいときに[ｵﾝ]にしてください。
[用紙の管理]	[給紙方法]		HP-GL/2 で印刷するときの給紙方法を選択します。
	[印刷余白]		用紙の上下左右の余白を設定します。カット紙の場合、後端の余白は 23mm になります。 ただし、[用紙詳細設定]で先端余白が設定されている場合は、[用紙詳細設定]の値が優先されます。
	[用紙節約]		用紙を節約して印刷します。
	[自動回転]		原稿の長辺がロール紙幅よりも短い場合に自動で 90 度回転して用紙を節約します。横長のデータで長辺がロール紙幅より長く、原稿の短辺がロール紙幅より短い場合は 90 度回転し、用紙に収まるように印刷します。

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙の管理]	[自動回転]		HP RTL は回転できません。HP RTL 画像の場合、用紙サイズは 90°回転しても画像は回転出来ないため、途切れた画像となったり、白紙が排紙されることがあります。その場合は[自動回転]を[ｵﾌ]にしてください。
	[ﾈｽﾃｨﾝｸﾞ]	[ﾈｽﾃｨﾝｸﾞ使用]	[ｵﾝ]を選択すると、原稿を 1 ページずつ印刷せずに、ロール紙幅がいっぱいになるまで原稿を並べてから印刷します。
		[ﾈｽﾃｨﾝｸﾞ待ち時間]	印刷までの時間を設定できます。
		[切り取り線]	[ｵﾝ]を選択すると、原稿の間に切り取り線が印刷されます。
[線/ﾍﾟﾝの管理]	[線のﾏｰｼﾞ]		線が重なっているとき、重なっている部分の色をマージするか上書きするかを設定します。 [ｵﾌ]を選択すると、後から書いた線で上書きします。 [ｵﾝ]を選択すると、重なった色をすべてマージします。
	[ﾍﾟﾝ設定]	[ﾊﾟﾚｯﾄの選択]	ペンに関する値を[ｿﾌﾄｳｪｱ]、[ﾊﾟﾚｯﾄA]、[ﾊﾟﾚｯﾄB]または[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ]から選択します。 [ｿﾌﾄｳｪｱ]を選択すると、アプリケーション側の指定に沿って印刷します。[ﾊﾟﾚｯﾄA]または[ﾊﾟﾚｯﾄB]を選択すると、[ﾊﾟﾚｯﾄの定義]で設定した値で印刷します。
		[ﾊﾟﾚｯﾄの定義]	パレットの[ﾍﾟﾝ番号]に[幅]、[ｶﾗｰ]、[つなぎ形状]の値を設定します。[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ]を選択すると、[ﾊﾟﾚｯﾄの選択]で[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ]を選択したときの値を確認できます。 [つなぎ形状]は、線の端部および線と線のつなぎ目の形状を[処理なし]または[丸処理]から選択します。 • [処理なし] を選択した場合 • [丸処理] を選択した場合
		[ﾊﾟﾚｯﾄの初期化]	[ﾊﾟﾚｯﾄの定義]のパレットの設定が工場出荷時の値に戻ります。
	[ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ]		円弧をスムーズな曲線で印刷するか、多角形で印刷するかを選択します。 • [ｿﾌﾄｳｪｱ] を選択した場合 アプリケーション側の指定に沿った動作をします。指定が無い場合は図のようになります。

設定項目		機能説明/設定方法
［線/ﾍﾟﾝの管理］	［ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ］	※デフォルトは 72 角形 • ［ｽﾑｰｽﾞ］を選択した場合
	［細線強調］	［ｵﾝ］を選択すると、細い線をくっきりと印刷します。
	［明細線補正］	細線の色味が他の図形と違って印刷されるとき、［ｵﾌ］を選択すると思い通りの印刷結果を得られることがあります。ただし、色によっては細線が途切れて印刷される場合があります。
［処理ｵﾌﾟｼｮﾝ］	［警告表示］	［ｵﾝ］にすると GL2 にて発生した警告を表示します。
	［ｵﾝｻﾞﾌﾗｲ］	HP RTL のみのデータを印刷する場合で印刷開始時間が遅い場合、［ｵﾝ］を選択すると印刷開始時間が早くなります。ただし、画像がかけてしまう場合がありますので印刷結果を確認してください。
	［ﾍﾟｰｼﾞｻｲｽﾞ処理 1］	通常、画像は印刷動作に必要なプリンタの余白を除いた位置に印刷されますが、画像データそのものに余白がある場合にこの設定を［ｵﾝ］すると書き出し位置がずれません。
	［ﾍﾟｰｼﾞｻｲｽﾞ処理 2］	［ｵﾝ］を選択すると、描画領域を基に用紙サイズを決定します。

*1: 指定した機種の色味や画質を完全に一致させるものではありません。

［印字調整］

設定項目		機能説明/設定方法
［自動ﾍｯﾄﾞ調整］	［標準調整］	［する］を選択すると、印刷方向に対する、プリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。（「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618
	［詳細調整］	［する］を選択すると、ノズル間、色間、印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。（「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618
	［自動ﾌﾟﾘﾝﾄ］	［ｵﾝ］を選択すると、プリントヘッドの交換後に、［詳細調整］が自動的に実行されます。（「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618
［手動ﾍｯﾄﾞ調整］		［する］を選択すると、印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷されます。印刷結果を基に、手動で調整値を設定します。（「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する（手動ヘッド調整）」参照） →P.620

設定項目		機能説明/設定方法
[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]	[標準調整]	[する]を選択すると、用紙の送り量を調整するためのバンド調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。(「横スジを自動調整する(自動バンド調整)」参照) →P.627
	[詳細調整]	キヤノン純正紙や出力確認用の用紙以外がセットされている場合などに設定します。 [する]を選択すると、用紙の送り量を調整するためのバンド調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。[標準調整]よりも時間がかかり、インクを多く消費します。 (「横スジを自動調整する(自動バンド調整)」参照) →P.627
[手動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]		[する]を選択すると、用紙の種類に合わせて、用紙の送り量を調整するためのバンド調整用パターンを印刷します。 (「横スジを手動で調整する(手動バンド調整)」参照) →P.628
[長さ調整]	[A:きれい]([長さ調整A]) [B:標準/速い]([長さ調整 B])	用紙の種類に合わせて、用紙の伸縮率の調整用パターンを印刷し、調整値を設定することができます。 (「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.631
[ﾍｯﾄﾞ傾き調整]		[する]を選択すると、プリントヘッドの傾きを調整するための調整用パターンを印刷します。(「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」参照) →P.621

[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]

設定項目			機能説明/設定方法
[EOP ﾀｲﾏｰ]			印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
[TCP/IP]	[IPﾓｰﾄﾞ]		プリンタの IP アドレスを自動で設定するか、手動で固定 IP アドレスを設定するかを選択します。
	[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]	[DHCP]	IP アドレスを自動で設定するためのプロトコルを設定します。
		[BOOTP]	
		[RARP]	
	[IP 設定]	[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	固定 IP アドレスを設定する場合に、プリンタのネットワーク情報を設定します。 プリンタに割り当てる IP アドレスと、ネットワークのサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを設定します。
		[ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ]	
		[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ G/W]	
[NetWare]	[NetWare]		NetWare プロトコルを設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。
	[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ]		使用するフレームタイプを選択します。
	[ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻｰﾋﾞｽ]		使用するプリントサービスを選択します。
[AppleTalk]			AppleTalk プロトコルを使用するかどうかを設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。
[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]	[自動検出]		通信方式を設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。

設定項目		機能説明/設定方法
[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]	[自動検出]	[ｵﾝ]を選択すると、LAN の通信プロトコルを自動的に認識します。[ｵﾌ]を選択すると、[通信方式]や[Ethernet 種類]の設定値が有効になります。
	[通信方式]	LAN の通信方式を選択します。
	[Ethernet 種類]	LAN の通信速度を選択します。
	[ｽﾊﾟﾆﾝｸﾞﾂﾘｰ]	LAN のスパニングツリー信号を受け入れて対応するかどうかを選択できます。
	[MAC ｱﾄﾞﾚｽ]	MAC アドレスを表示します。
[初期値に戻す]		[▼]キーを押すと、[初期値に戻す/実行しますか？]が表示されます。[OK]キーを押すと、ネットワークに関する各設定値が工場出荷時の状態に戻ります。

[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]

設定項目	機能説明/設定方法
[ﾒﾝﾃﾅﾝｽC 交換]	メンテナンスカートリッジを交換するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767
[ﾍｯﾄﾞ 交換]	メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。 プリントヘッドを交換するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.760
[ｼｬﾌﾄｸﾘｰﾅ交換]	シャフトクリーナを交換するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767
[本体輸送]	メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。 プリンタを輸送するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリンタの輸送の準備をする」参照) →P.780

[ｼｽﾃﾑ設定]

設定項目		機能説明/設定方法
[警告]	[ﾌﾞｻﾞｰ]	ブザー機能を設定します。[ｵﾝ]を選択すると、警告時に 1 回、エラー発生時に 3 回ブザーが鳴ります。
	[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]	プリンタのメニューで設定した用紙の種類と、プリンタドライバで設定した用紙の種類が異なっている場合、[警告表示する]を選択すると警告を表示して、印刷を続行します。[検知しない]を選択すると、警告が表示されずに印刷を続行します。[一時停止する]を選択すると、印刷を一時停止します。印刷を続行する場合は、[オンライン]キーを押します。
	[巻き取りｴﾗｰｽｷｯﾌﾟ]	[ｵﾝ]を選択すると、巻き取り装置で、巻き取りエラーが発生しても、印刷を続行します。[ｵﾌ]を選択すると、巻き取りエラーが発生すると、印刷を一時停止します。

設定項目		機能説明/設定方法
[外形ｻｲｽﾞ優先]		[ｵﾝ]を選択すると、用紙のサイズが優先されます。プリンタドライバで設定した余白が、プリンタのメニューで設定した余白より少ない場合、プリンタのメニューで設定した余白が優先され、余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。 [ｵﾌ]を選択すると、プリンタドライバの設定が優先されます。プリンタドライバで設定した余白が、プリンタのメニューで設定した余白より少ない場合、文字や画像が切れないように印刷されます。ただし、実際の余白=プリンタドライバで設定した余白+プリンタのメニューで設定した余白となり、用紙のサイズは長くなってしまいます。
[用紙ｻｲｽﾞ優先設定]	[ｶｯﾄ紙優先設定 1]	カット紙のサイズを検知したときに、サイズが[ISO A3+]と[13"x19"(Super B)]の間の場合に、どちらのサイズとして認識するかを選択します。
	[ｶｯﾄ紙優先設定 2]	カット紙のサイズを検知したときに、サイズが[ISO B1]と[28"x40"(ANSI F)]の間の場合に、どちらのサイズとして認識するかを選択します。
[ﾛｰﾙ退避時ﾌﾟﾚｶｯﾄ]		退避位置にある用紙を給紙した際に用紙の先端をカットするかどうかを設定します。退避位置で固定されていた際につく跡が気になる場合はカットしてください。[ｵﾝ]に設定すると、退避位置から給紙すると必ずカットします。[自動]に設定すると、2日以上退避位置にあった用紙のみカットします。
[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ間隔]		ノズルのつまりを印刷後にチェックするタイミングを設定します。[1ﾍﾟｰｼﾞ]を選択すると、印刷終了時にチェックを行います。[10ﾍﾟｰｼﾞ]を選択すると、10枚ごとに印刷終了時にチェックを行います。[自動]を選択すると、ノズルの使用頻度により、チェックするタイミングを自動的に調整します。
[ｷｬﾘｯｼﾞｽｷｬﾝ幅設定]		印刷の際のキャリッジのスキャン幅を設定します。[自動]を選択すると、セットした用紙の幅に合わせて移動します。[固定]を選択すると、裏面の汚れは低減されますが、印刷時間が多少長くなります。
[ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾏｰ]		プリンタがスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
[長さの単位]		ロール紙の長さの表示単位を選択します。[ﾛｰﾙ紙長さ設定]の設定値やサブメニューのロール紙残量の表示単位が切り替わります。

設定項目		機能説明/設定方法
［ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ］		タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの項目名には、グリニッジ標準時間からの時差とともに該当のタイムゾーン内の代表的な都市名が表示されます。
［日付形式］		日付の表示形式を設定します。
［日時設定］	［日付設定］	現在の日付を設定します。
	［時刻設定］	現在の時刻を設定します。［日付設定］が設定されている場合のみ設定可能です。
［表示言語］		ディスプレイの表示言語を設定します。
［画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整］		ディスプレイのコントラストを調整します。
［用紙設定初期化］		Media Configuration Tool で変更した内容を工場出荷時の設定値に戻します。
［HDDﾃﾞｰﾀ消去］	［高速］	ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。（「ハードディスク内のデータを消去する」参照） →P.696
	［ｾｷｭｱ高速］	ハードディスク全体にランダムデータを上書きします。（「ハードディスク内のデータを消去する」参照） →P.696
	［ｾｷｭｱ］	ハードディスク全体に 00/FF/ランダムデータを各１回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。（「ハードディスク内のデータを消去する」参照） →P.696
［出力方法］	［印刷］	出力方法を選択します。 ［印刷］を選択すると通常の印刷を行います。［印刷（自動消去）］を選択すると印刷しますが、ハードディスクのデータは削除されます。［ﾎﾞｯｸｽ保存<01>］はボックスへの保存のみ行い、印刷は行われません。
	［印刷（自動消去）］	
	［ﾎﾞｯｸｽ保存<01>］	
［保存完了後に印刷］		［ｵﾝ］を選択すると保存が完了してから印刷を行います。
［共通ﾎﾞｯｸｽ保存］		［ｵﾌ］を選択すると共通ボックスに保存せずに印刷します。
［ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示］		［ｵﾌ］を選択すると、［ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ］の［ｼﾞｮﾌﾞ履歴］で履歴が表示されません。さらに［ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ］の［ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ］でも履歴が印刷されません。また、Status Monitor のアカウンティング機能においてもジョブ履歴を収集できないため正しい動作が行われません。

［ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ］

設定項目		機能説明/設定方法
［ｼｽﾃﾑ情報］	［ﾌｧｰﾑｳｪｱ］	プリンタ本体のファームウェアのバージョンを表示します。
	［Boot］	プリンタ本体のブートロムのバージョンを表示します。
	［MIT］	MIT の DB フォーマットのバージョンを表示します。
	［s/n］	プリンタ本体のシリアルナンバーを表示します。
	［MAC］	プリンタ本体の MAC アドレスを表示します。

設定項目		機能説明/設定方法
[ｼｽﾃﾑ情報]	[IP]	プリンタの IP アドレスを表示します。
[ｴﾗｰ履歴]	[########-####]	最近発生したエラーメッセージ(2 件まで)を表示します。

印刷中のメインメニューの設定値

印刷中のメインメニューの各項目の説明について、以下に示します。
設定方法については、「メインメニューを操作する」を参照してください。 →P.654
メニューの階層と設定値については、「メニューの階層」を参照してください。 →P.658

設定項目		機能説明/設定方法
[印刷中ﾒﾆｭｰ]	[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]	プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.759 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を選択します。 インクがまったく出ない場合や、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]で問題が解決されない場合に、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を選択します。
	[ﾊﾞﾝﾄﾞ微調整]	用紙の送り量を手動で微調整します。
	[ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ]	プリンタ本体の情報や印刷ジョブの履歴を表示します。(「ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ」参照) →P.681

[ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ]

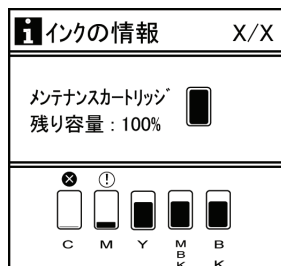
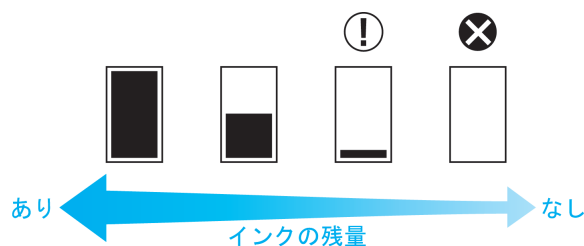
設定項目		機能説明/設定方法
[ｼｽﾃﾑ情報]	[ﾌｧｰﾑｳｪｱ]	プリンタ本体やファームウェアのバージョンを表示します。
	[Boot]	プリンタ本体のブートロムのバージョンを表示します。
	[MIT]	MIT の DB フォーマットのバージョンを表示します。
	[s/n]	プリンタ本体のシリアルナンバーを表示します。
	[MAC]	Mac アドレスを表示します。
	[IP]	IP アドレスを表示します。
	[HDD 空き容量]	プリンタのハードディスクの空き容量を表示します。
[ｴﾗｰ履歴]	1:xxxxxxxx-xxxx	最近発生したエラーメッセージの番号を、新しい順に 2 件表示します。
	2:xxxxxxxx-xxxx	

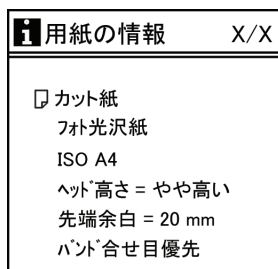
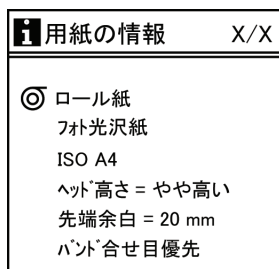
サブメニューの表示

[インフォメーション]キーを押すと、メンテナンスカートリッジの残り容量とインクの残量、セットされている用紙の情報、プリンタの情報、HP-GL/2 の設定情報が切り替わります。
[インフォメーション]キーを押すたびに、以下のサブメニューが表示されます。

メモ

- [インフォメーション]キー以外のキーを押すと、直前のモードに戻ります。
- サブメニューの表示後、印刷ジョブの受信やプリンタの操作がない場合は、約 10 秒後にサブメニューの表示前のモードに戻ります。

メンテナンスカートリッジの残り容量とインクの残量

ディスプレイ上段には、メンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。
ディスプレイ下段には、各インクの残量が表示されます。ディスプレイに表示されるインクの残量は、ディスプレイ下部の色ラベルに対応しています。
インクが不足している場合は[!]、インクがない場合は[×]、インク残量検知機能が無効の場合は[?]がインクの残量の上に表示されます。
インクの残量は、以下のように表示されます。

セットされている用紙の情報

用紙のサイズ、種類、プリンタの設定が表示されます。

プリンタの情報

ファームウェアのバージョン、シリアルナンバー、ハードディスク空き容量、IP アドレス、インタフェースの情報が表示されます。

HP-GL/2 の設定情報

HP-GL/2 の設定情報が 3 つの画面で表示されます。

ステータスプリントについて

このプリンタはプリンタの状態を示す[ステータスプリント]を印刷することができます。
[ステータスプリント]にはファームウェアバージョンやプリンタの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンタの情報が印刷されます。

[ステータスプリント]を印刷する

1. 用紙をセットします。
   カット紙の場合は、A4 サイズで 4 枚以上必要です。

2. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

[ステータスプリント]の内容を確認する

[ステータスプリント]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Status Print	機種名

Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT（DBF）	MIT　DB フォーマットバージョン
MIT（DB）	MIT　DB バージョン
S/N	機種シリアル No

MAC		Mac アドレス
IP		IP アドレス
Ink Info	MC	メンテナンスカートリッジ空き容量(%)
	C,M,Y,MBK,BK	インク残量です。 20%刻みで表示されます。

Takeup-Reel	巻き取り装置の使用状態です。

Media Menu		設定されている用紙の情報です。
	Cut Sheet Type	
	Roll Media Type	
	ManageRemainRoll	

Job Management			ジョブ関連の情報です。
	HDD Information		ハードディスク空き容量です。
		HDD Space	

Adjust Printer			本体の設定値です。
	Auto Head Adj.		プリントヘッドの調整値です。
		Auto Print	

Interface Setup				ネットワーク関連の設定値です。
	EOP Timer			最後のデータを受信してから印字キャンセルを行なうまでの時間を設定
	TCP/IP			[TCP/IP]関連の設定値です。
		IP Mode		
		Protocol		
			DHCP	
			BOOTP	
			RARP	
		IP Setting		[IP 設定]の値です。
			IP Address	
			Subnet Mask	
			Default G/W	
	NetWare			[NetWare]の設定値です。
		NetWare		
		Frame Type(*1 →P.685)		
		Print Service(*1 →P.685)		
	AppleTalk			[AppleTalk]の有効/無効の値です。
	Ethernet Driver			[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]の設定値です。

		Auto Detect	[Ethernet ドライバ]の設定値です。
		Comm.Mode(*2 →P.685)	
		Ethernet Type(*2 →P.685)	
		Spanning Tree	
		MAC Address	

*1: [NetWare]の設定が[使う]のときに表示。
*2: [自動検出]の設定が[オフ]のときに表示。

System Setup			システム関連の設定値です。
	Warning		警告/エラー関連の設定値です。
		Buzzer	
		Detect Mismatch	
		Skip Take-Up Err	
	Keep Media Size		用紙関連の設定値です。
	Paper Size Basis		
		Sheet Selection 1	
		Sheet Selection 2	
	TrimEdge Reload		
	Noz. Check Freq.		ノズルチェックの設定値です。
	CarriageScanWdth		キャリッジのスキャン幅設定値です。
	Sleep Timer		本体システム関連の設定値です。
	Length Unit		
	Time Zone		
	Date Format		
	Language		
	Contrast Adj.		
	Output Method		出力方法の設定値です。
	Save and Print		
	Save:Shared Box		

Information		
	System Info	
	Error Log	過去 5 件のエラーコードです。

GL2 Settings			HP-GL/2 の設定値です。
	Quality Manager		
		Color Mode	
		Print Quality	

9

		Input Resolution	HP-GL/2 の設定値です。
		Print（Economy）	
	Paper Manager		
		Paper Source	
		Margin	
		Conserve Paper	
		Auto Rotate	
		Nesting	
		Use Nesting	
		Nesting WaitTime	
		Cut Lines	
	ProcessingOption		
		Warning	
		On-the-Fly	
		PageSizeProcess1	
		PageSizeProcess2	

GL2 Settings					HP-GL/2 の設定値です。
	Line&Pen Manager				
		Enable merge			
		Pen Setup			
			Select Palette		
			Define Palette（Factory）		
				Pen 0 -- Width	
				Pen 1 -- Width	
				Pen 2 -- Width	
				Pen 3 -- Width	
				Pen 4 -- Width	
				Pen 5 -- Width	
				Pen 6 -- Width	
				Pen 7 -- Width	
				Pen 8 -- Width	
				Pen 9 -- Width	
				Pen 10 -- Width	
				Pen 11 -- Width	
				Pen 12 -- Width	
				Pen 13 -- Width	
				Pen 14 -- Width	
				Pen 15 -- Width	

			Define Palette（Palette A）		HP-GL/2 の設定値です。
				Pen 0 -- Width	
				Pen 1 -- Width	
				Pen 2 -- Width	
				Pen 3 -- Width	
				Pen 4 -- Width	
				Pen 5 -- Width	
				Pen 6 -- Width	
				Pen 7 -- Width	
				Pen 8 -- Width	
				Pen 9 -- Width	
				Pen 10 -- Width	
				Pen 11 -- Width	
				Pen 12 -- Width	
				Pen 13 -- Width	
				Pen 14 -- Width	
				Pen 15 -- Width	
			Define Palette（Palette B）		
				Pen 0 -- Width	
				Pen 1 -- Width	
				Pen 2 -- Width	
				Pen 3 -- Width	
				Pen 4 -- Width	
				Pen 5 -- Width	
				Pen 6 -- Width	
				Pen 7 -- Width	
				Pen 8 -- Width	
				Pen 9 -- Width	
				Pen 10 -- Width	
				Pen 11 -- Width	
				Pen 12 -- Width	
				Pen 13 -- Width	
				Pen 14 -- Width	
				Pen 15 -- Width	
		Smoothing			
		ThickenFineLines			
		AdjustFaintLines			

Network（RemoteUI）		リモート UI によるネットワーク関連の設定値です。
	TCP/IP	

		Frame Type		リモート UI によるネットワーク関連の設定値です。
		Use DHCP		
		Use BOOTP		
		Use RARP		
		Enable DNS Dynamic Update		
		Use Zeroconf Function		
		IP Address		
		Subnet Mask		
		Gateway Address		
		LPD Printing		
		IPP Printing		
		IPP Printer URI		
		RAW Printing		
		Raw Port Number		
		Raw Mode Bi-direction		
		FTP Printing		
		SMTP Server Address		
		Primary DNS Server Address		
		Secondary DNS Server Address		
		DNS Host Name		
		DNS Domain Name		
		Multicast DNS Service Name		
	NetWare			[NetWare]の設定値です。
		Frame Type		
		IPX External Network Number		
		Node Number		
		Print Service		
			Tree Name	
			Context Name	
			Print Server Name	
			Print Server Password	
			Polling Interval	
		AppleTalk		[AppleTalk]の設定値です。

			Phase Type	[AppleTalk]の設定値です。
			Name	
			Network Number*	
			Zone	

HEAD LOT NUMBER		プリントヘッドのロットナンバーです。
	LOT	

PARTS STATUS		サービス交換部品の使用状況です。
	COUNTER A～Y	

COUNTER			カッター、メディアなどの使用状況です。
	CUTTER		
	MEDIA		
		LIFE TTL	
		LIFE ROLL	
		LIFE CUTSHEET	
	MEDIA1-7		
		NAME	
		TTL	
		ROLL	
		CUTSHEET	
	AFTER INSTALLATION		

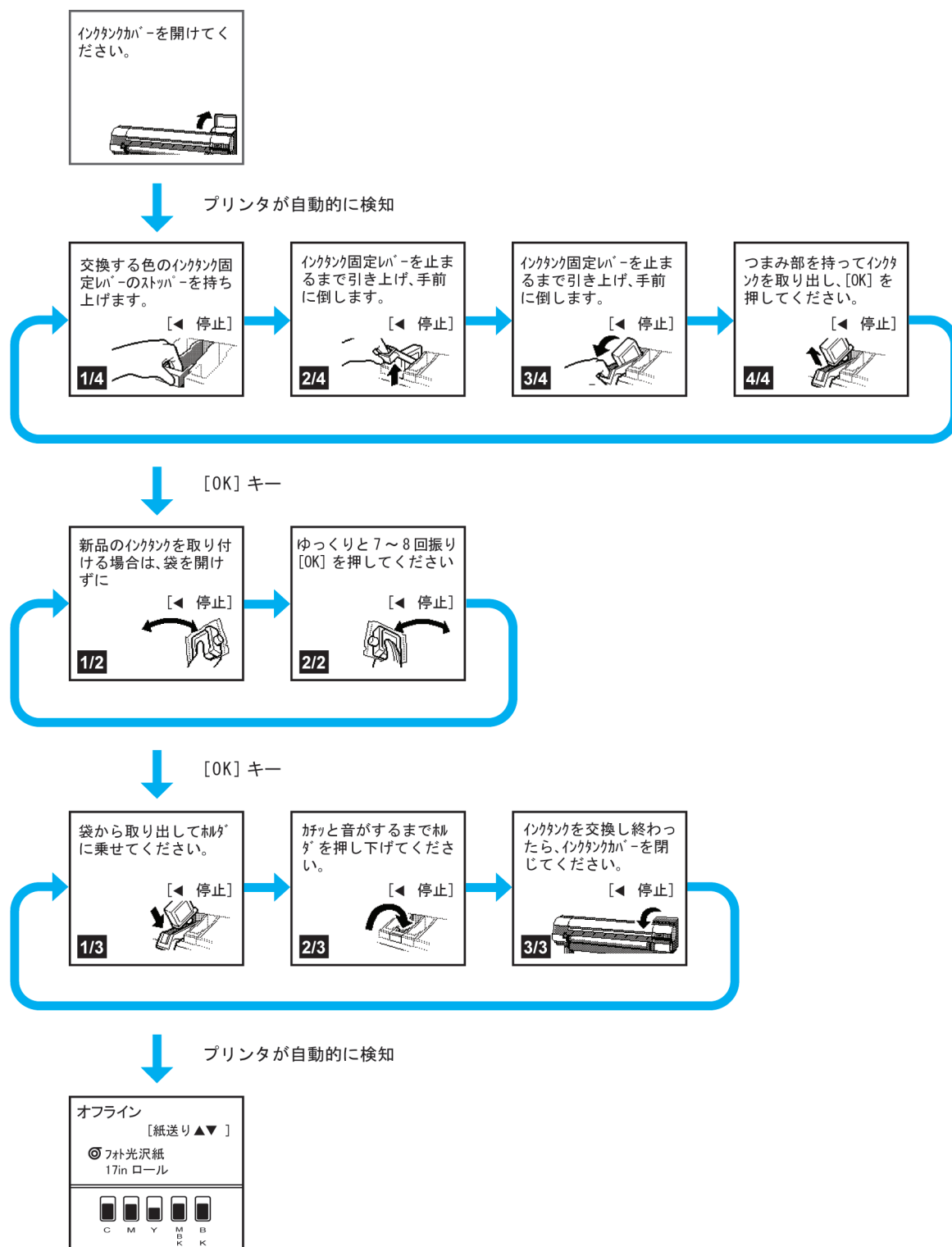
ガイダンスを見ながら操作する

用紙をセットする手順やインクタンクの交換などを、操作パネルのディスプレイで手順を見ながら操作することができます。

ガイダンスの見かた

ガイダンスに表示されている操作を実行すると、プリンタが検知して次のガイダンス画面に切り替わります。

プリンタが検知できない操作については、画面が 4 秒ごとに切り替わり、一連の操作を繰り返し表示します。

繰り返し表示されるガイダンスについては、すべての操作が終わると次の手順のガイダンス画面が表示されます。

メモ

- 繰り返し表示されるガイダンス中に[◀]キーを押すと、画面が停止します。
  [◀]キー、[▶]キーで前画面/次画面を表示します。[◀]キー、[▶]キーを押さずに 30 秒が経過すると、繰り返し表示に戻ります。
  [OK]キーを押すと、次の手順のガイダンス画面が表示されます。

ロール紙のセット/取り外しのガイダンスを見る

1. [用紙セット/排紙]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して、[用紙のｾｯﾄ]または[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

ガイダンスが開始されます。

カット紙のセット/取り外しのガイダンスを見る

1. [用紙セット/排紙]キーを押します。

ガイダンスが開始されます。

ハードディスク

プリンタのハードディスク関連の機能一覧

プリンタのハードディスク関連の操作は、下記の方法で行うことができます。

- プリンタドライバ
- imagePROGRAF HDI ドライバ
- imagePROGRAF フリーレイアウト
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー
- imagePROGRAF Status Monitor
- imagePROGRAF Printmonitor
- リモート UI
- 操作パネル

プリンタのハードディスク関連の機能の一覧を、以下に示します。

Windows		プリンタドライバ	imagePROGRAF フリーレイアウト	imagePROGRAF Status Monitor	リモートUI	操作パネル
		imagePROGRAF HDI ドライバ	Color imageRUNNER 連携拡大コピー			
Mac OS		プリンタドライバ	Color imageRUNNER 連携拡大コピー	imagePROGRAF Printmonitor		
機能		可/不可	可/不可	可/不可	可/不可	可/不可
印刷ジョブの保存	印刷	可	可	不可	不可	不可
	印刷(自動消去)	可	可	不可	不可	不可
	ボックス保存	可	不可	不可	不可	不可
	保存完了後印刷(*1)	可	可	不可	不可	不可
	印刷ジョブを共通ボックスに保存しない	不可	不可	不可	不可	可
	プリンタドライバ以外から送信された印刷ジョブの保存	不可	不可	不可	不可	可
保存したジョブの操作	保存したジョブの印刷	不可	不可	可	可	可
	保存したジョブの削除	不可	不可	可	可	可

Windows		プリンタドライバ	imagePROGRAF フリーレイアウト	imagePROGRAF Status Monitor	リモートUI	操作パネル
		imagePROGRAF HDI ドライバ	Color imageRUNNER 連携拡大コピー			
Mac OS		プリンタドライバ	Color imageRUNNER 連携拡大コピー	imagePROGRAF Printmonitor		
機能		可/不可	可/不可	可/不可	可/不可	可/不可
ジョブキューの管理	ジョブキューの表示	不可	不可	可	可	可
	削除	不可	不可	可	可	可
	追い越し	不可	不可	可	可	可
ボックスの管理	保存したジョブの移動	不可	不可	可	可	不可
	保存したジョブの設定変更	不可	不可	可	可	不可
	ボックスの設定変更	不可	不可	可	可	不可
	保存したジョブの一覧印刷	不可	不可	不可	不可	可
	保存したジョブの一覧表示	不可	不可	可	可	可
その他の操作	ハードディスク空き容量の表示	不可	不可	可	可	可
	ハードディスクの初期化	不可	不可	不可	不可	可
	印刷時間の表示	不可	不可	可	不可	不可
エラーメッセージの表示		不可	不可	可	可	可

*1:[印刷]、[印刷(自動消去)]、または[ボックス保存]のオプションとして選択できます。印刷ジョブを保存した後、続けて印刷します。

ハードディスクの空き容量を確認する

下記の方法で プリンタのハードディスクの空き容量を確認することができます。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合
- imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の場合
- imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)の場合

操作パネルの場合

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼﾞｮﾌﾞ 管理]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[HDD 情報]を選択し、[▶]キーを押します。

メモ

- ハードディスクの容量は、サブメニューのプリンタの情報でも確認できます。サブメニューは、[インフォメーション]キーを押すと表示されます。(「サブメニューの表示」参照) →P.681

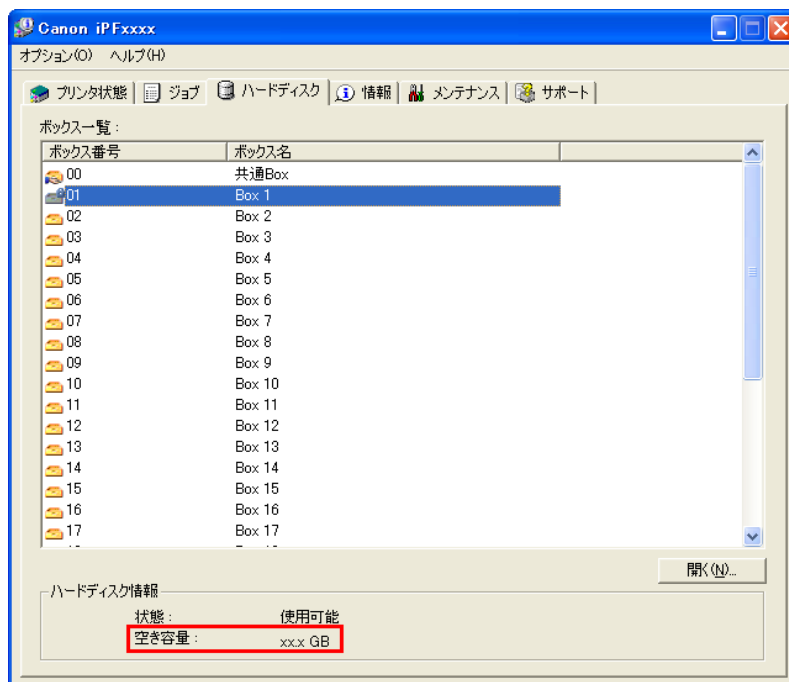
リモート UI の場合

ジョブ管理から[保存ジョブ]を選択するとボックスリストが表示されます。[保存ジョブ]ページでボックスリストを表示しているときに、右上にハードディスクの空き容量の情報が表示されます。

詳細については、リモート UI のヘルプを参照してください。

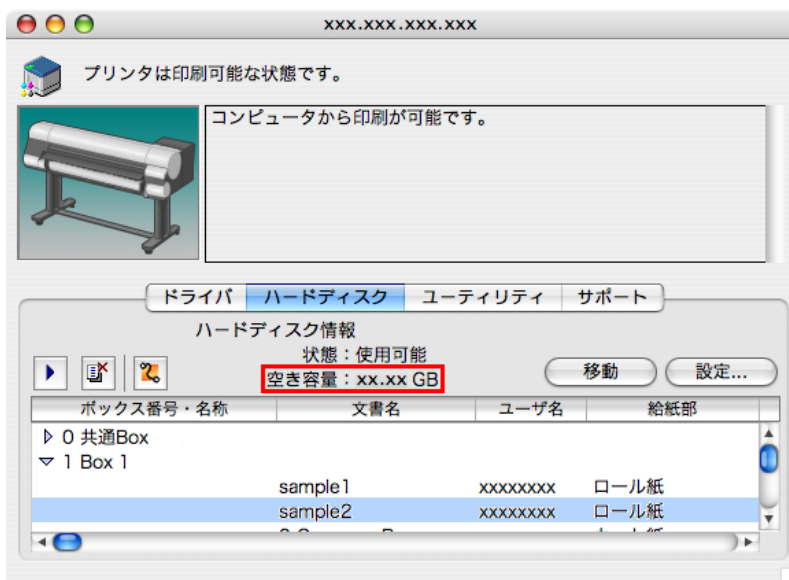
imagePROGRAF Status Monitor の場合

[ハードディスク]シートにハードディスクの空き容量が表示されます。

- ［**imagePROGRAF Status Monitor**］の［ハードディスク］シート

詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Printmonitor の場合

[ハードディスク]パネルにハードディスクの空き容量が表示されます。

- ［**imagePROGRAF Printmonitor**］の［ハードディスク］パネル

詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

ハードディスク内のデータを消去する

プリンタのハードディスク内のデータは、操作パネルで消去することができます。
消去の方法は３種類あります。

消去方法	特徴
[高速]	ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。短時間で消去する場合に選択してください。ファイル管理情報を消去するだけですので、データ自体は消去されません。データは市販のデータ復元ソフトウェアなどで読取られる可能性があります。
[ｾｷｭｱ高速]	ハードディスク全体にランダムデータを上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックは行いません。機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータは特殊なデータ復元ツールなどで復元できる可能性があります。
[ｾｷｭｱ]	ハードディスク全体に 00/FF/ランダムデータを各１回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。特に機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。米国防総省基準（DoD5220.22-M）に準拠。

メモ

- より確実にデータの復元を防止するためには、ハードディスクを物理的または磁気的に破壊する事を推奨します。その場合、ハードディスクの再利用はできません。
- ジョブキューが存在する場合は、[HDDﾃﾞｰﾀ消去]を実行できません。
  また、[HDDﾃﾞｰﾀ消去]の実行中は、印刷ジョブを処理できません。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｽﾃﾑ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[HDDﾃﾞｰﾀ消去]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して消去方法を選択し、[▶]キーを押します。

メモ

- プリンタにパスワードを設定している場合は、[管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]画面が表示されます。この場合、パスワードを入力してから[OK]キーを押すと、次の手順に進みます。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押すと、実行確認画面が表示されます。

メモ

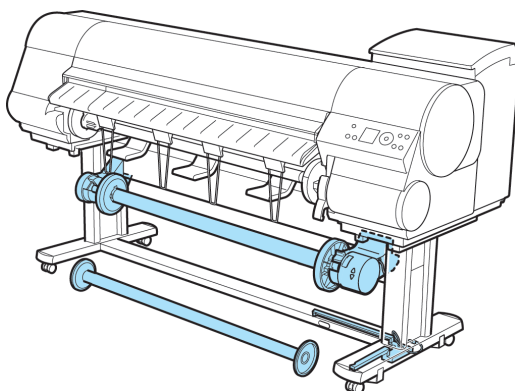
- 消去にかかる時間については、操作パネルで確認してください。ただし、[高速]を選択した場合は、数秒で終了します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押すと、消去を開始します。

オプション

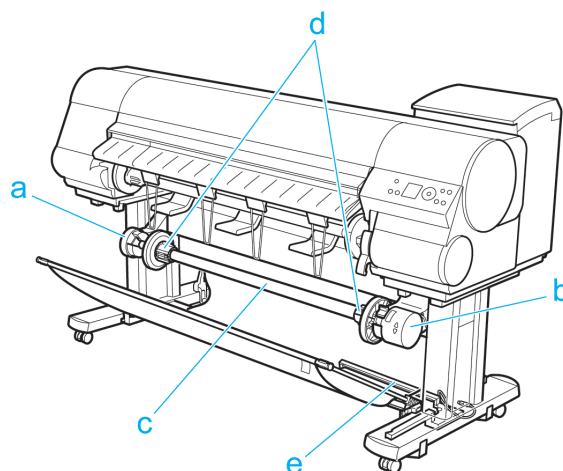
巻き取り装置

オプションの巻き取り装置を使用すると、ロール紙に印刷した用紙を自動的に巻き取ることができます。長尺印刷や大量に連続して印刷したい場合に便利です。

- 巻き取り装置 TU-06

メモ

- 巻き取り装置の取り付け方法については、巻き取り装置セットアップガイドを参照してください。
- 巻き取り装置で使用できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570
- 巻き取り装置の使用方法については、「巻き取り装置を使用する」を参照してください。→P.698

各部の説明

・本体

a. 巻き取り装置 L

ここに、巻き取り用スプールをセットします。

b. 巻き取り装置 R

ここに、巻き取り用スプールをセットします。巻き取り装置の[電源]キー、用紙送りのための[▲]キーと[▼]キー、電源コードが付いています。

c. 巻き取り用スプール

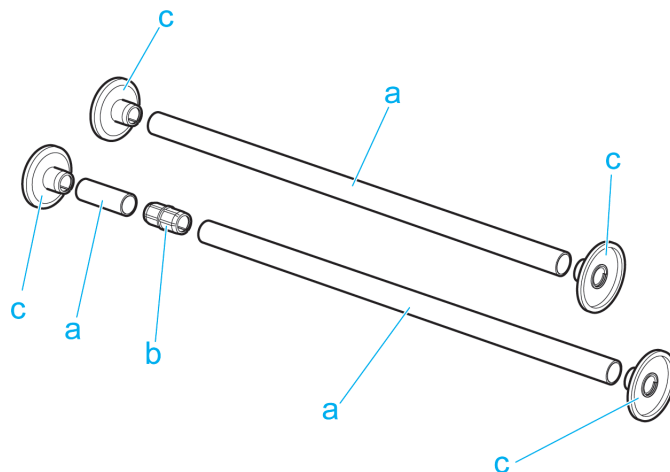
印刷したロール紙を巻き取ります。

d. 3 インチアダプタ

紙管が 3 インチのロール紙を巻き取るときに、巻き取り用スプールに取り付けます。

e. 巻き取りセンサー

ロール紙を自動で巻き取るためのセンサーです。

・ウェイト

a. ウェイトロール（6 本）

ロール紙を巻き取るために必要な重りです。ロール紙の幅に合わせて、1 本またはウェイトジョイントで 2 本を組み合わせて使用します。

b. ウェイトジョイント

2 本のウェイトロールをジョイントします。

c. ウェイトフランジ（2 組）

重みを調整するために、ウェイトロールの両端に取り付けます。用紙の種類によって、ウェイトフランジ 1 とウェイトフランジ 2 を使い分けます。（「巻き取り装置を使用する」参照） →P.698

巻き取り装置を使用する

巻き取り装置の使用方法について説明します。

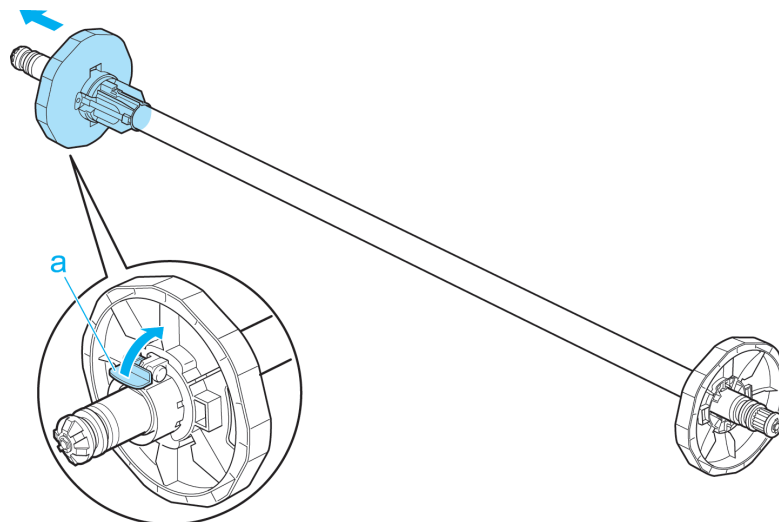
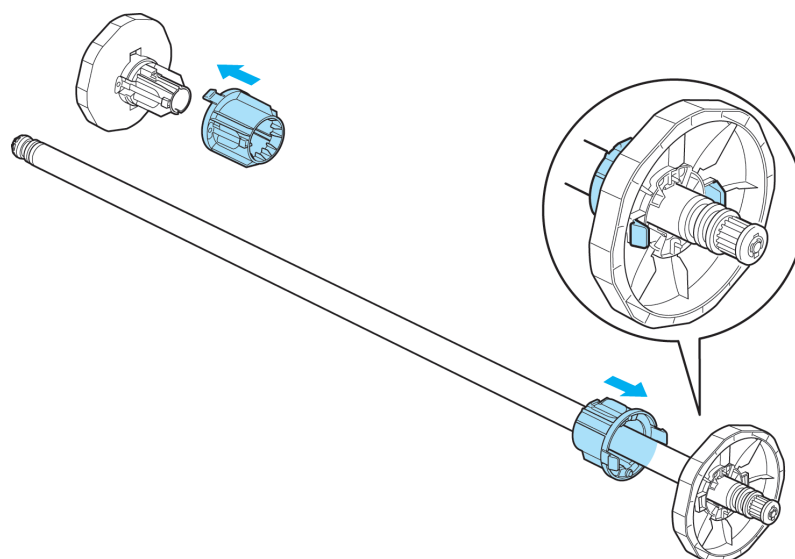
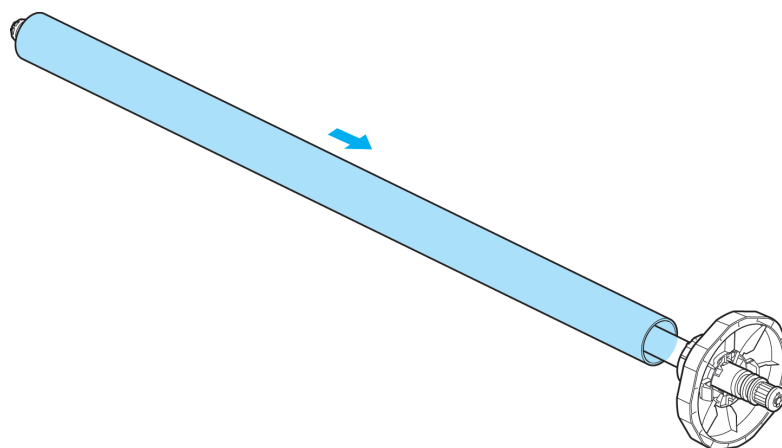
重要

- カット紙の場合は、巻き取り装置を使用することはできません。
- 巻き取りセンサーの検出範囲にさえぎる物を置かないでください。動作不良の原因になります。
- 巻き取り装置を使用しているときは、プリンタの[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]メニューの設定またはプリンタドライバの[オートカット]の設定にかかわらず、印刷後にロール紙は自動でカットされません。
- 用紙の種類によっては、インクが乾燥するまでに印刷物の色合いが変化する場合があります。最終的な色合いの確認や巻き取り装置からの印刷物の取り外しは、十分にインクを乾燥させてから行ってください。
- クロス、合成紙（糊無し）や、薄手のコート紙など薄くて腰の弱い用紙をインクを多く使って印刷した場合は、湿度の高い環境ではきれいに巻き取れない場合があります。その場合は、使用環境の改善を図るか、[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]や[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]の設定を変更し、インクが乾燥してから用紙を巻き取るようにしてください。（「メインメニューの設定値」参照） →P.669

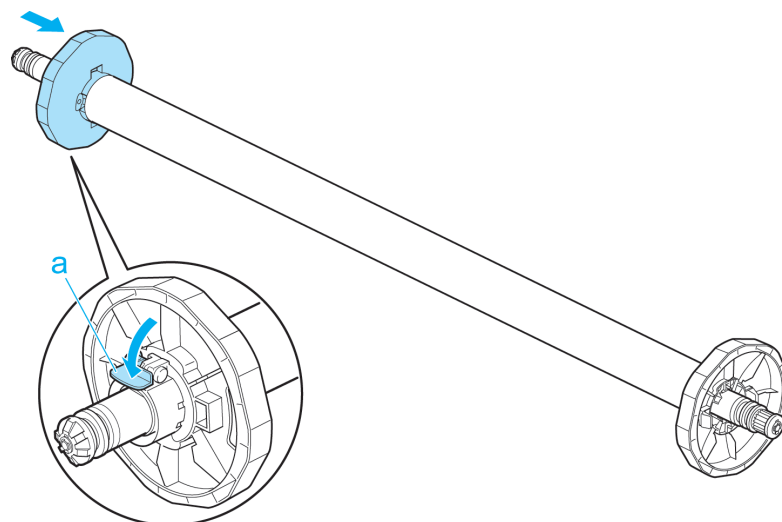
1. スタンド固定型バスケットを使用している場合は、スタンド固定型バスケットを収納します。(「スタンド固定型バスケットを収納する」参照) →P.612

重要

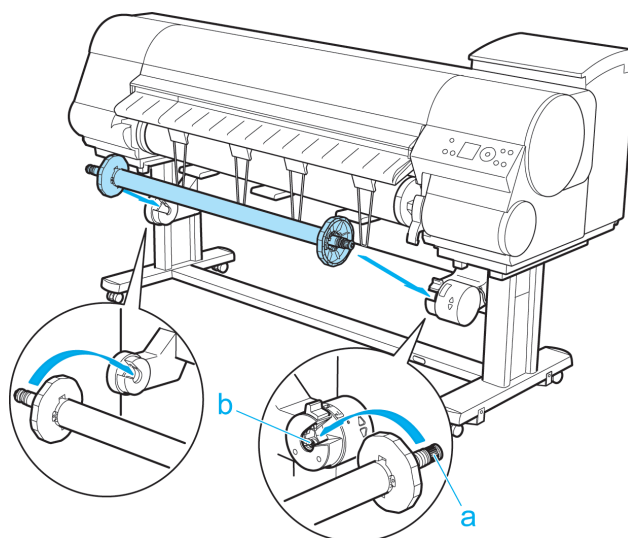
- バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサーをさえぎらないように置いてください。

2. 巻き取り用スプールの左側のフランジのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、フランジを取り外します。

3. 紙管が 3 インチのロール紙を巻き取る場合は、両方のフランジに 3 インチアダプタを差し込みます。

4. ロール紙を巻き取るための芯となる紙管を巻き取り用スプールに差し込みます。

重要

- 巻き取り用スプールにセットする紙管は、必ず巻き取るロール紙と同じサイズのものを使用してください。

5. 紙管が固定されるまでフランジを強く押し込み、レバー(a)を軸側に倒してロックします。

重要

- フランジを強く押し込んだ後、紙管にガタつきがないか確認してください。紙管を持って左右に動かし、フランジと紙管の間にすきまができる場合は、手順 2〜4 をやり直してください。

6. 巻き取り用スプールのギア(a)と巻き取り装置 R のギア(b)がかみ合うように、巻き取り用スプールを巻き取り装置にセットします。

重要

- 巻き取り用スプールを左右反対にセットしようとすると、巻き取り装置の電源はオンにできません。
- 巻き取り用スプールのギア(a)と巻き取り装置 R のギア(b)がかみ合っていないと、巻き取り装置の電源はオンにできません。

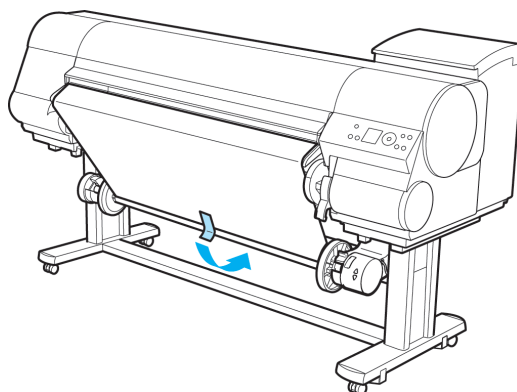
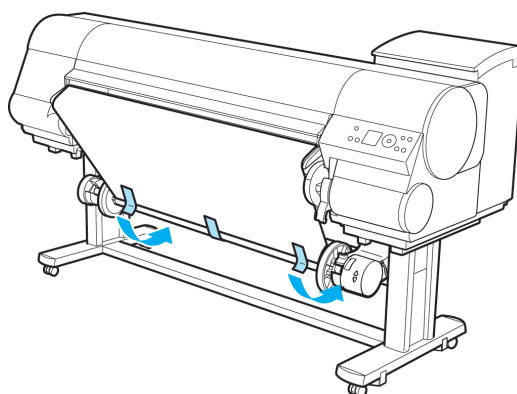
7. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して、[巻き取り装置]を選択し、[▶]キーを押します。

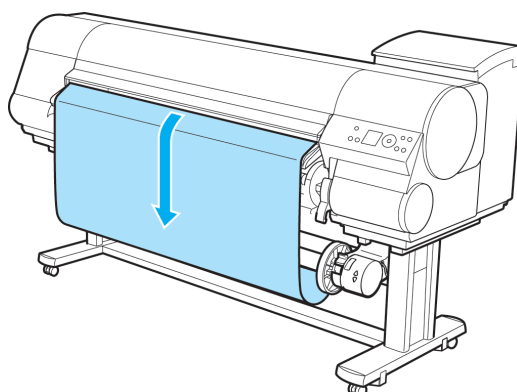
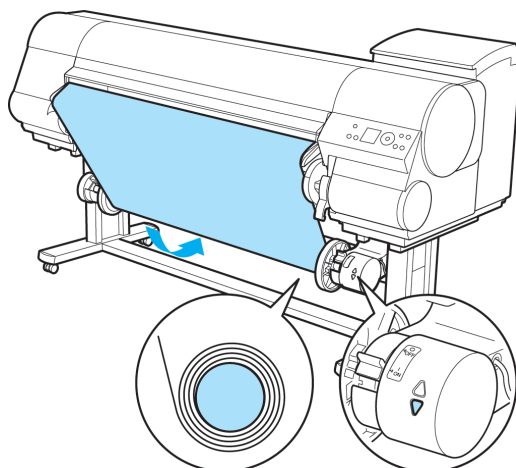
9. [▲]キー、[▼]キーを押して、[使用する]を選択し、[OK]キーを押します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して[巻き取りｵｰﾄﾌｨｰﾄﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。

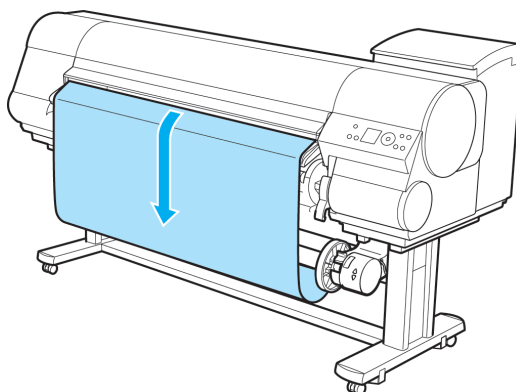
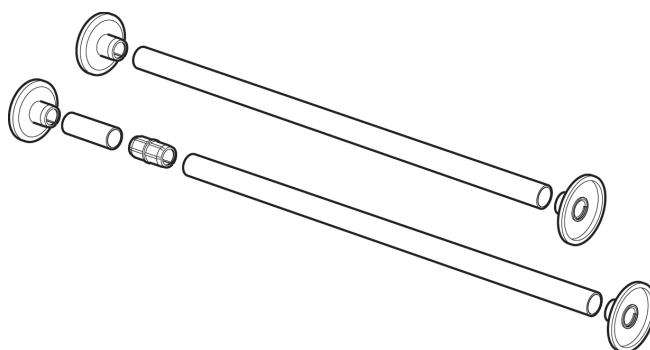
11. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙が巻き取り装置まで送られます。

12. ロール紙の先端中央を持って右端を巻き取り用スプールの紙管の右端に揃え、ロール紙を左右均等に突っ張らせた状態で、中央を紙管にテープで止めます。

13. ロール紙がたるまないように注意しながら、ロール紙の左右先端を紙管にテープで止めます。

メモ

- 厚い用紙を巻き取る場合は、粘着力の強いテープでしっかりと止めてください。

14. [オンライン]キーを押してオフラインモードにし、操作パネルの[▼]キーを押してロール紙をたるませます。

15. 巻き取り装置 R の巻き取りモードスイッチを手前に引いて電源をオンにし、巻き取り装置の[▼]キーを押して、たるみがほとんどなくなるまでロール紙を巻き取ります。

重要

- 紙管が 2 周以上回転するまで用紙を巻き取ってください。巻き取った量が 2 周に満たない場合は、手順 14 と手順 15 を繰り返してください。
- 巻き取り用スプールと紙管は無理に手で回さないでください。故障の原因になります。ロール紙を巻き取る場合、たるませる場合は、巻き取り装置の[▲]キー、[▼]キーを押してください。

16. 操作パネルの[▼]キーを押し続けて、ロール紙をたるませます。

17. ロール紙の幅と種類に合わせて、ウェイトロール、ウェイトジョイント、ウェイトフランジを組み合わせます。

使用可能なウェイトロールとウェイトフランジを、以下に示します。各ウェイトロールには色ラベルが付いています。

ウェイトロール

ロール紙の幅	使用するウェイトロール
B2 幅:515.0 mm(20.3 インチ)	[D]
B1 幅:728.0 mm(28.7 インチ)	[A]+[E]
B0 幅:1030.0 mm(40.6 インチ)	[A]+[G]
A1 幅:594.0 mm(23.4 インチ)	[E]
A0 幅:841.0 mm(33.1 インチ)	[B]+[E]
431.8 mm(17 インチ)	[C]
609.6 mm(24 インチ)	[E]
762.0 mm(30 インチ)	[B]+[D]
914.4 mm(36 インチ)	[G]
1066.8 mm(42 インチ)	[C]+[E]
1117.6 mm(44 インチ)	[D]+[E]

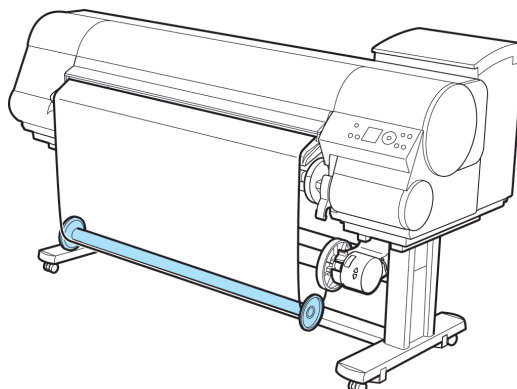
ウェイトフランジ

ロール紙の種類	使用するウェイトフランジ
フォト光沢紙、フォト半光沢紙、フォト光沢紙(厚口)、フォト半光沢(厚口)、ファインアート(フォト)、ファインアート(フォト厚口)、ファインアート(画材)、キャンバス(マット)、ファインアート(版画)、ファインアート(水彩)、プルーフ用紙 2、コート紙、厚口コート紙、特厚コート紙、色付きコート紙、合成紙(糊無し)、合成紙(糊付き)、バックプリントフィルム(BPF)、バックライトフィルム、防炎クロス、クロス、ポンジクロス	ウェイトフランジ 1(*1)
プレミアムマット紙	ウェイトフランジ 2

*1: 硬い用紙でウェイトフランジ 1 ではうまく巻き取れない場合や、巻き取った用紙の径が巻き取り用スプールのフランジより大きくなる場合は、ウェイトフランジ 2 を使用してください。ウェイトフランジ 2 を使用する場合は、[自動バンド調整]を実行し、用紙の送り量を調整してください。(「横スジを自動調整する(自動バンド調整)」参照) →P.627

メモ

- 上記の表の組み合わせ以外では使用できません。
- ウェイトフランジとウェイトジョイントは、ウェイトロールにしっかりと差し込んでください。
- 左右同じウェイトフランジを使用してください。ウェイトフランジ 1 どうし、ウェイトフランジ 2 どうしをウェイトロールの左右端に差し込みます。
- 使用しないウェイトロール、ウェイトジョイント、ウェイトフランジは、梱包箱に入れてスタンドの下に置いておくと便利です。

18. ウェイトロールをロール紙のたるみの上に静かに乗せます。

重要

- ウェイトロールは必ず乗せてください。巻き取り不良の原因になります。
- ウェイトロールを乗せるときに、紙管に触れて紙管に巻きついたロール紙の位置が左右にずれないように注意してください。

19. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。

これで、巻き取り装置の準備は完了です。ロール紙に印刷すると、自動で巻き取ることができます。

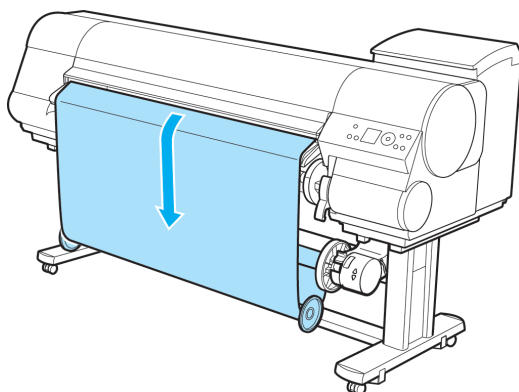
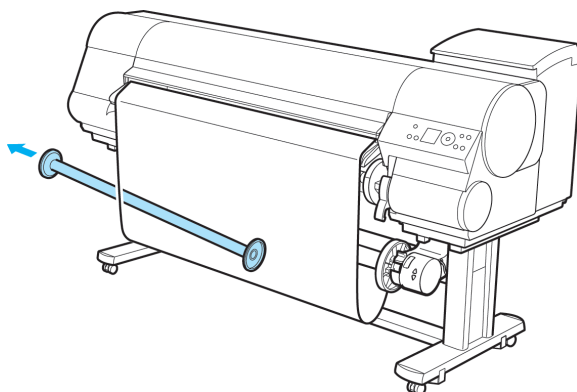
メモ

- 巻き取り装置が動作中は、ディスプレイに巻き取りモードアイコンが表示されます。

印刷した用紙を巻き取り装置から取り外す

印刷した用紙を巻き取り装置から取り外す手順を説明します。

1. [オンライン]キーを押して、オフラインモードにします。

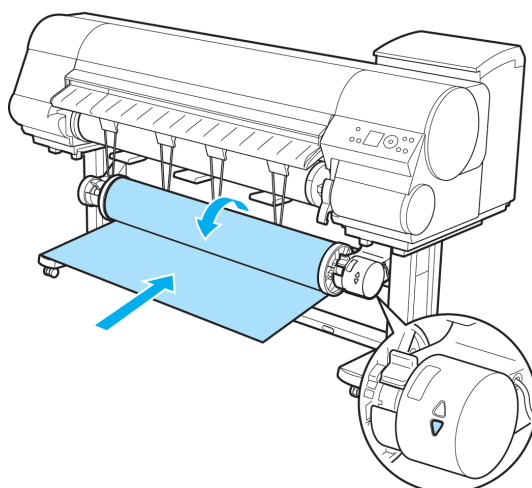
2. 操作パネルの[▼]キーを押し続けて、ロール紙を少し送ります。
巻き取った用紙を保護したい場合は、外周分以上の長さを送ってください。

3. ウェイトロールをロール紙から取り除きます。

4. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ｶｯﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、印刷した用紙の後端を持ちながら[OK]キーを押します。
ロール紙がカットされます。

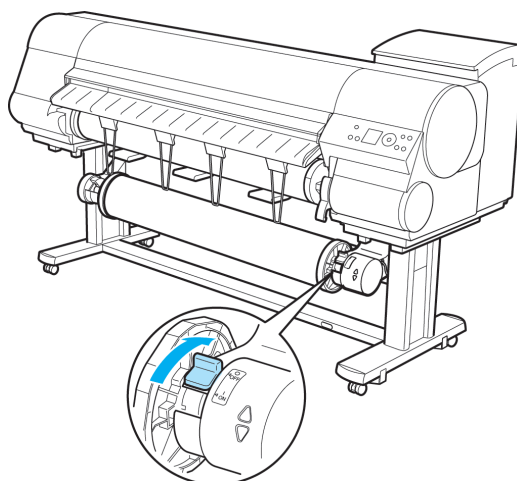
重要

- ロール紙をカットするときは、必ず印刷した用紙の後端を持ってください。持たずにカットすると、用紙が床に落ちて印刷面が汚れる場合があります。

7. 印刷した用紙の後端を持ちながら、巻き取り装置の[▼]キーを押して、印刷した用紙を巻き取ります。

巻き取った用紙は必要に応じてテープなどで止めてください。

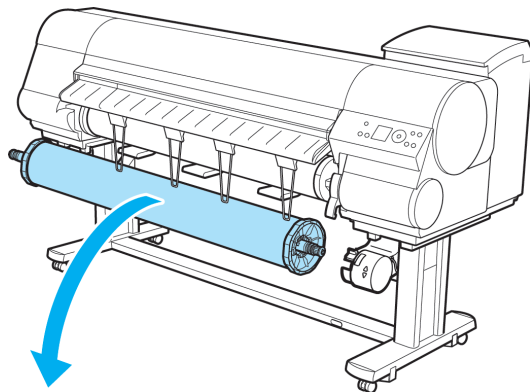
重要

- 印刷面を傷付けないように注意してください。

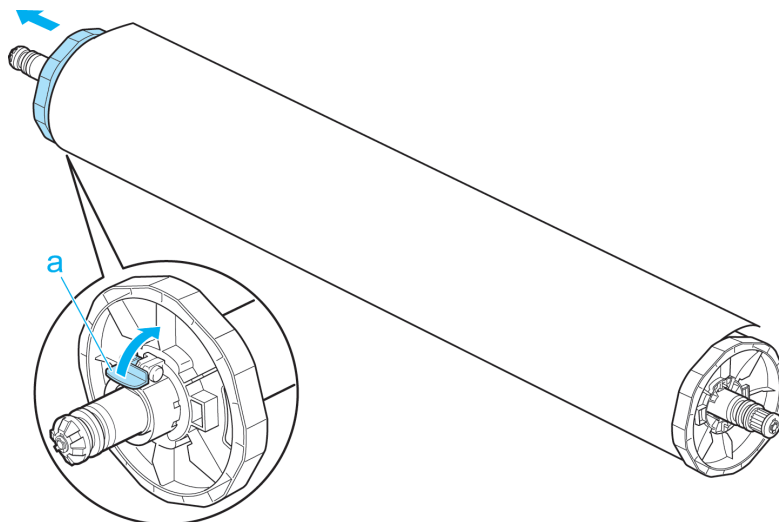
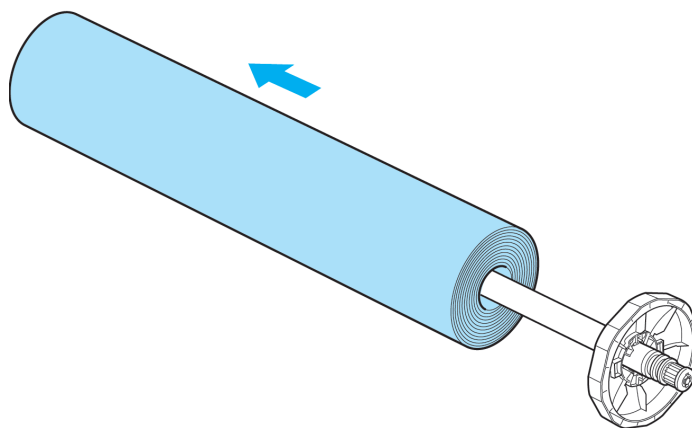
8. 巻き取り装置の巻き取りモードスイッチを奥側に倒して電源をオフにします。

9. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して、[巻き取り装置]を選択し、[▶]キーを押します。

11. [▲]キー、[▼]キーを押して、[使用しない]を選択し、[OK]キーを押します。

12. 巻き取り用スプールを巻き取り装置から取り外します。

重要

- 必ず巻き取り装置の電源をオフにしてから、巻き取り用スプールを取り外してください。オフにしないと、巻き取り装置の破損の原因になります。
- 巻き取り用スプールは、両端が同時に巻き取り装置から外れるように、取り外してください。

13. 巻き取り用スプールの左側のフランジのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、フランジを取り外します。

14. 巻き取った印刷物を紙管ごと巻き取り用スプールから取り外します。

メモ

- 巻き取り用スプールは､ロール紙を巻き取らないときでも､巻き取り装置にセットしておいてかまいません。

プリンタの仕様

仕様

重要

- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

プリンタ

電源		AC 100〜240 V(50/60 Hz)
消費電力	動作時	190W 以下
	スリープモード時	100〜120V:5W 以下 220〜240V:6W 以下
	電源オフ時	1W 以下(*1 →P.710)
稼動音	動作時	約 52dB(A)以下(6.8Bels 以下)
	待機時	約 35dB(A)以下
動作環境	温度	15〜30℃
	湿度	10〜80%(結露なきこと)
寸法(幅×奥行×高さ mm)	本体とスタンド(ロールホルダー、スタンド固定型バスケットを含む)	1893×975×1144 mm
質量	本体とスタンド(プリントヘッド、インクタンクを含まない)	約 138kg
設置面積(幅×奥行×高さ mm)	本体とスタンド(プリントヘッド、インクタンクを含まない)	2293×1675×1500 mm
規格適合		国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、GPN、RoHS、ECO Declaration、WEEE、米国大統領令

*1: 電源をオフにした状態でも、若干の電力が消費されます。電力消費量を 0 にする場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

印刷性能

印刷方式	バブルジェット方式
最高解像度	2400 dpi(横)(*1 →P.710) × 1200 dpi(縦)
プリントヘッド	PF-03
ノズル数	MBK:5120 ノズル　その他:各色 2560 ノズル

*1: 最小 1/2400 インチのドット(インク滴)間隔でプリントします。

インタフェース

USB2.0(*1 →P.711)	形状	本体内蔵

USB2.0（*1 →P.711）	モード	Full Speed（12 Mbit/sec）、High Speed（480 Mbit/sec）、バルク転送
	コネクタ形状	シリーズ B（4 ピン）
Ethernet	形状	本体内蔵
	規格	IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE 802.3u 100BASE-TX/Auto-Negotiation、IEEE 802.3x Full Duplex
	プロトコル	IPX/SPX（Netware 4.2（J）、5.1（J）、6.0（J））、SNMP、TCP/IP、AppleTalk、HTTP

*1: USB 2.0 High Speed モードで使用する場合は、以下の環境が必要です。

- コンピュータ:USB 2.0 High Speed モードに対応のコンピュータ
- OS:Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/WindowsVista /Windows Server 2008/Windows 7/Mac OS X 10.3.9 以降
- USB 2.0 ドライバ:Microsoft の USB 2.0 ドライバ（Windows Update または Service Pack より入手可能）
- USB ケーブル:USB 2.0 認証ケーブル

インク

インクタンク	MBK インクタンク（マットブラックインク）	顔料インク	PFI-303MBK（330ml）/ PFI-703MBK（700ml）
	BK インクタンク（ブラックインク）	染料インク	PFI-303BK（330ml）/ PFI-703BK（700ml）
	C インクタンク（シアンインク）	染料インク	PFI-303C（330ml）/PFI-703C（700ml）
	M インクタンク（マゼンタインク）	染料インク	PFI-303M（330ml）/PFI-703M（700ml）
	Y インクタンク（イエローインク）	染料インク	PFI-303Y（330ml）/PFI-703Y（700ml）
容量			各色 330ml または 700ml（*1 →P.711）

*1: プリンタに同梱のスターターインクタンクは各色 330ml

用紙

プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙の種類」参照）→P.570

用紙幅	ロール紙	254～1118 mm
	カット紙	203～1118 mm
1 ページの用紙長さ	ロール紙	203（*1 →P.712）～18000 mm
	カット紙	203～1600 mm
用紙厚さ	ロール紙	0.07～0.8 mm
	カット紙	0.07～0.8 mm

[用紙サイズ]	ロール紙(幅)	[44 インチロール(1117.6mm)]、[42 インチロール(1066.8mm)]、[JIS B0/B1 ロール(1030.0mm)]、[36 インチロール(914.4mm)]、[ISO A0/A1 ロール(841.0mm)]、[30 インチロール(762.0mm)]、[JIS B1/B2 ロール(728.0mm)]、[24 インチロール(609.6mm)]、[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]、[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]、[17 インチロール(431.8mm)]、[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]、[16 インチロール(406.4mm)]、[14 インチロール(355.6mm)]、[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]、[10 インチロール(254.0mm)]
	カット紙	[ISO A0]、[ISO A1]、[ISO A2]、[ISO A2 ノビ]、[ISO A3]、[ISO A3 ノビ]、[ISO A4]、[ISO B0]、[ISO B1]、[ISO B2]、[ISO B3]、[ISO B4]、[JIS B0]、[JIS B1]、[JIS B2]、[JIS B3]、[JIS B4]、[34"x44"(ANSI E)]、[28"x40"(ANSI F)]、[22"x34"(ANSI D)]、[17"x22"(ANSI C)]、[13"x19"(Super B)]、[11"x17"(Ledger)]、[Legal(8.5"x14")]、[Letter(8.5"x11")]、[36"x48"(ARCH E)]、[30"x42"(ARCH E1)]、[26"x38"(ARCH E2)]、[27"x39"(ARCH E3)]、[24"x36"(ARCH D)]、[18"x24"(ARCH C)]、[12"x18"(ARCH B)]、[9"x12"(ARCH A)]、[DIN C0]、[DIN C1]、[DIN C2]、[DIN C3]、[DIN C4]、[大全(20"x24")]、[全紙 (18"x22")]、[半切 (14"x17")]、[小半切(12"x16")]、[四切 (10"x12")]、[四切ワイド (10"x15")]、[六切(8"x10")]、[US フォト (16"x20")]、[ポスター 20"x30"]、[ポスター 30"x40"]、[ポスター 42"x60"]、[ポスター 44"x62"]、[13"x22"]、[ポスター 300x900mm]
印刷領域	通常サイズ	印刷可能領域 • ロール紙 上端:3 mm、下端:3 mm、左右端:3 mm • カット紙 上端:3 mm、下端:23 mm、左右端:3 mm 印刷推奨領域については、「印刷領域」を参照してください。 →P.713
	フチなしサイズ(*2 →P.712)	印刷可能領域(ロール紙) 上端:0 mm、下端:0 mm、左右端:0 mm
フチなし対応用紙幅		[42 インチロール(1066.8mm)]、[JIS B0/B1 ロール(1030.0mm)]、[36 インチロール(914.4mm)]、[ISO A0/A1 ロール(841.0mm)]、[24 インチロール(609.6mm)]、[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]、[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]、[17 インチロール(431.8mm)]、[14 インチロール(355.6mm)]、[10 インチロール(254.0mm)]

*1: 給紙するときは、約 1000 mm 以上の長さのロール紙を用いてください。

*2: 用紙の種類やサイズによって、印刷できない場合があります。

ハードディスク

ハードディスク容量		160GB(印刷ジョブ保存可能容量:92GB)
保存可能な印刷ジョブ数	共通ボックス	最大 100 個
	個人ボックス	最大 100 個

オプション

巻き取り装置	TU-06
キャスター付バスケット	BU-03
ロールホルダーセット	RH2-44

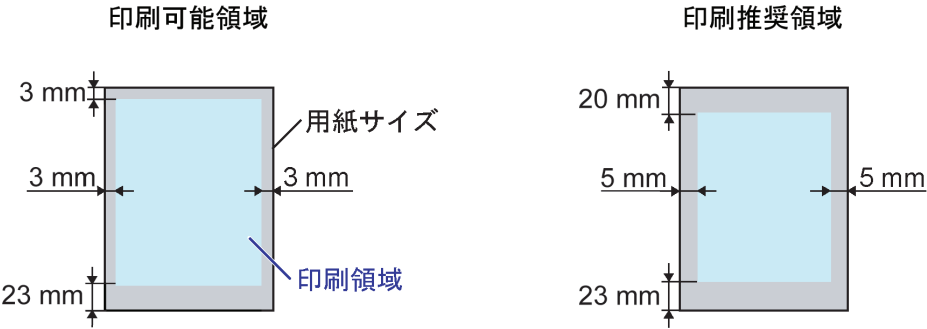
印刷領域

プリンタは、プリンタにセットされている用紙のサイズに対して、印刷動作のための余白を必要とします。フチなし印刷の場合を除き、用紙のサイズから余白を除いたサイズが実際の印刷領域になります。

メモ

- 印刷可能領域:印刷できる範囲です。
- ロール紙でフチなし印刷した場合は、余白は 0 mm になります。
- 印刷推奨領域:この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズの用紙サイズを使用して印刷します。(「オーバーサイズの用紙サイズに印刷する」参照) →P.81

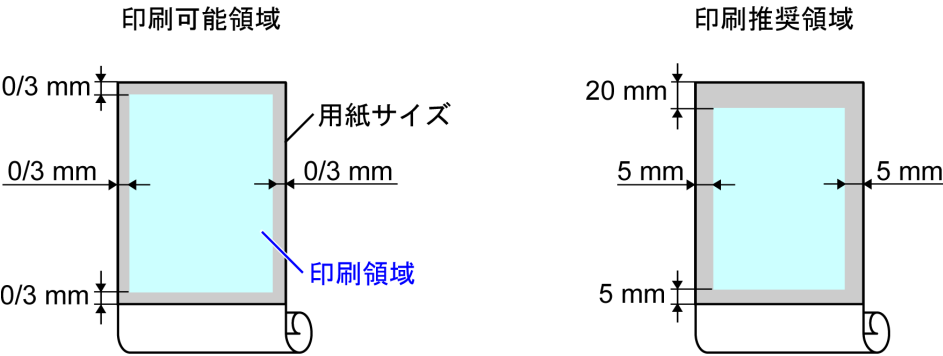
	印刷可能領域での余白			印刷推奨領域での余白		
	上端	下端	左右端	上端	下端	左右端
カット紙	3 mm	23 mm	3 mm	20 mm	23 mm	5 mm
ロール紙	0/3 mm	0/3 mm	0/3 mm	20 mm	5 mm	5 mm

カット紙

- 印刷可能領域

上端 3 mm、下端 23 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。

- 印刷推奨領域

上端 20 mm、下端 23 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

ロール紙

- 印刷可能領域

上下端 3 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。フチなし印刷時には上下左右端の余白は 0 mm になります。フチなし印刷可能な用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570

- 印刷推奨領域

上端 20 mm、下端 5 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

ネットワークの設定

ネットワークの設定

ネットワーク環境について

必要なシステム環境について

使用するネットワークに応じて、以下のシステム環境が必要です。

- TCP/IP ネットワークで印刷する場合
  - 対応している OS
    - Windows 2000（Professional/Server）
    - Windows XP（Home Edition/Professional）
    - Windows Server 2003（Standard Edition）
    - Windows Vista（Home Basic/Business/Ultimate）
    - Windows Server 2008（Standard Edition/Enterprise Edition）
    - Windows 7
    - Windows XP Professional x64 Edition
    - Windows Server 2003 x64 Edition
    - Windows Vista x64
    - Windows Server 2008 x64
    - Windows 7 x64
    - Mac OS X 10.2.8 以降
    - Unix（Solaris 9）
    - Unix（Red Hat 9）
  - 対応しているコンピュータ
    - 上記 OS が動作するコンピュータ

メモ

- imagePROGRAF プリンタドライバは、Mac OS X 10.3.9 以降に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Unix には対応していません。

- AppleTalk ネットワークで印刷する場合
  - 対応している OS
    - Mac OS X 10.2.8～10.4
  - 対応しているコンピュータ

- 上記 OS が動作するコンピュータ

メモ
- LocalTalk ネットワークには対応していません。
- フェーズ 2 の EtherTalk に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

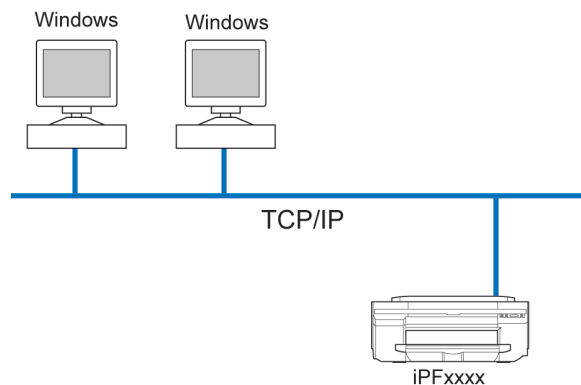
- NetWare ネットワークで印刷する場合
  - 対応しているサーバー
    - Novell NetWare Version 4.2/5.1/6.0
  - 対応しているクライアント
    - Windows 2000（Professional/Server）
    - Windows XP（Professional）
  - 対応しているコンピュータ
    - 上記 OS が動作するコンピュータ

メモ
- NetWare Version 6.0 の iPrint はサポートしていません。

ネットワーク環境について

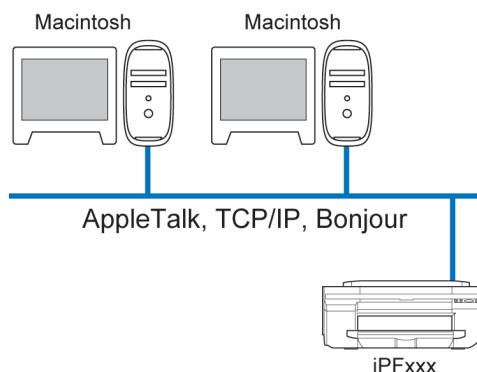
プリンタを接続するネットワーク環境を確認し、必要な作業を行ってください。

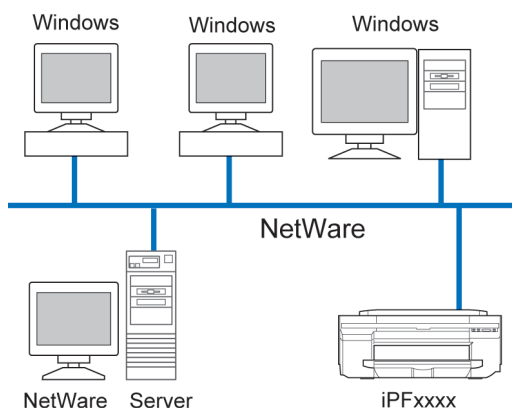
- Windows ネットワークの例

Windows ネットワークでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

メモ
- このプリンタでは、NetBIOS プロトコルは使用できません。

- Macintosh ネットワークの例

Macintosh ネットワークでは、AppleTalk（EtherTalk）、TCP/IP、Bonjour（Zeroconf）機能が使用できます。

メモ

- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークの例

メモ

- NetWare サーバーがあるネットワーク環境でも、TCP/IP プロトコルや AppleTalk プロトコルを併用することは可能です。その場合は、使用する各プロトコルの設定を行ってください。

プリンタに IP アドレスを設定する

プリンタを TCP/IP ネットワークで使用するためには、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。セットアップガイドの手順に従ってプリンタドライバをインストールすると、プリンタの IP アドレスを同時に設定することができます。
一度設定した IP アドレスを変更する場合や、プリンタの接続形態をネットワーク接続に変更する場合は、imagePROGRAF Device Setup Utility、プリンタの操作パネル、ARP/PING コマンドのいずれかを使用して IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する →P.376（Windows）
- プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する →P.718
- ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する →P.719

重要

- DHCP サーバの機能を利用して、自動的にプリンタに IP アドレスを割り当てる場合、プリンタの電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していた IP アドレスとは異なる IP アドレスが割り当てられたためです。DHCP サーバの機能を使用する場合には、ネットワーク管理者にお問合せの上、次のいずれかの設定を行ってください。
  - DNS 動的更新機能を設定する
    リモート UI で[DNS の動的更新を行う]をオンにしてください。(「プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照) →P.721
  - プリンタ起動時に常に同じ IP アドレスを割り当てるように設定する

メモ

- TCP/IP 以外のネットワークでプリンタを使用する場合も、プリンタの IP アドレスを設定しておくことをお勧めします。IP アドレスを設定しておくと、リモート UI を使用し、Web ブラウザからネットワークの設定やプリンタの管理が行えます。
  リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。→P.720

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する

ここでは、プリンタの操作パネルでプリンタの IP アドレスを設定する手順を説明します。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[▶]キーを押します。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[▶]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[IP 設定]を選択し、[▶]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[IP ｱﾄﾞﾚｽ]を選択し、[▶]キーを押します。
6. [◀]キー、[▶]キーを押して入力フィールドを選択し、数値を入力できる状態にします。
7. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ

- [▲]キーを押すと数値は 1 つずつ増えます。ただし、255 の次は 0 になります。
- [▼]キーを押すと数値は 1 つずつ減ります。ただし、0 の次は 255 になります。
- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減することができます。

8. 手順 6～7 を繰り返して、プリンタに割り当てる IP アドレスを入力します。

9. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 9 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイもプリンタの操作パネルで設定できます。

メモ

- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。
- 設定を中止する場合は、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けてください。

ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する

ここでは、ARP/PING コマンドを使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドを使用する場合、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスは、プリンタの操作パネルで確認できます。

1. プリンタの MAC アドレスを調べます。
MAC アドレスは、以下の手順でプリンタの操作パネルで確認できます。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[MAC ｱﾄﾞﾚｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

メモ

- Mac アドレスはステータスプリントを出力して調べることもできます。
（「ステータスプリントについて」参照） →P.683

2. Windows の場合はコマンドプロンプト、Mac OS X の場合はターミナルを起動します。

3. 以下のコマンドを実行し、IP アドレスと MAC アドレスの対応を管理する ARP テーブルにエントリを追加します。
arp -s [IP アドレス] [確認したプリンタの MAC アドレス]
入力例: arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00-00-85-xx-xx-xx

メモ

- Mac OS X のターミナルの場合、arp コマンドは arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00:00:85:xx:xx:xx のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

4. 以下のコマンドを実行し、IP アドレスをプリンタに送信し、設定します。
ping [ARP コマンドで指定した IP アドレス] -l 479
入力例: ping xxx.xxx.xxx.xxx -l 479

メモ

- [-l] の l はアルファベットのエルです。
- Mac OS X のターミナルの場合、ping コマンドは ping -s 479 xxx.xxx.xxx.xxx のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

メモ

- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、0.0.0.0 に設定されます。リモート UI を使用して、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイを、ご使用のネットワークの設定に合わせて変更してください。
リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。→P.720

リモート UI を使う

Web ブラウザでプリンタの IP アドレスを指定すると、リモート UI のページが表示されます。そのページからリモート UI にログオンし、プリンタの状態、印刷ジョブの状況、ネットワーク構成の設定や確認ができます。
リモート UI を表示するには Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

ネットワークに関連する項目の設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする →P.721
- プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする →P.736
- プリンタに NetWare ネットワークの設定をする →P.728
- プリンタの情報を設定する →P.722

メモ

- リモート UI には、インクの残量やエラーなどのプリンタの状態表示、印刷ジョブの中止など、他にも多くの機能があります。
- 工場出荷時の状態では、英語のページが表示されます。表示言語を切り替えるには[Language]の一覧から言語を選択してから、管理者モードにログオンしてください。

重要

- Web ブラウザは、Netscape Navigator 6.0 以降、Internet Explorer 5.01 以降、または Firefox 1.5 以降を使用してください。Mac OS X の場合は、Safari 1.32 以降または 2.03 以降にも対応しています。
- プロキシサーバー経由で接続することはできません。プロキシサーバーをご使用の環境では、Web ブラウザのプロキシサーバーの設定で、[例外](プロキシを使用しないアドレス)にプリンタの IP アドレスを追加してください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)
- Web ブラウザで、JavaScript とクッキー(Cookie)が使用できるように設定してください。
- プリンタの IP アドレスではなく、名前を指定してリモート UI を起動する場合は、DNS の設定が正しく行われていることを確認してください。

プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする

TCP/IP ネットワークは、以下の手順で設定します。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [TCP/IP]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IP プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. TCP/IP の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IP の設定項目

項目名	内容	初期値
[DHCP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、DHCP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[BOOTP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、BOOTP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[RARP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、RARP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[DNS の動的更新を行う]	オンにすると、DNS サーバーへの登録を自動的に更新できます。	オフ
[Zeroconf 機能を使用する]	オンにすると、Bonjour 機能を使用できます。	オン
[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[サブネットマスク]	プリンタのサブネットマスクを設定できます。	0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス]	プリンタのデフォルトゲートウェイを設定できます。	0.0.0.0
[LPD 印刷]	オンにすると、LPD 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP 印刷]	オンにすると、IPP 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP プリンタの URI]	IPP 印刷に使用するプリンタの URI(1〜252 文字)を設定できます。 Windows 標準のポートを使用して IPP 印刷を行う場合は、[http://<IP アドレス>/IPP-URI]の全文字数が 255 バイト以下になるように設定してください。	printer
[RAW 印刷]	オンにすると、RAW 印刷機能を使用できます。	オン
[Raw モード双方向通信機能]	オンにすると、Raw モードでの双方向通信機能を使用できます。	オフ
[FTP 印刷]	オンにすると、FTP 印刷機能を使用できます。	オン
[SMTP サーバアドレス]	SMTP サーバーの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[プライマリ DNS サーバアドレス]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0

項目名	内容	初期値
[セカンダリ DNS サーバアドレス]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-17FBxxxxxxxxxxxx
[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-][.]、最後に[-][.]は使用できません。	(空欄)
[Multicast DNS サービス名]	プリンタの Multicast DNS サービス名を設定できます。(1〜63 文字) この名前が Bonjour 機能でのプリンタ名として表示されます。	Canon iPFxxxx(xxxxxx)

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、ネットワーク内にそのプロトコルのサーバーが起動されている必要があります。
- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、いずれかのプロトコルで取得した IP アドレスが優先して使用されます。IP アドレスが取得できない場合は、[IP アドレス]に設定されているアドレスが使用されます。
- DHCP、BOOTP、または RARP が使用できるかどうかのチェックには 1〜2 分程度かかります。使用しない項目のチェックボックスはオフにしておくことをお勧めします。
- DNS サーバーを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ホスト名]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバーの IP アドレス、DNS ホスト名、DNS ドメイン名を入力します。

プリンタの情報を設定する

デバイス情報、セキュリティ、および電子メール通知(*1)は、以下の手順で設定します。
*1:[電子メール通知]は[ステータスモニタ]からも設定できます。詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[情報]をクリックし、[情報]ページを表示します。

5. 設定する情報に応じて、[デバイス情報]、[セキュリティ]、または[電子メール通知]のグループの右上にある[変更]をクリックし、それぞれの設定ページを表示します。

6. デバイス情報の設定項目、セキュリティの設定項目、または電子メール通知の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

デバイス情報の設定項目

項目名	内容	初期値
[デバイス名]	デバイスの名前を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[設置場所]	デバイスの設置場所を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者名]	デバイス管理者の名前を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者連絡先]	デバイス管理者の連絡先を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者コメント]	デバイス管理者のコメントを設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)

セキュリティの設定項目

項目名	内容	初期値
[現在のパスワード]	現在設定されている、デバイスのパスワードを入力します。 (0〜14 文字)	(空欄)
[新しいパスワード]	新しいパスワードを入力します。 (0〜14 文字)	(空欄)
[確認入力]	確認のために、新しいパスワードを入力します。 (0〜14 文字)	(空欄)

デバイスのパスワード以外にも、IP アドレスによる SNMP・TCP の使用制限、MAC アドレスによるアクセスの制限、IPP の認証設定、FTP 認証設定をする事が出来ます。

電子メール通知の設定項目

項目名		内容	初期値
[再送回数]		メールの送信に失敗したときの最大再送回数を設定できます。 (0〜5)	0
[再送間隔]		メールの送信に失敗したときの再送までの時間を設定できます。 (1〜60 分)	5
電子メール通知(条件 1)(*1)	[To アドレス]	送信するメールの宛先を設定できます。 (0〜128 文字) 128 文字の範囲内であれば、カンマで区切って複数の宛先を設定できます。	(空欄)
	[Reply-to アドレス]	送信するメールの返信アドレスを設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
	[通知のタイミング]	メールを送信する条件を、以下のチェックボックスのオン/オフで設定できます。 [ジョブ終了時] [警告発生時] [エラー発生時]	すべてオフ
	[署名]	メールの署名を設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
電子メール通知(条件 2)(*1)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)

*1:電子メールを通知する条件は、宛先、返信アドレス、通知タイミング、および署名の組み合わせを、2 組まで設定することができます。

[電子メール通知]を有効にするためには[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]、[SMTP サーバアドレス]が設定されている必要があります。

7. [OK]をクリックし、設定を有効にします。

通信方式を手動で設定する

ここでは、通信方式を手動で設定する手順を説明します。

1. [メニュー]キーを押して、[ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動検出]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾌ]を選択し、[OK]キーを押します。
   [Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[通信方式]を選択し、[▶]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して通信方式の種類を選択し、[OK]キーを押します。
   [Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet 種類]を選択し、[▶]キーを押します。

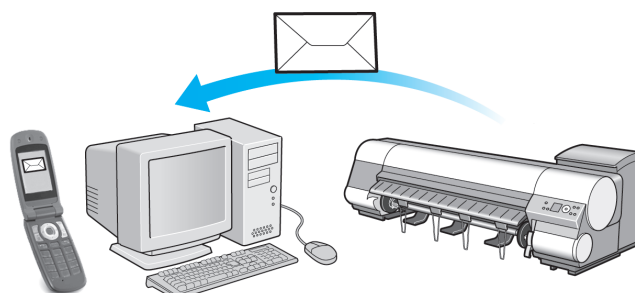
9. [▲]キー、[▼]キーを押して Ethernet の種類を選択し、[OK]キーを押します。
   [Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｽﾊﾟﾆﾝｸﾞﾂﾘｰ]を選択し、[▶]キーを押します。

11. [▲]キー、[▼]キーを押してスパニングツリーへの対応を選択し、[OK]キーを押します。
    [Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

12. [オンライン]キーを押します。
確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。
プリンタが再起動し、設定が適用されます。

印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する

このプリンタには、プリンタの状態を電子メールで通知する機能があります。プリンタから離れていても、プリンタからの電子メールを携帯電話や自席のコンピュータで受信し、印刷の終了やエラーの発生を知ることができます。

電子メールの宛先や電子メールを送信するタイミングは、リモート UI 機能または imagePROGRAF Status Monitor(Windows)を使用して設定します。印刷ジョブの終了やエラーの発生以外に、サービスコールや消耗品の交換が必要な場合に電子メールを送信するように設定することもできます。詳しい操作方法については「プリンタの情報を設定する」を参照してください。 →P.722

メモ

- imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の電子メール通知機能については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。
- メールサーバ上での認証には、imagePROGRAF Status Monitor のみ対応しています。

ネットワークの設定を初期化する

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻すには、リモート UI を使用し、以下の手順で設定を初期化します。

重要

- ネットワークの設定を初期化すると、プリンタの IP アドレスも工場出荷時の値に戻るため、リモート UI のページは Web ブラウザに表示されなくなります。
- IP アドレスの設定をやり直す方法については、「プリンタに IP アドレスを設定する」を参照してください。 →P.717
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.720

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [ネットワークインタフェース]グループの右下にある[プリンタの初期化]をクリックします。

6. メッセージを確認して[OK]をクリックし、ネットワークの設定を初期化します。

メモ

- ネットワークの設定の初期化は、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルから行うこともできます。
- 操作パネルからネットワークの設定を初期化する場合は、[メニュー]キーを押して[メインメニュー]を表示し、[▲]キー、[▼]キー、[▶]キーで[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]→[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]→[設定初期化]→[する]の順に選択し、[OK]キーを押します。

ネットワークの設定 (Windows)

プリンタドライバの接続先を設定する

ここでは、プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などに、プリンタドライバの接続先を設定する手順を説明します。
この手順は、Windows 標準の TCP/IP ポート([Standard TCP/IP Port])を使用し、LPR または Raw プロトコルを使用する場合の設定方法です。

重要
- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
  - プリンタに IP アドレスを設定する →P.717

1. [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウを開きます。
2. プリンタのアイコンを右クリックして[プロパティ]を選択し、プリンタのプロパティのウィンドウを開きます。
3. [ポート]タブをクリックし、[ポート]シートを表示します。
4. [ポートの追加]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを開きます。
5. [利用可能なポートの種類]の一覧から[Standard TCP/IP Port]を選択します。
6. [新しいポート]をクリックします。
   ウィザードが起動し、[標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの開始]ウィンドウが表示されます。
7. [次へ]をクリックします。
8. [プリンタ名または IP アドレス]に、プリンタの IP アドレスを入力します。なお、DNS が設定されている場合は、DNS ドメイン名での入力もできます。
9. 画面の指示に従ってプリンタポートを追加します。
10. [閉じる]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。
11. [印刷するポート]に追加したポートが表示され、チェックボックスがオンになっていることを確認します。
12. [閉じる]をクリックし、プリンタのプロパティのウィンドウを閉じます。

プリンタに NetWare ネットワークの設定をする

NetWare ネットワークは、以下の手順で設定します。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [NetWare]グループの右上にある[変更]をクリックし、[NetWare プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. NetWare の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

NetWare の設定項目

項目名		内容	初期値
[フレームタイプ]		NetWare で使用するフレームタイプを選択できます。	無効
[NCP バーストモード]		オンにすると、NCP バーストモードを使用できます。キューサーバーモードで印刷する場合に、データを高速で転送するモードです。通常はオンのまま使用してください。	オン
[プリントサービス]		使用するプリントサービスを選択できます。 • [Bindery PServer] • [RPrinter] • [NDS PServer] • [NPrinter]	NDS PServer
[パケットサイン]		[サーバが要求した場合に使用する]を選択すると、パケットサインを使用できます。	[サーバが要求した場合に使用する]
[Bindery PServer]	[ファイルサーバ名]	NetWare プリントサーバーがあるファイルサーバー名を設定できます。 (0～47 文字)	—
	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0～47 文字)	—
	[プリントサーバパスワード]	プリントサーバーのパスワードを設定できます。 (0～20 文字)	—
	[ポーリング間隔]	ジョブを確認する間隔を設定できます。 (1～15 秒)	5
[RPrinter]	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0～47 文字)	—
	[プリンタ番号]	NetWare プリントサーバーに接続しているプリンタの番号を設定できます。 (0～15)	0

項目名		内容	初期値
[NDS PServer]	[ツリー名]	NetWare プリントサーバーがある NDS ツリー名を設定できます。 (0〜32 文字)	—
	[コンテキスト名]	NetWare プリントサーバーがあるコンテキスト名を設定できます。 (0〜255 文字)	—
	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0〜64 文字)	—
	[プリントサーバパスワード]	プリントサーバーのパスワードを設定できます。 (0〜20 文字)	—
	[ポーリング間隔]	ジョブを確認する間隔を設定できます。 (1〜255 秒)	5
[NPrinter]	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0〜47 文字)	—
	[プリンタ番号]	NetWare プリントサーバーに接続しているプリンタの番号を設定できます。 (0〜254)	0

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

プリンタのフレームタイプを設定する

ご使用の NetWare 環境に合わせて Ethernet のフレームタイプを設定し、プリンタとコンピュータが通信できるようにします。
プリンタのフレームタイプは、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルを使用し、以下の手順で設定します。

メモ

- プリンタに IP アドレスが設定されている場合は、リモート UI を使用してプリンタのフレームタイプを設定することができます。

重要

- フレームタイプを設定する前に、プリンタの電源がオンになっていること、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。
- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.375

imagePROGRAF Device Setup Utility でフレームタイプを設定する

1. imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。
2. 一覧に表示されるプリンタの名前から、設定するプリンタを選択します。
3. [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。
4. [NetWare フレームタイプ]の一覧からフレームタイプを選択します。
5. [TCP/IP]の[フレームタイプ]の一覧から[ETHERNET II]をクリックします。

6. [IP アドレス]でプリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[サブネットマスク]でサブネットマスク、[ゲートウェイアドレス]でデフォルトゲートウェイを入力します。

重要

- リモート UI を使用して NetWare プロトコルを設定するため、ここで IP アドレスを設定しておく必要があります。

7. [設定]をクリックします。

8. [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

9. imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

プリンタの操作パネルでフレームタイプを設定する

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ]を選択し、[▶]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して使用するフレームタイプを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻｰﾋﾞｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

9. [▲]キー、[▼]キーを押して使用するプリントサービスを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

10. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 10 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

メモ

- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。
- 設定を中止する場合は、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けてください。

NetWare プリントサービスを設定する

NetWare ネットワークを使用して印刷するには、プリントサーバーやプリントキューなどのプリントサービスを設定する必要があります。プリントサービスの設定は、以下のいずれかのソフトウェアを使用してご使用のコンピュータから設定できます。

- NWADMIN
- PCONSOLE
(NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア)

重要

- NWADMIN からプリントサービスを設定するには、クライアントソフトとして Novell Client (Novell 社製の NetWare クライアント)がインストールされている必要があります。
- Windows Vista では NetWare ネットワークは使用できません。

ここでは、NetWare プリントサービスを設定する手順を説明します。ご使用の環境によっては、設定手順が異なることがあります。

プリントサービスの種類を選択する

プリントサービスを設定する前に、以下の説明を参考に、使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ

- NetWare 5.1/6.0 では、プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。NDPS の設定方法については、NetWare のマニュアルを参照してください。

- NDS(ノベルディレクトリサービス)とバインダリ
NDS とバインダリの両方に対応しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてモードを選択してください。
- キューサーバーモードとリモートプリンタモード
キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方に対応しています。
    - キューサーバーモード

キューサーバーモードで使用する場合、プリントサーバーの機能をすべて備えているため、プリントサーバー用のハードウェアやソフトウェアを用意する必要はありません。NDS のキューサーバーモード(NDS PServer)では、NDS のプリントサーバーを使用して印刷します。バインダリのキューサーバーモード(Bindery PServer)では、バインダリのプリントサーバーを使用して印刷します。また、キューサーバーモードでは、使用するネットワークインタフェースごとに NetWare ユーザーライセンスが必要です。

- リモートプリンタモード
  リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバーによって制御されます。そのため、NetWare プリントサーバーが必要です。NDS のリモートプリンタモード(NPrinter)では NDS のプリントサーバーを使用して、バインダリのリモートプリンタモード(RPrinter)ではバインダリのプリントサーバーを使用して印刷します。

NWADMIN、PCONSOLE でプリントサーバーを設定する

NDS のキューサーバーモード/リモートプリンタモードで使用する場合は、NWADMIN でプリントサーバーを設定します。

1. NetWare に Admin または Admin と同等の権限を持つユーザーとしてログインし、NWADMIN を起動します。

2. クイックセットアップを実行します。

   1. [ツール]メニューから[プリントサービスクイックセットアップ]を選択します。
   2. [プリントサーバ名]に任意の名前の入力します。既存のプリントサーバーを使用する場合は、右横のボタンをクリックし、一覧から選択します。
   3. プリンタの[名前]に任意の名前を入力します。
   4. キューサーバーモードで使用する場合は、[タイプ]で[その他/不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、[タイプ]で[パラレル]を選択して[通信]をクリックし、[ポート]を[LPT1]に、[接続タイプ]を[手動ロード]に設定します。
   5. プリントキューの[名前]に任意の名前を入力します。
   6. [ボリューム]に、プリントキューを作成するボリュームオブジェクト(ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト)を入力します。右横のボタンをクリックすると一覧から選択できます。
   7. 他の項目を設定し、[OK]をクリックします。

メモ

- プリントサーバーの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。
- クイックセットアップを実行すると、プリンタ番号 0 にプリンタが割り当てられます。キューサーバーモードで使用する場合は、プリンタ番号を 0 から変更しないでください。

3. パスワードを設定します。

   1. 手順 2 で作成したプリントサーバーを選択し、右クリックして[詳細]を選択します。
   2. [パスワード変更]をクリックしてパスワード入力ダイアログボックスを開き、パスワードを入力します。
   3. [OK]をクリックし、パスワード入力ダイアログボックスを閉じます。
   4. [OK]または[キャンセル]をクリックし、詳細ダイアログボックスを閉じます。

4. リモートプリンタモードで使用する場合は、プリントサーバーを起動します。
例えば、NetWare ファイルサーバーをプリントサーバーとして使用する場合は、ファイルサーバーで[LOADPSERVER.NLM]を入力して< Enter >キーを押します。

メモ
- キューサーバーモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

バインダリのキューサーバーモードまたはリモートプリンタモードで使用する場合は、PCONSOLE でプリントサーバーを設定します。

1. NetWare に Supervisor としてログインし、PCONSOLE を起動します。

2. バインダリモードに変更します。

3. プリントサーバーを作成していない場合は、プリントサーバーを作成します。
   1. [利用可能な項目]から[クイックセットアップ]を選択し、< Enter >キーを押します。
   2. 作成するプリントサーバーの名前、新しいプリンタ、およびキューの名前を入力します。

メモ
- プリントサーバーの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。

4. プリンタのタイプを設定します。
   1. キューサーバーモードで使用するときは、[タイプ]で[その他／不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択し、[位置]を[手動ロード]に設定します。
   2. < Esc >キーを押します。
   3. 確認のダイアログボックスで、[Yes]を選択し、< Enter >キーを押します。

5. パスワードを設定します。
   1. [利用可能な項目]から[プリントサーバ]を選択し、< Enter >キーを押します。
   2. 手順 2 で作成したプリントサーバーを選択し、< Enter >キーを押します。
   3. [パスワード]を選択して< Enter >キーを押し、パスワードを入力する画面を開きます。
   4. パスワードを入力し、< Enter >キーを押します。

6. < Esc >キーを数回押して PCONSOLE の終了を確認するダイアログボックスを表示します。

7. [Yes]を選択し、PCONSOLE を終了します。

NetWare プロトコルを設定する

フレームタイプ以外の NetWare プロトコルは、リモート UI を使用し、以下の手順で設定します。

メモ
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.720

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [NetWare]グループの右上にある[変更]をクリックし、[NetWare プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. [フレームタイプ]で、NetWare ネットワークで使用しているフレームタイプが表示されていることを確認します。

7. バーストモードを使用する場合は、[NCP バーストモード]で[オン]をクリックします。

メモ
- バーストモードは、キューサーバーモードで印刷する場合にデータを高速で転送するモードです。通常は、[オン]を選択してください。

8. [プリントサービス]で、使用するプリントサービスをクリックします。

メモ
- ここで選択したプリントサービスが有効になります。同時に複数のプリントサービスを有効にすることはできません。

9. パケットサインを使用する場合は、[パケットサイン]で[サーバが要求した場合に使用する]をクリックします。

10. 選択したサービスに応じて、以下の設定を行います。
   - Bindery PServer を選択した場合:キューサーバーモード(バインダリのプリントサーバーを使用)
     1. [ファイルサーバ名]にファイルサーバー名を入力します。
     2. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で作成したプリントサーバー名を入力します。
     3. [プリントサーバパスワード]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で作成したプリントサーバーパスワードを入力します。
     4. [ポーリング間隔]に、プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。
   - RPrinter を選択した場合:リモートプリンタモード(バインダリのプリントサーバーを使用)
     1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で作成したプリントサーバーのアドバタイジング名を入力します。
     2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。
   - NDS PServer を選択した場合:キューサーバーモード(NDS のプリントサーバーを使用)
     1. [ツリー名]、[コンテキスト名]にプリントサーバーがあるツリー名、コンテキスト名を入力します。
     2. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で作成したプリントサーバー名を入力します。

3. [プリントサーバパスワード]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で作成したプリントサーバーパスワードを入力します。

4. [ポーリング間隔]に、プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

- NPrinter を選択した場合:リモートプリンタモード(NDS のプリントサーバーを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で作成したプリントサーバーのアドバタイジング名を入力します。アドバタイジング名は、通常プリントサーバー名と同じ名前に設定されています。

2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.731 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

11. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

NetWare プロトコルの設定項目の一覧については、「プリンタに NetWare ネットワークの設定をする」を参照してください。 →P.728

NetWare ネットワークを設定する

NetWare ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順でネットワーク環境を設定します。

重要

- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。

1. プリンタがコンピュータとの通信に使用する Ethernet のフレームタイプを設定します。
設定方法については、「プリンタのフレームタイプを設定する」を参照してください。 →P.729

2. プリントサーバーやプリントキューなどの NetWare のプリントサービスを設定します。
設定方法については、「NetWare プリントサービスを設定する」を参照してください。 →P.731

3. フレームタイプ以外の NetWare プロトコルの詳細を設定します。
設定方法については、「NetWare プロトコルを設定する」を参照してください。 →P.733
この手順までの設定が完了したら、NetWare ネットワークで印刷するための設定を、各コンピュータで行います。

4. NetWare ネットワークに接続します。
印刷を行うすべてのコンピュータに NetWare クライアントソフトをインストールし、NetWare サーバーまたはツリーにログインします。接続する方法については、NetWare のマニュアルや OS のマニュアルを参照してください。

5. プリンタドライバをインストールします。
ネットワーク管理者の指示に従って、印刷を行うすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。インストールするときは、プリンタの接続先として[ネットワークプリンタ]を選択し、NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューを選択します。

6. 以下の手順でプリンタのポートを設定します。プリンタドライバのインストール中にプリンタの接続先を設定した場合は、この手順は必要ありません。

   1. [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウを開きます。
   2. プリンタのアイコンを選択して右クリックし、[プロパティ]を選択します。
   3. [ポート](または[詳細])タブをクリックし、[ポート](または[詳細])シートを表示します。
   4. 印刷先のポートを NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューに設定します。

ネットワークの設定 (Mac OS X)

プリンタドライバの接続先を設定する

プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などは、プリンタドライバの接続先を設定します。

- AppleTalk ネットワークに変更する場合は、「AppleTalk ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.737
- TCP/IP ネットワークに変更したり、プリンタの IP アドレスを変更する場合については、「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.739
- Bonjour ネットワークに変更する場合は、「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.742

プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする

AppleTalk ネットワークは、以下の手順で設定します。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [AppleTalk]グループの右上にある[変更]をクリックし、[AppleTalk プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. AppleTalk の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

AppleTalk の設定項目

項目名	内容	初期値
[フェーズタイプ]	AppleTalk の使用を設定できます。 AppleTalk を使用する場合は、[フェーズ 2]を選択します。 AppleTalk を使用しない場合は、[無効]を選択します。	無効
[名前] (*1)	AppleTalk で使用するオブジェクト名(半角 1～31 文字、全角 1～15 文字)を設定できます。 半角の@、*、:、=は使用できません。	Canon NB-17FB (xxxxxx)
[ゾーン] (*2)	プリンタのゾーン名(半角 1～31 文字)を設定できます。 @、:、=は使用できません。また、デフォルトゾーンを示す[*]1 文字のみの設定を除き、文字列中の*は使用できません。	*

*1:[名前]に設定したオブジェクト名が、Mac OS X 10.2.8〜10.4 の[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])に表示されます。プリンタが同じゾーン内に複数ある場合は、それぞれ固有の名前を付けてください。初期値は、ネットワークインタフェース名[Canon NB-17FB(xxxxxx)]です。(xxxxxx はプリンタの MAC アドレスの下 6 桁)

*2:ネットワーク上にゾーンが設定されている場合は、プリンタが属するゾーン名を入力します。ゾーンが設定されていない場合は、[*](デフォルトゾーン)のままで使用してください。ネットワーク上に設定されていないゾーン名を入力すると、Macintosh のコンピュータから認識されなくなります。ゾーン名については、ネットワーク管理者に確認してください。

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

AppleTalk ネットワークで接続先を設定する

AppleTalk ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で AppleTalk プロトコルを有効にし、接続先を設定します。

AppleTalk プロトコルを有効にする

重要

- 工場出荷時の状態では、プリンタの AppleTalk プロトコルは無効に設定されています。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[AppleTalk]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 5 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

メモ

- リモート UI では、AppleTalk で使用するオブジェクト名やプリンタのゾーン名も設定できます。リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.720

接続先を設定する(Mac OS X)

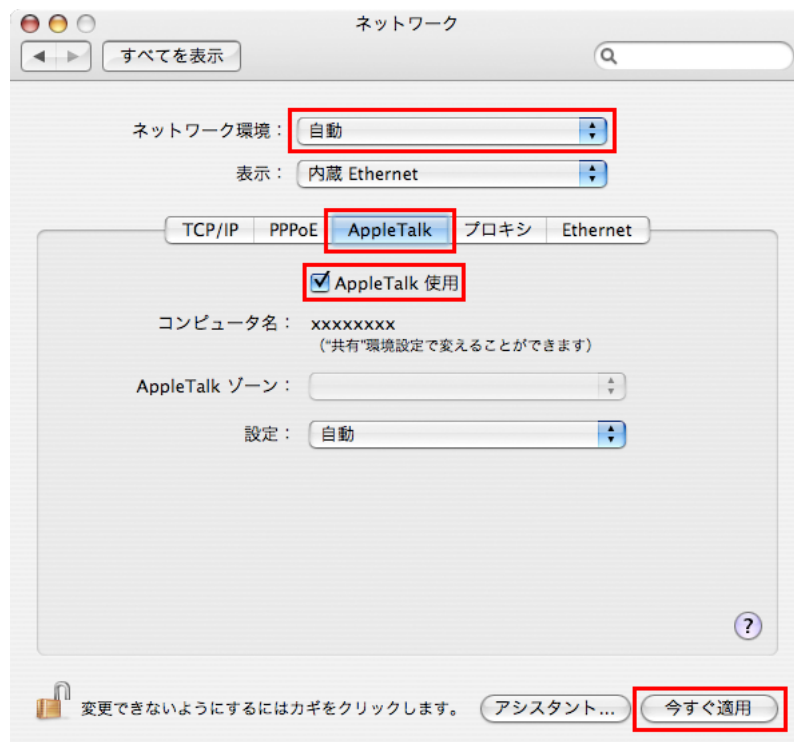
重要

- AppleTalk は Mac OS X v10.2.8〜10.4 で対応しています。

メモ

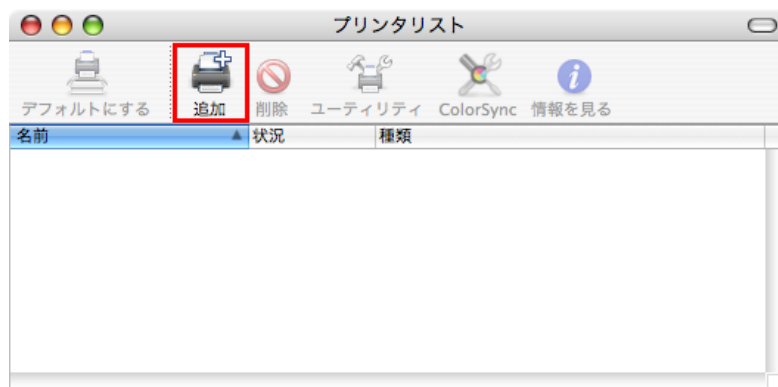
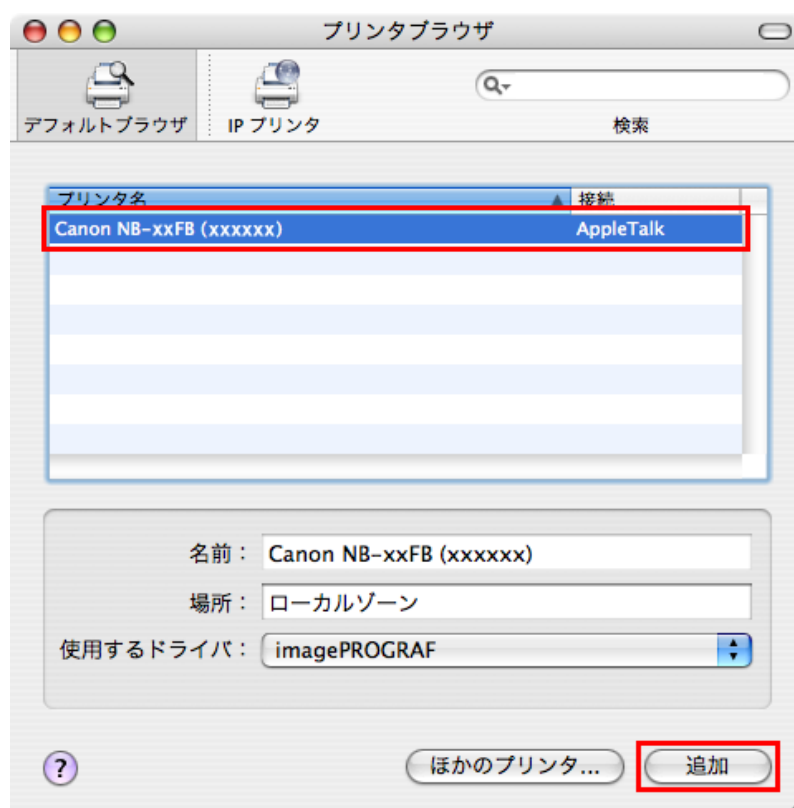
- 以下の操作手順は、Mac OS X v10.4 のものです。接続先の設定方法は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

1. [システム環境設定]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ウィンドウを開きます。

2. [表示]の一覧から[内蔵 Ethernet]を選択します。次に、[AppleTalk]をクリックし、[AppleTalk 使用]チェックボックスをオンにし、[今すぐ適用]をクリックします。

3. [ネットワーク]ウィンドウを閉じ、設定を保存します。

4. [Finder]の[移動]メニューから[ユーティリティ](または[アプリケーション])を選択します。

5. [ユーティリティ]フォルダの[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])を開きます。

6. [プリンタリスト]の一覧にプリンタの名前がない場合は、[追加]をクリックします。

7. [プリンタブラウザ]ウィンドウで、一覧からプリンタを選択し、[追加]をクリックします。

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する

TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
  - プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する →P.718

接続先を設定する(Mac OS X)

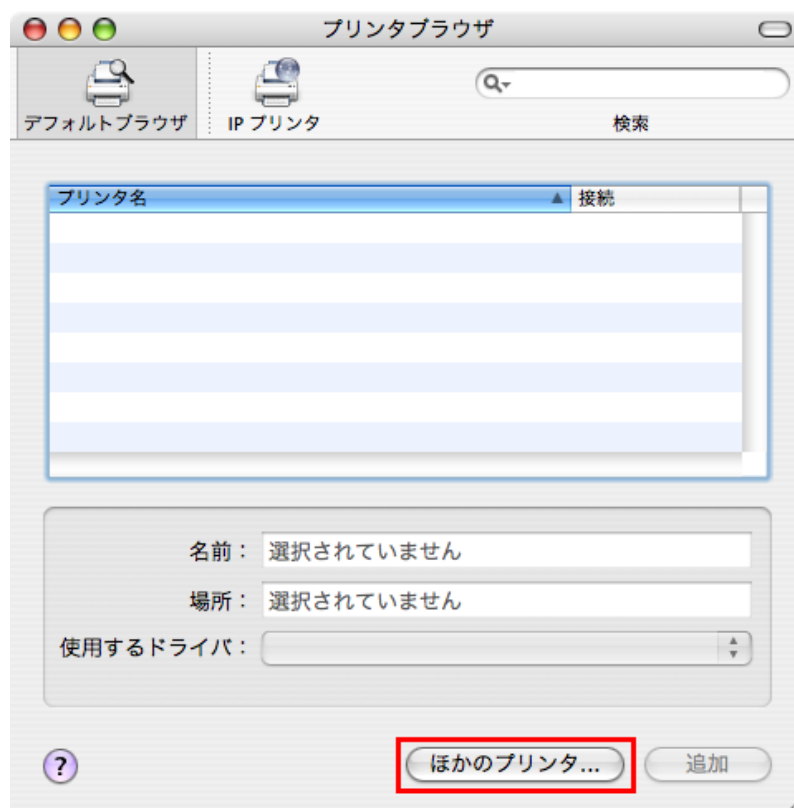
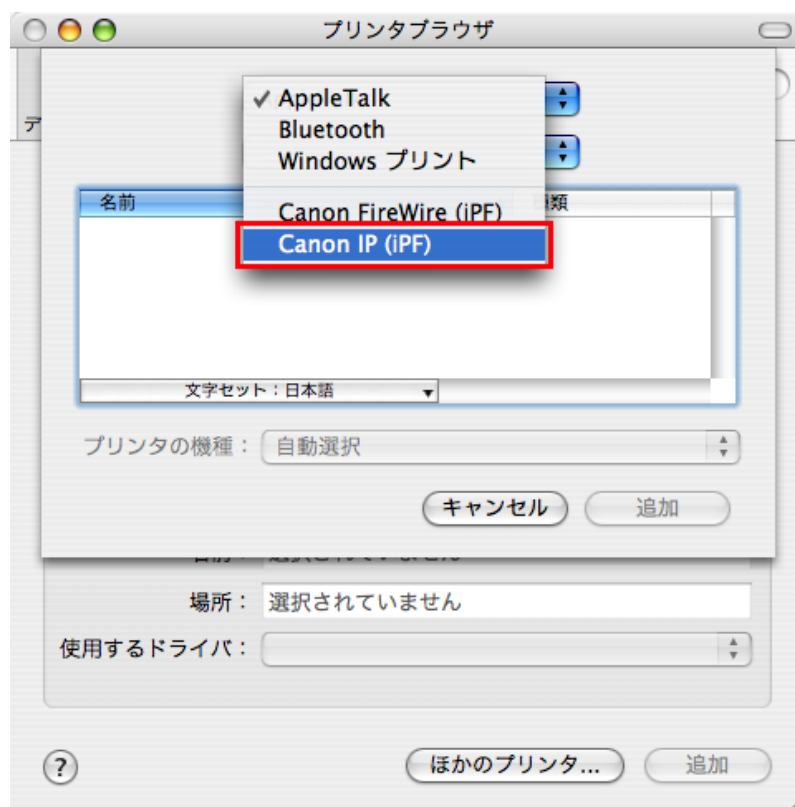
メモ

- 以下の操作手順は Mac OS X 10.4 のものです。接続先の設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。他のバージョンをご使用の場合は、[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])のヘルプを参照してください。

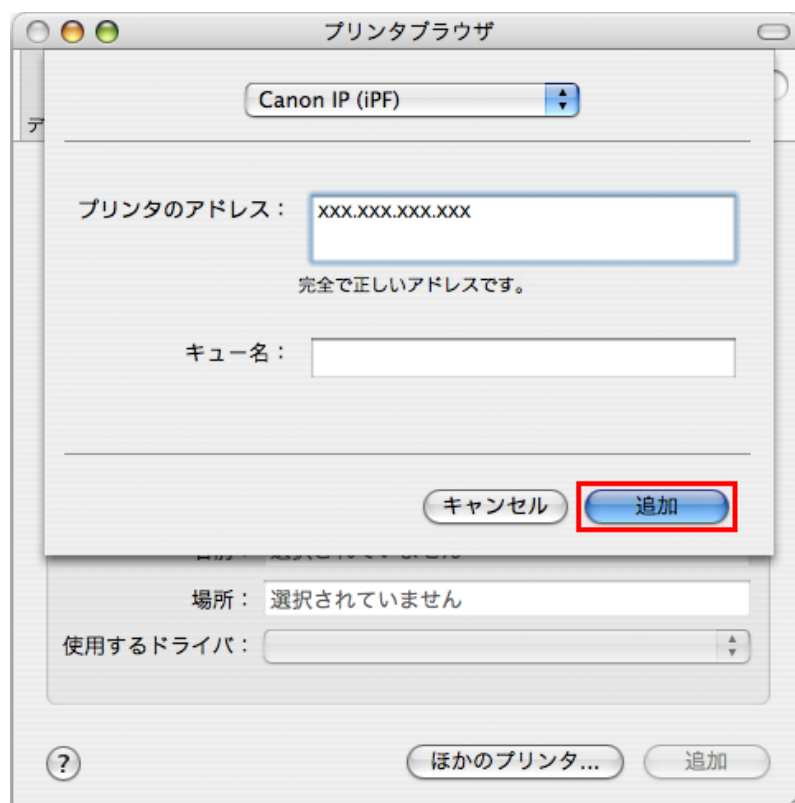
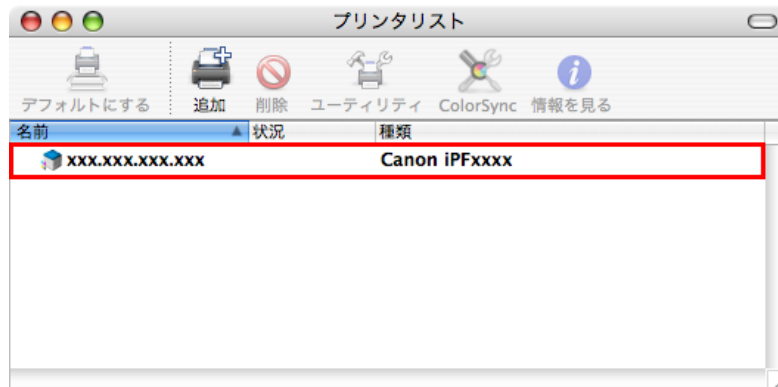
1. [Finder]の[移動]メニューから[ユーティリティ](または[アプリケーション])を選択します。

2. [ユーティリティ]フォルダの[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])を開きます。

3. [追加]をクリックし、[プリンタブラウザ]ウィンドウを開きます。

4. [ほかのプリンタ]をクリックします。

5. 接続方法の一覧から[Canon IP(iPF)]をクリックします。

6. [プリンタのアドレス]にプリンタの IP アドレスを入力し、[追加]をクリックします。

プリンタブラウザ
Canon IP (iPF)
プリンタのアドレス：
xxx.xxx.xxx.xxx
完全で正しいアドレスです。
キュー名：
キャンセル
追加
場所：
選択されていません
使用するドライバ：
ほかのプリンタ...
追加

10

7. プリンタが追加されていることを確認し、[プリンタリスト]ウィンドウを閉じます。

重要

- [種類]に[imagePROGRAF Generic]と表示された場合はプリンタの情報が正しく取得できておりません。プリンタの電源がオンになっているか、ネットワークに接続されているかご確認ください。(「プリンタをネットワークに接続できない」参照) →P.815

Bonjour ネットワークで接続先を設定する

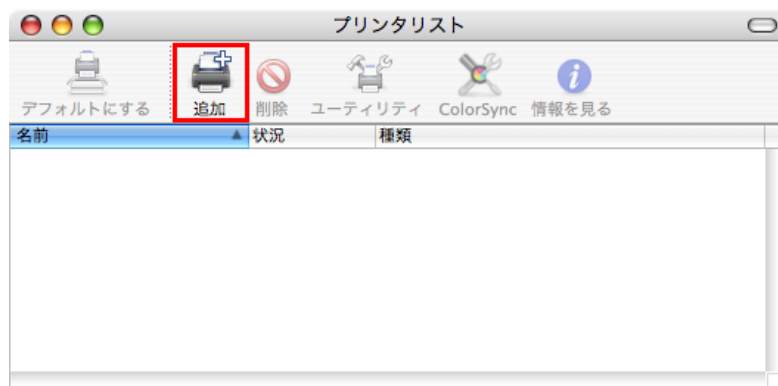
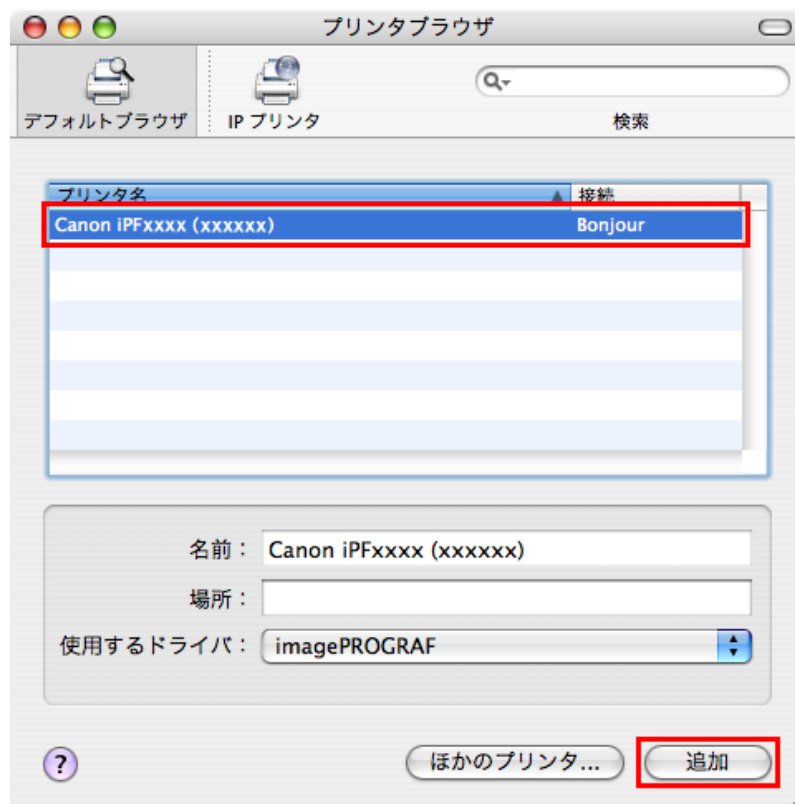
Mac OS X 10.2.8 以降をご使用の場合は、Bonjour 機能を使用し、プリンタを簡単にネットワークに接続できます。Bonjour 機能を使用したネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

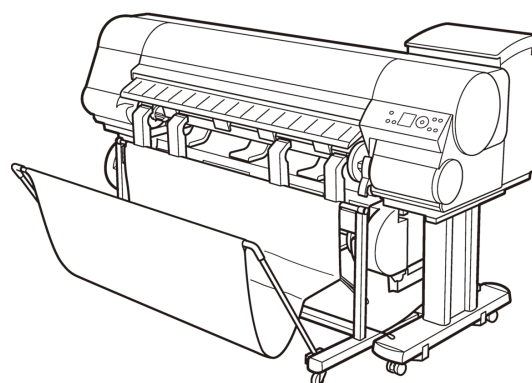
重要

- Bonjour 機能や[IP プリント(自動)]では、ルーターを経由した他のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。
- プリンタの Bonjour 機能は、あらかじめ有効になっています。Mac OS X の[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])に表示されるプリンタ名は、[Multicast DNS サービス名]としてあらかじめ設定されています。Bonjour 機能の有効/無効やプリンタ名は、リモート UI を使用して変更できます。変更する方法については、「リモート UI を使う」を参照してください。→P.720

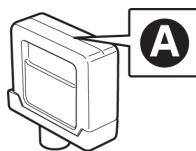
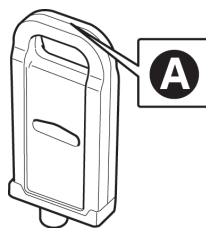
1. [Finder]の[移動]メニューから、[ユーティリティ](または[アプリケーション])を選択します。

2. [ユーティリティ]フォルダの[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])を開きます。

3. [プリンタリスト]の一覧にプリンタの名前がない場合は、[追加]をクリックします。

4. [プリンタブラウザ]ウィンドウで、一覧からプリンタを選択し、[追加]をクリックします。

メンテナンス

インクタンク

インクタンク

インクタンクをご購入の際は、以下のインクタンクの型番とラベルに[A]が記載されていることをご確認ください。

- 330ml
  - MBK インクタンク PFI-303MBK
  - BK インクタンク PFI-303BK
  - C インクタンク PFI-303C
  - M インクタンク PFI-303M
  - Y インクタンク PFI-303Y

- 700ml
  - MBK インクタンク PFI-703MBK
  - BK インクタンク PFI-703BK
  - C インクタンク PFI-703C
  - M インクタンク PFI-703M
  - Y インクタンク PFI-703Y

メモ

- インクタンクの交換方法については、「インクタンクを交換する」を参照してください。 →P.746
- キヤノンでは対象製品毎に製品安全データシート（MSDS）を用意しており、ホームページ上 → canon.jp/ecology で公開しています。MSDS とは Material Safety Data Sheet の略で、日本語では製品安全データシートと呼ばれています。化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、製品に含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱い上の注意、環境への影響などに関する情報を記載した資料です。

インクタンクを交換する

対応しているインクタンク

330ml または 700ml のインクタンクに交換することができます。
インクタンクの側面には、黒丸に白い文字で[A]と書かれたラベルが付いています。インクタンクを購入するときに、同じラベルのインクタンクを指定します。詳細については、「インクタンク」を参照してください。
→P.745

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

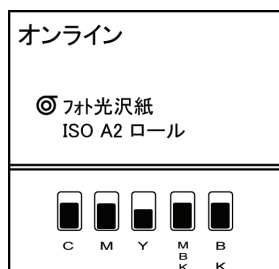
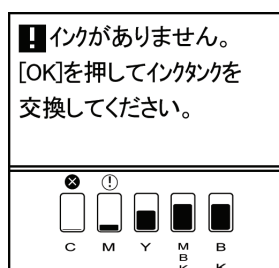
重要

- インクタンクを取り付けるときは、袋を開封する前にゆっくりと 7〜8 回振ってください。インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。
- 一度プリンタにセットしたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。
- 袋から取り出したインクタンクは、落とさないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンタは、長期間（1 か月以上）、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンタに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクの交換手順

1. インクタンクが交換可能であることを確認します。→P.747
2. インクタンク交換のメニューを選択します。→P.747（またはインクタンクカバーを開きます。）
3. インクタンクを取り外します。
   - 330ml のインクタンクの場合 →P.748
   - 700ml のインクタンクの場合 →P.750
4. 新しいインクタンクをセットします。
   - 330ml のインクタンクの場合 →P.752
   - 700ml のインクタンクの場合 →P.754

インクタンクが交換可能であることを確認する

ディスプレイに[オンライン]、[オフライン]、インクタンクの残量確認や交換を指示するメッセージが表示されているときに、インクタンクを交換できます。

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、[OK]キーを押します。

電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。

メモ

- 印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中もインクタンクを交換できます。

インクタンク交換のメニューを選択する

メモ

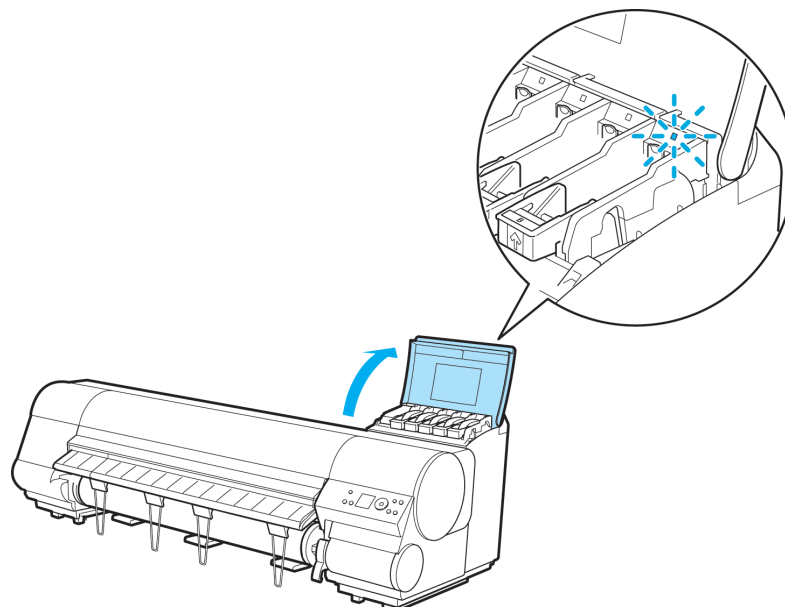
- インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、この手順は不要です。ディスプレイのメッセージを確認し、[OK]キーを押します。引き続き、インクタンクを取り外します。

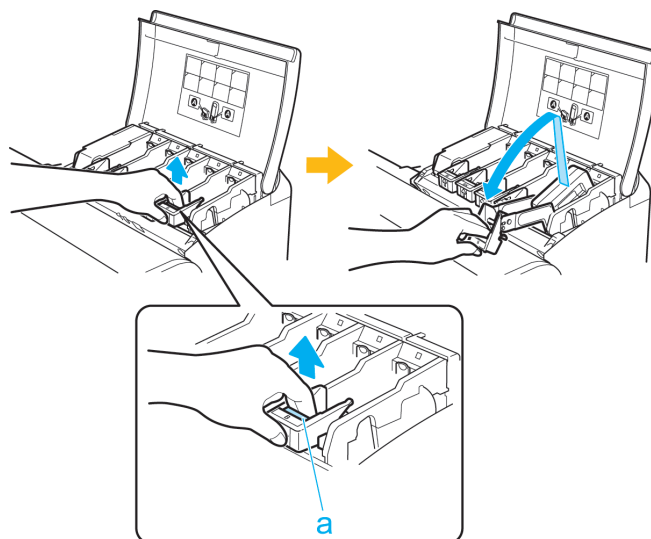
1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[インクタンク交換]を選択し、[▶]キーを押します。

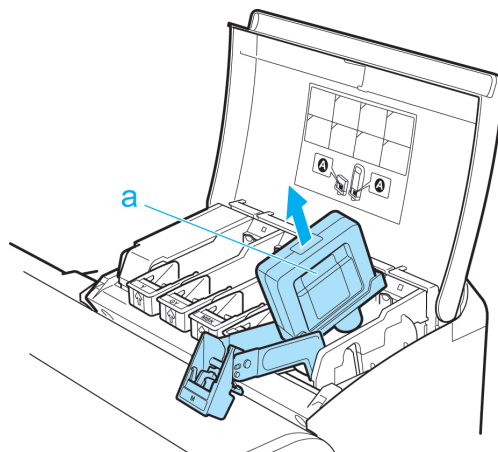
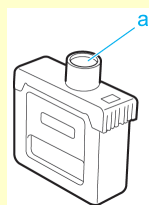
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。引き続き、インクタンクを取り外します。

インクタンク(330ml)を取り外す

1. インクを交換するインクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。
   インクがなくなると、インクランプは速く点滅します。

2. 交換する色のインクタンク固定レバーのストッパー(a)を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

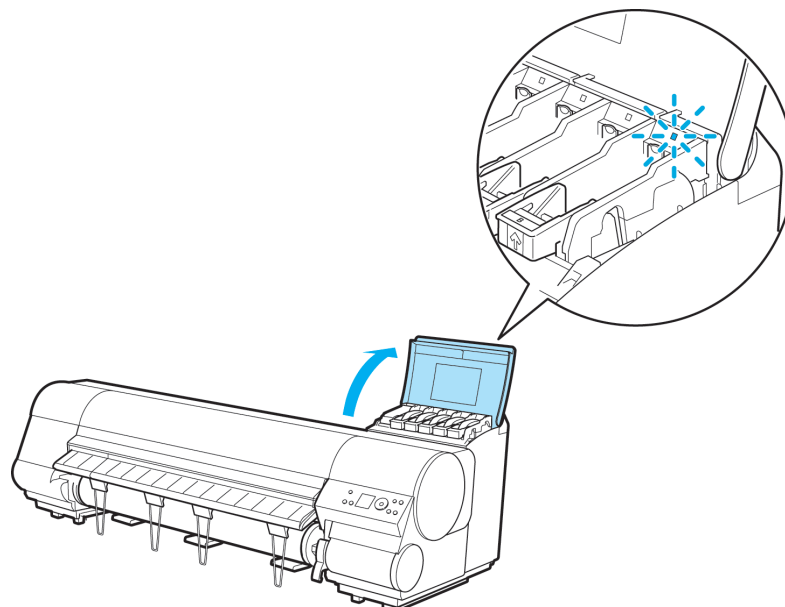
メモ

- インクタンク固定レバーがロックするところまで押し下げてください。
- インクタンク固定レバーが戻らないことを確認してください。

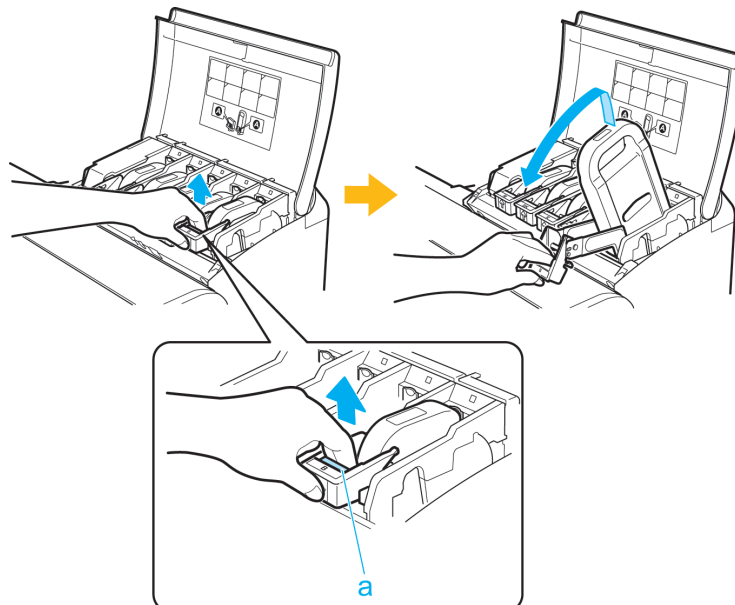
3. つまみ部(a)を持ってインクタンクを取り出し、[OK]キーを押します。

注意

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部(a)を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

メモ

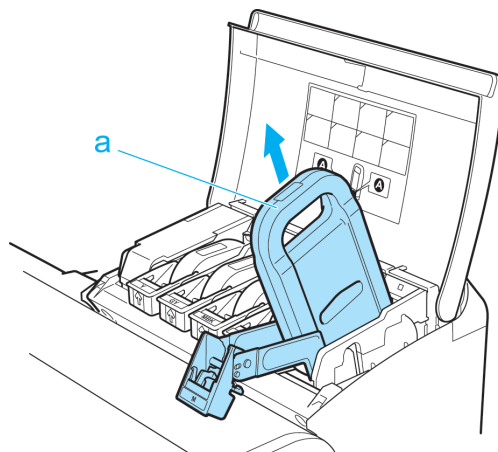
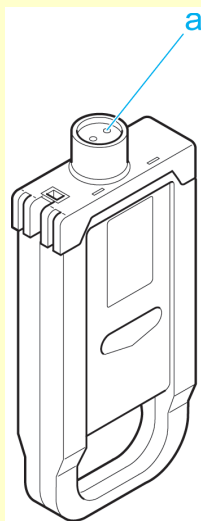
- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
  キヤノンサポートページ → canon.jp/support
  事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
  環境への取り組み → canon.jp/ecology

インクタンク(700ml)を取り外す

1. インクを交換するインクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。
インクがなくなると、インクランプは速く点滅します。

2. 交換する色のインクタンク固定レバーのストッパー(a)を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

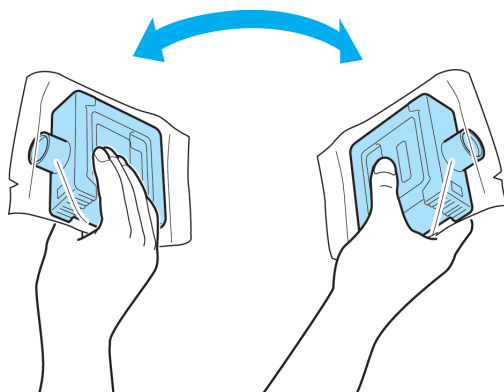
メモ

- インクタンク固定レバーがロックするところまで押し下げてください。
- インクタンク固定レバーが戻らないことを確認してください。

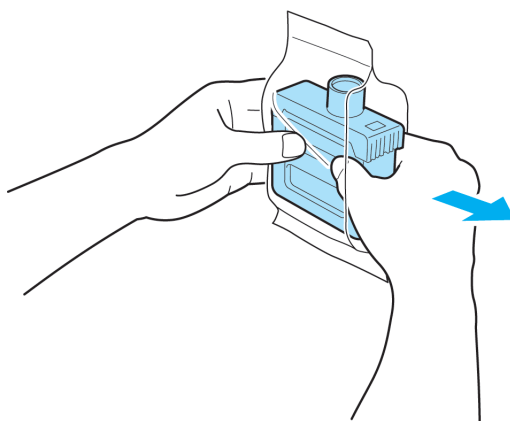
3. 取っ手(a)を持ってインクタンクを取り出し、[OK]キーを押します。

注意

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部(a)を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

メモ

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
  キヤノンサポートページ → canon.jp/support
  事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
  環境への取り組み → canon.jp/ecology

インクタンク（330ml）をセットする

1. 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと 7〜8 回左右に傾けながら振ります。

重要

- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

2. 袋を開封し、インクタンクを取り出します。

重要

- インク供給部や端子部には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。
- 一度プリンタにセットしたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。

3. [OK]キーを押し、図のようにインク供給部を下側にしてインクタンクをホルダーにセットします。

メモ

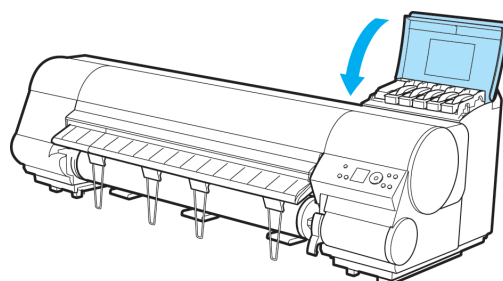
- セットする色と向きが違うと、インクタンクはホルダーにセットできません。
  インクタンクをホルダーにセットできない場合は、無理に入れずに、インクタンク固定レバーに貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認してセットし直してください。

4. インクタンク固定レバーを止まるところまで持ち上げてから、カチッと音がするまで押し下げます。

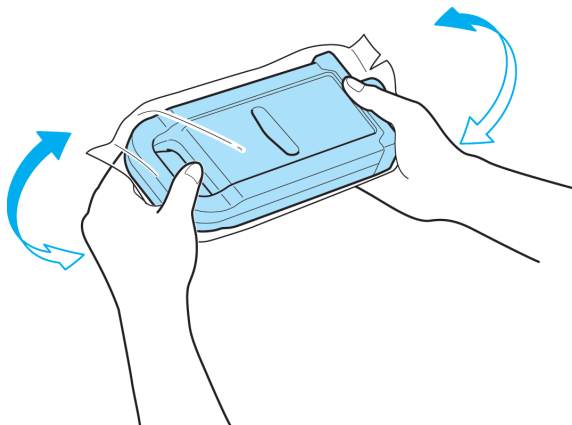
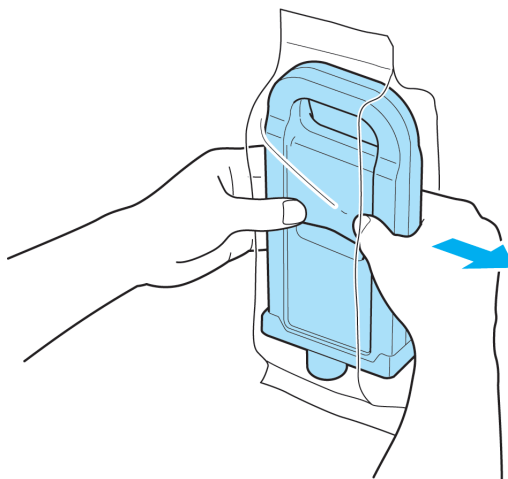
5. インクランプが赤く点灯していることを確認します。

メモ

- インクランプが赤く点灯しない場合は、セットし直してください。

6. インクタンクカバーを閉じます。

オンラインモードまたはオフラインモードになります。

インクタンク(700ml)をセットする

1. 袋を開封する前に、新しいインクタンクを図のように両手で持ち、ゆっくりと左右に傾けながら 7〜8 回振ります。

> 重要
> • インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

2. 袋を開封し、インクタンクを取り出します。

> 重要
> • インク供給部や端子部には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。
> • 一度プリンタにセットしたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。

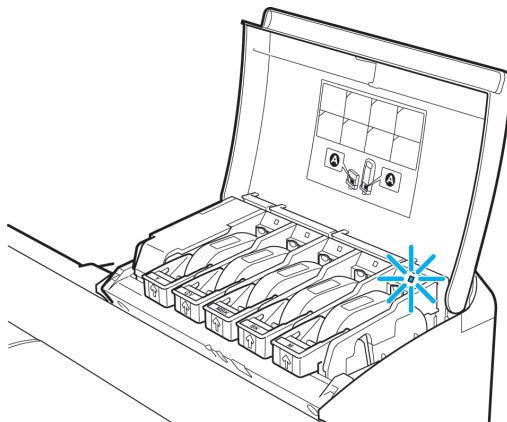
3. [OK]キーを押し、図のようにインク供給部を下側にしてインクタンクをホルダーにセットします。

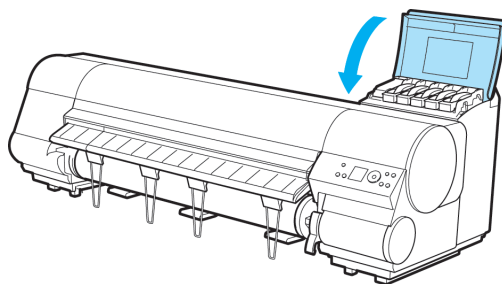
メモ

- セットする色と向きが違うと、インクタンクはホルダーにセットできません。
  インクタンクをホルダーにセットできない場合は、無理に入れずに、インクタンク固定レバーに貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認してセットし直してください。

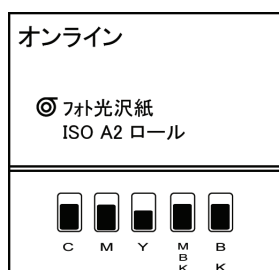
4. インクタンク固定レバーを止まるところまで持ち上げてから、カチッと音がするまで押し下げます。

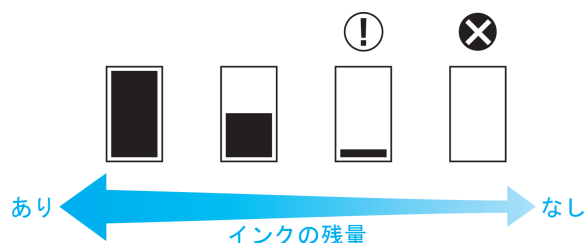
5. インクランプが赤く点灯していることを確認します。

メモ

- インクランプが赤く点灯しない場合は、セットし直してください。

6. インクタンクカバーを閉じます。

オンラインモードまたはオフラインモードになります。

インクタンクの残量を確認する

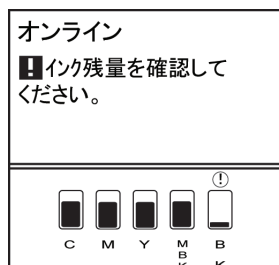
インクタンクのインクの残量は、ディスプレイで確認できます。
エラーメッセージが表示されていない場合は、ディスプレイに各インクの残量が表示されます。

エラーメッセージの表示中は、[インフォメーション]キーを押すと、ディスプレイに各インクの残量が表示されます。

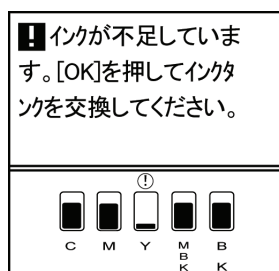
ディスプレイに表示されるインクの残量は、ディスプレイ下部の色ラベルに対応しています。
インクが不足している場合は[!]、インクがない場合は[×]、インク残量検知機能が無効の場合は[?]がインクの残量の上に表示されます。
インクの残量の割合は、以下の図のように表示されます。

ディスプレイにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。(「インクタンクを交換する」参照) →P.746

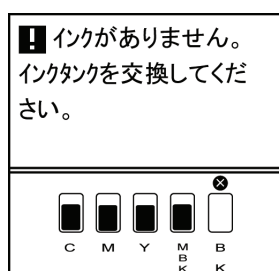
インクタンクの交換時期について

以下の場合、インクタンクを準備または交換してください。

ディスプレイにインク確認のメッセージが表示された場合

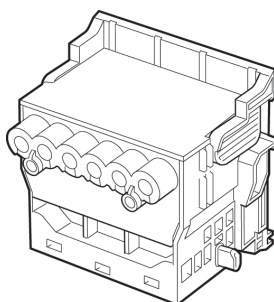
インクの残量が少なくなると、メッセージランプが点灯し、ディスプレイに[ｲﾝｸ残量を確認してください。]と表示されます。印刷は継続されますが、インクタンクを準備してください。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.756

インクを大量に消費する印刷やメンテナンスを実行する場合

インクの残量が少なくなると、インクを大量に消費する、長尺印刷、ヘッドクリーニング、メンテナンスなどを十分に実行できない場合があります。その場合は、インクタンクを準備または交換してからメンテナンスを実行してください。

ディスプレイにインク交換のメッセージが表示された場合

インクがなくなると、メッセージランプが点滅し、ディスプレイにインクタンク交換のメッセージが表示され、印刷できません。インクタンクを交換してください。

プリントヘッド

プリントヘッド

このプリンタ専用の交換用プリントヘッドです。

- プリントヘッド PF-03

メモ

- プリントヘッドの交換方法については、「プリントヘッドを交換する」を参照してください。→P.760

ノズルのつまりをチェックする

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

メモ

- プリンタの[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ間隔]メニューでページ数を設定すると、設定したページ数を印刷するたびにノズルのつまりを自動的にチェックすることができます。(「メインメニューの設定値」参照) →P.669

1. 未使用の用紙をセットします。

   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.576
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.579
   - カット紙をプリンタにセットする →P.602

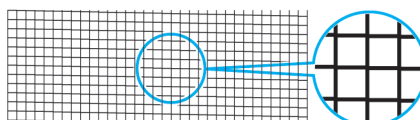
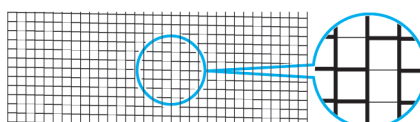
2. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

11

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
オンラインモードになり、ノズルチェックパターンが印刷されます。

6. 印刷結果を確認します。
プリントヘッド L は各色の上段に、プリントヘッド R は各色の下段にノズルチェックパターンが印刷されます。
横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。

横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

横線がかすれていたり抜けている場合は、以下の手順でノズルのつまりを再度チェックしてください。

1. プリントヘッドのクリーニングを実行します。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照)
→P.759

2. ノズルチェックパターンを印刷します。

メモ
- 上記の操作を何回か繰り返しても横線がかすれていたり抜けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルがつまっているときは、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。
プリントヘッドのクリーニングの種類には、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]と[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]の 2 つの種類がありますので、症状によりいずれかを選択してください。

メモ
- プリンタのメニューの[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ間隔]でページ数を設定すると、設定したページ数を印刷するたびにノズルのつまりを自動的にチェックし、クリーニングを実行することができます。(「メインメニューの設定値」参照) →P.669
- [インフォメーション]キーを 3 秒以上押し続けると、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を実行できます。

プリントヘッドをクリーニングする

メモ
- [ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を実行しても改善されない場合は、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行してください。それでも改善されない場合は、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を 1〜2 回繰り返してください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意

- クリーニングの実行中は、メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り外さないでください。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押してクリーニングの種類を選択し、[OK]キーを押します。

   - [ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]

     印刷がかすれた場合や、ゴミが付いた場合などに[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を実行します。インクの消費量が少ないクリーニング方法です。所要時間は約 3 分です。

   - [ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]

     インクがまったく出ない場合や、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を実行しても改善されない場合に[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行します。所要時間は約 4 分です。

   ヘッドクリーニングが実行され、オンラインモードになります。

4. ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認します。(「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.758

11

プリントヘッドを交換する

プリントヘッドの交換時期について

以下の場合に、プリントヘッドを交換してください。

- プリンタのメニューで［ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B］を 1〜2 回実行しても印刷品質が改善されない場合
- ディスプレイに［上ｶﾊﾞｰを開けて､ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞを交換してください。］と表示された場合
- キヤノンお客様相談センターでプリントヘッドの交換を指示された場合

対応しているプリントヘッド

プリンタに対応しているプリントヘッドについては、「プリントヘッド」を参照してください。 →P.758

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。

重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プリントヘッドの袋は、プリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンタに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部 →P.764 を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッドを交換する

注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

メモ

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。
- [自動ﾌﾟﾘﾝﾄ]で[ｵﾝ]が選択されていると、プリントヘッドの交換後、自動的にプリントヘッドの位置が調整されます。(「メインメニューの設定値」参照) →P.669

1. ロール紙のカット方法の設定により、印刷物が排紙されていない場合は、カットして取り除きます。(「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.182

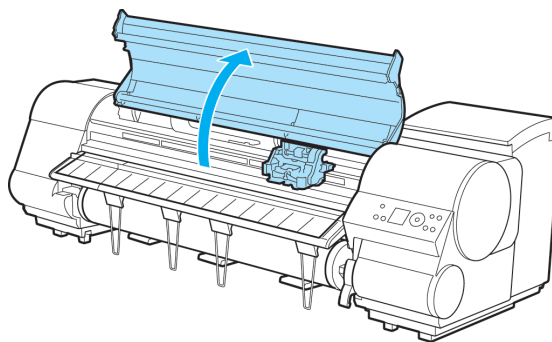
2. 上カバー内部を清掃します。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776

3. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

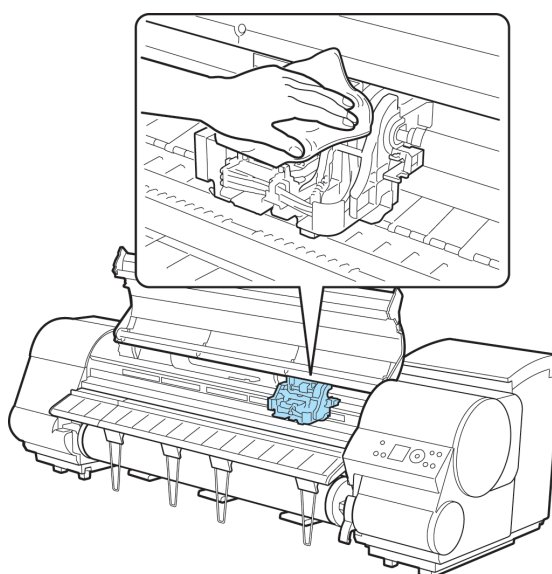
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ交換]を選択し、[▶]キーを押します。

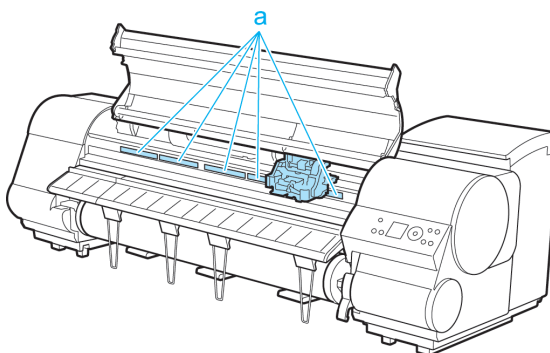
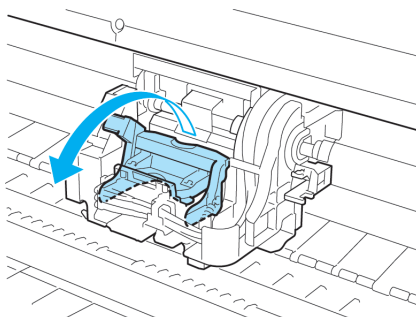
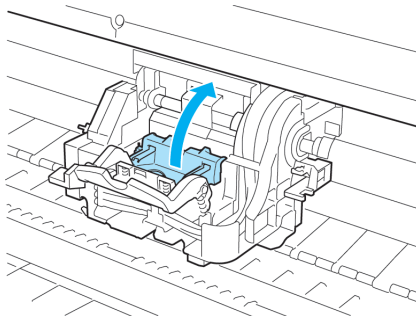
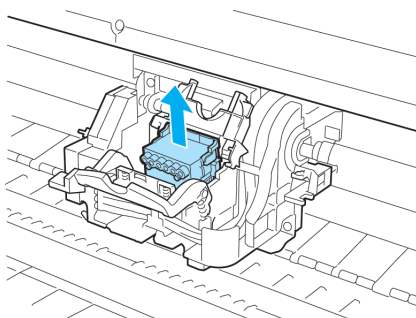
6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
   インクが吸引されます。
   約 2 分後、ディスプレイに上カバーを開けるメッセージが表示されます。

7. 上カバーを開きます。

ディスプレイにプリントヘッド交換の手順が表示されます。

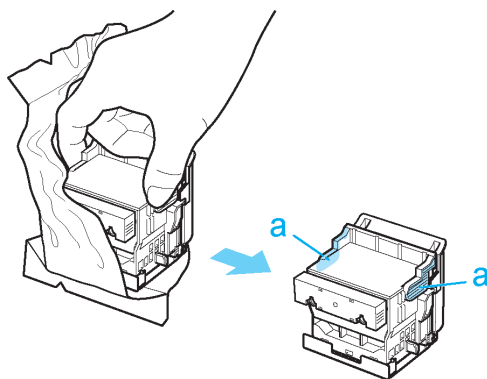
8. プリントヘッド固定カバーやプリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

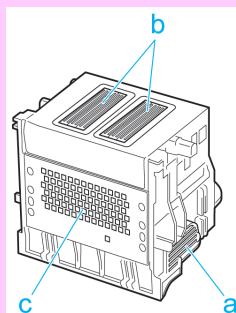
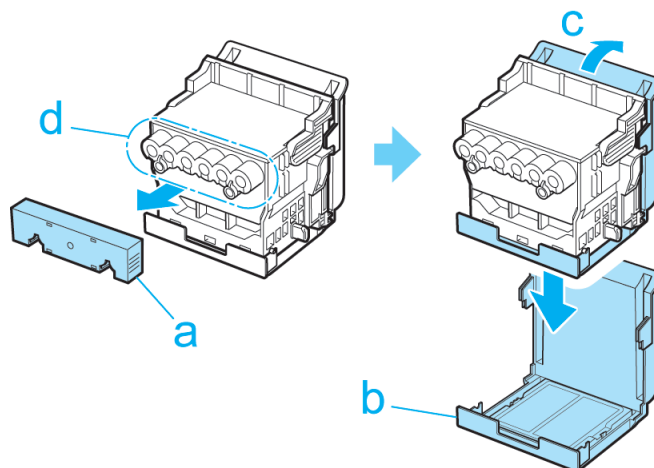
重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

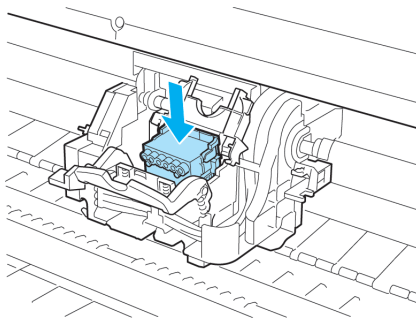
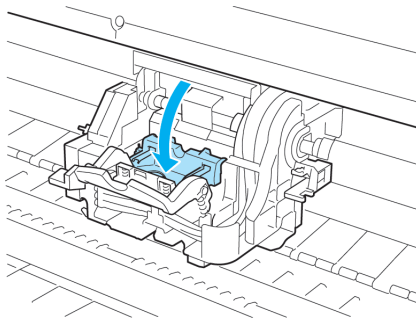
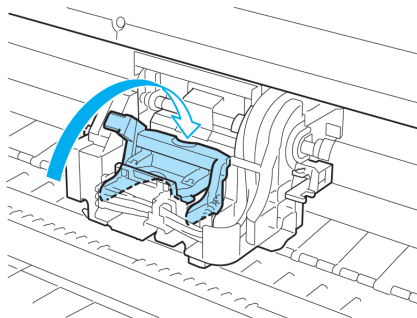
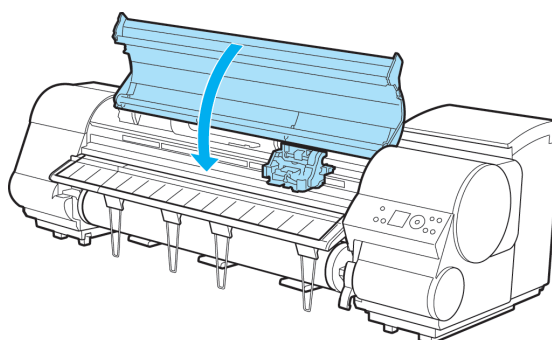
- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になります。

9. 吸気ダクト(a)が汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。吸気ダクトがキャリッジに隠れている場合は、キャリッジを手で移動して清掃してください。

10. プリントヘッド固定レバーを前側に引いて、最後まで完全に開きます。

11. プリントヘッド固定カバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

12. プリントヘッドを取り外します。

メモ

- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

13. 新しいプリントヘッドを、つまみ部(a)を持ってケースから取り出します。

重要

- プリントヘッドは、必ずつまみ部(a)を持って取り扱ってください。ノズル(b)や電極部(c)には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。

14. プリントヘッドを取り出したまましっかりと持ち、もう一方の手でオレンジ色の保護キャップ 1(a)を取り外し、保護キャップ 2(b)をつまみ(c)を押しながら下に引いて取り外します。

> 重要
>
> - 保護キャップ 1(a)や保護キャップ 2(b)の内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
> - インク供給部(d)には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。
> - プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護キャップ 2(b)を取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていた箱の上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
> - 取り外した保護キャップや保護材は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

15. ノズルを下側、電極部を奥側にして、プリントヘッドをキャリッジに差し込みます。ノズルや電極部がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。

16. プリントヘッド固定カバーを前側に倒して、プリントヘッドをロックします。

17. プリントヘッド固定レバーを、カチッと音がするまで奥側に倒します。

18. 上カバーを閉じます。

インクが充填されます。
約 6 分後にプリントヘッドの位置の調整が自動的に開始され、完了するとオンラインモードになります。
用紙がセットされていない場合は、用紙セットのメッセージが表示されます。

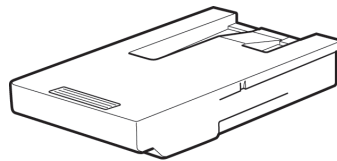
重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクを取り出さないでください。
- プリンタのメニューで[自動ﾌﾟﾘﾝﾄ]が[ｵﾌ]に設定されている場合は、プリントヘッドは調整されません。その場合は、プリントヘッドを交換した後、プリンタのメニューの[自動ﾍｯﾄﾞ調整]で[詳細調整]を実行してください。(「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)」参照) →P.618

メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ

このプリンタの交換用メンテナンスカートリッジです。メンテナンスカートリッジには、シャフトクリーナが付属しています。

- メンテナンスカートリッジ MC-09

メモ

- メンテナンスカートリッジの交換方法については、「メンテナンスカートリッジを交換する」を参照してください。 →P.767

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンタに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「メンテナンスカートリッジ」を参照してください。 →P.767

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

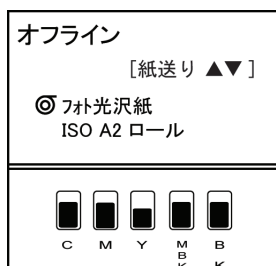
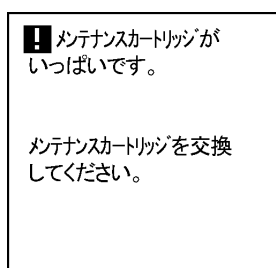
注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタで使用しないでください。

メンテナンスカートリッジを交換する

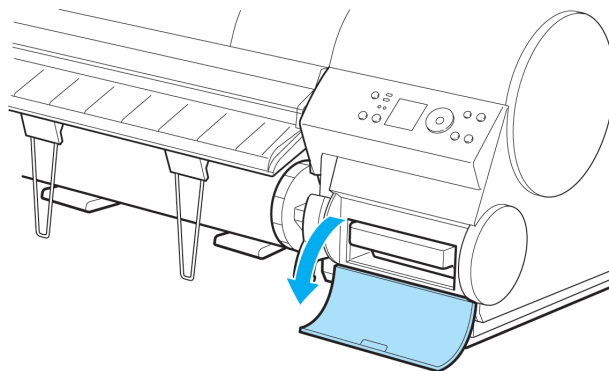
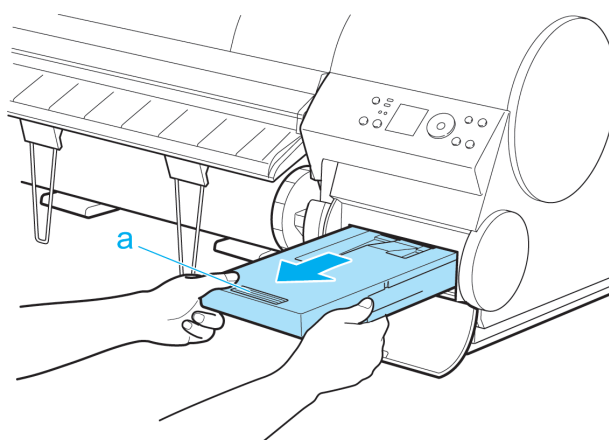
1. プリンタが動作中でないことを確認します。
ディスプレイに[オフライン]、メンテナンスカートリッジ交換のメッセージなどが表示されているときに、メンテナンスカートリッジを交換できます。

メンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示されている場合は、[OK]キーを押します。手順 2 〜5 は不要です。手順 6 に進んで、メンテナンスカートリッジを取り外します。

電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中は、メンテナンスカートリッジを交換しないでください。
また、印刷を一時停止してメンテナンスカートリッジを交換した場合、画像ムラが発生することがあります。

2. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

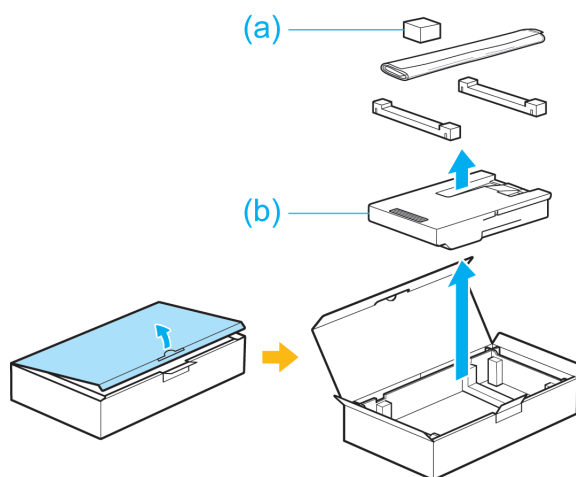
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

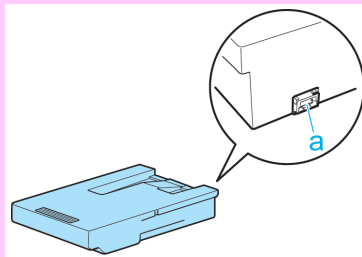
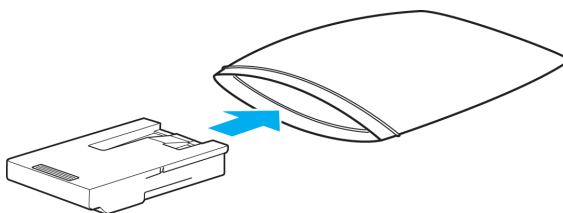
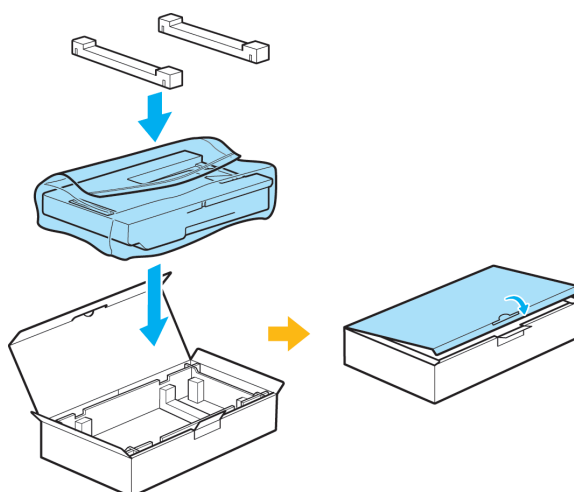
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽC 交換]を選択し、[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにメンテナンスカートリッジカバーを開けるメッセージが表示されます。

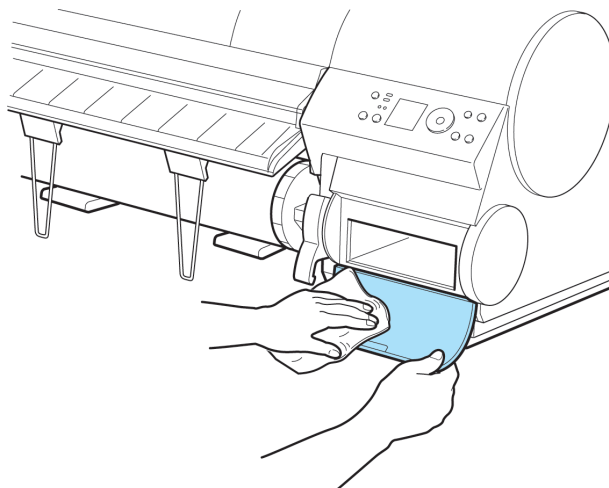
6. メンテナンスカートリッジカバーを開きます。

7. 使用済みのメンテナンスカートリッジのつまみ(a)を片手で持って引き出し、もう一方の手でメンテナンスカートリッジの底面をしっかり持って水平に取り出します。

重要

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかり持って水平に保ちながら取り出し、保管してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- メンテナンスカートリッジの残り容量はプリンタごとに記録されます。一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタに取り付けることはできません。

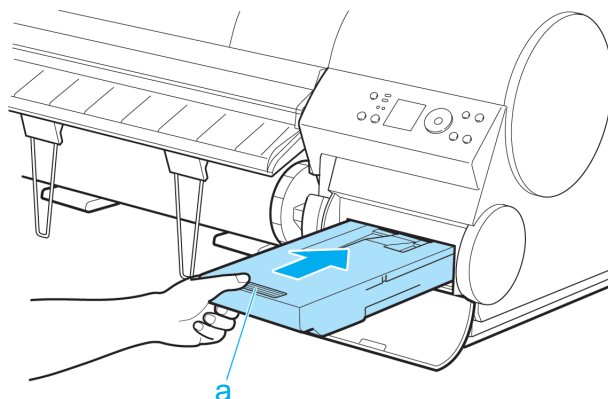
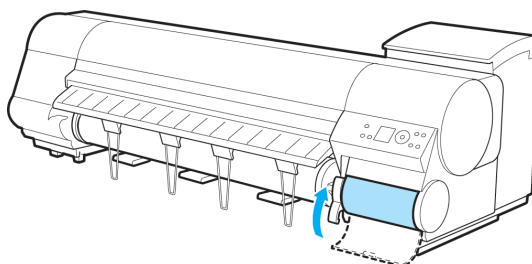
8. 梱包箱を開いてビニール袋と緩衝材とシャフトクリーナ(a)を取り外し、メンテナンスカートリッジ(b)を取り出します。

重要

- 端子部(a)には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。

9. 使用済みのメンテナンスカートリッジを水平に保ったままビニール袋に入れます。ビニール袋の中の空気を抜きながらジッパーをしっかり閉じます。

10. メンテナンスカートリッジの上下を確認して、梱包箱に入れて緩衝材を取り付け、水平に保ったまま保管します。

重要

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

11. メンテナンスカートリッジカバーの汚れを拭き取ります。

重要

- メンテナンスカートリッジカバーの下側を支えながら拭いてください。

12. 新しいメンテナンスカートリッジを水平に持ち、奥まで押し込みます。

13. メンテナンスカートリッジカバーを閉じます。

14. [OK]キーを押します。

メンテナンスカートリッジが初期化されます。
引き続き、シャフトクリーナの交換を行ってください。

シャフトクリーナを交換する

メンテナンスカートリッジを交換するときに、シャフトクリーナも交換してください。シャフトクリーナは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属しています。
[ﾒﾝﾃﾅﾝｽC 交換]を実行してメンテナンスカートリッジを交換すると、ディスプレイにシャフトクリーナ交換のメッセージが表示されます。[する]を選択して[OK]キーを押し、手順 4 から操作を行ってください。

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

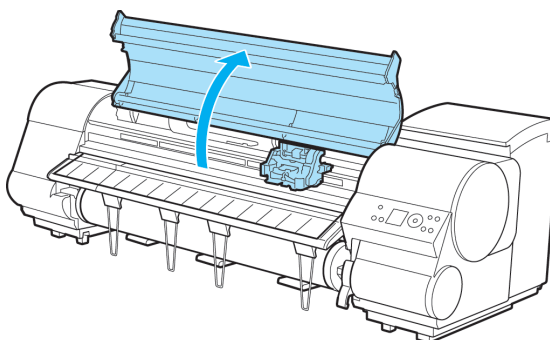
2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

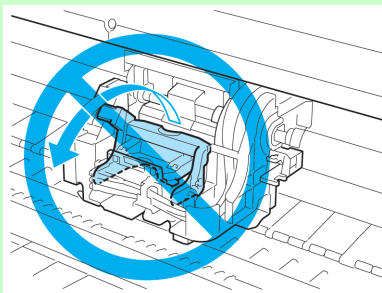
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｬﾌﾄｸﾘｰﾅ交換]を選択し、[▶]キーを押します。

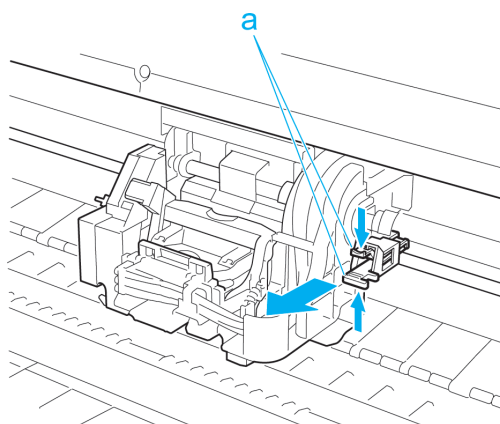
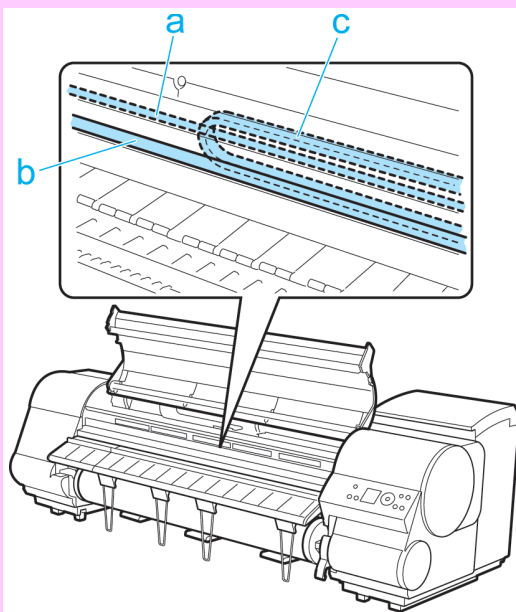
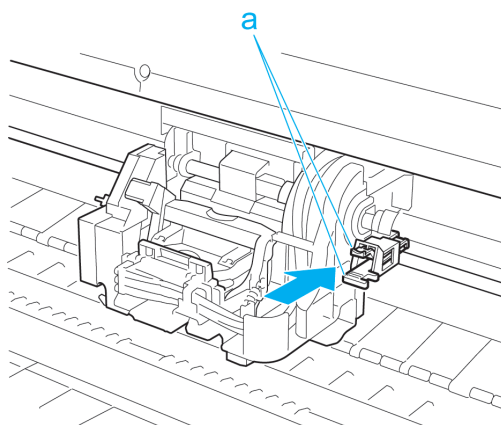
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
   キャリッジが移動し、ディスプレイに[上ｶﾊﾞｰを開けてください。]と表示されます。

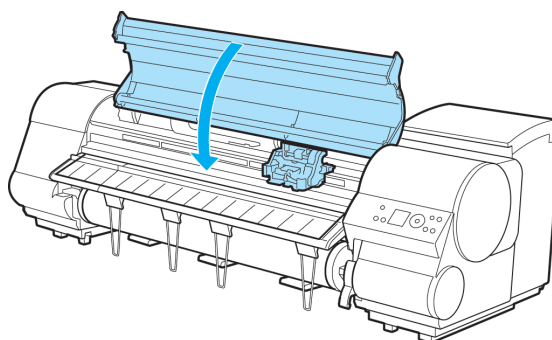
メモ
- 2 分以上何もしないと、シャフトクリーナ交換の処理がキャンセルされ、自動的にオンラインモードになります。その場合は、手順をやり直してください。

11

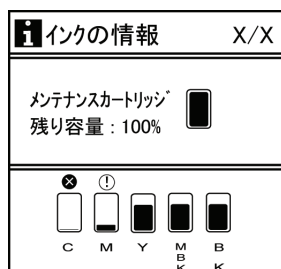
5. 上カバーを開きます。

メモ

- プリントヘッド固定レバーを前側に開かないでください。
  プリントヘッド固定レバーを前側に開くと、インクの吸引が実行され、インクを消費してしまいます。

6. キャリッジの右側にあるシャフトクリーナを、つまみ(a)を持って手前に引き抜きます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

7. 新しいシャフトクリーナのキャップを取り外し、つまみ(a)を持ってキャリッジに取り付けます。
シャフトクリーナは、カチッと音がするまで押し込んでください。

メモ
- 使用済みのシャフトクリーナは、新しいシャフトクリーナのキャップを取り付けて、必ず小箱に入れ、使用済みのメンテナンスカートリッジといっしょに梱包箱に入れて処理してください。

8. 上カバーを閉じます。

キャリッジが移動し、オンラインモードになります。

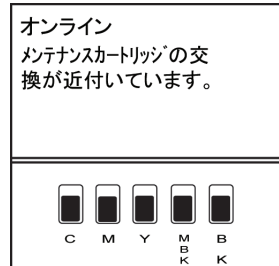
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

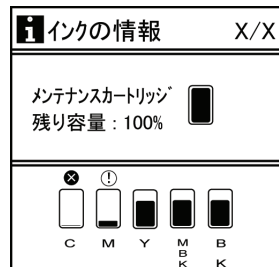
メンテナンスカートリッジは、フチなし印刷、ヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、ディスプレイに表示されるメンテナンスカートリッジの残り容量で確認できます。
[インフォメーション]キーを押すと、ディスプレイにメンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンタの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを交換してください。
(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767

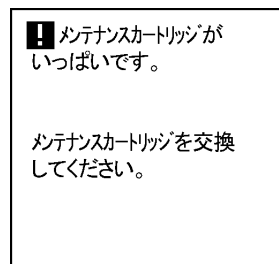
メンテナンスカートリッジの交換時期について

以下の場合、メンテナンスカートリッジを準備または交換してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ確認のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなると、メッセージランプが点灯し、[ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞの交換が近付いています。]と表示されます。印刷は継続されますが、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、交換用の新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。(「メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する」参照) →P.774

メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合

ヘッドクリーニングの実行やプリントヘッドの交換、プリンタの輸送の準備をする場合、メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減ります。(特に、プリンタの輸送の準備をする場合は、大幅に減ります。)
[インフォメーション]キーを押してメンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを交換してからメンテナンスを実行してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなると、メッセージランプが点滅し、ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示され、印刷、プリントヘッドの交換、プリンタの輸送ができません。新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。

プリンタの清掃

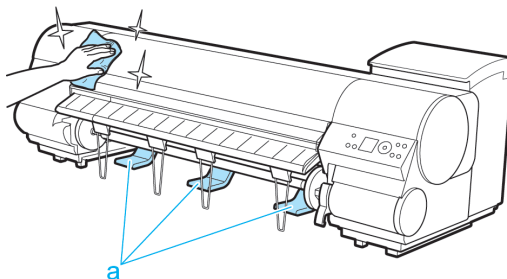
プリンタの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンタは定期的に清掃してください。
快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、プリンタの外装を清掃してください。

1. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

2. コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

注意
• 必ず、プリンタの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3. 水を含ませて固く絞った布でプリンタの外装、給紙口(a)、電源コードのプラグ部などの汚れや紙粉をふき取り、乾いた布で乾ぶきします。

注意
• シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
• 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。
(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776

4. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

上カバー内部を清掃する

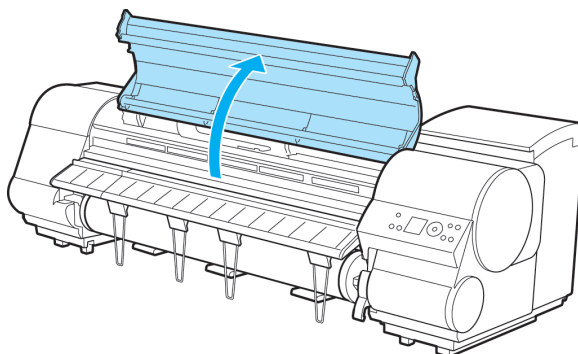
印刷品質の保持やトラブル防止のために、上カバー内部を清掃してください。
また、快適にご使用いただくために、以下の場合に上カバー内部を清掃してください。

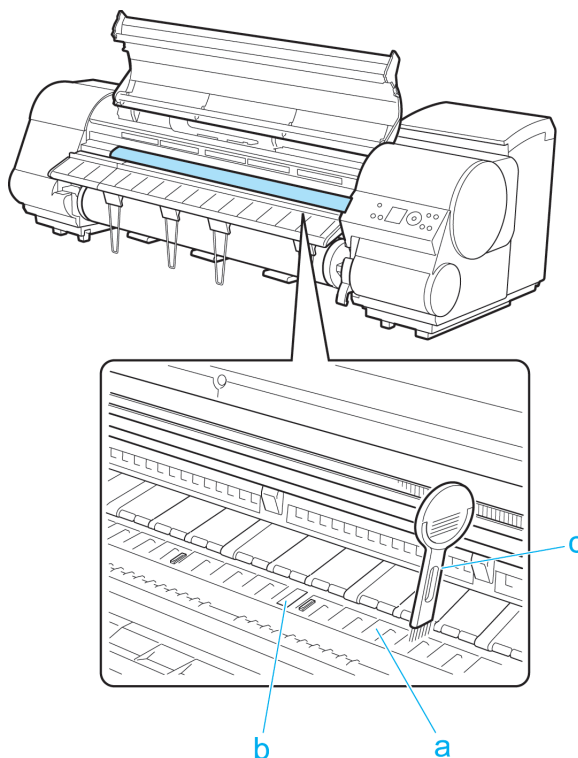
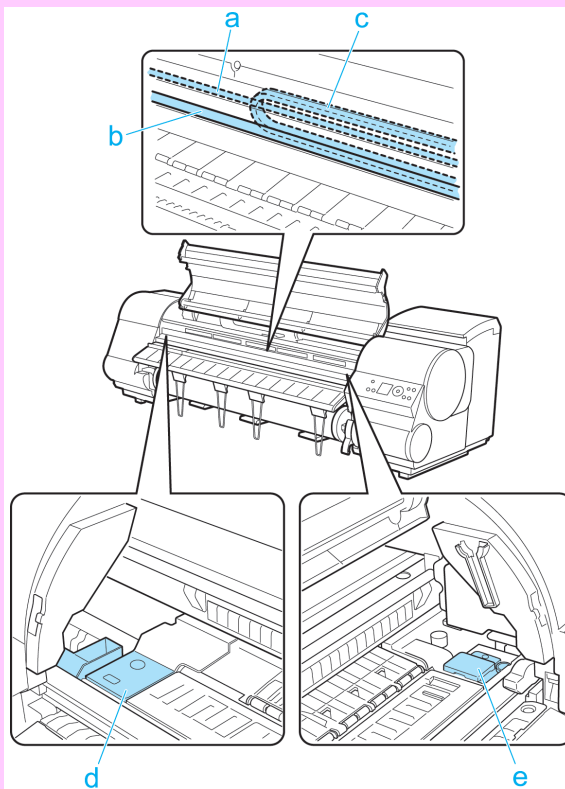
- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ロール紙 1 本を使い切った場合
- フチなし印刷を実行した場合
- 小さい用紙に印刷した場合
- カット屑が多く出る用紙に印刷した場合

- ロール紙を交換した場合
- 紙粉が多く出る用紙に印刷した場合
- ［ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁが汚れています。］とディスプレイに表示されている場合

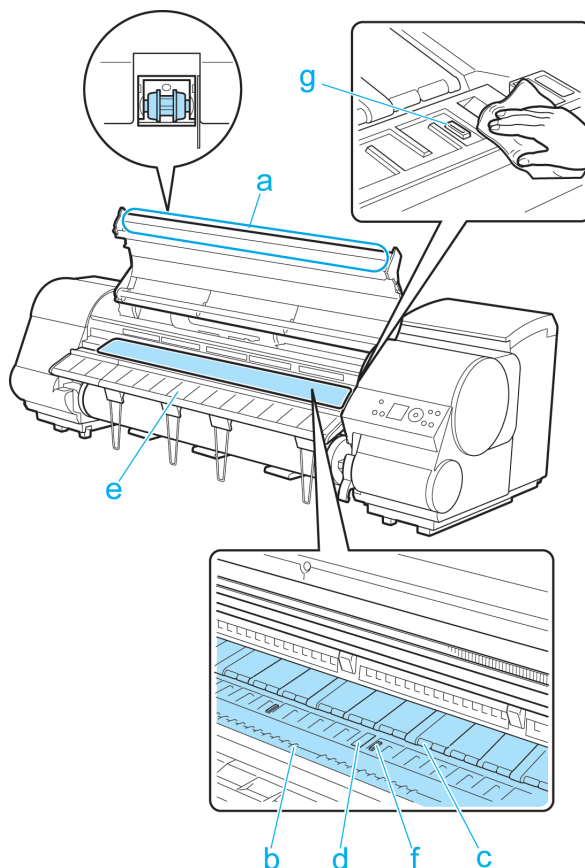
重要

- 上カバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。フチなし印刷を実行した後や小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをお勧めします。
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

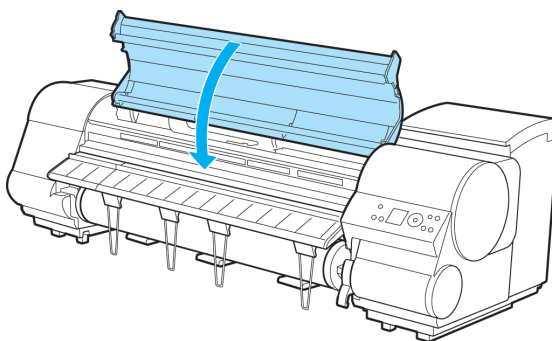
1. 上カバーを開きます。

2. プラテン上の吸引口(a)、フチなし印刷インク受け溝(b)に紙粉がたまっている場合は、プリンタに同梱されているクリーナブラシ(c)で掃き取ります。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。
  また、キャリッジの退避位置(d)、(e)は清掃しないでください。

メモ

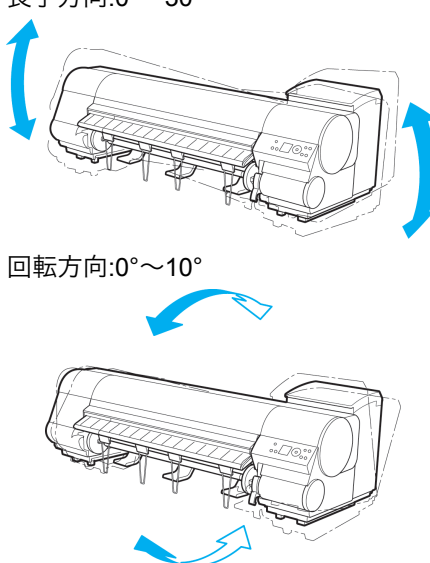
- クリーナブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

3. 水を含ませて固く絞った布で、上カバー内部のインクの汚れや紙粉(カット屑など)をふき取ります。
上カバーローラ(a)、プラテン全域(b)、用紙押さえ(c)、フチなし印刷インク受け溝(d)、排紙ガイド(e)、青いスイッチ(f)、右端のフチなし印刷インク受け溝(g)などのインクの汚れや紙粉(カット屑など)をふき取ります。

重要

- 上カバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 上カバーローラの脇に付いている透明なシートには触れないでください。破損の原因になります。

4. 上カバーを閉じます。

その他のメンテナンス

プリンタの輸送の準備をする

プリンタを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。
プリンタの梱包作業、輸送後の設置作業については、セットアップガイドを参照してください。

重要

- プリンタを輸送する場合は、必ずキヤノンお客様相談センターへご連絡ください。適切な対応を行わずにプリンタ本体を傾けたり立てたりすると、内部のインクが漏れ出し、故障の原因になります。

メモ

- ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換または残り容量の確認を指示するメッセージが表示されている場合は、輸送の準備はできません。メンテナンスカートリッジを交換してから、輸送の準備をしてください。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767
- 輸送の準備時(輸送準備のためのメニュー実行時)に、プリンタの状態によっては、部品交換が必要な場合があります。
- 以下の表のレベル 2 またはレベル 3 の輸送を行う場合、インク抜きの処理が行われます。事前にメンテナンスカートリッジを準備してください。
- 以下の表のレベル 3 の輸送を行う場合は、必ず担当サービスの指示に従ってください。

レベル	輸送形態(例)	傾け許容角度	廃インク量	必要なメンテナンスカートリッジ(*1)
1	トラックによる輸送	長手方向:0°～30° 回転方向:0°～10°	0	0 または 1
2	飛行機による輸送	全方向:0°～30°	約 200ml	1 または 2
3	エレベータや階段で傾けたり立てて行う輸送	長手方向:0°～90° 回転方向:0°～30°	約 700ml	2 または 3

*1:必要なメンテナンスカートリッジの個数は、使用中のメンテナンスカートリッジの容量により異なります。

1. 用紙を取り外します。
    - ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586
    - カット紙の場合(「カット紙を取り外す」参照) →P.607

2. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

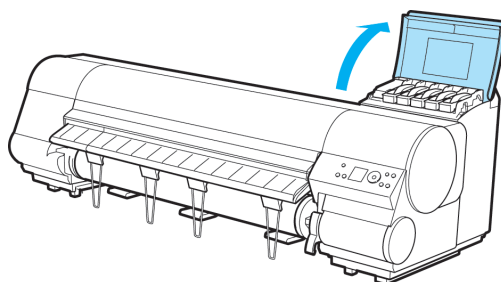
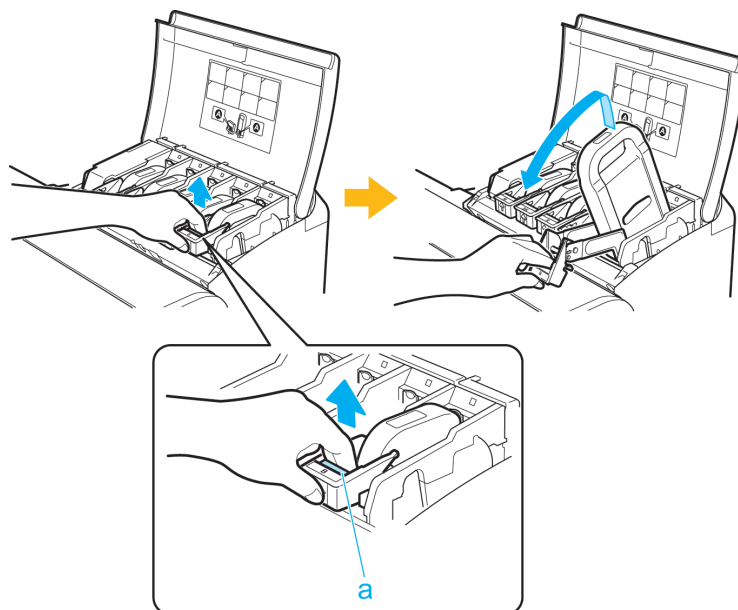
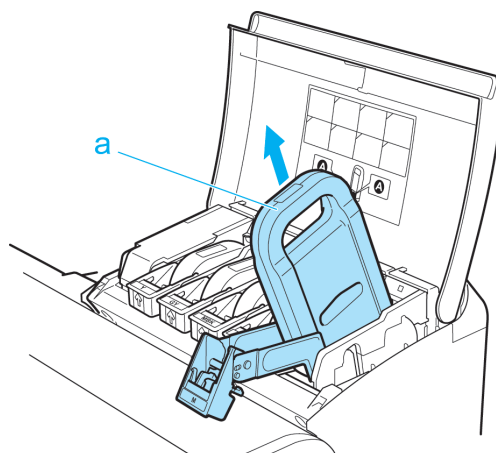
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[▶]キーを押します。

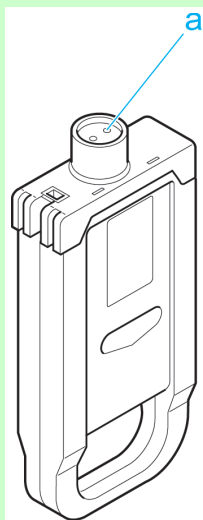
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[本体輸送]を選択し、[▶]キーを押します。

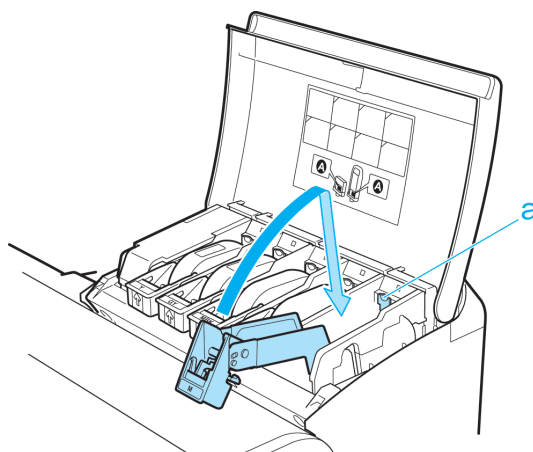
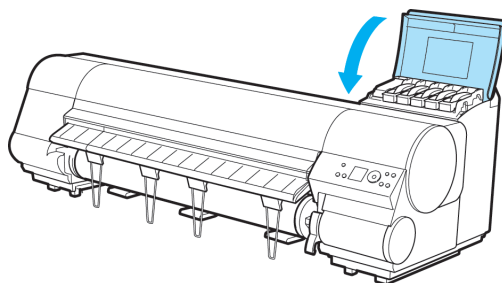
5. [▲]キー、[▼]キーを押して輸送のレベルを選択し、[OK]キーを押します。

6. ディスプレイに、[本体輸送については、必ず担当ｻｰﾋﾞｽにご相談の上、実行してください。]と表示されますので、[OK]キーを押してください。
ディスプレイに[しばらくお待ちください。]と表示されます。
    - 手順 5 で[ﾚﾍﾞﾙ1]を選択し、本体輸送処理が完了すると、ディスプレイに[本体輸送処理が完了しました。電源を切ってください。]と表示されますので、手順 14 以降の作業を行ってください。
    - 手順 5 で[ﾚﾍﾞﾙ2]または[ﾚﾍﾞﾙ3]を選択した場合は、準備が完了すると、ディスプレイにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。手順 7 以降の作業を行ってください。

重要
- 消耗部品の交換が必要な場合は、ディスプレイに[消耗部品の交換が必要です。担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。]と表示され、準備ができません。このメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押して、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

7. インクタンクカバーを開きます。

8. インクタンク固定レバーのストッパー(a)を持ち上げて、インクタンク固定レバーを止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

9. インクタンクを取り出します。

メモ

- 取り出したインクタンクは、インク供給部(a)を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

10. 手順 8〜9 を繰り返し、すべてのインクタンクを取り出します。

11. 図の解除レバー(a)を押しながら、すべてのインクタンク固定レバーを静かに元の位置に戻します。

12. インクタンクカバーを閉じます。

チューブ内のインクが吸引されます。

重要

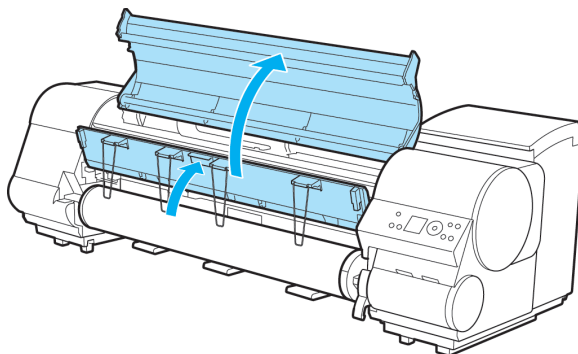
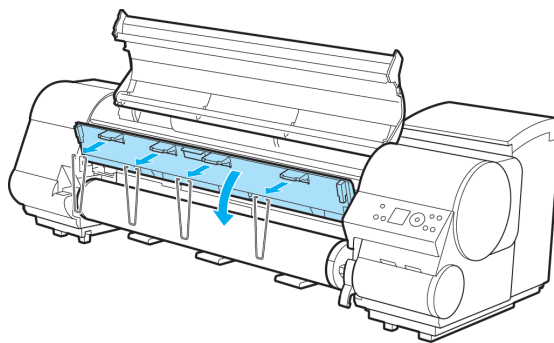
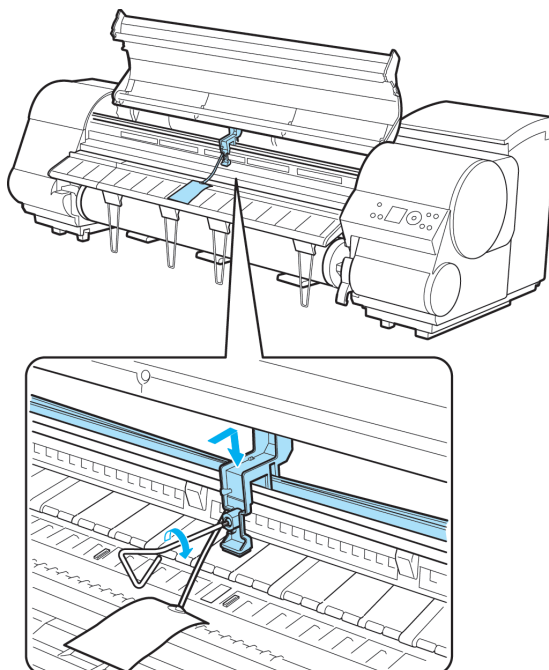
- 吸引中はメンテナンスカートリッジを取り外さないでください。

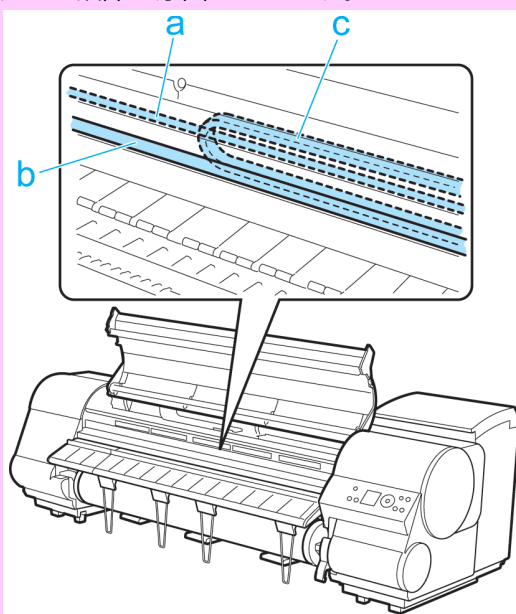
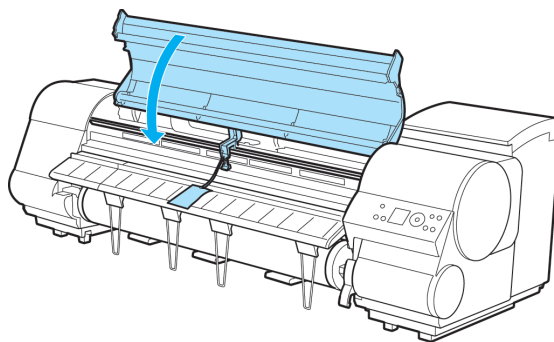
処理が終わると、[本体輸送処理が完了しました。電源を切ってください。]と表示されます。

13. [電源]キーを押して、電源をオフにします。

> **重要**
>
> - 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンタの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けてオフラインになった後、最初からやり直してください。

14. 電源コード、アース線、インタフェースケーブル、および巻き取り装置用電源コネクタを取り外します。

15. 上カバーを開き、排紙ガイドを上げます。

16. 4 本の排紙サポートを取り外し、排紙ガイドを下げます。

17. ベルトをつまんでベルトストッパに挟み、図の位置にベルトストッパを六角ビスで固定します。

重要

- ベルトストッパは、開梱時に取り外して保管しておいたものを取り付けてください。ベルトストッパを取り付けないと、故障の原因になります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

18. 上カバーを閉じます。

19. 開梱時と逆の手順でプリンタの各カバーをテープで固定します。

20. スタンド固定型バスケットを取り付けている場合は、スタンド固定型バスケットを取り付け時と逆の手順で取り外します。

21. プリンタ本体を取り付け時と逆の手順でスタンドから取り外します。

22. スタンドを、設置時と逆の手順で分解して梱包します。

23. ロールホルダー、ホルダーストッパ、プリンタなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアをアップデートすることにより、プリンタの機能を改善したり、新しい機能を追加することができます。

ファームウェアのバージョンを調べる

1. [メニュー]キーを押して、[メインメニュー]を表示します。

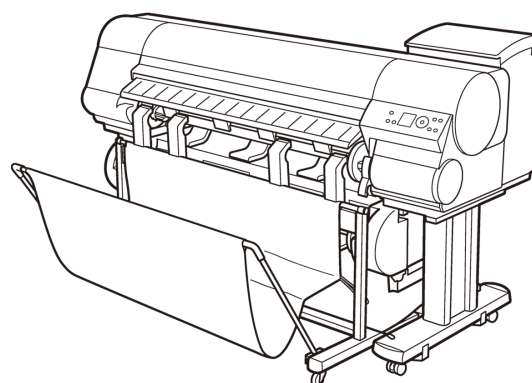
2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ]を選択し、[▶]キーを押します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｽﾃﾑ情報]を選択し、[OK]キーを押します。
ファームウェアのバージョンが表示されます。

ファームウェアをアップデートする

最新のファームウェアは、キヤノンのホームページから入手できます。ファームウェアのバージョンを調べて、ホームページのファームウェアの方が新しい場合は、ファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのダウンロードとアップデートの詳細については、キヤノンのホームページを参照してください。

困ったときには

よくある質問

よくある質問

ここでは、よくある質問とその回答を紹介しています。回答欄のリンクをクリックすると、詳しい説明が表示されます。

質問	回答
ロール紙に印刷するには？	ロール紙に印刷する場合は、ロール紙をセットした後、操作パネルとプリンタドライバの両方で用紙の種類や長さを設定します。 ⇒「ロール紙をセットして印刷する →P.3 」
カット紙に印刷するには？	カット紙に印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定した後、用紙をセットします。 ⇒「カット紙をセットして印刷する →P.7 」
ロール紙とカット紙との給紙方法を切り替えたい。	[給紙選択]キーを押すと、給紙元をロール紙またはカット紙に切り替えられます。 ⇒「給紙元を選択する →P.583 」
用紙のサイズや種類を変更したい。	操作パネルとプリンタドライバの両方で用紙の種類とサイズを設定します。 • プリンタドライバで設定する ⇒「プリンタドライバで用紙を指定する →P.61 」 • 操作パネルで設定する 用紙の種類選択 ⇒「用紙の種類を選択する（ロール紙） →P.584 」 ⇒「用紙の種類を選択する（カット紙） →P.601 」 用紙のサイズ選択 ⇒「用紙の長さを設定する（ロール紙） →P.585 」
印刷したロール紙をカットするには？	インクが乾燥するのを待ってからカットしたり、任意の位置でカットしたりできます。 ⇒「ロール紙のカット方法を設定する →P.593 」
フチなし（余白なし）で印刷したい。	ロール紙にフチなしで印刷できます。プリンタドライバで原稿を用紙サイズに合わせてフチなし印刷することも可能です。 フチなし印刷をする際は、プラテン上の青いスイッチを●側に設定してください。 また、カット紙にはフチなし印刷することはできません。 ⇒「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.94 」 ⇒「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.101 」 ⇒「原寸大のフチなしで印刷する →P.87 」 ⇒「プラテン上の青いスイッチを設定する →P.809 」
A4 サイズを A2 サイズに大きくして印刷したい。	プリンタドライバで原稿を用紙のサイズや幅に合わせたり、倍率を指定して拡大/縮小の設定をして印刷できます。 ⇒「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.62 」 ⇒「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.68 」 ⇒「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.73 」
用紙を無駄なく印刷したい。	プリンタドライバで原稿を 90 度回転させて余白を減らしたり、上下の余白をなくして印刷することができます。 ⇒「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.157 」 ⇒「原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.162 」
A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙に印刷するとできる、右側の大きな余白がもったいない。	プリンタドライバの設定で A4 サイズの原稿を 90 度回転させると、A3 サイズの用紙の幅をいっぱいに使って A 4 サイズを印刷できます。 ⇒「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.157 」

質問	回答
横長(縦長)の用紙に印刷したい。	横長または縦長の原稿をロール紙の幅に合わせて自動的に拡大し、簡単に垂れ幕や横断幕などを印刷できます。 ⇒「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) →P.109 」
オリジナルサイズの用紙に印刷したい。	プリンタドライバで一時的にカスタムサイズを設定して印刷できます。 ⇒「定形外の用紙に印刷する →P.118 」
オリジナルサイズの用紙を登録したい。	プリンタドライバの[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで任意のサイズ(ユーザ定義用紙)を登録できます。 ⇒「定形外の用紙に印刷する →P.118 」
線を太く印刷したい。	プリンタドライバで[細線強調]を設定すると、細い線を太くし、見やすく印刷できます。 ⇒「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.53 」
色味を変更したい。	プリンタドライバで好みの色に調整して印刷できます。 ⇒「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.44 」
プリンタドライバで設定した内容を、繰り返し使いたい。	設定内容をお気に入りに登録すれば、いつでもその設定で印刷できます。 ⇒「お気に入りの設定で印刷する →P.182 」
[Color imageRUNNER]と連携できると聞いたのですが?	[Color imageRUNNER]と連携して、スキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷できます。 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.280 」 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.498 」
[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を拡大してプリントしたい。	Color imageRUNNER 連携拡大コピー(iR 連携)機能を使えば、[Color imageRUNNER]で原稿をスキャンして、プリンタで自動的に拡大して印刷できます。 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.280 」 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.498 」

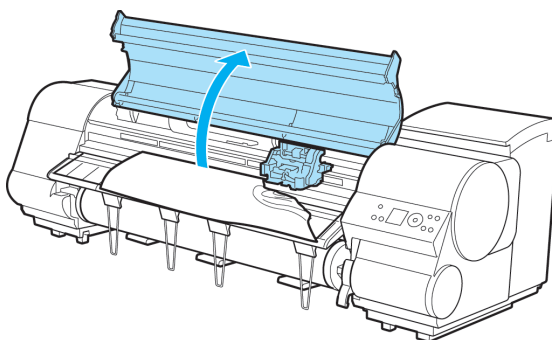
用紙に関連するトラブル

ロール紙のつまりを取り除く

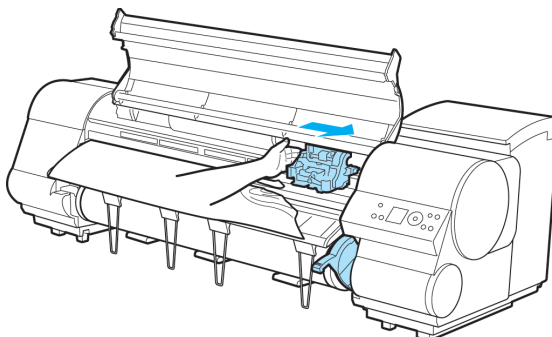
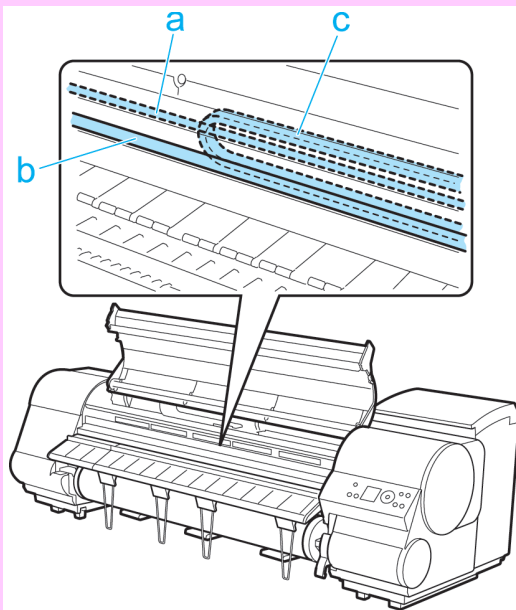
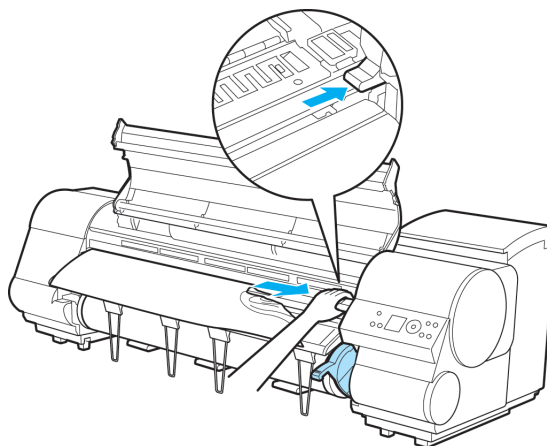
ロール紙がつまったときは、以下の手順でロール紙を取り除きます。

メモ

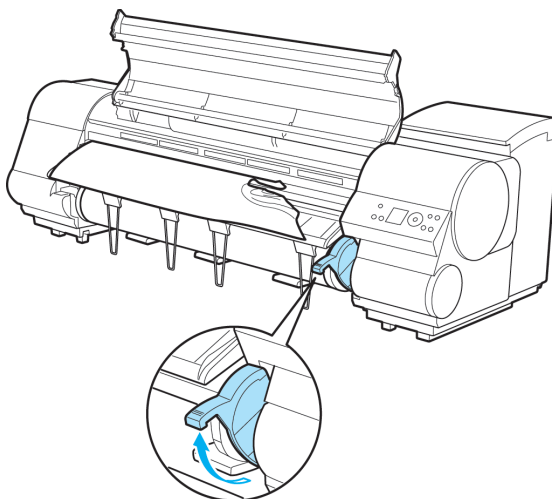
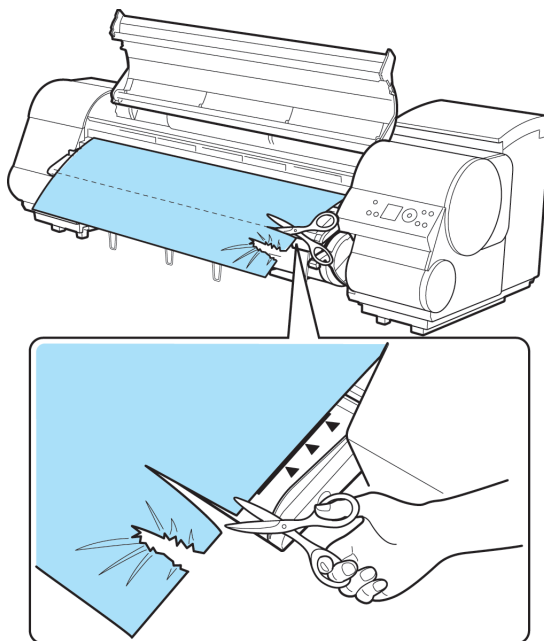
- 紙片など、つまった用紙が見つからない場合は「つまった用紙が見つからない場合は」を参照してください。→P.796

1. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

2. 上カバーを開きます。

3. キャリッジが出ている場合は、用紙から離すように、キャリッジを移動します。

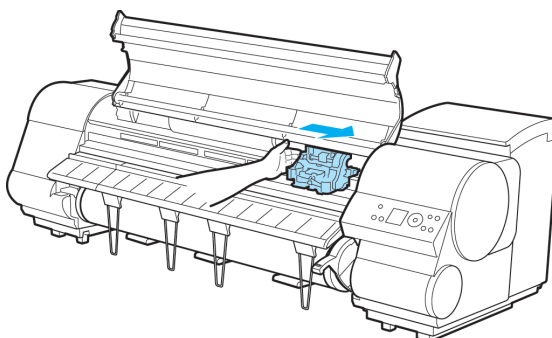
重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

4. カッターが出ている場合は、用紙から離すように、カッターを右端へ移動します。

重要

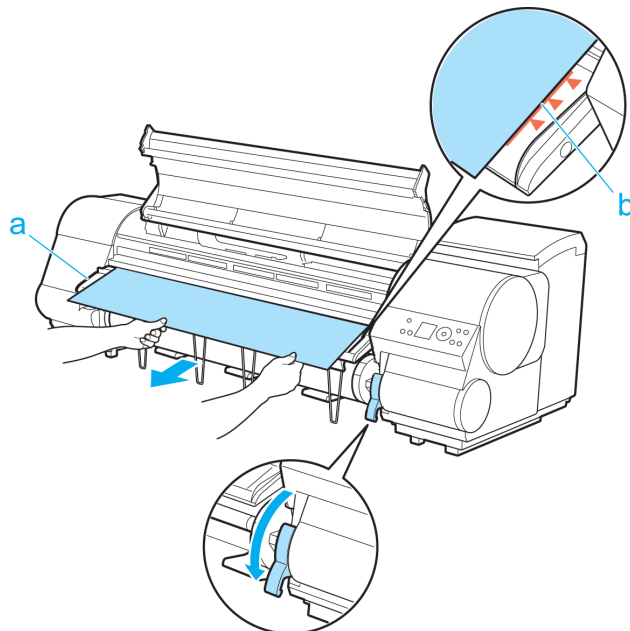
- カッターが左端にある場合は必ず右端に移動してください。カッターが左側にあると、電源をオンにしたときに用紙が破れてしまう場合があります。

5. リリースレバーを上げます。

6. 用紙の左右を持ってつまった用紙を前側に引き出し、印刷済みの部分やしわになっている部分をはさみなどでカットします。

注意

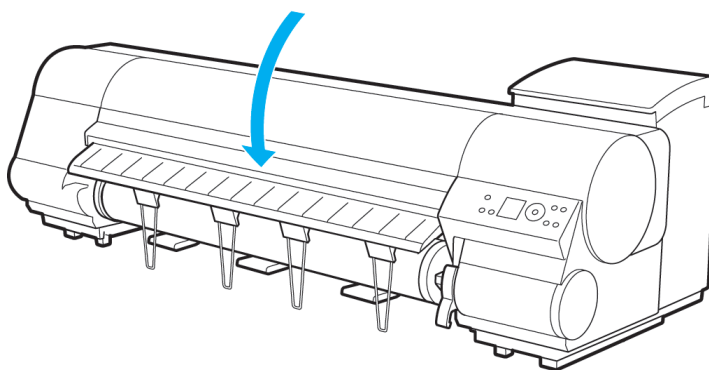
- カットするときに、ケガをしたり、プリンタに傷を付けたりしないように注意してください。

7. キャリッジが左端にある場合は、キャリッジを右端に止まるまで移動します。

重要

- キャリッジは必ず右端に移動してください。キャリッジが左側にあると、電源をオンにしたときにキャリッジエラーが表示される場合があります。

8. ロール紙の先端中央を持って排紙ガイド(a)の位置まで左右均等に軽く引きながら、ロール紙の右端を紙合わせライン(b)に平行になるように合わせて、リリースレバーを下げます。

重要

- ロール紙を無理に引っ張って紙合わせライン(b)に合わせないでください。ロール紙がまっすぐ送られない場合があります。
- ロール紙を引き出しすぎると、ロール紙の先端を必要以上にカットしてしまいます。

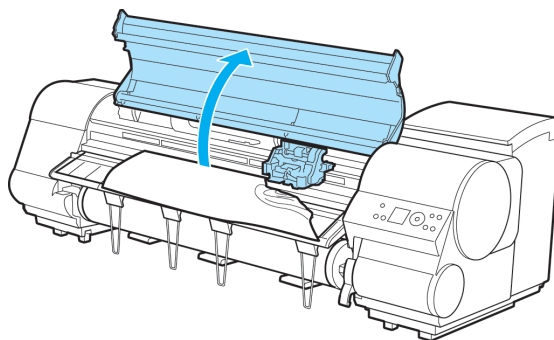
9. 上カバーを閉じます。

10. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643
ロール紙の給紙が始まります。完了すると、印刷可能な状態になります。

メモ

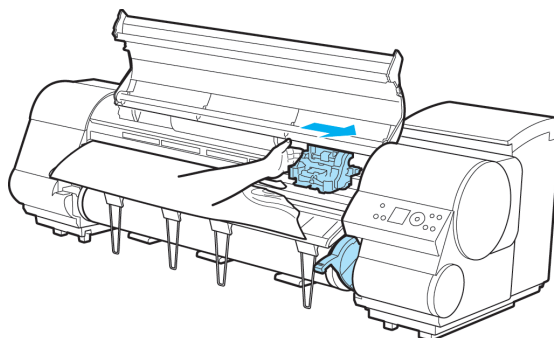
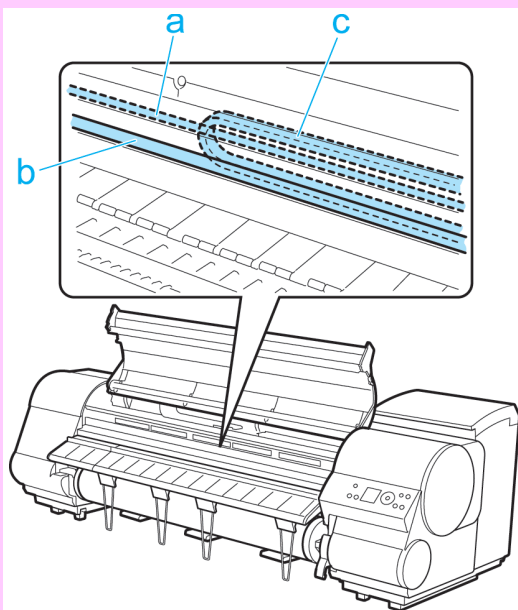
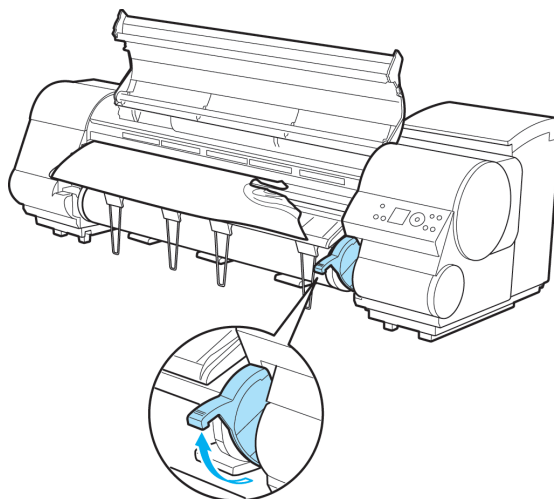
- 先端をよりきれいに揃えたい場合は、プリンタのメニューから[用紙ｶｯﾄ]を行ってください。
(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.593

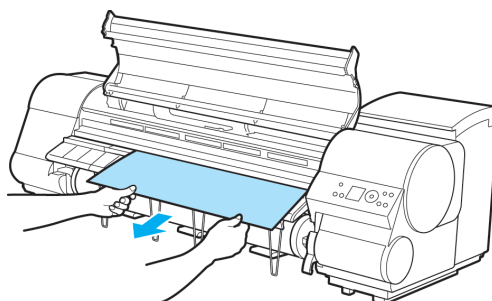
カット紙のつまりを取り除く

カット紙がつまったときは、以下の手順でカット紙を取り除きます。

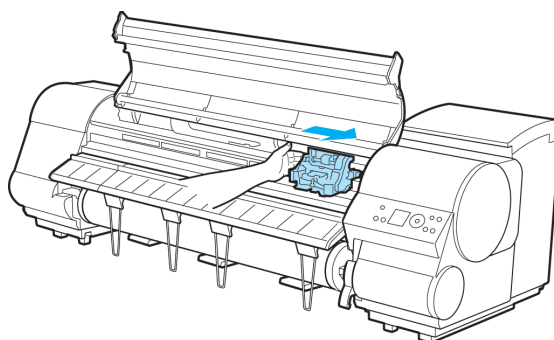
1. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

2. 上カバーを開きます。

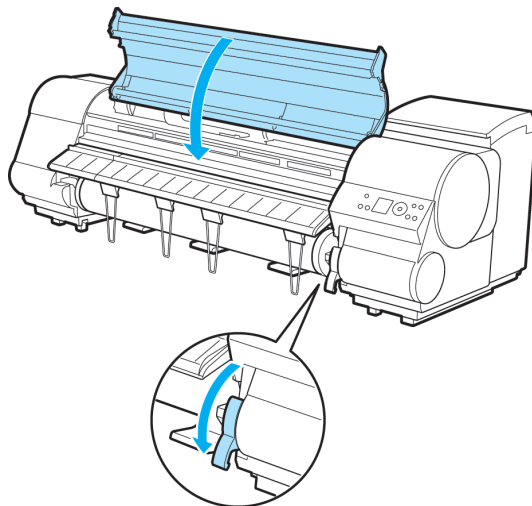
3. キャリッジが出ている場合は、用紙から離すように、キャリッジを移動します。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)、インクチューブスタビライザー(c)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

4. リリースレバーを上げます。

5. 用紙を持って前側に引き抜きます。

メモ

- 紙片など、つまった用紙が見つからない場合は、「つまった用紙が見つからない場合は」を参照してください。→P.796

6. キャリッジが左端にある場合は、キャリッジを右端に止まるまで移動します。

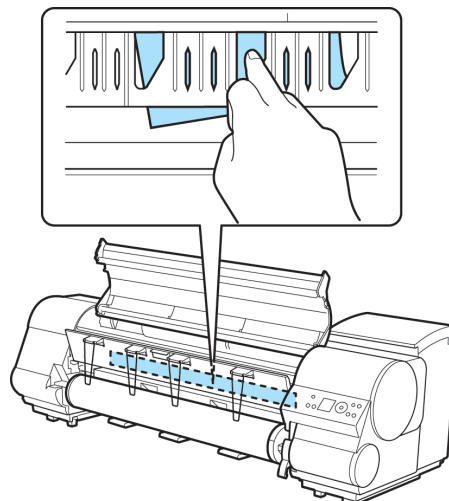
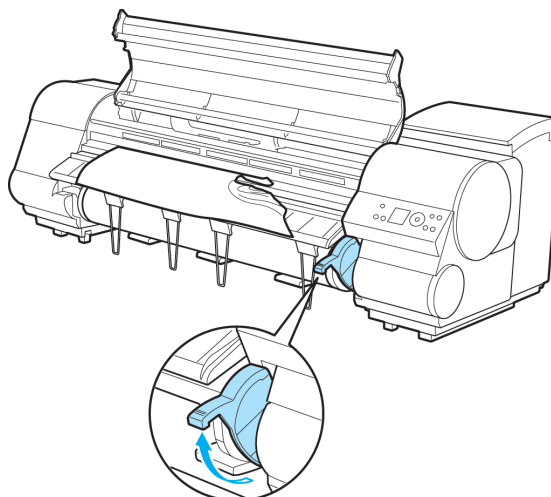
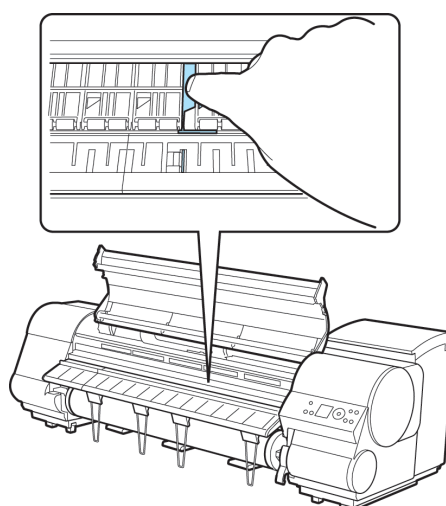
重要

- キャリッジは必ず右端に移動してください。キャリッジが左側にあると、電源をオンにしたときにキャリッジエラーが表示される場合があります。

7. リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

8. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

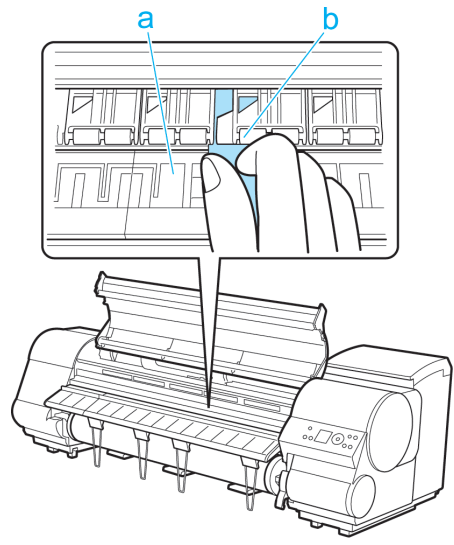
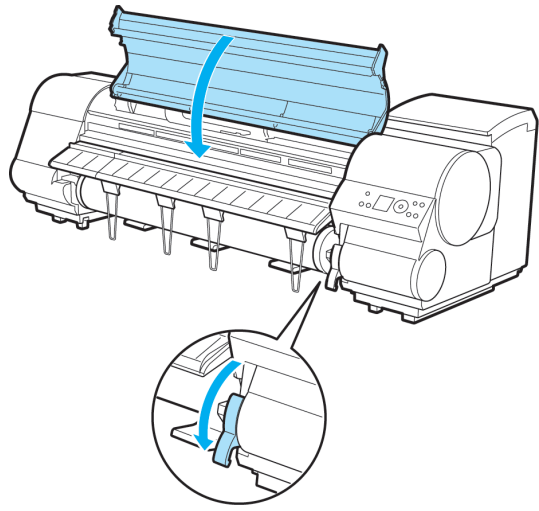
つまった用紙が見つからない場合は

つまった用紙が見つからない場合は、以下の手順でつまった用紙を探します。

1. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

2. プリンタ下部に用紙がないかを確認し、つまっている用紙があれば指で床に落とします。

3. リリースレバーを上げます。

4. 上カバーを開き、図の位置につまっている用紙がある場合は指で奥に押し込みます。

用紙が床またはプリンタ下部に落ちます。

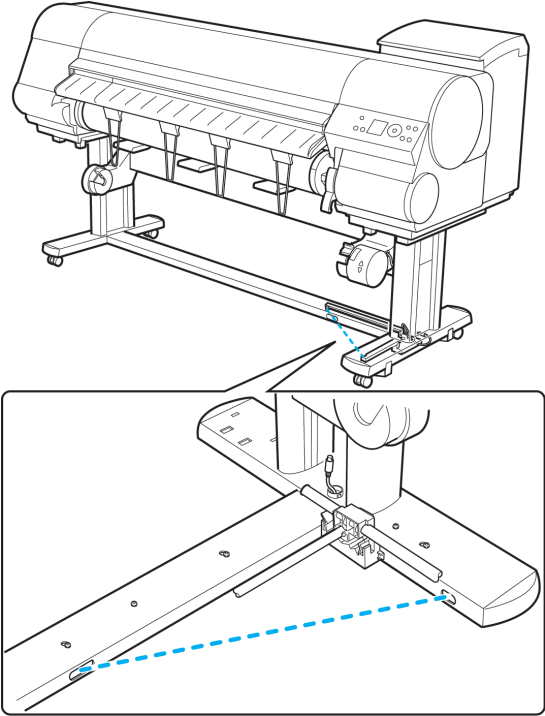
メモ

- プリンタ下部に用紙が残った場合は、指で床に落とします。
- 用紙が床にもプリンタ下部にも落ちてこない場合、A4 の用紙を 4 つ折りにし、プラテン（a）と用紙押さえ（b）の間に差し込み、つまっている用紙を押し出してください。

5. リリースレバーを下げ、上カバーを閉じます。

6. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.643

ロール紙が給紙口に入らない

原因	処置
ロール紙がカールしています。	カールを直して、ロール紙をセットし直します。

カット紙をセットできない

原因	処置
給紙元の選択が間違っています。	[給紙選択]キーを押して、[カット紙ランプ]を点灯させます。

用紙をきれいにカットできない

原因	処置
用紙のカット位置の端部が折れ曲がっています。	用紙の端部の折れ曲がりを直します。
カット時に用紙のカット位置の端部が浮き上がっています。	用紙を正しくセットし直します。

用紙がカットされない

原因	処置
プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]または[カットラインを印刷]を選択しています。	プリンタドライバの[オートカット設定]で[あり]を選択します。
[メインメニュー]の[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]で[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]または[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]を選択しています。	[メインメニュー]の[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]で[自動ｶｯﾄ]を選択します。
巻き取り装置を使用しているときは、ロール紙はカットされません。	操作パネルから[用紙ｶｯﾄ]を実行するか、リリースレバーを上げて、ロール紙をはさみでカットしてください。(「印刷した用紙を巻き取り装置から取り外す」参照) →P.705

巻き取り装置が回転し続ける

原因	処置
巻き取りセンサーの経路(破線部)に異物があります。 	異物を巻き取りセンサーの経路から取り除きます。バスケット布やバスケットロッドは、巻き取りセンサーをさえぎらないように置いてください。
巻き取りセンサーのコードが巻き取り装置 R に正しく接続されていません。	以下の手順で、巻き取りセンサーのコードを接続し直します。 **1.** プリンタ本体の電源をオフにします。

原因	処置
巻き取りセンサーのコードが巻き取り装置 R に正しく接続されていません。	**2.** 巻き取りセンサーのコードを、巻き取り装置 R からいったん取り外し、再度奥までしっかりと差し込みます。 **3.** プリンタの電源をオンにします。 （「巻き取り装置を使用する」参照） →P.698
	再び巻き取り装置が回転し続ける場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

クリアフィルムのサイズを検知できない

原因	処置
プラテンがインクなどで汚れています。	上カバーを開いて、プラテン全域を清掃します。（「上カバー内部を清掃する」参照） →P.776

印刷が開始されない

操作パネルのデータランプが点灯しない

原因	処置
プリンタの電源が入っていません。	電源コードがしっかり奥まで接続されていることを確認します。[電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
印刷時に目的のプリンタが選択されませんでした。(プリンタはスリープ状態です。)	Windows の場合は、印刷ダイアログボックスの[プリンタの選択]や[プリンタ設定]でプリンタを選択し、印刷し直します。
	Mac OS X の場合は、プリンタドライバのダイアログボックスを開き、[プリンタ]の一覧からプリンタを選択し、印刷し直します。
印刷ジョブが一時停止になっています。(プリンタはスリープ状態です。)	Windows の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 **1.** [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウのプリンタのアイコンを選択します。 **2.** [ファイル]メニューから[一時停止]を選択してチェックを外し、一時停止を解除します。
	Mac OS X の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 **1.** [プリントとファクス](OS のバージョンによっては[プリンタ設定ユーティリティ]または[プリントセンター])を開きます。 **2.** プリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[プリンタを再開](または[ジョブを開始])を選択し、一時停止を解除します。

印刷データを送信してもプリンタが動かない

原因	処置
プリンタがオフラインモードになっています。	操作パネルの[オンライン]キーを押して、オンラインモードにします。
プリンタの[出力方法]で、[ボックス保存]を選択して印刷しました。	ハードディスクに保存したジョブを印刷します。 (「保存したジョブを印刷する」参照) →P.532

ディスプレイにｲﾝｸ充填中です。と表示された

原因	処置
プリンタの動作中に、強制的に電源を切ってしまいました。	インクの充填が完了するまでお待ちください。インクの充填は、10 分程度かかる場合があります。

ディスプレイに攪拌中です。と表示された

原因	処置
インク攪拌動作が実行されています。	攪拌の動作時間は、電源オフの経過期間により異なります(約 1 分 30 秒〜約 20 分)。攪拌動作中でも[オンライン]モードになれば印刷などの操作ができます。

プリンタが途中で停止する

ディスプレイにエラーメッセージが表示される

状態	処置
印刷中にエラーメッセージが表示されます。	エラーメッセージを確認し、必要な処置を行います。 (「エラーメッセージ一覧 →P.826 」参照)
印刷中にロール紙がなくなり、後端をテープで止められているロール紙が搬送できずに止まっています。	使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.588 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3

用紙が白紙で排紙される

状態	処置
ロール紙の先端が切り揃えられています。	正常な動作です。 プリンタのメニューの[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]で[ｵﾝ]が選択されている場合、および[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]で[自動]が選択されていてかつロール紙の先端が斜めに切られていた場合は、ロール紙をセットしたときに先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。給紙の準備が完了すると、印刷できる状態になります。 [先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]で[ｵﾌ]を選択すると、先端は切り揃えられず、白紙の紙片も排紙されません。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.758 ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.759
ご使用のプリンタに合っていないプリンタドライバから送信された印刷ジョブを受信しました。	ご使用のプリンタに合った imagePROGRAF プリンタドライバで印刷し直します。
[自動回転]が[ｵﾝ]に設定された状態で、HP RTL コマンドを含む印刷データを受信しました。	[自動回転]を[ｵﾌ]に設定し、印刷してください。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669
プリンタが故障しています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

印刷品質のトラブル

印刷がかすれる

原因	処置
用紙の裏面に印刷しています。	用紙の表面に印刷します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまり を確認します。 （「ノズルのつまりをチェックする」参照） →P.758
インクタンクを取り外したままプリンタを放置したため、インク供給部にインクがつまっています。	インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上経過してから、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行します。 （「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.759
上カバー内部に、つまった用紙の紙片が残っています。	以下の手順で、上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 1. [オンライン]キーを押して、オフラインモードにします。 2. 上カバーを開いて、プラテン上にキャリッジがないことを確認します。 3. 上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 （「ロール紙のつまりを取り除く」参照） →P.790 （「カット紙のつまりを取り除く」参照） →P.794 4. 上カバーを閉じます。
フチなし印刷で用紙をカットするときに、インクが乾燥していません。	プリンタのメニューで[用紙詳細設定]の[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]の設定時間を長くします。 （「メインメニューの設定値」参照） →P.669
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]の設定が[標準]または[速い]の場合、印刷がかすれることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高]または[きれい]を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 （「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照） →P.53

プリントヘッドが用紙にこすれる

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙が正しくセットされていないため、用紙が波打っています。	用紙をセットし直します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
プリントヘッドの高さが低く設定されています。	[ﾍｯﾄﾞ 高さ]で[自動]を選択します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、[吸着力]で[やや強い]または[強い]を選択します。それでもこすれる場合は、[ﾍｯﾄﾞ 高さ]でプリントヘッドの高さを[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
	トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの用紙の場合は、[吸着力]で[標準]、[やや強い]、または[強い]を選択します。それでもこすれる場合は、[ﾍｯﾄﾞ 高さ]でプリントヘッドの高さを[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
	厚さが 0.1 mm 以下の薄い用紙の場合は、[吸着力]で[弱い]を選択します。それでもこすれる場合は、[ﾍｯﾄﾞ 高さ]でプリントヘッドの高さを[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
プリンタに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、ディスプレイで選択した用紙の種類が合っていません。	用紙をプリンタにセットするときに、パネルのメニューから正しい用紙種類を選択します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602

用紙の端が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていません。	プリンタの用紙の種類を、プリンタドライバで指定した用紙の種類に合わせます。 (「用紙の種類を選択する(ロール紙)」参照) →P.584 (「用紙の種類を選択する(カット紙)」参照) →P.601

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタで指定した用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙にしわやカールがあります。	しわやカールを取ってから、用紙をセットし直します。一度印刷した用紙は使用しないでください。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
カット屑軽減機能がオンになっているため、用紙のカット位置にカット屑軽減ラインが印刷されています。	カット屑軽減機能が必要ない場合は、プリンタのメニューで[ｶｯﾄ屑軽減]をオフにします。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669
プリントヘッドの高さが低く設定されています。	[ﾍｯﾄﾞ 高さ]で[自動]を選択します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、[吸着力]で[やや強い]または[強い]を選択します。それでもこすれる場合は、[ﾍｯﾄﾞ 高さ]でプリントヘッドの高さを[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
	トレーシングペーパー(CAD)やフィルムベースの用紙の場合は、[吸着力]で[標準]、[やや強い]、または[強い]を選択します。それでもこすれる場合は、[ﾍｯﾄﾞ 高さ]でプリントヘッドの高さを[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
排紙ガイドが汚れています。	排紙ガイドを清掃します。 (「プリンタの外装を清掃する」参照) →P.776

用紙の表面が汚れる

原因	処置
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776
乾きにくい用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]を[1 分]程度に設定します。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669
	乾きにくい用紙に印刷すると、印刷中に用紙がカールし、排紙口に接触することがあります。 このような場合は、操作パネルのメニューで[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]の[乾燥時間]と[領域]を設定します。 ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669

用紙の裏面が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	[ｷｬﾘｯｼﾞ ｽｷｬﾝ幅設定]を[固定]に設定します。
用紙幅検知機能をオフにして印刷した結果、プラテン上に印刷され、プラテンが汚れています。	用紙幅検知機能をオンにし、上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776
	上カバーを開いてプラテンを清掃してから、ロール紙を手動でプラテン上に送って印刷します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776 (「ロール紙を手動で送る」参照) →P.590
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776

色味が違って印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]でカラー調整が実行されていません。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[カラーモード]の[色設定]で色を調整します。
コンピュータやモニタのカラー調整が実行されていません。	コンピュータやモニタの取扱説明書を参照して、コンピュータやモニタのカラー調整を実行します。
	カラーマネジメントソフトウェアの取扱説明書を参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.758
Windows 用のプリンタドライバで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスがオフになっています。	プリンタドライバの[レイアウト]シートで[処理オプション]をクリックし、表示されたダイアログで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスをオンにします。
繰り返し使用するうちに、だんだんプリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)」参照) →P.618 (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(手動ヘッド調整)」参照) →P.620
同一機種のプリンタでも、ファームウェアやプリンタドライバのバージョン、各項目の設定、使用環境が違うと、色味が変わることがあります。	以下の手順でプリンタの使用環境を揃えます。 **1.** ファームウェアやプリンタドライバのバージョンを同じものに揃えます。 **2.** 各設定項目を同じ設定にします。

色味の違うスジが入る

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.626
印刷ジョブの受信が途切れて、スムーズに印刷されていません。	他のアプリケーションや他の印刷ジョブを終了します。

原因	処置
プリンタのメニューの[紙送り調整]で[長さ優先]が設定されています。	[バンド合せ目優先]で印刷すると改善される可能性があります。 プリンタのメニューの[紙送り調整]で[バンド合せ目優先]を選択し、用紙の送り量を調整してから、印刷し直します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.626
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)」参照) →P.618
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまり を確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.758
[印刷品質]の設定が低い場合、印刷にスジが入ることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.53
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

色ムラが発生する

原因	処置
ベタ塗りが多い画像を、[線画・文字]で印刷しています。	プリンタドライバで[写真・イラスト]を選択します。
カールしやすい用紙に印刷しています。	カールしやすい用紙の場合、用紙先端で色ムラが発生することがあります。プラテン上の用紙の吸着力を強くするか、用紙の先端に 20 mm 以上の余白を設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633
[印刷品質]の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.53
画像に濃い部分と薄い部分がある場合、濃淡の境目に色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[片方向印刷]チェックボックスをオンにします。
フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.53

原因	処置
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)」参照) →P.618
重ねて乾燥させると、色ムラの原因となることがあります。	色ムラが出ないように、1 枚ごとに乾燥させることをお勧めします。
光沢紙、アート紙、コート紙を使用した場合、濃度ムラが発生する場合があります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高]または[きれい]を選択し、印刷します。
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
操作パネルのメニューで[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]の[領域]が[先端]に設定されています。	[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]の[領域]が[先端]に設定されている場合、用紙の先端から約 110〜160 mm の位置に色ムラが発生することがあります。(位置は[印刷品質]の設定により異なります) このような場合は、[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]の[領域]を[全域]に設定します。ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669

画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

原因	処置
プラテン上での用紙の吸着力が強すぎます。	[吸着力]で[弱い]を選択します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.633
	プラテン上の青いスイッチを、用紙のサイズに合わせて閉じます。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.809
プリントヘッドの高さが高く設定されています。	プリントヘッドの高さを低く設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.624
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

プラテン上の青いスイッチを設定する

印刷物に対する以下のような症状が気になる場合には、プラテン上の青いスイッチの設定を変更してください。

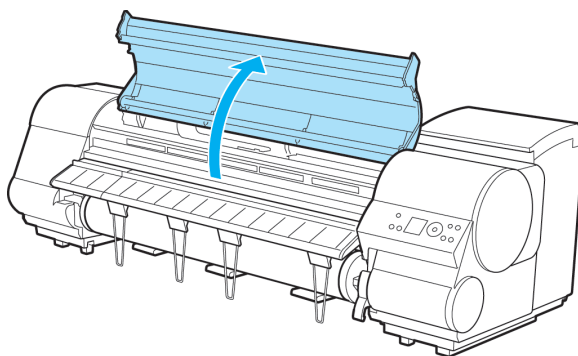
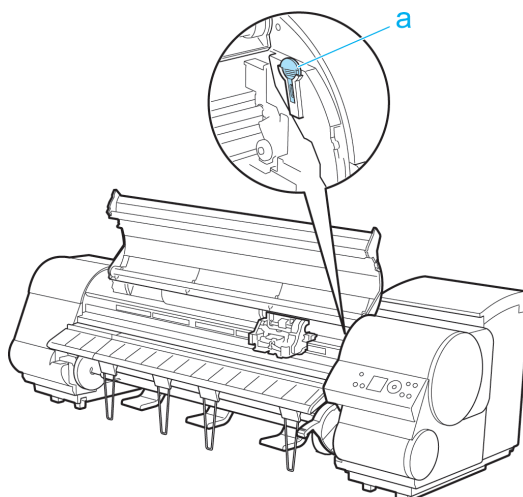
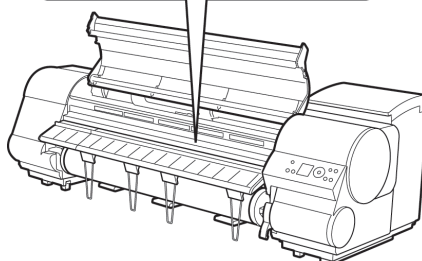
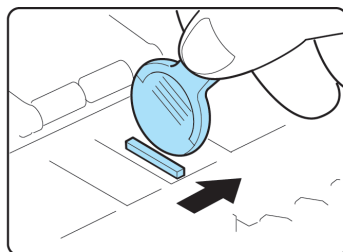
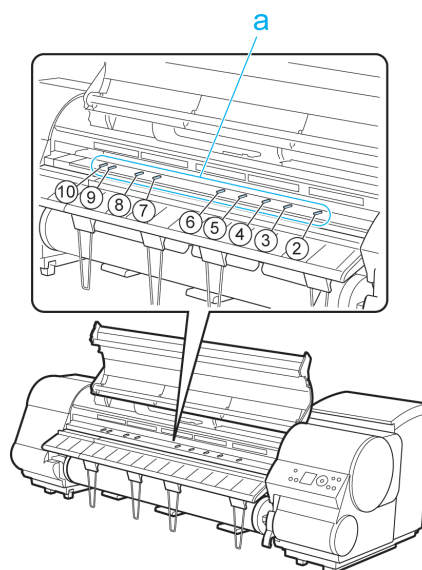
- 印刷した画像の端部がぼやける
- 印刷した画像の端部に、白いスジが入る

重要

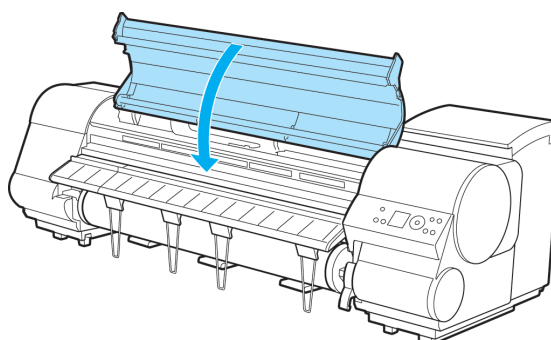
- フチなしで印刷する場合は、プラテン上の青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。

1. 使用しない用紙がセットされている場合は、取り外しておきます。

- ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586
- カット紙の場合(「カット紙を取り外す」参照) →P.607

2. 上カバーを開きます。

3. クリーナブラシを取り出します。

4. クリーナブラシの背を使い、1 番のスイッチを●の反対側に動かします。

5. 印刷する用紙サイズに一致するプラテン上の番号を、下の表で確認してください。

番号	用紙サイズ	寸法
2	[四切 (10"x12")]/[六切 (8"x10")]	254 mm(10 インチ)
3	[半切 (14"x17")]	355 mm(14 インチ)
4	[17 インチロール(431.8mm)]/[17"x22"/ANSI C]	432 mm(17 インチ)
5	[JIS B2]/[JIS B3]	515 mm(20 インチ)
6	[ISO A1]/[ISO A2]/[大全 (20"x24")]	594 mm(23 インチ) / 610 mm(24 インチ)
7	[ISO A0]/[ISO A1]	841 mm(33 インチ)
8	[36"x48"(ARCH E)]/[24"x36"(ARCH D)]	914 mm(36 インチ)
9	[JIS B0]/[JIS B1]	1030 mm(40.5 インチ)
10	[ポスター 42"x60"]	1067 mm(42 インチ)

6. クリーナブラシの背を使い、印刷する用紙サイズに一致する番号のスイッチを●の反対側に動かします。
この場合、動かす方向が手順 4 と逆になるので注意してください。

7. 上カバーを閉じます。

印刷中に周期的な濃淡差が発生する

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.626
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

印刷物の縦方向の長さが正確ではない

原因	処置
プリンタのメニューの[紙送り調整]で[バンド合せ目優先]が設定されています。	用紙の送り方向にサイズを正確に合わせたい場合は、プリンタのメニューの[紙送り調整]で[長さ優先]を選択し、[長さ調整]で調整値を入力します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.626 用紙の送り量は、0.02%の分解能で調整できます。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

印刷結果が斜めに印刷される

原因	処置
[斜行検知精度]が[ゆるめ]、または[オフ]に設定されています。	[斜行検知精度]を[標準]に設定してください。
[用紙幅検知]が[オフ]に設定されています。	[用紙幅検知]を[オン]に設定してください。

モノクロで印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ]、[モノクロ(黒インク)]、[モノクロ(二階調)]が設定されています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[カラー]を選択し、印刷し直します。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.758

線の太さが均一に印刷されない

原因	処置
Windows 用プリンタドライバの[処理オプション]ダイアログボックスで、[高速描画処理する]がチェックされている。	アプリケーションソフトの[ファイル]メニューの[印刷]から、プリンタドライバの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、以下をお試しの上、印刷してください。 **1.** [基本設定]シートの[印刷時にプレビュー画面を表示]のチェックを外してください。 **2.** [レイアウト]シートで、[ページレイアウト]のチェックを外してください。 **3.** [レイアウト]シートの[処理オプション]ボタンをクリックして開く[処理オプション]ダイアログボックスで[高速描画処理する]のチェックを外してください。
プラテン上の青いスイッチの設定が正しくない。	印刷する用紙サイズに一致する番号のスイッチを●の反対側に動かします。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.809
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

罫線がずれる

原因	処置
プリントヘッドの位置が調整されていません。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する(自動ヘッド調整)」参照) →P.618 (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(手動ヘッド調整)」参照) →P.620 (「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」参照) →P.621
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

用紙の種類による印刷品質のトラブル

用紙の種類によって生じる印刷品質のトラブルについては、用紙リファレンスガイドを参照してください。
(｢用紙の種類｣参照） →P.570

ネットワーク環境で印刷できない

プリンタをネットワークに接続できない

原因	処置
プリンタの Ethernet コネクタと Ethernet ケーブルが正しく接続されていません。	**1.** 正しい Ethernet ケーブルでプリンタがネットワークに接続されていることを確認し、プリンタの電源をオンにします。ケーブルの接続方法については、セットアップガイドを参照してください。 **2.** LINK ランプが点灯していることを確認します。 100BASE-TX で接続している場合は緑色、10BASE-T で接続している場合はオレンジ色に点灯します。 LINK ランプが点灯しない場合は、以下の点を確認してください。 • HUB の電源がオンになっていることを確認します。 • Ethernet ケーブルのコネクタが正しく接続されていることを確認します。Ethernet ケーブルは、カチッとロックするまで Ethernet コネクタに差し込んでください。 • Ethernet ケーブルに問題がないことを確認します。問題がある場合は、Ethernet ケーブルを取り替えてください。 • HUB との通信方式を確認します。プリンタは通常、HUB の通信モードや速度を自動で検出しますが（オートネゴシエーションモード）、HUB によっては、検出できない場合があります。その場合は、ご使用の通信方式に合わせて、手動で接続方式を設定してください。 （「通信方式を手動で設定する」参照） →P.724

TCP/IP ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの IP アドレスが正しく設定されていません。	プリンタの IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。 （「imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する」参照） →P.376 （「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照） →P.718
プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていることを確認します。 （「プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照） →P.721
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの TCP/IP 設定が正しく行われていることを確認します。 （「プリンタドライバの接続先を設定する」参照） →P.727 （「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」参照） →P.739

NetWare ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていることを確認します。特に、有効なフレームタイプが選択されていることを確認してください。 （「プリンタに NetWare ネットワークの設定をする」参照） →P.728
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの NetWare 設定が正しく行われていることを確認します。 （「NetWare ネットワークを設定する」参照） →P.735
NetWare のサーバーやサービスが正しく設定されていません。	以下の点を確認します。 1. NetWare サーバーが起動していることを確認します。 2. NetWare サーバーに十分なディスクの空き容量があることを確認します。ディスクの空き容量が不足すると、サイズの大きいジョブを印刷できない場合があります。 3. NWADMIN または PCONSOLE を起動し、プリントサービスが正しく設定され、プリントキューが使用可能であることを確認します。 4. 他のサブネットにあるプリンタへのデータの送信に失敗する場合は、プリンタのプロトコル設定で、NCP バーストモードをオフにします。 5. キューサーバーモードで使用している場合は、プリンタタイプを[その他/不明]に設定します。

AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの AppleTalk プロトコルが有効になっていません。	AppleTalk プロトコルを有効にします。 （「プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする」参照） →P.736
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータ側の AppleTalk 設定が正しく行われていることを確認します。 （「AppleTalk ネットワークで接続先を設定する」参照） →P.737 （「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」参照） →P.742
コンピュータとプリンタが同一のネットワーク上にありません。	Bonjour 機能では、ルーターを経由した別のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

インストールに関連するトラブル

インストールしたプリンタドライバを削除したい

コンピュータにインストールしたプリンタドライバやユーティリティソフトは、以下の手順で削除できます。

プリンタドライバを削除する（Windows）

プリンタドライバは、以下の手順で削除します。

メモ

- Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、Administrator アカウントに相当する管理者権限が必要です。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]－[Canon Printer Uninstaller]－[imagePROGRAF Printer Driver Uninstaller]を選択し、[プリンタの削除]ウィンドウを開きます。
2. 一覧からプリンタを選択し、[削除]をクリックします。
3. [警告]メッセージダイアログボックスで、[はい]をクリックします。
4. 一覧からプリンタが削除されたことを確認し、[終了]をクリックします。

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除する（Macintosh）

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor は、以下の手順で削除します。

1. プリンタに付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. User Software CD-ROM の中にあるプリンタドライバのインストーラを起動します。
   [OS X]フォルダ内の[iPF Driver Installer X]をダブルクリックします。
3. インストーラのウィンドウの左上のメニューから[アンインストール]を選択し、[アンインストール]をクリックします。
4. 画面に従って、プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除します。

imagePROGRAF Status Monitor を削除する（Windows）

imagePROGRAF Status Monitor は、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [imagePROGRAF Status Monitor]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

imagePROGRAF Device Setup Utility を削除する(Windows)

imagePROGRAF Device Setup Utility は、以下の手順で削除します。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]－[imagePROGRAF Device Setup Utility]－[Uninstaller (imagePROGRAF Device Setup Utility)]を選択し、ウィザードを起動します。

2. ウィザードのウィンドウで[削除]をクリックし、[次へ]をクリックします。

3. 画面に従って、imagePROGRAF Device Setup Utility を削除します。

HP-GL/2 関連のトラブル

HP-GL/2 で線/画像が欠けて印刷される。

原因	処置
メモリがいっぱいです。	データ容量を確認してください。
本プリンタでサポートされていない HP-GL/2 コマンドを受信しています。	印刷データや設定を確認してください。
[自動回転]が[ｵﾝ]に設定された状態で、HP RTL コマンドを含む印刷データを受信しました。	[自動回転]を[ｵﾌ]に設定し、印刷してください。 （「メインメニューの設定値」参照） →P.669

HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される。

原因	処置
メインメニューの[線幅]の設定が正しくありません。	[線幅]の設定を確認してください。また、細い線がかすれて印刷されるような場合は、メインメニューの[細線強調]で[ｵﾝ]を選択すると、細い線をくっきりと印刷します。 （「メインメニューの設定値」参照） →P.669

HP-GL/2 でモノクロ（カラー）で印刷される。

原因	処置
[ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ]の設定が間違っています。	プリンタの操作パネルで[ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ]の設定を確認してください。 （「メインメニューの設定値」参照） →P.669 ただし、このプリンタでは、[ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ]で[ﾓﾉｸﾛ]を選択した場合でも、プリントヘッドの性能維持のため微量のカラーインクを消費して印刷します。

HP-GL/2 の線画で色味が違って印刷される。

原因	処置
メインメニューの[明細線補正]が[ｵﾝ]に設定されている。	[ｵﾌ]を選択すると思い通りの印刷結果を得られることがあります。ただし、色によっては細線が途切れて印刷される場合があります。

HP-GL/2 で指定したサイズよりも 6mm 大きく印刷される

原因	処置
アプリケーションで作成された、HP-GL/2 データのページサイズが正しくありません。	[メインメニュー]の[ﾍﾟｰｼﾞ ｻｲｽﾞ 処理 1]を[ｵﾝ]に設定してください。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669

HP-GL/2 で定型サイズを指定しても最大サイズで出力される

原因	処置
アプリケーションで作成された、HP-GL/2 データのページサイズが正しくありません。	[メインメニュー]の[ﾍﾟｰｼﾞ ｻｲｽﾞ 処理 2]または[用紙節約]を[ｵﾝ]に設定してください。 最適なレイアウトに変更されます。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669

HP-GL/2 で出力時間が長い。

原因	処置
印刷データの容量が大きいと、印刷に時間がかかります。	プリンタの操作パネルで[入力解像度]を[300dpi]に設定してください。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669

HP-GL/2 でプリンタが途中で停止する(キャリッジの停止)

原因	処置
印刷データの解析を行っています。	そのまましばらくお待ちいただくか、プリンタの操作パネルで[入力解像度]を[300dpi]に設定してください。 (「メインメニューの設定値」参照) →P.669

その他のトラブル

電源がオンにならない

原因	処置
電源コードが抜けています。	コンセントに電源コードを接続してから、プリンタの電源をオンにします。
所定の電圧が供給されていません。	コンセントやブレーカーの電圧を確認します。プリンタの仕様に合った電源を使用してください。 （「仕様」参照） →P.710

異常音かなと思ったときには

原因	処置
プリンタの動作音がした。	以下のような場合は、異常ではありません。 • プラテンから吸引音がする 用紙の浮き上がりを防ぐために、プラテン表面には吸引口があり、用紙を吸引しています。 • 用紙のサイズを変更したときやキャリッジが反転するときに音がする B0〜44 インチの用紙で起こりやすい現象です。 用紙のサイズを変更したときに、用紙がない位置の吸引口の吸引を止めるために、用紙の吸引範囲を切り替える弁が自動的に切り替わり、音がする場合があります。 また、インクの吐き出しを良好にするために、印刷中にキャリッジが反転するタイミングでインクが吐き出されますが、このときに、用紙の吸引範囲を切り替える弁が自動的に切り替わり、音がする場合があります。 • 印刷中にロール紙がはためく音がする 大きいサイズの用紙が送られるときに、はためく音がする場合があります。 • 突然クリーニング動作の音がする プリンタのメンテナンスのため、所定の期間が経過するとスリープモード中でもクリーニング動作が自動実行されます。 • 突然インク攪拌動作の音がする 最適な印字品位を保つため、所定の期間が経過するごとにスリープモード中でもインク攪拌動作が自動実行されます。攪拌の動作時間は約 1 分 30 秒です。 また、以下のタイミングでもインク攪拌動作が自動実行されます。なお、操作パネルのディスプレイに[攪拌中です。]と表示されている間に他の操作はできません。 　• 電源オン後（攪拌の動作時間は、電源オフの経過期間により異なります（約 1 分 30 秒〜約 20 分）。攪拌動作中でも[オンライン]モードになれば印刷などの操作ができます。） 　• データ送信後（約 1 分 30 秒後に[オンライン]モードになり、プリント動作が開始されます。ただし、プリントデータのサイズによってはデータ受信動作から開始される場合もあります。） 　• インクタンク交換後（攪拌の動作時間は約 3 分 30 秒です。攪拌動作中でも[オンライン]モードになれば印刷などの操作ができます。） 上記以外の場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

原因	処置
交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。	交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込み直します。
	プリンタを再起動します。

インクが異常に消費される

原因	処置
全面カラーの多数の印刷物が印刷されています。	写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。
[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]が頻繁に実行されています。	[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンタの輸送後、長期間プリンタを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行しないことをお勧めします。
初期充填が行われました。	初めてプリンタを使用する場合やプリンタの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われるため、インクの残量表示がすぐに 80%になることがあります。異常ではありません。
ノズルがつまっています。	ノズルのつまりをチェックしてください。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.758

インク残量検知機能について

一度空になったインクタンクを取り付けた場合、インク残量検知機能を無効にできます。

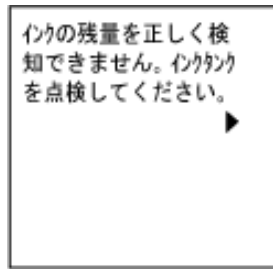
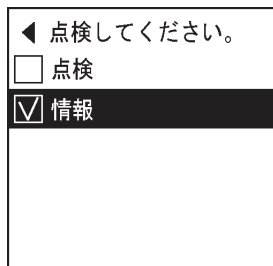
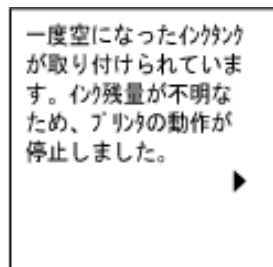
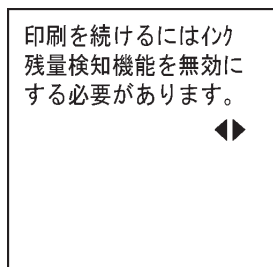
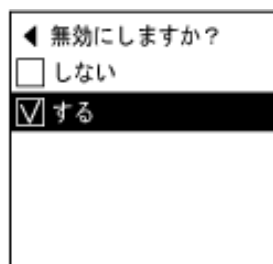
インク残量検知機能について

このプリンタ指定のインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンタの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。(「インクタンク」参照) →P.745
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷が停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。
ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンタに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いかねます。

注意

- いったんインク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復するには、プリンタ指定の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンタとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンタに損傷を与える場合があります。

インク残量検知機能を無効にする

1. ディスプレイに、インクの残量を検知できないというメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[情報]を選択し、[OK]キーを押します。

3. ディスプレイにインク残量検知機能の無効を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

4. メッセージを確認して[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

6. メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

7. メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

9. ディスプレイに、インクの情報の更新を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

インク残量検知機能が無効になり、オンラインモードになります。

エラーメッセージ

エラーメッセージ一覧

用紙関連のメッセージ

用紙種類が違います。

原因	処置
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に用紙の種類が統一されていません。	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。
	複数枚のカット紙に調整パターンを印刷する場合は、用紙の種類を統一して印刷します。 リリースレバーを上げて、同じ用紙種類にセットし直してください。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.7

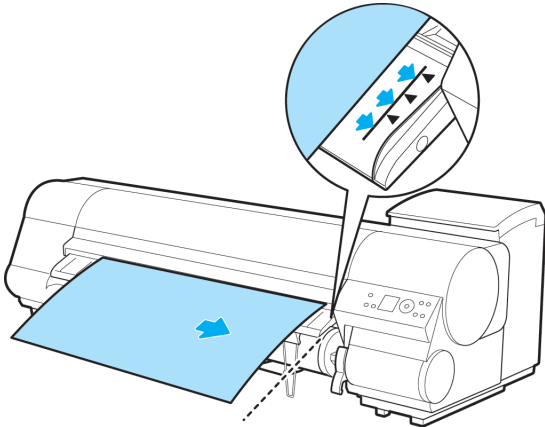
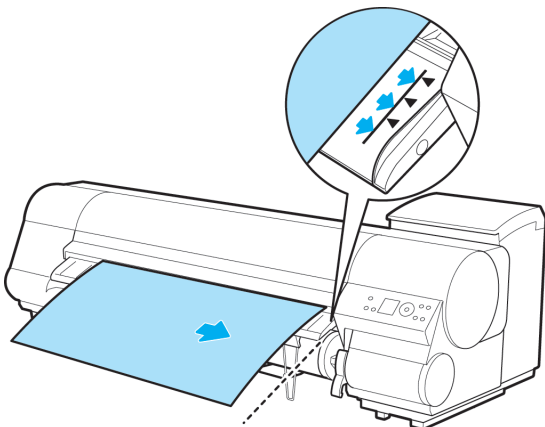
13

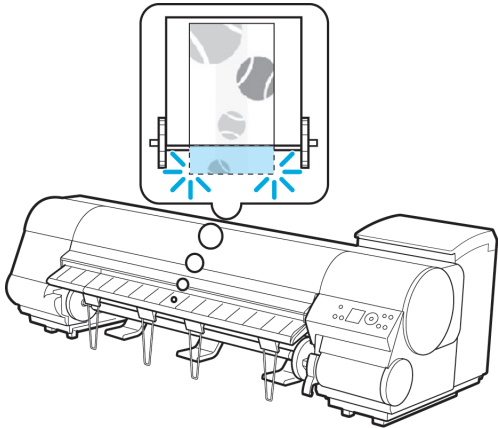
用紙種類違います。

原因	処置
[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]メニューが[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を変更するか、プリンタにセットしていた用紙を交換してプリンタの用紙の種類を変更します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.7
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に、用紙の種類が統一されていません。	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。

原因	処置
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に、用紙の種類が統一されていません。	**2.** プリンタドライバで用紙の種類を変更するか、プリンタにセットしていた用紙を交換してプリンタの用紙の種類を変更します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.7
	[オンライン]キーを押して、印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
[用紙ミスマッチ検知]メニューが[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙が小さいです

原因	処置
[用紙ミスマッチ検知]メニューが[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズより、プリンタにセットしてある用紙のサイズが小さいです。	[オンライン]キーを押して、印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	以下の手順で、プリンタにセットした用紙のサイズに合わせて、プリンタドライバの用紙サイズを設定し直します。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバの用紙サイズ設定を、プリンタにセットした用紙サイズに変更し、印刷し直します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタの用紙を交換します。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリンタの用紙を、プリンタドライバで設定した用紙サイズに交換し、印刷し直します。
[用紙ミスマッチ検知]メニューが[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズより、プリンタにセットしてある用紙のサイズが小さいです。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙幅が違います。

原因	処置
プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]で設定したロール紙幅と、プリンタにセットしてあるロール紙の幅が違います。	[オンライン]キーを押して、印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。

原因	処置
プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]で設定したロール紙幅と、プリンタにセットしてあるロール紙の幅が違います。	プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]を選択したときに表示されるダイアログボックスで設定したロール紙幅と、プリンタにセットする用紙の幅を合わせて印刷し直します。

用紙ｻｲｽﾞを検知できません。

原因	処置
用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされています。 	以下の手順でロール紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを上げます。 **2.** 上カバーを開きます。 **3.** ロール紙の右端を右側の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 **4.** リリースレバーを下げます。 **5.** 上カバーを閉じます。 **6.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを上げます。 **2.** 上カバーを開きます。 **3.** カット紙の右端を右側の紙合わせライン、カット紙の後端を用紙押さえの下の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 **4.** リリースレバーを下げます。 **5.** 上カバーを閉じます。 **6.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

原因	処置
用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされています。 	(「カット紙をプリンタにセットする」参照)→P.602
プラテンがインクなどで汚れているので、クリアフィルムのサイズを検知できません。	上カバーを開いて、プラテン全域を清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照)→P.776

このデータを印刷するには用紙が足りません。

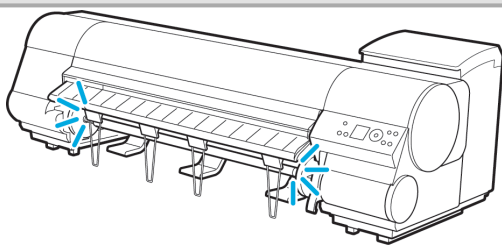
原因	処置
プリンタのメニューの[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されていて、以下のいずれかの設定がされている場合に、ロール紙の残量よりも長いサイズの印刷ジョブを受信しました。 • HP-GL/2 印刷の際に、プリンタのメニューで[GL2 設定]の[給紙方法]が[自動]以外に設定している。 • 巻き取り装置を使用している。	[オンライン]キーを押して、印刷を続行します。 ただし、途中でロール紙がなくなり最後まで印刷できない可能性があります。
	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 プリンタドライバの[給紙方法]、HP-GL/2 印刷の場合はプリンタのメニューの[GL2 設定]の[給紙方法]を変更するか、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷し直します。 巻き取り装置を使用している場合は、印刷した用紙を巻き取り装置から取り外してから、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷し直します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照)→P.586 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照)→P.579 (「印刷した用紙を巻き取り装置から取り外す」参照)→P.705

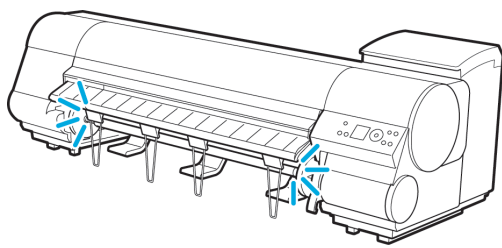
*巻き取り装置を使用している場合は、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて印刷を中止するか、[オンライン]キーを押して印刷を続行します。ただし、印刷を続行した場合は途中でロール紙がなくなり最後まで印刷できない可能性があります。

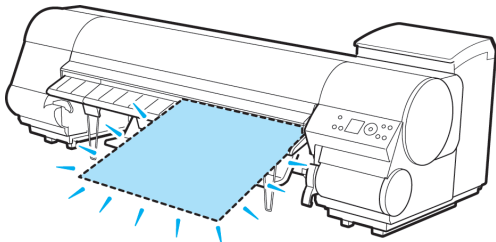
この用紙は使用できません。

原因	処置
プリンタにセットできるサイズよりも大きな用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.573
プリンタにセットできるサイズよりも小さな用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.573
調整用パターンやノズルチェックパターンの印刷に必要なサイズよりも小さな用紙がセットされています。	リリースレバーを上げて、A4 以上のサイズで未使用の用紙をセットし直します。各調整により複数の用紙が必要な場合があります。

ﾛｰﾙ紙印刷が指定されています。

原因	処置
コンピュータから送信した印刷ジョブ、またはテストプリントなどのプリンタ内部データをロール紙で印刷しようとしましたが、ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットして印刷します。
	カット紙に印刷したい場合は、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて印刷を中止したあと、カット紙をセットして印刷し直します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.7

ﾛｰﾙ紙印刷が指定されましたが、ｶｯﾄ紙がｾｯﾄされています。

原因	処置
カット紙がセットされているときに、ロール紙を指定した印刷ジョブを受信しました。	以下の手順で、ロール紙をセットして印刷します。 **1.** [OK]キーを押してカット紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.607 **2.** ロール紙をセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 印刷が開始されます。
	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。

ﾛｰﾙ紙がなくなりました。

[ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞｰを上げて､ﾛｰﾙ紙を交換してください]

原因	処置
ロール紙がなくなりました。	以下の手順で、使用していたロール紙と同じサイズ、種類のロール紙に交換します。 **1.** リリースレバーを上げて、ロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.588

原因	処置
	2. 新しいロール紙をセットします。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 **3.** ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を選択する(ロール紙)」参照) →P.584 **4.** ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の長さを設定します。 (「用紙の長さを設定する(ロール紙)」参照) →P.585 **5.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
ロール紙はありますが、用紙送りに失敗して検知できませんでした。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.53

[[OK]を押してください。]

原因	処置
ロール紙がなくなりました。	以下の手順で、使用していたロール紙と同じサイズ、種類のロール紙に交換します。 **1.** [OK]キーを押して、ロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.588 **2.** 新しいロール紙をセットします。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579 **3.** ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を選択する(ロール紙)」参照) →P.584 **4.** ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の長さを設定します。 (「用紙の長さを設定する(ロール紙)」参照) →P.585 **5.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

ｶｯﾄ紙が外れました。

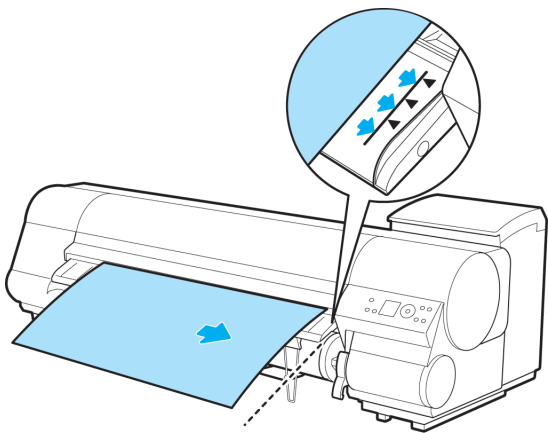
原因	処置
カット紙が印刷中に外れました。	**1.** リリースレバーを上げて用紙を取り外します。 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

ｶｯﾄ紙印刷が指定されています。

原因	処置
テストプリントなどのプリンタ内部データをカット紙で印刷しようとしましたが、カット紙がセットされていません。	カット紙をセットして印刷します。
	ロール紙に印刷したい場合は、[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて印刷を中止したあと、ロール紙をセットして印刷し直します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3

ｶｯﾄ紙印刷が指定されましたが、ﾛｰﾙ紙がｾｯﾄされています。

原因	処置
ロール紙がセットされている状態で、カット紙印刷のデータを受信しました。	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 ロール紙を取り除き、プリンタドライバで指定したサイズ/種類のカット紙をセットします。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.586 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.7
ロール紙で巻き取り装置を使用している時に、カット紙印刷のデータを受信しました。	**1.** [ストップ]キーを約 1 秒間押して、カット紙ジョブをキャンセルします。 **2.** メニューから[用紙ｶｯﾄ]を実行します。 **3.** [用紙セット/排紙]キーを押して、ロール紙を取り外します。 **4.** カット紙をセットしてカット紙ジョブを再送信します。

用紙がつまりました。

[ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞｰを上げてください。]

原因	処置
印刷中に用紙がプリンタ内部でつまりました。	**1.** リリースレバーを解除して、つまった用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.790 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.794 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

[用紙を手動で全て巻き戻して[OK]を押してください。]

原因	処置
給紙中に用紙がつまりました。	**1.** ロールホルダーの用紙を手動ですべて巻き戻して[OK]キーを押します。 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

用紙が斜めにｾｯﾄされています。

原因	処置
用紙が斜めにセットされています。	以下の手順でロール紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを上げます。 **2.** 上カバーを開きます。 **3.** ロール紙の右端を右側の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 **4.** リリースレバーを下げます。 **5.** 上カバーを閉じます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを上げます。 **2.** 上カバーを開きます。 **3.** カット紙の右端を右側の紙合わせライン、カット紙の後端を用紙押さえの下の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 **4.** リリースレバーを下げます。 **5.** 上カバーを閉じます。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.602

メモ

- 上記の手順を繰り返してもこのメッセージが表示される場合やこのメッセージを表示したくない場合は、プリンタのメニューの[斜行検知精度]で[ｵﾌ]または[ゆるめ]を選択します。ただし、用紙が斜めのまま印刷されるため、紙づまりの原因となったり、プラテンが汚れ、次に印刷するときに用紙の裏が汚れる可能性があります。

用紙ｶｯﾄに失敗しました。

原因	処置
カットされた用紙が排紙ガイド上に残っています。	**1.** リリースレバーを上げて、用紙を取り除きます。 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞ が残っています。このｼﾞｮﾌﾞ を印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
排紙口付近に異物があり、カッターユニットがぶつかっています。	**1.** 上カバーを開けて、異物を取り除きます。 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞ が残っています。このｼﾞｮﾌﾞ を印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
用紙の推奨使用環境で使用していません。	用紙の推奨使用環境範囲内で使用します。用紙ごとに推奨使用環境が異なります。推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.570
オートカットに対応していない用紙を使用しています。	ロール紙のカット方法を[ﾕｰｻﾞ ｰｶｯﾄ]に設定して手動でロール紙をカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.593 オートカットの対応については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.570
用紙をカットできずに、カッターユニットが途中で停止しています。	キャリッジが出ている場合は、用紙から離すように、キャリッジを移動します。カッターが出ている場合は、用紙から離すように、カッターを右端へ移動して、つまった用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.790 カッターユニットでカットできない場合は、ロール紙のカット方法を[ﾕｰｻﾞ ｰｶｯﾄ]に設定して手動でロール紙をカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.593
上記以外の場合、カッターユニットが故障している可能性があります。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

紙送り量のﾘﾐｯﾄに達しました。

原因	処置
操作パネルの[▲]キーを押して、ロール紙を先端まで巻き戻そうとしています。	[▲]キーから指を離します。
巻き取り装置を使用しているときは、17mm までしか巻き戻すことができません。	[▲]キーから指を離します。

ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞ ｰの位置が不正です。

原因	処置
リリースレバーが上がっています。	リリースレバーを下げます。
	このエラーが再び発生する場合は、電源をオフにしてしばらくしてから電源をオンにします。

巻き取りｴﾗｰ

原因	処置
巻き取り装置のセンサー付近に障害物があり、ロール紙が検知されません。	センサー付近の障害物を取り除きます。
巻き取り装置のセンサーが汚れていて、ロール紙が検知されません。	センサーを乾いた布で乾ぶきします。
ロール紙が巻き取り装置のセンサーの検知範囲から外れています。	ロール紙をセットし直します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.579
巻き取り装置のセンサーが壊れています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
用紙がつまり、巻き取れなくなりました。	巻き取り装置から用紙を取り除いてください。 [オンライン]キーを押すとエラーが解除されます。

*巻き取り装置関係のエラーが発生すると、印刷が一時停止します。印刷を止めたくない場合は、[巻き取りｴﾗｰｽｷｯﾌﾟ]を[ｵﾝ]に設定します。

巻き取り装置を使用します。

原因	処置
[メインメニュー]の[巻き取り装置]設定を[使用する]から[使用しない]に変更したが、ロール紙を取り外さないままで印刷データを受信しました。	[ストップ]キーを押して印刷を中止します。 [メインメニュー]の[巻き取り装置]設定を[使用する]から[使用しない]に変更した後、リリースレバーを解除してロール紙のセットを外すか、または[用紙ｶｯﾄ]を実行すると巻き取りモードから通常モードに移行します。
	[オンライン]キーを押して印刷を続行します。

巻き取り装置の電源を入れてください。

原因	処置
[巻き取り装置]で[使用する]が選択されているときに、巻き取り装置の電源がオンになっていません。	巻き取り装置の電源をオンにします。

ﾌﾁなし印刷ができません。

[ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞｰを上げて、用紙のｾｯﾄ位置を直してください。]

原因	処置
使用環境によってロール紙が伸びたり、縮んだりするため、フチなし印刷可能な幅に入らなくなる場合があります。	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 用紙種類ごとの使用環境範囲内で使用してください。用紙の使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.570
用紙のセット位置がずれています。	リリースレバーを上げて用紙の端部がフチなし印刷インク受け溝の幅に入るようにセットし直します。 ロール紙はロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.576

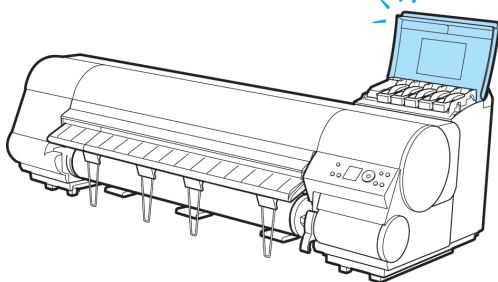
原因	処置
用紙のセット位置がずれています。	[オンライン]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。

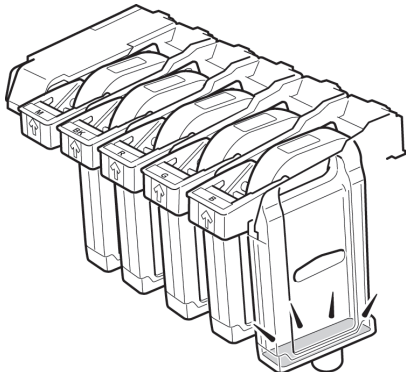
[対応用紙をご確認ください。]

原因	処置
フチなし印刷に対応していない用紙の種類あるいは紙幅が指定されたデータを受信しました。	以下の手順で、フチなし印刷できるように印刷ジョブを設定し直します。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** ご使用のプリンタ専用のプリンタドライバが選択されていることを確認し、印刷し直します。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.570
	[オンライン]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。
プリンタにセットしてある用紙がフチなし印刷をサポートしていない用紙です。	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。
	[オンライン]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。

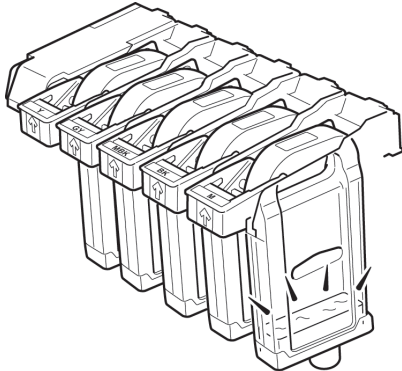
インク関連のメッセージ

ｲﾝｸが不足しています。

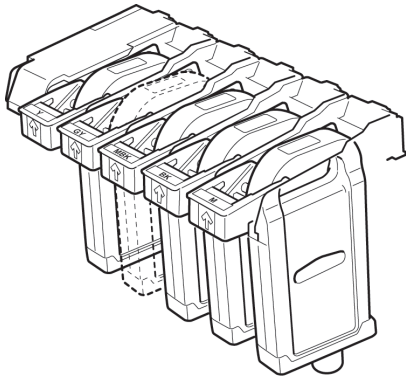
原因	処置
インクの残量が少ないため、プリントヘッドのクリーニングや印刷など、インクを使用する機能が実行できません。	残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.746

ｲﾝｸがありません。

原因	処置
インクがなくなりました。	インクタンクカバーを開き、インクランプが点滅している色のインクタンクを交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.746

ｲﾝｸの残量を正しく検知できません。

原因	処置
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなります。	インクを補充したインクタンクはそのままでは使用できません。[インク残量検知機能について]を参照し、必要な処置を行ってください。(「インク残量検知機能について」参照) →P.822

ｲﾝｸﾀﾝｸｶﾊﾞｰを閉じてください。

原因	処置
インクタンクカバーが開いています。	インクタンクカバーを閉めます。

ｲﾝｸﾀﾝｸが空です。

原因	処置
インクタンクのインクがなくなりました。	インクタンクカバーを開き、インクランプが点滅している色のインクタンクを交換します。 （「インクタンクを交換する」参照） →P.746

ｲﾝｸ残量が少なくなりました。

原因	処置
インクの残量が少なくなっています。	新しいインクタンクを準備します。 長尺印刷や多部数の印刷の場合は、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

インクタンクが装着されていません。

原因	処置
インクタンクがセットされていません。 	インクタンクをセットし直します。 （「インクタンクを交換する」参照） →P.746
インクタンクにトラブルが発生しました。	新しいインクタンクに交換します。 （「インクタンクを交換する」参照） →P.746

インクタンクが違います

原因	処置
使用できないインクタンクがセットされています。	プリンタ指定のインクタンクをセットします。 （「インクタンクを交換する」参照） →P.746

印刷／調整関連のメッセージ

この用紙では調整できません。

原因	処置
プリントヘッドの調整や用紙の送り量の調整ができない、透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[オンライン]キーを押してエラーを解除します。 プリントヘッドを調整する場合は、フィルム系以外の使用頻度が高い用紙で調整することをお勧めします。 （「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618
	[オンライン]キーを押してエラーを解除し、用紙の送り量を手動で調整します。 （「横スジを手動で調整する（手動バンド調整）」参照） →P.628

指定された印刷ができません。

[ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞｰを上げて A4/LTR 縦ｻｲｽﾞ以上の用紙に交換してください。]

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。	A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換してください。

[ﾘﾘｰｽﾚﾊﾞｰを上げて 10inch 幅以上のロール紙に交換してください。]

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。	10 インチ幅以上のロール紙をセットしてください。

用紙ｻｲｽﾞが伸縮したため、ﾌﾁなし印刷ができません。

原因	処置
使用環境によって、プリンタにセットしてあるロール紙が伸び縮みしたため、フチなし印刷可能な幅に入らなくなりました。	[ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。
	用紙種類ごとの使用環境範囲内で使用してください。用紙の使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 （「用紙の種類」参照） →P.570

ﾌﾁなし印刷をする時は､ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁを切換えてください｡

原因	処置
フチなし印刷用のデータを送信した時に、プラテン上の青いスイッチが●の反対側に設定されています。	フチなしで印刷する場合は、プラテン上の青いスイッチを●側に設定します。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.809

ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁが汚れています｡

原因	処置
プラテン上の青いスイッチが汚れています。	上カバーを開けて、プラテン上の青いスイッチを清掃してください。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.776

プリントヘッド関連のメッセージ

ﾍｯﾄﾞ調整できません。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[自動ﾍｯﾄﾞ調整]をやり直してください。 **1.** [オンライン]キーを押してエラーを解除します。 **2.** ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。（「ノズルのつまりをチェックする」参照） →P.758 **3.** ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。（「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.759 **4.** [自動ﾍｯﾄﾞ調整]をやり直します。（「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618
プリントヘッドの調整ができない、透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[オンライン]キーを押してエラーを解除します。 プリントヘッドを調整する場合は、フィルム系以外の使用頻度が高い用紙で調整することをお勧めします。 （「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618
プリントヘッドが傾いて取り付けられています。	以下の手順で、プリントヘッドの傾きを調整してから[自動ﾍｯﾄﾞ調整]をやり直してください。 **1.** [オンライン]キーを押してエラーを解除します。 **2.** [ﾍｯﾄﾞ傾き調整]を行い、プリントヘッドの傾きを調整します。（「罫線のずれを調整する（ヘッド傾き調整）」参照） →P.621 **3.** [自動ﾍｯﾄﾞ調整]をやり直します。（「縦線のゆがみや色ずれを自動調整する（自動ヘッド調整）」参照） →P.618

ﾊﾞﾝﾄﾞ調整できません。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]をやり直してください。 **1.** [オンライン]キーを押してエラーを解除します。 **2.** ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。（「ノズルのつまりをチェックする」参照） →P.758 **3.** ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。（「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.759 **4.** [自動ﾊﾞﾝﾄﾞ調整]をやり直します。（「横スジを自動調整する（自動バンド調整）」参照） →P.627

原因	処置
用紙の送り量を自動で調整できない透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[オンライン]キーを押してエラーを解除し、用紙の送り量を手動で調整します。 (「横スジを手動で調整する(手動バンド調整)」参照) →P.628

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞはｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要な状態です。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	[オンライン]キーを押して印刷を続行します。
	以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.759 [ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を 1〜2 回実行してもメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞが違います。

原因	処置
使用できないプリントヘッドが取り付けられています。	上カバーを開けて、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.760

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞが不調です。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまり始めています。	印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.759

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞが異常です。

原因	処置
プリントヘッドに異常があります。	上カバーを開けて、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.760

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞがありません。

原因	処置
プリントヘッドが取り付けられていません。	プリントヘッドを取り付けます。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.760

ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行ってください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 **1.** [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 **2.** プリントヘッドをクリーニングします。 （「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.759 それでもこのメッセージが消えない場合はプリントヘッドを交換してください。 （「プリントヘッドを交換する」参照） →P.760

メンテナンスカートリッジ関連のメッセージ

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ を装着してください。

原因	処置
メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。	メンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ が違います。

原因	処置
違う機種のメンテナンスカートリッジが取り付けられました。	ご使用のプリンタ専用のメンテナンスカートリッジと交換してください。

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ の交換が近付いています。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなってきました。	印刷は続行されますが、メンテナンスカートリッジ交換のメッセージに備えて新しいメンテナンスカートリッジを準備します。

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ の残り容量がありません。

原因	処置
プリントヘッドのクリーニングなどを実行するのに十分なメンテナンスカートリッジの残り容量がありません。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ がいっぱいです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなりました。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞが異常です。

原因	処置
使用できない、または使用済みのメンテナンスカートリッジが取り付けられています。	プリンタ指定の未使用のメンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.767

ハードディスク関連のメッセージ

ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸにｴﾗｰが発生しました。

原因	処置
プリンタのハードディスクのフォーマットが壊れました。	[OK]キーを押して、ハードディスクのフォーマットを開始します。フォーマットが完了すると、プリンタは自動的に再起動します。(フォーマットを行うと、ハードディスク内のデータは消去されます。)

ﾌｧｲﾙ読み込み失敗

原因	処置
プリンタのハードディスクのファイルが壊れました。	プリンタの電源を入れ直します。壊れたファイルだけが削除され、プリンタが起動します。

ﾎﾞｯｸｽの空き容量がありません。

原因	処置
プリンタのハードディスクの空き容量がなくなりました。	[ストップ]キーを押して、印刷ジョブをキャンセルします。
	ジョブキューの印刷ジョブを削除します。 (「印刷待ちのジョブを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.529
	個人ボックス(ボックス番号[01]～[29])に保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.537

ﾎﾞｯｸｽに空き容量がないので保存せずに印刷を行っています。

原因	処置
プリンタのハードディスクの空き容量がなくなり、印刷のみ実行しています。(ハードディスクに印刷ジョブは保存されません。)	印刷後、メッセージは消えます。

ボックスの空き容量が少ないです。

原因	処置
プリンタのハードディスクの個人ボックスの空き容量の合計が 1GB 未満になりました。	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.537

保存ジョブの数が最大です。

原因	処置
個人ボックスに 100 個の印刷ジョブが保存されています。	個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.537

ボックスの保存可能数が最大です。

原因	処置
保存されているジョブが、個人ボックスの保存可能数を超えました。	[ストップ]キーを押して、印刷ジョブをキャンセルします。
	ジョブキューの印刷ジョブを削除します。 (「印刷待ちのジョブを操作する(削除、追い越し印刷)」参照) →P.529
	個人ボックス(ボックス番号[01]〜[29])に保存されている不要なジョブを削除します。 (「保存したジョブを削除する」参照) →P.537

HP-GL/2 関連のメッセージ

この用紙種類は HP-GL/2 でｻﾎﾟｰﾄされません。

原因	処置
HP-GL/2 に対応していない用紙が給紙された状態で HP-GL/2 の印刷データを受信しました。	以下の手順でプリンタの用紙の種類を交換します。 1. [ストップ]キーを 1 秒以上押し続けて、印刷を中止します。 2. HP-GL/2 に対応した用紙に交換して印刷し直します。HP-GL/2 に対応した用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.570
	[オンライン]キーを押して、印刷を続行します。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

GL2:Wxxxx ﾒﾓﾘがいっぱいです。(xxxx は 0501/0903/0904)

原因	処置
受信した印刷データを処理中にプリンタのメモリがいっぱいになりました。	印刷データと印刷結果を確認してください。

GL2:W0502 ﾊﾟﾗﾒｰﾀが範囲外です。

原因	処置
HP-GL/2 コマンドで指定されたパラメータがサポートされている範囲を超えています。	印刷データを確認してください。

GL2:W0504 ｻﾎﾟｰﾄしていないｺﾏﾝﾄﾞです。

原因	処置
サポートしていない HP-GL/2 コマンドを受信しました。	印刷データを確認してください。

その他のメッセージ

GARO Wxxxx（x は数字）

原因	処置
印刷ジョブに問題があります。	正しいプリンタドライバを使用して、印刷し直します。
	そのまま印刷が続行されます。 但し、意図通りの印刷結果が得られない場合があります。

ｴﾗｰ Exxx-xxxx（x は英数字）

原因	処置
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。 エラー　Exxx−xxxx 担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。	エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ﾊｰﾄﾞｳｪｱｴﾗｰ xxxxxxxx-xxxx（x は英数字）

原因	処置
印刷中にロール紙がなくなりました。ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められているため、搬送が止まっています。	電源をオフにして、ロール紙をプリンタから取り外してから電源をオンにしてください。
上カバー内部のテープやベルトストッパが取り外されていません。	電源をオフにして、上カバーを開きテープやベルトストッパを取り外してから電源をオンにしてください。
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

原因	処置
ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx 電源を切り、しばらく たってから再度電源を 入れてください。	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

上ｶﾊﾞｰが開いています。

原因	処置
上カバーが開いた状態を検知しました。	上カバーを開け、異物などが挟まってる場合は取り除いたあと、上カバーを閉め直します。
	このエラーが再び発生する場合は、上カバーを閉めて、電源をオフにし、しばらくしてから電源をオンにします。

部品交換が近付いています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期が近付いています。	[部品交換目安を過ぎています。]と表示されるまでは、しばらく使用することができます。 キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

部品交換目安を過ぎています。

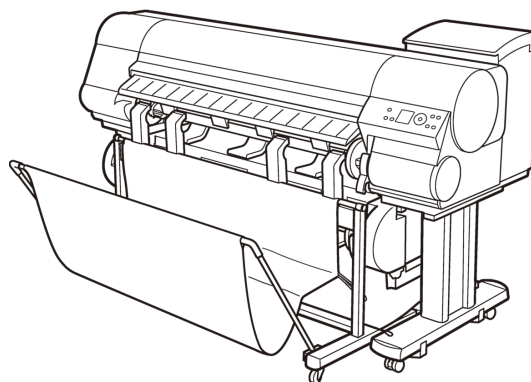
原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ﾌｧｲﾙを認識できませんでした。

原因	処置
プリンタを最新状態にするために送信した用紙情報などのデータ形式が間違っています。	データを確認してください。電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてデータを送信し直します。
違う機種のファームウェアがアップロードされています。	ファームウェアを確認してください。電源を切りしばらくたってから再度電源を入れて、ファームウェアを送信し直します。
	再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

マルチセンサが異常です。

原因	処置
直射日光など、強い光がプリンタに当たり、センサが誤動作している可能性があります。	直射日光など、強い光がプリンタに当たらない環境で使用します。
プリンタ内部のセンサの一部の性能が低下している可能性があります。	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

付録

このマニュアルの使い方

この製品マニュアルについて

• マークについて

この製品マニュアルでは、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限、注意などの説明に、以下のマークを付けています。

	重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項を記載しています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項を記載しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	メモ	操作の参考となる情報や、特定のテーマに関する補足情報を記載しています。

• ボタン名や画面上の表示項目について

この製品マニュアルでは、操作パネル上のキーやボタンの名称、ソフトウェアの画面上の項目(メニューやボタンなど)などを以下のように表しています。

操作パネル上のキー	(例)[OK]キーを押します。
操作パネルのディスプレイの表示	(例)[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]と表示されます。
ソフトウェアの画面上の項目 (メニューやボタンなど)	(例)[OK]をクリックします。
キーボード上のキー	(例)　<Tab>を押します。

• 各部名称について

この製品マニュアルでは、プリンタ本体の各部の名称などを以下のように表しています。

プリンタ本体の各部の名称	(例)上カバーを開きます。

• 参照先について

この製品マニュアルでは、参照していただきたいページやマニュアルを、以下のように表しています。

製品マニュアル内のページへの参照	(例)「電源をオン/オフにする」を参照してください。 →P.643 リンクをクリックすると該当のページにジャンプします。
関連するマニュアルへの参照	(例)　用紙リファレンスガイドを参照してください。
その他への参照	(例)　プリンタドライバのヘルプを参照してください。

• イラストやソフトウェアの画面について

- この製品マニュアルで使われている機種のイラストは、実際の機種と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- この製品マニュアルで使われているプリンタドライバやアプリケーションソフトの画面は、ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際と異なる場合があります。
- この製品マニュアルでは、Windows での操作説明に Windows XP の画面が使われています。

• 商標について

- Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。

- Microsoft、Windows は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。
- その他の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

- 著作権について

- お客様へご承知いただきたいこと

以下の点について、あらかじめご了承ください。

- 製品マニュアルに記載した内容は、予告なしに変更する場合があります。
- 製品マニュアルの内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

トピック検索について

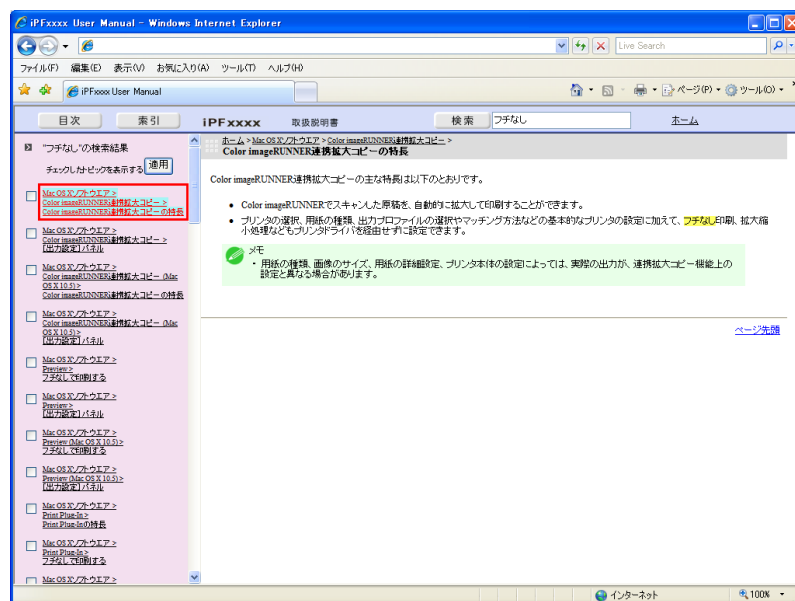
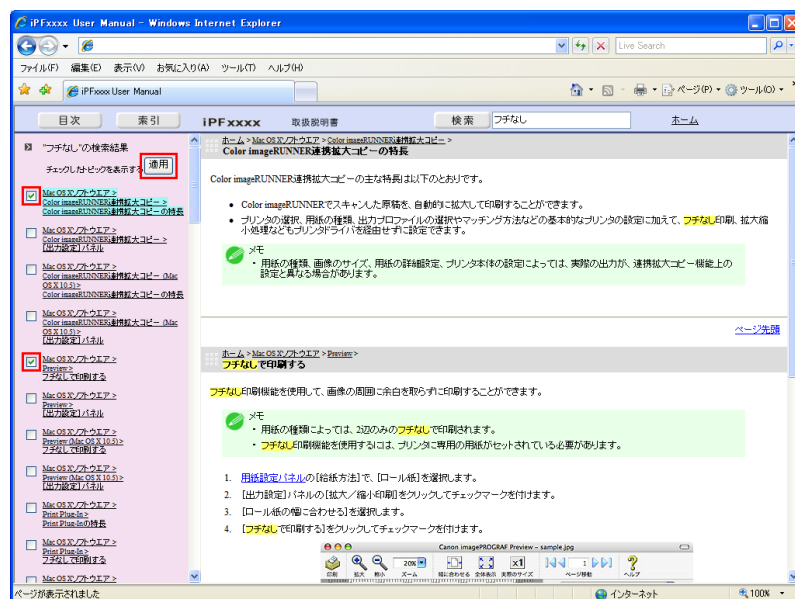
この製品マニュアルでは、用語からトピックを検索できます。

1. 用語を入力して、[検索]ボタンをクリックします。

メモ

- 複数の用語で検索する場合は、用語と用語の間にスペースを入力してください。

左フレームに検索結果が表示されます。

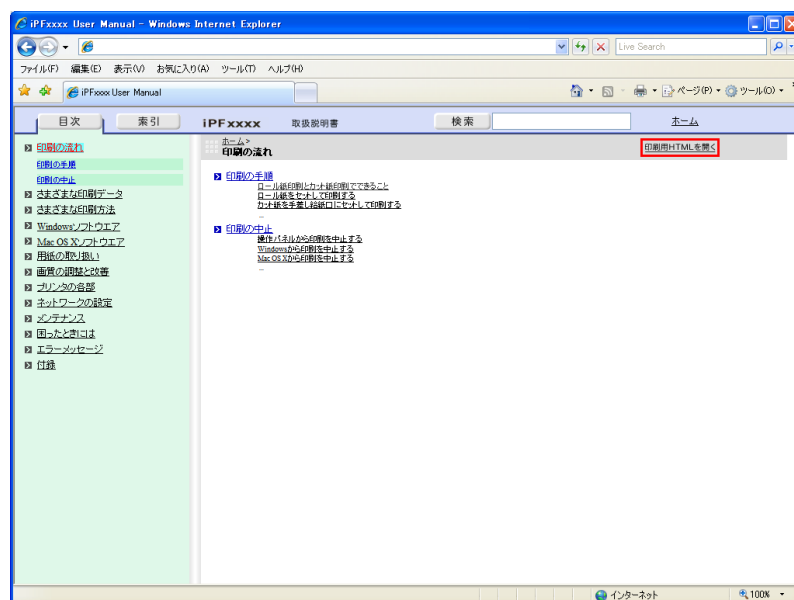
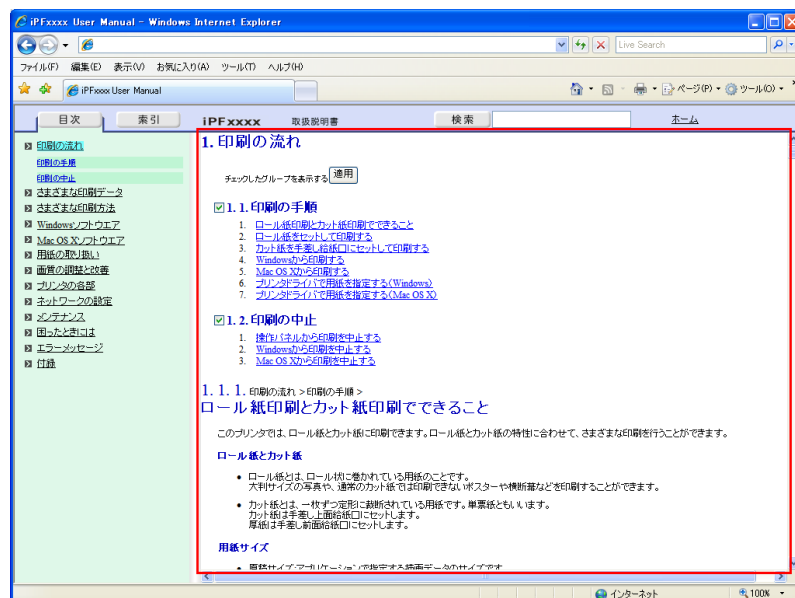
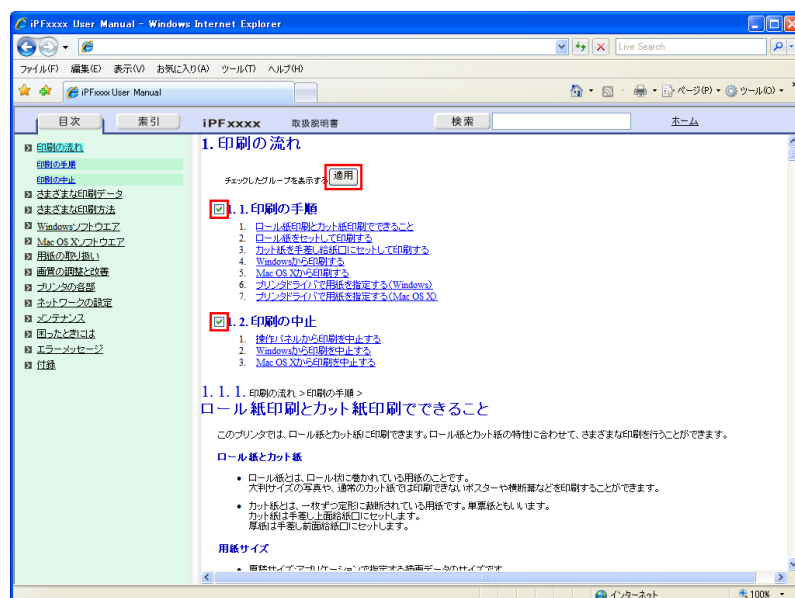
2. 確認したいトピックをクリックします。
検索した用語がマーカ表示されます。

複数のトピックを同時に確認したい場合は、確認したいトピックのチェックボックスをクリックし、[適用]ボタンをクリックします。

印刷用 HTML について

この製品マニュアルでは、目次の項目ごとにまとめて印刷したり、小項目を指定して印刷したりできます。
ここでは、[印刷の流れ]に関する内容を例に説明します。

印刷する項目をまとめて指定する

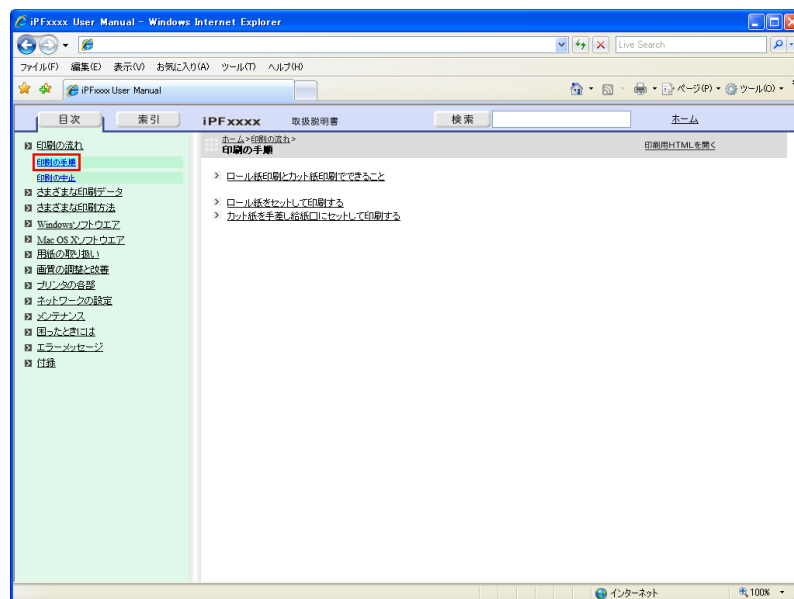
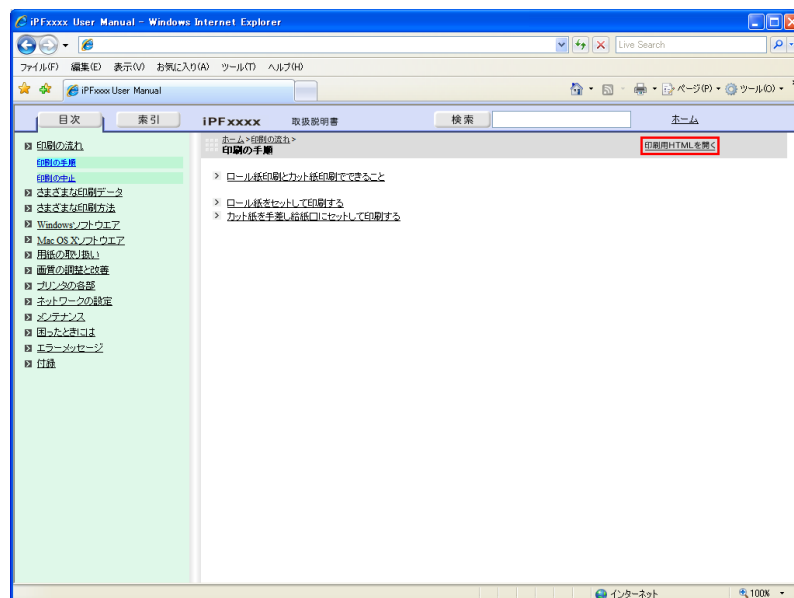
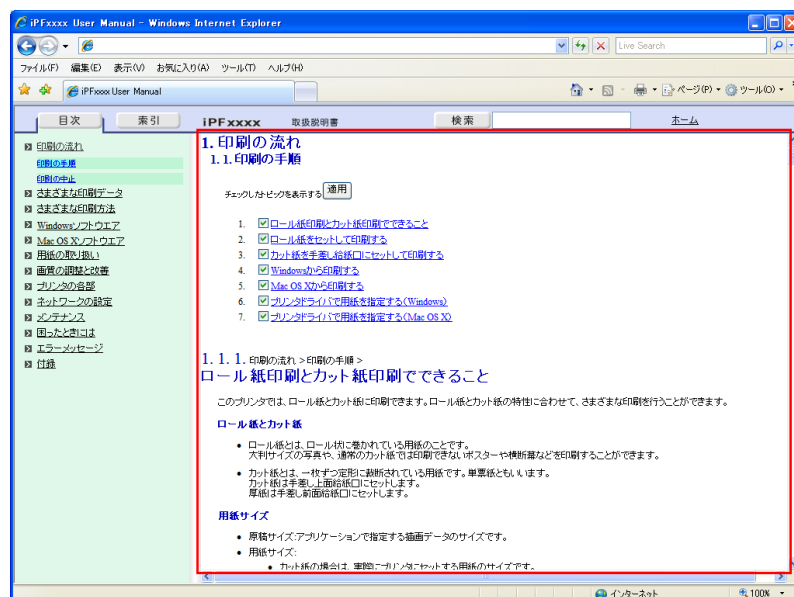
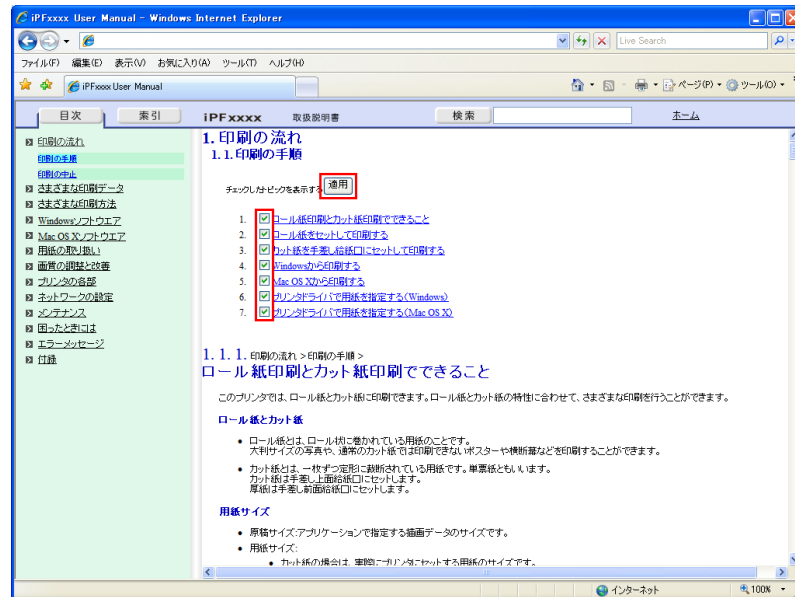
目次の大項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい項目をまとめて指定できます。

1. 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

2. タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の流れ]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

3. 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

印刷する項目を小項目ごとに指定する

目次の中項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい小項目ごとに指定できます。

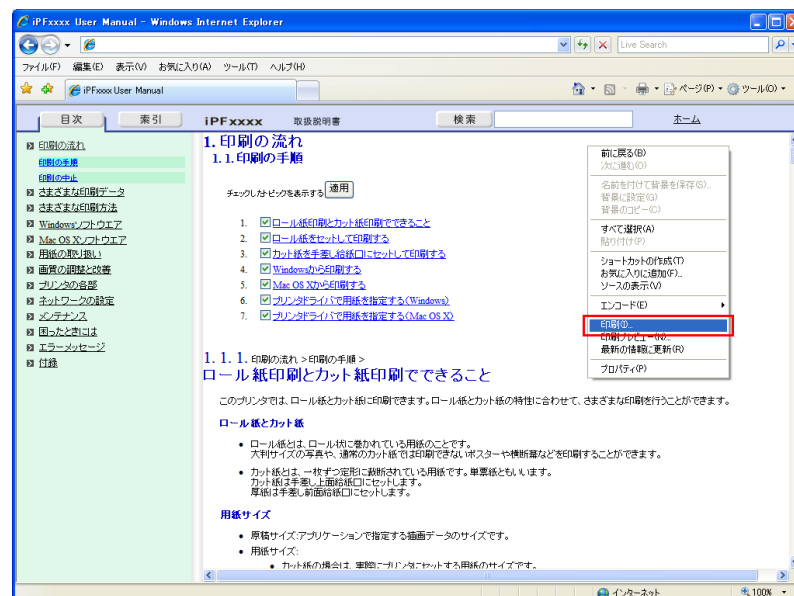
1. 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

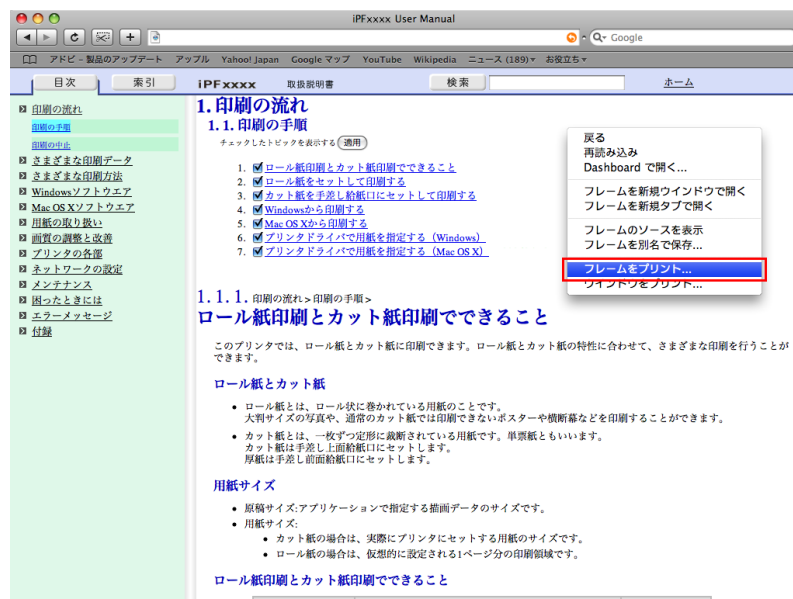
2. [印刷の流れ]の下の項目、ここでは[印刷の手順]をクリックします。

3. タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の手順]内の項目をまとめた､印刷用の HTML が表示されます。

4. 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

指定した項目を印刷する

以下の方法で、指定した項目を印刷します。

1. お使いの OS に合わせて、以下の手順で印刷ダイアログボックスを開きます。

- Windows の場合

Windows では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を右クリックし、[印刷]を選択して[印刷]ダイアログボックスを開きます。

- Macintosh の場合

Macintosh では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を、Control キーを押しながらクリックし、表示されたメニューから[フレームをプリント]を選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

2. 必要な条件を設定して、[印刷](Windows)または[プリント](Macintosh)をクリックします。

- Windows の場合

- Macintosh の場合

メモ

- 表示されている各説明の部分だけを印刷するには、この方法で印刷してください。

索引